

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第435集

ふくしま いい づか  
福島飯塚遺跡(2)

国道354号道路改築事業に係わる  
埋蔵文化財発掘調査報告書第2集

2008

群馬県伊勢崎土木事務所  
財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



# 序

福島飯塚遺跡は、佐波郡玉村町に所在し、国道354号道路改築事業に伴い発掘調査された遺跡です。

発掘調査は、群馬県伊勢崎土木事務所からの委託を受け、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が平成10年度から12年度にかけて実施しました。

今回の調査により江戸時代から古墳時代の遺構や遺物とともに弥生時代の遺物などが出土し、この地域に古くから先人たちの生活が展開していたことが明らかとなりました。

また、複数の時代の遺構面が確認されるとともに、火山災害などの自然災害にもめげず、力強く歴史を築いてきた先人たちの歩みが具体的な遺跡として調査されたことは、大きな成果といえると考えています。

この報告書が群馬県の歴史研究をはじめ、地域の資料として学校教育、郷土学習にも役立てていただけるものと確信いたしております。

最後になりましたが群馬県教育委員会文化課、群馬県県土整備部および伊勢崎土木事務所、玉村町教育委員会および地元関係者の皆様に心より感謝の意をあらわし、序といたします。

平成20年 3月

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団  
理事長 高橋 勇夫



# 例 言

1、本書は、国道354号(玉村バイパス)道路改築事業に伴い発掘調査された福島飯塚遺跡の調査報告書である。なお、福島飯塚遺跡は延長540m程の範囲であり、調査に際しては1区から6区に調査区を設定して事業を進行している。4区、5区は『福島飯塚遺跡(1)』として平成18年度に刊行した。本書は1・2・3・6区を対象とした調査報告書『福島飯塚遺跡(2)』である。

2、福島飯塚遺跡の所在地は次の通りである。1区は群馬県佐波郡玉村町267-1、268-1、269-1、270-1・2、271-1、2区は同246、247、248、249、251-1、3区は同205-2、206、207、208-1・2、209、6区は同297、298、を所在地とする。

3、事業主体 群馬県(伊勢崎土木事務所)

4、調査主体 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

5、調査期間 平成10年度 平成10(1998)年4月1日～平成10(1998)年12月25日

平成11年度 平成11(1999)年4月1日～平成12(2000)年1月31日

平成12年度 平成12(2000)年8月1日～平成13(2001)年3月31日

6、整理期間 平成15年(2003年)4月3日～平成16年(2004年)3月31日

平成18年(2006年)4月2日～平成20年(2008年)3月31日

7、発掘調査体制は次の通りである。

理事長 菅野 清(平成11年5月31日まで) 小野宇三郎(平成11年6月1日から)

常務理事(事務局長) 赤山容造 管理部長 住谷 進 調査研究第1部長 神保侑史 調査研究第2課長 真下高幸

事務担当 笠原秀樹 小山建夫 須田朋子 吉田有光 柳岡良宏 岡島伸昌 片岡徳雄(嘱託) 大澤友治

補助員 吉田恵子 並木綾子 今井もと子 内山佳子 佐藤美佐子 本間久美子 北原かおり 狩野真子 若田 誠 松下次男 浅見宣記  
吉田 茂

発掘調査担当 原 雅信・小成田涼子・廣津英一(平成10年度)・高柳浩道(平成12年度)・(嘱託員)原 眞(平成11年度)・村上義章(平成12年度)

8、整理事業体制は次の通りである。

平成15年度

理事長 小野宇三郎 常務理事 住谷永市 事業局長 神保侑史 管理部長 萩原利通 調査研究部長 右島和夫

資料整理課長 相京建史

事務担当 植原恒夫 竹内 宏 高橋房雄 須田朋子 吉田有光 阿久澤玄洋 田中賢一

補助員 内山佳子 若田 誠 佐藤美佐子 本間久美子 北原かおり 狩野真子 今井もと子 松下次男 吉田 茂

保存処理 関 邦一 土橋まり子 横倉知子 小材浩一

遺物写真 佐藤元彦

遺物器械実測 田中精子 酒井史恵

整理補助 深代初子 下境マサ江 田中暁美 南雲素子 萩原由香

整理担当 原 雅信

平成18年度

理事長 高橋勇夫 常務理事 木村裕紀 事業局長 津金澤吉茂 総務部長 萩原 勉 調査研究部長 西田健彦

資料整理部長 中東耕志 資料整理第2GL 関 晴彦

事務担当 笠原秀樹 石井 清 須田朋子 今泉大作 栗原幸代 斉藤恵理子 柳岡良宏 佐藤聖行

補助員 内山佳子 佐藤美佐子 本間久美子 北原かおり 若田 誠 今井もと子 武藤秀典

保存処理 関 邦一 土橋まり子 小材浩一 津久井桂一 多田ひさ子 長岡久幸

木器処理 小池 緑 佐々木茂美 野沢 健

遺物写真 佐藤元彦

遺物器械実測 廣津真希子 友廣裕子(岩神分室)

整理補助 萩原鈴代 儘田澄子 広瀬綾子 鷲尾房江 竹鶴小百合 関口正広

整理担当 原 雅信

平成19年度


理事長 高橋勇夫 常務理事 木村裕紀 事業局長 津金澤吉茂 総務部長 萩原 勉 調査研究部長 西田健彦  
資料整理部長 佐藤明人 資料整理第2GL大木紳一郎  
事務担当 笠原秀樹 石井 清 須田朋子 柳岡良宏 齊藤恵理子 矢島一美 齊藤陽子  
補助員 若田 誠 佐藤美佐子 本間久美子 北原かおり 武藤秀典  
保存処理 関 邦一 小村浩一 森田智子 津久井桂一 多田ひさ子 木器処理 小池 緑 生方茂美 野沢 健  
遺物写真 佐藤元彦  
遺物器械実測 田中精子 福島瑞希 田所順子 伊東博子 岸 弘子  
整理補助 南雲素子 儘田澄子 田中暁美 関口正広 林 陽子  
整理担当 原 雅信

- 9、発掘調査および報告書作成には、群馬県教育委員会 県土整備部、群馬県伊勢崎土木事務所 玉村町教育委員会 玉村町機械化組合 玉村町立中央小学校 玉村町文化センターをはじめ関係機関ならびに多くの方々のご協力、ご指導をいただきました。記して感謝いたします。
- 10、弥生土器について、財団法人とちぎ生涯学習文化財埋蔵文化財センター 藤田典夫氏の助言を頂いた。記して感謝いたします。
- 11、出土資料に関し、飯田陽一、女屋和志雄、徳江秀夫、桜岡正信、大西雅広の当事業団職員に助言を得ている。なお、板碑については新倉明彦に観察をお願いした。
- 12、樹種同定は、株式会社古環境研究所に分析委託した。
- 13、発掘調査諸資料および出土品は、群馬県埋蔵文化財調査センターに保管してある。

## 凡 例

- 1、挿図に示す方位記号は国家座標（世界測地系）の座標北を基準としている。
- 2、遺構および遺物実測図中の縮尺は、それぞれの図中に表示している。
- 3、遺構の呼称は算用数字を用い、住居、掘立柱建物、溝、土坑、など種別ごとに番号を付した。また、遺構番号は福島飯塚遺跡（1区～6区）を通した一連とすることを基本としている。  
なお、遺構名称は発掘調査時の呼称および番号に従った。
- 4、報告にある火山噴出物の標記は以下の通りである。  
As-A : 浅間山A軽石 1783年（天明3年）  
As-B : 浅間山B軽石 1108年（天仁元年）  
Hr-FP : 榛名二ッ岳軽石 6世紀中頃  
Hr-FA : 榛名二ッ岳火山灰 6世紀初頭  
As-C : 浅間山C軽石 3世紀後半
- 5、遺構図および遺物実測図中のスクリーントーンは以下の通りである。

 As-B       粘土       焼土

 漆       石器磨り面

# 目次

序	
例言	
凡例	
挿図目次	
写真図版目次	
表目次	

## I 発掘調査と遺跡の概要

1 発掘調査に至る経過	1
2 整理業務の経過	3
3 遺跡の立地と周辺の遺跡	
a 遺跡の立地	3
b 周辺の遺跡	5
4 発掘調査の方法と経過	
a グリッドの設定	9
b 調査区の設定	9
c 調査の方法	9
d 調査経過	9

## II 発掘調査の記録

1 遺跡の概要	
a 基本土層と遺構確認面	12
b 遺構の概要	13
2 1区の調査内容	
a 6面の遺構と遺物	20
住居	20
土坑	20
ピット	30
b 5面の遺構と遺物	41
住居	41
土坑	57
井戸	59
溝	62
水田	65
畦	65
c 4面の遺構と遺物	70
土坑	70
ピット	70
耕作痕	70
溝	70
水田	72
d 3面の遺構と遺物	80
土坑	80
溝	80
水田	80
畦	80
e 1面の遺構	85
溝	85
復旧溝	85
畠	85
f グリッド出土遺物	90
3 2区の調査内容	
a 6面の遺構と遺物	109
方形周溝墓	109
1号埋甕	109
井戸	110
溝	110

b 5面の遺構と遺物	112
住居	112
井戸	119
溝	119
水田	122
c 4面の遺構と遺物	124
1号館	124
土坑	127
掘立柱建物	154
柵列	176
竪穴	176
ピット群	176
井戸	176
溝	188
水田	194
d 3面の遺構と遺物	203
溝	203
水田	204
16号溝出土の板碑について(新倉昭彦)	204
e 2面の調査面	211
f 1面の遺構と遺物	214
復旧溝	214
溝	217
g グリッド出土遺物	220
4 3区の調査内容	
a 6面の遺構	227
土坑	227
溝	227
b 5面の遺構	229
水田	229
土坑	229
c 4面の遺構	239
溝	239
畦	239
d 3面の遺構	244
畠	245
溝	245
e 1面の遺構	247
溝	247
復旧溝	247
f グリッド出土遺物	247
5 6区の調査内容	
a 溝	251
b 水田	251
6 調査のまとめ	254
7 火山灰分析	256
8 樹種同定分析	258

遺物観察表	264
写真図版	
報告書抄録	
付図	

# 挿 図 目 次

第 1 図	遺跡位置図 (国土地理院1/20万「宇都宮」[長野])	1	第 61 図	1 区38~43・46号溝土層断面図	79
第 2 図	国道354号高崎玉村バイパス路線図	2	第 62 図	1 区第 3 面全体図	81
第 3 図	地形模式図	4	第 63 図	1 区308号土坑、10・13・23・211・212・253号溝、 12号畦と23号溝出土遺物	82
第 4 図	遺跡分布図 (国土地理院1/5千「前橋」[高崎])	6	第 64 図	1 区207~210・264号溝	83
第 5 図	グリッド設定図	12	第 65 図	1 区10・11・13号畦	84
第 6 図	基本土層図	14	第 66 図	1 区第 1 面全体図	86
第 7 図	第 6 面全体図	16	第 67 図	1 区 1 号溝	87
第 8 図	第 5 面全体図	16	第 68 図	1 区 9 号溝、11・22号復旧溝	88
第 9 図	第 4 面全体図	17	第 69 図	1 区 1 号畠	89
第 10 図	第 3 面全体図	17	第 70 図	1 区 1 号畠土層断面図	90
第 11 図	第 2 面全体図	18	第 71 図	1 区グリッド出土遺物 (1)	91
第 12 図	第 1 面全体図	18	第 72 図	1 区グリッド出土遺物 (2)	92
第 13 図	1 区第 6 面全体図	19	第 73 図	1 区グリッド出土遺物 (3)	93
第 14 図	1 区19号住居と出土遺物	21	第 74 図	1 区グリッド出土遺物 (4)	94
第 15 図	1 区23号住居と出土遺物	23	第 75 図	1 区グリッド出土遺物 (5)	95
第 16 図	1 区72号土坑と出土遺物	24	第 76 図	1 区グリッド出土遺物 (6)	96
第 17 図	1 区73~81号土坑と81号土坑出土遺物	25	第 77 図	1 区グリッド出土遺物 (7)	97
第 18 図	1 区82~85・150~154号土坑と83号土坑出土遺物	26	第 78 図	1 区グリッド出土遺物 (8)	98
第 19 図	1 区306・307・355・357~359・361・362・369・ 383・386号土坑と出土遺物	27	第 79 図	1 区グリッド出土遺物 (9)	99
第 20 図	1 区 1 号掘立柱建物	28	第 80 図	1 区グリッド出土遺物 (10)	100
第 21 図	1 区24号掘立柱建物	29	第 81 図	1 区グリッド出土遺物 (11)	101
第 22 図	1 区ピット (1)	31	第 82 図	1 区グリッド出土遺物 (12)	102
第 23 図	1 区ピット (2) と 1 号ピット出土遺物	33	第 83 図	1 区グリッド出土遺物 (13)	103
第 24 図	1 区11・32・34号井戸と34号井戸出土遺物	33	第 84 図	1 区グリッド出土遺物 (14)	104
第 25 図	1 区A号・B号方形周溝墓 (226・237・242・251号溝)	36	第 85 図	1 区グリッド出土遺物 (15)	105
第 26 図	1 区226・237・238・242号溝出土遺物	37	第 86 図	2 区第 6 面全体図	107
第 27 図	1 区65~67・228・247号溝	38	第 87 図	2 区 1 号方形周溝墓	108
第 28 図	1 区235・238・245・246・250号溝	39	第 88 図	2 区 1 号埋甕	109
第 29 図	1 区223・233号溝と出土遺物	40	第 89 図	2 区22号井戸と出土遺物	110
第 30 図	1 区第 5 面全体図	42	第 90 図	2 区230・231号溝	110
第 31 図	1 区 3 号住居と出土遺物 (1)	43	第 91 図	2 区第 5 面全体図	111
第 32 図	1 区 3 号住居出土遺物 (2)	44	第 92 図	2 区 1 号住居	113
第 33 図	1 区13号住居	45	第 93 図	2 区 1 号住居土層断面図	114
第 34 図	1 区13号住居出土遺物 (1)	46	第 94 図	2 区 1 号住居と出土遺物 (1)	115
第 35 図	1 区13号住居出土遺物 (2)	47	第 95 図	2 区 1 号住居出土遺物 (2)	116
第 36 図	1 区14号住居 (1)	49	第 96 図	2 区 2 号住居	117
第 37 図	1 区14号住居 (2)	50	第 97 図	2 区 2 号住居と出土遺物	118
第 38 図	1 区15号住居と出土遺物	51	第 98 図	2 区 6 号住居	120
第 39 図	1 区16号住居	52	第 99 図	2 区 4 号井戸と出土遺物	120
第 40 図	1 区16号住居出土遺物	53	第 100 図	2 区45・263号溝	121
第 41 図	1 区17号住居と出土遺物	54	第 101 図	2 区44・215号溝	122
第 42 図	1 区18号住居・22号住居	55	第 102 図	2 区 1 ~ 4 号畦	123
第 43 図	1 区20号住居と出土遺物	56	第 103 図	2 区第 4 面全体図	125
第 44 図	1 区 234・305・322・323・325 ~ 327・331・333 ~ 339・343・344・347~349・352・354号土坑	58	第 104 図	2 区 2・3・5 ~ 7・12~14・16~18号土坑	126
第 45 図	1 区71・329号土坑と出土遺物	60	第 105 図	2 区19・21~25号土坑	135
第 46 図	1 区土坑と出土遺物	61	第 106 図	2 区26・28~35号土坑	136
第 47 図	1 区23~31号井戸	63	第 107 図	2 区36~41号土坑	137
第 48 図	1 区24・31号井戸出土遺物	64	第 108 図	2 区42~48号土坑	138
第 49 図	1 区44・222・267号溝	64	第 109 図	2 区49~56・322号土坑	139
第 50 図	1 区224号溝と出土遺物	66	第 110 図	2 区58~61・63・66~69・71・72・75・76号土坑	140
第 51 図	1 区227・229・232・236・239~241・249号溝	67	第 111 図	2 区73・74・77~79・88~90・92号土坑	141
第 52 図	1 区243・244・248・252・254~259号溝	68	第 112 図	2 区94~100号土坑	142
第 53 図	1 区 1 ~ 5 号畦	69	第 113 図	2 区101~107号土坑	143
第 54 図	1 区第 4 面全体図	71	第 114 図	2 区108~111・114号土坑	144
第 55 図	1 区 1 ~ 4 号耕作痕、310・384・385号土坑、 80・81号ピット	73	第 115 図	2 区112・113・115~119・121・122号土坑	145
第 56 図	1 区11・12・14・15号溝	74	第 116 図	2 区120・123~129・148号土坑	146
第 57 図	1 区25・214号溝、7 ~ 9 号畦と25号溝出土遺物	75	第 117 図	2 区130~135・137号土坑	147
第 58 図	1 区26号溝	76	第 118 図	2 区140~145・147・149~152・155号土坑	148
第 59 図	1 区37・220・260号溝、6号畦と37号溝出土遺物	77	第 119 図	2 区153・154・157~159・162・163・166号土坑	149
第 60 図	1 区38~43・46号溝	78	第 120 図	2 区167・168・173・175~178・180~182・213 ・214・216号土坑	150
			第 121 図	2 区217~220・222~226号土坑	151



第122図	2区227～230・317～321号土坑と土坑出土遺物(1)・152
第123図	2区土坑出土遺物(2)・153
第124図	2区掘立柱建物、柵列 分類一覧図・155
第125図	2区2号掘立柱建物・156
第126図	2区3号掘立柱建物・159
第127図	2区4号掘立柱建物・160
第128図	2区4号掘立柱建物土層断面図・161
第129図	2区7号掘立柱建物・162
第130図	2区8号掘立柱建物・163
第131図	2区9号掘立柱建物・164
第132図	2区10号掘立柱建物・165
第133図	2区11号掘立柱建物・166
第134図	2区12号掘立柱建物・167
第135図	2区13号掘立柱建物・168
第136図	2区14号掘立柱建物・169
第137図	2区15号掘立柱建物・170
第138図	2区16号掘立柱建物・171
第139図	2区17号掘立柱建物・172
第140図	2区17号掘立柱建物断面図・173
第141図	2区2号柵列・174
第142図	2区1号柵列と1号竪穴・175
第143図	2区1号館内ピット・177・178
第144図	2区1号館内ピット断面図(1)・179
第145図	2区1号館内ピット断面図(2)・180
第146図	2区1号館内ピット断面図(3)・181
第147図	2区1号館内ピット断面図(4)・182
第148図	2区1～3・5号井戸・189
第149図	2区6～9号井戸・190
第150図	2区10・12・13・17・18号井戸・191
第151図	2区井戸出土遺物(1)・192
第152図	2区井戸出土遺物(2)・193
第153図	2区25・26号溝・195
第154図	2区48・56・57号溝(1号館)・196
第155図	2区48・56・57号溝土層断面と48号溝出土遺物・197
第156図	2区49・50・51号溝・197
第157図	2区52～55・58号溝と58号溝出土遺物・198
第158図	2区56号溝出土遺物・199
第159図	2区56・57号溝出土遺物・200
第160図	2区68号溝と出土遺物・201
第161図	2区69・70・129・140・161号溝・202
第162図	2区5・6号畦と耕作痕・203
第163図	2区第3面全体図・205
第164図	2区16～24・27号溝・206

第165図	2区16～24・27号溝・207
第166図	2区203・204号溝、7・8・10号畦・208
第167図	2区9号畦・209
第168図	2区16号溝出土遺物(1)・210
第169図	2区16号溝出土遺物(2)・211
第170図	2区第2面全体図・212
第171図	2区第1面全体図・213
第172図	2区1・2号復旧溝・214
第173図	2区3～6・10号復旧溝・215
第174図	2区2・3号溝・216
第175図	2区2・3号溝断面図・217
第176図	2区4号溝・218
第177図	2区4・5・9号溝と4号溝出土遺物・219
第178図	2区グリッド出土遺物(1)・221
第179図	2区グリッド出土遺物(2)・222
第180図	2区グリッド出土遺物(3)・223
第181図	2区グリッド出土遺物(4)・224
第182図	2区グリッド出土遺物(5)・225
第183図	3区第6面全体図・228
第184図	3区301～304・311～316号土坑・230
第185図	3区71・72・73号溝・231
第186図	3区74・111・112・206号溝・232
第187図	3区114・116号溝・233
第188図	3区113・115・205号溝・234
第189図	3区217～219・221・265・266号溝・235
第190図	3区第5面全体図・236
第191図	3区86・87号土坑と87号土坑出土遺物・237
第192図	3区第5面土層断面図・237
第193図	3区第4面全体図・238
第194図	3区28～30・60号溝・240
第195図	3区31・33・47号溝、1号畦・241
第196図	3区34・35・36号溝・242
第197図	3区第3面全体図・243
第198図	3区11・12号畠・244
第199図	3区201・202・262号溝・245
第200図	3区16・61～64号溝・246
第201図	3区第1面全体図・248
第202図	3区6～8号溝・249
第203図	3区261号溝と7～9号復旧溝・250
第204図	3区グリッド出土遺物・251
第205図	6区第5面全体図・252
第206図	6区土層断面と225号溝出土遺物・253
第207図	2区1号館平面図・255

## 表 目 次

表1	遺跡一覧表・7
表2	1区1号掘立柱建物 柱穴計測表・28
表3	1区24号掘立柱建物 柱穴計測表・29

表4	2区4面館内ピット類一覧表・183～187
表5	2区グリッド出土遺物出土位置・220

## 写真図版 目次

P L 1	遺跡を上空から望む 上方が北 (航空写真)
P L 2	遺跡を上空から望む 上方が西 (航空写真)
P L 3	1 1区第1面全景 北から 2 1区第3面全景 東から
P L 4	1 1区第4面全景 南から 2 1区第5面全景 西から
P L 5	1 1区第5面3号住居 南から 2 1区第5面3号住居 東から 3 1区第5面3号住居遺物出土状態 4 1区第5面13号住居 東南から

5	1区第5面13号住居焼土 東南から
6	1区第5面13号住居カマド使用面 南西から
7	1区第5面13号住居掘り方 北西から
8	1区第5面14号住居カマド使用面 北から
P L 6	1 1区第5面14号住居掘り方 北から 2 1区第5面15号住居 南西から 3 1区第5面15号住居 南西から 4 1区第5面16号住居 南西から 5 1区第5面16号住居カマド 南西から 6 1区第5面16号住居カマド 南西から

	7	1区第5面16号住居	南西から		2	1区第6面359号土坑	東から
	8	1区第5面16号住居掘り方	南東から		3	1区第6面361号土坑	東南から
P L 7	1	1区第5面17号住居	北西から		4	1区第6面362号土坑	南西から
	2	1区第5面17号住居掘り方	西南から		5	1区第6面386号土坑土層断面	
	3	1区第5面18号住居掘り方	北西から		6	1区第5面364号土坑土層断面	
	4	1区第6面19号住居	南から		7	1区第5面365・366号土坑土層断面	
	5	1区第5面20号住居カマド	北から		8	1区第4面385号土坑土層断面	
	6	1区第5面20号住居カマド掘り方	北から	P L 16	1	1区第6面1号掘立柱建物	南から
	7	1区第5面22号住居	北西から		2	1区第6面24号掘立柱建物	北から
P L 8	8	1区第6面23号住居	北西から		3	1区第6面11号井戸	南から
	1	1区第5面71号土坑	南西から		4	1区第6面11号井戸土層断面	
	2	1区第5面71号土坑土層断面			5	1区第6面11号井戸西側落込み状遺構	
	3	1区第6面72号土坑	南西から		6	1区第6面11号井戸西側落込み土層断面	
	4	1区第6面72号土坑土層断面			7	1区第5面23号井戸	北から
	5	1区第6面73号土坑	南から		8	1区第5面23号井戸土層断面	
	6	1区第6面73号土坑土層断面		P L 17	1	1区第5面24号井戸	東から
	7	1区第6面74号土坑	南から		2	1区第5面24号井戸土層断面	
	8	1区第6面74号土坑土層断面			3	1区第5面25号井戸	東から
P L 9	1	1区第6面81号土坑	北から		4	1区第5面25号井戸土層断面	
	2	1区第6面81号土坑土層断面			5	1区第5面26号井戸	東から
	3	1区第6面82号土坑	南から		6	1区第5面26号井戸土層断面	
	4	1区第6面82号土坑土層断面			7	1区第5面27号井戸	東から
	5	1区第6面83号土坑	南から		8	1区第5面27号井戸土層断面	
	6	1区第6面83号土坑土層断面		P L 18	1	1区第5面28号井戸	南から
	7	1区第6面84号土坑	南から		2	1区第5面28号井戸土層断面	
	8	1区第6面85号土坑	南西から		3	1区第5面29号井戸	西から
P L 10	1	1区第6面85号土坑土層断面			4	1区第5面30号井戸	西から
	2	1区第6面150・151号土坑	南東から		5	1区第5面31号井戸	東から
	3	1区第6面150・151号土坑土層断面			6	1区第6面32号井戸	西から
	4	1区第6面152号土坑	南から		7	1区第6面34号井戸	北から
	5	1区第6面152号土坑土層断面			8	1区第6面34号井戸遺物出土状態	
	6	1区第6面153号土坑	南から	P L 19	1	1区第1面1号溝	北から
	7	1区第6面154号土坑	南から		2	1区第1面1号溝南壁土層断面	
	8	1区第6面154号土坑土層断面			3	1区第1面1号溝北壁土層断面	
P L 11	1	1区第5面234号土坑	西から		4	1区第1面9号溝	東から
	2	1区第5面305号土坑	東から		5	1区第1面9号溝土層断面	
	3	1区第6面306号土坑	東から		6	1区第3面10・13号溝	南から
	4	1区第3面308号土坑	東から		7	1区第4面11号溝	西から
	5	1区第3面308号土坑土層断面		P L 20	1	1区第4面11号溝土層断面	
	6	1区第4面310号土坑	南東から		2	1区第4面11号溝土層断面	
	7	1区第4面310号土坑土層断面			3	1区第4面12号溝	南から
	8	1区第5面322号土坑	北から		4	1区第4面14号溝	西から
P L 12	1	1区第5面322号土坑土層断面			5	1区第3面23号溝	西から
	2	1区第5面323号土坑	北から		6	1区第4面25号溝土層断面	
	3	1区第5面323号土坑土層断面			7	1区第4面25号溝	西から
	4	1区第5面325号土坑土層断面		P L 21	1	1区第4面26号溝	西から
	5	1区第5面326・327号土坑	東から		2	1区第4面37号溝	北から
	6	1区第5面326・327号土坑土層断面			3	1区第4面38・46号溝土層断面	
	7	1区第5面329号土坑土層断面			4	1区第4面38・39・40・41・42・43・46号溝	西から
	8	1区第5面333・334号土坑土層断面			5	1区第4面39・40号溝土層断面	
P L 13	1	1区第5面335号土坑土層断面			6	1区第4面42・43号溝土層断面	
	2	1区第5面336号土坑土層断面		P L 22	1	1区第6面65・66・67号溝	東から
	3	1区第5面337号土坑土層断面			2	1区第3面207号溝	北から
	4	1区第5面338号土坑土層断面			3	1区第3面208・209・210号溝	南から
	5	1区第5面339号土坑土層断面			4	1区第3面211号溝	西から
	6	1区第5面342号土坑	北東から	P L 23	1	1区第3面212号溝	南から
	7	1区第5面342号土坑土層断面			2	1区第4面214号溝	西から
	8	1区第5面344号土坑	南東から		3	1区第4面220号溝	西から
P L 14	1	1区第5面347号土坑	南から		4	1区第5面222号溝	南東から
	2	1区第5面347号土坑土層断面			5	1区第6面223号溝	西から
	3	1区第5面348号土坑	南から		6	1区第6面226号溝	東から
	4	1区第5面349号土坑	北東から		7	1区第5面227号溝	北から
	5	1区第5面352号土坑	西から	P L 24	1	1区第6面228号溝	西から
	6	1区第6面355号土坑	東から		2	1区第5面229号溝	南から
	7	1区第5面356号土坑	南から		3	1区第6面233号溝	東から
	8	1区第6面357号土坑土層断面			4	1区第6面235号溝	西から
P L 15	1	1区第6面358号土坑	東から		5	1区第6面242号溝	南東から

	6	1区第6面242号溝土層断面		2	2区第4面41・42号土坑 南から
	7	1区第6面245・246・247号溝 西から		3	2区第4面41号土坑土層断面
P L 25	1	1区第6面237号溝 南東から		4	2区第4面42号土坑土層断面
	2	1区第5面240・241号溝 東から		5	2区第4面43号土坑 南から
	3	1区第5面248号溝 南西から		6	2区第4面44号土坑 西から
	4	1区第5面249号溝 北から		7	2区第4面43・44号土坑土層断面
	5	1区第6面250号溝 北西から		8	2区第4面46号土坑 南から
	6	1区第6面251号溝 北東から	P L 36	1	2区第4面46号土坑土層断面
P L 26	1	1区第1面11号復旧溝 東から		2	2区第4面47号土坑 南西から
	2	1区第1面22号復旧溝 南から		3	2区第4面50号土坑土層断面
	3	1区第1面1号畠 南から		4	2区第4面51号土坑土層断面
	4	1区第4面1・2号耕作痕 西から		5	2区第4面52号土坑土層断面
	5	1区第4面3号耕作痕 西から		6	2区第4面53号土坑 南から
	6	1区第4面4号耕作痕 南東から		7	2区第4面53号土坑土層断面
P L 27	1	2区第1面全景 上空から 上方が北		8	2区第4面54号土坑 南から
	2	2区第3面全景 上空から 上方が南	P L 37	1	2区第4面54号土坑土層断面
P L 28	1	2区第4面全景 上空から 上方が南		2	2区第4面55号土坑 南西から
	2	2区第5面全景 上空から 上方が南		3	2区第4面55号土坑土層断面
P L 29	1	2区第5面1号住居遺物出土状態 北東から		4	2区第4面56号土坑 南から
	2	2区第5面1号住居掘り方 南西から		5	2区第4面56号土坑土層断面
	3	2区第5面1号住居カマド掘り方		6	2区第4面58号土坑土層断面
	4	2区第5面2号住居 南西から		7	2区第4面59号土坑 南西から
	5	2区第5面2号住居掘り方 北西から		8	2区第4面59号土坑土層断面
	6	2区第5面2号住居貯蔵穴 北東から	P L 38	1	2区第4面60号土坑 西から
	7	2区第5面1・2号住居掘り方 南西から		2	2区第4面60号土坑土層断面
	8	2区第5面6号住居土層断面		3	2区第4面61・72号土坑 南から
P L 30	1	2区第4面2号土坑土層断面		4	2区第4面61号土坑土層断面
	2	2区第4面3号土坑 南西から		5	2区第4面63号土坑土層断面
	3	2区第4面5号土坑 南東から		6	2区第4面69号土坑土層断面
	4	2区第4面6号土坑 南西から		7	2区第4面71号土坑 南から
	5	2区第4面7号土坑 東から		8	2区第4面73号土坑 南から
	6	2区第4面16号土坑 東から	P L 39	1	2区第4面73号土坑土層断面
	7	2区第4面16号土坑土層断面		2	2区第4面74号土坑 東から
	8	2区第4面17・19号土坑 南から		3	2区第4面74号土坑土層断面
P L 31	1	2区第4面17号土坑土層断面		4	2区第4面78号土坑土層断面
	2	2区第4面19号土坑土層断面		5	2区第4面88・89号土坑 東南から
	3	2区第4面21・22号土坑 南から		6	2区第4面88号土坑土層断面
	4	2区第4面21号土坑土層断面		7	2区第4面89号土坑土層断面
	5	2区第4面23・24号土坑 北から		8	2区第4面90号土坑 北から
	6	2区第4面23号土坑土層断面	P L 40	1	2区第4面90号土坑土層断面
	7	2区第4面24号土坑土層断面		2	2区第4面92号土坑 北から
	8	2区第4面25・26号土坑 北から		3	2区第4面92号土坑土層断面
P L 32	1	2区第4面25号土坑土層断面		4	2区第4面94号土坑土層断面
	2	2区第4面26号土坑土層断面		5	2区第4面95号土坑 南から
	3	2区第4面28号土坑 東から		6	2区第4面95号土坑土層断面
	4	2区第4面28号土坑土層断面		7	2区第4面96号土坑 西から
	5	2区第4面29号土坑 南から		8	2区第4面96号土坑土層断面
	6	2区第4面29号土坑土層断面	P L 41	1	2区第4面97号土坑 西から
	7	2区第4面30号土坑 南から		2	2区第4面97号土坑土層断面
	8	2区第4面30号土坑土層断面		3	2区第4面98号土坑 東南から
P L 33	1	2区第4面31号土坑 北から		4	2区第4面99号土坑 南から
	2	2区第4面31号土坑土層断面		5	2区第4面99号土坑土層断面
	3	2区第4面33号土坑 東から		6	2区第4面100号土坑土層断面
	4	2区第4面33号土坑土層断面		7	2区第4面101号土坑 南から
	5	2区第4面34号土坑 南から		8	2区第4面101号土坑土層断面
	6	2区第4面34号土坑土層断面	P L 42	1	2区第4面102号土坑 東から
	7	2区第4面35号土坑 東から		2	2区第4面102号土坑土層断面
	8	2区第4面35号土坑土層断面		3	2区第4面103号土坑 東から
P L 34	1	2区第4面36号土坑 南から		4	2区第4面103号土坑土層断面
	2	2区第4面36号土坑土層断面		5	2区第4面104号土坑 西から
	3	2区第4面37号土坑 南から		6	2区第4面104号土坑土層断面
	4	2区第4面37号土坑土層断面		7	2区第4面105号土坑 南から
	5	2区第4面38号土坑 東から		8	2区第4面105号土坑土層断面
	6	2区第4面38号土坑土層断面	P L 43	1	2区第4面106号土坑 北から
	7	2区第4面39・40号土坑 南から		2	2区第4面106号土坑土層断面
	8	2区第4面39号土坑土層断面		3	2区第4面107号土坑 南から
P L 35	1	2区第4面40号土坑土層断面		4	2区第4面108号土坑土層断面

	5	2区第4面109号土坑	北から			8	2区第4面181号土坑	南から
	6	2区第4面109号土坑土層断面		P L 52	1	2区第4面181号土坑土層断面		
	7	2区第4面110号土坑	北から		2	2区第4面182号土坑	南から	
	8	2区第4面110号土坑土層断面			3	2区第4面182号土坑土層断面		
P L 44	1	2区第4面111号土坑土層断面			4	2区第4面214号土坑	南から	
	2	2区第4面112号土坑	南から		5	2区第4面216号土坑	南から	
	3	2区第4面112号土坑土層断面			6	2区第4面217号土坑	南から	
	4	2区第4面113号土坑土層断面			7	2区第4面218号土坑	東から	
	5	2区第4面114号土坑	東から		8	2区第4面219号土坑	南東から	
	6	2区第4面114号土坑土層断面		P L 53	1	2区第4面220号土坑土層断面		
	7	2区第4面115・122・123号土坑	北東から		2	2区第4面222号土坑土層断面		
	8	2区第4面115号土坑土層断面			3	2区第4面223号土坑土層断面		
P L 45	1	2区第4面122号土坑土層断面			4	2区第4面224号土坑遺物出土状態		
	2	2区第4面123号土坑土層断面			5	2区第4面225号土坑	南東から	
	3	2区第4面116号土坑	南西から		6	2区第4面225号土坑土層断面		
	4	2区第4面116号土坑土層断面			7	2区第4面226・227号土坑	北西から	
	5	2区第4面117号土坑	南西から		8	2区第4面226号土坑土層断面		
	6	2区第4面117号土坑土層断面		P L 54	1	2区第4面227号土坑土層断面		
	7	2区第4面118号土坑	西から		2	2区第4面228号土坑	北西から	
	8	2区第4面119号土坑	南から		3	2区第4面228号土坑土層断面		
P L 46	1	2区第4面119号土坑土層断面			4	2区第4面229号土坑	西から	
	2	2区第4面120号土坑	南から		5	2区第4面229号土坑土層断面		
	3	2区第4面120号土坑土層断面			6	2区第4面230号土坑	東から	
	4	2区第4面121号土坑	東南から		7	2区第4面317号土坑	南から	
	5	2区第4面121号土坑土層断面			8	2区第4面317号土坑土層断面		
	6	2区第4面124号土坑	東から	P L 55	1	2区第4面318号土坑	南から	
	7	2区第4面124号土坑土層断面			2	2区第4面318号土坑土層断面		
	8	2区第4面125号土坑	東から		3	2区第4面319号土坑	南から	
P L 47	1	2区第4面125号土坑土層断面			4	2区第4面319号土坑土層断面		
	2	2区第4面126号土坑	南西から		5	2区第4面320号土坑	北西から	
	3	2区第4面126号土坑土層断面			6	2区第4面320号土坑土層断面		
	4	2区第4面127号土坑土層断面			7	2区第4面321号土坑	南東から	
	5	2区第4面128号土坑	東から		8	2区第4面321号土坑土層断面		
	6	2区第4面128号土坑土層断面		P L 56	1	2区第4面館内掘立柱建物群	西から	
	7	2区第4面129号土坑	北から		2	2区第4面2・3号掘立柱建物	西から	
	8	2区第4面129号土坑土層断面			3	2区第4面2号掘立柱建物P1土層断面		
P L 48	1	2区第4面130号土坑土層断面			4	2区第4面2号掘立柱建物P4土層断面		
	2	2区第4面131号土坑土層断面			5	2区第4面4号掘立柱建物	東から	
	3	2区第4面132号土坑土層断面		P L 57	1	2区第4面4号掘立柱建物P1土層断面		
	4	2区第4面133号土坑土層断面			2	2区第4面4号掘立柱建物P3土層断面		
	5	2区第4面134号土坑土層断面			3	2区第4面7・8号掘立柱建物	南から	
	6	2区第4面135号土坑土層断面			4	2区第4面7号掘立柱建物P3土層断面		
	7	2区第4面144号土坑土層断面			5	2区第4面8号掘立柱建物P1土層断面		
	8	2区第4面145号土坑土層断面			6	2区第4面8号掘立柱建物P6土層断面		
P L 49	1	2区第4面147号土坑土層断面			7	2区第4面9号掘立柱建物	西から	
	2	2区第4面148号土坑土層断面			8	2区第4面9号掘立柱建物P3土層断面		
	3	2区第4面150号土坑	東から	P L 58	1	2区第4面10号掘立柱建物	西から	
	4	2区第4面151号土坑管玉出土状態			2	2区第4面11号掘立柱建物	西から	
	5	2区第4面154号土坑土層断面			3	2区第4面13号掘立柱建物	西から	
	6	2区第4面155号土坑	南から		4	2区第4面14号掘立柱建物	西から	
	7	2区第4面157号土坑	南西から		5	2区第4面15号掘立柱建物	西南から	
	8	2区第4面157号土坑土層断面			6	2区第4面16号掘立柱建物	西南から	
P L 50	1	2区第4面158号土坑土層断面			7	2区第4面1号柵列	西北から	
	2	2区第4面159号土坑	南から		8	2区第4面2号柵列	東から	
	3	2区第4面159号土坑土層断面		P L 59	1	2区第4面1号井戸	南から	
	4	2区第4面162号土坑	西から		2	2区第4面1号井戸土層断面		
	5	2区第4面163号土坑	南から		3	2区第4面2号井戸	東から	
	6	2区第4面163号土坑土層断面			4	2区第4面2号井戸土層断面		
	7	2区第4面166号土坑	西から		5	2区第4面3号井戸	南から	
	8	2区第4面166号土坑土層断面			6	2区第4面3号井戸土層断面		
P L 51	1	2区第4面167号土坑土層断面			7	2区第5面4号井戸	南から	
	2	2区第4面168号土坑土層断面			8	2区第5面4号井戸	西から	
	3	2区第4面175号土坑土層断面		P L 60	1	2区第4面5号井戸土層断面		
	4	2区第4面176号土坑	北から		2	2区第4面7号井戸	南から	
	5	2区第4面177号土坑	南から		3	2区第4面7号井戸土層断面		
	6	2区第4面177号土坑土層断面			4	2区第4面8号井戸	南から	
	7	2区第4面178号土坑土層断面			5	2区第4面8号井戸土層断面		

	6	2区第4面9号井戸	南から		7	3区第1面6号溝土層断面	
	7	2区第4面9号井戸土層断面			8	3区第1面7号溝土層断面	
	8	2区第4面9号井戸	南から	P L 71	1	3区第1面8号溝土層断面	
P L 61	1	2区第4面10号井戸	西から		2	3区第3面16号溝土層断面	
	2	2区第3・4面12号井戸	東から		3	3区第4面60号溝土層断面	
	3	2区第4面13号井戸	西南から		4	3区第3面61号溝土層断面	
	4	2区第4面13号井戸土層断面			5	3区第3面62号溝土層断面	
	5	2区第4面17号井戸	南東から		6	3区第3面63号溝土層断面	
	6	2区第4面18号井戸	南から		7	3区第3面64号溝土層断面	
	7	2区第4面18号井戸	西から		8	3区第6面71号溝土層断面	
	8	2区第6面22号井戸	南から	P L 72	1	3区第6面71号溝	北から
P L 62	1	2区第1面4号溝	南から		2	3区第6面72号溝	北から
	2	2区第1面5号溝土層断面			3	3区第6面73号溝	北西から
	3	2区第1面9号溝	西から		4	3区第6面74号溝	北東から
	4	2区第3面16号溝	南から	P L 73	1	3区第6面73号溝土層断面	
	5	2区第3面16号溝	東から		2	3区第6面74号溝土層断面	
	6	2区第3面16号溝板碑出土状態			3	3区第6面111号溝土層断面	
	7	2区第3面16号溝	西から		4	3区第6面112号溝土層断面	
P L 63	1	2区第3面21号溝南壁工具痕			5	3区第6面113号溝土層断面	
	2	2区第3面22号溝遺物出土状態			6	3区第6面113号溝土層断面	
	3	2区第3面23号溝	西から		7	3区第6面113・206号溝	南東から
	4	2区第4面26号溝	東から	P L 74	1	3区第6面116号溝	南から
	5	2区第5面45号溝	南から		2	3区第3面201・202号溝土層断面	
P L 64	1	2区第5面44号溝	西から		3	3区第3面201・202号溝	南から
	2	2区第4面48号溝土層断面			4	3区第3面201・202号溝土層断面	
	3	2区第4面49号溝	南西から		5	3区第6面205号溝土層断面	
	4	2区第4面50号溝	南から		6	3区第6面206号溝土層断面	
	5	2区第4面51号溝	南から		7	3区第6面217号溝	南から
	6	2区第4面52号溝	南から	P L 75	1	3区第6面217号溝	東から
	7	2区第4面53号溝	南から		2	3区第6面217号溝土層断面	
P L 65	1	2区第4面54号溝	南から		3	3区第6面218号溝土層断面	
	2	2区第4面56・57号溝	南から		4	3区第6面218号溝	西から
	3	2区第4面58号溝土層断面			5	3区第6面219号溝	北から
	4	2区第4面68号溝土層断面		P L 76	1	3区第6面221号溝	南から
	5	2区第4面69・70号溝	南から		2	3区第1面7号復旧溝	南から
P L 66	1	2区第4面129号溝	南から		3	3区第1面8号復旧溝	北から
	2	2区第4面161号溝	南から		4	3区第1面9号復旧溝	東から
	3	2区第3面203・204号溝	東から		5	3区第3面11号畠	西から
	4	2区第5面215号溝	西から		6	3区第3面12号畠	西から
	5	2区第6面230号溝	東から		7	3区第5面水田	東から
	6	2区第6面231号溝	西から	P L 77	1	6区第5面全景	上空から 上方が北
P L 67	1	2区第1面4号復旧溝	南から		2	6区第5面225号溝土層断面	
	2	2区第1面5号復旧溝	南から		3	6区第5面225号溝土層断面	
	3	2区第1面6号復旧溝	西から		4	6区第5面225号溝土層断面	
	4	2区第1面10号復旧溝	南から		5	6区第5面225号溝土層断面	
	5	2区第4面1号堅穴遺構	東から				
	6	2区第4面耕作痕	西から	P L 78	1	1区出土遺物 (1)	
	7	2区第6面1号周溝墓	北西から	P L 79	1	1区出土遺物 (2)	
	8	2区第6面1号埋葬出土状態		P L 80	1	1区出土遺物 (3)	
P L 68	1	3区第5面全景	上空から 上方が北	P L 81	1	1区出土遺物 (4)	
	2	3区第5面86号土坑	南から	P L 82	1	1区出土遺物 (5)	
	3	3区第5面86号土坑土層断面		P L 83	2	2区出土遺物 (6)	
	4	3区第5面87号土坑	北から	P L 84	2	2区出土遺物 (7)	
	5	3区第6面301号土坑	西から	P L 85	2	2区出土遺物 (8)	
P L 69	1	3区第6面301号土坑土層断面		P L 86	2・3・6	区出土遺物 (9)	
	2	3区第6面302号土坑	南西から	P L 87	1	1区出土遺物 (10)	
	3	3区第6面302号土坑土層断面		P L 88	1	1区出土遺物 (11)	
	4	3区第6面303号土坑	東から	P L 89	1	1区出土遺物 (12)	
	5	3区第6面304号土坑	東から	P L 90	1	1区出土遺物 (13)	
	6	3区第6面304号土坑土層断面		P L 91	1・2・3	区出土遺物 (14)	
	7	3区第6面311号土坑	東から				
	8	3区第6面312号土坑	東から				
P L 70	1	3区第6面313号土坑	北から				
	2	3区第6面313号土坑土層断面					
	3	3区第6面314号土坑	北から				
	4	3区第6面314号土坑土層断面					
	5	3区第6面315・316号土坑	東から				
	6	3区第6面315・316号土坑土層断面					

火山灰分析 図表目次	
第1図	1号周溝墓南北セクション北地点の土層柱状図……257
第2図	1号周溝墓東西セクション西地点の土層柱状図……257
第1表	福島飯塚遺跡1号周溝墓における屈折率測定結果……257
樹種同定分析 図表目次	
第1表	福島飯塚遺跡における樹種同定結果……261
第1図	4区141号溝杭出土位置図と出土杭……262
第2図	141号溝出土杭(樹種同定分析)……263



# I 発掘調査と遺跡の概要

## 1. 発掘調査に至る経過

東毛広域幹線道路は、高崎駅東口を起点とし、伊勢崎市、太田市、館林市などの東毛地域の主要都市を結び、東北自動車道館林インターチェンジを経て、板倉町に至る延長58.6kmの広域幹線道路である。

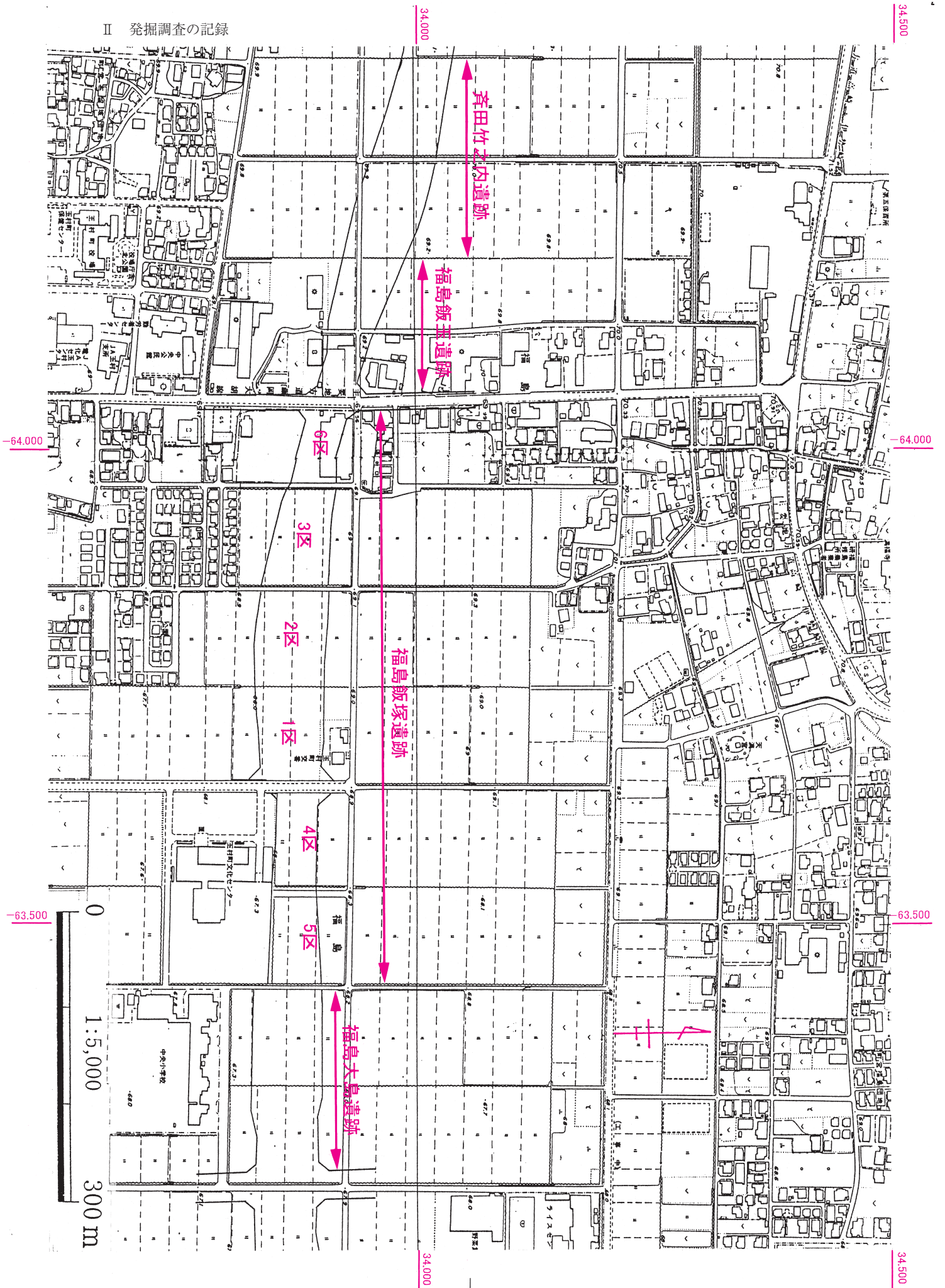
県央と東毛の地域間の連携を深め、沿線の産業立地、物流の効率化、生活圏の拡大など、地域発展に貢献する交通網の整備の一環として事業計画が策定されるものとなった。

昭和37年度に東北自動車道館林インターチェンジ周辺から事業化されて以降、順次工事が着手され、平成19年度には全体の72.5%の事業進捗率が見込まれている。この間、埋蔵文化財の発掘調査も順調に実施されている。

今回の玉村町地内の事業は、国道354号高崎玉村バイパスとして、平成5年度から道路改築事業として延長5.3kmが事業化された。計画路線内の埋蔵文



第1図 遺跡位置図（国土地理院1/20万「宇都宮」「長野」）



第2図 国道354号高崎玉村バイパス路線図



化財についても県教育委員会および県土木部、伊勢崎土木事務所による協議を経て、平成8年度から発掘調査が着手されることになった。

発掘調査は、工事工程との関連から主要地方道藤岡大胡バイパス（平成13年12月15日開通）から西側の計画路線から順次着手するものとなった。

平成8年度には、町道345号の袴橋部のカルパートボックス部の調査を福島大島遺跡として実施した。平成9年度には引き続き福島大島遺跡の調査を行った。平成10年度～平成12年度は、工事工程との関係により調査途中で的中断時期をはさみながら福島飯塚遺跡の発掘調査を実施した。なお、平成12年度には路線内の土質調査および土圧試験を行うため、斉田竹之内遺跡を部分的に2a区として先行調査を実施した。平成13年度は福島飯玉遺跡、斉田竹之内遺跡、平成14年度は福島飯玉遺跡、斉田竹之内遺跡、平成15年度は斉田中耕地遺跡、平成16年度は斉田中耕地遺跡、上新田中道東遺跡の発掘調査を行い、順次完了している。

なお、平成16年度の上新田中道東遺跡の発掘調査からは、計画路線全線ではなく、側道部のみの調査となっている。

高崎玉村バイパス建設も進み、平成13年12月には主要地方道藤岡大胡バイパスから主要地方道藤岡大胡線間の0.82kmが暫定2車線で部分開通し、平成18年3月には主要地方道藤岡大胡線から都市計画道路与六分前橋線間の1.2kmが供用開始となった。引き続き工事工程に沿って埋蔵文化財発掘調査が実施される予定となっている。

## 2. 整理業務の経過

国道354号高崎玉村バイパスに関連する発掘調査は、概ね前記のように実施されてきた。発掘調査は平成8年度から継続的（一時中断）に実施されていることから、整理業務および発掘調査報告書の刊行についてもなるべく近接した時期に着手し、整理業務の進捗をはかるとともに、調査報告書のすみやかな刊行が期待された。発掘調査が先行しているた

め、整理についても早期にという方向で協議が行われたが、発掘調査の進捗と関連して、整理業務については平成15年度から着手する計画となった。

玉村工区における埋蔵文化財中・長期整理計画については策定中であったが、整理業務1年次の平成15年度は調査遺跡のうち、特に平安時代の墨書土器が大量に出土した福島飯塚遺跡から着手する計画となった。報告書の刊行は次年度とし、整理業務も継続事業として実施された。

しかし、年度後半に至り継続事業として着手した整理業務について、急遽同年度にて一旦中断する事態となった。そのため、年度末にはその時点までの整理各種資料（遺物、図面、写真、その他記録類）をすべて収蔵庫へ撤収するとともに、整理業務そのものも1年次で中断ということになった。

その後、2年間の中断期間をおいて平成18年度に整理業務が再開され、『福島飯塚遺跡(1)』（群埋文調査報告書第400集）を刊行した。今年度は、継続事業となり『福島飯塚遺跡(2)』を刊行し、同遺跡の整理業務が完結することになる。なお、引き続き整理工程に沿って福島大島遺跡の資料整理業務についても着手する計画となっている。加えて、今年度より国道354号高崎玉村バイパス整理体制は2班となった。

## 3. 遺跡の立地と周辺の遺跡

### a 遺跡の立地

福島飯塚遺跡の所在する佐波郡玉村町は、関東平野の北西端に位置し、東経139°・北緯36°を測る。地形的には低湿地と微高地の違いによる多少の高低差はあるものの、北西方向から南東方向に緩やかに傾斜する平坦地となっている。標高は68m～69mを測る。町の北東部を利根川が北西から南東に流れ、西には井野川が南流している。また、南には井野川と合流し南東方向に流れる烏川がある。このように、この玉村町は古くから利根川や烏川といった大きな河川に囲まれた水利に恵まれてきた地である。町の郊外には圃場整備により整然と区画された水田

地帯が広がり、米麦二毛作を中心とした農業が行われている。また、赤城山・榛名山・妙義山に代表される上毛三山をはじめとし、さらに遠方には北に谷川岳、西には浅間山といった県境の山々を一望することができる。

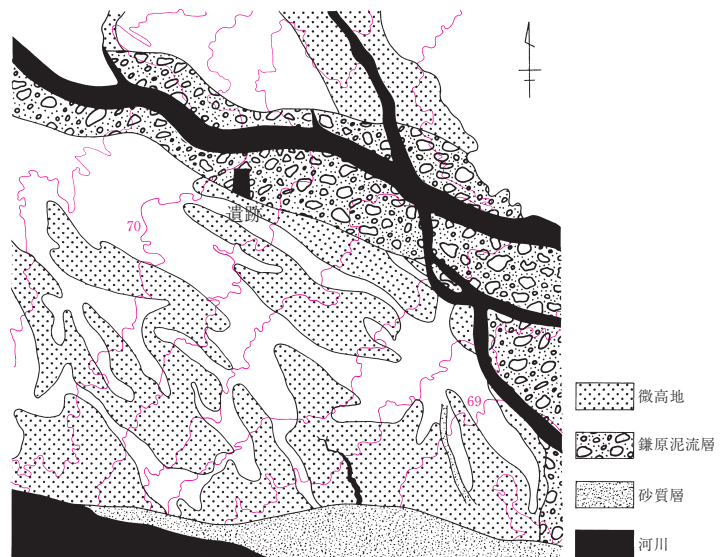
遺跡の南約1.3kmに日光例幣使道（現国道354）が東西に、西約3.5kmには関越自動車道が南北に走る。北約2.0kmには平成12年3月に伊勢崎 I.C まで開通した高崎を分岐点とする北関東自動車道が東西に横断する。遺跡周辺には近年、隣接する前橋市や高崎市、伊勢崎市などのベッドタウンとして住宅が激増し、人口もここ数年で著しく増加した。また、開発の余波による大型店舗の進出や工場、倉庫などといった企業関連の施設も増加の傾向にあり、それに伴い主要道路の建設や整備、利根川の橋架建設などの交通網の整備が大々的に行われ、町はここ数年で著しい発展を遂げてきている。

福島飯塚遺跡はこの玉村町の中央部利根川右岸、前橋台地の南端に立地する。この前橋台地は、洪積世後期、利根川によってもたらされた厚さ200m以上で堆積した前橋砂礫層の上に約20,000年～24,000年前の浅間山の三体崩壊に起因する前橋泥流が極めて短期的にこの台地を覆い堆積し形成されたものである。凝灰角礫岩を含むこの地層は前橋泥流堆積層と呼ばれ、西は群馬郡南部から高崎市北・東部の平野部へと広がり、東は前橋市の北東部から伊勢崎市西部にかけて厚さ10m以上堆積しており、烏川と広瀬川とに挟まれた県央の平野地域の基盤層となっている。この前橋泥流堆積層の上には、シルト・粘土・砂・泥炭層などによって構成されている水成ローム層が堆積しているが、シルト・泥炭層は水中や湿潤な環境で形成されることから、この時期の前橋台地が湿地状態であったことを示している。科学的分析によると、水成ローム層に含まれる泥炭質粘土層は約13,000年前という測定値を示し、現在の1000m～1500mの山岳地

帯の落葉樹林帯を形成する植生が推定できることから、ウルム氷期に比定されるようである。

こうして形成された前橋台地上には洪積世後期以降、利根川をはじめとする幾つかの小河川が流れ、小規模ながら氾濫原を各所に形成していった。特に台地の東側を流れる利根川は、榛名山南東裾野の末端を浸食する形で南流し、前橋市大手町付近から玉村町五料付近まではこの台地を貫通している。約24,000年前は、総社町辺りから新前橋～染谷川、滝川付近を流れ井野川に注いでいたとされ、その後約17,000年前には榛名山で発生した泥流により埋め立てられ、赤城南西麓縁の広瀬川低地帯にその流路を変更している。現在の河道に移ったのは中世後期であると考えられている。その後、利根川は大きな変流をこそ起きなかったが、洪水などの氾濫を度々起こし周辺の小河川に影響を与えながらこの台地を刻み続けた。その結果、後背湿地と微高地とが複雑に入り組んだ地形が形成されたのである。このように利根川の存在は玉村町の地形形成の大きな要因となっている。

利根川は、中世の変流後も幾度となく大洪水を引き起こし、近年に至っても昭和22年のキャサリン台風の直撃を受け、町は氾濫によって大きな被害を被っている。本遺跡からも利根川の洪水堆積層に被覆された水田跡や同層に埋没した館跡が確認されている。



第3図 地形模式図

## b 周辺の遺跡

玉村町は近年著しい開発に伴い、多くの発掘調査が行われている。その調査結果から周辺地域の歴史が明らかになってきている。

【旧石器時代】 現在の地形が形成されたのは2万数千年前とされ、しかも低湿地であったため人間が生活できる環境ではなかったとされている。

【縄文時代】 縄文時代の遺構は台地縁辺部にわずかに認められる程で、この時代の遺跡は稀薄である。福島曲戸遺跡(8)や上之手石塚Ⅲ遺跡(45)から土坑が検出されているが、これらに伴う集落は確認されておらず、前橋台地上は依然として湿潤な状態が続いたため、居住地としての環境を備えていなかったと考えられる。

【弥生時代】 玉村町の西に隣接する高崎市の井野川流域は県内では最も弥生文化の盛んな地域の一つであるが、玉村町にはその痕跡すら認められていない。上之手石塚Ⅲ遺跡から土坑が検出されている程度である。

しかし、今後の調査によって弥生時代の遺構が確認される可能性は少なくない。

【古墳時代】 玉村町に大規模な集落が形成されるようになったのは、4世紀初頭と考えられている。これは微高地部から古墳前期の土器が多く出土するようになり、遺跡の拡大傾向を示していることから推測される。

前期の集落跡は福島曲戸遺跡や福島稲荷木遺跡(5)、上之手八王子遺跡(42)、上飯島芝根Ⅱ遺跡(34)などがある。上之手八王子遺跡では竪穴住居の外周に方形の溝を巡らす環濠住居が検出されている。下郷遺跡(52)、北原遺跡(30)などの遺跡からは古墳時代前期の周溝墓が検出されている。中でも下郷遺跡では28基の方形周溝墓を中心に円形周溝墓や前方後円墳などが数多く検出されている。また、行花文鏡2面が出土した軍配山古墳(38)もこの時期の築造と考えられている。中期・後期の遺跡は小泉大塚越遺跡(28)、小泉長塚遺跡(29)などから検出された古墳や梨ノ木山古墳(37)、オトカ塚古墳(36)

などがある。特に小泉大塚越遺跡や小泉長塚遺跡で検出された古墳は「上毛古墳総覧」に記載されていない新たな古墳の発見であり、貴重な遺物も数多く出土し注目を集めた。福島曲戸遺跡や福島久保田遺跡(2)などの低地からは小区画水田などの生産遺構がHr-FA下から検出されている。

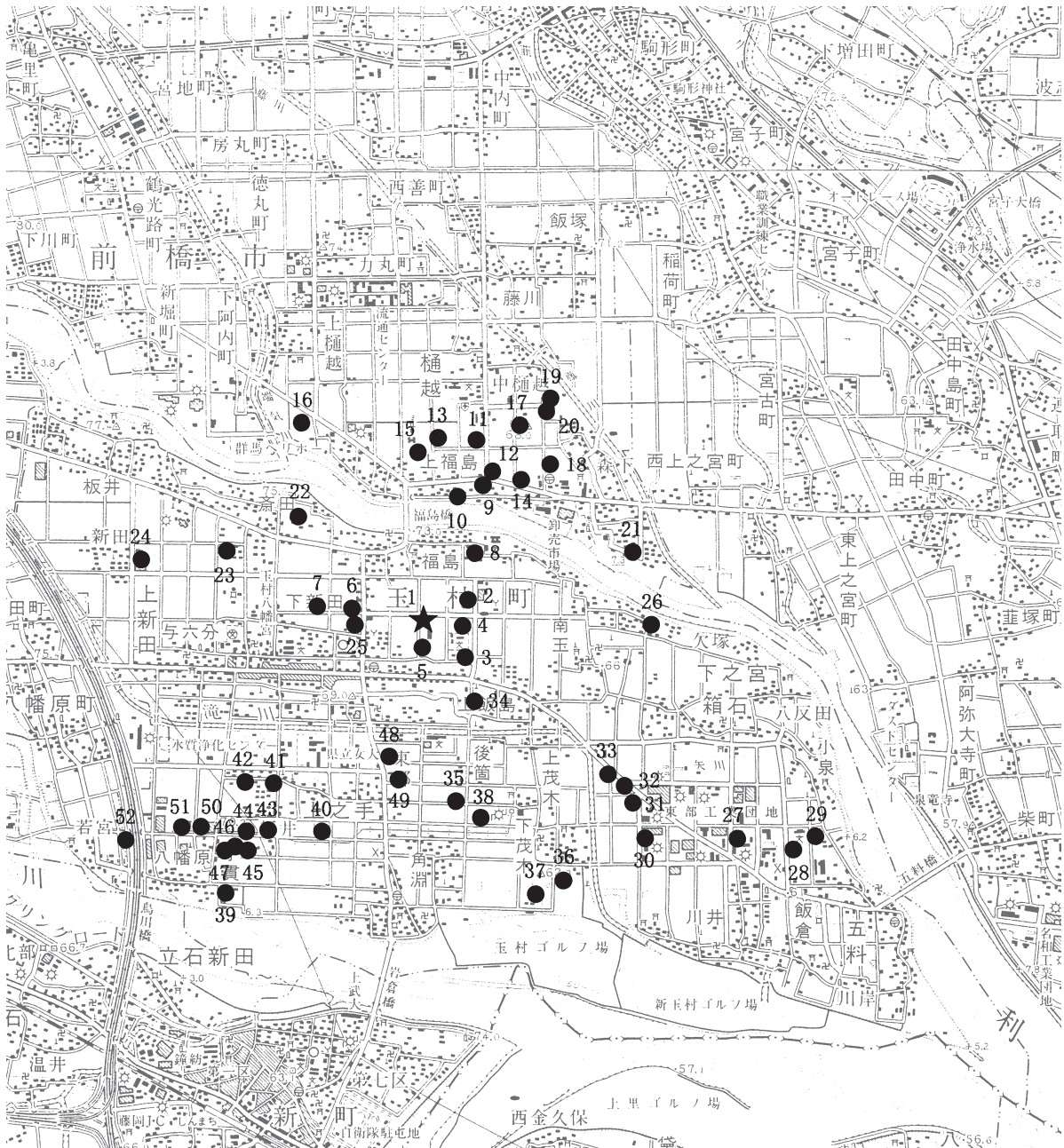
【奈良・平安時代】 倭名類聚抄によれば那波郡には朝倉、鞆田、田子、佐味、倭文、池田、荒束の七つの郷があり、このうち佐味・鞆田郷の一部、朝倉郷の一部が現在の玉村町に比定する可能性があると考えられている。この時期の集落は数多く存在し、福島稲荷木遺跡、上飯島芝根Ⅱ遺跡、上之手八王子遺跡、行人塚遺跡(44)、神人村Ⅱ遺跡(18)、原浦遺跡(19)、原浦Ⅱ遺跡(20)などで確認されている。金免遺跡(15)や深町遺跡(23)、中道西遺跡(24)、三境遺跡(33)、三境Ⅱ遺跡(32)からは1108年の浅間山噴火による軽石で埋まった水田跡を中心とした生産遺構が検出されている。一万田遺跡(14)では柵列や瓦が確認されており郡衙や寺などの施設が存在していたことが考えられる。また、砂町遺跡(13)や上福島尾柄町遺跡(11)からは推定東山道が検出されている。本遺跡においても溝から数多くの墨書土器が出土している。

【中・近世】 浅間山噴火による災害から、人々は再び水田区画をつくり始めた頃、微高地には周囲に溝を巡らせ、内部に堀立柱建物群の立ち並ぶ屋敷が出現し始める。田口下元屋敷跡(22)は齋田環濠屋敷群と呼ばれる中のひとつで、2重構えで外郭は東西80m×120m、内郭は東西45m×45mの規模をもち、1560年前後に築かれたものとされている。宇貫遺跡(50)では大堀を2重に巡らせた宇貫館と呼称される遺構が検出され、下郷遺跡や上之手石塚遺跡(47)、福島大光坊遺跡(3)、福島大島遺跡(4)、阿佐美館(17)などの遺跡からも中世の館跡が検出されている。本遺跡からも洪水層に埋没した館跡が検出されている。利根川変流以降この地域は度重なる水害の被害を受けていたため、洪水層下からは洪水ごとに復旧した水田や島が多く、遺跡から検出さ

れている。特に1783年の浅間山噴火に伴う泥流と軽石(As-A)に覆われた遺跡からは状態の良い遺構や遺物が検出されている。上福島中町遺跡(10)からは泥流に埋もれた建物跡や当時の生活用具が数多く検出され注目を集めた。また、利根川右岸の利根添遺跡(26)では矢川の堤防と村境の役割を果たして

いたと考えられる土手が検出され、樋越諏訪前遺跡(21)は家屋や植え込み、土手、畑などが検出されている。柄田添遺跡(16)、沖遺跡(27)、小泉大塚越遺跡、小泉長塚遺跡からは畑が検出され、特に柄田添遺跡では畑や水田から当時の耕作痕や足跡が明瞭な形で検出されている。

〔参考文献〕『玉村町誌』通史編上巻 玉村町教育委員会 1992  
『玉村町の遺跡－町内遺跡詳細分布調査報告書』玉村町教育委員会 1992



第4図 遺跡分布図(国土地理院1/5千「前橋」「高崎」)

第1表 遺跡一覧表

No.	遺跡名	所在地	遺跡の内容
1	福島飯塚遺跡	玉村町福島	本報告遺跡および『福島飯塚遺跡(1)』(群埋文第400集 2007)。
2	福島久保田遺跡	玉村町福島	古墳時代、平安時代の住居、水田。中世の掘立柱建物、水田。
3	福島大光坊遺跡	玉村町福島	古墳時代、奈良・平安時代の住居、水田。中世の屋敷堀等。
4	福島大島遺跡	玉村町福島	古墳時代の水田、平安時代の住居、水田。中世居館跡。
5	福島稲荷木遺跡	玉村町福島	古墳時代、奈良・平安時代の住居等。
6	福島飯玉遺跡	玉村町福島	中世の水路。
7	斉田竹ノ内遺跡	玉村町福島	平安時代の住居、井戸。中世の水路、環濠屋敷。近世の水田、畠。
8	福島曲戸遺跡	玉村町福島	古墳、奈良・平安時代の住居、掘立柱建物、水田。近世の復旧溝等。
9	上福島遺跡	玉村町福島	古墳時代の溝、ピット。平安時代の水田。近世の畑。
10	上福島中町遺跡	玉村町上福島	近世の建物、畠、道。中世の堀、溝、土坑。平安時代住居、土坑。古墳時代の溝。
11	上福島尾柄町遺跡	玉村町上福島	平安時代の水田。推定東山道(牛堀・矢ノ原ルート)
12	尾柄町遺跡	玉村町上福島	平安時代の水田。
13	砂町遺跡	玉村町上福島	古墳時代の用水路、奈良・平安時代の道路遺構(東山道)、平安時代の水田。
14	一万田遺跡	玉村町上福島	奈良・平安時代の官衙跡か。
15	金免遺跡	玉村町上福島	平安時代の水田。
16	柄田添遺跡	玉村町上福島	奈良・平安時代の住居、水田。江戸時代の畠。
17	阿佐美館	玉村町樋越	中世居館。
18	神人村Ⅱ遺跡	玉村町樋越	奈良・平安時代住居跡。
19	原浦遺跡	玉村町樋越	平安時代の住居他。
20	原浦Ⅱ遺跡	玉村町樋越	古墳時代の溝。平安時代の集落。鎌倉時代以降の溝。
21	樋越諏訪前遺跡	玉村町樋越	江戸時代の家屋、植え込み、土手、溝、畠。
22	田口下屋敷遺跡	玉村町斉田	中世の屋敷跡。
23	深町遺跡	玉村町上新田	平安時代の水田。
24	中道西遺跡	玉村町上新田	平安時代の水田。近世の溝。
25	布留坡遺跡	玉村町上新田	平安時代の水田。
26	利根添遺跡	玉村町下之宮	江戸時代の畠、土手遺構。
27	沖遺跡	玉村町川井	江戸時代の畠・旧河川跡。
28	小泉大塚越遺跡	玉村町小泉	古墳(後期)。平安時代水田。江戸時代の畠。
29	小泉長塚遺跡	玉村町小泉	古墳(後期)。江戸時代の畠。
30	北原遺跡	玉村町川井	古墳時代、方形周溝墓。奈良・平安時代の集落。
31	平塚堰北遺跡	玉村町川井	平安時代のピット。江戸時代の水田。
32	三境Ⅱ遺跡	玉村町上茂木	平安時代の水田。
33	三境遺跡	玉村町上茂木	平安時代の水田。
34	上飯島芝根Ⅱ遺跡	玉村町上飯島	古墳時代前期の集落。奈良・平安時代の集落、水田。
35	五郎作巡遺跡	玉村町後箇	平安時代の住居、掘立柱建物跡。近・現代の溝。
36	オトカ塚古墳	玉村町下茂木	古墳(後期)。
37	梨ノ木山古墳	玉村町下茂木	古墳(後期)。
38	軍配山古墳	玉村町角渕	古墳(前期)。
39	御門遺跡	玉村町角渕	古墳時代の円形周溝墓・方形周溝墓状遺構・住居跡。
40	粉糠島遺跡	玉村町上之手	平安時代の溝、土坑。
41	上之手八王子Ⅱ遺跡	玉村町上之手	平安時代の住居、溝。中世以降の溝。
42	上之手八王子遺跡	玉村町上之手	古墳時代前期集落跡。奈良・平安時代集落跡。
43	原屋敷Ⅱ遺跡	玉村町上之手	平安時代住居跡・溝跡。中世以降溝跡。
44	行人塚遺跡	玉村町上之手	奈良・平安時代の集落。
45	上之手石塚Ⅲ遺跡	玉村町上之手	縄文・弥生時代土坑。平安時代の住居、溝。中世の溝、土坑。
46	上之手石塚Ⅳ遺跡	玉村町上之手	奈良時代の住居。平安～近・現代の溝。
47	上之手石塚遺跡	玉村町上之手	古墳時代前期方形周溝墓、住居。奈良・平安時代の住居。中世居館。
48	曲田遺跡	玉村町上之手	平安時代の掘立柱建物跡、井戸、溝。
49	曲田遺跡Ⅱ	玉村町上之手	平安時代の水田。
50	宇貫遺跡	玉村町宇貫	古墳時代前期の住居・土坑。中世居館。
51	赤城Ⅱ遺跡	玉村町宇貫	古墳・奈良時代の土坑。中・近世の溝。
52	下郷遺跡	玉村町宇貫	古墳時代前期の方形周溝墓、古墳。中世居館。

参考文献一覧

No.	遺跡名	参考文献
1	福島飯塚遺跡	『福島飯塚遺跡(1)』群馬県埋蔵文化財調査事業団 報告書第400集 2007
2	福島久保田遺跡	『福島久保田遺跡 福島大光坊遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団 報告書第317集 2003
3	福島大光坊遺跡	『福島久保田遺跡 福島大光坊遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団 報告書第317集 2003
4	福島大島遺跡	『年報16・17』群馬県埋蔵文化財調査事業団 1997・1998
5	福島稲荷木遺跡	『福島稲荷木遺跡』玉村町教育委員会
6	福島飯玉遺跡	『年報21』群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002
7	斉田竹之内遺跡	『年報21』群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002
8	福島曲戸遺跡	『福島曲戸遺跡・上福島遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団 報告書第309集 2002
9	上福島遺跡	『福島曲戸遺跡・上福島遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団 報告書第309集 2002
10	上福島中町遺跡	『上福島中町遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団 報告書第318集 2003
11	上福島尾柄町遺跡	『上福島尾柄町遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団 報告書第302集 2003
12	尾柄町遺跡	『尾柄町遺跡』玉村町教育委員会 報告書第4集 1992
13	砂町遺跡	『年報18』群馬県埋蔵文化財調査事業団 1999
14	一万田遺跡	『玉村町の遺跡』玉村町教育委員会 1992
15	金免遺跡	『金免遺跡』玉村町教育委員会 報告書第1集 1989
16	柄田添遺跡	『柄田添遺跡』玉村町教育委員会
17	阿佐美館	『群馬古城界の研究』山崎一著
18	神人村Ⅱ遺跡	『神人村Ⅱ遺跡』玉村町教育委員会 報告書第3集 1992
19	原浦遺跡	『原浦遺跡』玉村町教育委員会 報告書第20集 1998
20	原浦Ⅱ遺跡	『原浦Ⅱ遺跡』玉村町教育委員会 報告書第16集 1996
21	樋越諏訪前遺跡	『群馬の遺跡2-発掘最前線97』群馬県教育委員会 1997
22	田口下屋敷遺跡	『田口下屋敷遺跡』玉村町教育委員会 報告書第36集 2000
23	深町遺跡	『玉村町の遺跡』玉村町教育委員会 1992
24	中道西遺跡	『中道西遺跡』玉村町教育委員会 報告書第17集 1996
25	布留坡遺跡	『布留坡遺跡』玉村町教育委員会 報告書第27集 1998
26	利根添遺跡	『利根添遺跡』玉村町教育委員会 報告書第23集 1998
27	沖遺跡	『沖遺跡』玉村町教育委員会 報告書第32集 1999
28	小泉大塚越遺跡	『小泉大塚越遺跡』玉村町教育委員会 報告書第10集 1993
29	小泉長塚遺跡	『玉村町の遺跡』玉村町教育委員会 1992
30	北原遺跡	『北原遺跡』玉村町教育委員会 報告書第14集 1995
31	平塚堰北遺跡	『平塚堰北遺跡』玉村町教育委員会 報告書第15集 1996
32	三境Ⅱ遺跡	『三境・三境Ⅱ遺跡』玉村町教育委員会 報告書第18集 1997
33	三境遺跡	『三境・三境Ⅱ遺跡』玉村町教育委員会 報告書第18集 1997
34	上飯島芝根Ⅱ遺跡	『玉村町の遺跡』玉村町教育委員会 1992
35	五郎作巡遺跡	『五郎作巡遺跡』玉村町教育委員会 報告書第21集 1998
36	オトカ塚古墳	『上毛古墳綜覧-芝根村2号墳』
37	梨ノ木山古墳	『上毛古墳綜覧-玉村1号墳』
38	軍配山古墳	『上毛古墳綜覧-芝根村3号墳』
39	御門遺跡	『御門遺跡』玉村町教育委員会 報告書第22集
40	粉糠島遺跡	『粉糠島遺跡』玉村町教育委員会 報告書第25集 1998
41	上之手八王子Ⅱ遺跡	『上之手八王子Ⅱ・原屋敷Ⅱ遺跡』玉村町教育委員会 報告書第19集 1997
42	上之手八王子遺跡	『上之手八王子遺跡』玉村町教育委員会 1991
43	原屋敷Ⅱ遺跡	『上之手八王子Ⅱ・原屋敷Ⅱ遺跡』玉村町教育委員会 報告書第19集 1997
44	行人塚遺跡	『玉村町の遺跡』玉村町教育委員会 1992
45	上之手石塚Ⅲ遺跡	『上之手石塚Ⅲ遺跡』玉村町教育委員会 報告書第8集 1998
46	上之手石塚Ⅳ遺跡	『上之手石塚Ⅳ遺跡』玉村町教育委員会 報告書第12集 1993
47	上之手石塚遺跡	『上之手石塚遺跡』玉村町教育委員会 報告書第39集 2000
48	曲田遺跡	『曲田遺跡』玉村町教育委員会 報告書第30集 1999
49	曲田Ⅱ遺跡	『曲田Ⅱ遺跡』玉村町教育委員会 報告書第31集 1999
50	宇貫遺跡	『宇貫遺跡』玉村町教育委員会 報告書第34集 1999
51	赤城Ⅱ遺跡	『赤城Ⅱ遺跡』玉村町教育委員会 報告書第13集 1993
52	下郷遺跡	『下郷遺跡』玉村町教育委員会 報告書第1集 1980

#### 4. 調査の方法と経過

##### a、グリッドの設定（第5図）

国道354号高崎玉村バイパスに伴う埋蔵文化財発掘調査においては、国家座標に基づき玉村町全域を網羅するように南東隅の座標  $X = 30,000 \cdot Y = -60,000$  を起点とする10km四方の区画を設定し、それを「地区」と呼称した。

そして、その「地区」を1km四方に分割し、南東隅から北に向けて1～100の番号を平行式に付して「区」（大区画）とした。

次にこの大区画を100m四方に分割し大区画同様に番号を付し、「中グリッド」とした。

さらに中グリッドを5m四方に分割し、「小グリッド」と称した。小グリッドには南東隅を起点として西方向（X軸方向）にアラビア数字を「1～20」、北方向（Y軸方向）にアルファベットを「A～T」と付した。発掘調査の実施にあたってはこの「小グリッド」を基本としている。

なお、福島飯塚遺跡、「34区」（大区画）の「49・59・69・79・80・89・90・99・100」（中グリッド）および「44区」の「9・10」に位置する。

この報告書で記載するグリッドは、このような大・中・小の各区画のうち、基本的に「中グリッド」および「小グリッド」を表記することで特定している。例えば「49M-17グリッド」と呼称するものは、「49」中区画、「M-17」小区画をあらわしている。

##### b、調査区の設定

発掘調査に際しては、基準とする区画やグリッドとは別に、R354号高崎玉村バイパス計画路線を南北に走行する町道および水路を境界として、任意の調査区に区分けした。この地域は区画整理事業が終了していることで、ほぼ100mごとの水田区画となり、道水路もこの間隔によっている。調査区は1区から6区とし、発掘調査を着手した順に区名称が付されている。グリッド設定図中の調査区内に表記する「1区～6区」がこの任意の調査区呼称である。

##### c、調査の方法

調査対象地は水田地域を横断するため、耕作期に

は用水が導水され、遺構調査に影響を生じることが想定されるため、事前に調査区周囲に排水用の溝を設定した。その際、土層断面の観察を行い、堆積土層や遺構確認面確認の把握に努めた。

この段階で、複数の火山噴出物堆積層や洪水氾濫層などが土層中に確認することができ、同時に複数の遺構面の存在も認識されるものであった。さらにそのような自然堆積層、遺構面は遺跡内に均一に存在するのではなく、比較的小範囲で残存状況が異なる点も看取された。

発掘調査に際しては、表土および火山噴出物堆積層や洪水氾濫層などの遺構確認面被覆層についてはバックホーによる重機掘削を行い、人力での遺構検出作業を継続的に実施した。

確認された遺構は、中央部に土層確認用のベルトを設定し、調査を進めた。なお、土坑、ピットなど小規模な遺構についてはこの限りではない。

遺構名称は、住居・掘立柱建物・土坑・溝・ピットなど遺構種別ごとに1号から順次番号を付した。基本的に福島飯塚遺跡（1区～6区）全体での通番とした。しかし、調査年次や調査地点が複数年にわたるため、一部に重複や欠番も生じていた。原則として調査時の遺構名称および番号のまま報告しているが、重複などが明らかな場合は、資料整理段階で変更した。

なお、遺構番号の序列は遺構の時間的前後関係を示すものではない。

遺構の記録は、実測図化と写真撮影により行った。遺構の図化は、調査区内をグリッドに準じて縮尺40分の1で割図とし、遺構の状況に沿って縮尺20分の1により図化した。特殊な場合はこの限りではない。

遺構写真は、モノクロ写真を6×7判および35ミリ1眼レフ、カラー（リバーサル）を35ミリ1眼レフにて撮影した。しかし、広範囲にわたる水田遺構や遺物の分布状況などは業者に委託し、気球による航空写真測量や光波測量などで効率化を図った。状況によっては高所作業車を利用して写真撮影による記録を行った。

##### d、調査経過

福島飯塚遺跡は平成10年4月1日から発掘調査が

着手され、当年度の通年事業として実施される計画であった。発掘調査は1区から開始し、2区・3区も同時に調査対象となった。R354号バイパス路線は東西に通過するため、南北に走行する現道である数本の町道の跨橋工事が優先されるため、各調査区の町道に接する地点の調査を先行する計画となった。跨橋工事部の調査を終了させ、その後路線部へという調査計画で進行していた。

しかし、年度後半に至り工事計画等との関係から同年11月30日にて急遽調査を中断する状況となった。この段階では、当初の調査計画に沿って1区・2区・3区の調査を行っていたため、発掘調査を進めながら、中断できるような準備も同時に行うものとなった。中断時は、調査遺構についてはマットにて保護し、ブルーシートで被覆することで遺構の保護を図った。

このような経緯のなかで、平成11年4月1日に発掘調査が通年計画のもと、再開された。

しかし、平成11年度後半にいたり工事工程の変更に伴い発掘調査は平成12年1月までの計画となった。4区および5区については調査完了・埋め戻しとし、1・2・3区については、再び調査を中断するものとなった。

平成12年8月に調査再開となり、同年度にて福島飯塚遺跡の発掘調査が完了したのである。

この報告書は、4区および5区を対象とした『福島飯塚遺跡(1)』に続き、1区・2区・3区・6区の報告を行なうもので、『福島飯塚遺跡(2)』となる。

調査経過については、調査日誌をもとに月毎に概要を示すものとした。

#### 調査日誌抄

平成10(1998)年度 担当職員 原 廣津 小成田

4月 発掘調査開始。1区表土掘削および第1面遺構検出作業。溝、畠等確認。

5月 1区調査継続。2区調査着手、第1面遺構検出作業、As-A復旧溝、溝等確認。3区表土掘削。

6月 1区第1面遺構実測作業。2区第1面調査継続。3区第1面遺構検出、復旧溝、溝等確認。

7月 2区第3面調査、16溝等継続。3区第2面の調査、随時下面の調査へ移行。

8月 2区3面調査継続、溝等調査継続、湧水多い、畦畔も一部で検出。3区第5面(As-B下)水田調査。

9月 1区第3・4面(As-B混土層)、第5面(As-B下)水田検出。2区溝群調査。

10月 2区第4面溝群、方形区画溝(中世館)検出、第5面調査継続。1区第5面、微高地部調査継続。

11月 事業計画の変更により今月一杯にて調査中断となる。調査区はシート等により全面被覆、保護対策を講じ、次年度の調査再開まで停止。

平成11(1999)年度 担当職員 原 小成田(嘱託員) 原

4月 調査再開により準備。プレハブ施設は前年度に設置したものを使用する。1区から調査着手のため、調査区全面を保護していた被覆シートおよびマット類を除去する。第6面からの調査再開となる。

2区・3区は溜水が多く、ほぼ水没状態のため、排水準備を行う。排水後、遺構被覆シート類の除去を行い、遺構確認作業を継続する。

下旬から4区の調査に着手する。町道架橋橋脚部分の工事が先行して実施されることになったため、工事部の調査を早期に終了させる必要が生じる。

5月 1区は、微高地部に住居や土坑、井戸などを確認する。黒色土中からも土器類の出土は多い。年代的には古墳時代の遺物が主体。

2区で検出された中世館(環濠屋敷)の調査継続。環濠区画内に多数のピット群が集中し、掘立柱建物が複数重複して存在するとみられる。

3区は、第5面であるAs-B層下水田調査継続する。部分的に区画整理事業による影響を受け、残存状況はあまり良好ではない。As-B層もかなり層厚が薄く、部分的に畦畔が残存する程度のものである。

4区は、表土掘削とともに、第1面の遺構確認を行なう。As-A埋設用の復旧溝や溝が検出される。

6月 2区の中世館(環濠屋敷)は溝に区画された内部がさらに2区画に分割される構造であることがわかった。西区画では掘立柱建物群が存在し、東区画では土坑群が存在する。

4区第1面は1873年浅間山噴火に伴う火山噴出物



(As-A) の処理を目的にした埋設用の溝群である復旧溝が複数の群単位で確認された。近年の区画整理事業による掘削のため、残存状況は不良であり遺構下部のみの検出にとどまる。

7月 2区の中世館の調査継続。掘立柱建物群、土坑群調査および実測を行なう。

4区も調査継続し、As-B層下水田検出。南西部に微高地がみられ、竪穴住居1軒確認する。As-B層下水田調査終了後、下層の調査へと進む。

8月 2区の中世館の調査継続。

4区は橋脚工事部分の範囲を終了し、埋め戻しを行なう。引き続き、工事部分以外の調査について調査着手。下旬より橋脚工事が始まる。第1面～第3面の調査を行なう。

9月 2区の中世館の調査継続。

4区は第5面、As-B層下水田調査を行なう。

5区の調査も並行して実施する。区画整理事業による表土移動による攪乱のため、遺構の残存状況は全般的にあまりよくない。

10月 2区の中世館の調査継続。

4区は第5面の水田調査終了後、下層の遺構面の調査着手。水田耕土下で大規模な溝を確認。他に住居、掘立柱建物、土坑なども認められる。同路線内の発掘調査ではこれまで見つからない遺構確認面であるため、これまでの遺構面名称と共通するようにこの面を「5.5面」として調査を実施する。さらに溝内から墨書土器が複数出土することも確認する。5区も調査を継続して行なう。

11月 4区141号・143号・144号溝調査継続。141号溝から墨書土器が多数出土する。特に「家」の墨書が目立つ。26日(金)平川 南国立歴史民俗博物館教授に墨書土器の指導を受ける。その際、須恵器小片に残存する漆紙文書が摘出された。

28日(日)玉村町で開催された生涯学習フェスティバルにあわせ遺跡を一般公開し、説明会を実施した。

12月 4区は5.5面の調査継続。掘立柱建物、土坑等の調査。5区は6面水田および7面水田の調査。

R354福島飯塚遺跡の発掘調査は平成11年4月から

平成12年3月の期間で実施する工程であったが、急遽計画変更により平成12年1月にて中断することになった。そのため、各区の調査計画について見直し、4区および5区は工事計画の関係から、1月にて調査終了するものとした。他区は調査途中の状態でもマット、シート類で養生し、次年度以降の再開に支障のないよう保護することとした。

平成12(2000)年1月

4区、5区は調査完了し、埋め戻しを行なう。1区、2区、3区は調査途中で、全面をマット、シート類により被覆、土嚢により固定し保護対策を講じる。

31日(月)にて機材等撤収し、平成11年度R354福島飯塚遺跡の発掘調査を中断という状態で終了した。

平成12(2000)年度 担当職員 原 高柳 小成田(嘱託員) 村上

8月 調査再開。整備、復旧作業を行なう。6ヶ月間の中断により、雑草類が繁茂し、被覆シートには土砂、溜水等多い。シート・マット類除去後、遺構確認作業等着手。また、同バイパス路線内にて県による載荷試験の実施のため、齊田竹之内遺跡の一部を発掘調査する計画となる。福島飯塚遺跡と共に調査実施。

9月 1区(未着手部分)第1面遺構確認作業、2区溝群内の排水、3区第3・5面調査継続。

齊田竹之内遺跡の載荷試験部は2a区として調査着手。

10月 1区・2区・3区調査継続。

齊田竹之内遺跡2a区調査継続。

11月 1区・2区・3区調査継続。

齊田竹之内遺跡2a区調査継続。

12月 1区・2区・3区調査継続。

齊田竹之内遺跡2a区は12月にて調査終了し、埋め戻しを行なう。以後、載荷試験実施予定。

1月 1区・2区・3区調査継続。調査区内のスーパーマーケット移転に伴い、6区として調査着手。

2月 1区・2区・3区・6区調査継続。1区微高地部から縄文土器、弥生土器片出土。旧石器試掘調査。

3月 1区調査継続。微高地部に住居等、低地部に水田。各区とも調査終了に伴い、埋め戻しを行なう。今年度にて福島飯塚遺跡(1区～6区)の発掘調査完了。調査諸資料および調査機材等撤収。



業により形成された水田耕作土層。6区にあっては大型店舗建築のため削平、盛土が行なわれ、基礎柱の打設も行なわれる。

2層 暗褐色シルト質層。極めて軟弱な層で、河川の氾濫により堆積した洪水層。表土下のこの層上面で、第1面の遺構が検出される。

3層 褐色シルト質層。軟弱な洪水層。この層上で第2面遺構群が検出されるが、1・2・3・6区では遺構の検出はなかった。

4層 暗褐色土層。As-Bを混入するため、やや砂質。「B混」と通称される層。この層上で第3面の遺構群が検出される。

5層 黒褐色土層。As-Bを混入する。含有量は上層の4層に比べ多く、より砂質感が強い。「B混」と通称される層。この層上で第4面の水田が確認される。

6層 As-B層 1108（天仁元年）浅間山噴火により堆積した火山灰層。玉村町域内の埋蔵文化財調査によって、広範囲に分布が確認されている。

7層 黒褐色粘質土層。As-Bに埋没する水田耕作土層。同火山灰に被覆された水田が第5面として検出される。なお、埋没微高地も存在し、平安時代、古墳時代の遺構（住居、土坑等）が検出される。

8層 灰黄褐色粘質土層。土層面は水田耕作等により攪乱されているため、遺構確認面として把握できない。

9層 暗褐色土層。この層上で確認される遺構面が第6面となる。平安時代以前の遺構が含まれ、主として古墳時代の遺構とともに、縄文時代および弥生時代の遺物の出土もみられる。

#### b 遺構の概要（第7～12図）

各遺構確認面の内容について、調査状況および遺構の概要を示しておきたい。

なお、報告する確認面は単一時期の生活面もしくは時間差の少ない文化面というのではなく、基本的に埋没遺構面が上層からの影響（耕作などによる人的攪乱や自然的要因）を受けることで、複数の時期・時代が混在する状態を示している。しかし、遺

構面の中には、第1面におけるAs-A関連の遺構群や第5面As-B埋没水田面等の同一遺構面を広く被覆する場合もある。複数の遺構面が存在する遺跡では、このような自然災害による被覆層が確認遺構面の相対的な時間を示す基準ともなっている。

また、複数におよぶ遺構確認面は低地部分に存在し、その途中に残る微高地は基本的に同一確認面での確認となっている。このことが、遺構面の確認をより複雑にしている。つまり、低地部分で認められたある遺構面を調査する過程で、地表面では認められない微高地が存在した場合、この微高地面がその遺構面に相当するとは限らないことによる。この地域は歴史的に河川災害が多く、さらに近年圃場整備も完了していることから、現状では平坦な地形が形成され、地表面では不明な微高地が埋没している。

特に、As-B降下以前には広域に水田化されるため、この段階で微高地は削平され、遺構の存在をさらに把握しにくい状態となっている。

#### 第1面

基本的に1783（天明3）年浅間山噴火による被災地（耕作地）の復旧のための火山灰埋設溝（復旧溝）が認められる。この地域では、広範囲に確認されているが、近年の土地改良事業により削平されている部分が多い。

1区では、As-A復旧溝が断片的に認められている。いずれも残存状況は不良である。また、南東部ではAs-A降下以降の畠が認められた。洪水層に埋没し、検出状況から江戸時代の遺構とみられる。南北方向の走行する1号溝は、江戸時代のものであり、復旧溝や畠もこの溝に沿っている。

2区でも、As-A復旧溝や水路や地割りとした区画溝等が認められる。同区でもやはり削平を受けているため、残存状況は不良となっている。

3区では、北側中央付近に区画溝に囲まれた部分にAs-A復旧溝が存在する。なお、利根川に近接する地点では、噴火に伴い発生した泥流堆積物の復旧溝も確認されている。



なお、利根川に近接した右岸では、福島曲戸遺跡からAs-Aに伴う泥流堆積物を埋設した復旧溝群が調査され、左岸に所在する上福島中町遺跡では、同泥流に埋没した家屋群が発掘調査されている。

#### 第2面

洪水による氾濫層に覆われた面で、時期は江戸時代であると考えられる。攪乱が多く、残存状況は不良である。今回の調査でも5区では調査区東端および南端部にアゼと共に、このアゼに沿うように水路とみられる溝が検出されている。しかし、1区～4区、6区では攪乱により遺失しているため、遺構は検出されていない。

#### 第3面

As-Bを多く含むいわゆる「As-B混土」の上面で検出される遺構面で、洪水層により被覆される。1区では、水田耕作に伴う溝群、3区では畝等が検出された。2区では水田（畦畔）の他に、方形状に区画される溝が検出された。第4面に検出された1号館と関連するものの可能性があるが、調査の経緯では第3面の遺構として把握されたため、これに従って報告する。

#### 第4面

やはりAs-Bを含む層に形成される遺構面である。1区・2区・3区および5区では水田（畦畔）が確認されている。また、2区では環濠を伴う掘立柱建物群、土坑群による1号館が検出された。2区では、低地部分に水田が確認され、1号館が立地する部分は微高地となっている地点になる。なお、ほぼ同時期とみられる「As-B混土層」中の中世館は、東接する福島大島遺跡、西接する福島飯玉遺跡、斉田竹之内遺跡などにも調査例がある。

#### 第5面

As-B層に埋没する水田面が確認されている。標高は67.50mから68.00m前後で、ほぼ平坦な面に形成されている。この地域の遺跡は、複数の遺構面が複雑に重畳し、層序の把握がしにくい状況を示すがAs-B層の存在は、このような中で基準となる層序となっている。しかし、同軽石層の残存状況が不良

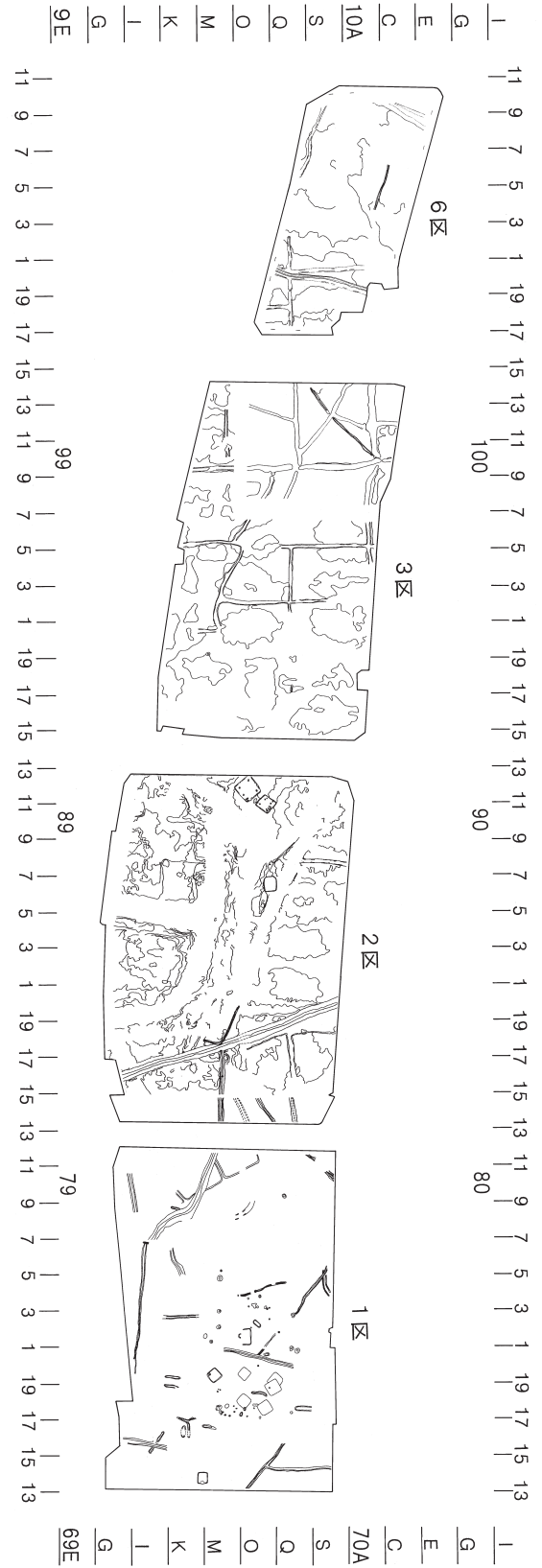
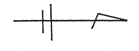
な部分も多く、畦畔が遺失する地点も多い。As-B堆積後、As-B混土層形成の過程で攪乱、混在することで遺失したものと考えられる。1区から6区まで、残存状況は一定しないが全区に埋没水田が確認されている。

#### 第6面

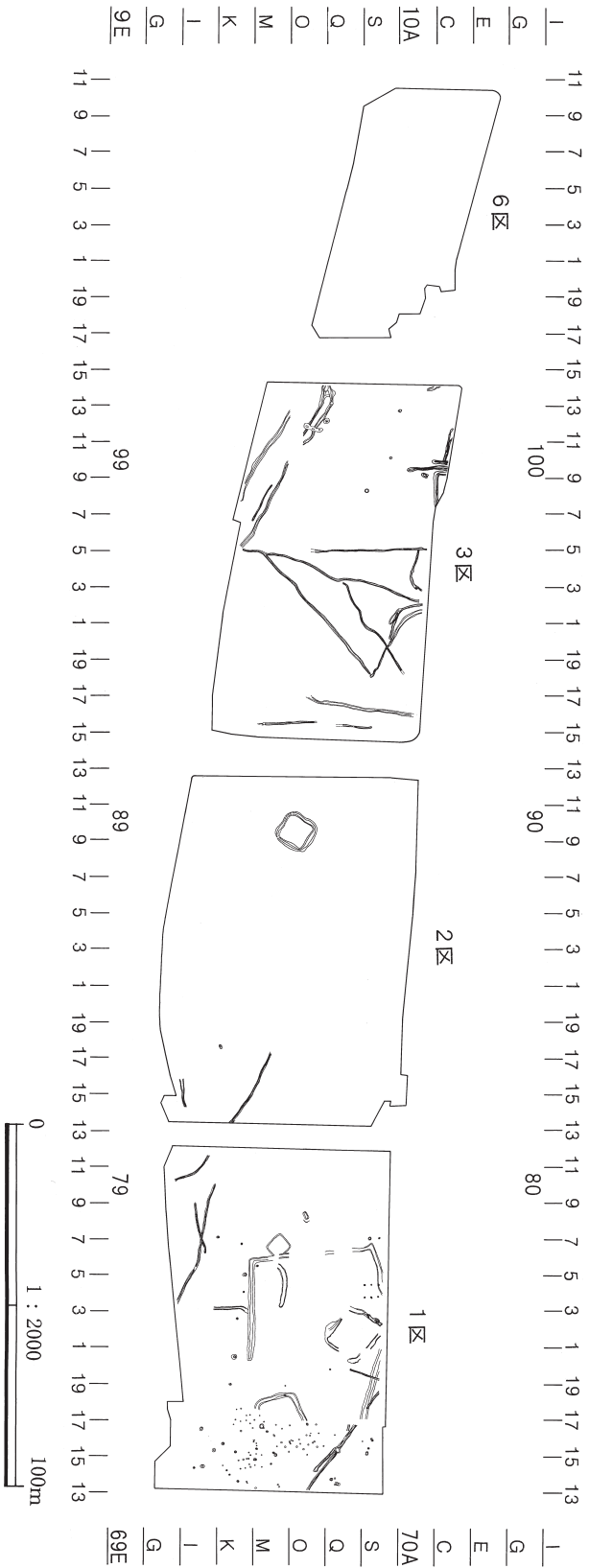
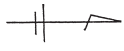
As-B層埋没水田耕作土下で検出される遺構面である。4区および5区では第6面としてHr-FA泥流に、第7面としてHr-FPに伴う泥流に関連する小区画水田が検出されているが、1区～3区、6区ではこのような火山噴火に伴う泥流層の存在が明確でないことから、水田の存在は確認されていない。

また、4区・5区では第8面としてAs-Cを混入する土層面で水田面が確認されているが、1区～3区、6区では未検出である。

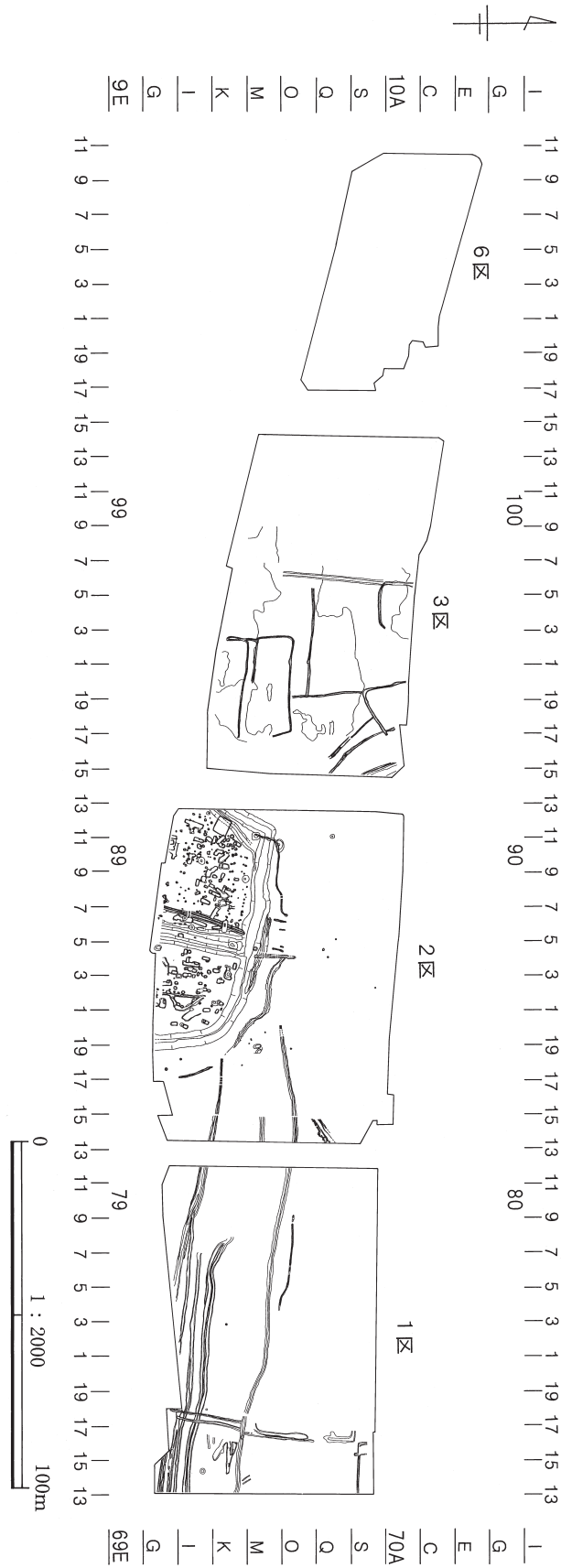
なお、1・2区では住居等の遺構は検出していないが、縄文時代および弥生時代の遺物が出土している。特に、2区では弥生時代中期の土器類が近隣調査例に比しても数多く得られている。



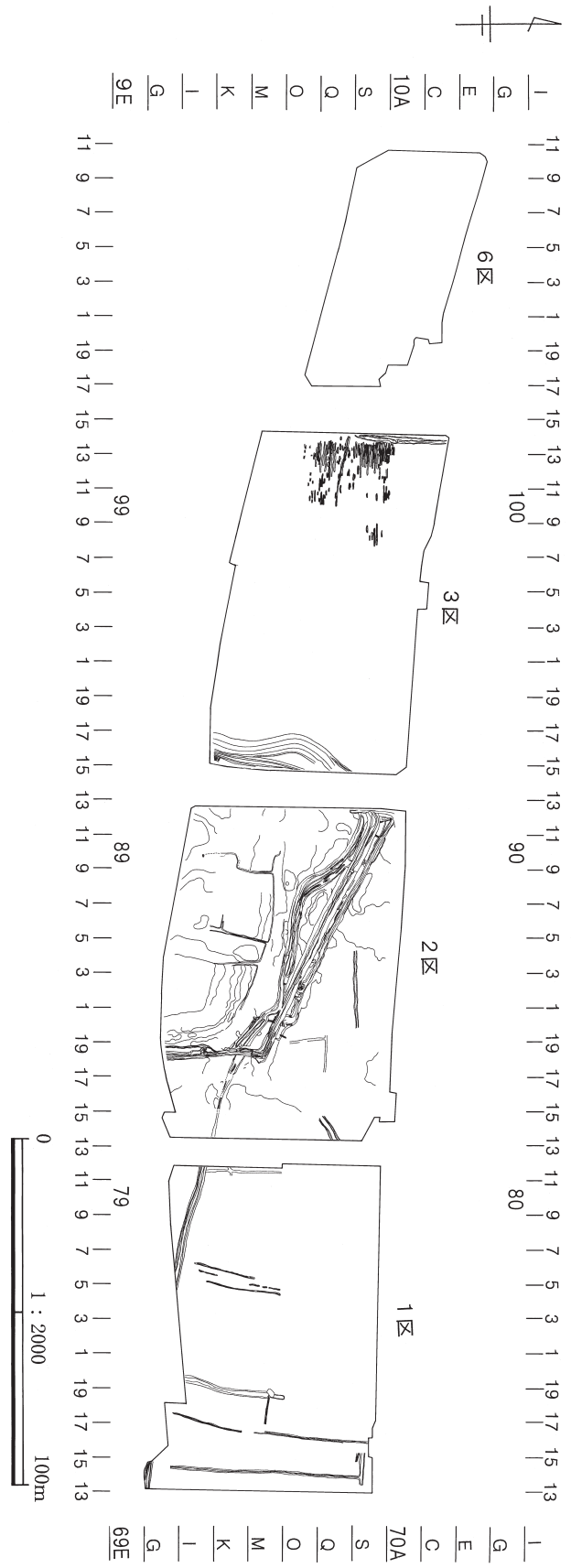
第8図 第5面全体図



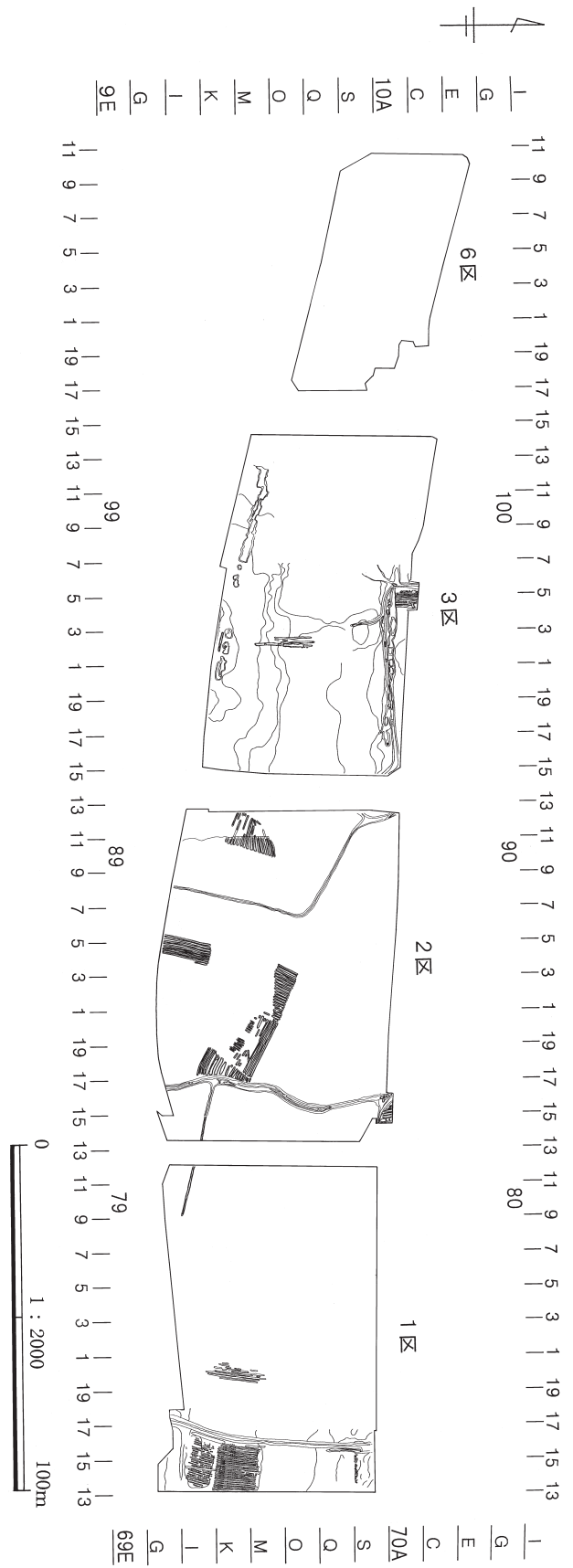
第7図 第6面全体図



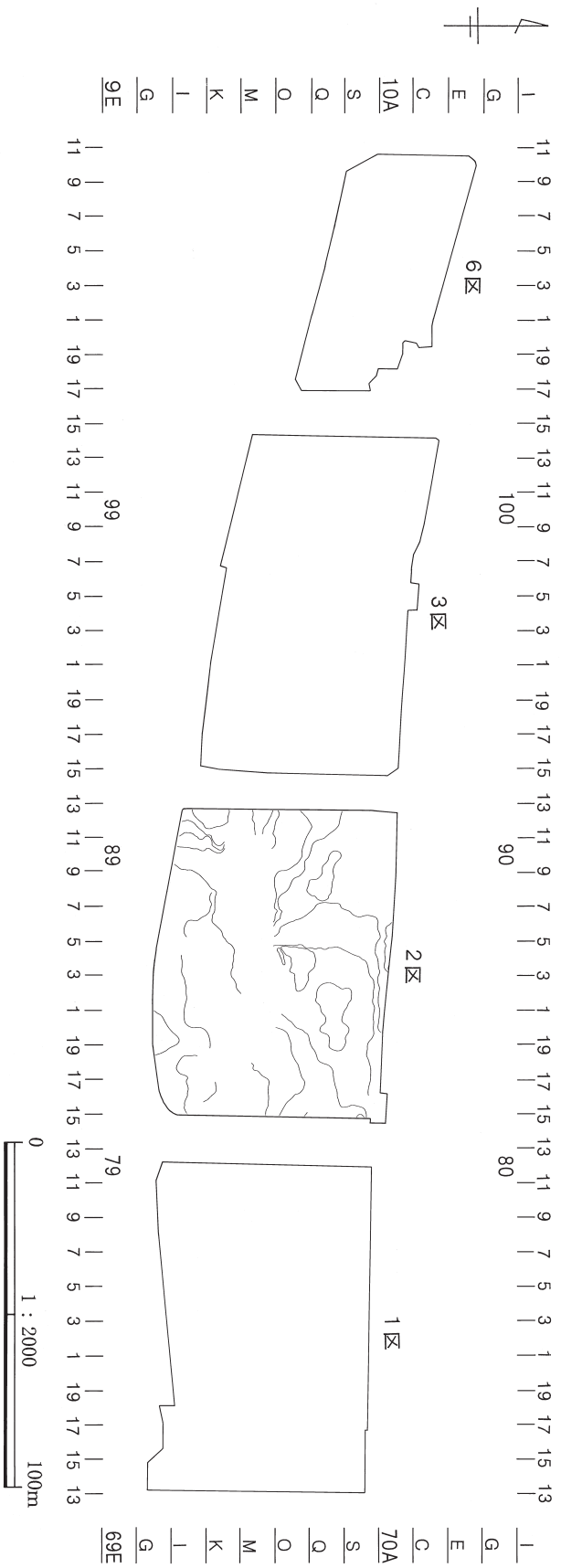
第9図 第4面全体図



第10図 第3面全体図



第12図 第1面全体図

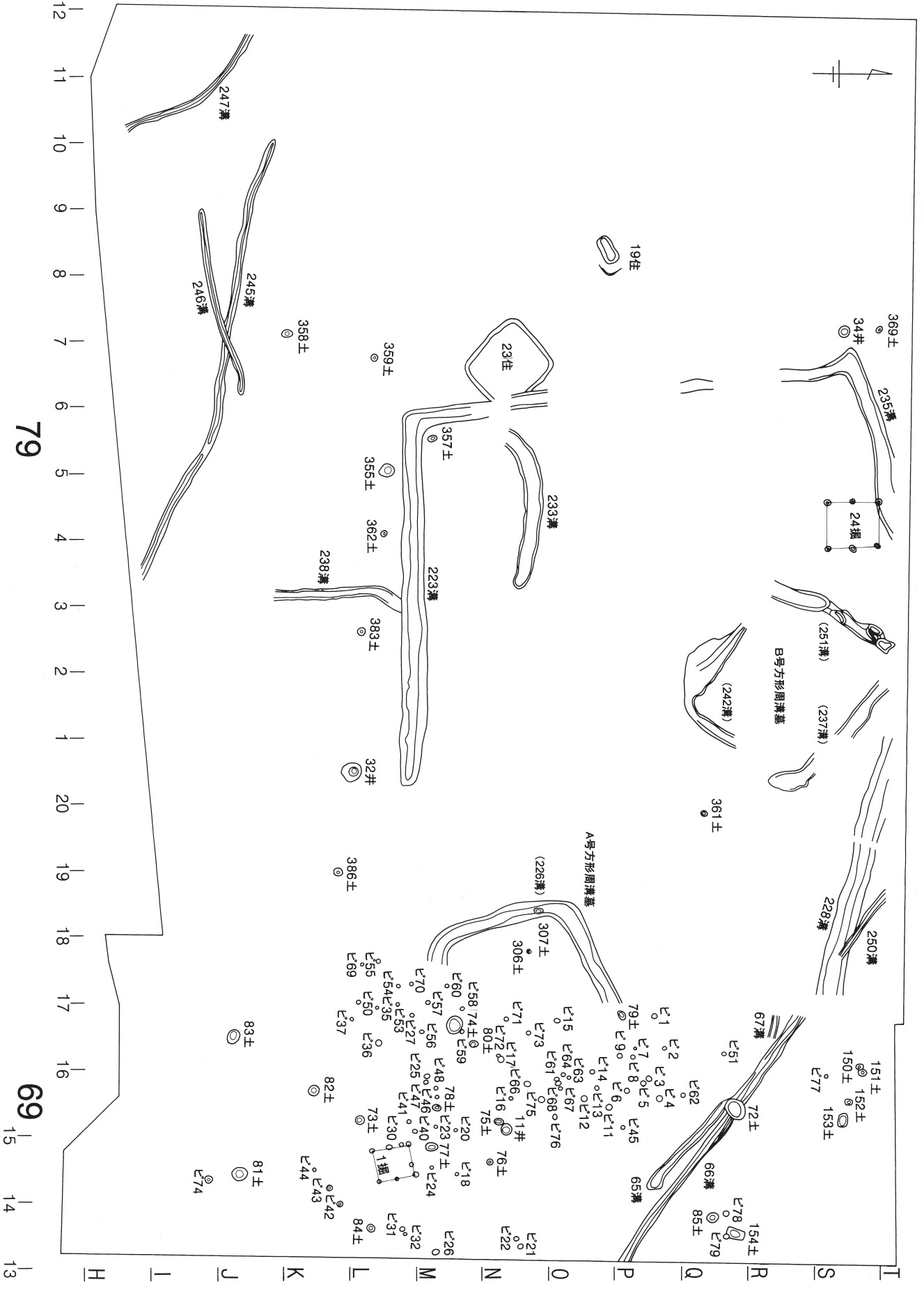


第11図 第2面全体図



I S R Q P O N M L K J I H

12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 20 19 18 17 16 15 14 13



第13図 1区第6面全体図

79

69

13

## 2 1区の調査内容

### a 6面の遺構と遺物

4区および5区では、第6面は榛名二ツ岳火山灰(Hr-FA、6世紀中葉)に伴い発生した泥流により埋没する小区画水田を代表とする遺構面となっている。しかし、地形的に高位傾向である1・2・3・6区ではこのような泥流層は認められず、同期の小区画水田も検出されていない。そのため、4・5区と一連の遺跡であるものの、共通する遺構確認面となっていない。各区の調査では、第5面調査後にその下層調査により検出し得た遺構群を第6面としている。時期的には単一時期の文化面とはならず、今回の調査における最下面の遺構検出面と理解されることになる。古墳時代を中心として、縄文土器および石器類も含まれる。

### 住居(第14図・第15図、PL7)

竪穴住居は2軒検出された。両住居とも残存状況は不良であり、痕跡が認められた程度であり、1区やや西寄りに位置する。

### 19号住居(第14図、PL7)

**位置** 79O-8グリッドに位置する。

**形状** 南東隅部のみを検出のため、形状不明。

**規模** 不明。

**炉** 不明。

**周溝** 不明。

**貯蔵穴** 南東隅部に位置する。長軸218cm、短軸100cmの隅丸長方形平面を呈する。埋没土中から高坏、S字口縁台付甕、甕等が出土した。

**床面** 不明。

**掘り方** 不明。

**重複** 上層からの攪乱が著しく、住居の大半を遺失する。

**時期等** 古墳時代前期(4C中葉)

### 23号住居(第15図、PL7)

**位置** 79N-6グリッドに位置する。

**形状** 長方形平面を呈する。

**規模** 長軸570cm、短軸520cm

**炉** 不明。

**周溝** 周溝のみ検出。遺構確認時は溝として調査を進めたが、全形を把握する段階で住居とした。周溝は北西隅および南東隅が溝により遺失するが、確認部分は全周する。幅25cm、深さ12cm~18cmで、逆梯形断面を呈する。

**貯蔵穴** 不明。

**床面** 不明。

**掘り方** 不明。

**重複** 26溝、223溝によって切られる。

**遺物の出土状況** 周溝内からS字口縁台付甕が出土している。

**時期等** 古墳時代前期(4C中葉)

### 土坑(第16図~第19図、PL13~PL16)

検出された土坑は、ほとんどが微高地面に位置する。所属時期は明確ではないが、As-B降下以前であるものと考えられる。

### 72号土坑(第16図、PL8)

69Q-15グリッドに位置する。長軸147cm、短軸119cm、深さ106cmを測る。遺物は埋没土中層から台付甕、棒状礫が出土した。65号溝、66号溝を切っている。

### 73号土坑(17図、PL8)

69L-15グリッドに位置する。長軸61cm、短軸60cm、深さ36cmを測り、ほぼ円形平面を呈する。

### 74号土坑(第17図、PL8)

69M-16グリッドに位置する。長軸131cm、短軸108cm、深さ30cmを測り、楕円形平面を呈する。

### 75号土坑(第17図)

69N-15グリッドに位置する。長軸72cm、短軸41cm、深さ25cmを測り、楕円形平面を呈する。

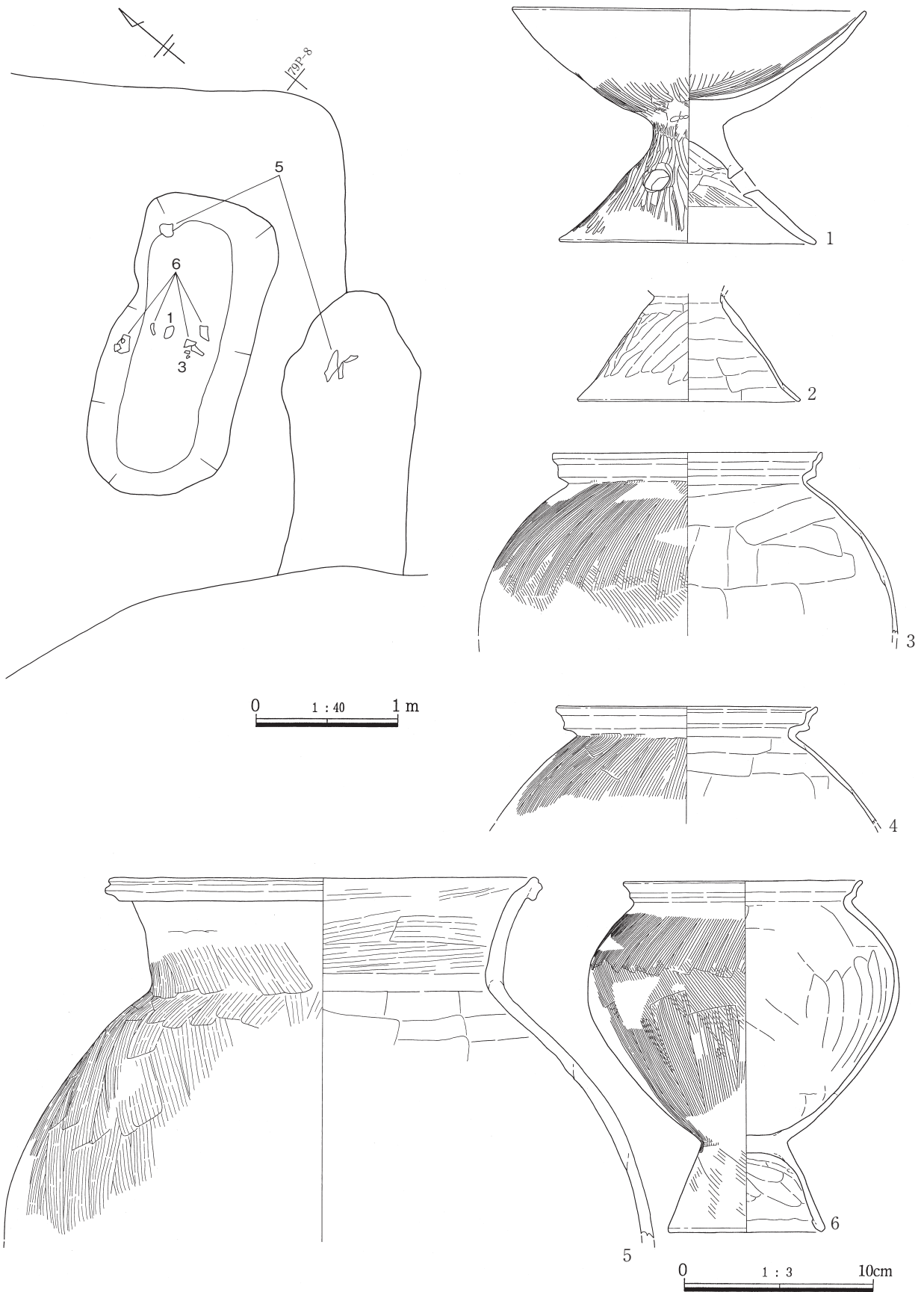
### 76号土坑(第17図)

69N-14グリッドに位置する。長軸58cm、短軸46cm、深さ28cmを測り、楕円形平面を呈する。

### 77号土坑(第17図)

69M-14グリッドに位置する。長軸84cm、短軸57cm、深さ30cmを測り、楕円形平面を呈する。

### 78号土坑(第17図)



第14図 1区19号住居と出土遺物

69M-15グリッドに位置する。長軸65cm、短軸45cm、深さ38cmを測り、楕円形平面を呈する。

**79号土坑** (第17図)

69P-16グリッドに位置する。西端部は不明。短軸38cm、深さ21cmを測り、楕円形平面を呈する。

**80号土坑** (第17図)

69M-16グリッドに位置する。長軸60cm、短軸58cm、深さ22cmを測り、円形平面を呈する。

**81号土坑** (第17図、PL9)

69J-14グリッドに位置する。長軸116cm、短軸100cm、深さ65cmを測る。埋没土中層から甕、高坏脚部、ミニチュア土器、棒状礫、礫片が出土した。

**82号土坑** (第18図、PL9)

69K-15グリッドに位置する。長軸82cm、短軸78cm、深さ73cmを測り、円形平面を呈する。

**83号土坑** (第18図、PL9)

69J-16グリッドに位置する。長軸107cm、短軸92cm、深さ28cmを測り、不整円形平面を呈する。底面に接して棒状礫が出土した。

**84号土坑** (第18図、PL9)

69L-13グリッドに位置する。長軸63cm、短軸49cm、深さ24cmを測り、楕円形平面を呈する。

**85号土坑** (第18図、PL9・10)

69Q-13グリッドに位置する。長軸80cm、短軸75cm、深さ33cmを測り、楕円形平面を呈する。

**150号土坑** (第18図、PL10)

69S-15グリッドに位置する。長軸55cm、短軸51cm、深さ22cmを測り、円形平面を呈する。151号土坑を切って掘り込まれる。

**151号土坑** (第18図、PL10)

69S-15グリッドに位置する。長軸61cm、短軸32cm (推定)、深さ21cmを測り、楕円形平面を呈する。

**152号土坑** (第18図、PL10)

69S-15グリッドに位置する。長軸48cm、短軸43cm、深さ25cmを測り、円形平面を呈する。

**153号土坑** (第18図、PL10)

69S-15グリッドに位置する。長軸88cm、短軸61cm、深さ5cmを測り、楕円形平面を呈する。

**154号土坑** (第18図、PL10)

69Q-13グリッドに位置する。長軸144cm、短軸82cm、深さ28cmを測る。重複土坑であるとみられる。

**306号土坑** (第19図、PL11)

69N-17グリッドに位置する。長軸27cm、短軸24cm、深さ25cmを測り、円形平面を呈する。埋没土中から埴(3)が出土した。

**307号土坑** (第19図)

69N-18グリッドに位置する。長軸70cm、短軸37cm、深さ16cmを測り、楕円形平面を呈する。埋没土中から甕(4)が出土した。

**355号土坑** (第19図、PL14)

79L-5グリッドに位置する。長軸97cm、短軸88cm、深さ48cmを測り、不整円形平面を呈する。

**357号土坑** (第19図、PL14)

79M-5グリッドに位置する。長軸55cm、短軸45cm、深さ16cmを測り、楕円形平面を呈する。

**358号土坑** (第19図、PL15)

79K-7グリッドに位置する。長軸79cm、短軸57cm、深さ35cmを測り、楕円形平面を呈する。

**359号土坑** (第19図、PL15)

79L-6グリッドに位置する。長軸55cm、短軸51cm、深さ24cmを測り、円形平面を呈する。

**361号土坑** (第19図、PL15)

69Q-19グリッドに位置する。長軸44cm、短軸32cm、深さ37cmを測り、不整円形平面を呈する。

**362号土坑** (第19図、PL15)

79L-4グリッドに位置する。長軸38cm、短軸35cm、深さ35cmを測り、楕円形平面を呈する。埋没土中から台付甕(2)、坏(1)が出土した。

**386号土坑** (第19図、PL15)

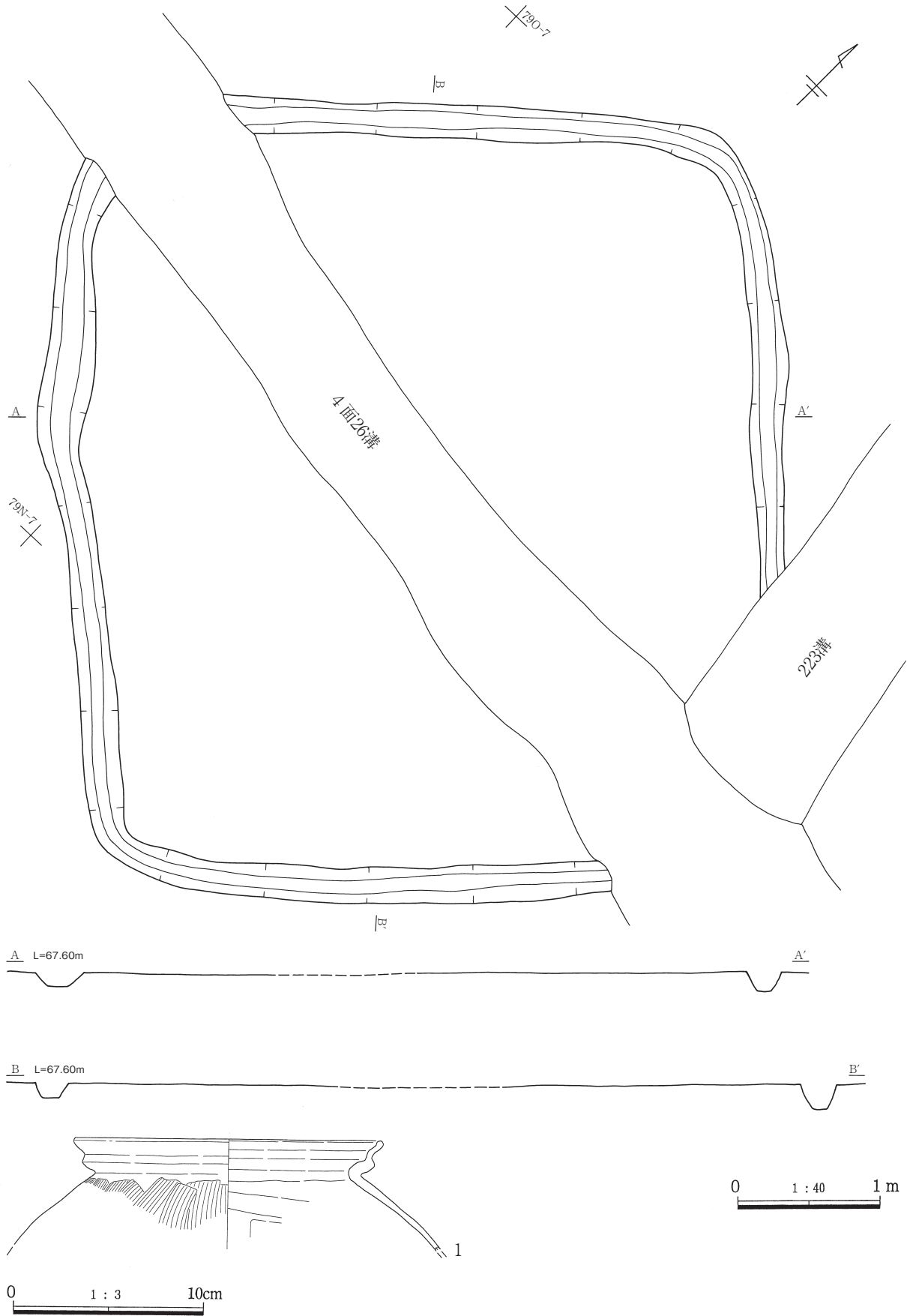
69K-18グリッドに位置する。長軸56cm、短軸55cm、深さ31cmを測り、円形平面を呈する。

**369号土坑** (第19図)

79S-7グリッドに位置する。長軸43cm、短軸32cm、深さ13cmを測り、楕円形平面を呈する。

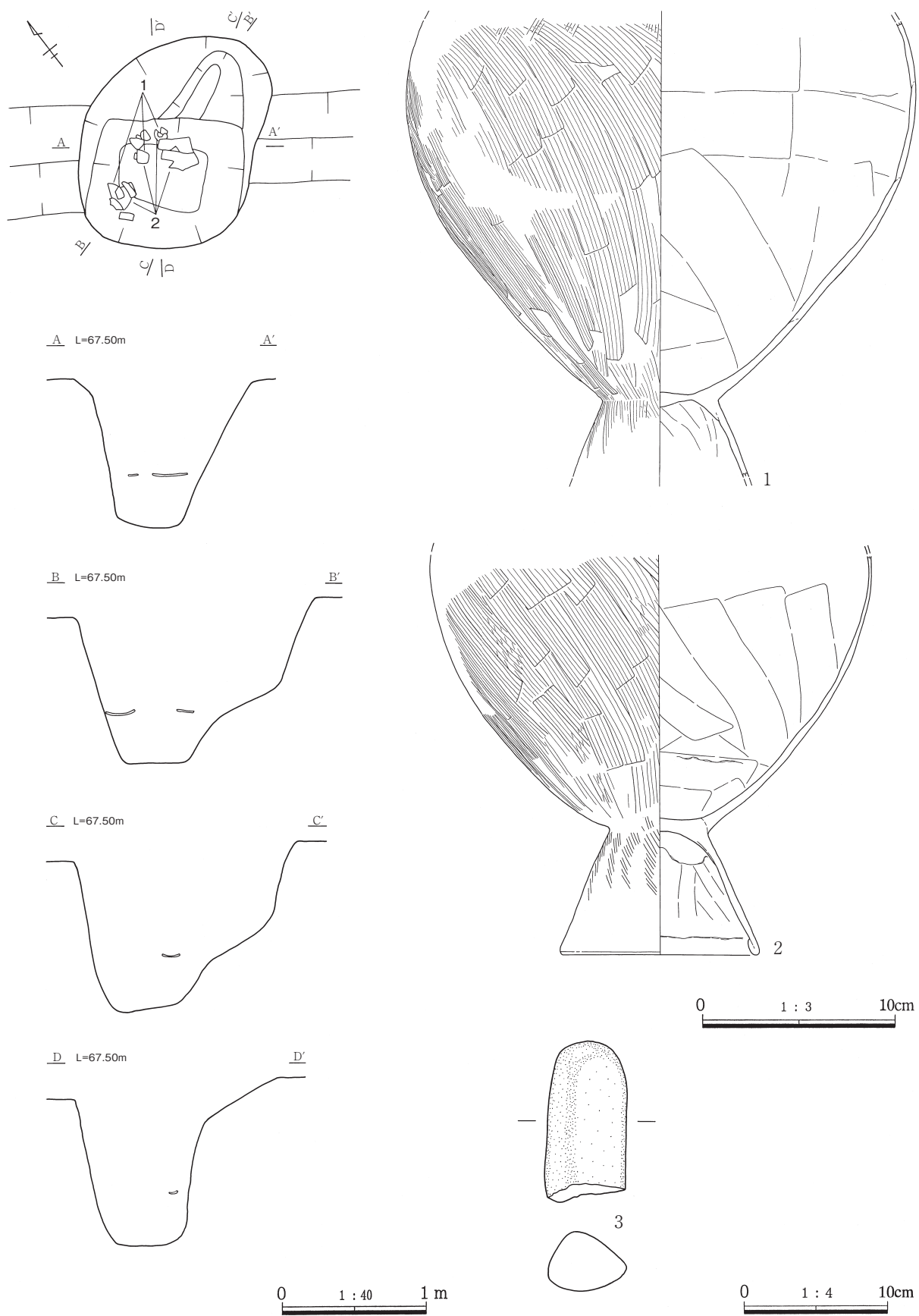
**383号土坑** (第19図)

79L-2グリッドに位置する。長軸56cm、短軸55cm、深さ40cmを測り、円形平面を呈する。

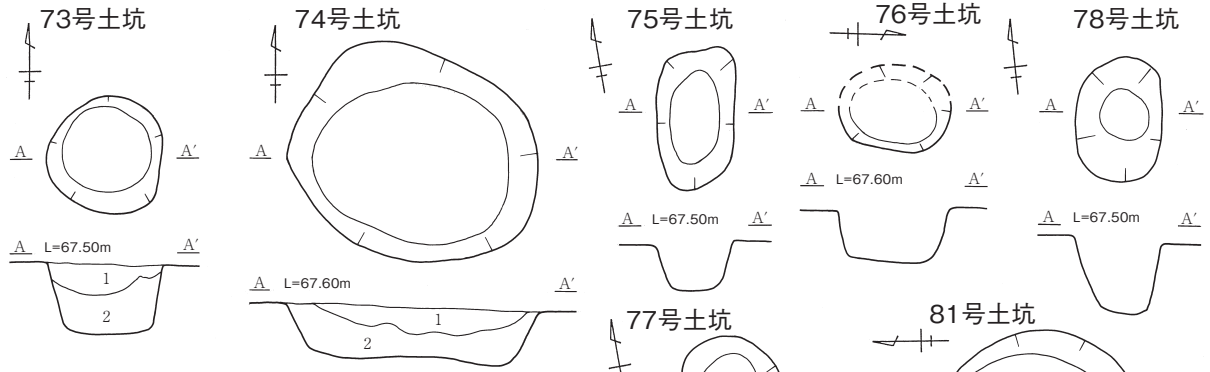


第15図 1区23号住居と出土遺物

II 発掘調査の記録



第16図 1区72号土坑と出土遺物



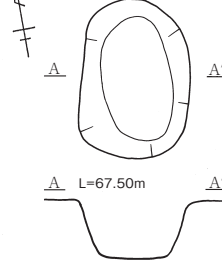
1区6面73土坑

- 1 黒色土 締まり弱いが粒度均一 ロームブロックを含む
- 2 黒褐色土 粗粒で軟い ロームブロックを僅かに含む

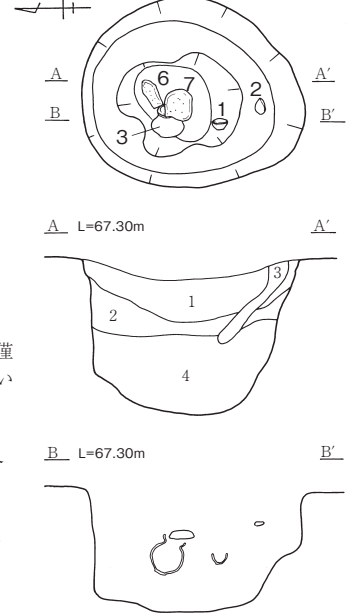
1区6面74土坑

- 1 黒色土 締まり弱いが粒度均一 ロームブロックを含む
- 2 黒褐色土 粗粒で軟い ロームブロックを僅かに含む

77号土坑



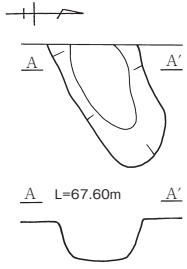
81号土坑



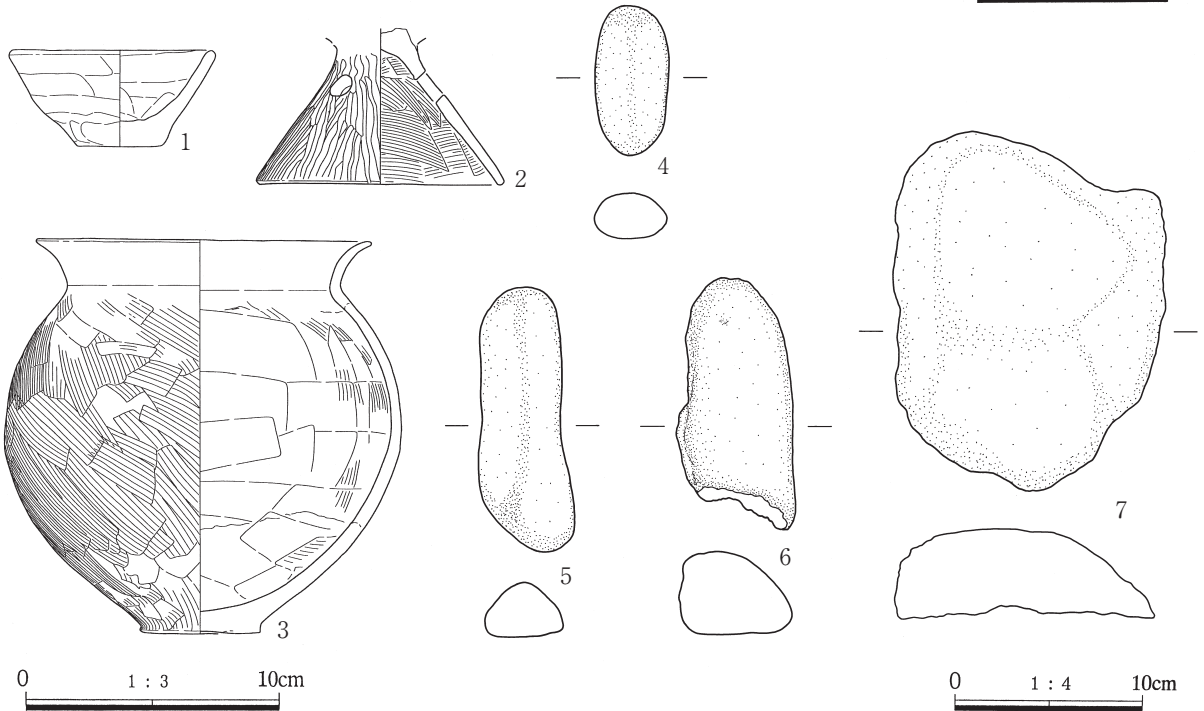
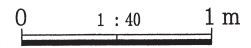
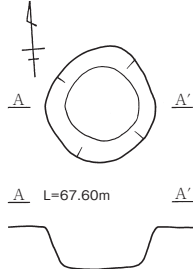
1区6面81土坑

- 1 黒色土 ローム粒、炭化物、泥流土粒を僅かに含む 粒土均一で締まり強い
- 2 黒色土 ローム粒、炭化物を僅かに含む 締まり、粘性共に弱い
- 3 黒色土 As-C, ローム粒、泥流土粒を含む 締まりやや弱い
- 4 黒色土 As-C, ローム粒を含む

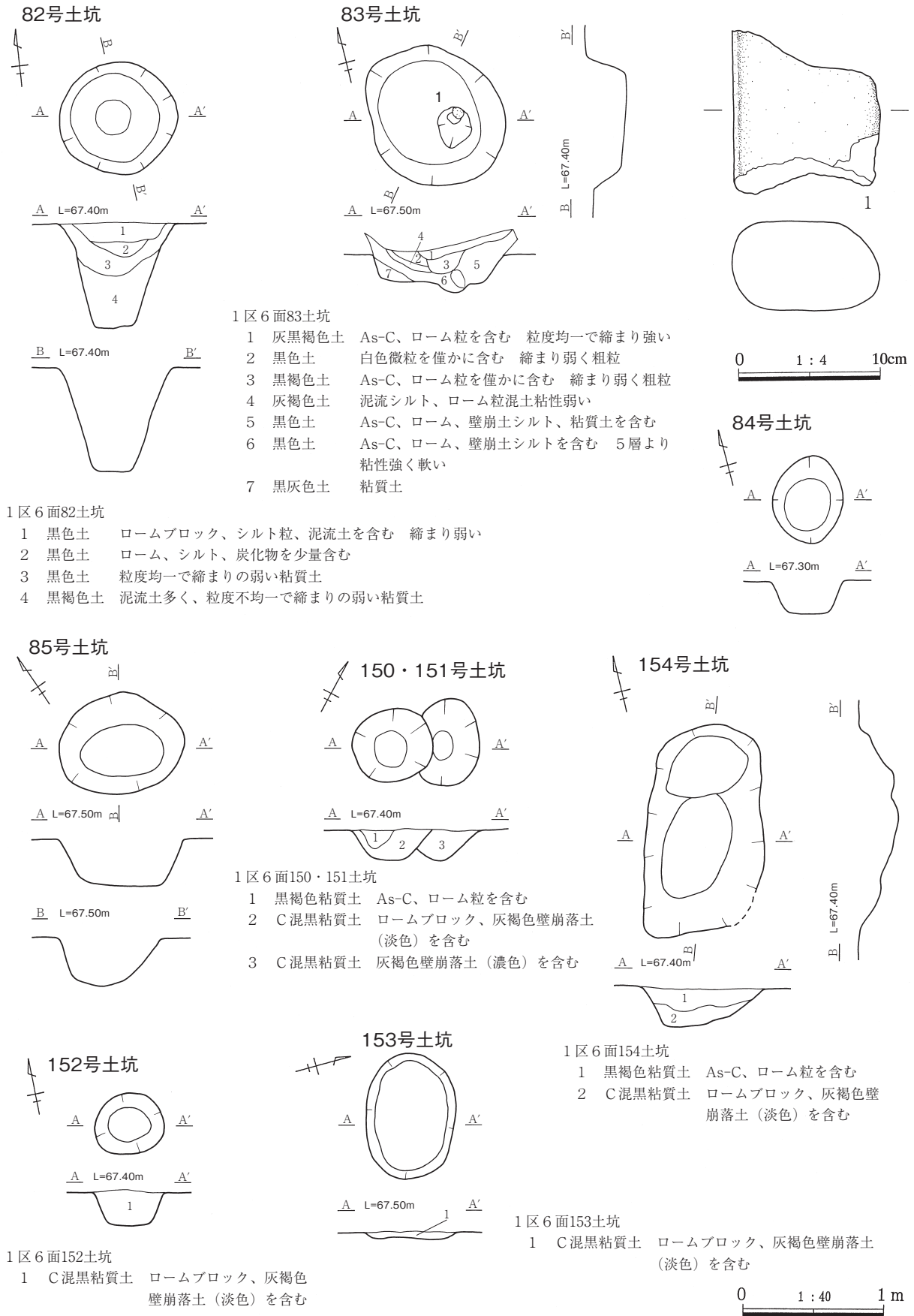
79号土坑



80号土坑

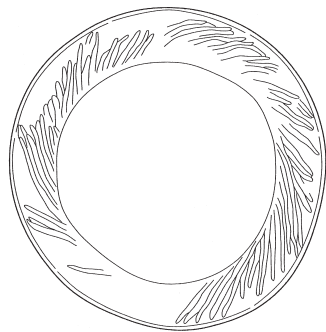
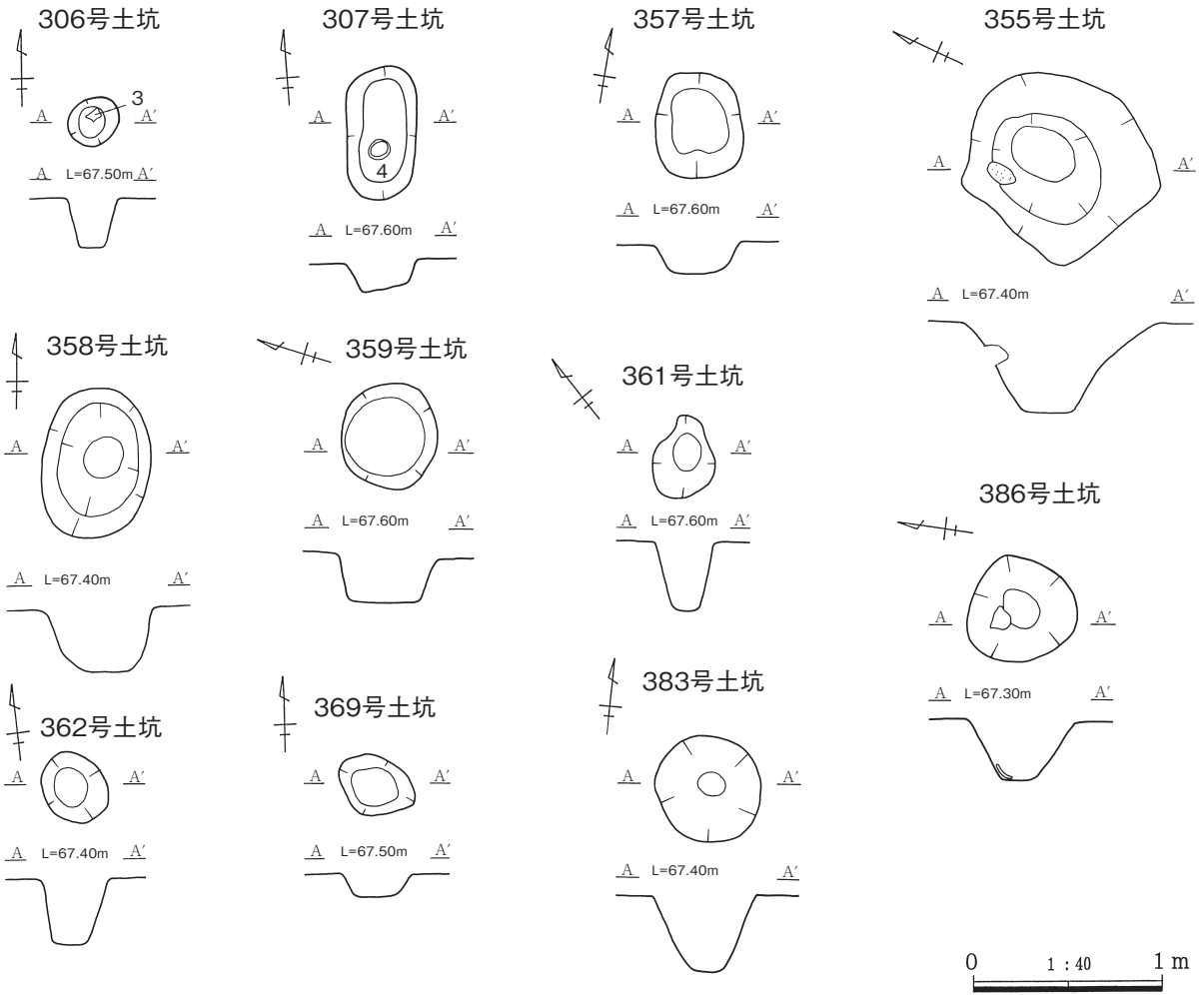


第17図 1区73~81号土坑と81号土坑出土遺物

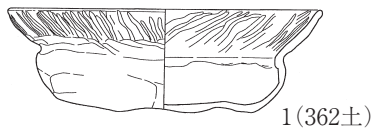


第18図 1区82～85・150～154号土坑と83号土坑出土遺物

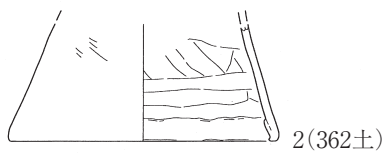




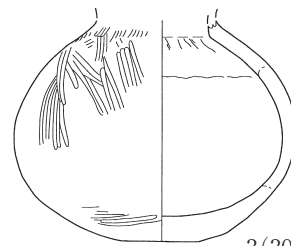
3(306土)



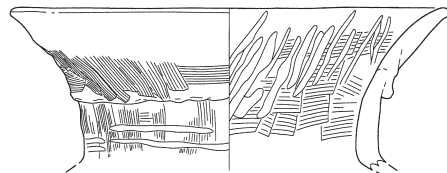
1(362土)



2(362土)



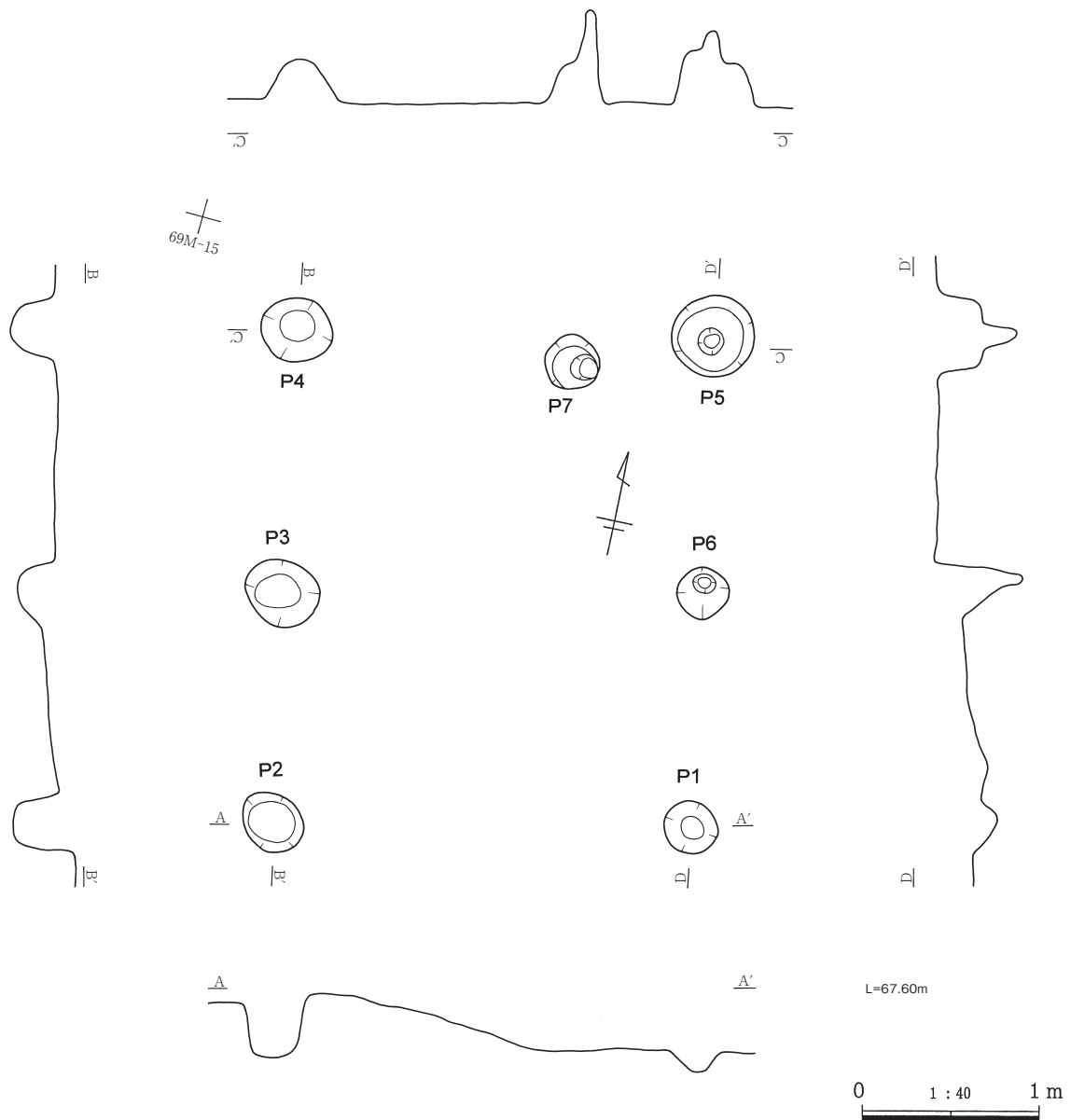
3(306土)



4(307土)

0 1:3 10cm

第19図 1区306・307・355・357～359・361・362・369・383・386号土坑と出土遺物



第20図 1区1号掘立柱建物

**掘立柱建物**（第20・21図、PL16）

同面の調査により掘立柱建物が2棟確認された。両棟とも側柱により構成されるもので、時期は不明である。両棟は55m程度の距離をもち、建物規模も異なるが、平面形態は相似形を示すことから、時間的な関連をもつことも考えることができる。

**1号掘立柱建物**（第20図、PL16）

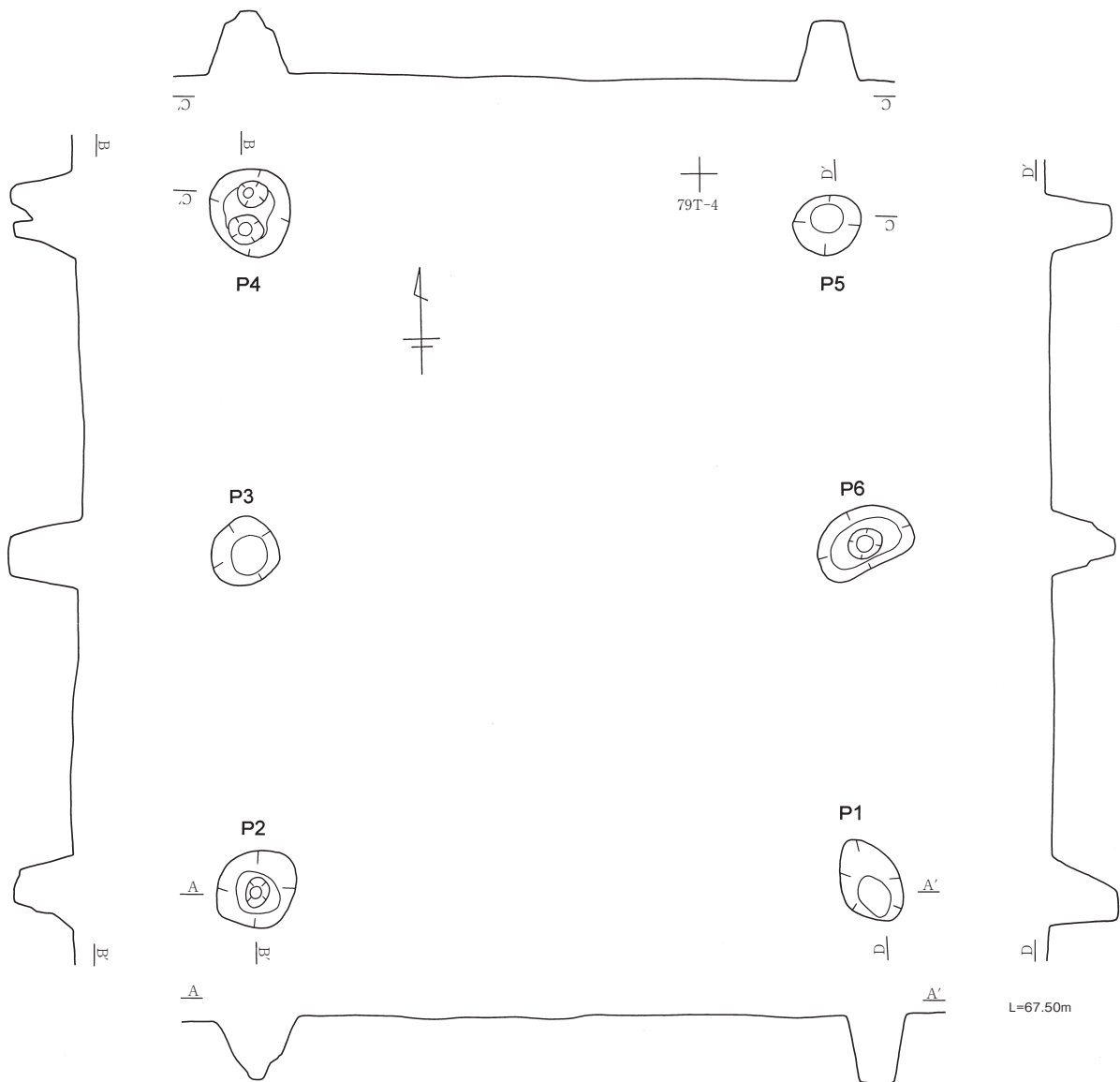
**位置** 69L-14グリッドに位置する。

**主軸方位** N-10°-E

**重複** 235号溝と重複する。

表2 柱穴計測表 (cm)

柱穴	長径	短径	深さ	平面形
P 1	31	29	14	円形
P 2	38	30	35	楕円形
P 3	42	36	22	楕円形
P 4	41	36	24	円形
P 5	48	46	43	円形
P 6	30	26	50	円形
P 7	31	29	53	円形



第21図 1区24号掘立柱建物

0 1:40 1 m

**形態** 桁行2間、梁行1軒。桁行長は280cmで、柱間は140cm。梁行長は240cmを測る。

**その他** 出土遺物は認められていない。

**24号掘立柱建物**（第21図、PL16）

**位置** 79S-4グリッドに位置する。

**主軸方位** N-5°-E

**形態** 桁行2間、梁行1間。桁行長は380cmで、柱間はP1-P6、P2-P3間が194cm、P3-P4、P5-P6間が186cm、梁行長は346cmを測る。なお、P5は柱軸線から20cm程度西側に偏る。

**その他** 出土遺物は認められていない。

表3 柱穴計測表 (cm)

柱穴	長径	短径	深さ	平面形
P 1	51	37	38	楕円形
P 2	50	42	44	楕円形
P 3	38	36	39	円形
P 4	50	46	36	円形
P 5	38	33	35	円形
P 6	54	34	35	楕円形

**ピット (第22・23図)**

小規模な土坑をピットとして名称した。調査経過では集中して検出される点や規模等からみて、掘立柱建物に伴う柱穴の可能性を考慮した遺構群であるが、建物構成については確定できていない。なお、ピット集中地点には1号掘立柱建物が存在する。いずれも時期は不明である。

**1号ピット (第22図)**

69P-16グリッドに位置する。径32cm×39cm、深さ50cm測る。

**2号ピット (第22図)**

69P-16グリッドに位置する。径25cm×19cm、深さ16cmを測る。

**3号ピット (第22図)**

69P-15グリッドに位置する。径44cm、深さ36cmを測る。

**4号ピット (第22図)**

69P-15グリッドに位置する。径40cm×36cm、深さ47cmを測る。

**5号ピット (第22図)**

69P-15グリッドに位置する。径37cm×34cm、深さ29cmを測る。

**6号ピット (第22図)**

69P-15グリッドに位置する。径36cm×33cm、深さ17cmを測る。

**7号ピット (第22図)**

69P-16グリッドに位置する。径16cm、深さ9cmを測る。

**8号ピット (第22図)**

69P-16グリッドに位置する。径30cm、深さ32cmを測る。

**9号ピット (第22図)**

69P-16グリッドに位置する。径25cm×22cm、深さ16cmを測る。

**11号ピット (第22図)**

69O-15グリッドに位置する。径36cm×25cm、深さ37cmを測る。

**12号ピット (第22図)**

69O-15グリッドに位置する。径44cm×39cm、深さ51cmを測る。

**13号ピット (第22図)**

69O-15グリッドに位置する。径32cm×28cm、深さ29cmを測る。

**14号ピット (第22図)**

69O-15グリッドに位置する。径33cm×28cm、深さ19cmを測る。

**15号ピット (第22図)**

69O-16グリッドに位置する。径35cm×30cm、深さ24cmを測る。

**16号ピット (第22図)**

69N-15グリッドに位置する。径25cm×23cm、深さ17cmを測る。

**17号ピット (第22図)**

69N-16グリッドに位置する。径36cm×32cm、深さ31cmを測る。

**18号ピット (第22図)**

69M-14グリッドに位置する。径25cm×22cm、深さ14cmを測る。

**20号ピット (第22図)**

69M-15グリッドに位置する。径27cm×23cm、深さ13cmを測る。

**21号ピット (第22図)**

69N-13グリッドに位置する。径34cm×32cm、深さ14cmを測る。

**22号ピット (第22図)**

69N-13グリッドに位置する。径35cm×27cm、深さ70cmを測る。

**23号ピット (第22図)**

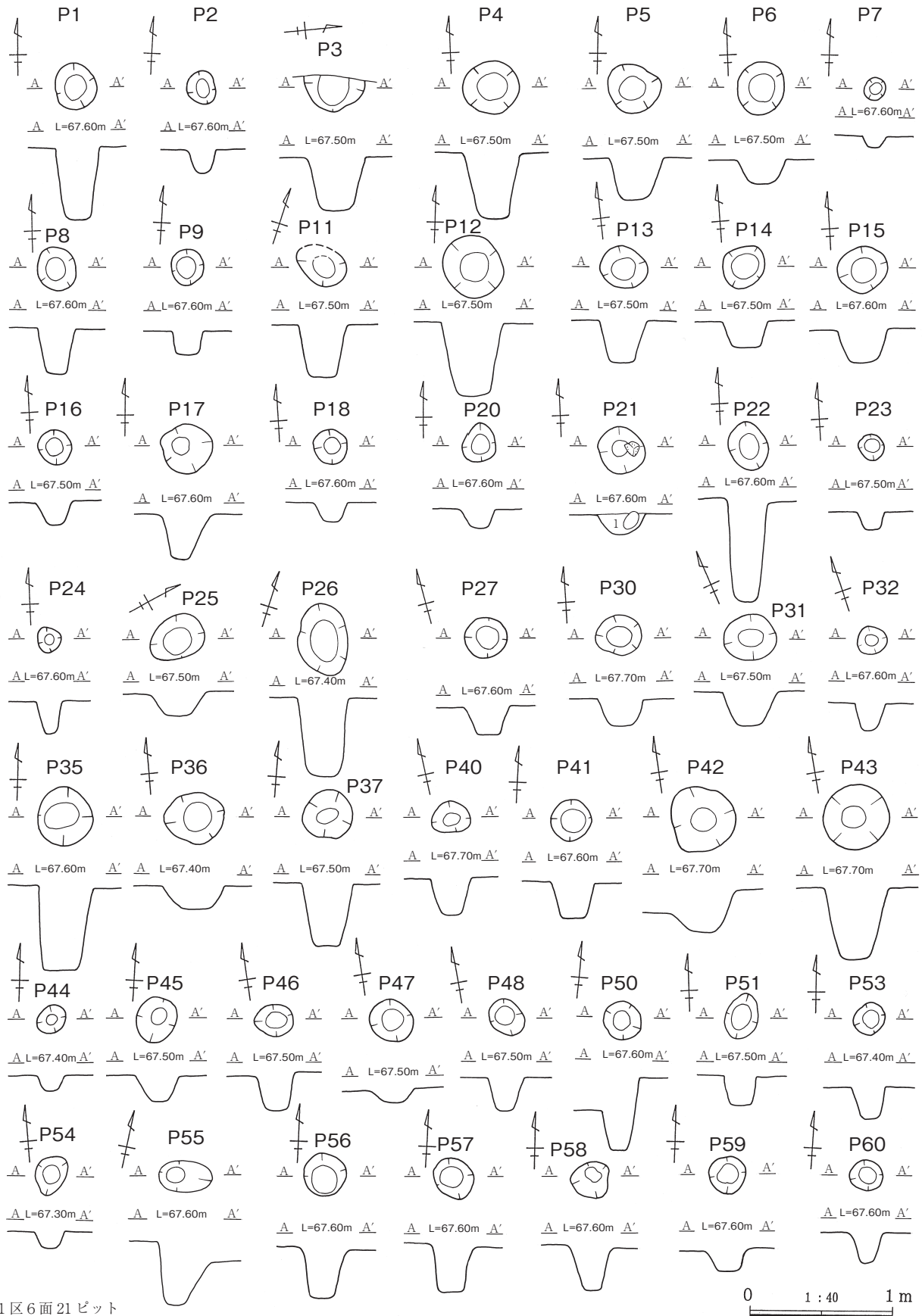
69M-15グリッドに位置する。径18cm×17cm、深さ13cmを測る。

**24号ピット (第22図)**

69M-14グリッドに位置する。径18cm×16cm、深さ23cmを測る。

**25号ピット (第22図)**

69M-15グリッドに位置する。径40cm×38cm、深さ15cmを測る。



1区6面21ピット

1 黒色土 炭化物を含む 締まり弱い

第22図 1区ピット (1)

**26号ピット (第22図)**

69M-13グリッドに位置する。径51cm×35cm、深さ55cmを測る。

**27号ピット (第22図)**

69L-16グリッドに位置する。径30cm×28cm、深さ20cmを測る。

**30号ピット (第22図)**

69L-14グリッドに位置する。径32cm×27cm、深さ17cmを測る。

**31号ピット (第22図)**

69L-13グリッドに位置する。径36cm×32cm、深さ25cmを測る。

**32号ピット (第22図)**

69L-13グリッドに位置する。径21cm×20cm、深さ19cmを測る。

**35号ピット (第22図)**

69L-16グリッドに位置する。径42cm×39cm、深さ57cmを測る。

**36号ピット (第22図)**

69L-16グリッドに位置する。径42cm×35cm、深さ15cmを測る。

**37号ピット (第22図)**

69L-16グリッドに位置する。径34cm×34cm、深さ43cmを測る。

**40号ピット (第22図)**

69L-15グリッドに位置する。径32cm×22cm、深さ27cmを測る。

**41号ピット (第22図)**

69L-15グリッドに位置する。径30cm×30cm、深さ25cmを測る。

**42号ピット (第22図)**

69K-13グリッドに位置する。径46cm×45cm、深さ23cmを測る。

**43号ピット (第22図)**

69K-14グリッドに位置する。径46cm×45cm、深さ50cmを測る。

**44号ピット (第22図)**

69K-14グリッドに位置する。径22cm×18cm、深

さ11cmを測る。

**45号ピット (第22図)**

69P-15グリッドに位置する。径32cm×27cm、深さ28cmを測る。

**46号ピット (第22図)**

69M-15グリッドに位置する。径27cm×22cm、深さ26cmを測る。

**47号ピット (第22図)**

69M-15グリッドに位置する。径32cm×27cm、深さ9cmを測る。

**48号ピット (第22図)**

69M-15グリッドに位置する。径27cm×23cm、深さ24cmを測る。

**50号ピット (第22図)**

69L-17グリッドに位置する。径27cm×25cm、深さ40cmを測る。

**51号ピット (第22図)**

69Q-16グリッドに位置する。径32cm×23cm、深さ20cmを測る。

**53号ピット (第22図)**

69L-16グリッドに位置する。径24cm×20cm、深さ22cmを測る。

**54号ピット (第22図)**

69L-17グリッドに位置する。径26cm×21cm、深さ12cmを測る。

**55号ピット (第22図)**

69L-17グリッドに位置する。径38cm×21cm、深さ37cmを測る。

**56号ピット (第22図)**

69M-16グリッドに位置する。径30cm×30cm、深さ35cmを測る。

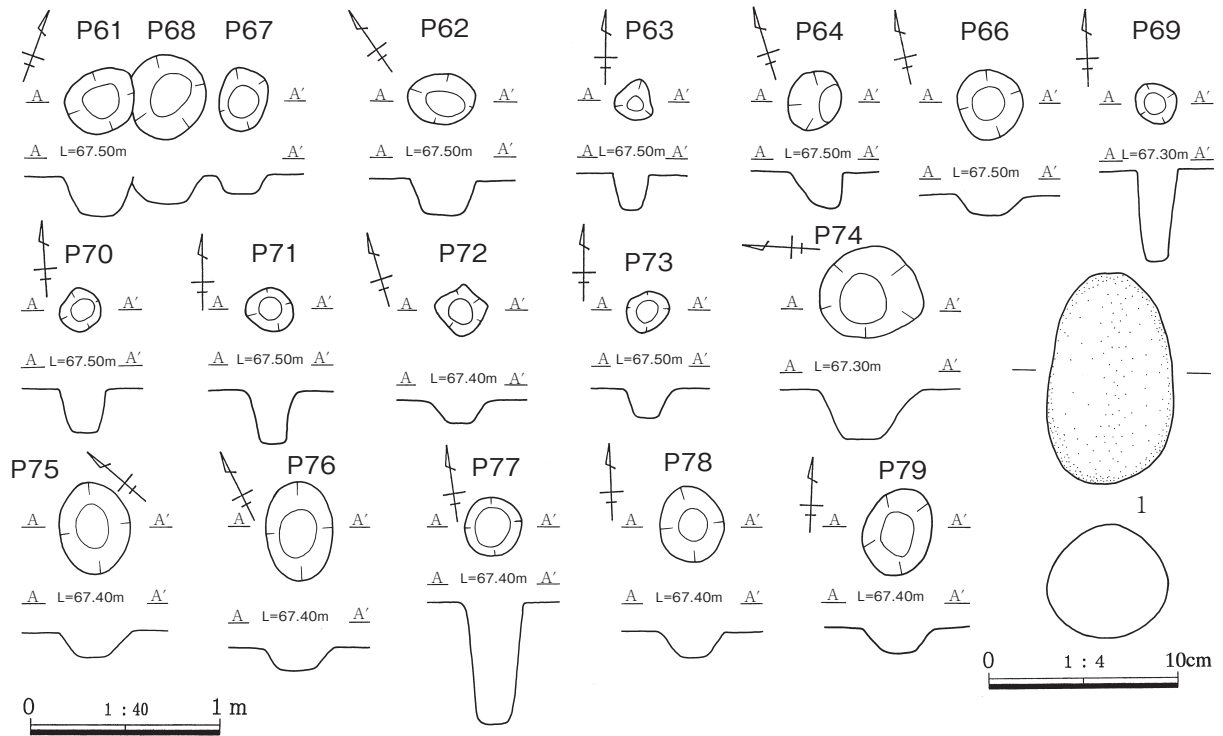
**57号ピット (第22図)**

69M-17グリッドに位置する。径30cm×26cm、深さ33cmを測る。

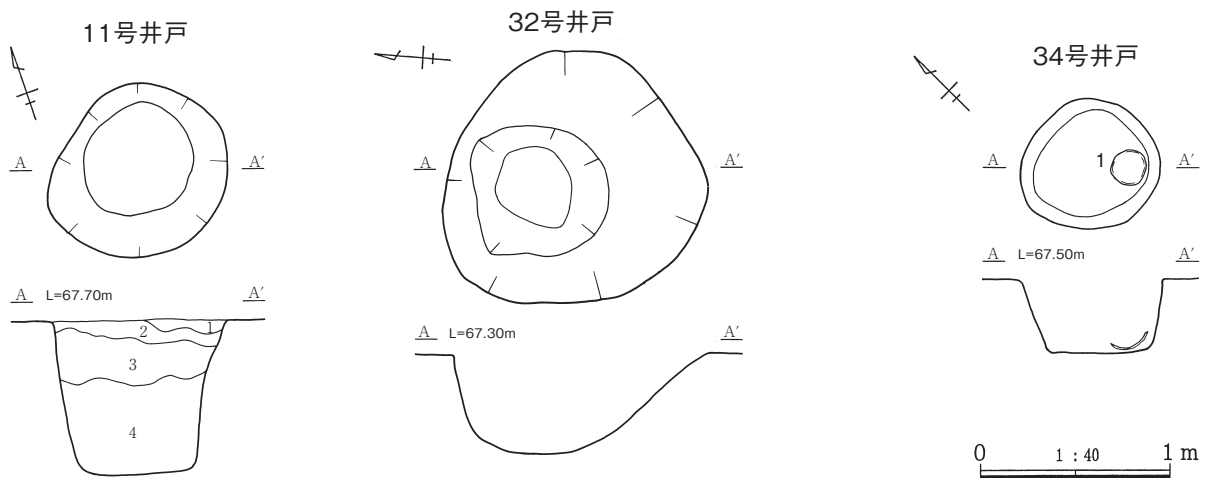
**58号ピット (第22図)**

69M-16グリッドに位置する。径27cm×26cm、深さ30cmを測る。

**59号ピット (第22図)**

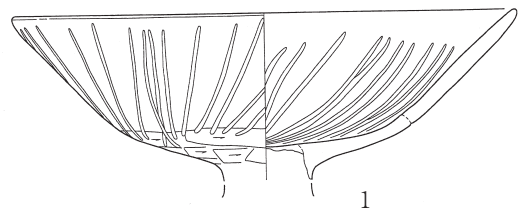


第23図 1区ピット(2)と1号ピット出土遺物



1区6面11号井戸

- 1 黒褐色土 As-B、ロームブロックを多く含む 密に締まる
- 2 黒褐色土 As-Bを多く含み、ロームブロックを僅かに含む  
粒度均一だが軟い
- 3 黒褐色土 As-B、ロームブロック、灰褐色ローム粘質土を含む
- 4 黒褐色土 ロームブロック、灰褐色ローム質粘土を含む 締まり弱く軟い



第24図 1区11・32・34号井戸と34号井戸出土遺物

69M-16グリッドに位置する。径26cm×25cm、深さ15cmを測る。

**60号ピット** (第22図)

69M-17グリッドに位置する。径23cm×22cm、深さ21cmである。

**61号ピット** (第23図)

69O-15グリッドに位置する。径37cm×32cm、深さ21cmを測る。

**62号ピット** (第23図)

69Q-15グリッドに位置する。径35cm×26cm、深さ18cmを測る。

**63号ピット** (第23図)

69O-15グリッドに位置する。径21cm×20cm、深さ19cmを測る。

**64号ピット** (第23図)

69O-15グリッドに位置する。径31cm×28cm、深さ19cmを測る。

**66号ピット** (第23図)

69N-15グリッドに位置する。径38cm×34cm、深さ11cmを測る。

**67号ピット** (第23図)

69O-15グリッドに位置する。径34cm×25cm、深さ10cmを測る。

**68号ピット** (第23図)

69O-15グリッドに位置する。径44cm×41cm、深さ14cmを測る。

**69号ピット** (第23図)

69L-17グリッドに位置する。径22cm×21cm、深さ50cmを測る。

**70号ピット** (第23図)

69L-17グリッドに位置する。径21cm×21cm、深さ23cmを測る。

**71号ピット** (第23図)

69N-16グリッドに位置する。径25cm×22cm、深さ28cmを測る。

**72号ピット** (第23図)

69N-16グリッドに位置する。径25cm×23cm、深さ12cmを測る。

**73号ピット** (第23図)

69N-16グリッドに位置する。径23cm×22cm、深さ15cmを測る。

**74号ピット** (第23図)

69I-14グリッドに位置する。径55cm×46cm、深さ26cmを測る。

**75号ピット** (第23図)

69N-15グリッドに位置する。径48cm×37cm、深さ14cmを測る。

**76号ピット** (第23図)

69O-15グリッドに位置する。径52cm×35cm、深さ11cmを測る。

**77号ピット** (第23図)

69S-15グリッドに位置する。径30cm×30cm、深さ64cmを測る。

**78号ピット** (第23図)

69Q-13グリッドに位置する。径40cm×35cm、深さ15cmを測る。

**79号ピット** (第23図)

69Q-13グリッドに位置する。径47cm×35cm、深さ14cmを測る。154号土坑と重複関係をもつ。

**井戸** (第24図、PL16・18)

この調査面において3基の井戸を検出した。時期は明確ではないが、34号井戸からは高坏の出土が認められ、古墳時代に相当するものと考えられることができる。

**11号井戸** (第24図、PL16)

69N-15グリッドに位置する。径90cm×85cmで、ほぼ円形平面を呈する。確認深は82cmを測り、筒形断面を示す。

**32号井戸** (第24図、PL18)

69K-20グリッドに位置する。径143cm×132cmで、不整形円形平面を呈する。確認深は54cmを測り、逆梯形断面を示す。

**34号井戸** (第24図、PL18)

79S-7グリッドに位置する。径74cm×70cmで、ほぼ円形平面を呈する。確認深は39cmを測り、筒形断



面を示す。底面に接して高坏(坏部)が出土している。

#### 方形周溝墓(第25図)

ここで方形周溝墓とした遺構は発掘調査の際はそれぞれ溝として調査していたものである。調査終了後、図面整理の段階で方形区画となる平面形を把握したため方形周溝墓として報告するものである。

226号溝として調査したものをA号方形周溝墓、237・242・251号溝による方形区画をB号方形周溝墓としておきたい。溝内からは土器類が出土しているが、これら遺物からみてA号およびB号方形周溝墓といし遺構の時期は、2区1号方形周溝墓と類する時期といえ、4世紀前半に位置付けることができよう。

#### A号方形周溝墓(226号溝)(第25図、PL23)

69M-17グリッド～69O-17グリッドに位置する。方形区画溝の西半部のみ検出し、東半部は遺失する。西辺部規模は10m前後を測る。溝幅100cm～160cm、深さ25cm。溝内から埴、台付甕台部が出土している。主体部についても削平されているため、不明である。

#### B号方形周溝墓(237・242・251号溝)(第25図、PL24・25)

各溝の残存状況が悪く、形状も不規則であるが237号・242号・251号溝により方形に巡る状態が認められた。平面規模は、1辺12m前後の方形区画を呈する。平面形状や規模からみて、方形周溝墓の可能性が高いものと判断した。237号溝は幅100cm～160cm、深さ25cm、242号溝は幅60cm～110cm、深さ11.2cm、251号溝は幅80cm～140cm、深さ8cmを計測する。237号溝内から埴、壺、高坏、242号溝内からS字状口縁台付甕が出土している。

#### 溝(第25図～29図、PL23・24)

溝は部分的な確認にとどまるものが多く、全形が把握できる例は少ない。

検出された溝について、位置や形状から次の2群に分類が可能である。

第1群としては、地形に沿って走行する溝群であり、基本的に微高地縁辺に位置するものである。水

田耕作に伴う水路としての機能をもつものと考えられる。

これらには、北東部に位置する65号～67号溝、250号溝と、南西部に位置する245号～247号溝があり、規模の大きな溝はみられない。

#### 65号溝(第27図、PL22)

69Q-15グリッド～69P-14グリッドに位置する。幅60cm～140cm、深さ11cmで、66号溝と重複する。

#### 66号溝(第27図、PL22)

69R-15グリッド～69P-14グリッドに位置する。幅70cm～100cm、深さ25cmで、遺失部があるが西側に延長し、250号溝と連続する。

#### 67号溝(第27図、PL22)

69R-16グリッドに位置し、部分的確認にとどまる。幅50cm前後、深さ10cm、確認長190cmである。

#### 250号溝(第28図、PL25)

69S-18グリッド～69S-17グリッドに位置する。幅40cm、深さ10cm。66号溝に連続するとみられる。

第2群は、微高地上にあり、方形区画状に走行するもので223号溝、235号溝および228号溝がある。

#### 223号溝(第29図、PL23)

69L-20グリッド～79N-6グリッドに位置し、方形区画の南西隅側を形成する。幅150cm、深さ36cm。

#### 235号溝(第28図、PL24)

79Q-6グリッド～79T-4グリッドに位置し、方形区画の北西隅側を形成する。幅120cm、深さ32cm。

#### 228号溝(第27図、PL24)

69S-17グリッド～69T-20グリッドに位置する。連続しないが、235号溝と同一溝の可能性があり、歪みが生じるが、方形区画の北辺側を形成するものとみられる。幅160cm～200cm、深さ40cm。

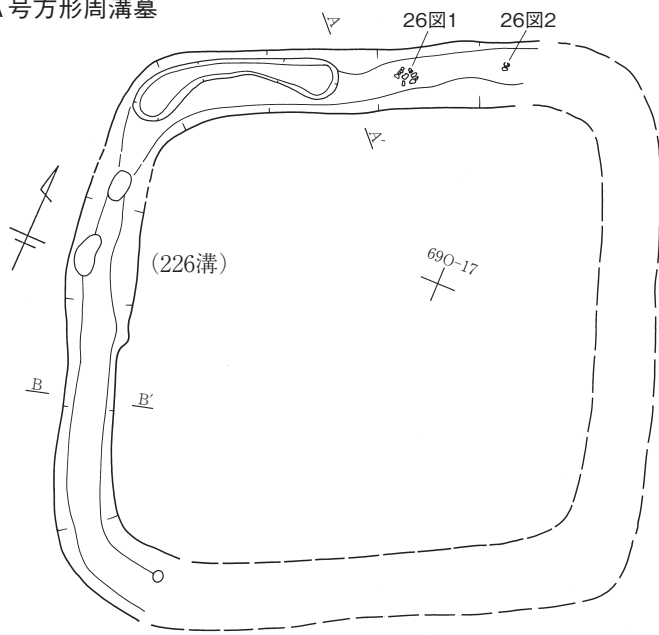
#### 233号溝(第29図、PL24)

69N-3グリッド～69N-5グリッドに位置し、弧状に走行する。幅110cm～140cm、深さ17cm。

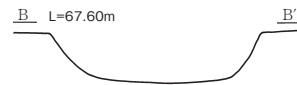
#### 238号溝(第28図)

79K-3グリッド～79L-3グリッドに位置し、223号溝に接し、南北方向に走行する。幅80cm、深さ12cm。溝内から、S字状口縁台付甕が出土している。

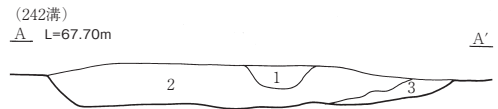
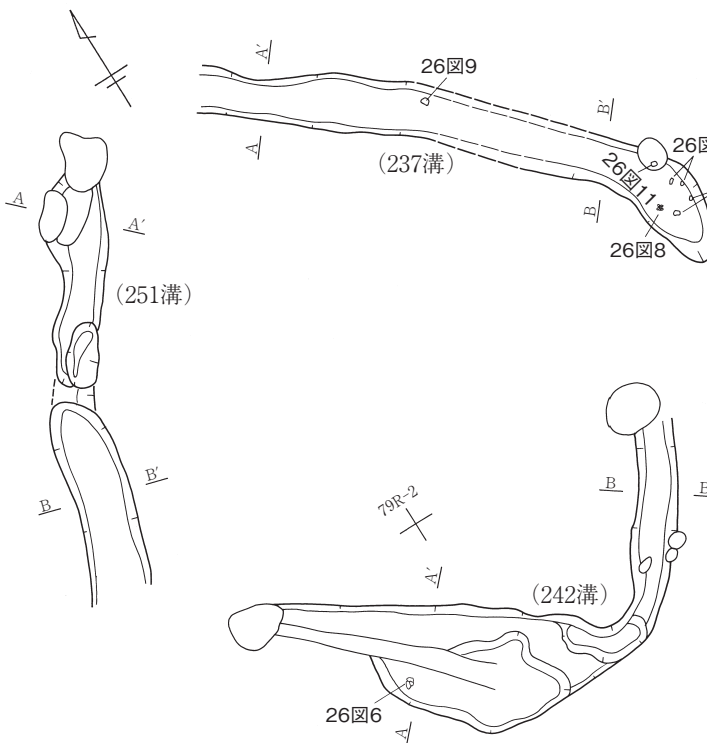
A号方形周溝墓



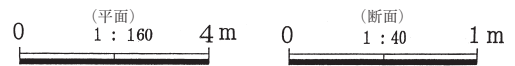
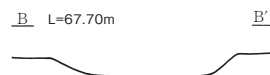
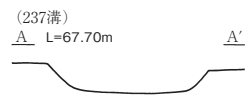
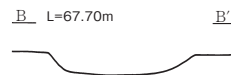
- 1区6面226号溝  
 1 黒色粘質土  
 2 黒色粘質土 明黄褐色粘質土ブロックを含む



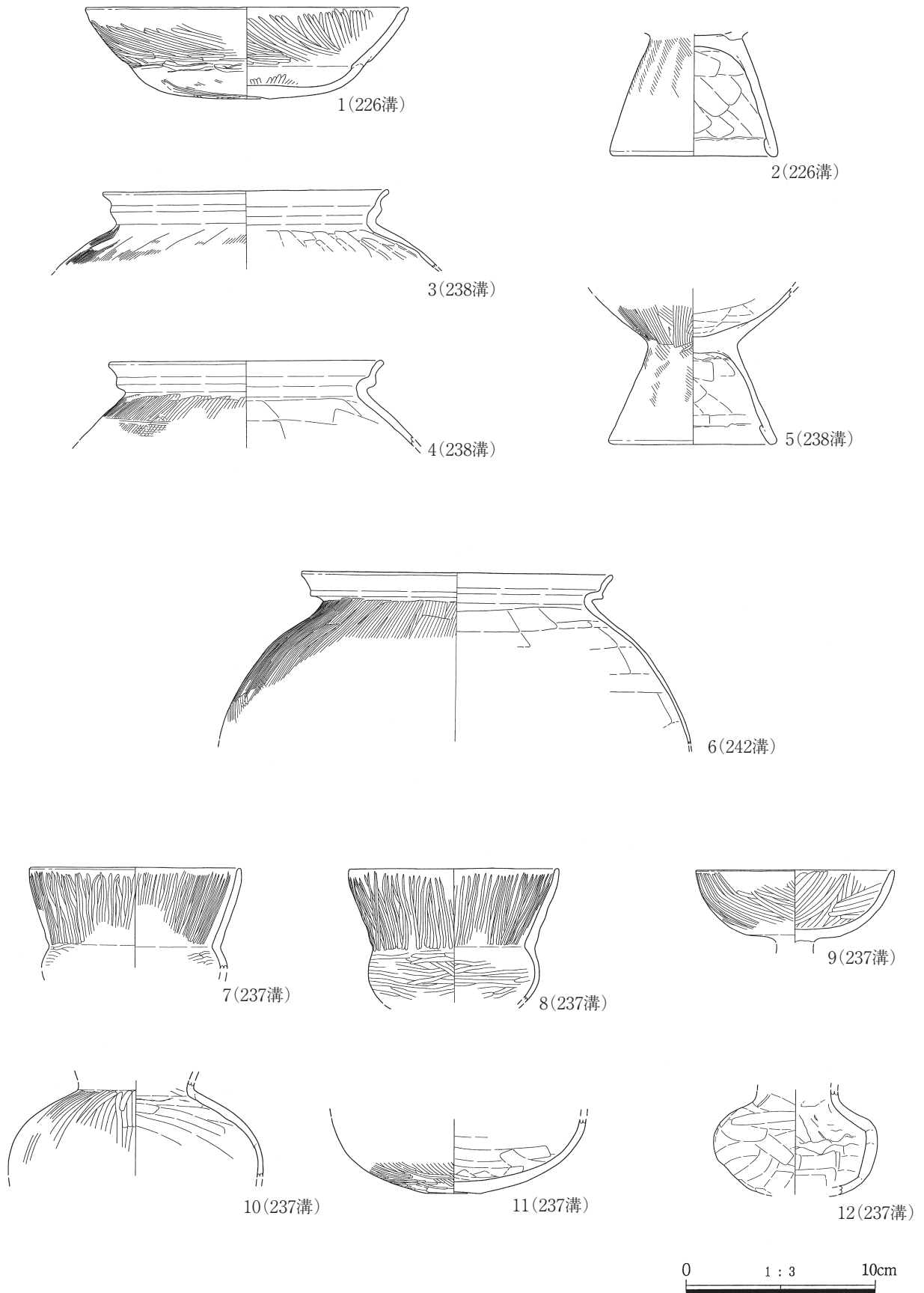
B号方形周溝墓



- 1区6面242号溝  
 1 灰褐色シルト質土  
 2 褐灰色シルト質土  
 3 褐灰色粘質土 黄橙色粘質土ブロックを含む

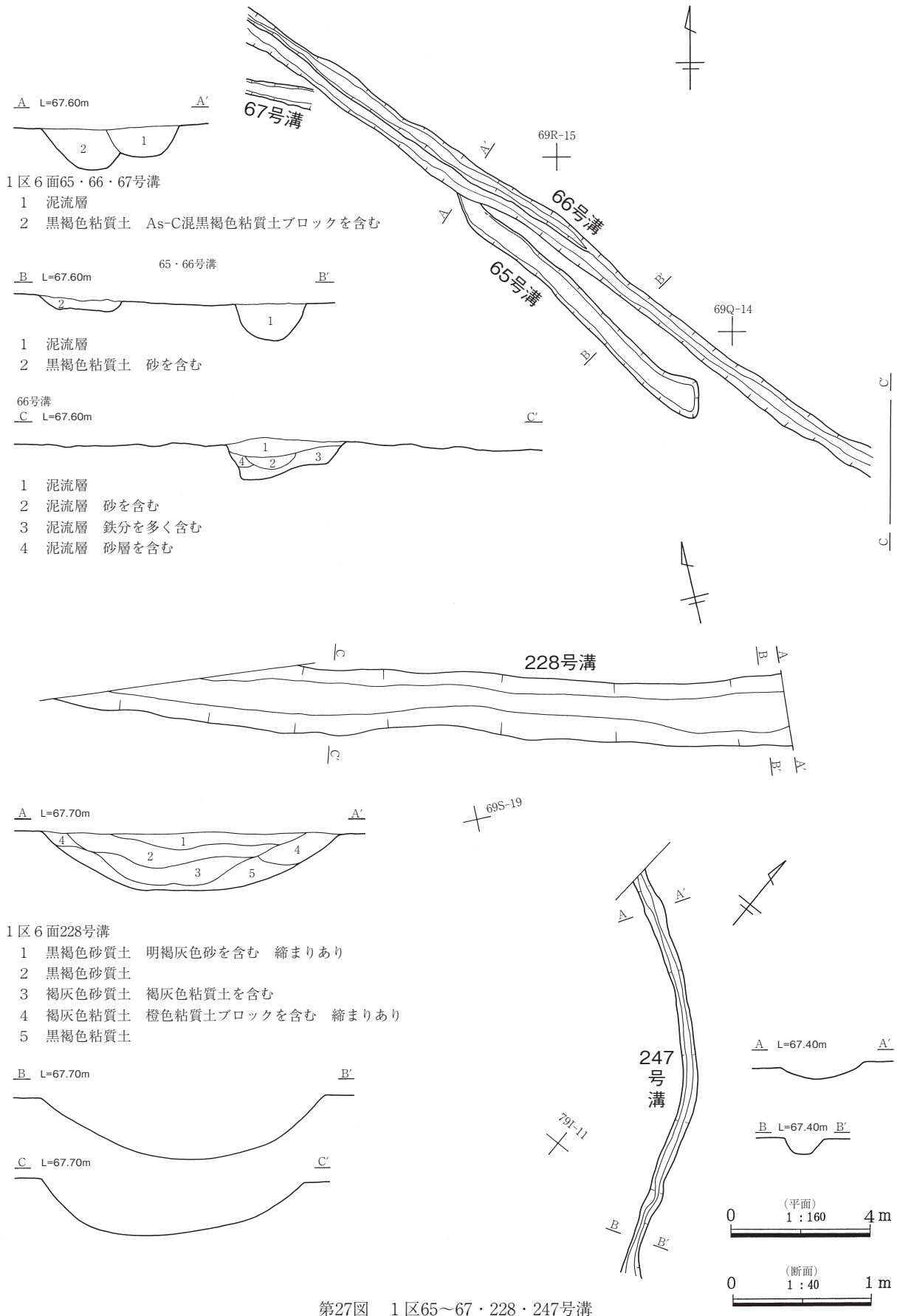


第25図 1区A号・B号方形周溝墓(226・237・242・251号溝)

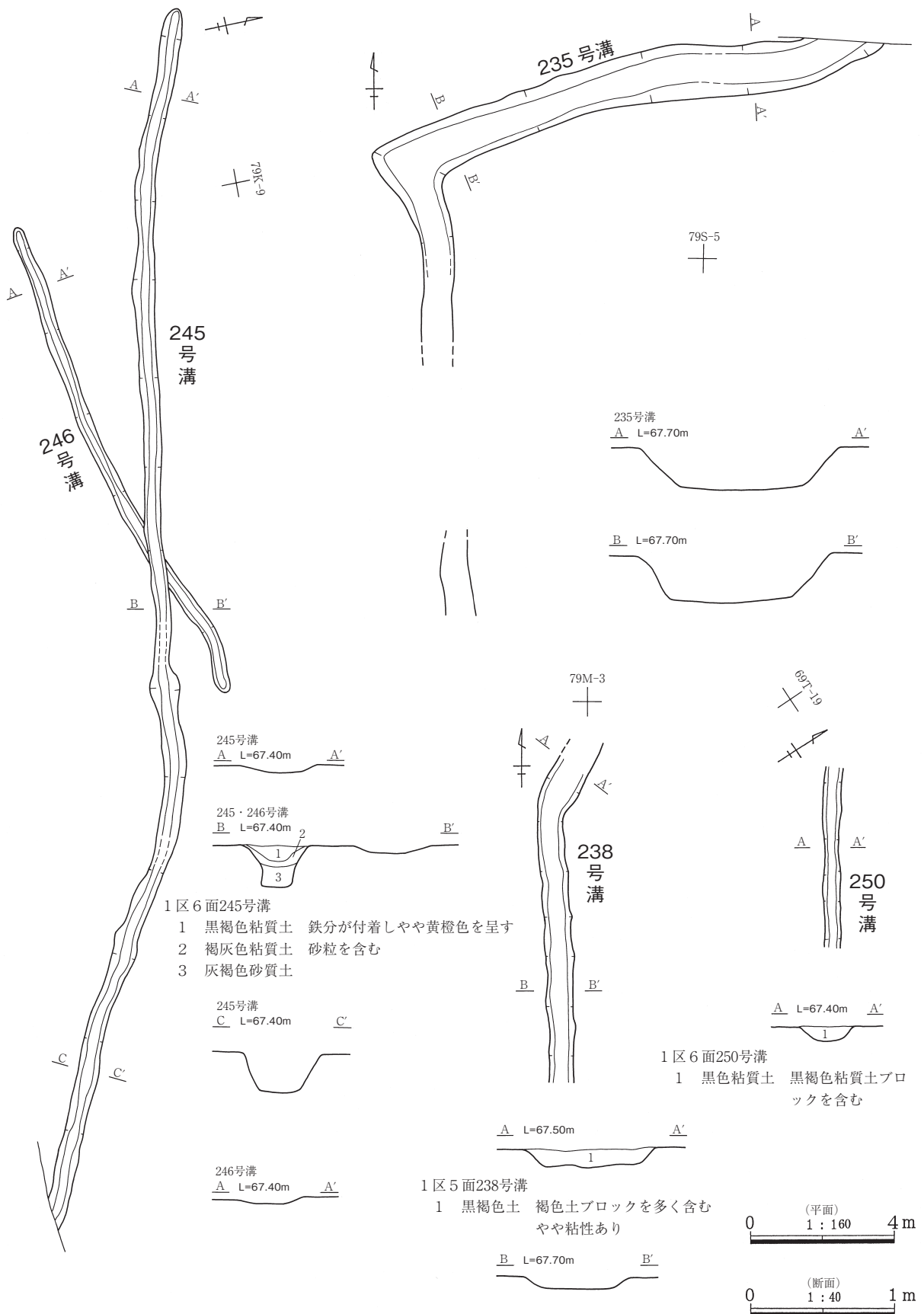


第26図 1区226・237・238・242号溝出土遺物

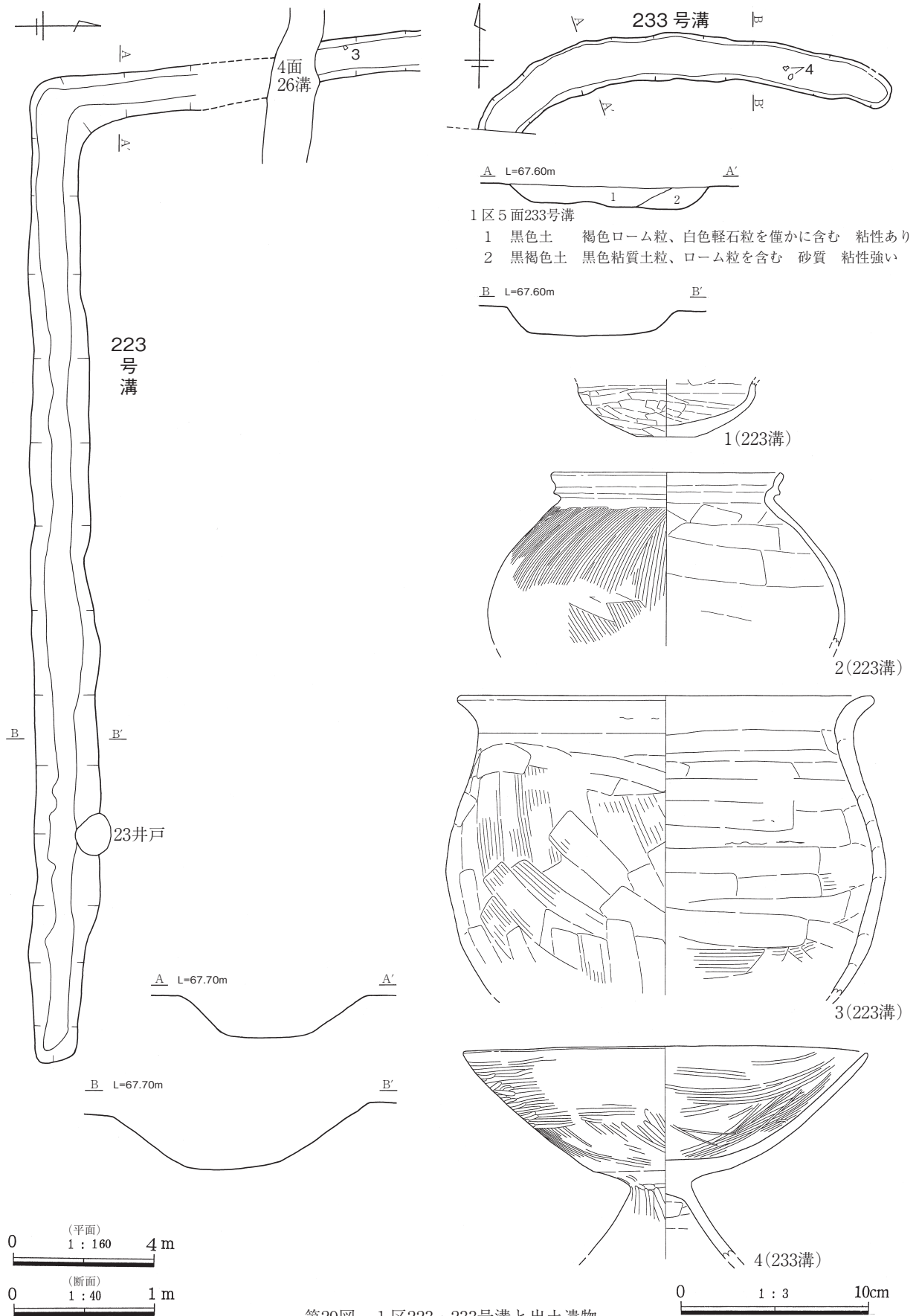
II 発掘調査の記録



第27図 1区65～67・228・247号溝



第28図 1区235・238・245・246・250号溝



第29図 1区223・233号溝と出土遺物

## b 5面の遺構と遺物

第5面は、基本的にAs-B層埋没面であり、広範囲に水田が検出されている。この遺跡を含め、R354号関連の遺跡でも複雑な複数遺構面が存在する中で、As-B層は層序の指標となるものである。

1区でも低地部にAs-B層の堆積は確認され、同層下に残存状況は不良であるが、埋没水田が検出されている。他に、住居、土坑、井戸、溝等が確認されている。

## 3号住居（第31・32図、PL5）

**位置** 69L-13グリッドに位置する。

**形状** 東西方向に長軸をもつ長方形平面を呈する。

**重複** 遺構間の重複は認められていない。

**規模** 長軸320cm、短軸270cmを測る。

**面積** 7.37㎡

**主軸方位** N-93°-E

**竈** 不明。

**柱穴** 不明。

**貯蔵穴** 南東隅側に径40cm程度の円形のくぼみがあり、貯蔵穴とみられる。この部分から甕（第32図5・6）が出土した。

**床面** 地山面を床面としているものとみられる。硬化面は残存していない。

**掘り方** 認められていない。

**遺物出土状況** 住居の残存状態が不良であったが、床面上を中心に第31・32図に示す坏、甕、棒状礫が出土した。

**その他** 古墳時代中期（6C前半）

## 13号住居（第33・35図、PL5）

**位置** 69O-18グリッドに位置する。

**形状** やや不規則であるが、ほぼ方形平面を呈する。

**重複** 西隅部に363号土坑が重複する。

**規模** 長軸330cm、短軸325cmを測る。

**面積** 8.7㎡

**主軸方位** N-42°-E

**竈** 北東壁中央やや東寄りに設置される。攪乱が著しく、残存状況は不良であり、袖部および焚口部のみ残存し、住居壁外の掘り込みや煙道部等は不

明である。

**柱穴** 西隅部側に住居対角線上に位置する小穴が1ヶ所確認された。径19cm×15cm、深さ20cm。

**貯蔵穴** 東隅側に接して掘り込まれ、径70cm×65cm、深さ45cmを測る。この部分からほぼ完形の甕（第34図13）、甕口縁部片（同図4）が出土している。

**床面** 平坦面を形成するが、硬化面は認められない。

**掘り方** 地山面をわずかに掘り込み、整地しながら床面を形成するため、明確な掘り方は検出できない。北西壁側に径60cm×50cm、深さ15cmの床下土坑が確認された。

**遺物出土状況** 竈周辺を中心に第34・35図に示す坏、甕等が出土した。また、西隅部に棒状礫が3点まとまって出土している。

**その他** 古墳時代中期（6C後半）

## 14号住居（第36・37図、PL5・6）

**位置** 79O-1グリッドに位置する。

**形状** 東西方向に長軸をもつ長方形平面を呈する。

**重複** 329号土坑が重複する。また、南壁部が攪乱により遺失している。

**規模** 長軸450cm、短軸（260cm）を測る。

**面積**（9.7㎡）

**主軸方位** S-6°-E

**竈** 南壁中央東寄りに設置される。袖部は粗粒輝石安山岩を心材として構築する。焚口幅55cm、煙道部長85cmを測る。

**柱穴** 床面上では未確認。掘り方調査時に小穴を検出したが配置が不規則で柱穴の特定はできない。

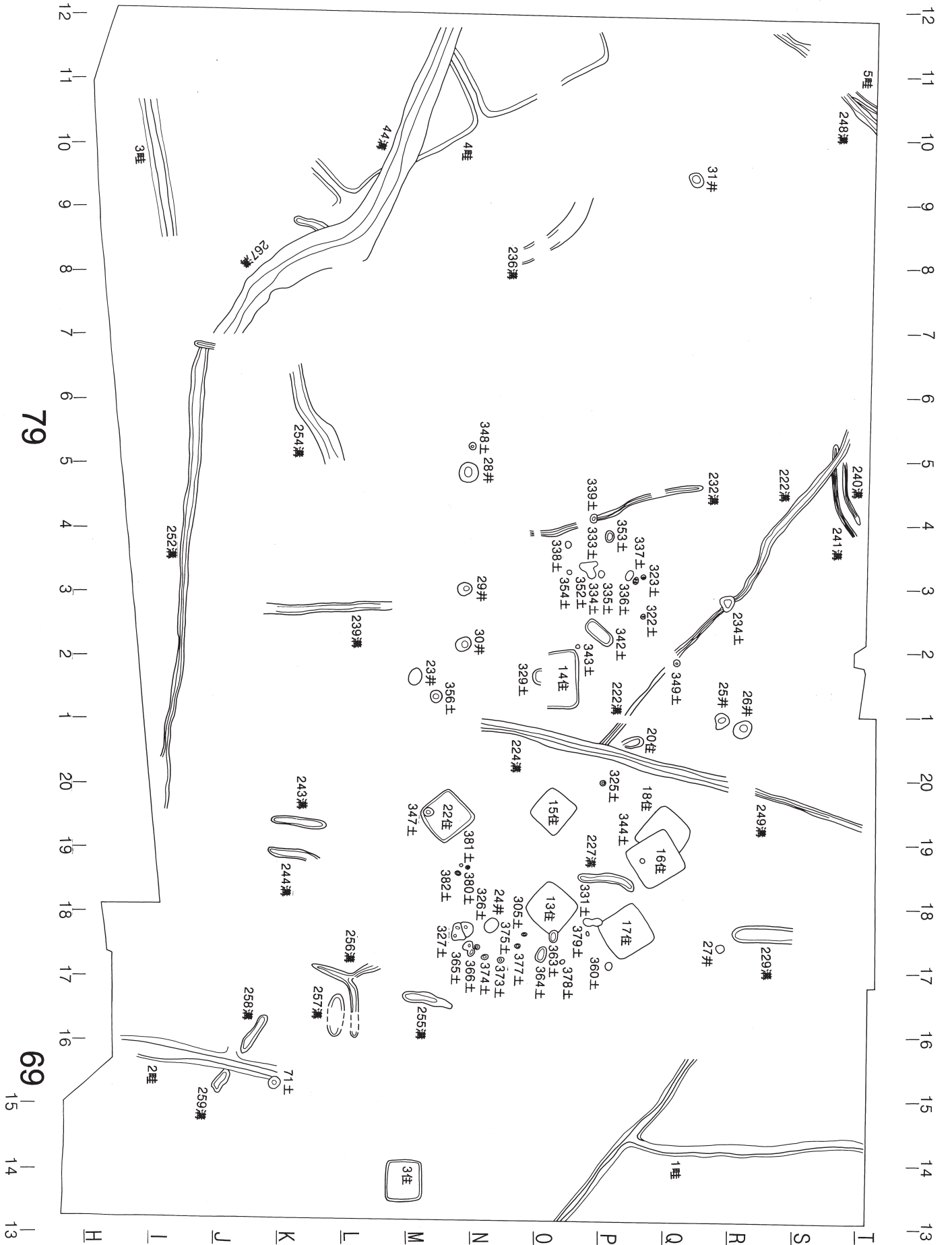
**貯蔵穴** 不明。

**床面** 平坦面は検出したが、硬化面は確認されていない。

**掘り方** 不規則であるが、中央部が高まり、周辺がやや低くなる掘り方をもつ。

**遺物出土状況** 住居の残存状態が不良であり、伴出遺物は確認できなかった。

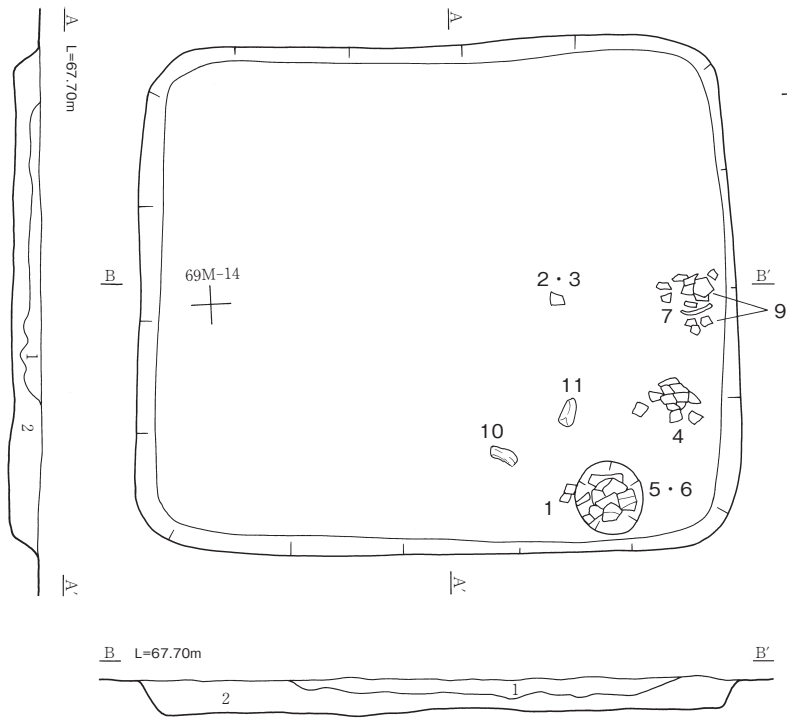
H I J K L M N O P Q R S T



第30图 1区第5面全体图

0 1 : 400 10 m

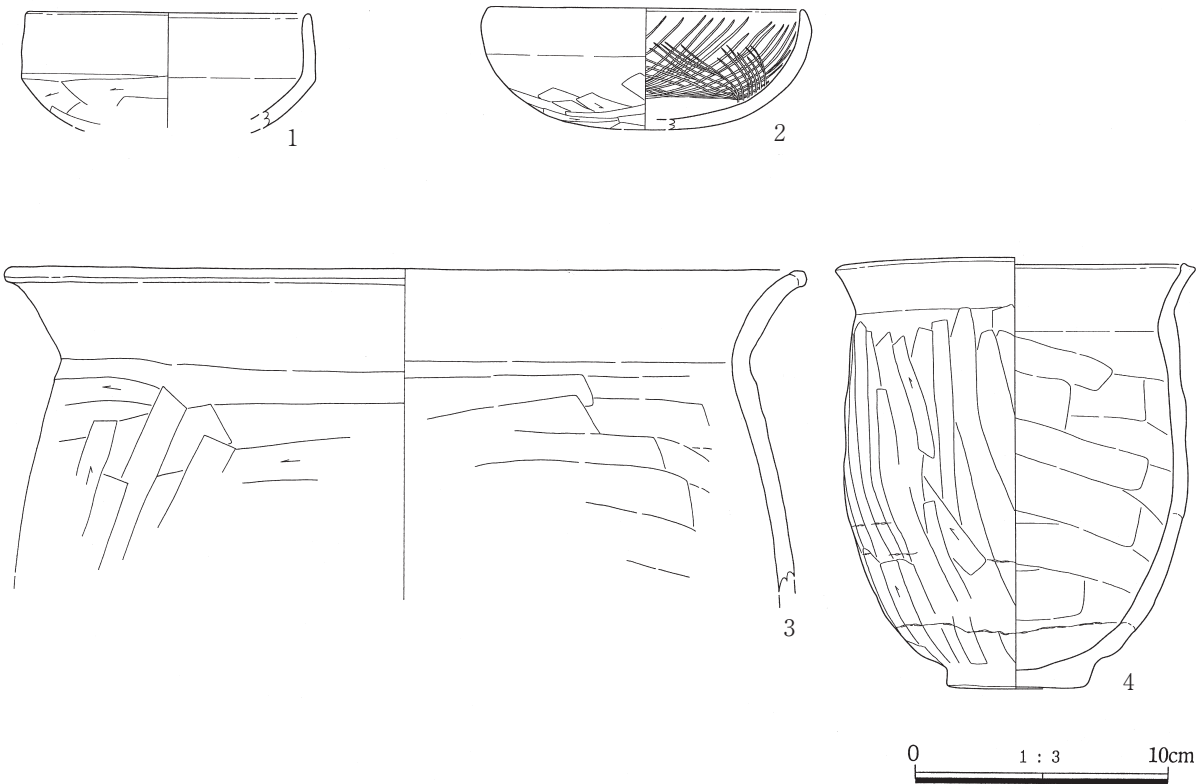




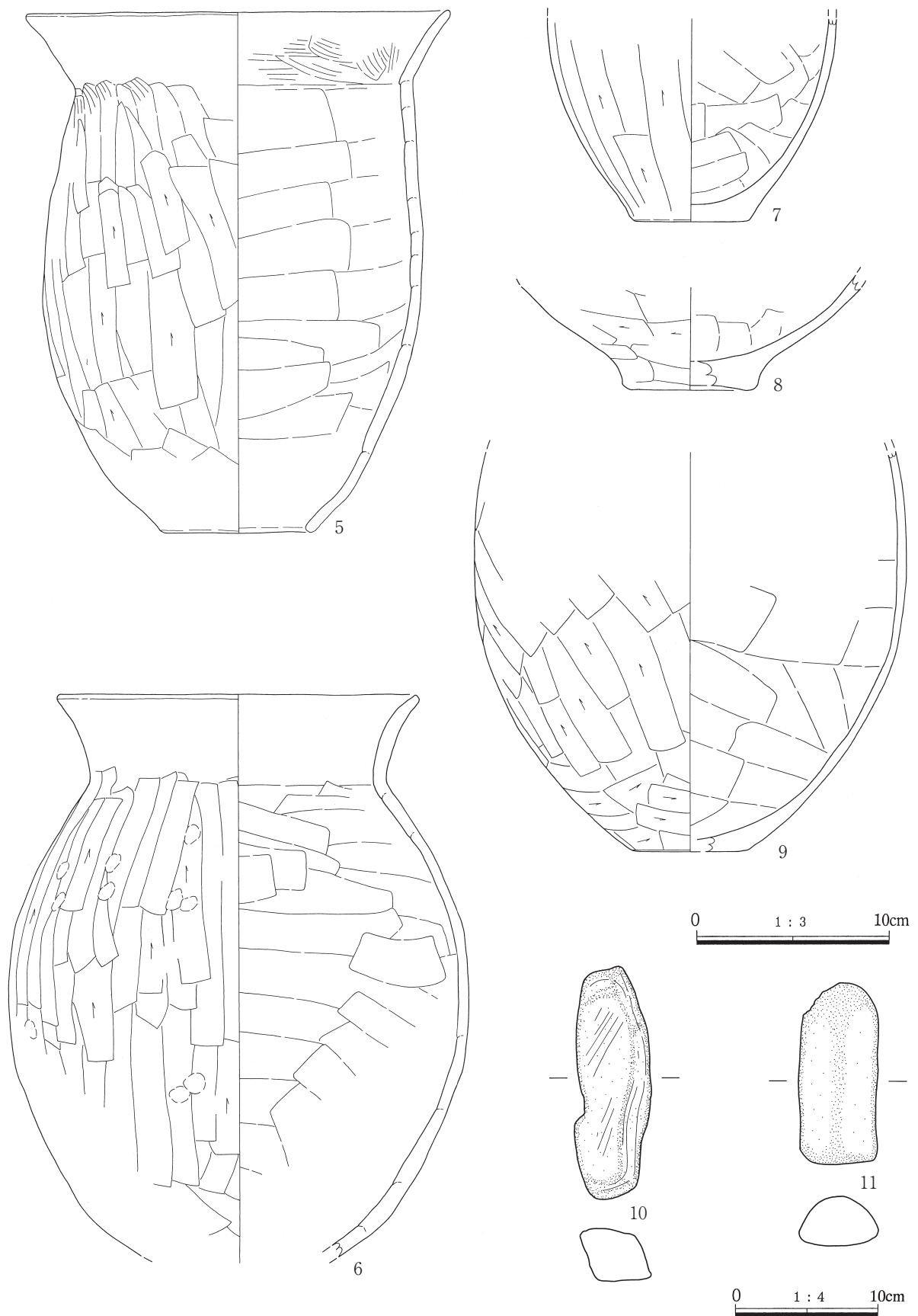
1区5面3号住居

- 1 黒色土 As-C、上層泥流土、焼土粒、粘性に富む軟い土
- 2 黒色土 As-C、暗褐色土ブロック、締まり弱く間隙も見られる

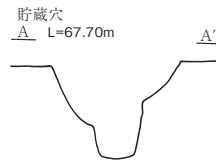
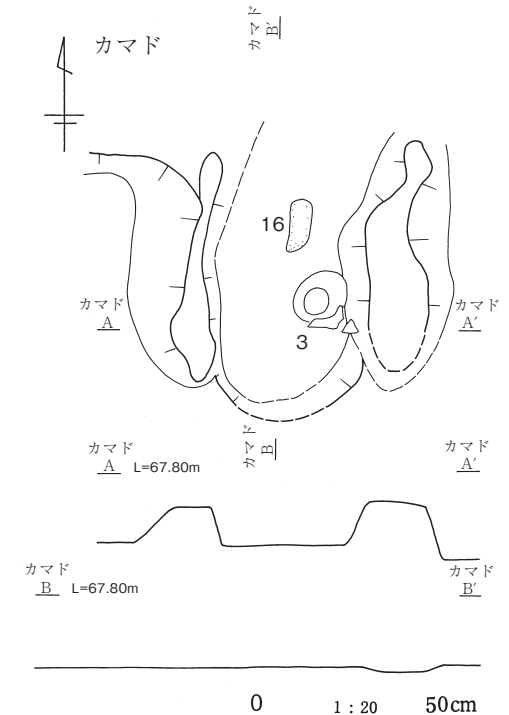
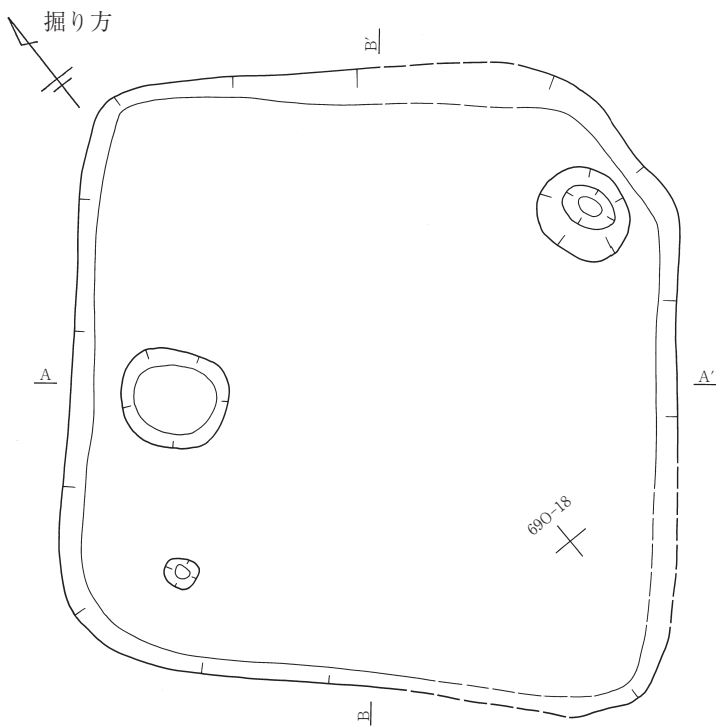
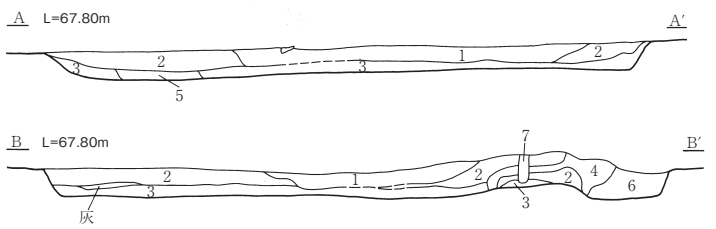
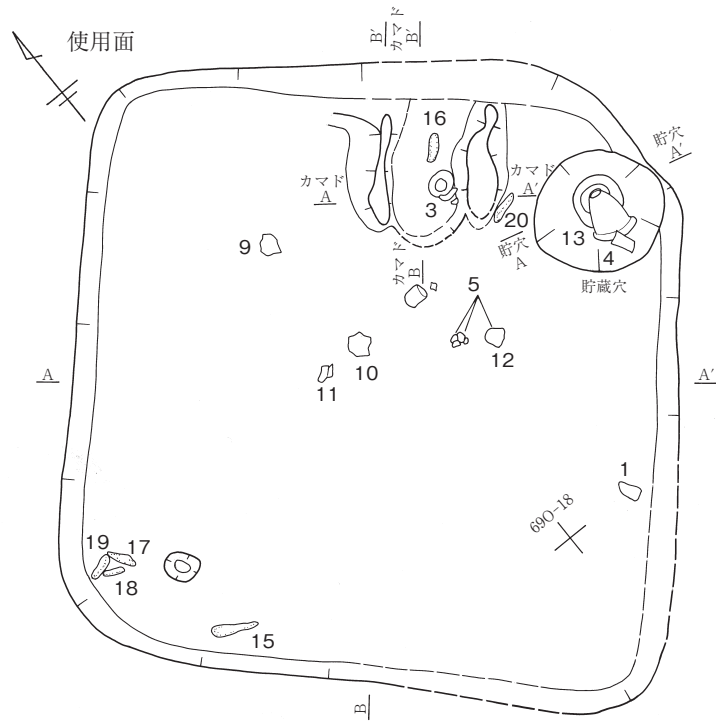
0 1 : 40 1 m



第31図 1区3号住居と出土遺物(1)



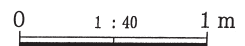
第32図 1区3号住居出土遺物(2)

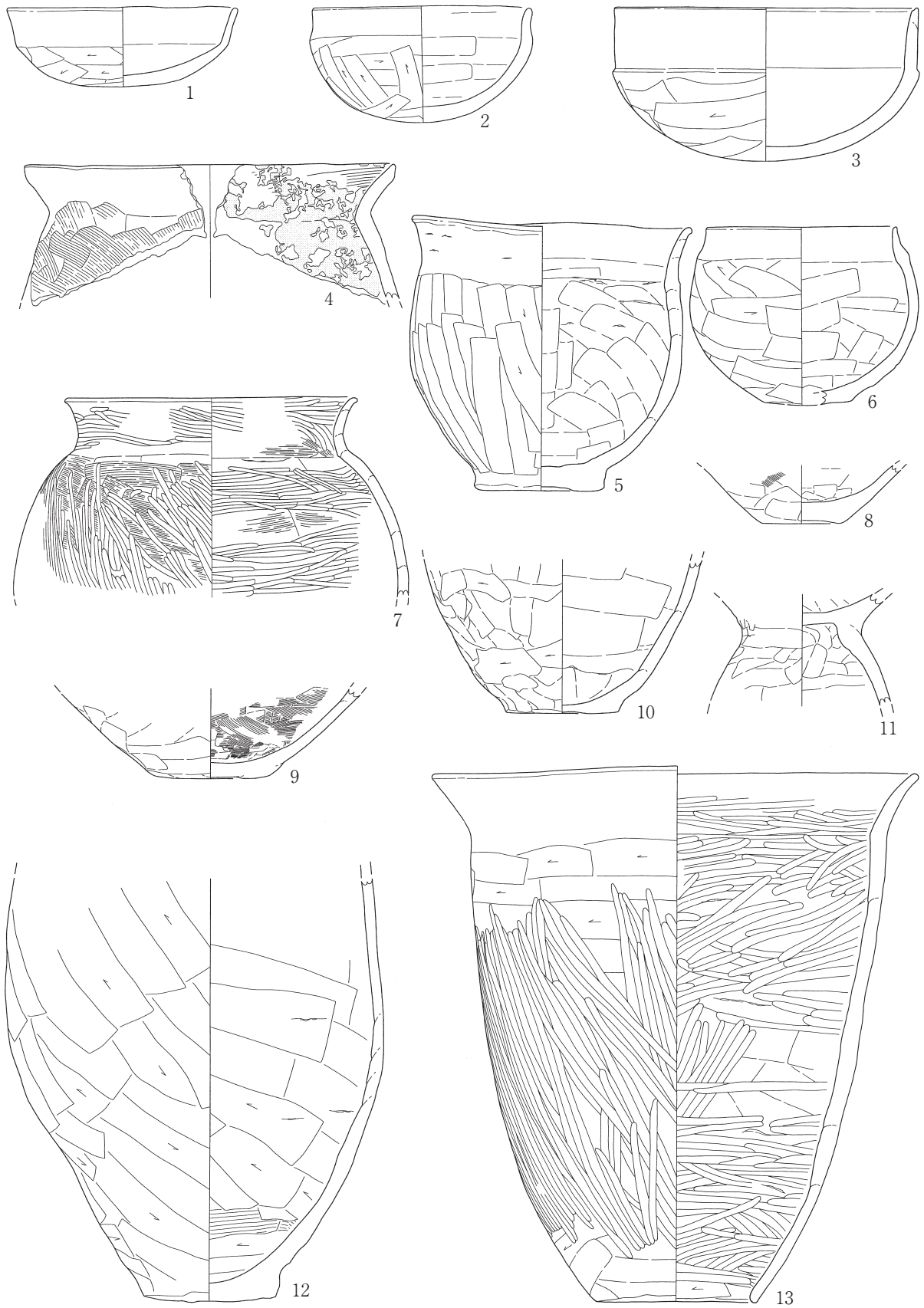


1区5面13号住居

- 1 黒色シルト質土 焼土ブロックを含む
- 2 黄橙色土 焼土層、黒色土ブロックを多く含む
- 3 黒色シルト質土 褐灰色土粒をブロック状に多く含む
- 4 灰白色粘土 マンガン粒を多く含む
- 5 黒褐色シルト質土 ローム粒を僅かに含む
- 6 黒褐色シルト質土 ローム粒を少し含む
- 7 黒色シルト質土 木の根の痕か

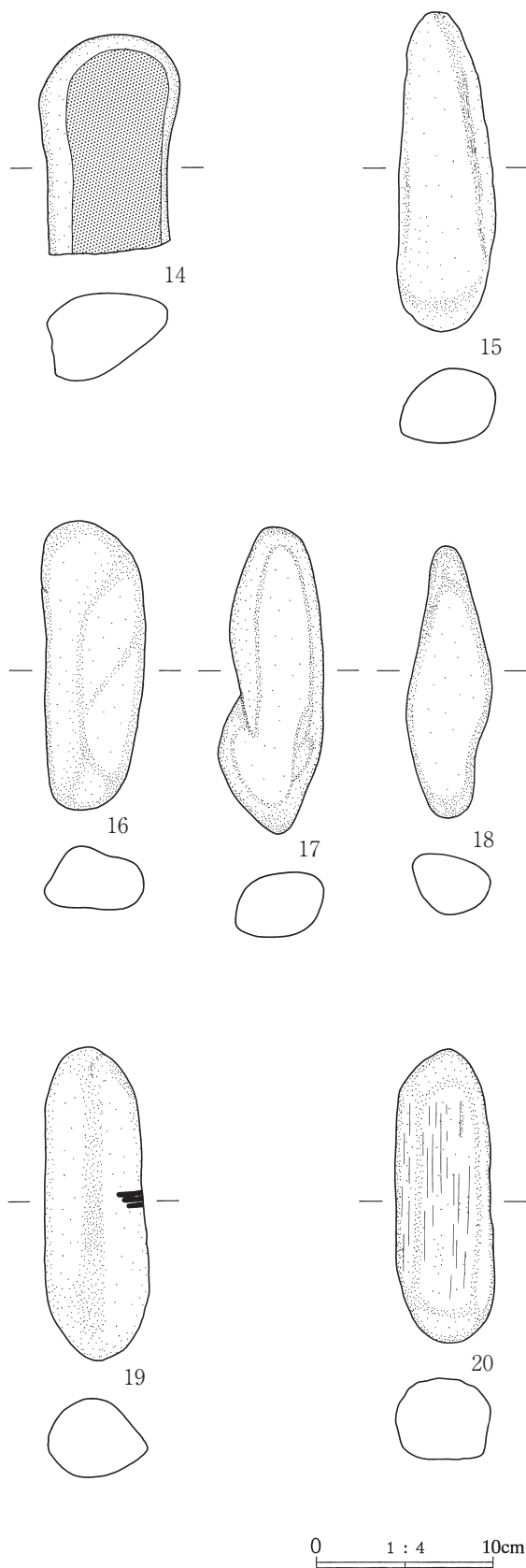
第33図 1区13号住居





第34図 1区13号住居出土遺物(1)

0 1:3 10cm



第34図 1区13号住居出土遺物(2)

## 15号住居(第38図、PL6)

**位置** 69O-19グリッドに位置する。

**形状** やや不規則であるが、ほぼ方形平面を呈する。

**重複** 遺構間の重複は認められていない。

**規模** 長軸300cm、短軸295cmを測る。

**面積** 7.8㎡

**主軸方位** N-41°-E

**竈** 北東壁中央やや東寄りに設置される。攪乱により遺失部が多く、竈底部が残存する。

**柱穴** 床面上および掘り方調査時に小穴を確認しているが、柱穴として特定できないため不明。

**貯蔵穴** 北東隅側に径75cm×60cmの楕円形平面で、深さ30cmの貯蔵穴を確認した。穴内から鉢(第38図1)が出土している。

**床面** 平坦面を確認したが、硬化面は認められていない。

**掘り方** 中央部分を掘り残し、周辺部を掘り下げる掘り方を検出した。黒褐色シルト質土を主に埋土する。

**遺物出土状況** 竈周辺、貯蔵穴に甕、鉢、棒状礫が出土した。

**その他** 古墳時代中期

## 16号住居(第39図、PL6)

**位置** 69P-18グリッドに位置する。

**形状** 東壁長がやや短い梯形平面を呈する。

**重複** 18号住居を切って掘り込まれる。

**規模** 東壁長345cm、西壁長370cm、北・南壁長350cmを測る。

**面積** 11.8㎡

**主軸方位** N-63°-E

**竈** 東壁中央やや東寄りに設置される。攪乱を受け、痕跡が残存する程度であり、焼土、灰が散布する。

**柱穴** 不明。

**貯蔵穴** 東隅側に径45cm×40cm、深さ20cmの貯蔵穴が確認された。床面上では灰、焼土が広がっていたため、掘り方調査によって確認した。

**床面** 平坦面を検出したが硬化面は認められない。

**掘り方** 不規則な段状の掘り方が検出された。

**遺物出土状況** 竈周辺に甕類が出土した。また、中央部分に棒状礫が散布し、砥石も出土している。

**その他** 古墳時代中期（6C前半）

**17号住居**（第41図、PL7）

**位置** 69P-17グリッドに位置する。

**形状** 南北方向に長軸をもつ長方形平面を呈する。

**重複** 南隅部に331号土坑が重複する。

**規模** 長軸360cm、短軸340cmを測る。

**面積** 10.5㎡

**主軸方位** N-56°-E

**竈** 遺失するため不明。貯蔵穴の位置から判断して、東壁に設置されるものと思われる。

**柱穴** 4柱穴確認された。径20cm～30cm、深さ35cm前後。柱穴配置は住居平面形に相似し、対角線上に位置する。柱穴間距離は東西135cm、南北120cmの規模である。

**貯蔵穴** 西隅側に径65cm×45cmの楕円形平面で、深さ25cmを測る。貯蔵穴内から坏（1）が出土している。

**床面** 平坦面を確認したが、硬化面は認められていない。

**掘り方** 周辺部をわずかに掘り下げる程度で、やや不規則な掘り方をもつ。

**遺物出土状況** 住居の残存状態が不良であり、貯蔵穴以外の遺物出土は認められなかった。

**その他** 古墳時代中期

**18号住居**（第42図、PL7）

**位置** 69P-19グリッドに位置する。

**形状** ほぼ方形平面を呈する。

**重複** 東半部に16号住居が重複する。

**規模** 軸長310cmを測る。

**面積** 7.8㎡

**主軸方位** N-140°-E

**竈** 遺失するため不明。貯蔵穴の位置から判断して、南壁に設置される可能性が高い。

**柱穴** 2柱穴のみ確認された。径25cm～30cm、深

さ25cm～35cm。柱穴間の距離は160cmを計測する。東側柱穴が不明であるが、やや北東側に偏在する。

**貯蔵穴** 西隅側に径60cm、深さ40cmの貯蔵穴が確認された。

**床面** 不明。硬化面は認められていない。

**掘り方** 掘り方調査により、床面上では確認できなかった貯蔵穴、周溝を検出した。周溝はほぼ全周し、幅10cm、深さ8cmを測る。掘り方自体は明確ではなかった。

**遺物出土状況** 住居の残存状態が不良であり、出土遺物は得られていない。

**その他** 時期は特定できない。

**20号住居**（第43図、PL7）

**位置** 69P-20グリッドに位置する。

**形状** 竈部分のみの検出。

**重複** 222号溝、224号溝が竈に接して走行する。

**規模** 不明。

**面積** 不明。

**主軸方位** 不明。

**竈** 部分的に確認した。両袖部もほとんど遺失する。竈部から高坏、甕、竈前部から甕が出土した。

**柱穴** 不明。 **貯蔵穴** 不明。 **床面** 不明。

**掘り方** 不明。

**遺物出土状況** 竈部のみの確認であり、遺物もこの部分に限定される。

**その他** 古墳時代中期（6C後半）

**22号住居**（第42図、PL7）

**位置** 69M-19グリッドに位置する。

**形状** 壁周溝のみの検出。幅10～15cm、深さ5cm。

**重複** 26号溝(4面)が中央部を走行する。

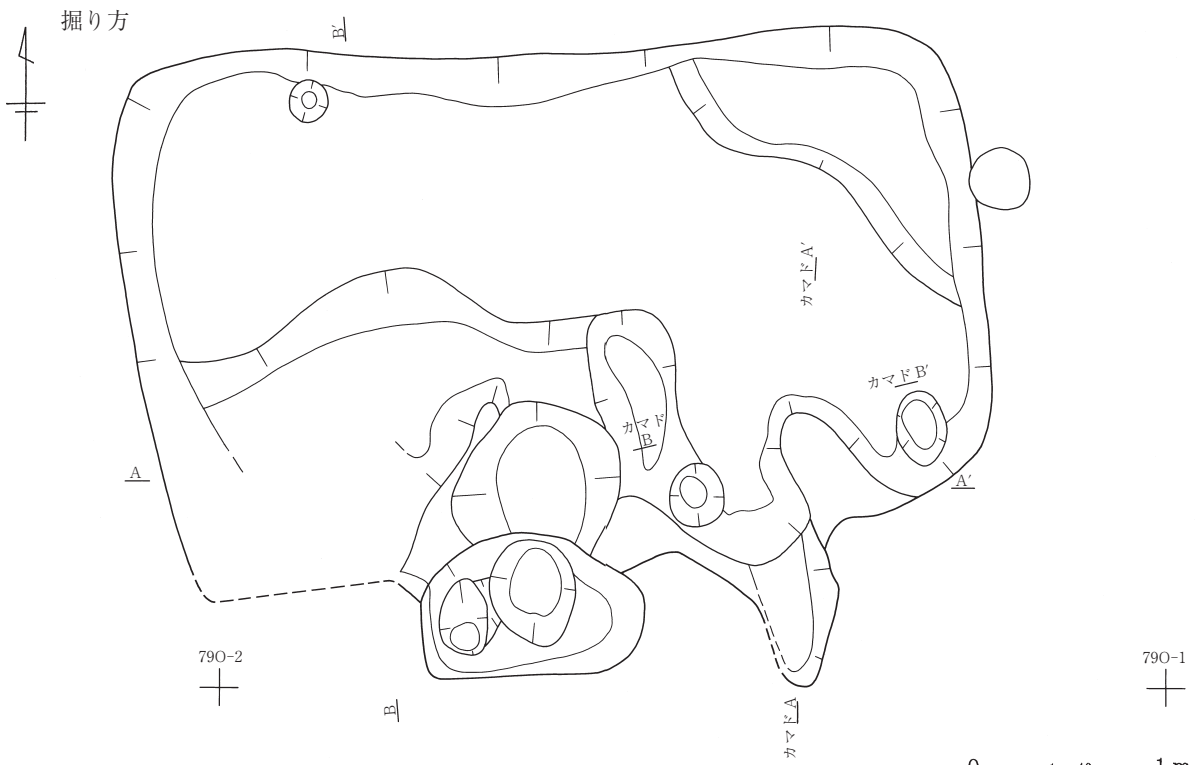
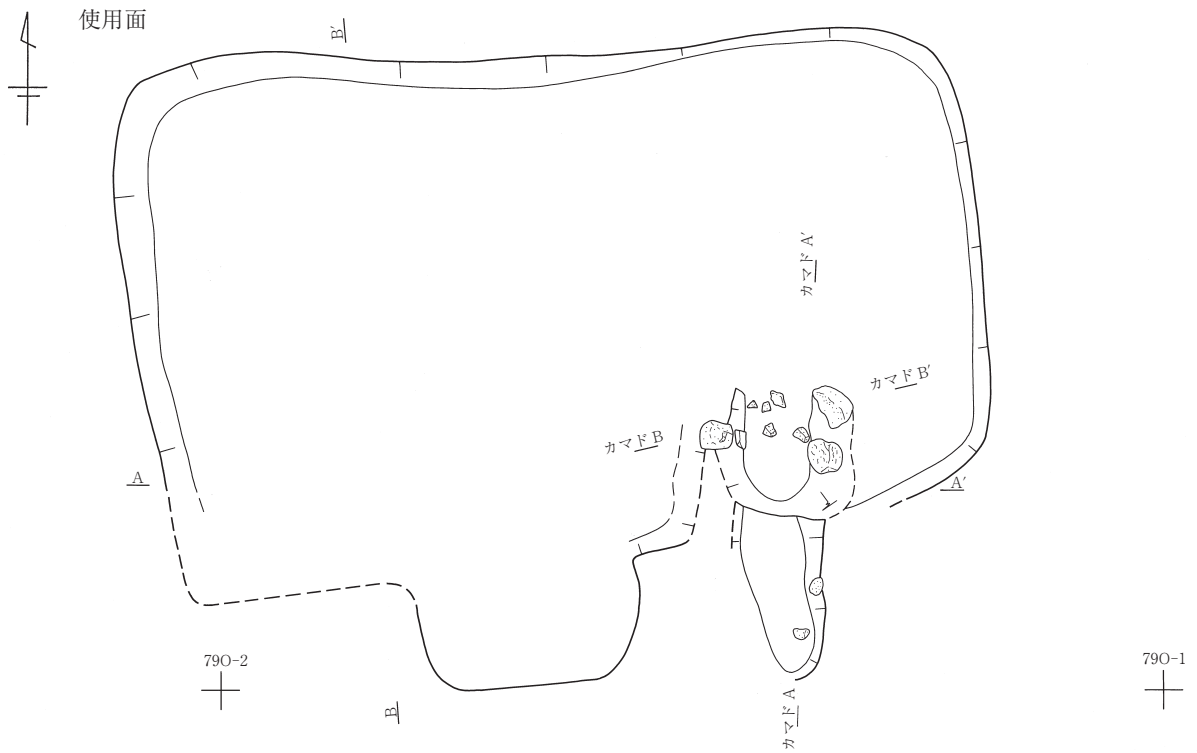
**規模** 315cm×310cm。 **面積** 9.8㎡。

**主軸方位** 長軸方位は、N-40°-W。

**貯蔵穴** 南西隅部に位置し、径60cm、深さ40cmを計測する。

**竈、柱穴、床面、掘り方** 不明。

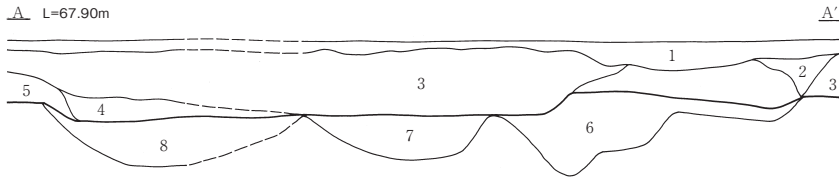
**出土遺物** なし。



第36図 1区14号住居(1)

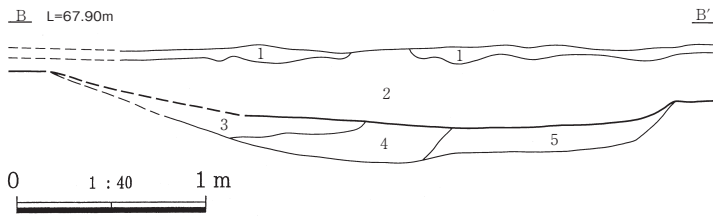
0 1:40 1m

II 発掘調査の記録

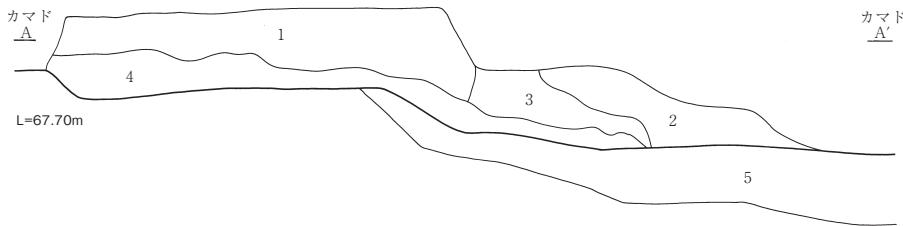


1区5面14号住居

- |            |                     |           |                       |
|------------|---------------------|-----------|-----------------------|
| 1 黒褐色砂質土   | 白色粒子を多く含む           | 5 黒色シルト質土 |                       |
| 2 黒褐色シルト質土 | 褐灰色土ブロック、白色粒子を含む    | 6 灰白色砂質粘土 | 砂粒、焼土粒、ローム粒を多く含む      |
| 3 黒色シルト質土  | 褐灰色土ブロック、白色粒子を僅かに含む | 7 黒色シルト質土 | ロームブロック、褐色土ブロックを僅かに含む |
| 4 黒色シルト質土  | 褐灰色土粒を多く含む          | 8 黒色シルト質土 |                       |

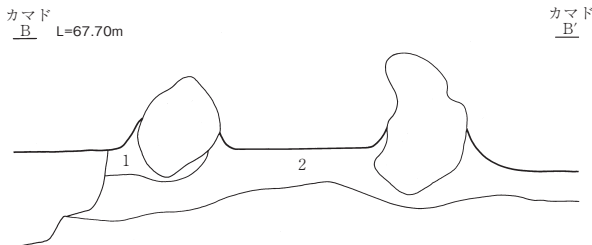


- |            |                      |
|------------|----------------------|
| 1 褐灰色砂質土   | 白色粒子を多く含む            |
| 2 黒褐色シルト質土 | 粘性強く軟く、白色粒子を僅かに含む    |
| 3 黒褐色シルト質土 | 灰白色粘土をブロック状に多く含む     |
| 4 黒褐色シルト質土 | 灰黄褐色土をブロック状に多く含む     |
| 5 黒色シルト質土  | 混入物がほとんど見られず、軟く水分が多い |

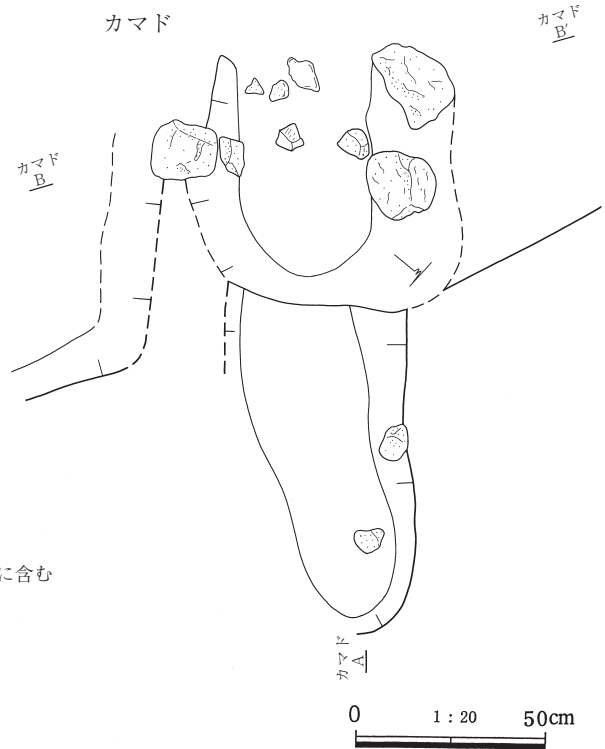


1区5面14号住居カマド

- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| 1 褐灰砂質土     | 白色粒子を多く含む         |
| 2 黒褐色シルト質土  | 焼土粒、ローム粒を多く含む     |
| 3 にぶい黄橙色粘質土 | 黒色土、焼土粒を多く含む      |
| 4 橙色シルト質土   | 黒色土、白色土粒を多く含む 焼土層 |
| 5 黒色粘質土     | 焼土粒、白色土粒を多く含む     |

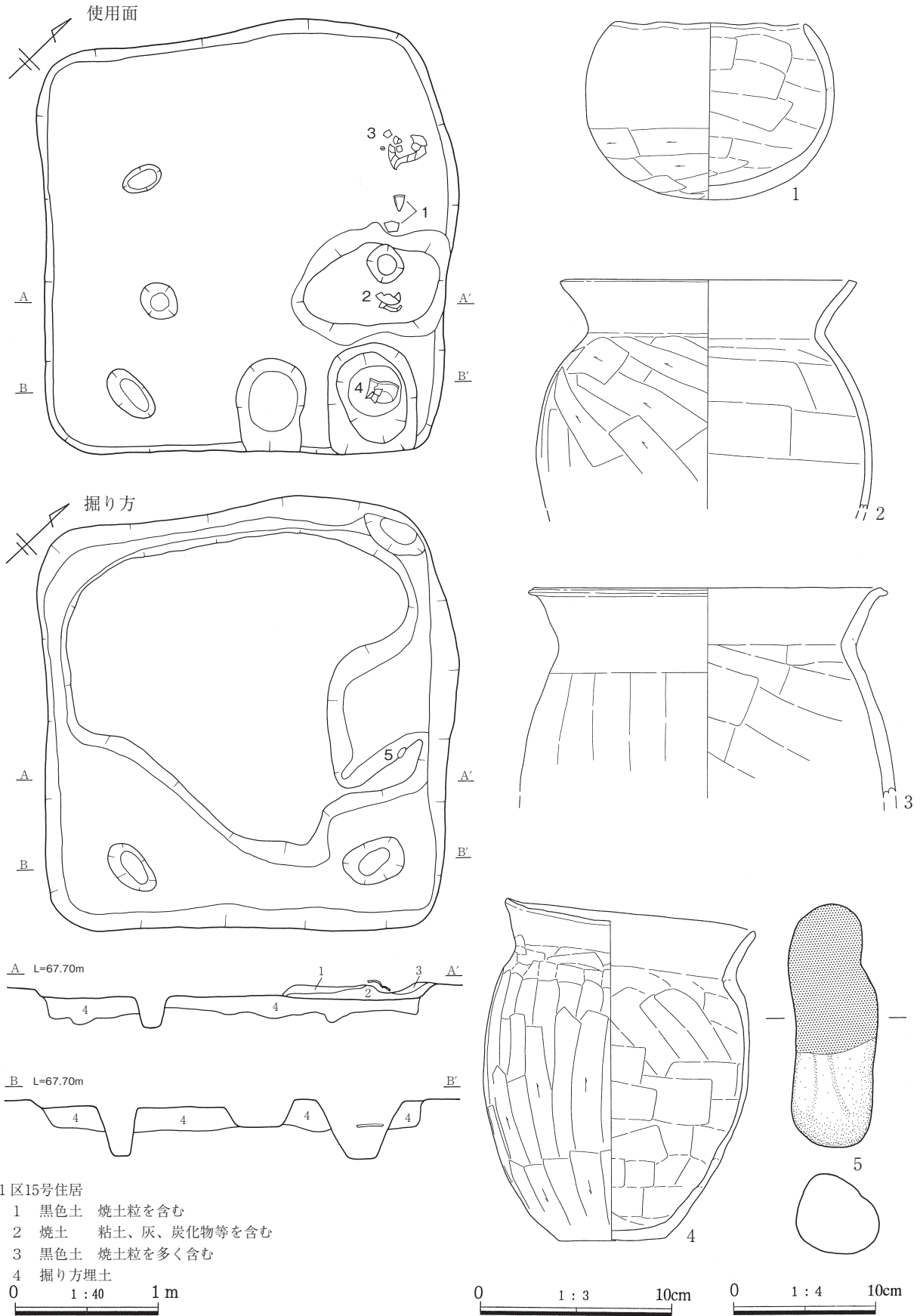


- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| 1 灰黄褐色シルト質土 | 黒色土粒を多く含む 焼土粒を僅かに含む |
| 2 黒色シルト質土   | ロームブロックをまだらに多く含む    |



第37図 1区14号住居(2)





1区15号住居

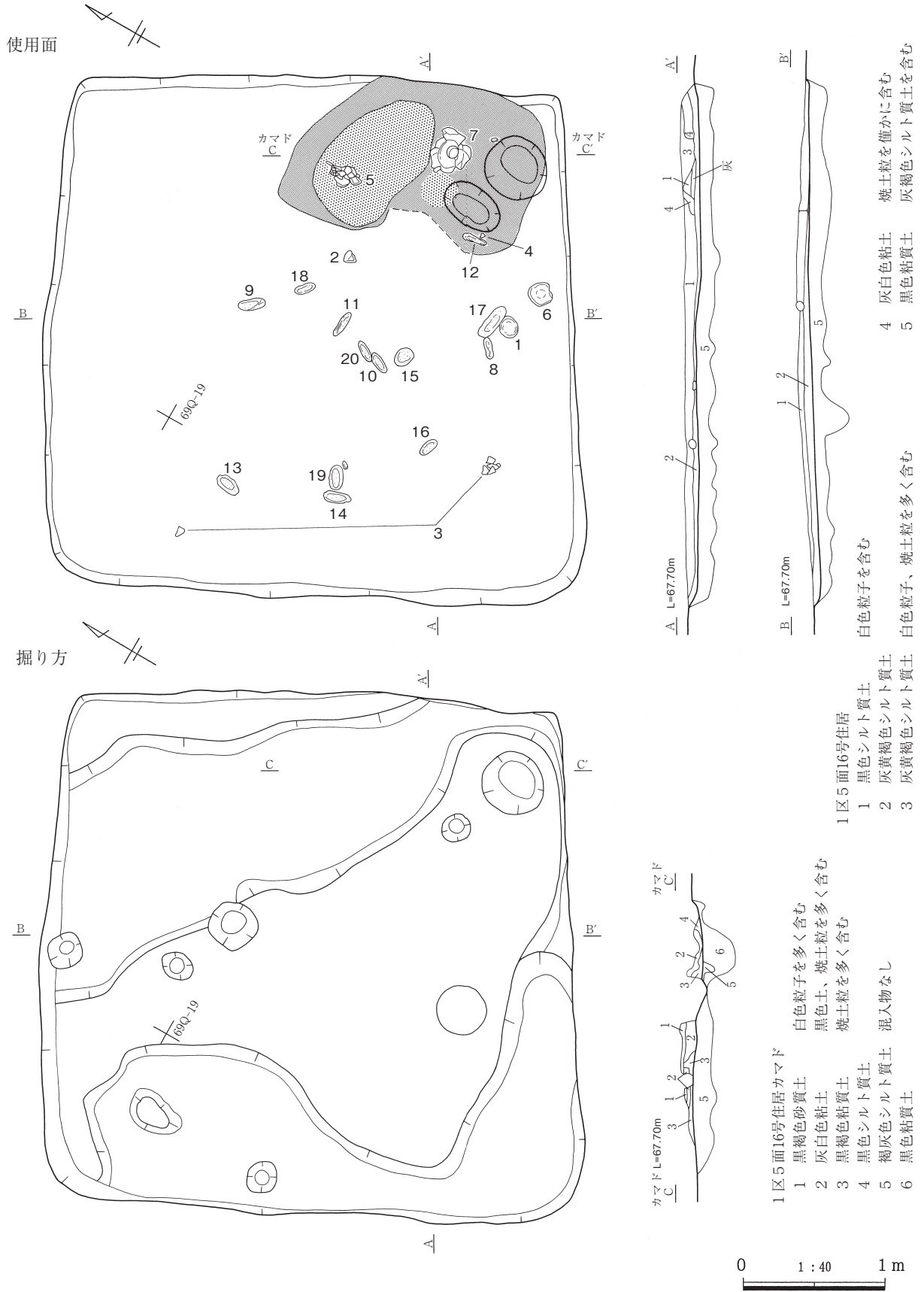
- 1 黒色土 焼土粒を含む
- 2 焼土 粘土、灰、炭化物等を含む
- 3 黒色土 焼土粒を多く含む
- 4 掘り方埋土

0 1 : 40 1 m

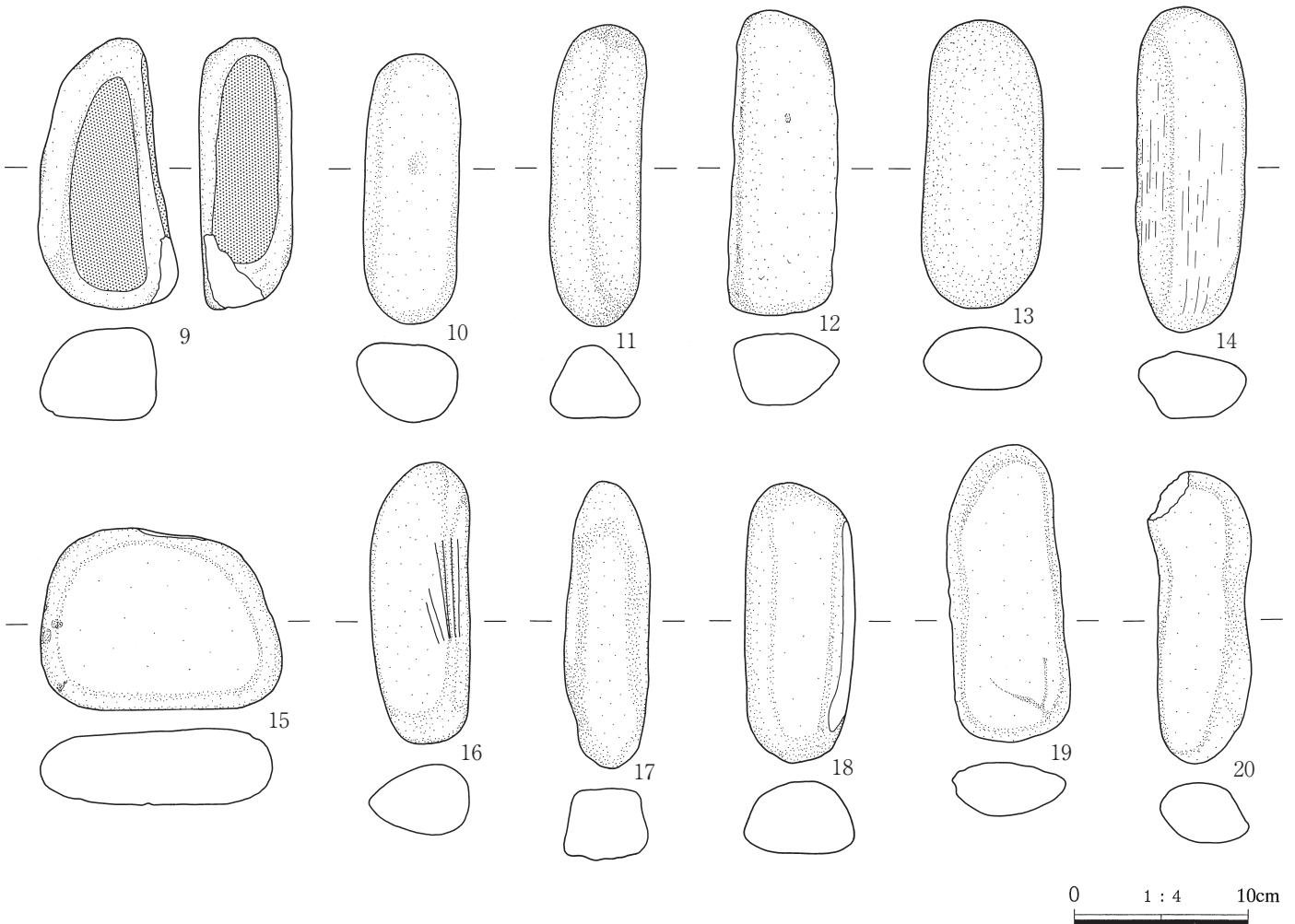
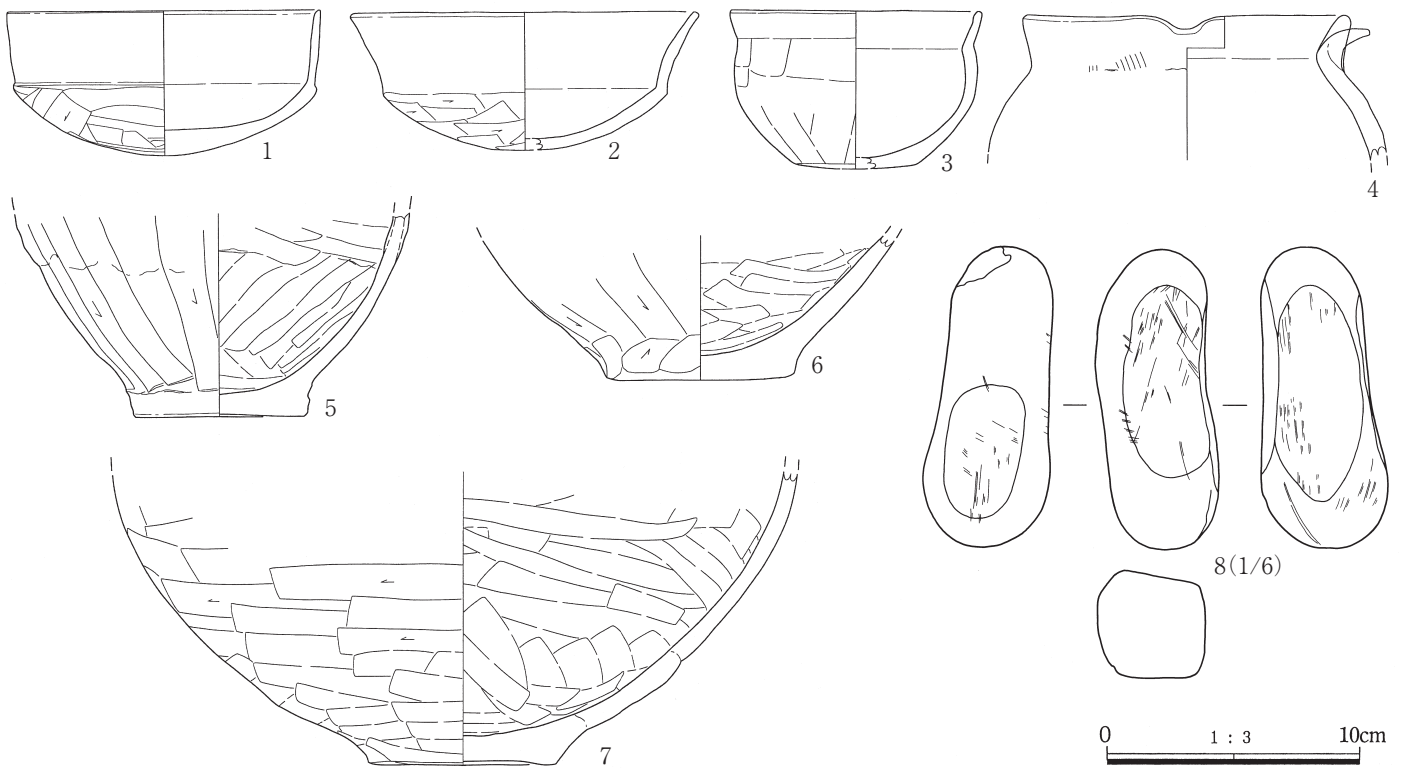
0 1 : 3 10cm

0 1 : 4 10cm

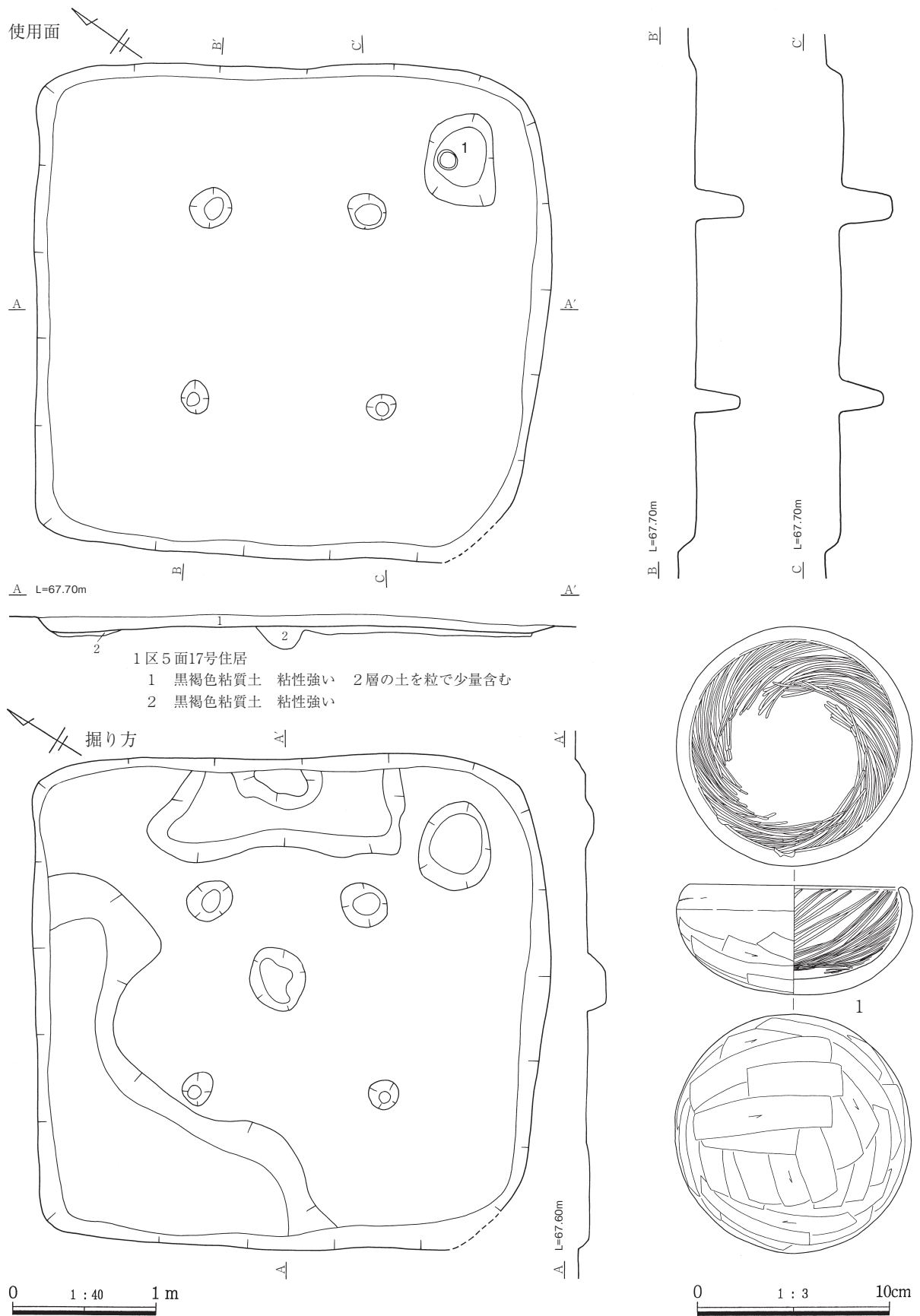
第38図 1区15号住居と出土遺物



第39図 1区16号住居

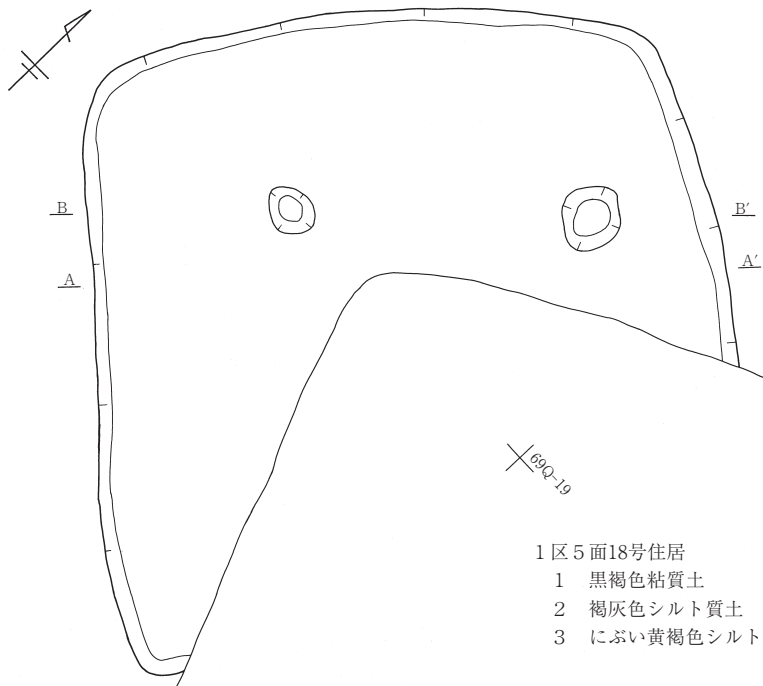


第40図 1区16号住居出土遺物



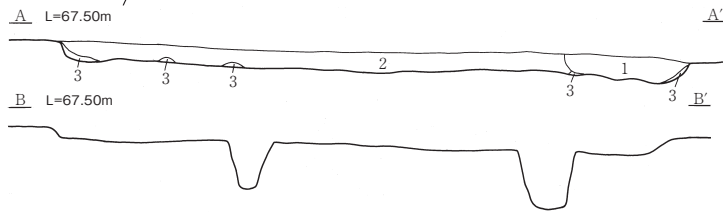
第41図 1区17号住居と出土遺物

18号住居

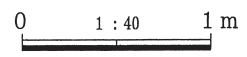
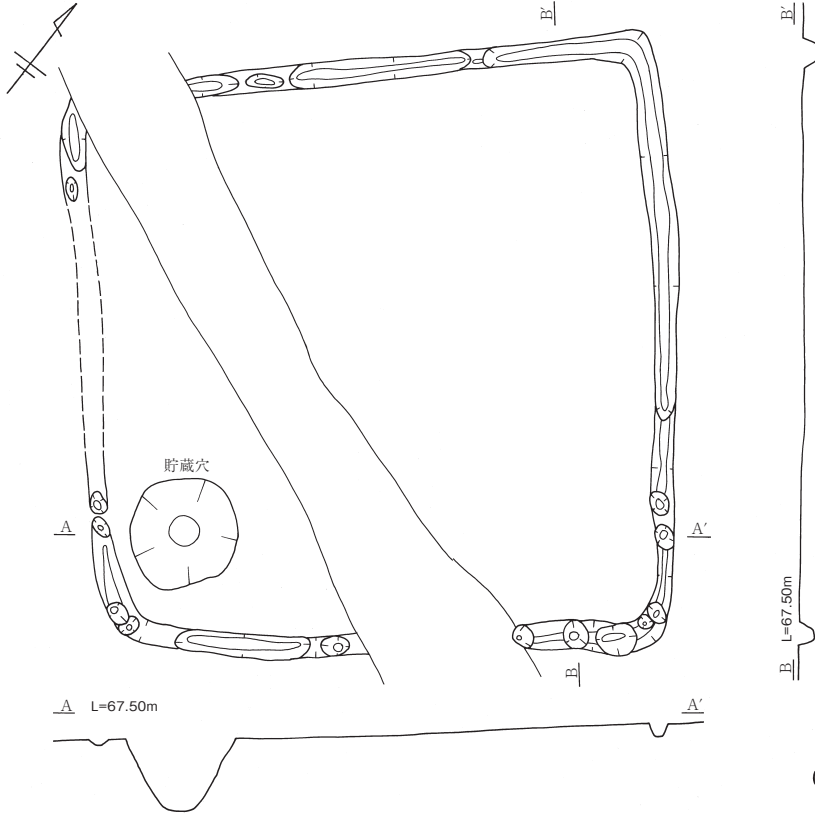


1区5面18号住居

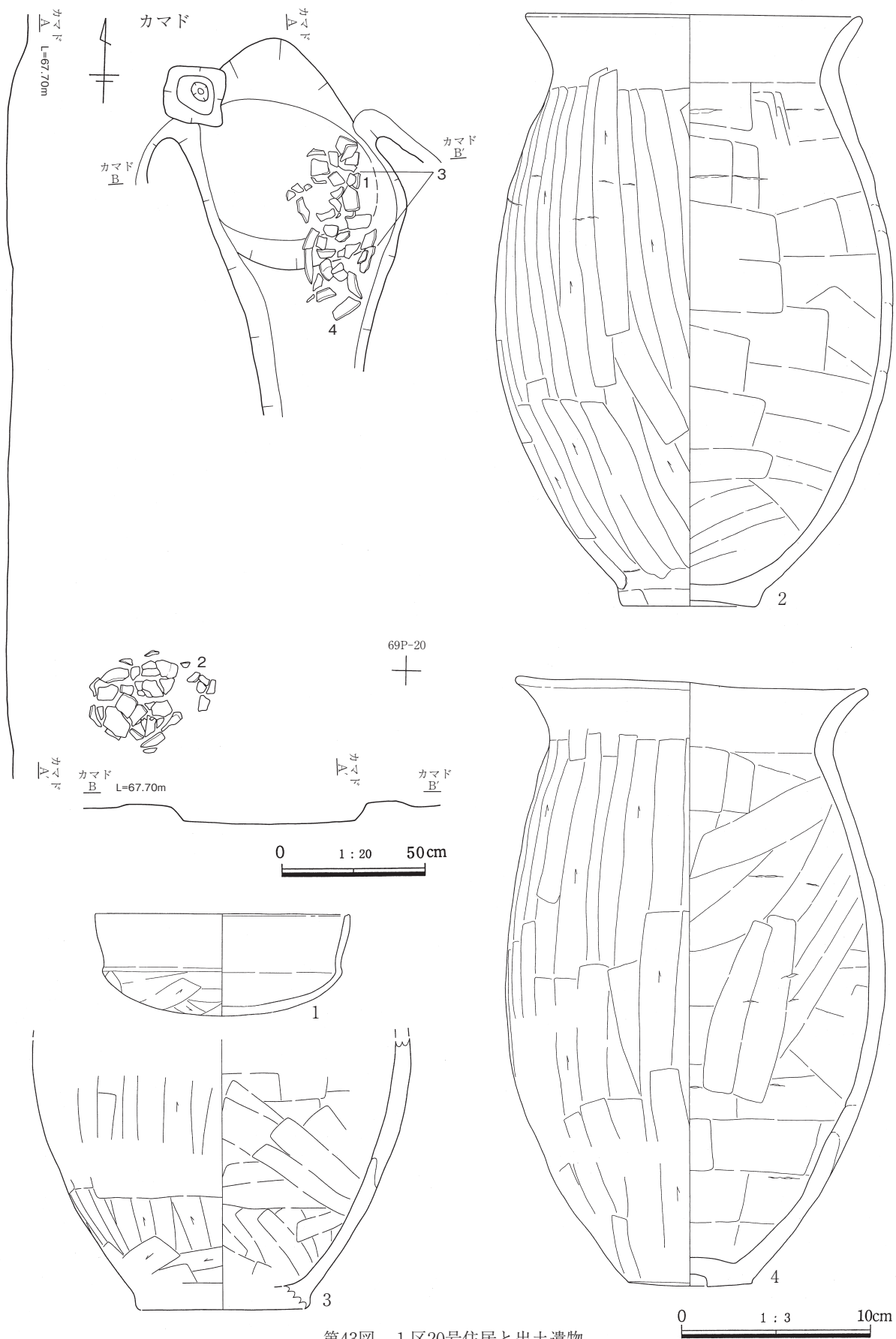
- 1 黒褐色粘質土  にぶい褐色粘質土ブロックを含む
- 2 褐灰色シルト質土  橙色粘質土ブロックを含む
- 3 にぶい黄褐色シルト質土



22号住居



第42図 1区18号住居・22号住居



第43図 1区20号住居と出土遺物

土坑（第44図～第46図、PL8・11～P L15）

**234号土坑**（第44図、PL11）

79Q-2グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径114cm×85cm、深さ100cmを測る。222号溝と重複する。

**305号土坑**（第44図、PL11）

69N-17グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径32cm×22cm、深さ28cmを測る。

**322号土坑**（第44図、PL11・12）

79P-2グリッドに位置する。円形平面を呈し、径30cm×29cm、深さ65cmを測る。

**323号土坑**（第44図、PL12）

79P-3グリッドに位置する。円形平面を呈し、径33cm×30cm、深さ66cmを測る。

**325号土坑**（第44図、PL12）

69P-20グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径40cm×32cm、深さ31cmを測る。

**326号土坑**（第44図、PL12）

69M-17グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径122cm×80cm、深さ110cmを測る。327号土坑と重複する。

**327号土坑**（第44図、PL12）

69M-17グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径143cm×133cm、深さ93cmを測る。326号土坑と重複する。

**331号土坑**（第44図）

69O-17グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径162cm×61cm、深さ18cmを測る。

**333号土坑**（第44図、PL12）

79O-3グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径（119cm）×60cm、深さ29cmを測る。334号土坑、352号土坑と重複する。

**334号土坑**（第44図、PL12）

79O-3グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径（68cm）×47cm、深さ36cmを測る。333号土坑、352号土坑と重複する。

**335号土坑**（第44図、PL13）

79P-3グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、

径57cm×44cm、深さ40cmを測る。

**336号土坑**（第44図、PL13）

79P-3グリッドに位置する。円形平面を呈し、径64cm×56cm、深さ35cmを測る。

**337号土坑**（第44図、PL13）

79P-3グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径56cm×40cm、深さ36cmを測る。

**338号土坑**（第44図、PL13）

79O-3グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径50cm×42cm、深さ21cmを測る。

**339号土坑**（第44図、PL13）

79O-4グリッドに位置する。円形平面を呈し、径56cm×56cm、深さ21cmを測る。

**343号土坑**（第44図）

79O-2グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径25cm×17cm、深さ23cmを測る。

**344号土坑**（第44図、PL13）

69P-18グリッドに位置する。円形平面を呈し、径32cm×32cm、深さ23cmを測る。16号住居と重複する。

**347号土坑**（第44図、PL14）

69M-19グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径69cm×57cm、深さ32cmを測る。22号住居と重複する。

**348号土坑**（第44図、PL14）

79N-5グリッドに位置する。円形平面を呈し、径44cm×40cm、深さ36cmを測る。土師器坏が出土している。

**349号土坑**（第44図、PL14）

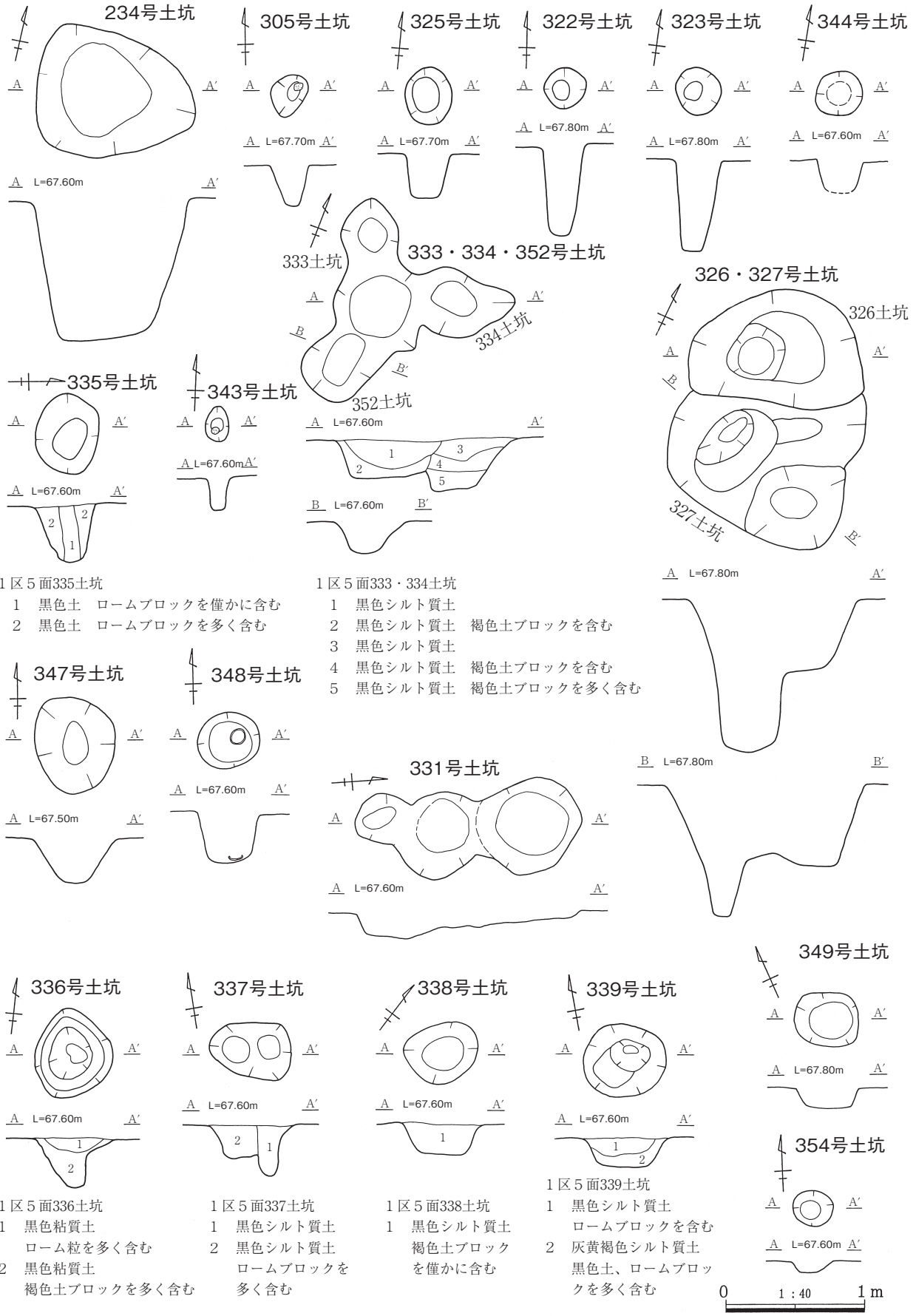
79Q-1グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径44cm×39cm、深さ14cmを測る。

**352号土坑**（第44図、PL14）

79O-3グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径（52cm）×44cm、深さ22cmを測る。333号土坑、334号土坑と重複する。

**354号土坑**（第44図）

79O-3グリッドに位置する。円形平面を呈し、径28cm×25cm、深さ8cmを測る。



第44図 1区234・305・322・323・325～327・331・333～339・343・344・347～349・352・354号土坑



**71号土坑** (第45図、PL8)

69J-15グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径89cm×72cm、深さ83cmを測る。土師器甕・小型甕、薦編み石が出土している。

**329号土坑** (第45図、PL12)

79O-1グリッドに位置する。(隅丸方形)平面を呈し、径118cm×(81cm)、深さ34cmを測る。14号住居と重複する。土師器甕・甑が出土している。

**342号土坑** (第46図、PL13)

79O-2グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径242cm×106cm、深さ32cmを測る。須恵器小型壺が出土している。

**353号土坑** (第46図)

79P-3グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径86cm×57cm、深さ23cmを測る。

**356号土坑** (第46図、PL14)

79M-1グリッドに位置する。円形平面を呈し、径94cm×91cm、深さ11cmを測る。

**360号土坑** (第46図)

69P-17グリッドに位置する。円形平面を呈し、径51cm×47cm、深さ27cmを測る。

**363号土坑** (第46図)

69O-17グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径89cm×54cm、深さ41cmを測る。土師器高坏が出土している。

**364号土坑** (第46図、PL15)

69O-17グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径122cm×68cm、深さ30cmを測る。

**365号土坑** (第46図、PL15)

69M-17グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径97cm×65cm、深さ24cmを測る。366号土坑と重複する。

**366号土坑** (第46図、PL15)

69N-17グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径54cm×49cm、深さ13cmを測る。365号土坑と重複する。

**373号土坑** (第46図)

69N-17グリッドに位置する。円形平面を呈し、

径43cm×43cm、深さ33cmを測る。

**374号土坑** (第46図)

69N-17グリッドに位置する。円形平面を呈し、径44cm×35cm、深さ29cmを測る

**375号土坑** (第46図)

69N-17グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径40cm×38cm、深さ8cmを測る。

**377号土坑** (第46図)

69N-17グリッドに位置する。円形平面を呈し、径39cm×33cm、深さ28cmを測る。

**378号土坑** (第46図)

69O-17グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径31cm×22cm、深さ14cmを測る。

**379号土坑** (第46図)

69O-17グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径20cm×14cm、深さ14cmを測る。

**380号土坑** (第46図)

69M-18グリッドに位置する。円形平面を呈し、径25cm×21cm、深さ33cmを測る。

**381号土坑** (第46図)

69M-18グリッドに位置する。円形平面を呈し、径20cm×20cm、深さ25cmを測る。

**382号土坑** (第46図)

69M-18グリッドに位置する。円形平面を呈し、径35cm×33cm、深さ23cmを測る。

**井戸****23号井戸** (第47図、PL16)

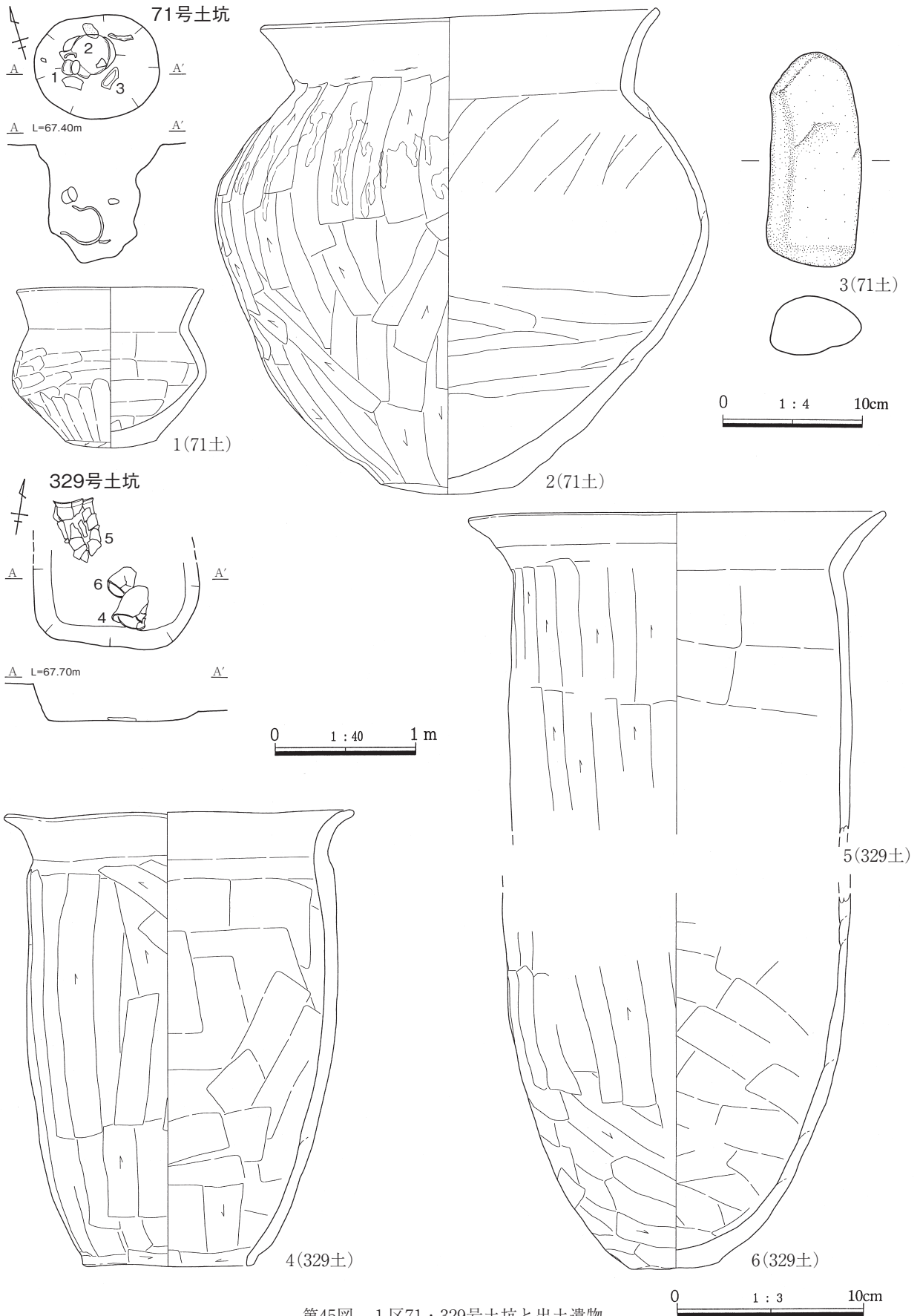
79M-1グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径134cm×120cm、深さ90cmを測る。石が出土している。

**24号井戸** (第47図、PL17)

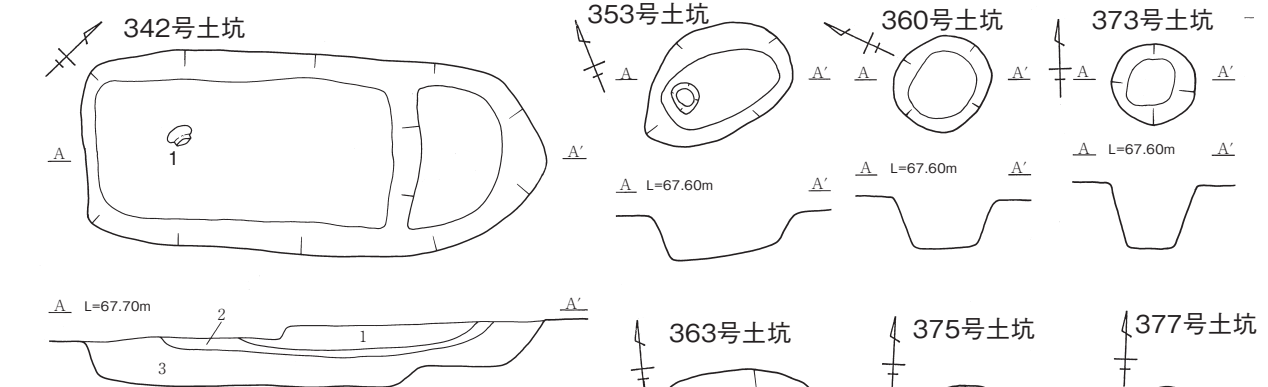
69N-17グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径135cm×121cm、深さ154cmを測る。須恵器片口土器が出土している。

**25号井戸** (第47図、PL17)

69Q-20グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径126cm×97cm、深さ100cmを測る。

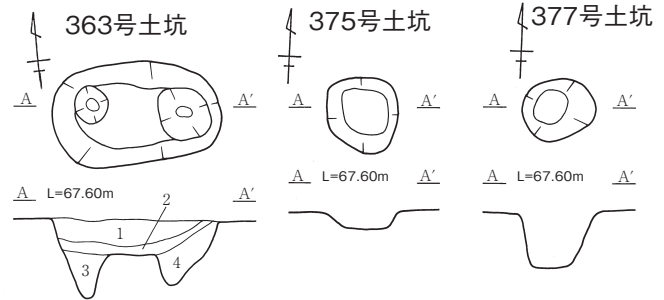


第45図 1区71・329号土坑と出土遺物



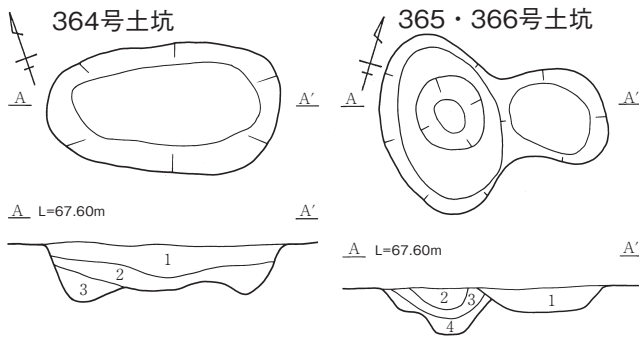
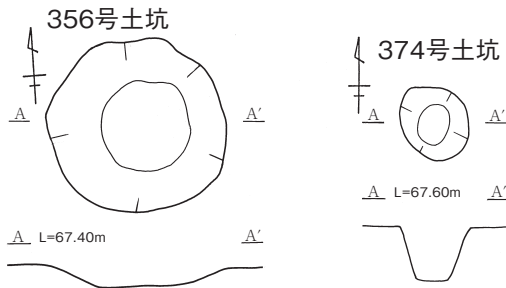
1区5面342土坑

- 1 黒褐色シルト質土 焼土粒、ロームブロックを僅かに含む
- 2 黒褐色シルト質土 ロームブロックを多く含む
- 3 灰黄褐色シルト質土 灰白色粘土ブロック、黒色土ブロック、褐色土ブロックを多く含む



1区5面363土坑

- 1 黒色粘質土 ロームブロックを多く含む
- 2 黄橙色粘質土 黒色土ブロックを多く含む
- 3 黒色シルト質土 ロームブロック、褐色土ブロックを多く含む
- 4 黒色粘質土 褐色土粒を僅かに含む

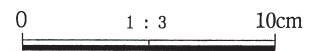
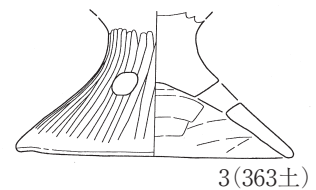
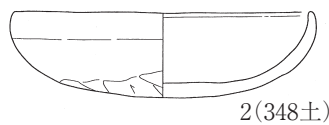
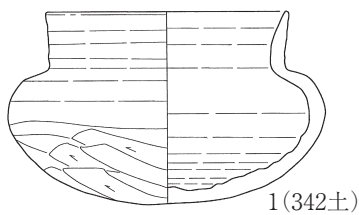
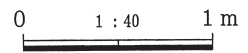
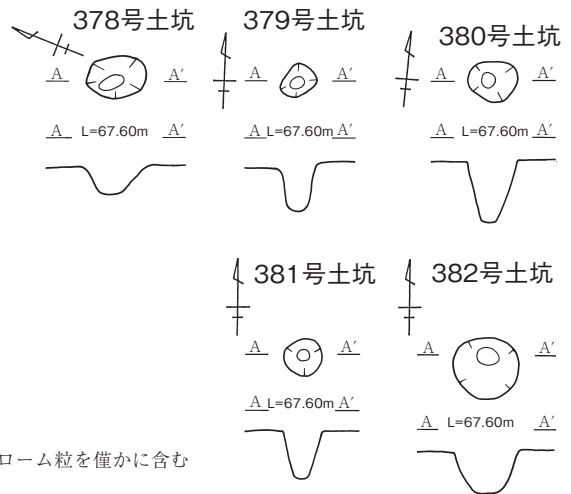


1区5面364土坑

- 1 黒色シルト質土
- 2 黒褐色シルト質土 黒色土粒、ローム粒を僅かに含む
- 3 褐灰色砂質土 ロームブロックを多く含む

1区5面365・366土坑

- 1 黒色シルト質土
- 2 黒色シルト質土 ローム粒を僅かに含む
- 3 黒褐色シルト質土
- 4 黒褐色シルト質土



第46図 1区342・353・356・360・363～366・373～375・377～382号土坑と出土遺物

**26号井戸** (第47図、PL17)

69R-20グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径144cm×117cm、深さ118cmを測る。

**27号井戸** (第47図、PL17)

69Q-17グリッドに位置する。円形平面を呈し、径66cm×64cm、深さ(不明)を測る。

**28号井戸** (第47図、PL18)

79M-4グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径154cm×140cm、深さ127cmを測る。

**29号井戸** (第47図、PL18)

79M-3グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径114cm×97cm、深さ92cmを測る。

**30号井戸** (第47図、PL18)

79M-2グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径120cm×105cm、深さ92cmを測る。

**31号井戸** (第47図、PL18)

79Q-9グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径108cm×93cm、深さ88cmを測る。土師器坏が出土している。

**溝** (第49図～第52図)

**44号溝、267号溝** (第49図)

79M-11グリッド～79J-7グリッドに位置し、微高地縁辺に沿って走行し、267号溝と連続する。幅120cm～250cm、深さ28cm～15cmを測る。東側は接しないが、252号溝に連続するものとみられる。

**252号溝** (第52図)

79I-6グリッド～69I-19グリッドに位置し、微高地縁辺に走行する。幅40cm～100cm、深さ10cmを測る。走行からみて44・267号溝と連続する可能性がある。

**222号溝** (第49図、PL23)

79S-5グリッド～69P-20グリッドに位置する。微高地上にあり南東から北西方向に走行する。南東端では249号溝に接する。幅30cm～60cm、深さ14cmを測る。234・349号土坑と重複し、240・241号溝を切る。

**224号溝** (第50図)

69Q-20グリッド～69N-20グリッドに位置する。北東から南西方向に走行し、222号溝が分岐する。

北側は途切れるが、249号溝と連続するものとみられる。幅80cm～120cm、深さ20cmを測る。土師器坏、土師器台付甕、土師器甕、須恵器甕が出土している。9世紀半ば。

**249号溝** (第50図、PL25)

69T-19グリッド～69R-19グリッドに位置し、224号溝と走行を同一にするため、連続するものとみられる。幅40cm～60cm、深さ8cmを測る。

**227号溝** (第51図、PL23)

69P-18グリッド～69O-18グリッドに位置する。幅40cm～70cm、深さ15cm、確認長4.5m程度である。

**229号溝** (第51図、PL24)

69R-17グリッドに位置する。幅110cm、深さ15cm、確認長4.8m程度である。

**232号溝** (第51図)

79Q-4グリッド～79N-3グリッドに位置する。幅20cm～40cm、深さ10cmで、やや湾曲しながら、南北方向に走行する。

**236号溝** (第51図)

79O-9グリッド～79N-8グリッドに位置し、弧状の平面形状を示す。幅120cm～140cm、深さ14cmを測る。

**239号溝** (第51図)

79L-2グリッド～79K-2グリッドに位置し、ほぼ南北方向に走行する。幅60cm～80cm、深さ13cmを測る。

**240号・241号溝** (第51図、PL25)

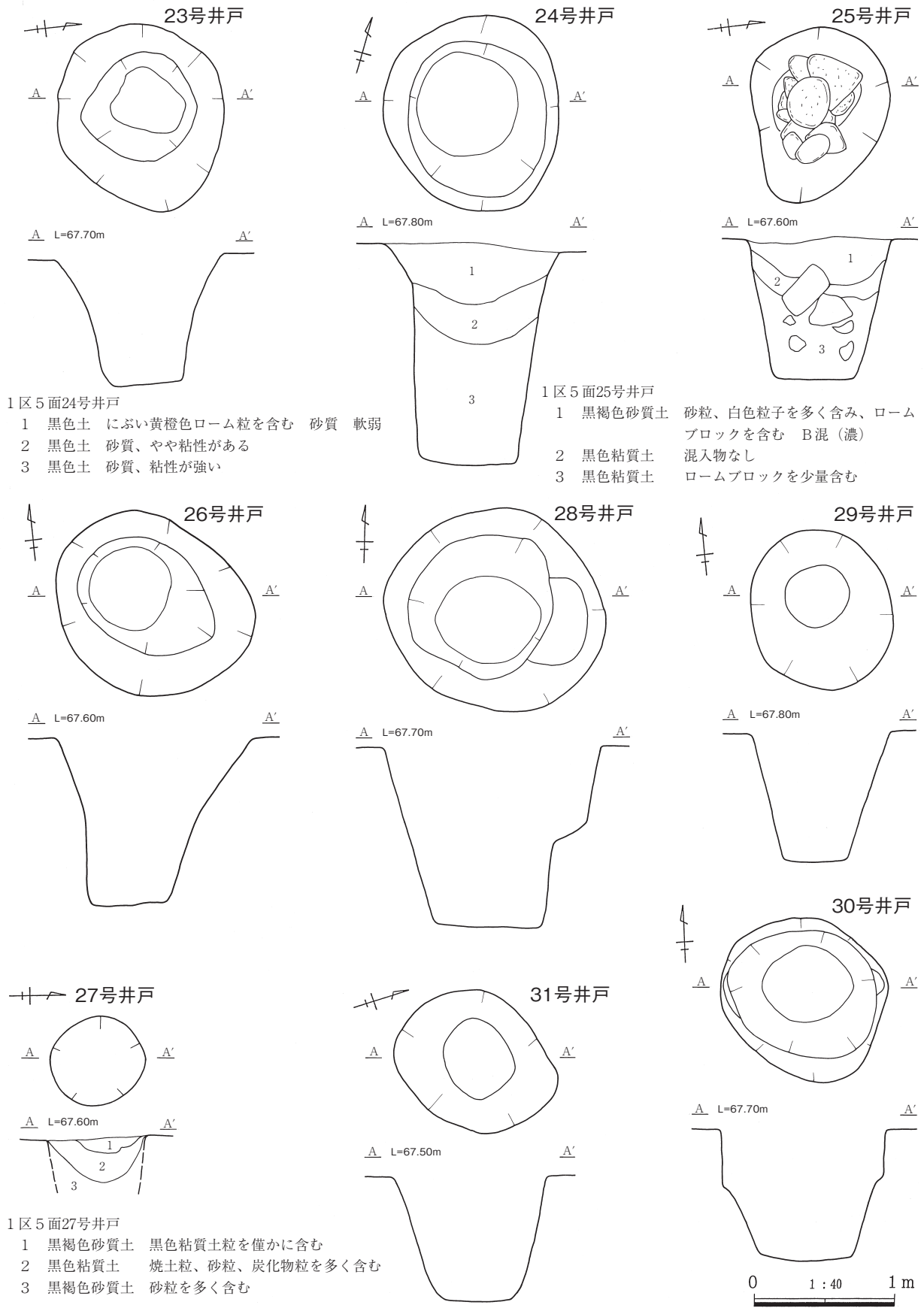
79S-5グリッド～79S-4グリッドに位置し、やや湾曲しながら241号溝と並列して走行する。両溝間は100cm前後。幅20cm～30cm、深さ7cmを測る。

**243号・244号溝** (第52図)

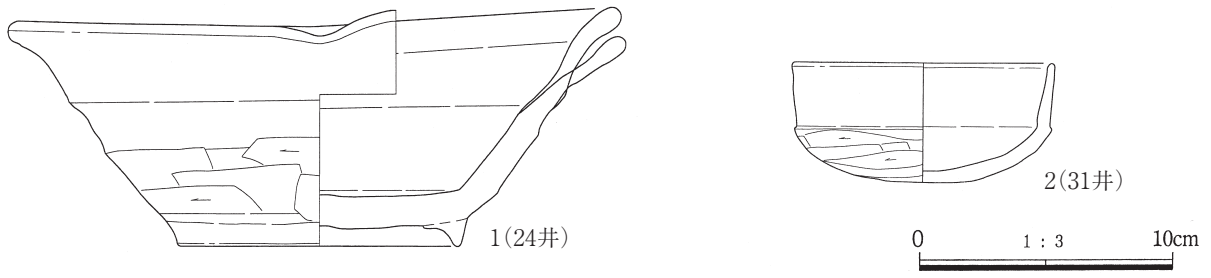
69K-19グリッドおよび69K-18グリッドに位置する。両溝とも幅50cm～70cm、深さ11cm、確認長4.3m前後を測る。ほぼ南北方向に走行し、250cm間隔で平行する。

**248号溝** (第52図、PL25)

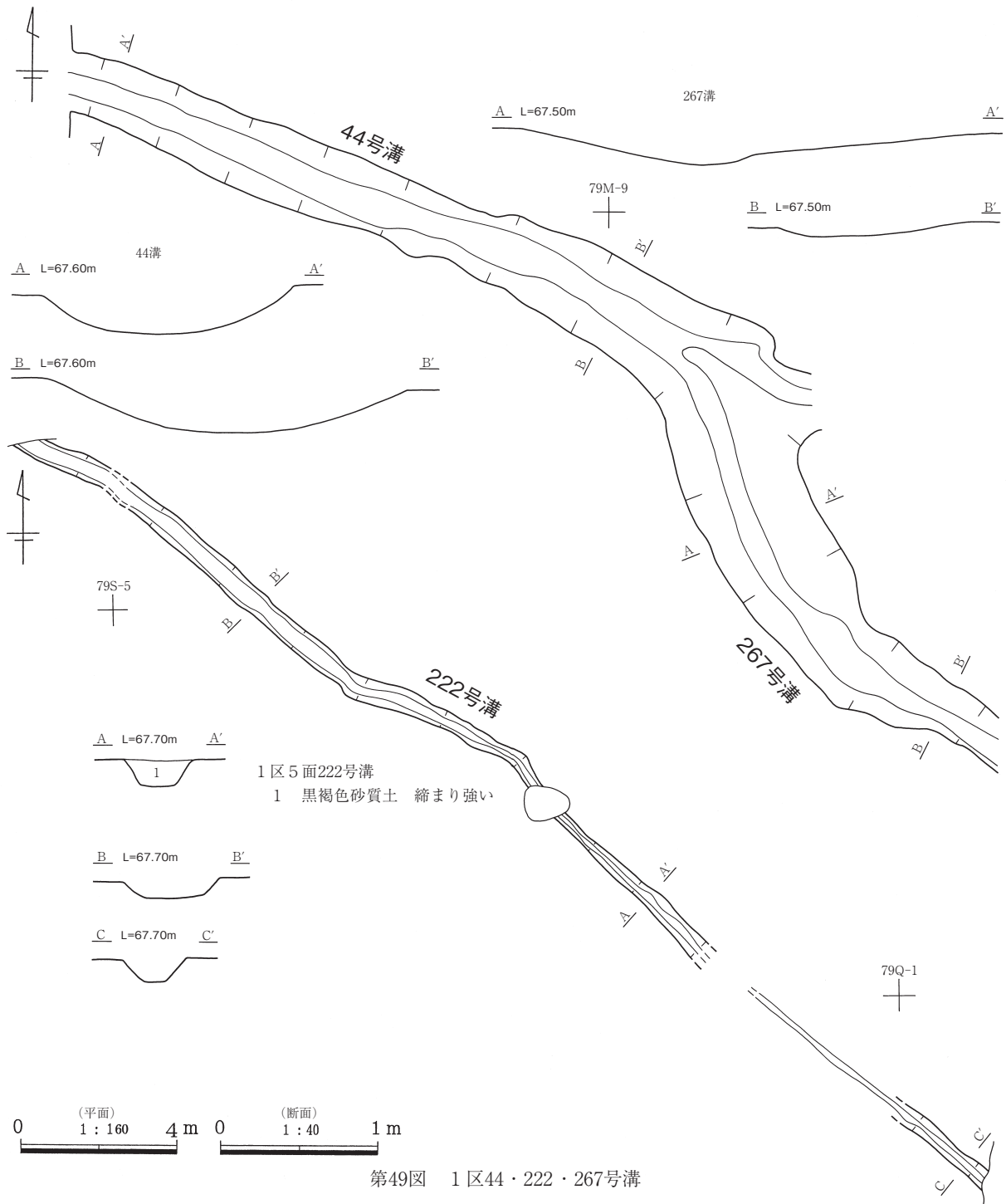
79T-10グリッド～79S-11グリッドに位置し、微高地縁辺に巡り、5号畦に東接する。北東から南西方向に直線的に走行し、幅50cm～80cm、深さ12cmを測る。



第47図 1区23~31号井戸



第48図 1区24・31号井戸出土遺物



第49図 1区44・222・267号溝

**254号溝**（第52図）

79K-5・6グリッドに位置し、東西方向に走行するが、確認長8m前後で部分的確認のため両端部の走行は不明である。幅90cm～120cm、深さ15cmを測る。

**255号溝**（第52図）

69M-16グリッドに位置し、南北方向に走行する。幅50cm～90cm、深さ11cmを測り、確認長は3.9m前後である。

**256号溝**（第52図）

69L-16・17グリッドに位置する。Y字状の平面形であり溝交差部にあたる。幅40cm～80cm、深さ10cmを測る。

**257号溝**（第52図）

69K-16グリッドに位置する。256号溝の東側に走行する溝に南接する。東西方向に走行するが、確認長3.3mであり、延長部分は不明である。

**258号溝**（第52図）

69J-15・16グリッドに位置し、2号畦西側にあたる。この部分は南北方向に走行する2号畦から西方向へ畦が分岐する地点であり、この畦に沿って北接する溝とみられる。なお、溝に接する畦はほとんど遺失する。幅60cm～80cm、深さ10cmを測る。

**259号溝**（第52図）

69J-15グリッドに位置する。幅50cm～70cm、深さ4cmを測り、東西方向に走行する。2号畦東側にあり、東側延長は畦を挟んで258号溝に連続する位置関係となる。258号溝と同様に、畦に沿った溝である可能性がある。

**水田**（第53図）

1区では、調査区中央部を中心に微高地が存在しているため、As-B層の堆積が確認される地点は調査区東、西および南側周辺部に限定される。

微高地の範囲は、西側は79-10ライン、東側は69-16ライン、南側はJラインに囲まれた部分にあたる。微高地部分では前記のように住居、土坑、井戸等が立地する居住域であり、水田は確認されていない。

しかし、時期的には古墳時代後期を中心とするも

ので、As-B降下時期直前の状況は不明である。

微高地には、部分的確認のため走行が不明であり、時期が特定できないが、溝が検出されている。これら溝の中には居住域内の遺構も含まれるであろうが、水田耕作、畦畔に伴う溝の可能性も看取される。

例えば微高地中央に位置する222号溝、224号溝、249号溝等の走行は居住域に伴う区画ではなく、1号畦とも類似するものであり、この溝群が水田畦畔に沿って位置する可能性もある。このようなことは、256号溝等にも看取できる。

特定はできないが、As-B降下直前の時期には微高地を含め水田化されていた可能性はあろうことが、微高地に確認される溝群から考えられる。

低地部には、1号畦～5号畦が確認された。いずれも残存状況は不良であり、被覆するAs-B層を除去しながら、わずかな高まりとして検出したものである。また、部分的確認にとどまるものであるため、水田区画が判断できるものはない。

**1号畦**（第53図）

69O-13グリッド～69S-14グリッドに位置する。北西から南東方向の畦から北方向の畦が分岐する。この北西から南東方向の畦は、20m前後の間隔で222号溝と平行関係にあり、位置関係から同様の水田区画の可能性が認められる。

**2号畦**（第53図）

69H-15グリッド～69J-15グリッドに位置し、南北方向に走行する。北側方向に位置する1号畦に延長する可能性がある。東西方向へ分岐する痕跡も認められ、258・259号溝が関連するものとみられる。

**3号畦**（第53図）

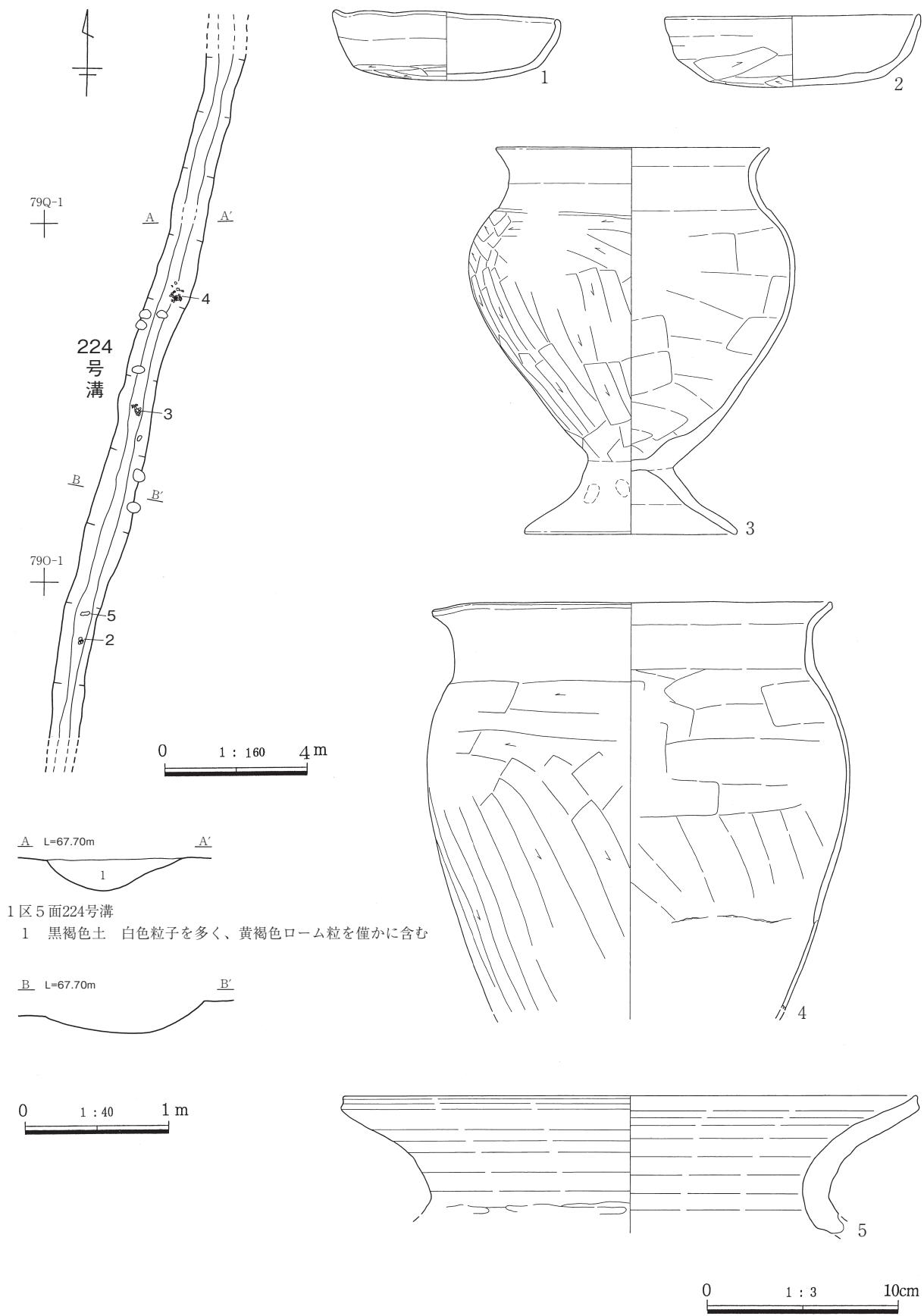
79I-8グリッド～79H-10グリッドに位置する。北東から南西方向に走行する。

**4号畦**（第53図）

79K-9グリッド～79P-11グリッドに位置する。東辺側の区画がわかり、1辺11m～12mを測る。

**5号畦**（第53図）

79S-10グリッドに位置し、北東から南西方向に走行し、248号溝が東接する。

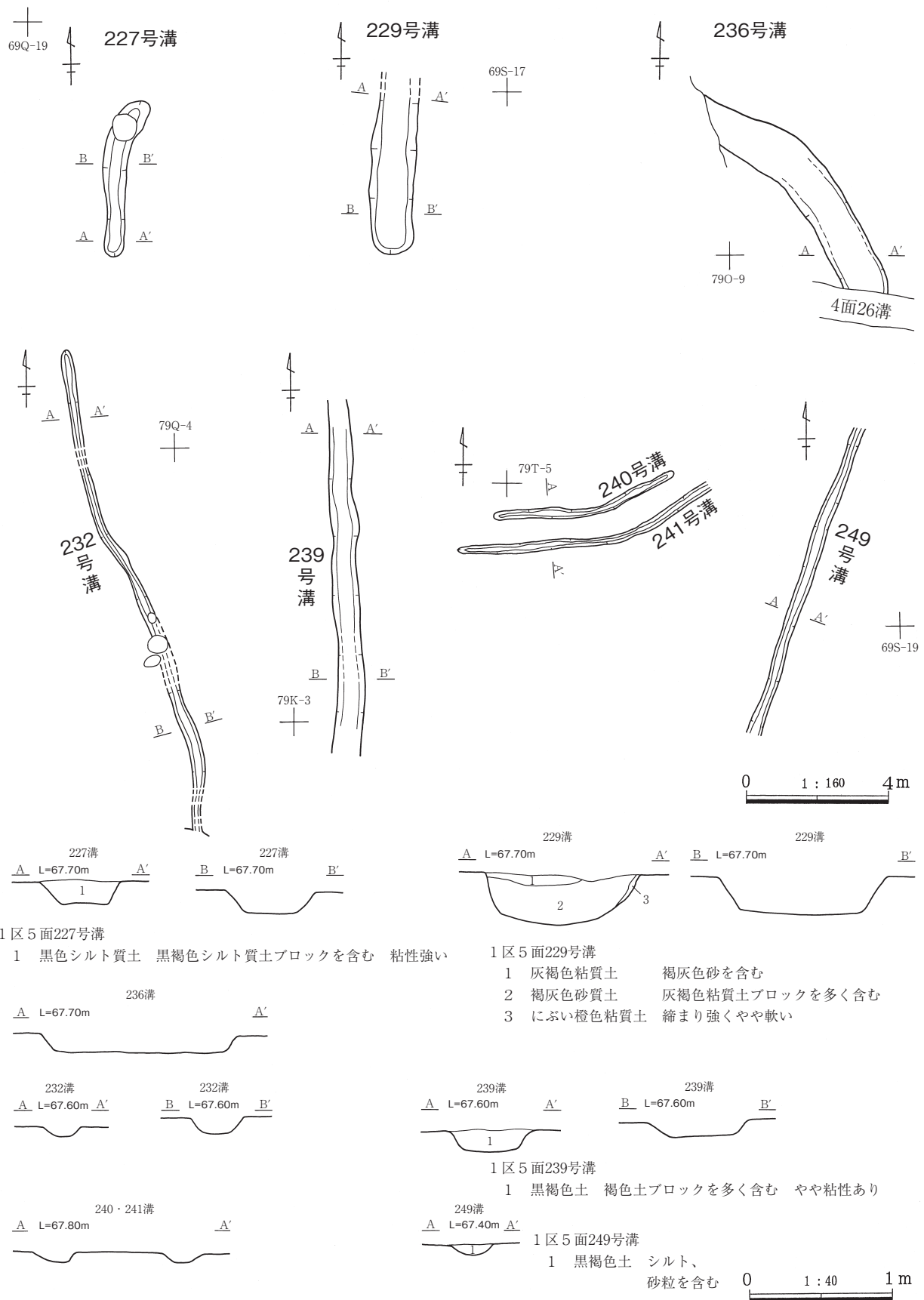


1区5面224号溝

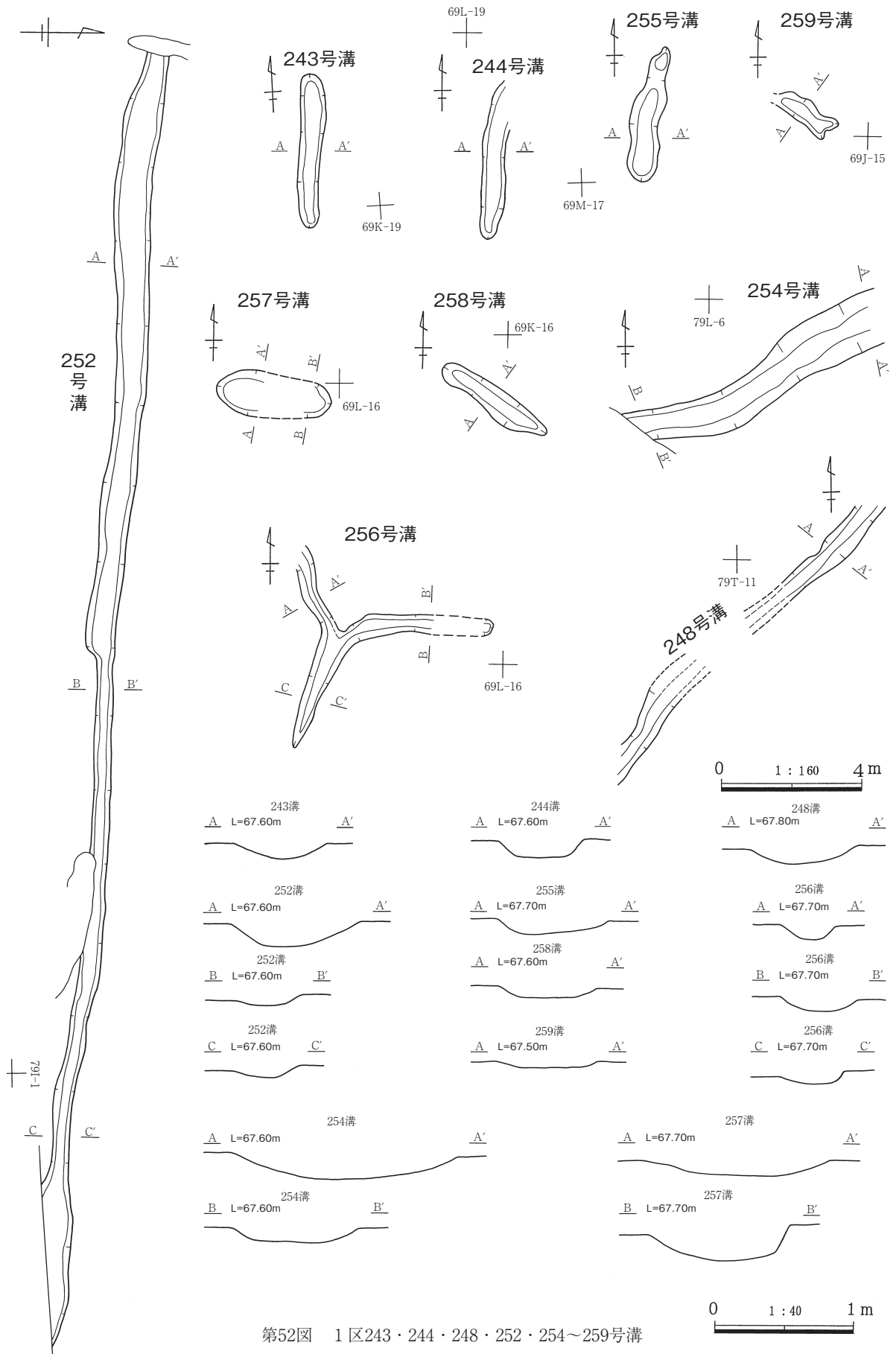
1 黒褐色土 白色粒子を多く、黄褐色ローム粒を僅かに含む

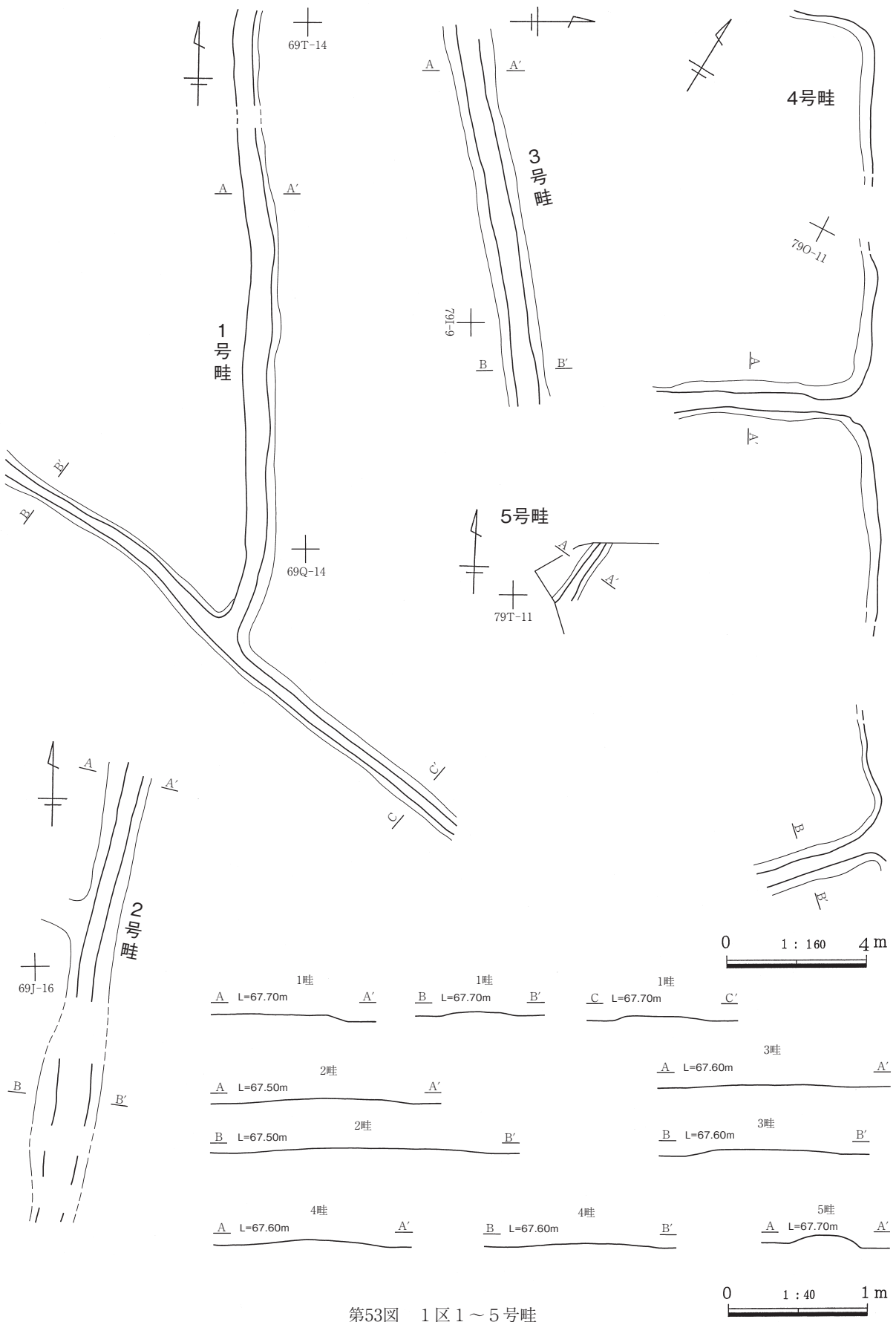
第50図 1区224号溝と出土遺物





第51図 1区227・229・232・236・239～241・249号溝





第53図 1区1～5号畦

c 4面の遺構と遺物(第154図)

As-B混土層下層に検出される遺構面である。1区では、土坑、耕作痕、溝、水田(畦畔)が検出された。

水田(畦畔)は断片的な検出にとどまり、水田区画が把握できる状態ではない。検出遺構では、東西および南北方向に走行する溝群が多く、これらの溝は水田耕作に関連する遺構であろうと思われる。

第4面は、基本的に耕作地(水田)として利用されていたものとみられる。

**土坑(第55図、PL11・15)**

土坑としては、次の3基を調査した。出土遺物はなく、用途不明であるが、耕作に伴う遺構であろうか。

**310号土坑(第55図、PL11)**

79K-2グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径54cm×47cm、深さ10cmを測る。

**384号土坑(第55図)**

69J-14グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径164cm×149cm、深さ12cmを測る。

**385号土坑(第55図、PL15)**

69L-16グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径119cm×74cm、深さ23cmを測る。11号溝と重複する。

**ピット(第55図)**

ピットとした遺構は、確認時に柱穴の可能性があり同時に掘立柱建物を構成する遺構の可能性も考えたものである。しかし、2穴のみの確認であることから、小土坑として理解しておく。なお、2穴間の距離は、185cmを測る。

**80ピット(第55図)**

69J-17グリッドに位置する。円形平面を呈し、径56cm×51cm、深さ24cmを測る。

**81ピット(第55図)**

69J-17グリッドに位置する。円形平面を呈し、径56cm×49cm、深さ24cmを測る。12号溝と重複する。

**耕作痕(第55図、PL26)**

不規則な形状で、浅い落ち込みを耕作痕とした。性格を特定できる情報はないが、明らかに落ち込み

であるため、遺構とした。

1号~4号耕作痕としたが、69J-16グリッド~69L-13グリッド間に位置する。いずれも確認面の土層より色調、土質とも異なる埋没土であり、容易に検出できるものである。3号・4号耕作痕としたものは、2条平行する浅い溝状の落ち込みであり、1号・2号は幅広の不規則な落ち込みで、底面は細かな凹凸が認められている。

**溝(第56図~第61図、PL19~PL23)**

第4面の主要な遺構である。東西方向に走行する溝群と南北方向に走行する溝群が認められる。

東西方向に走行する溝群は14号・11号・26号・25号・38号・39号・41号~43号・46号・214号・220号溝があり、ほぼ同一方向に走行する。部分的に重複関係をもつが、走行形状は類似するもので、強い関連性が伺われる。14号溝は北側への屈曲部をもち、水田区画に関連するものとみられる。

南北方向に走行する溝群は12号・15号・37号・260号溝があり、37号溝は西側への屈曲部をもつ。また、この溝に延長するとみられる260号溝には6号畦が接して走行する。これらの溝は、水田区画に伴う溝であろうと思われる。

**11号溝・26号溝(第56・58図、PL19~PL21)**

調査が2回に分割して実施されたため、東側1/4が11号溝として調査し、以西が26号溝として調査したが、同一の溝である。69L-13グリッド~79O-11グリッドに位置し、東西方向に走行し、2区に延長する。幅100cm~140cm、深さ45cm、確認長94mを測る。

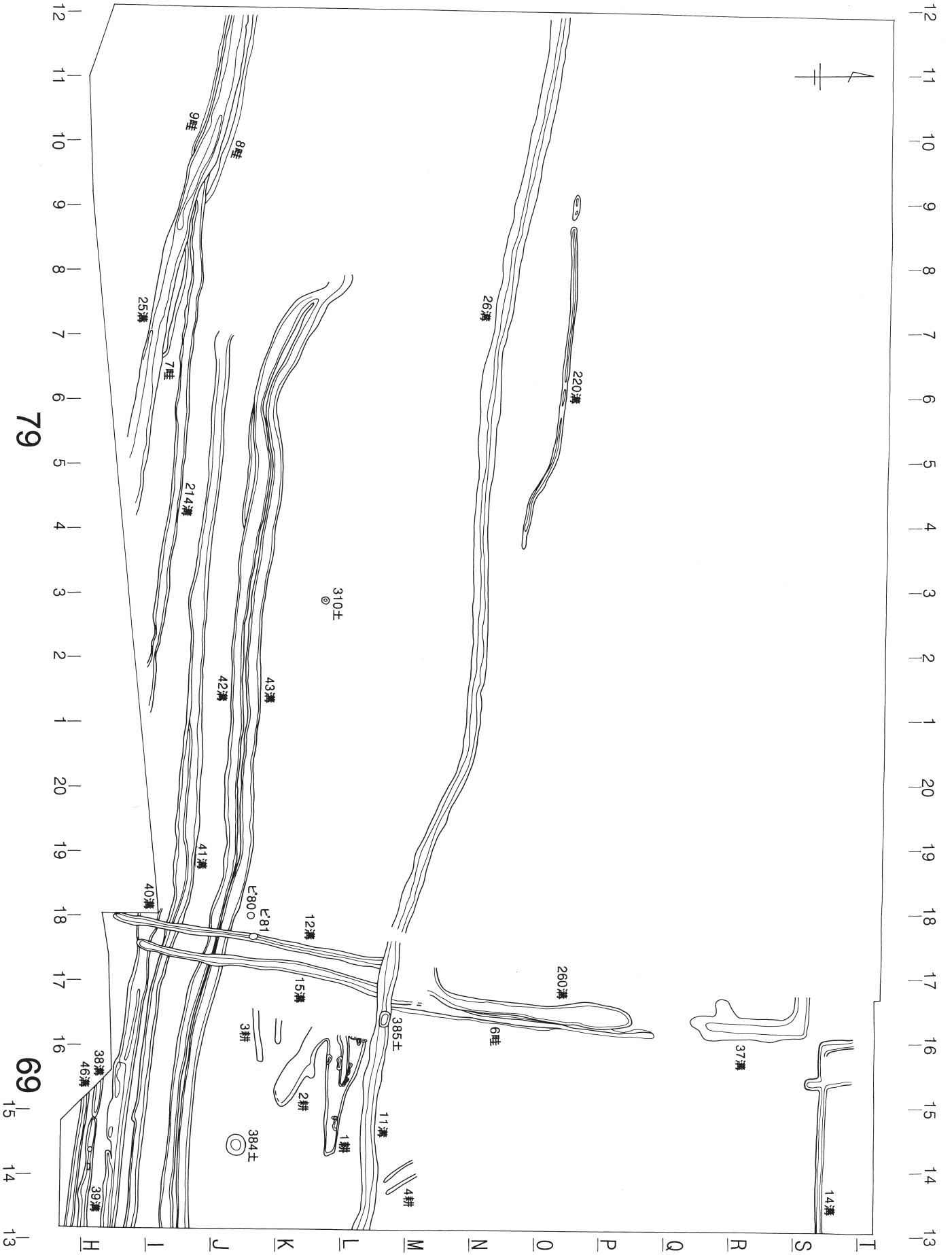
**12号溝(第56図、PL20)**

69L-17グリッド~69H-17グリッドに位置し、ほぼ南北方向に走行する。北端は11号溝に接し、以北は不明となる。幅60cm~70cm、深さ24cm、確認長20.8mを測る。

**14号溝(第56図、PL20)**

69S-13グリッド~69S-16グリッドに位置する。直角に屈曲する溝で、畦畔に伴う溝であると見られる。幅50cm、深さ16cmを測る。

T S R Q P O N M L K J I H



第54図 1区第4面全体図

0 1 : 400 10 m 71

**15号溝**（第56図）

69H-17グリッド～69L-16グリッドに位置し、12号溝に平行し、北端は11号溝に接する。以北の延長は不明。幅50cm～90cm、深さ12cmを測る。

**25号溝**（第57図、PL20）

79H-4グリッド～79J-11グリッドに位置する。東西方向に走行し、214号溝、7・8・9号畦と重複する。東側は38号もしくは46号溝に連続し、西側は2区へ延長する。幅120cm～160cm、深さ25cmを測る。埋没土中からかわらけが出土している。

**214号溝**（第57図、PL23）

79I-1グリッド～79I-9グリッドに位置する。東西方向に走行し、西端部は25号溝に重複し、東側は39号溝に連続するものとみられる。幅70cm～110cm、深さ22cmを測る。

**37号溝**（第59図、PL21）

69Q-16グリッド～69S-16グリッドに位置し、ほぼ直角に屈曲する。西側の走行は不明であるが、北側は途切れるが260号溝に連続するものと思われる。260号溝には6号畦が接しており、37号溝は畦の関係は不明であるが、水田区画に関連する溝であろう。幅160cm～300cm、深さ28cmを測る。埋没土中から棒状礫、扁平礫が出土している。

**220号溝**（第59図、PL23）

79N-3グリッド～79O-8グリッドに位置する。東西方向に走行し、確認長27.2mで東・西側は不明である。幅30cm～50cm、深さ7cmを測る。

**260号溝**（第59図）

69M-16グリッド～69P-16グリッドに位置し、南北方向に走行する。東側に6号畦が接している。北側は37号溝に連続するようにみられる。南側はわずかに屈曲するような形状が認められるが、延長部が不明である。幅90cm～200cm、深さ10cm、確認長17.6mを測る。

**38号溝**（第60・61図、PL21）

69H-13グリッド～69H-17グリッドに位置する。幅60cm～80cm、深さ16cmを測る。東西方向に走行し、西側は214号溝に連続する可能性がある。

**39号溝**（第60・61図、PL21）

69H-13グリッド～69H-17グリッドに位置する。40号溝と接しながら、東西方向に走行する。西側は214号溝方向へ延長する。幅40cm～60cm、深さ10cmを測る。

**40号溝**（第60・61図、PL21）

69H-13グリッド～69I-17グリッドに位置する。39号溝と接し、東西方向に走行する。西側は214号溝方向へ延長する。幅50cm前後、深さ14cmを測る。

**41号溝**（第60・61図、PL21）

69H-13グリッド～79J-6グリッドに位置する。東西方向に走行し、69I-17グリッド付近で、南北方向に走行する12号・15号溝に切られる。

幅70cm～140cm、深さ12cm、確認長69.2mを測る。

**42号溝**（第60・61図、PL21）

69I-13グリッド～79K-7グリッドに位置する。東西方向に走行し、43号溝が北接する。西端部では43号溝と合流し、弧状に湾曲する。幅60cm～140cm、深さ12cm、確認長74.1mを測る。

**43号溝**（第60・61図、PL21）

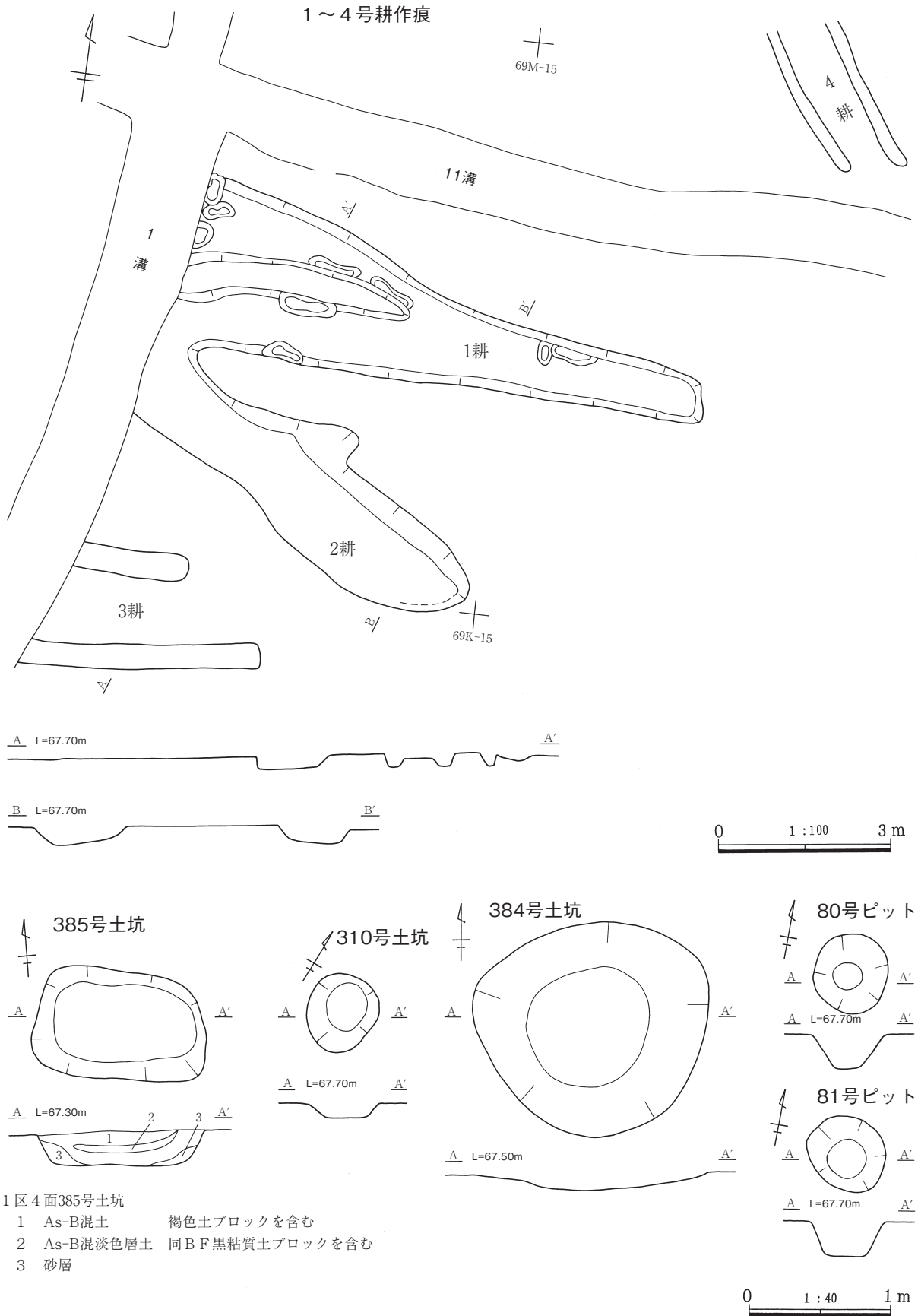
69I-13グリッド～79L-7グリッドに位置する。42号溝に接して走行し、西端部で合流する。幅80cm、深さ14cm、確認等77.3mを測る。

**46号溝**（第60・61図、PL21）

69G-13グリッド～69H-17グリッドに位置し、38号溝が南接して走行する。東西方向に走行し、西側は25号溝方向に連続する。幅150cm、深さ16cmを測る。

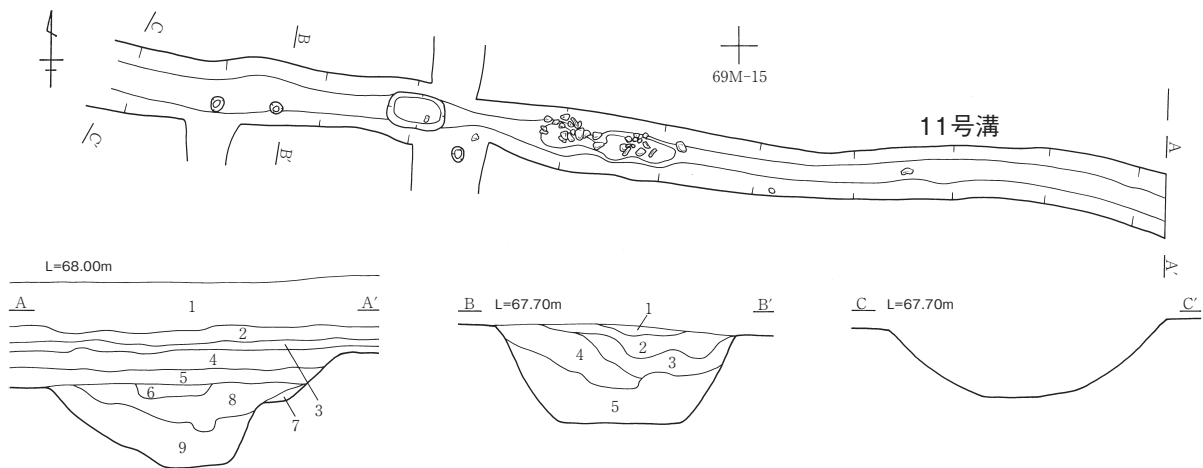
**水田**（第57図）

溝に接した部分に畦畔状の帯状の高まりを検出した。いずれも部分的なもので、水田区画が判断できるものではない。南北方向の畦は、260号溝に接して6号畦が確認された。東西方向の畦は、25号溝に接して7～9号畦が確認されている。



第55図 1区1~4号耕作痕、310・384・385号土坑、80・81号ピット

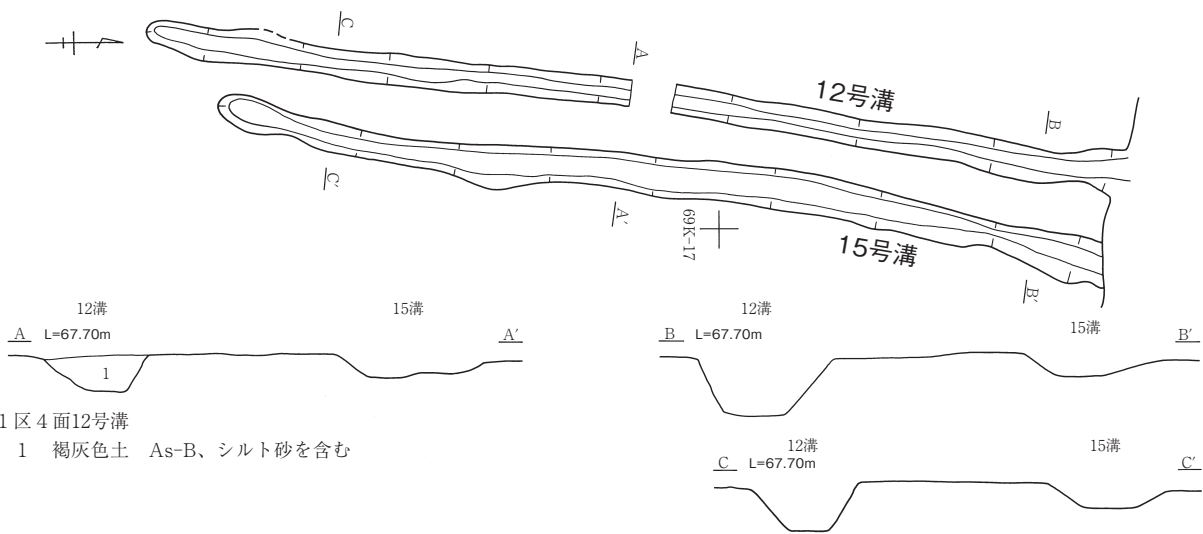
II 発掘調査の記録



1区4面11号溝

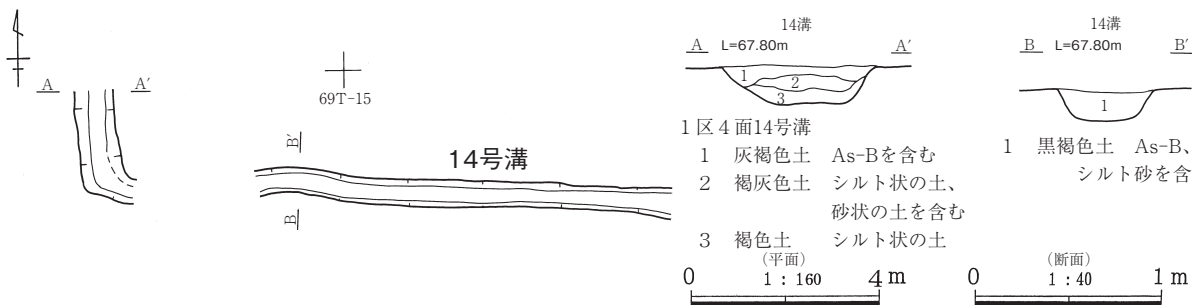
- 1 表土
- 2 洪水層
- 3 洪水層 (黄味が強い)
- 4 As-B混土
- 5 As-B混土 (淡)
- 6 As-B混土 (濃) 縮まりあり、鉄分を含む
- 7 黒色土
- 8 黒褐色土 砂 (As-Bか) をラミナ状に多く含み、黒色土ブロックを僅かに含む
- 9 黒褐色土 砂、黒色土を多く含み、ロームブロックを僅かに含む 軟い

- 1 B混こげ茶+同淡色土 黒色粘質土ブロックを僅かに含む
- 2 暗灰色シルト、砂質土
- 3 暗灰色シルト、砂質土 B下黒粘質土ブロックを多く含む
- 4 暗灰色シルト質土 砂を僅かに含む
- 5 B下黒粘質土 褐色ロームブロック、砂を僅かに含む 粘性あり



1区4面12号溝

- 1 褐灰色土 As-B、シルト砂を含む



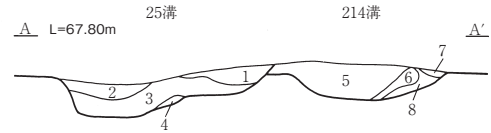
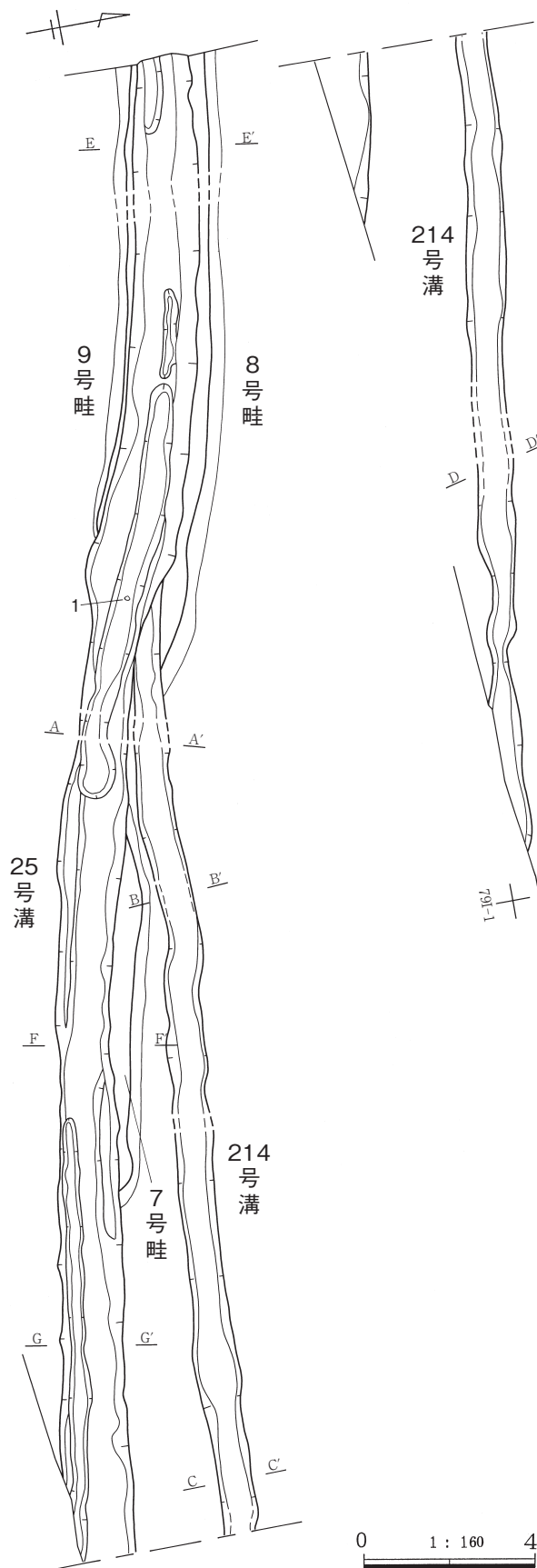
1区4面14号溝

- 1 灰褐色土 As-Bを含む
- 2 褐灰色土 シルト状の土、砂状の土を含む
- 3 褐色土 シルト状の土

- 1 黒褐色土 As-B、シルト砂を含む

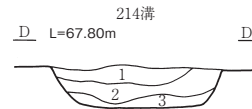
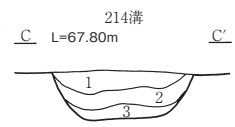
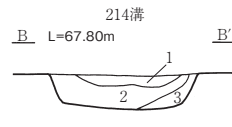
第56図 1区11・12・14・15号溝





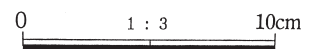
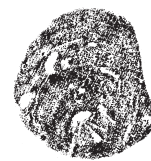
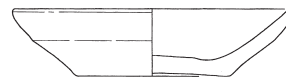
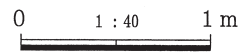
1区4面25・214号溝

- 1 灰黄褐色シルト質土 灰白色砂、黒褐色粘質土ブロックを含む  
縮まり強い
- 2 にぶい黄褐色シルト質土 縮まり強い 下層に鉄分の付着あり
- 3 黄灰色砂質土 黒褐色粘質土を含む 縮まり強い
- 4 黒褐色粘質土
- 5 黒褐色粘質土 灰白色砂を含む
- 6 にぶい黄褐色粘質土 黒褐色粘質土を含む 縮まり強い
- 7 黄灰色砂質土 鉄分の付着あり 縮まり強い
- 8 黒褐色砂質土 灰黄褐色砂を多く含む

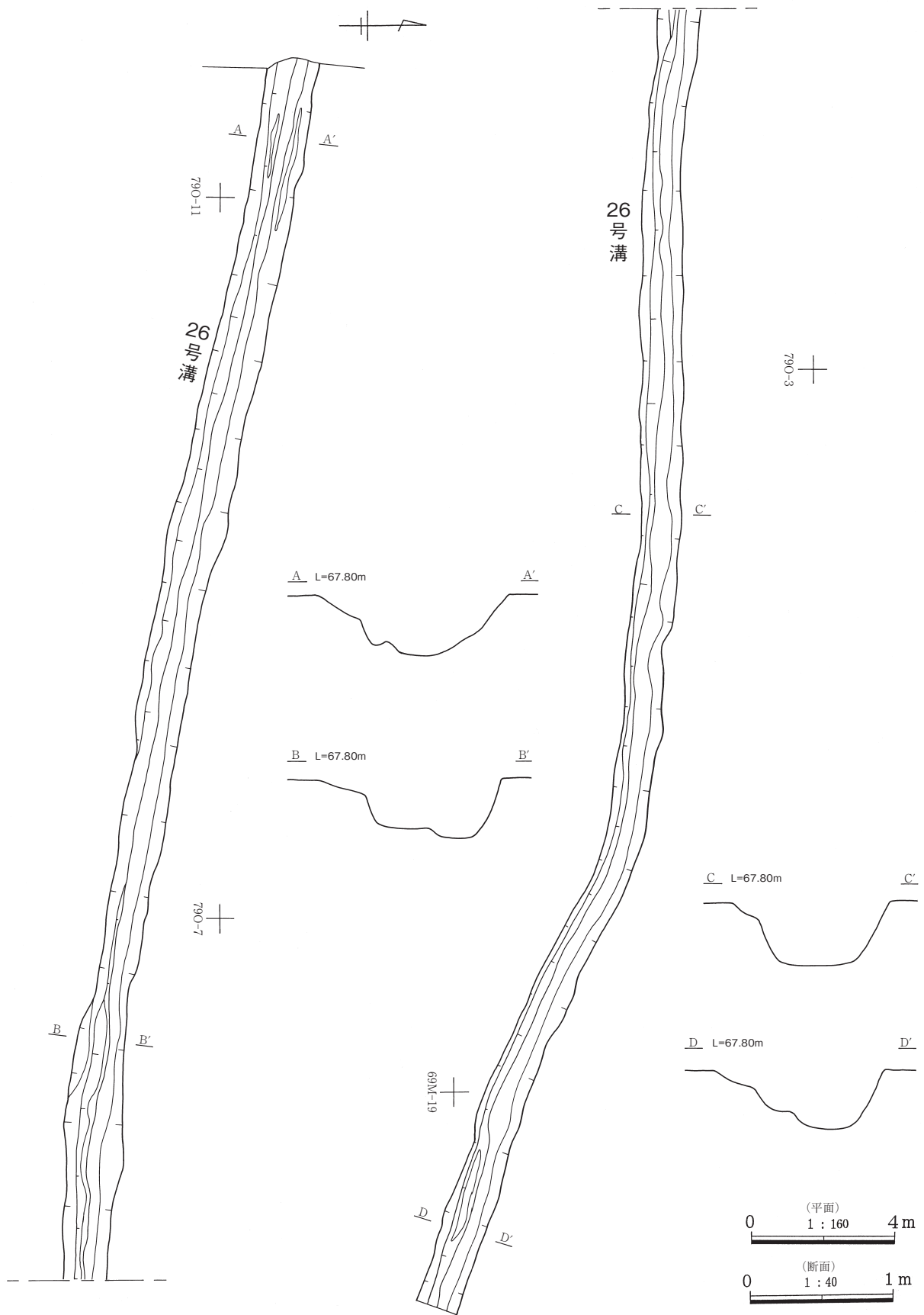


214号溝

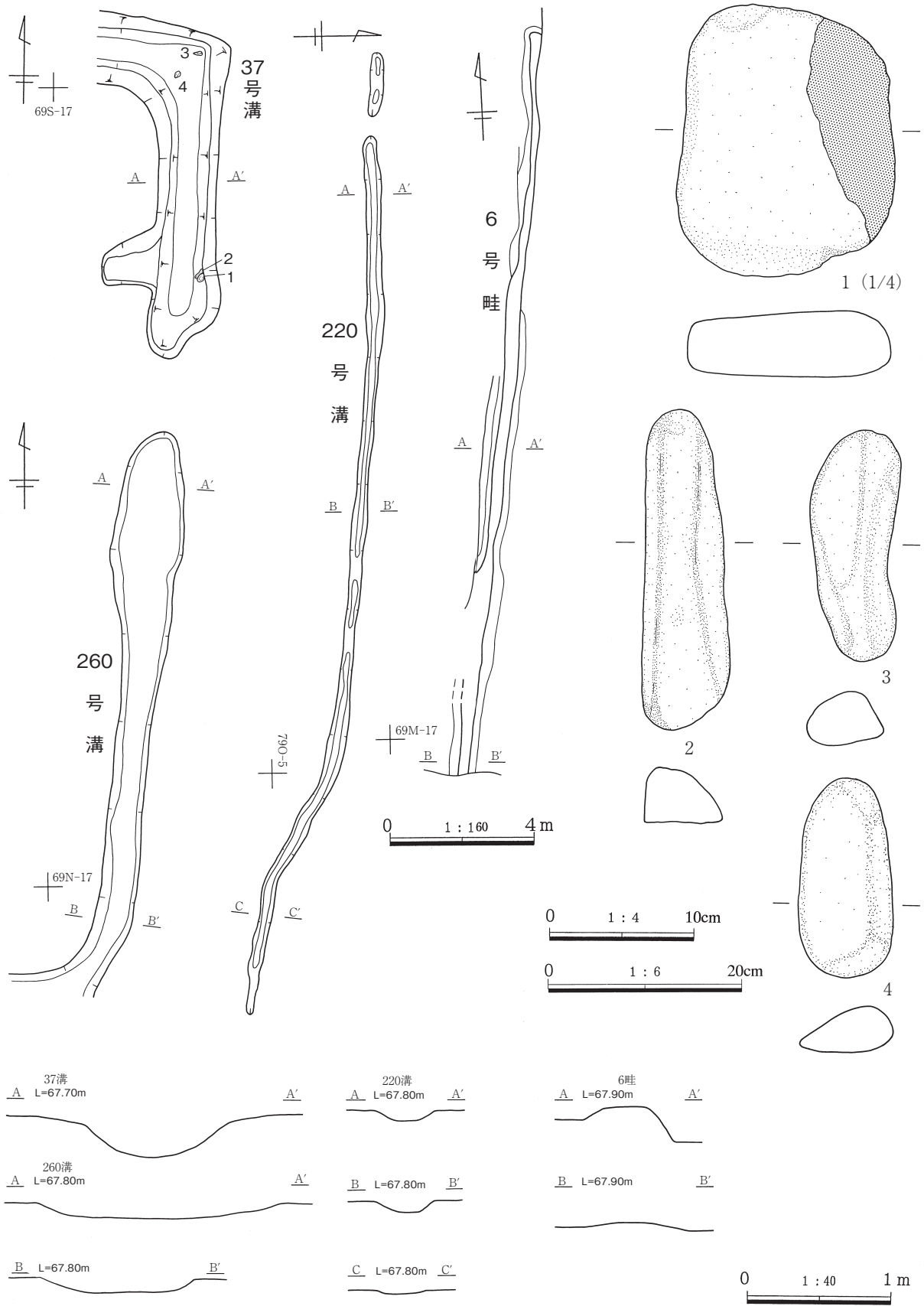
- 1 灰黄褐色シルト質土 黒褐色砂質土を含む
- 2 にぶい橙色シルト質土 褐灰色砂を含む
- 3 褐灰色砂質土 黒褐色粘質土ブロックを含む



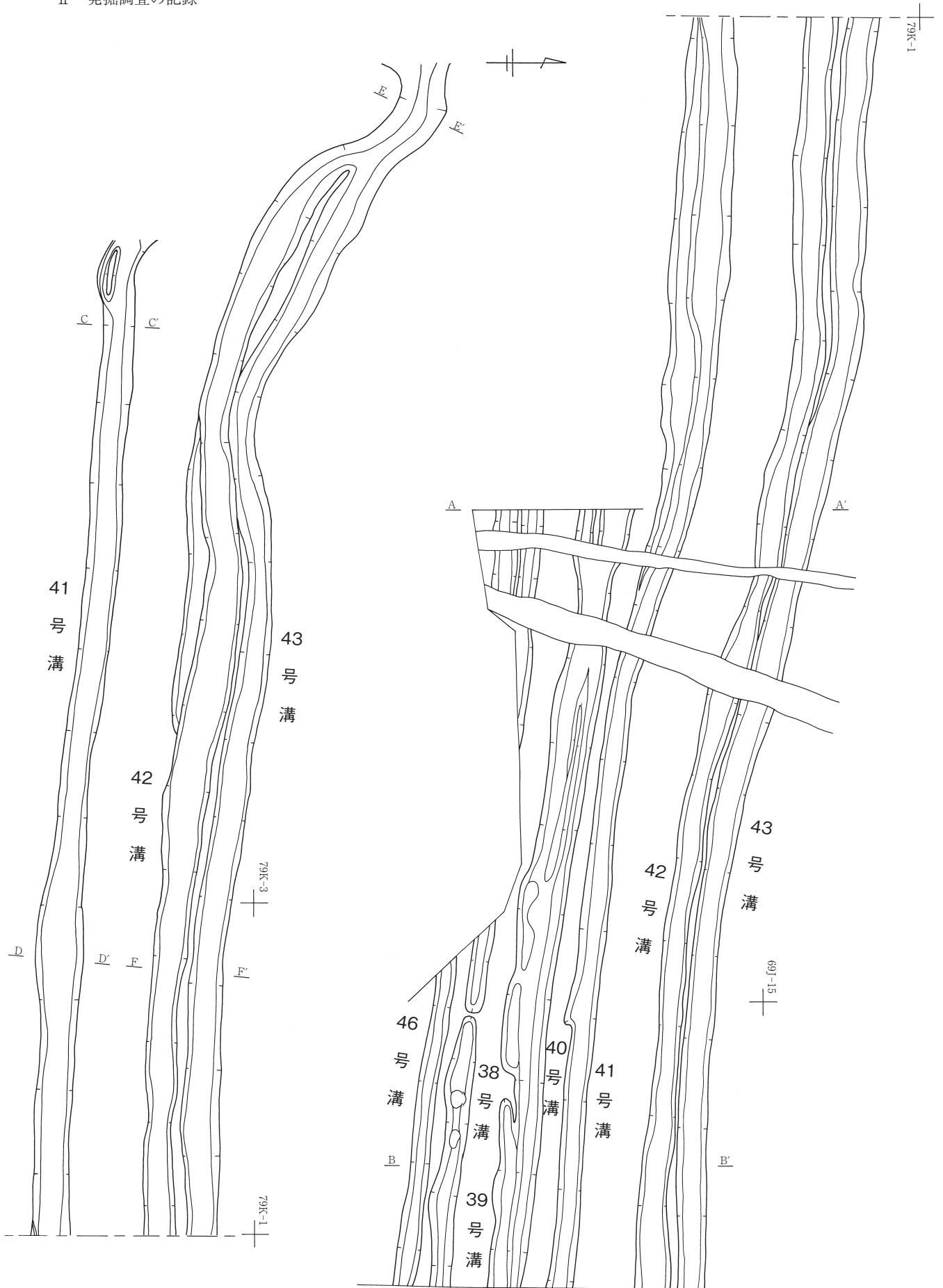
第57図 1区25・214号溝、7～9号畦と25号溝出土遺物



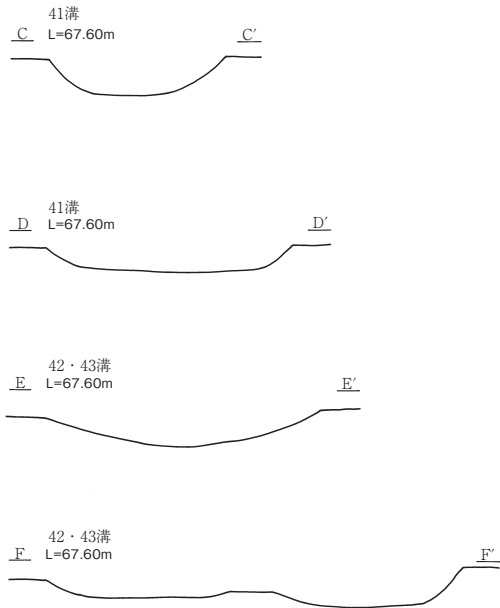
第58図 1区26号溝



第59図 1区37・220・260号溝、6号畦と37号溝出土遺物

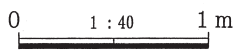


第60図 1区38~43・46号溝

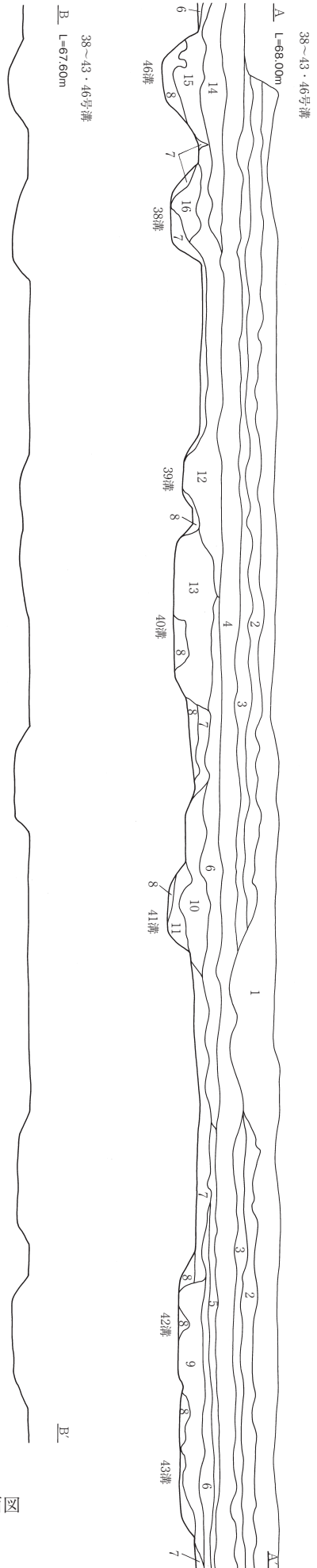


1区4面38~43・46号溝

- 1 表土 水田耕作土
- 2 暗褐色土 洪水層、締まりあり
- 3 暗褐色土 As-Bを含む 締まり強い
- 4 黒褐色土 As-Bを含み、黄色シルト質土を僅かに含む
- 5 黒褐色土 As-Bを多く含む
- 6 黒褐色土 As-Bを多く含む砂質
- 7 As-B
- 8 黒色土 粘性が強い
- 9 黒色土 黄褐色土ブロックを僅かに含む 砂質で軟い
- 10 黒色土 黄色土粒子を僅かに含む 砂質で軟い
- 11 黒褐色土 黒色粘質土ブロック、黄褐色粘質土を含む 砂質で締まりあり
- 12 黒褐色土 黄褐色土を多く、黄色土粒子を僅かに含む 砂質
- 13 黒褐色土 黒色粘質土ブロックを多く、黄褐色粘質土ブロックを僅かに含む 砂質で軟い
- 14 黒褐色土 白色粒子を多く、黄褐色土を僅かに含む やや砂質で締まりあり
- 15 黒褐色土 黒色粘質土ブロックを僅かに含む 砂質
- 16 黒褐色土 黄褐色土ブロックを僅かに含む 粘性強い



第61図 1区38~43・46号溝土層断面図



d 3面の遺構と遺物

確認された遺構は、土坑、溝および水田（畦畔）である。遺構密度は薄く、溝および畦畔は東西もしくは南北方向に走行し、水田区画を形成するものとみられる。なお、遺物も少なく、溝内から板碑片が出土する程度である。

**土坑**

1基が検出された。出土遺物はなく、耕作に関連するものであろうか。

**308号土坑**（第63図、PL11）

79O-10グリッドに位置する。円形平面を呈し、径44cm×37cm、深さ17cmを測る。

**溝**（第63・64図、PL19～PL22）

南北および東西方向に走行し、整然としたもので水田区画に伴うものであろう。

**10号溝**（第63図、PL 19）

調査区南東端部に検出され、69G-14グリッドに位置する。ほぼ東西方向に走行し、幅20cm、深さ5cmを測る。

**13号溝**（第63図、PL19）

10号溝の北側に平行して走行する。69G-13グリッドに位置する。幅80cm、深さ6cmを測る。

**23号溝**（第63図、PL20）

79H-5グリッド～79J-11グリッドに位置し、北西～南東方向に走行する。幅100cm、深さ18cmを測り、埋没土中から板碑片（第63図1・2）が出土している。

**211号溝**（第63図、PL22）

69N-17・18グリッドに位置し、東西方向に走行し、西端部は207号・212号溝に接し、東側は11号畦の手前で遺失する。幅30cm～50cm、深さ11cm、確認長8.2mを測る。

**212号溝**（第63図、PL23）

69N-18グリッドに位置する。南北方向に走行し、207号溝北側にあり、走行が同一であるため連続する可能性もある。幅100cm、深さ12cmを測る。

**207号溝**（第64図、PL22）

69I-19グリッド～69N-18グリッドに位置する。南北方向に走行し、幅140cm～200cm、深さ12cmを測る。

**253号溝**（第63図）

69S-15グリッドに位置する。幅30cm～50cm、深さ5cmを測り、10号畦東西畦に接する。

**208号溝**（第64図、PL22）

79J-6グリッド～79M-6グリッドに位置する。南北方向に走行し、209号溝および210号溝と平行する。各溝間は120cm～200cm程度である。幅20cm～60cm、深さ12cmを測る。

**209号溝**（第64図、PL22）

79J-5グリッド～79M-5グリッドに位置する。幅20cm～40cm、深さ5cmを測る。

**210号溝**（第64図、PL22）

79J-5グリッド～79O-4グリッドに位置する。幅20cm～40cm、深さ5cmを測る。

**264号溝**（第64図）

69H-17グリッド～69L-16グリッドに位置する。南北方向に走行し、南・北端部は遺失し、走行は不明である。北側の延長方向には11号畦があることから、この溝が畦に沿って位置するものと考えられる。幅20cm～60cm、深さ7cm、確認長20.8mを測る。

**水田**（第65図）

畦畔の検出により、水田が存在することは確認されるが、残存状況が不良のため水田区画については不明である。

**10号畦**（第65図）

69H-14グリッド～69S-15グリッドに位置し、南北方向に走行し、69S-13グリッドで東西畦に接する。

**11号畦**（第65図）

69M-16グリッド～69S-15グリッドに位置し、南北方向に走行する。10号畦と平行し、両畦間は11m前後を測る。

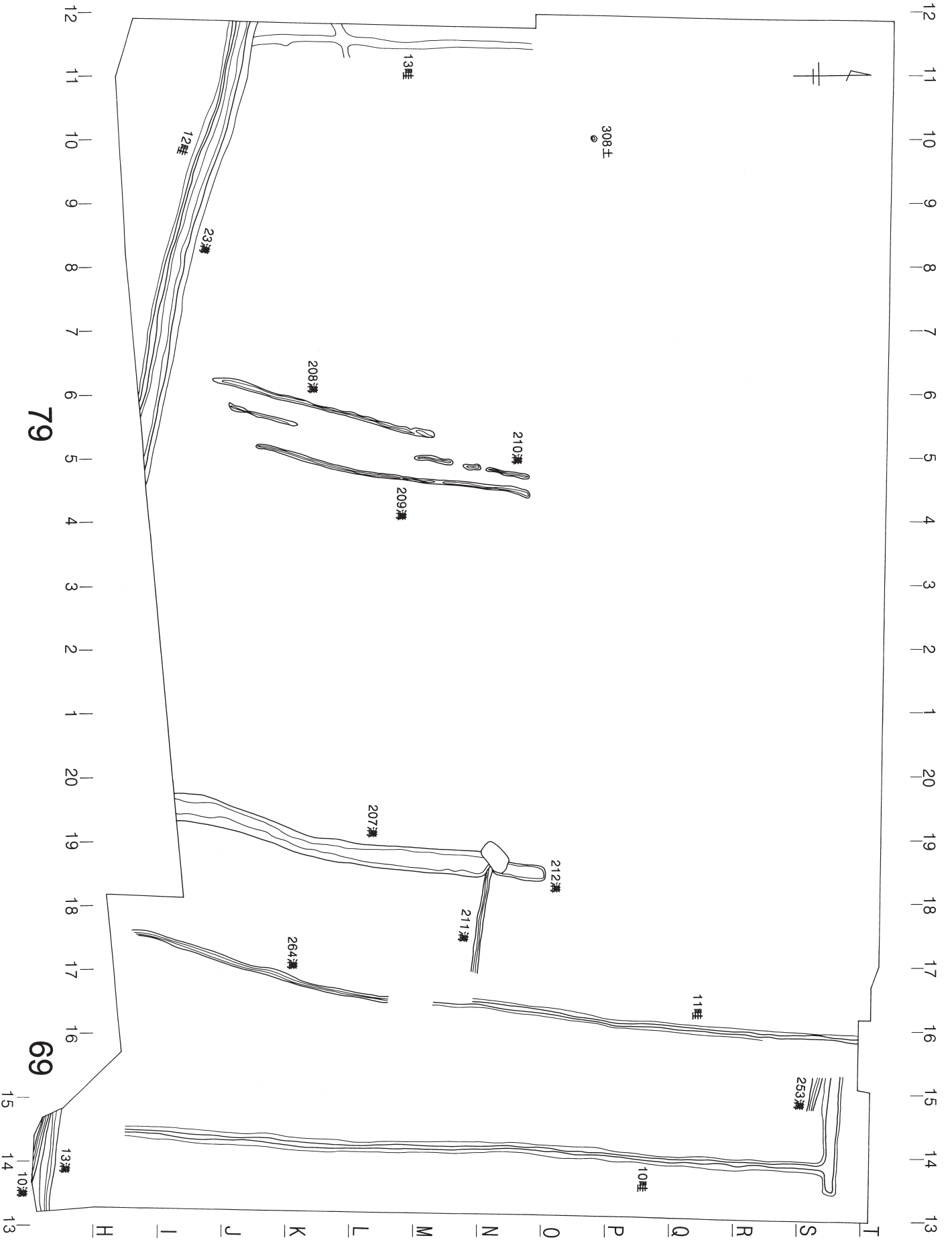
**12号畦**（第65図）

79I-5グリッド～79J-12グリッドに位置し、23号溝に南接して走行する。

**13号畦**（65図）

79J-11グリッド～79N-11グリッドに位置し、南北に走行し、79K-11グリッドで東西畦の交差部がある。

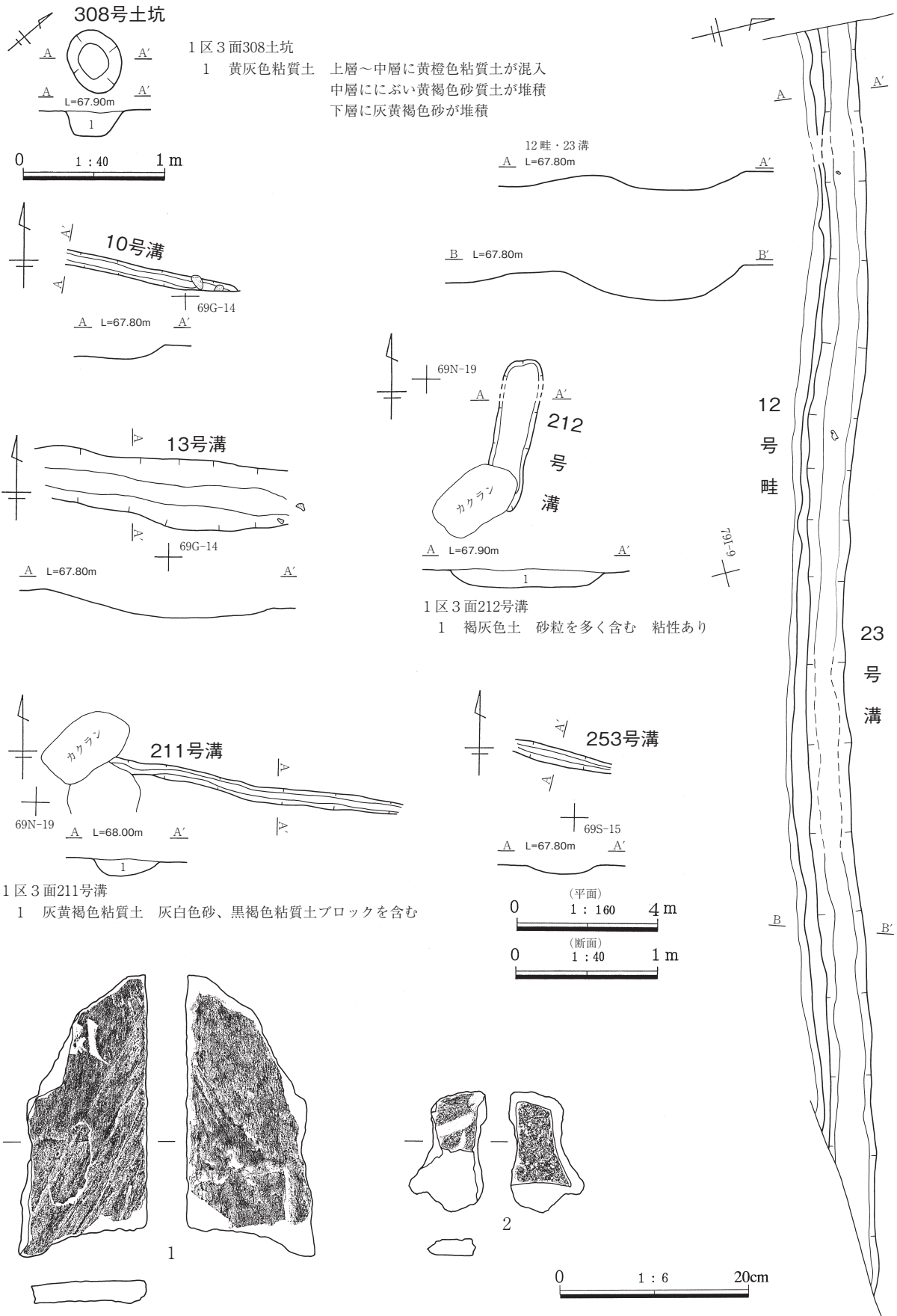
T S R Q P O N M L K J I H



第62図 1区第3面全体図

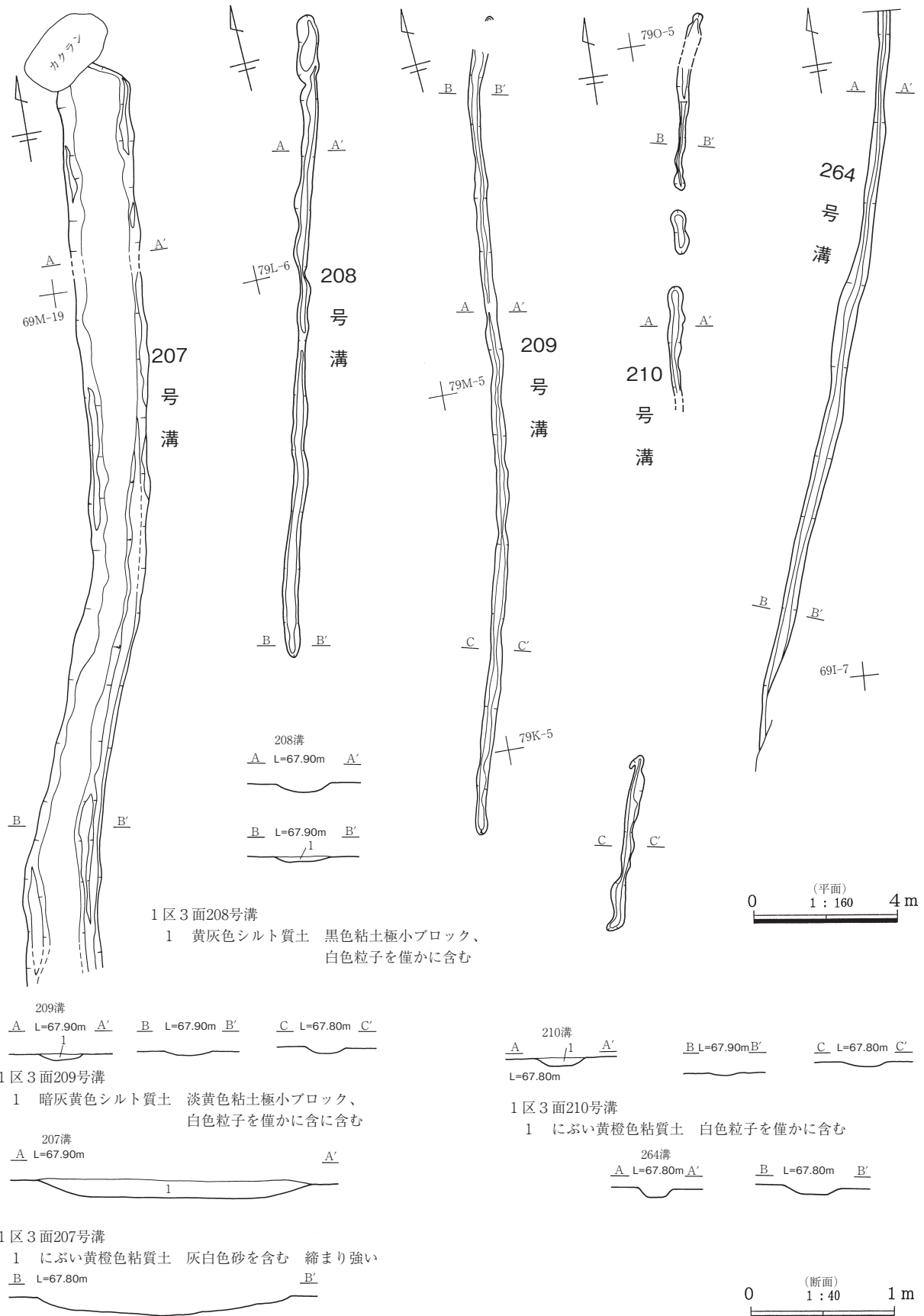
0 10 m 1:400 81

II 発掘調査の記録

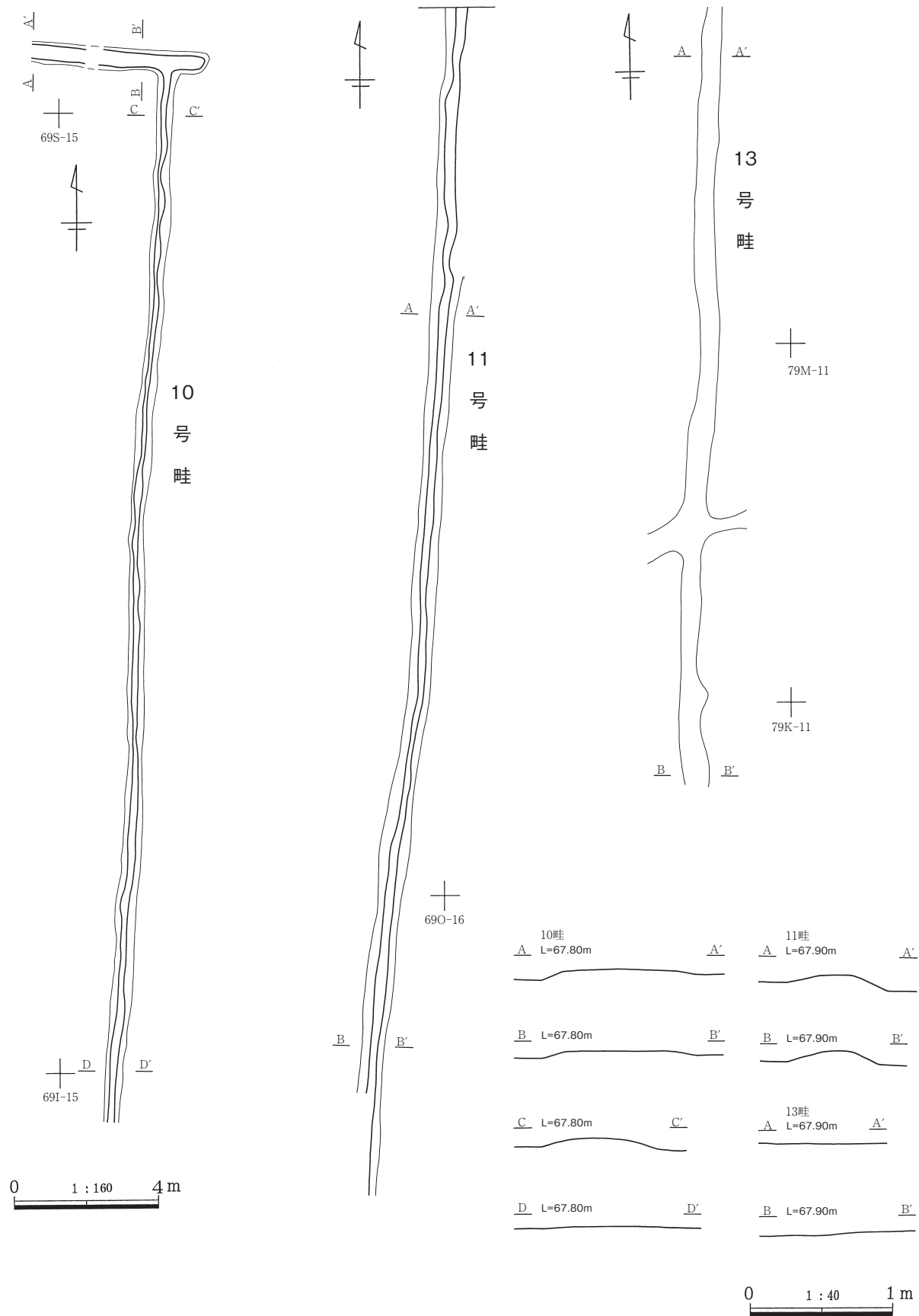


第63図 1区308号土坑、10・13・23・211・212・253号溝、12号畦と23号溝出土遺物





第64図 1区207~210・264号溝



第65図 1区10・11・13号畦

## e 1面の遺構

第1面は、表土下に検出される遺構面であり、1783（天明3）年に噴火した浅間山火山堆積物（As-A）の復旧遺構面が各調査区で確認されている。

1区の調査においても、同時期に相当する遺構面が確認された。しかし、この遺構面は、圃場整備などの影響により、残存状況はあまり良好ではない。遺構についても痕跡が認められる程度のももあり、遺失する遺構も少なくないものと考えられる。特に1区西半部は溝（9号溝）が1条確認されたのみであるが、この部分は表土移動や攪乱が第1面の遺構確認面にまで達していたことによる。

検出された遺構は、As-A復旧溝、畠、溝であるが、As-Aに埋没する遺構は確認されていない。標高は67.80m～67.90mを計測する。

## 溝（第67・68図、PL19）

2条が確認された。1号溝は規模の大きな溝で、ほぼ南北方向に走行し地割りおよび水路として機能したものとみられる。9号溝は小規模な溝で、畦畔に伴う溝と思われる。

## 1号溝（第67図、PL19）

69T-15グリッド～69H-17グリッドに位置し、やや湾曲する部分も認められるが、南北方向に走行する。幅150cm～280cm、深さ60cm、確認長は61.3mを測る。底面はほぼ平坦であるが、北から南方向へ傾斜する傾向がある。砂層やシルト質層の堆積も認められ、水路として機能していたものと考えられる。発掘調査時も湧水があり、常時排水を必要とした。

また、規模も大きく、走行も南北方向を示すことから地割りをあらわす溝とも考えられる。1号溝走行部分は、第3面および第4面においても水田畦畔や溝が存在し、位置を共有するようにみえる。第5面では明確ではないが、第3面（中世）以降に遡る地割りとしての溝である可能性があろう。

## 9号溝（第68図、PL19）

79I-11グリッド～79I-9グリッドに位置する。北西から南東方向に直線的に走行し、東端部は遺失す

るが、西端部は2区へ延長する。第3面および第4面では、この位置に水田畦畔および溝が走行し、第1面にあっても水田区画が踏襲されているものといえる。溝のみの検出であるが、溝に沿って水田畦畔が存在したとみられる。溝幅60cm、深さ14cm、確認長14.8mを測る。

## As-A復旧溝（第68図、PL26）

耕地の復旧を目的とするAs-A埋設遺構としての復旧溝が2ヵ所確認された。いずれも残存状況は不良で、部分的な残存にとどまる。

## 11号復旧溝（第68図、PL26）

69S-13グリッド～69S-15グリッドに位置する。北端部のみ残存し、南側は攪乱により遺失する。西辺側は1号溝に並列し、東西幅は4.2mを測る。

## 22号復旧溝（第68図、PL26）

69J-19グリッド～69M-19グリッドに位置する。南北方向に掘削される。残存状況は不良で、形状が把握できる程度であった。

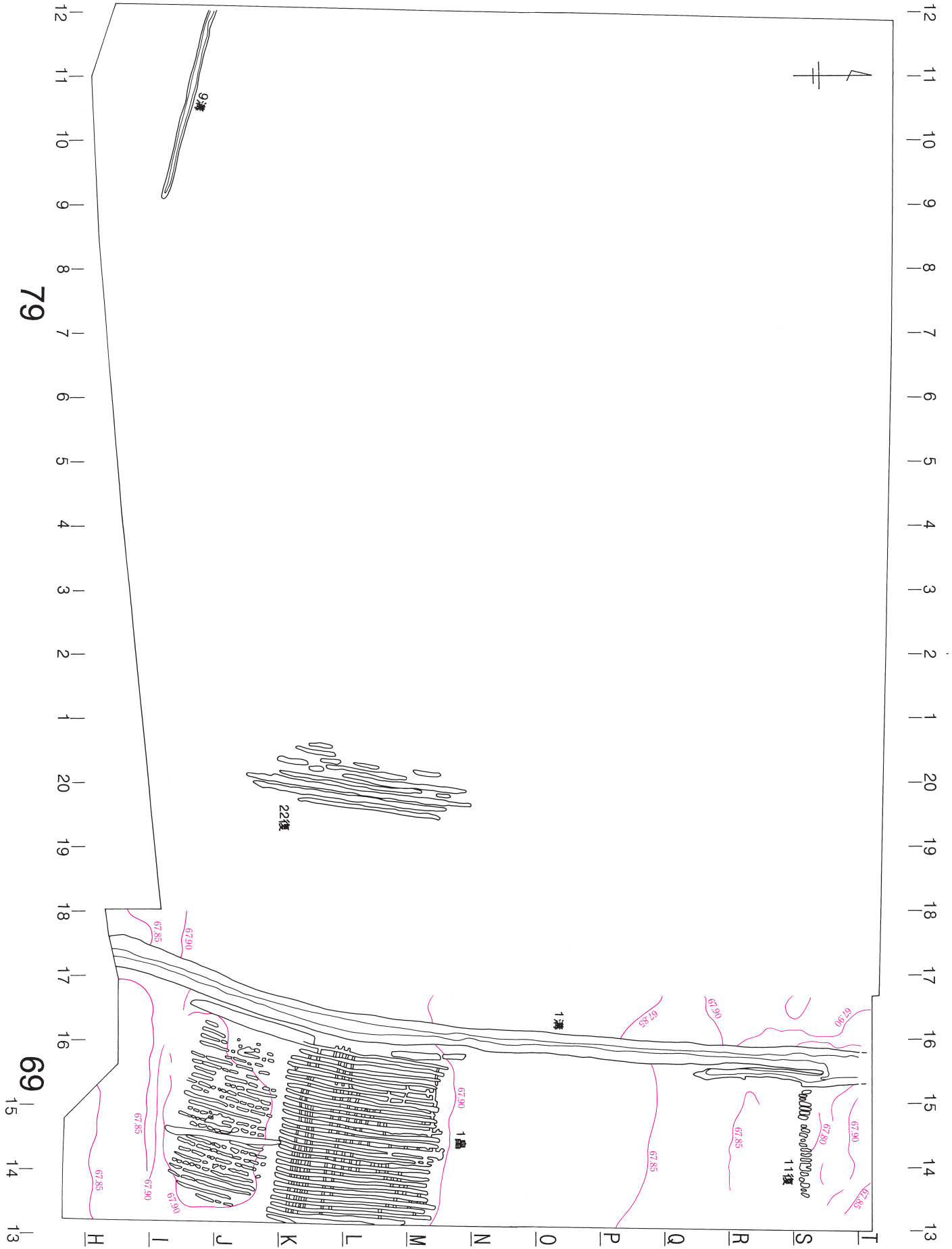
## 1号畠（第69・70図、PL26）

1号溝東側の69Iライン～69Mライン間に位置する。シルト質土を埋没土とするさく状遺構が検出され、1号畠とした。さく方向は1号溝に平行し、南北方向を示す。埋没土中にはAs-Aの混入はなく、検出状況から、同火山灰降下以後の畠であろうと考えられる。西辺側は1号溝に沿ってやや湾曲し、同時期の遺構といえる。さく幅は30cm～40cm、深さ10cm、面積は約290㎡前後を測る。

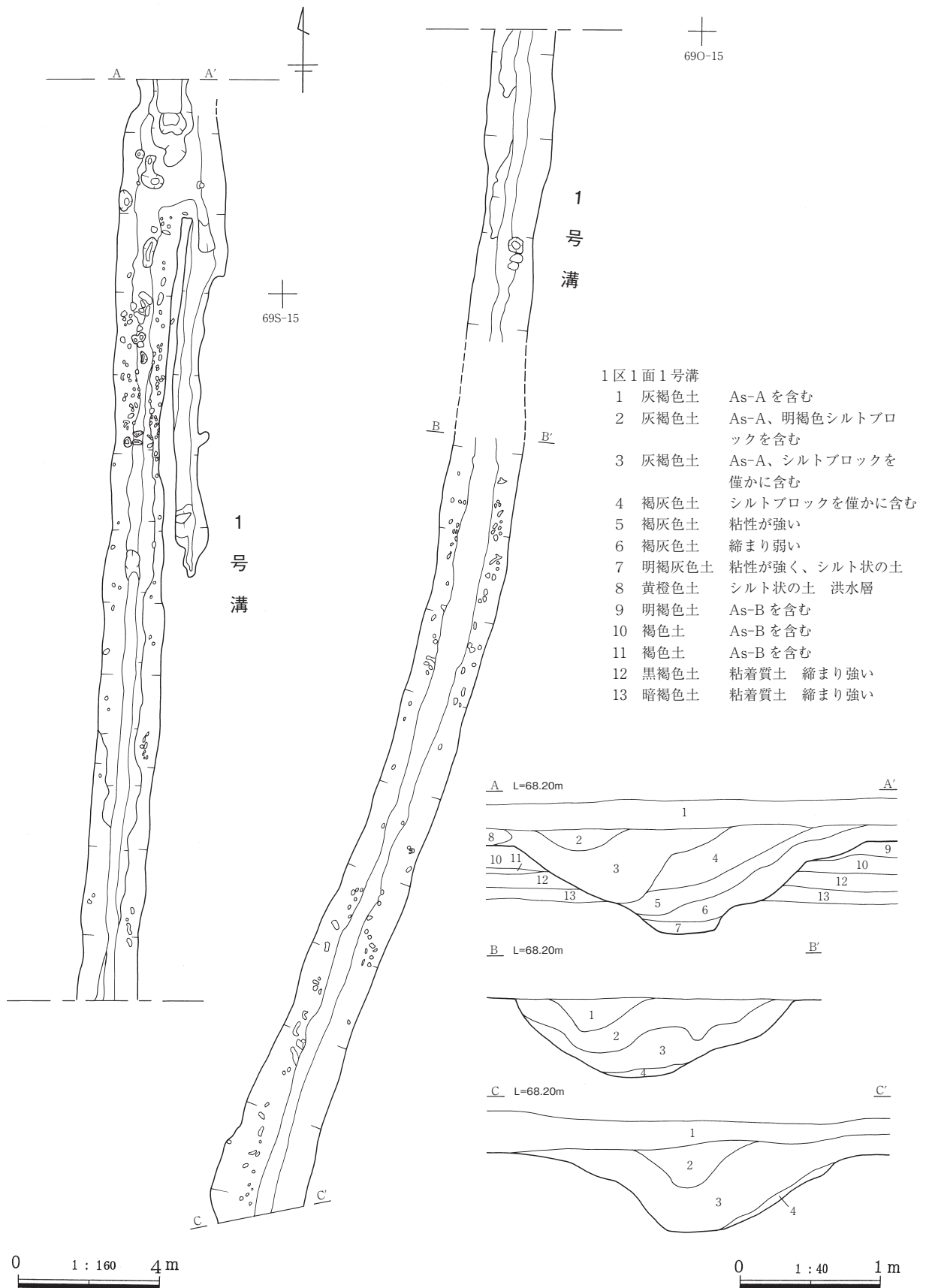
なお、南北方向のさく列の畝間に東西方向のさく列が検出されている。時期的にはより古いものであり、継続的に畠として利用されていることがわかる。

As-A降下以降は、1号溝を境界として東側が畠作、西側が水田として土地利用されていたものとみられる。

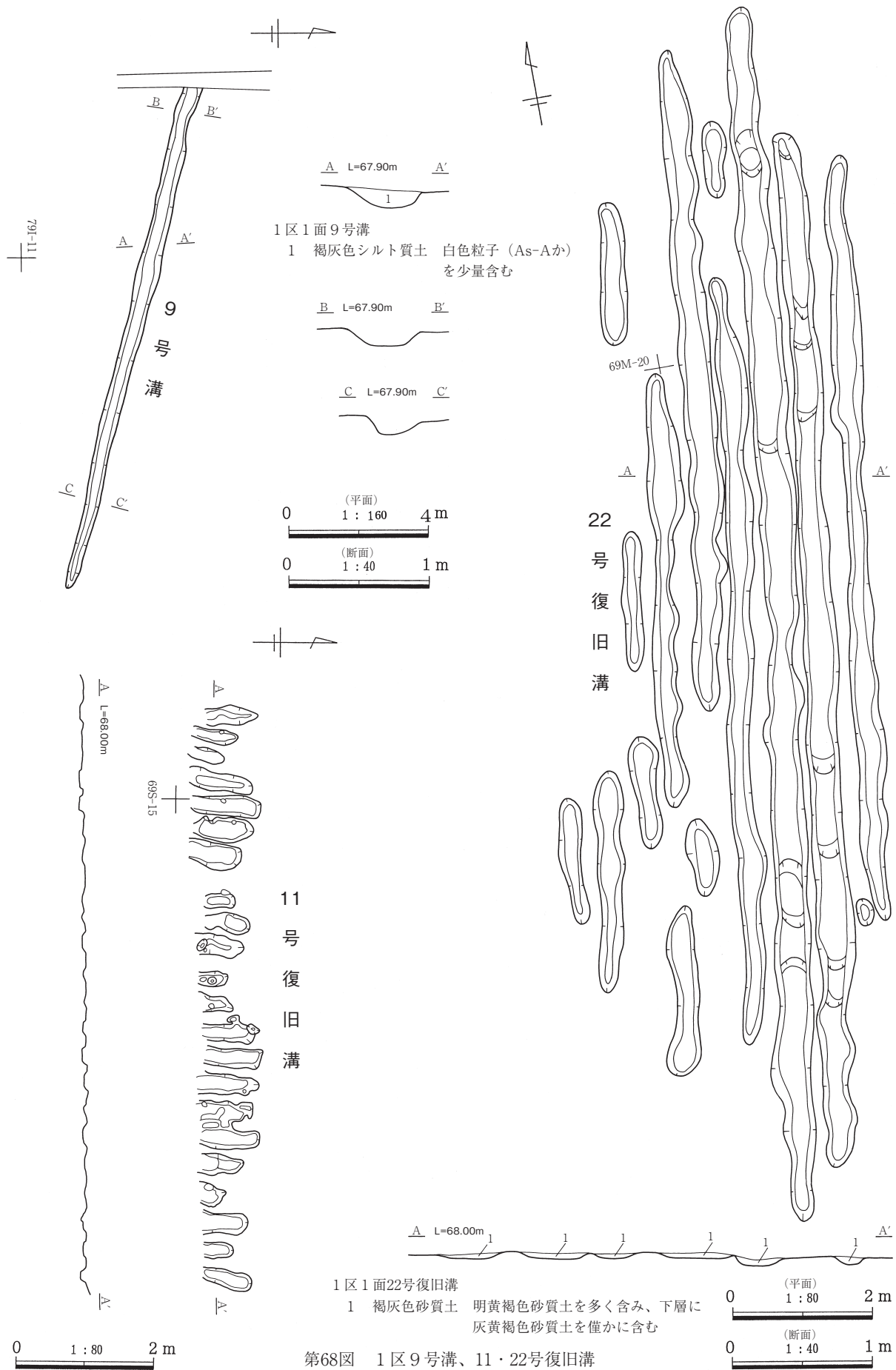
H I J K L M N O P Q R S T

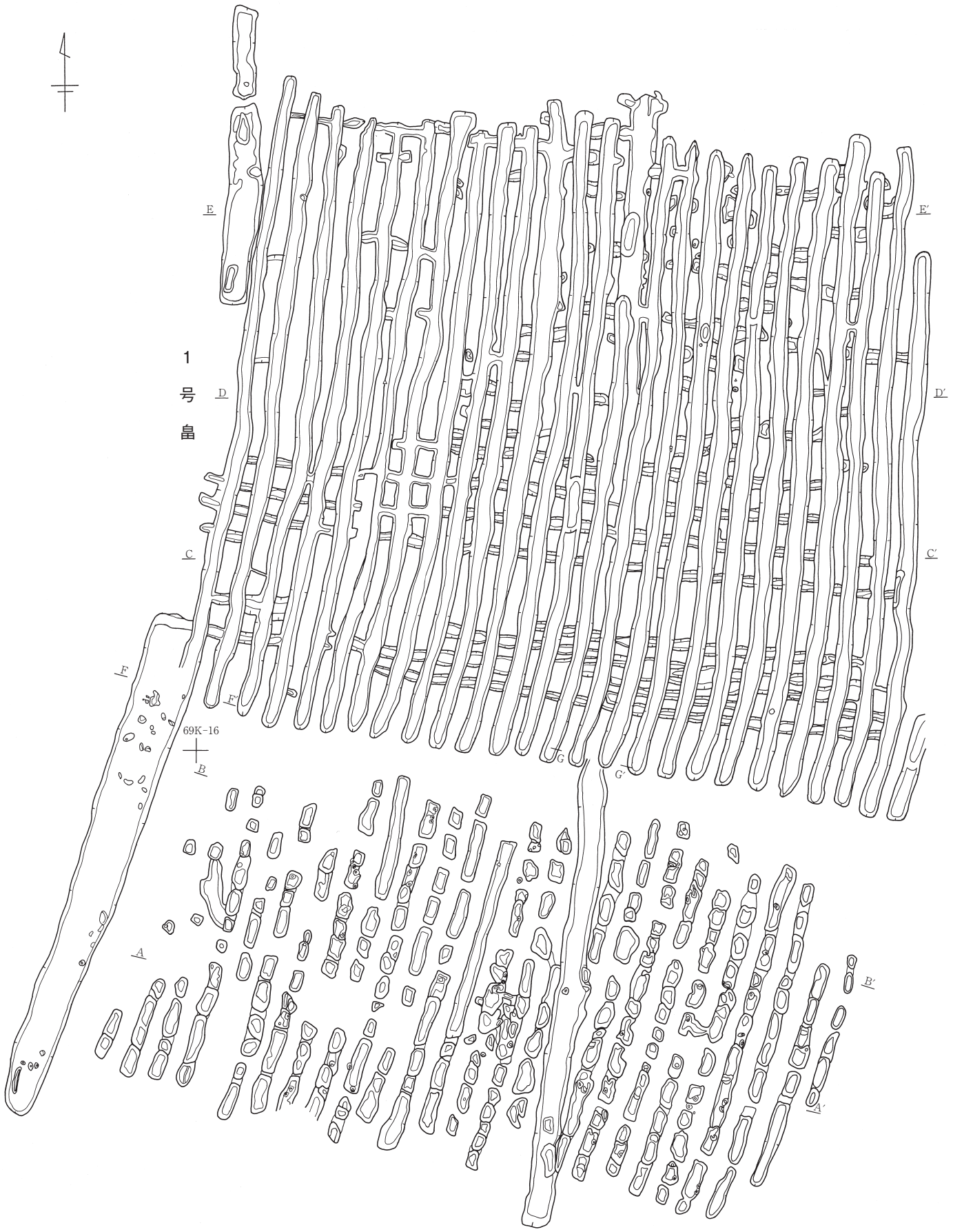


第66図 1区第1面全体図



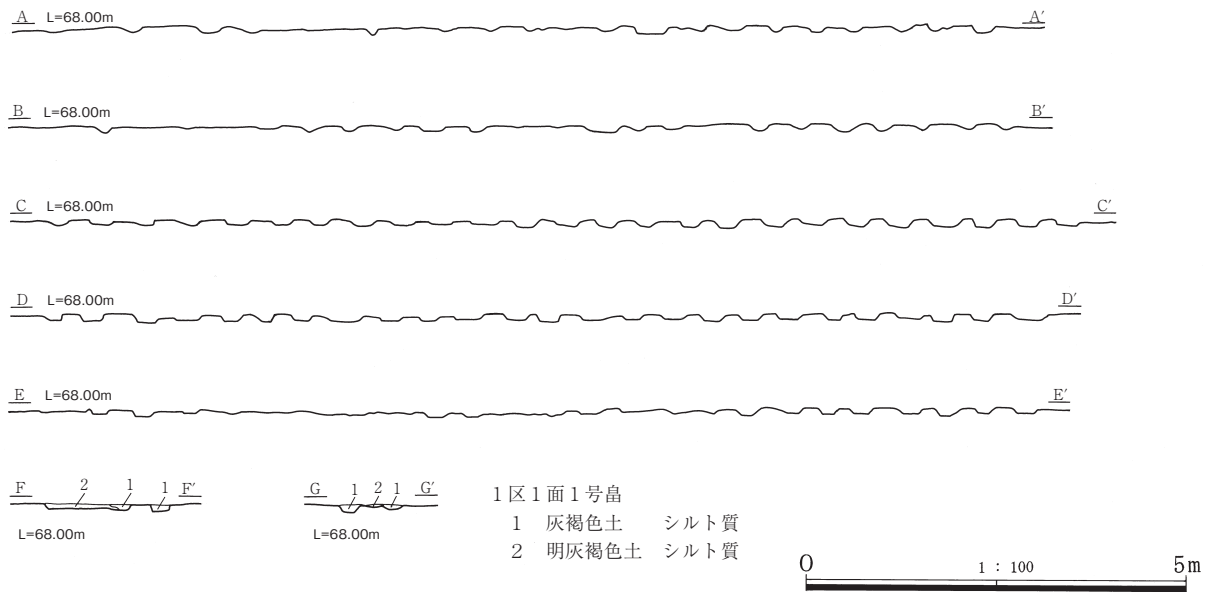
第67図 1区1号溝





第69図 1区1号島

0 1 : 100 5m



第70図 1区1号畠土層断面図

f グリッド出土遺物（第71図～第85図）

遺構確認調査等に伴って出土した遺物類であり、遺構に伴わないことからグリッド出土遺物として一括報告する。なお、詳細については検討が及んでいないため、図化報告にとどまる。

出土遺物の時期でみると、弥生土器および古墳時代前期が主体を占める。

弥生時代については、調査によって遺構の存在は明らかとなっていないが、比較的多くの点数が得られている。図示した資料が出土土器のほとんどである。古墳時代については住居等の遺構も検出されていることから、遺構伴出遺物も含まれるのだろう。

なお、縄文時代の土器については明確ではない。第71図に示すように石器類が少数出土するが、土器についてはほとんど出土していない。第76図286～305について、縄文時代前期の可能性が高いが、器形・施文等に検討を要する資料となる。290は深鉢であり、波状口縁を呈する可能性もある。口縁部には不明瞭ながら縄文帯とし、以下櫛歯状工具による文様が施される。なお、拓本図下端部の胴下部では文様は終了する。

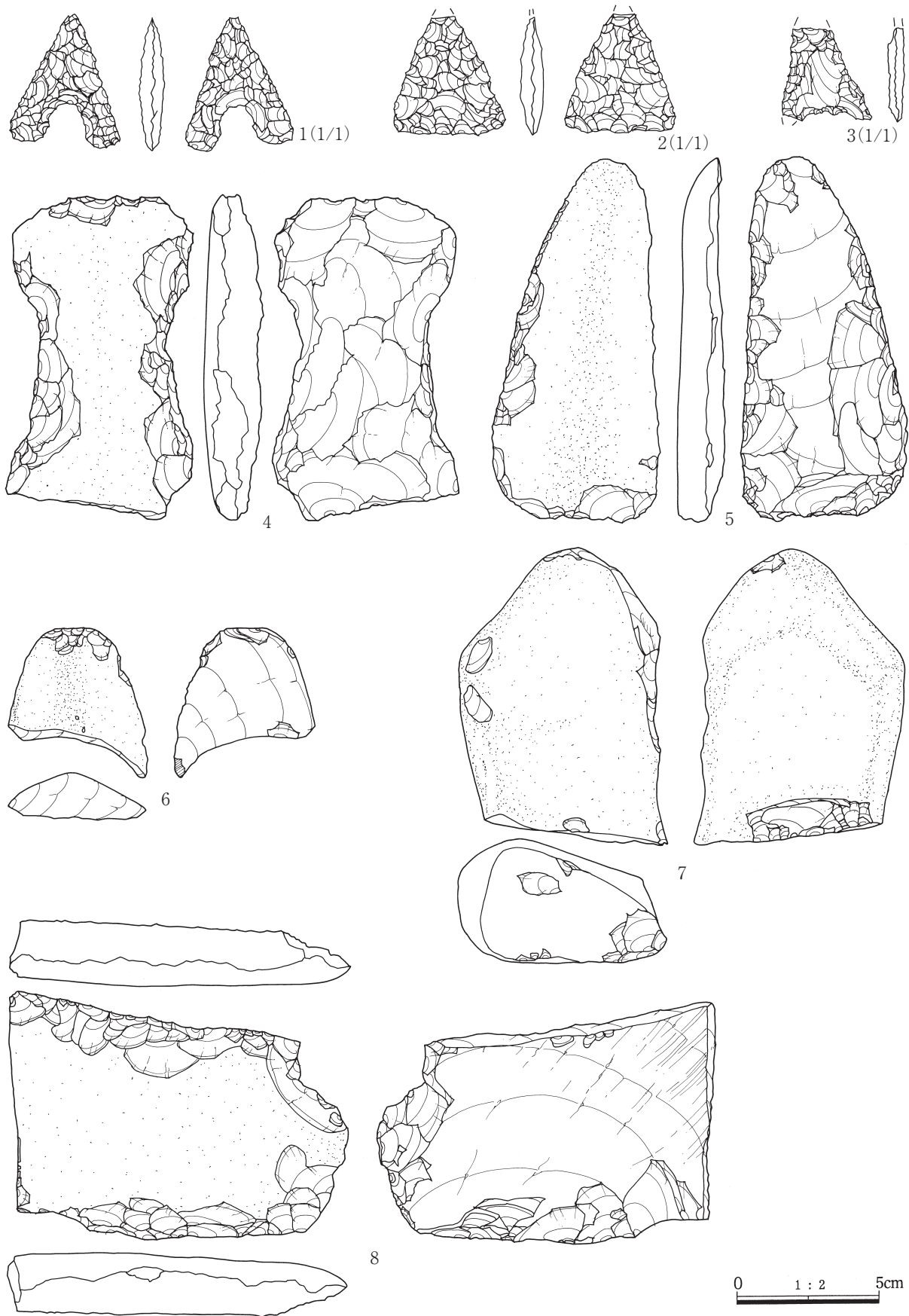
第72・73図は、弥生時代中期の土器片を一括した。

これらの中には、12南御山式、34～55は御新田段階の資料が含まれる。弥生期に関連する土器片は全て取り上げ、掲載している。形式的検討を加えるべき資料であるが、報告にあたっては資料提示にとどまる。

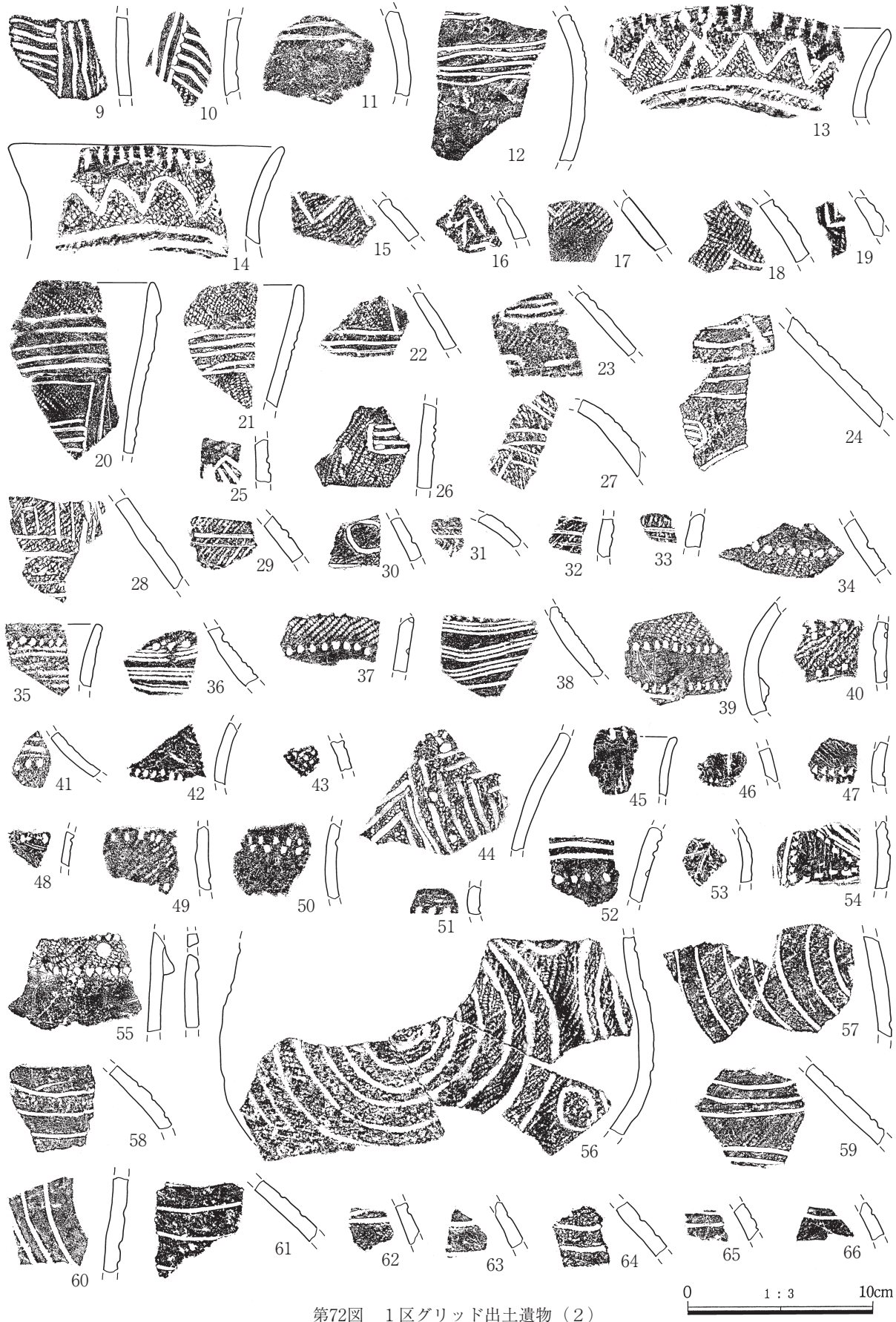
第77図、第78図323～329・332は、S字状口縁台付甕、第78図330・331・333～第80図346は甕、台付甕、347～356は壺、357～368は柑、370～375は高坏、376～384は器台、第82図385～391、393、394は土師器坏、392は須恵器坏、395は土師器鉢、396～416は手捏ね土器、417・418は管玉、419～426は白玉、427は丸靱、428・429は紡錘車、第83図は甕、第84図437～446は小型甕で、古墳時代の遺物類である。

第85図447・448はかわらけ、449～452は土錘、453・454・457・458は棒状礫、455は扁平礫、456は円形礫、459は礫製品、460～467は古銭類、468は天保通宝。

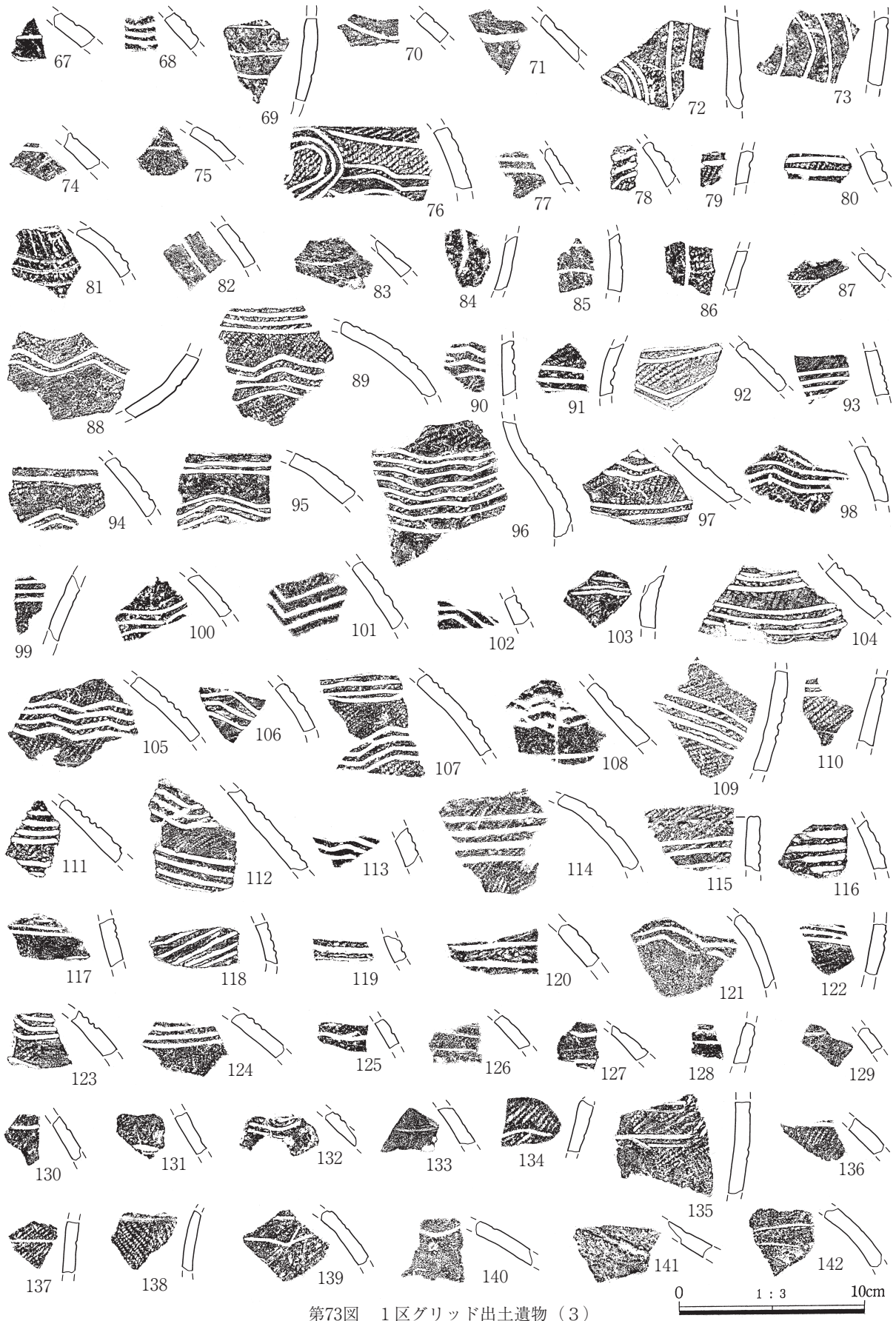




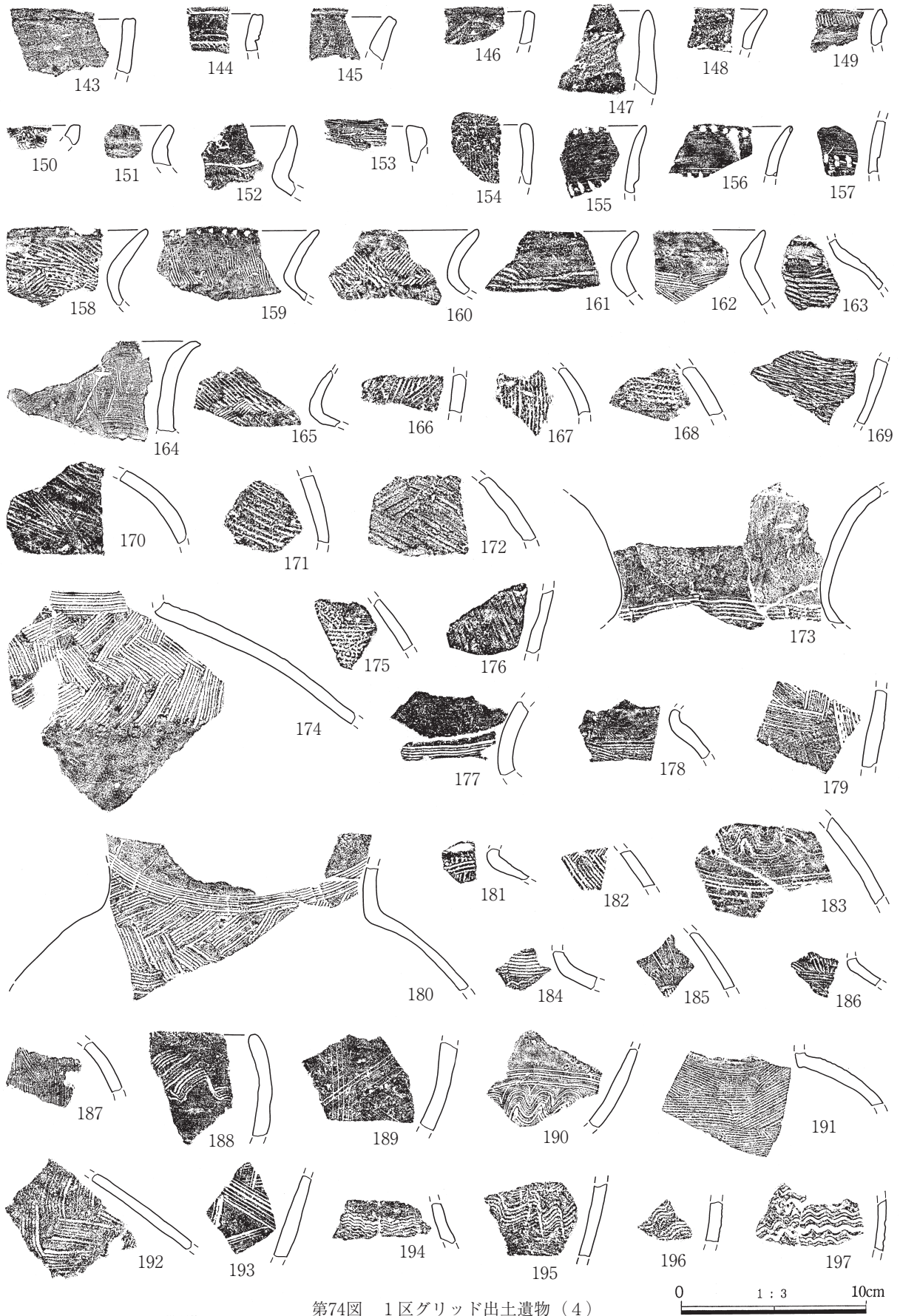
第71図 1区グリッド出土遺物(1)



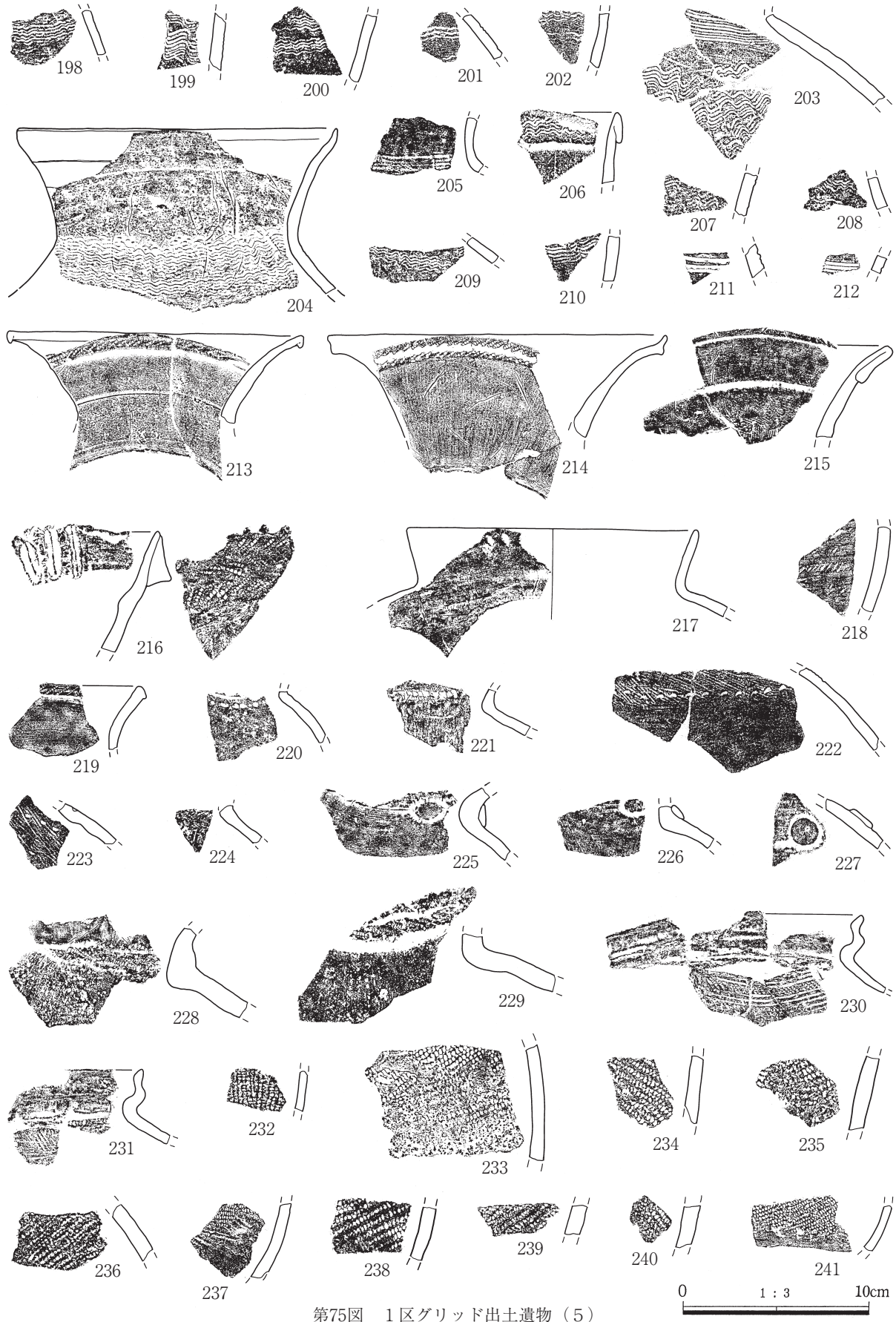
第72図 1区グリッド出土遺物(2)



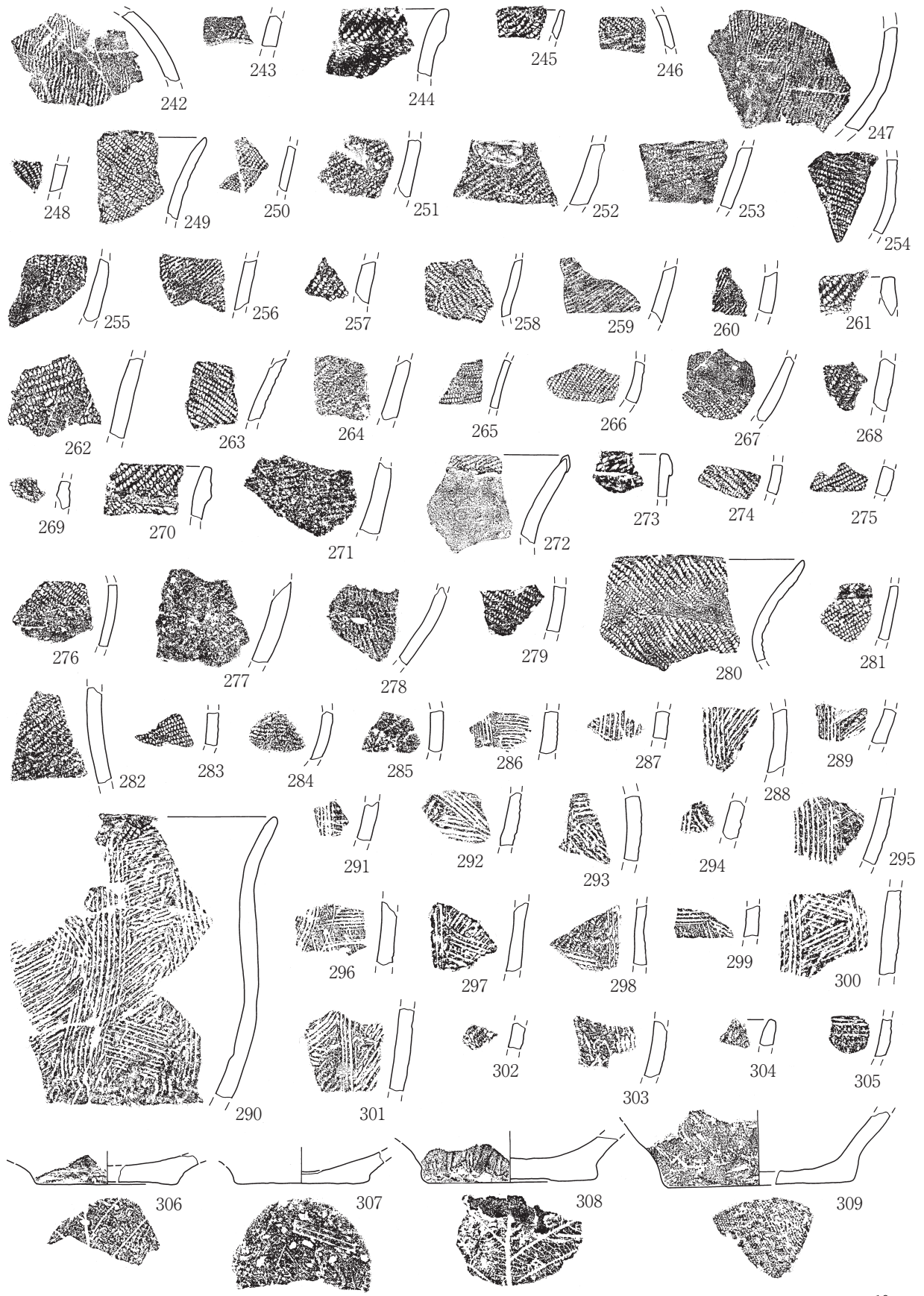
第73図 1区グリッド出土遺物(3)



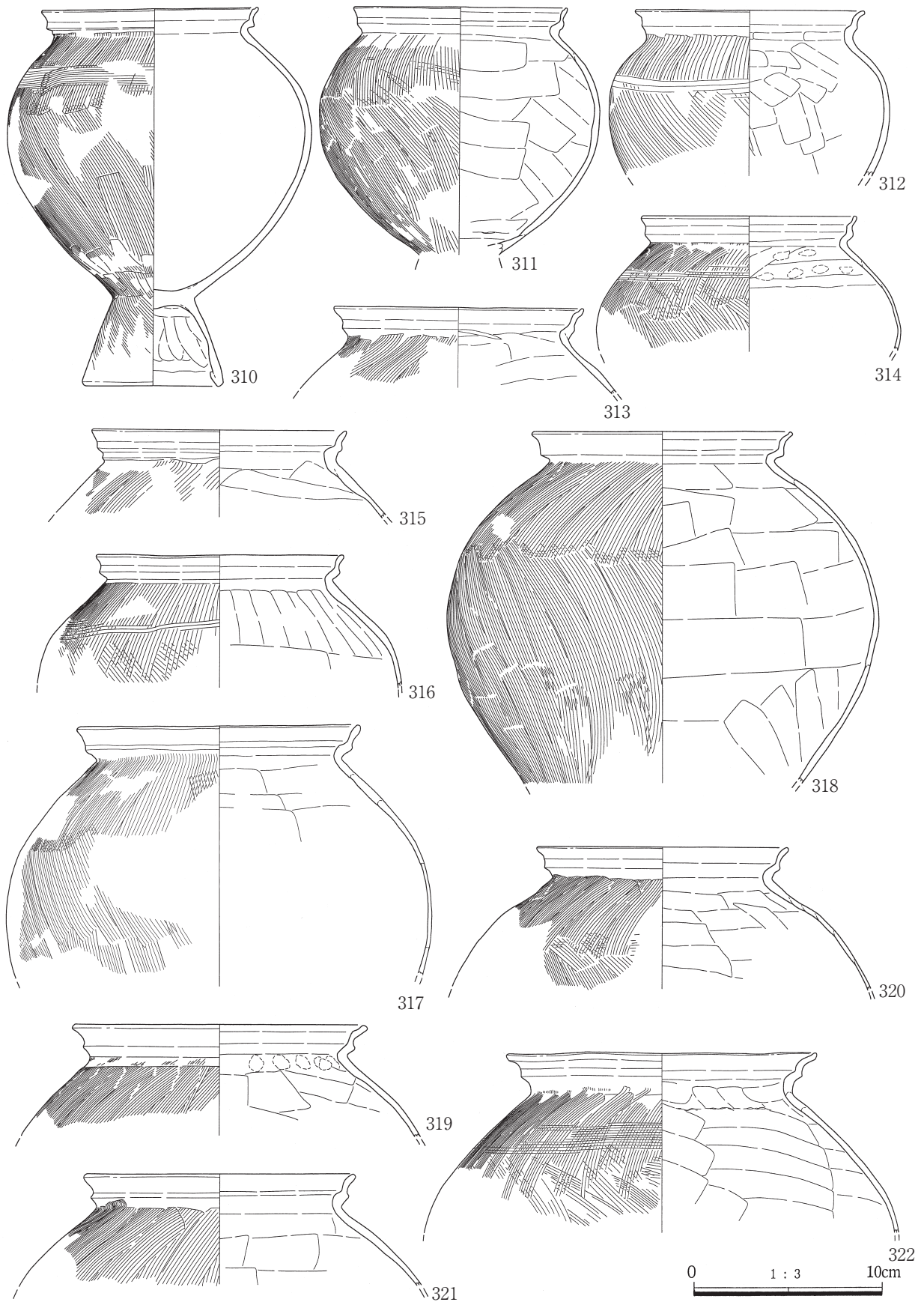
第74図 1区グリッド出土遺物(4)



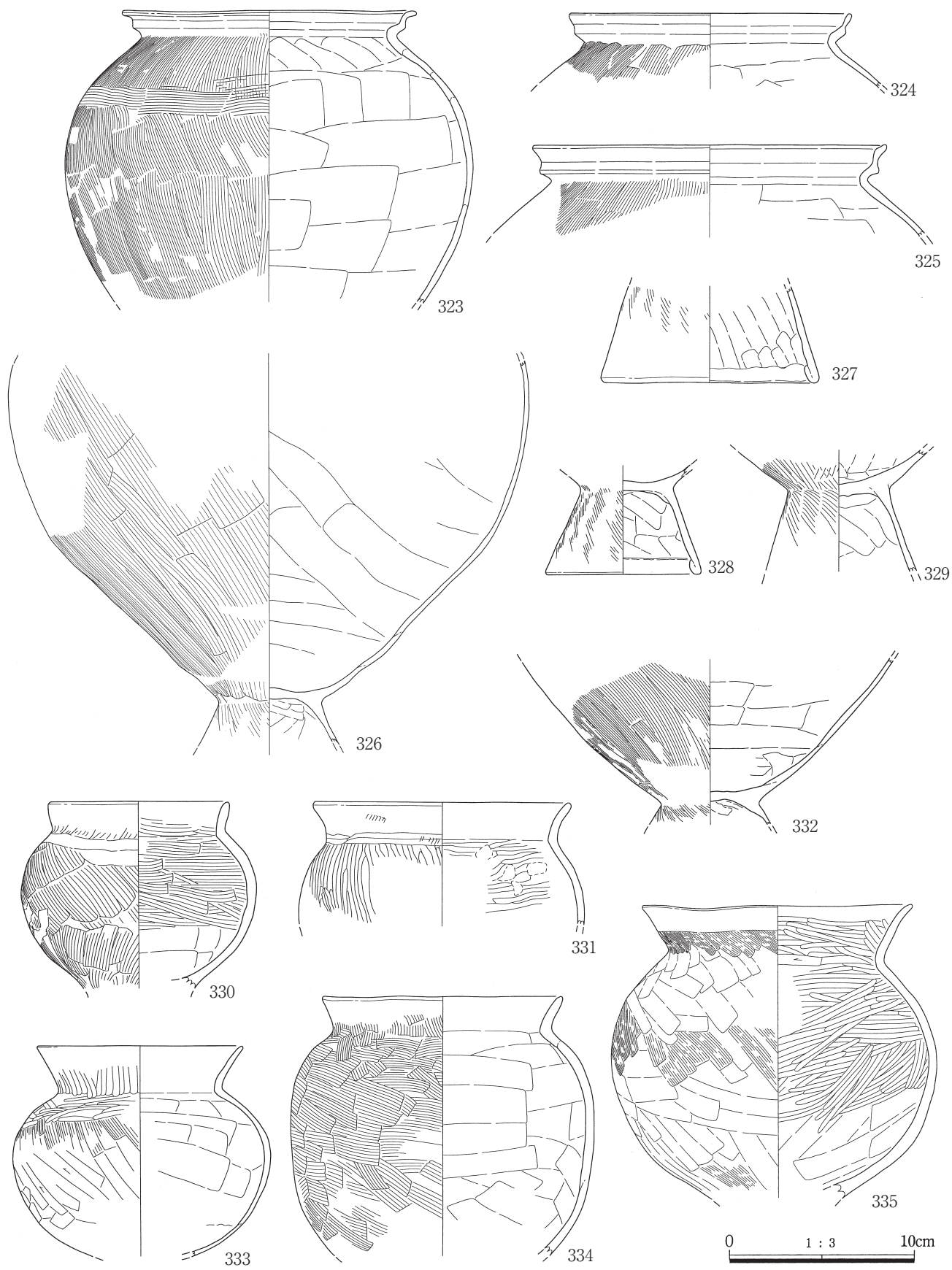
第75図 1区グリッド出土遺物(5)



第76図 1区グリッド出土遺物(6)

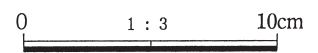
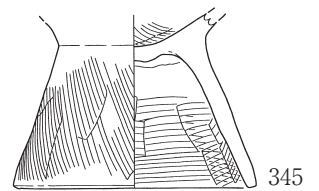
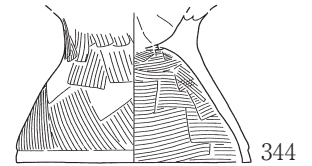
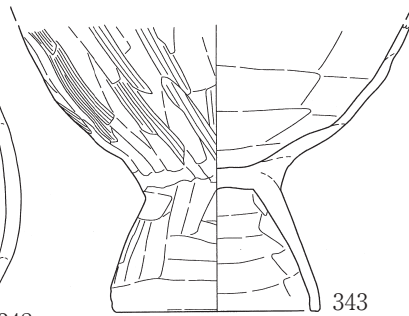
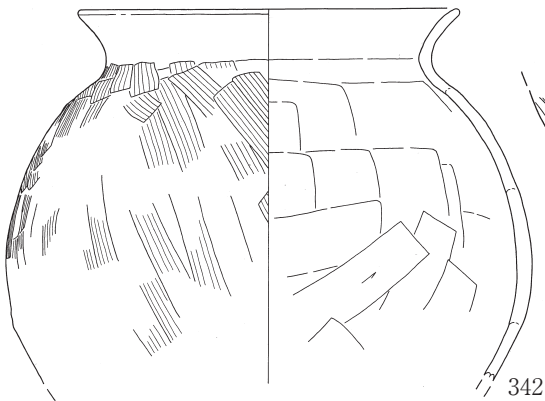
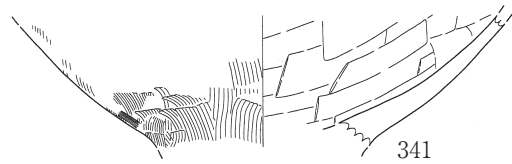
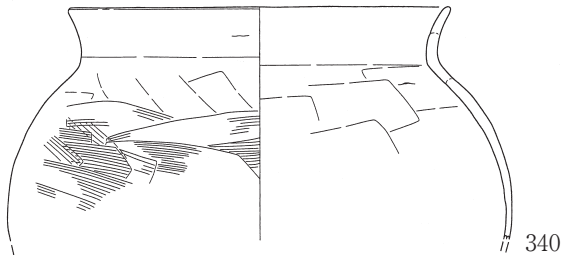
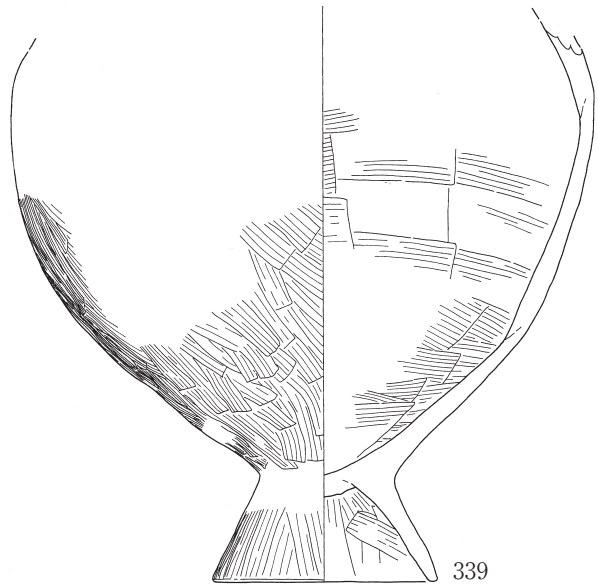
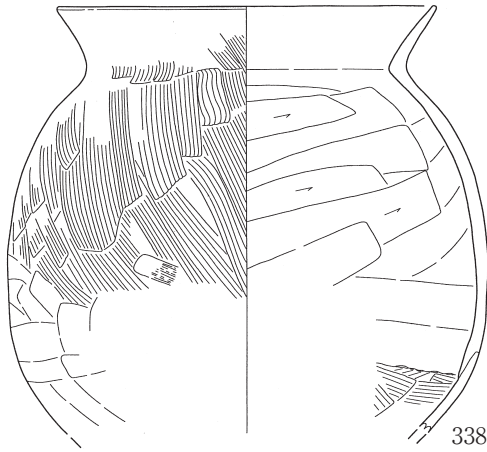
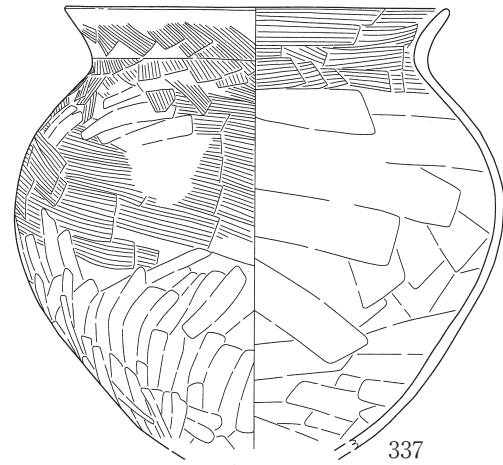
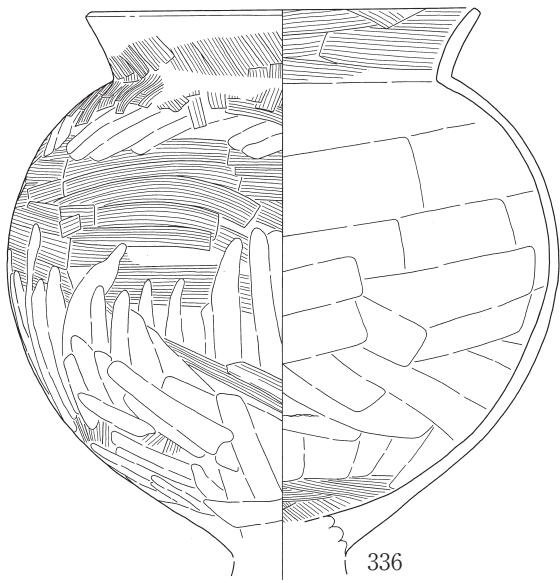


第77図 1区グリッド出土遺物(7)

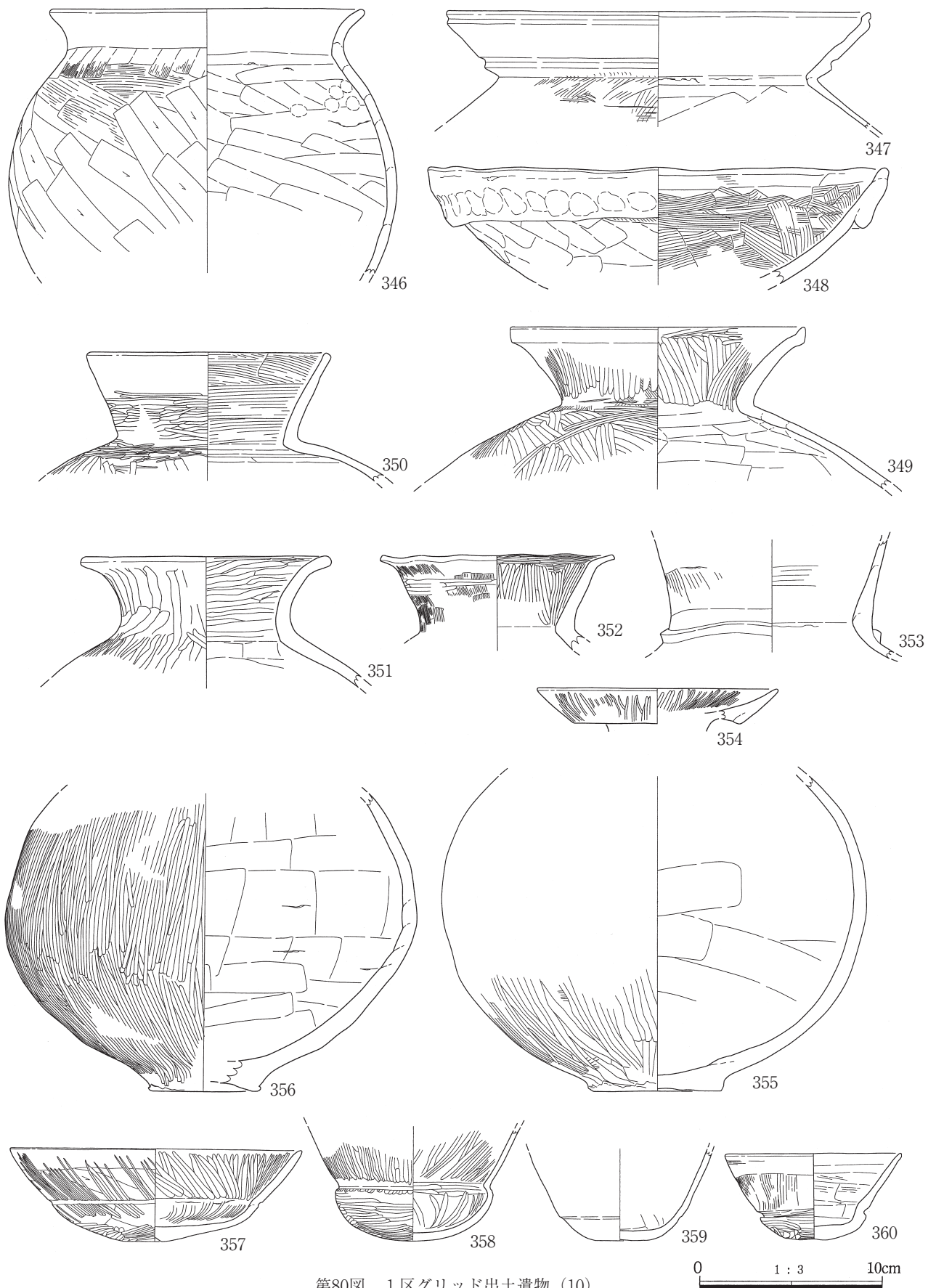


第78図 1区グリッド出土遺物(8)

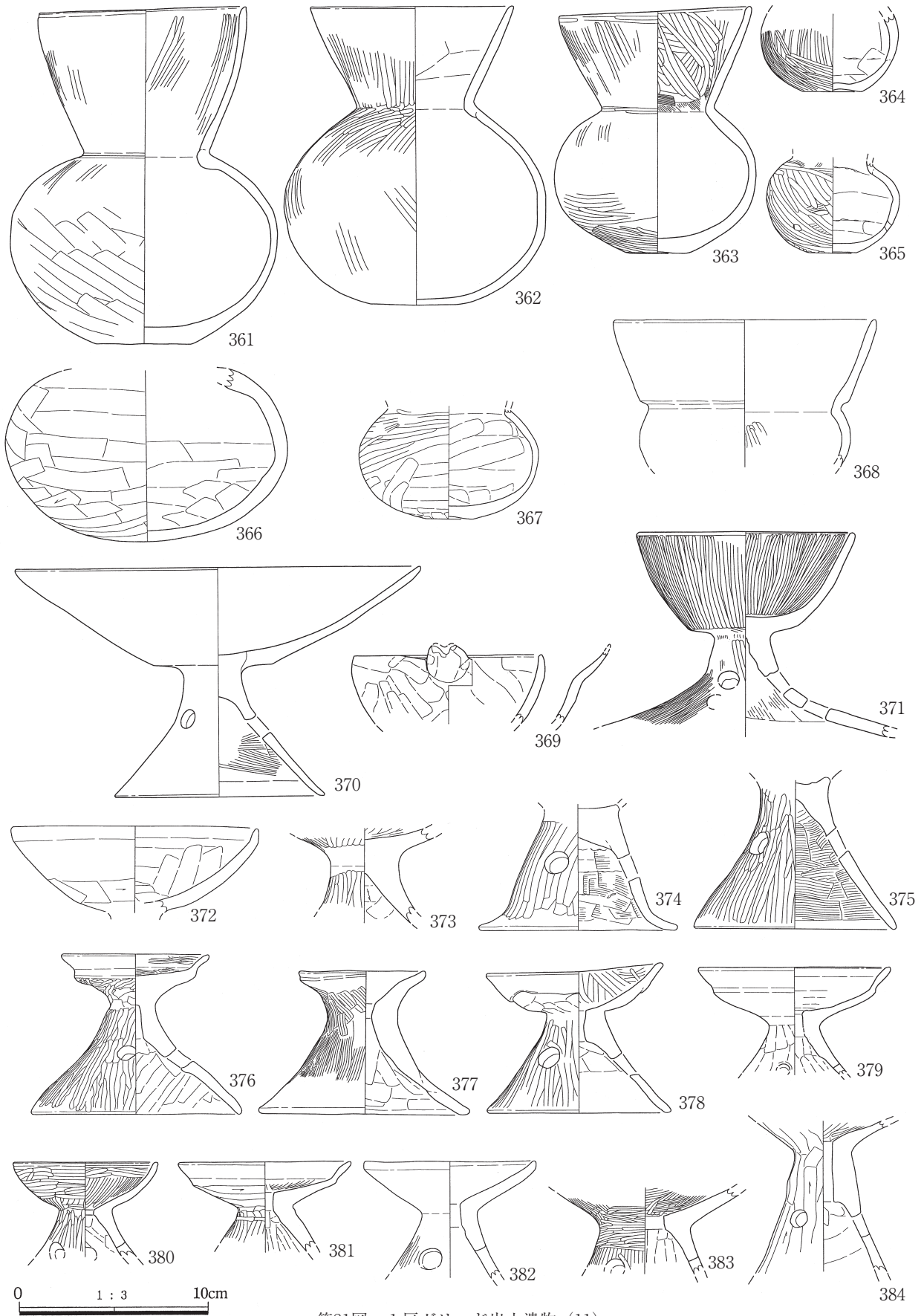




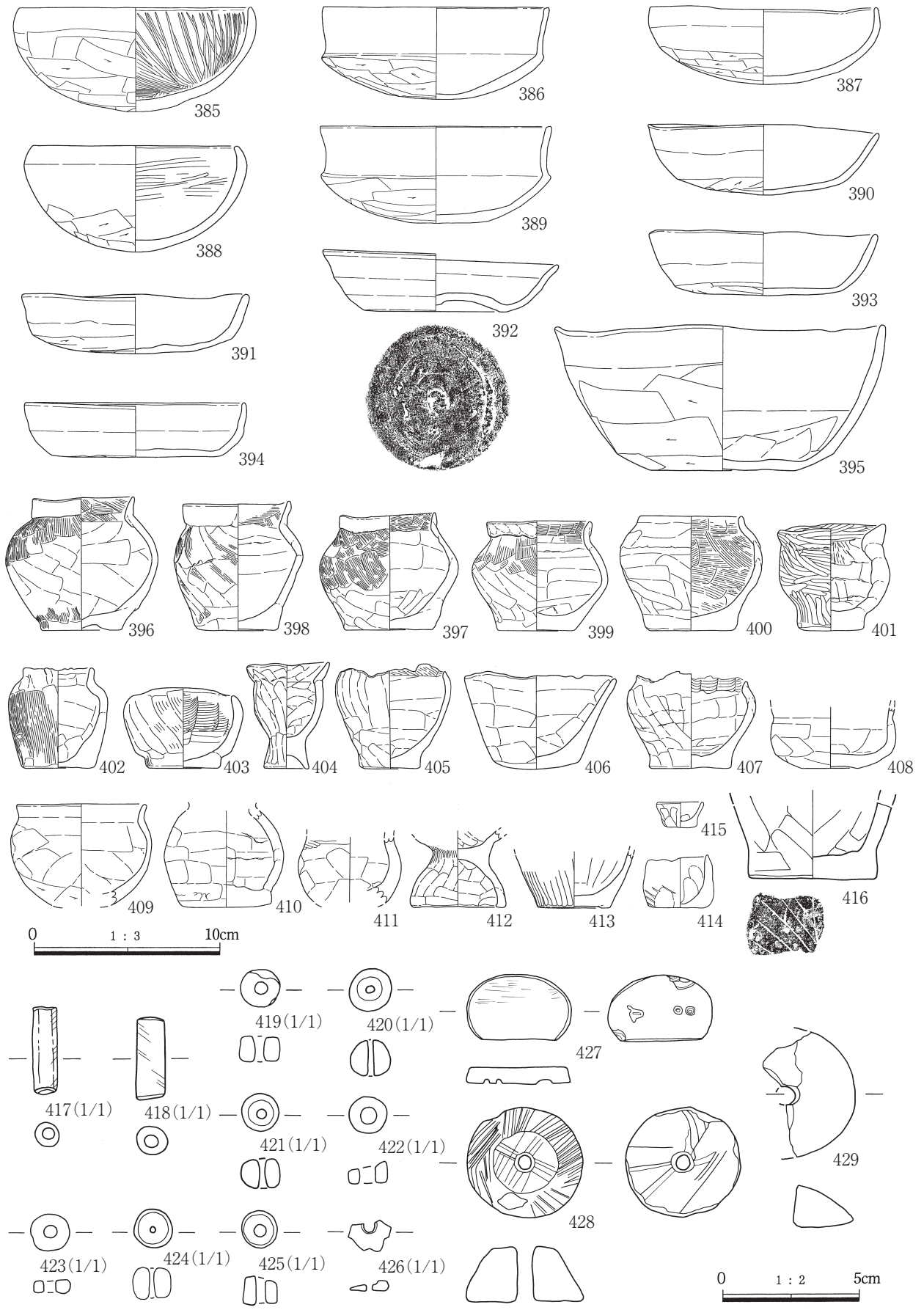
第79図 1区グリッド出土遺物(9)



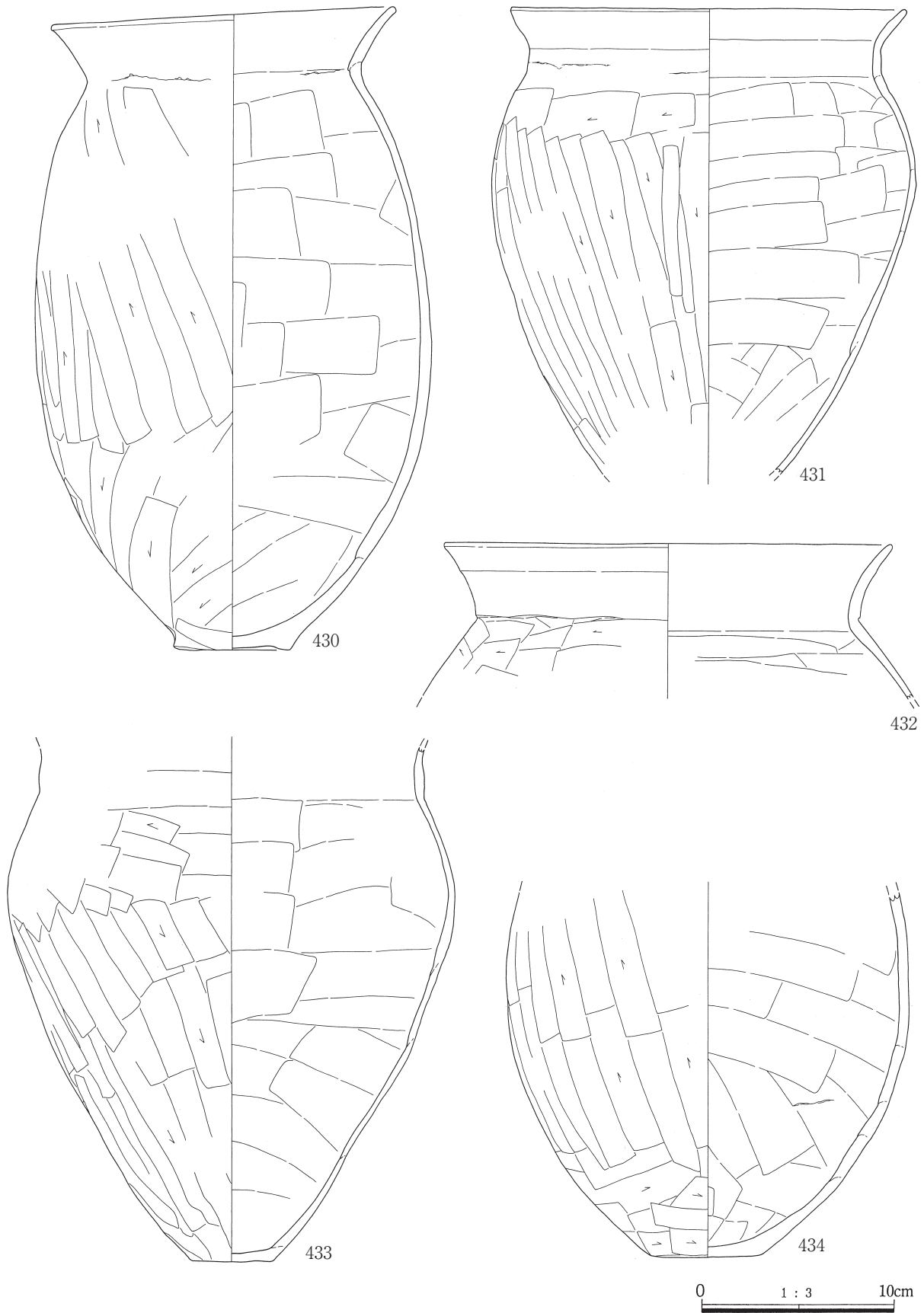
第80図 1区グリッド出土遺物 (10)



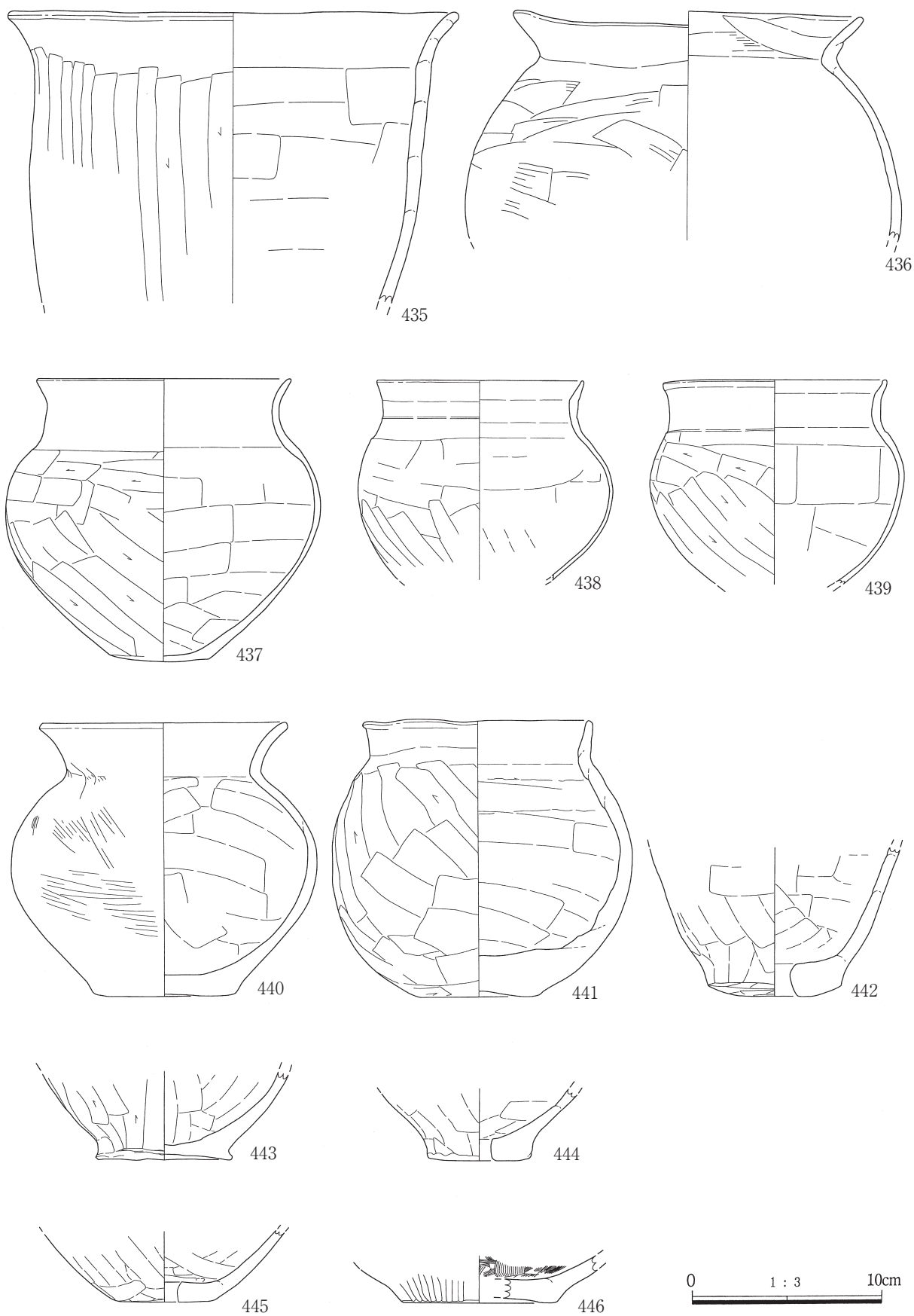
第81図 1区グリッド出土遺物 (11)



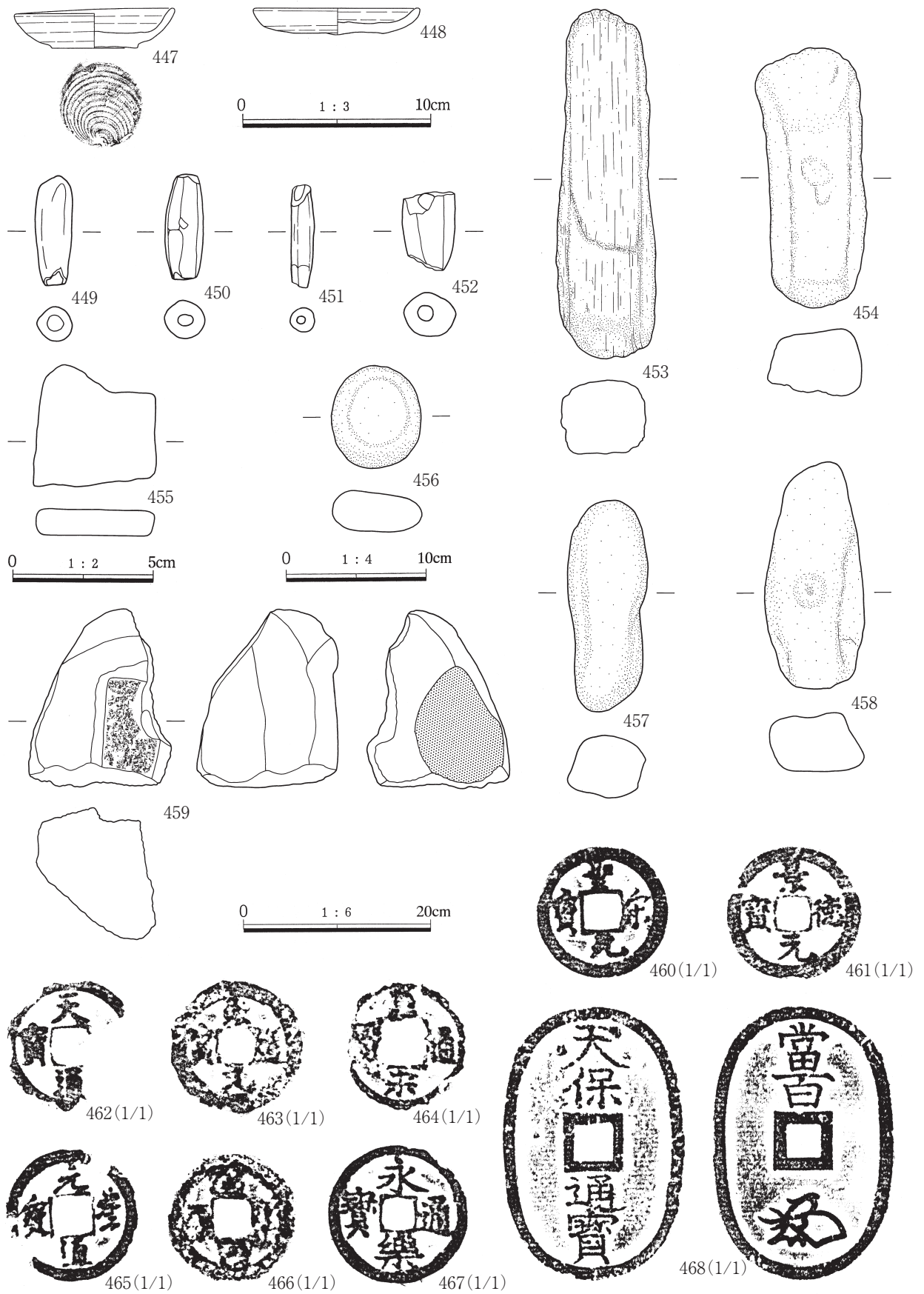
第82図 1区グリッド出土遺物 (12)



第83図 1区グリッド出土遺物 (13)



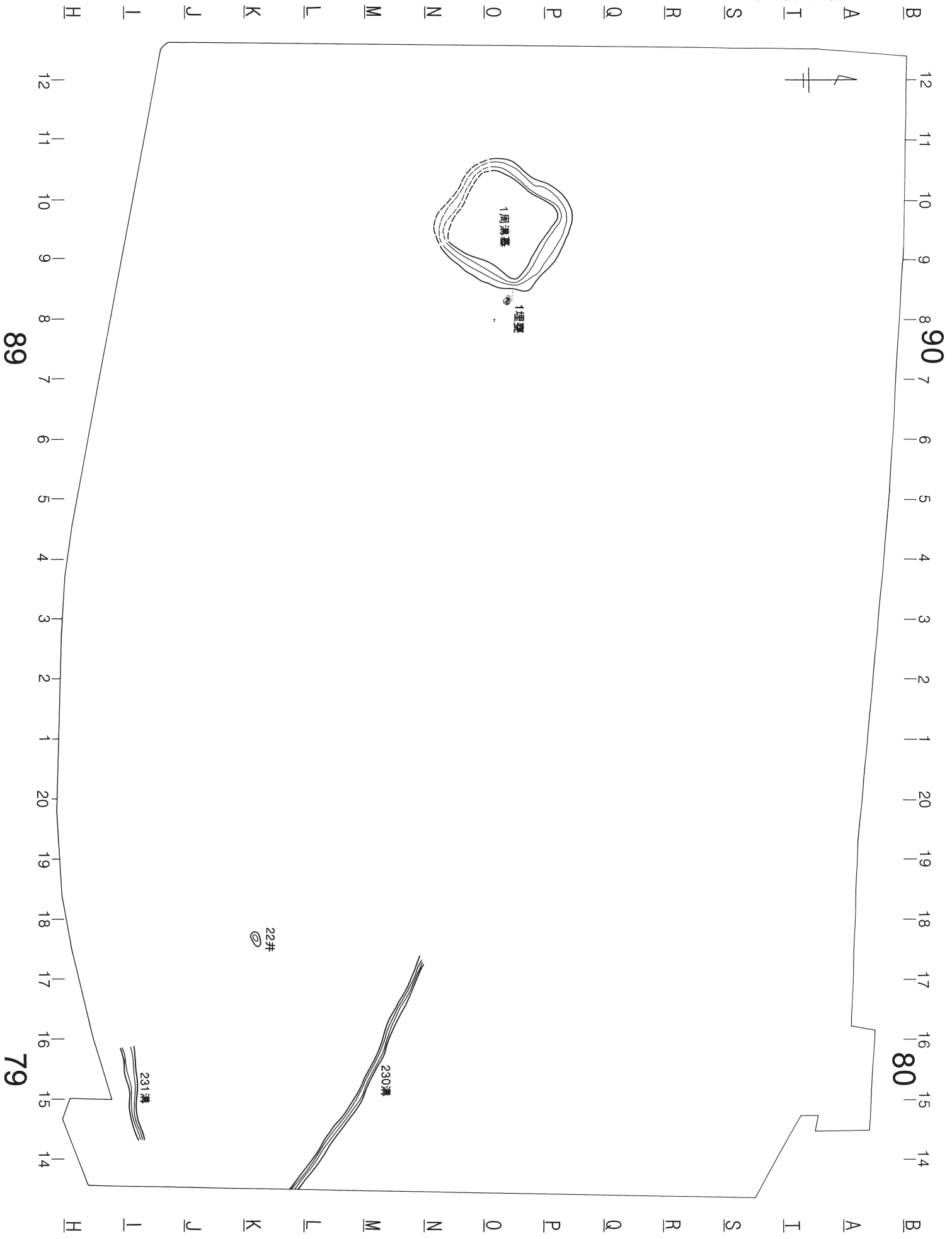
第84図 1区グリッド出土遺物 (14)



第85図 1区グリッド出土遺物 (15)

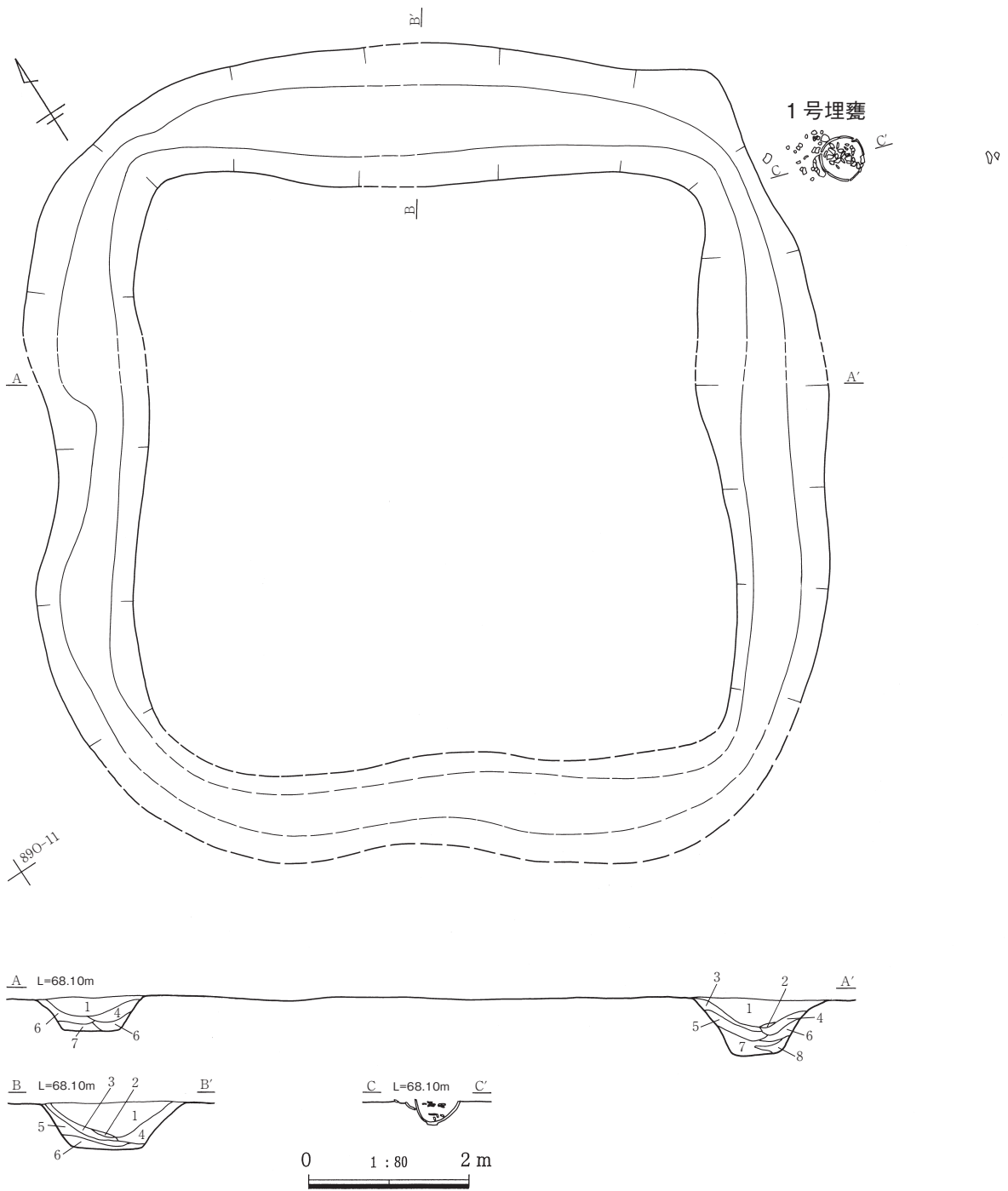
## 2 区





第86図 2区第6面全体図

0 1 : 400 10 m



2区6面1号方形周溝墓

- |   |       |                       |       |
|---|-------|-----------------------|-------|
| 1 | 黒色土   | As-Cを多く含む             | 軟い    |
| 2 | As-C  | 1層の下に堆積               |       |
| 3 | 暗褐色土  | As-C、黄色粒を多く含む         | 軟い    |
| 4 | 黒褐色土  | As-Cを僅かに含む            | 軟い    |
| 5 | 黄褐色土  | ローム粒、褐色土を多く含む         | 軟い    |
| 6 | 黒褐色土  | 白色の火山灰を僅かに含む          | 軟い    |
| 7 | 明黄褐色土 | ローム、黒褐色土を多く含む         | 硬く締まる |
| 8 | 明黄褐色土 | ロームブロック、黒褐色土をブロック状に含む |       |

第87図 2区1号方形周溝墓

### 3 2区の調査内容

#### a 6面の遺構と遺物

2区における第6面では、方形周溝墓1基、井戸1基、溝2条が確認された。これらの遺構は、第5面の調査面の下位で認められた遺構であり、基本的にAs-B埋没水田より以前の時期のものといえる。

2区中央部には遺構が認められていないが、230号溝や231号溝の端部が遺失していることをみると、攪乱もしくは削平により、遺構が失われている可能性が高いものといえる。

また、この調査面からはグリッド出土遺物として報告する古墳時代前期、弥生時代、縄文時代の土器類や石器類も混在している。

#### 1号方形周溝墓（第87図、PL67）

89N-8グリッドに位置する。北側周溝部は中世遺構により遺失し、主体部も削平されているため痕跡も認められていない。

この地点は、後代に繰り返し遺構面が形成される

ことから不明瞭であるが、微高地の縁辺に相当する部分である。

方形周溝墓の平面形は、隅丸方形を呈しおよそ10mの軸長規模をもつ。

周溝は南側溝部が遺失するが、検出部分では全周し、隅丸方形形状を示す。溝幅は最大170cm、最小80cmとやや不規則であるが、底面はほぼ平坦面を形成する。溝深は50cmから70cmを計測し、逆梯形断面を呈する。溝内からの遺物出土は確認されていない。

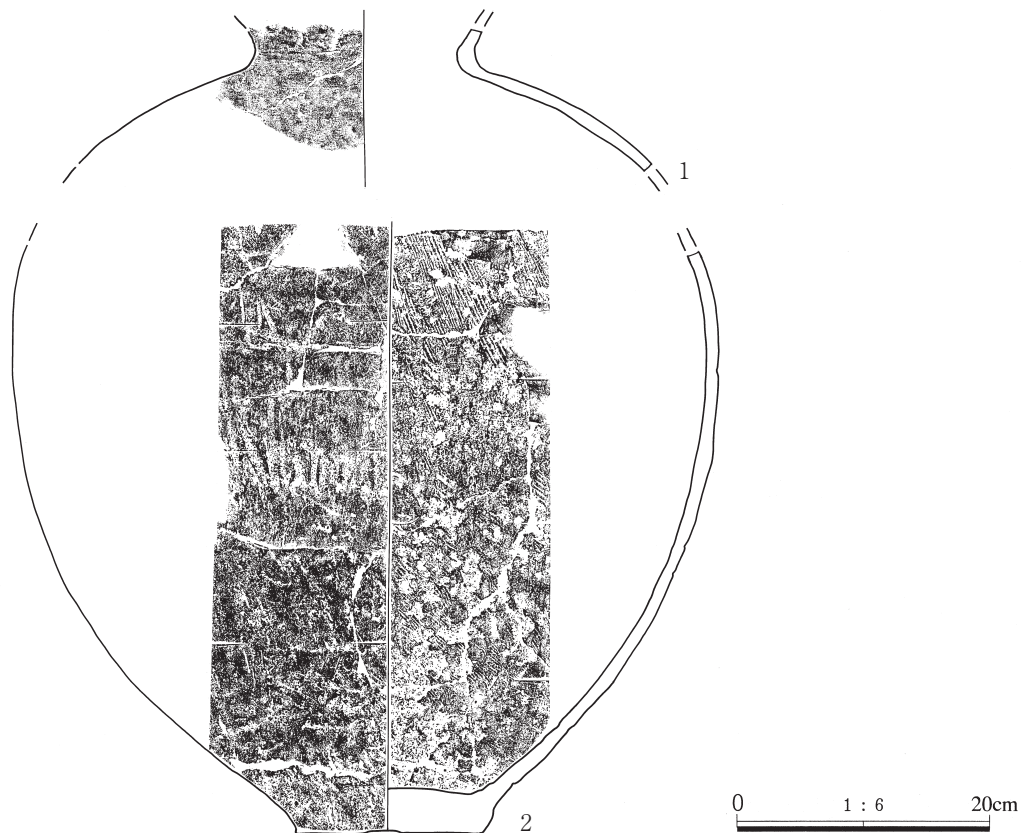
また、埋没土中位には、As-C層が確認されることから、構築年代は同火山灰降下以前となる。

なお、この火山灰分析については、別途7に報告する。

台状部も隅丸方形を呈し、7m前後の軸長規模をもつ。主体部の痕跡も遺失しており、不明である。

#### 1号埋甕（第87・88図、PL67）

1号方形周溝墓北東隅に接して、1号埋甕が検出されている。第88図に示す甕が正位に埋設されてい

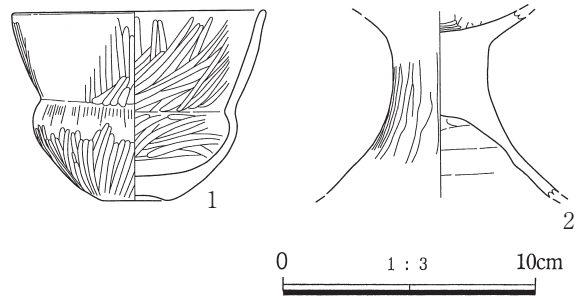
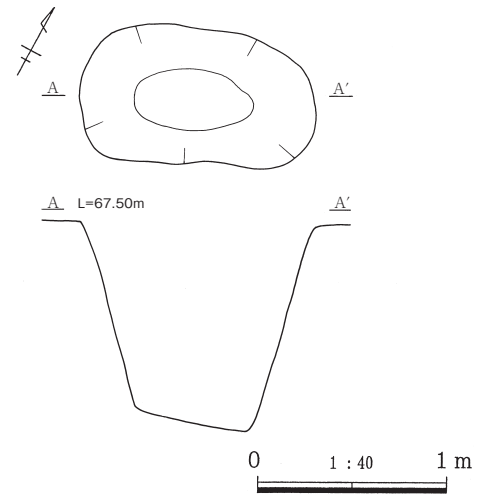


第88図 2区1号埋甕

た。検出時には肩部以下が確認面下に存在し、口縁部は遺失し、肩部片が周囲および土器内に散布していた。埋設状態は、平面確認および半裁調査による断面確認を実施したが、土器埋設のための掘り方は確認できなかった。土器埋設後、直近に埋め戻されたためであるとみられる。この甕は肩部外面に刷毛目、胴部に波状文、内面に刷毛目をもつ古墳時代前期に位置付けられるものである。方形周溝墓に類例をもち、供献遺物と理解されるものと同様の性格をもつものと考えられる。方形周溝墓の時期も、この土器と同様と考えられることから、3世紀末～4世紀初頭に位置付けられる。

22号井戸 (第89図、PL61)

79K-17グリッドに位置する。長軸125cm、短軸75cmで楕円形平面を呈する。確認深は、110cm前後で、底面はやや傾斜をもっている。微高地縁辺部に掘り込まれる。埋没土中から埴、高坏が出土している。



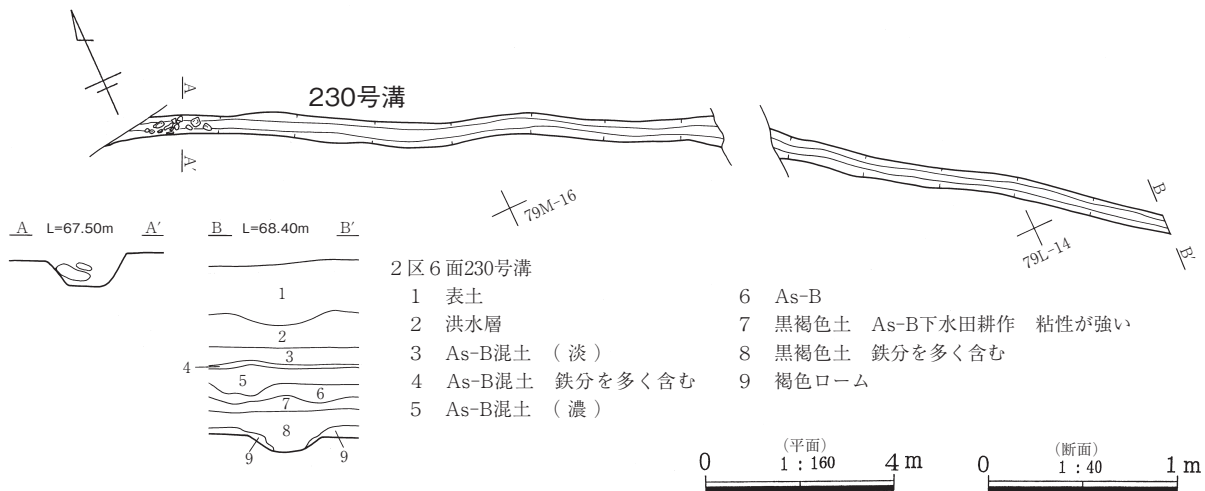
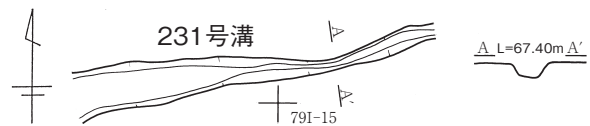
第89図 2区22号井戸と出土遺物

230号溝 (第90図、PL66)

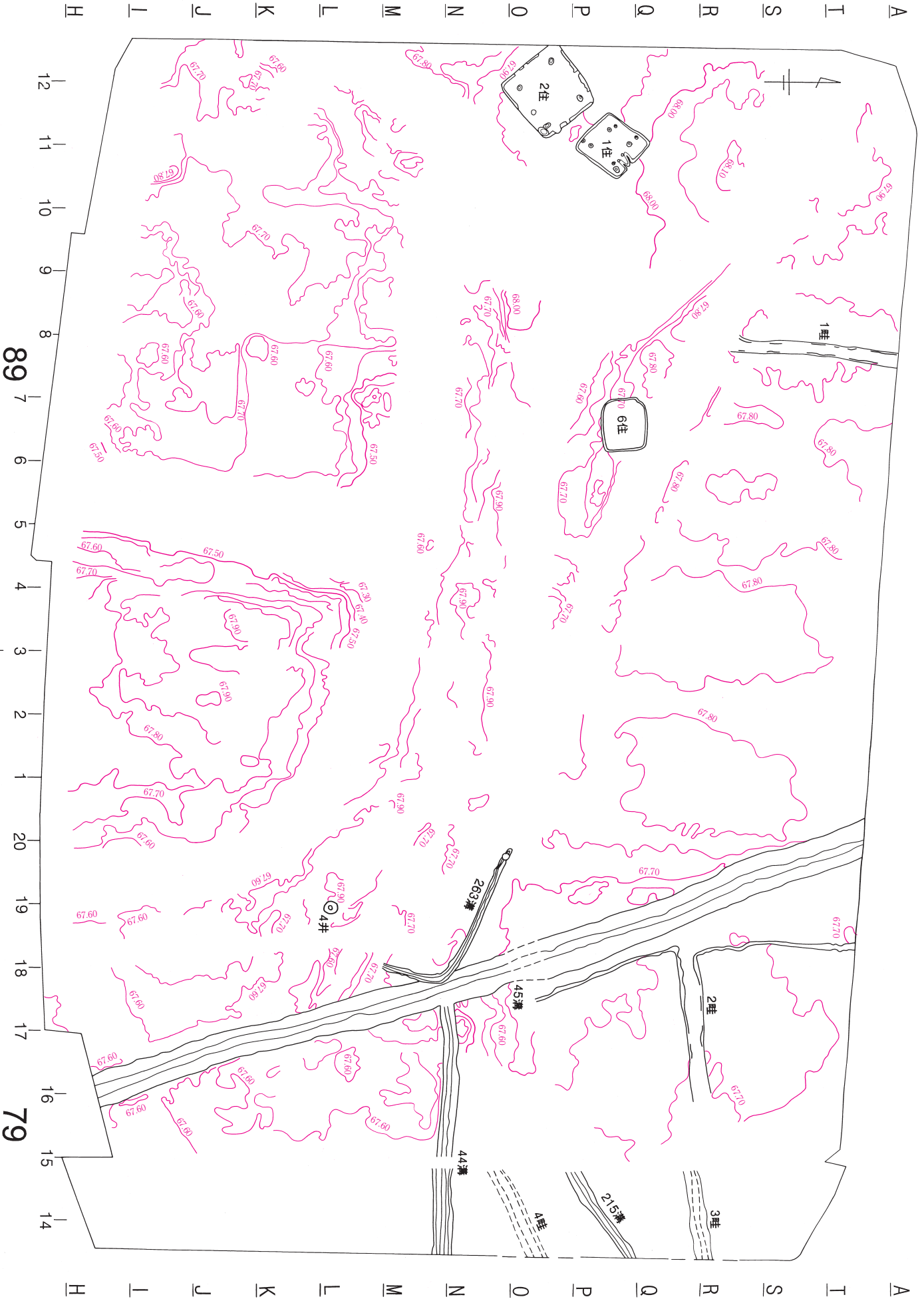
79K-13～79M-17グリッドに位置する。幅40cm、確認深12cmを測る。西端部は遺失し不明であるが、東端部は1区247号溝に延長する。

231号溝 (第90図、PL66)

79K-13～79M-15グリッドに位置する。幅20cm～100cm、確認深9cmを測る。西端部は遺失し不明であるが、東端部は、1区246溝と同一とみられ延長するものと考えられる。



第90図 2区230・231号溝



第91図 2区第5面全体図

0 1 : 400 10 m

b 5面の遺構と遺物

第5面は基本的にAs-B層下に検出される遺構面であり、一連の調査でも埋没水田が確認されている。

As-B層は、複数の遺構面が複雑に重層するこの地域にあって、広範囲に認められる基準となる層位となっている。

2区においてもAs-B層の堆積は確認され、同火山灰層下に埋没水田が検出されている。しかし、2区の2分の1前後の面積を占める南西部分（45号溝以西、グリッドRライン以南）には微高地が存在し、As-B層は認められていない。微高地には、As-B混土層が堆積し畦畔の確認はできていない。そのため、同火山灰降下時点で水田化されていたかについては不明である。

検出遺構は、As-B層埋没水田、溝および微高地縁部に竪穴住居、井戸が確認されている。これらの遺構群は、As-B堆積以前から古墳時代後期の年代幅をもっている。

**住居**

3軒を確認した。いずれも微高地縁辺に立地する。しかし、以降の時代の攪乱により微高地自体が不明瞭となると共に、住居の残存状況も不良である。

**1号住居**（第92図～第95図、PL29）

**位置** 89P-11グリッドに位置する。

**形状** 北西から南東方向に長軸をもつ長方形（平行四辺形）平面を呈する。西壁および東壁は平行関係にあるが、北・南壁は両壁に直交しないため、平行四辺形となる。ちょうど、南東隅が突出した形態となっている。

**重複** 遺構間の重複は認められていない。

**規模** 西壁長410cm、東壁長440cmであり、東・西壁間（東西長）は400cmを測る。

**面積** 15.17㎡

**主軸方位** N-33°-E

**竈** 北壁（北東側）2/3東寄りに掘り込まれる。確認長は、幅48cm、長さ90cm。袖長は西側が80cm、東側が90cm。両袖端部に袖石等の竈構

造物を設置した径23cm、深さ15cmの小穴が認められる。また、燃焼部両壁にも構造物を設置したとみられる小穴が対で確認された。

**柱穴** 住居対角線上に配置され、4ヶ所確認された。柱穴配置は規則的で四隅から110cm～120cmの位置に一定し、近接する壁からそれぞれ100cm～120cmの位置に設置される。柱穴の位置は住居平面形に相似し、南北長がやや長い長方形を呈するが、P2が南東側にやや突出するため平行四辺形状の平面配置となる。住居平面形が平行四辺形に歪みを持つ点にやや疑問が残っていたが、柱穴配置も同形状を示すことが把握され理解できるものとなった。柱穴間の距離は次のとおりである。P1-P2は230cm、P1-P4は190cm、P2-P3は190cm、P3-P4は200cm。なお、P2、P3、P4の各柱穴に接して小穴が認められているが、性格は不明である。

**貯蔵穴** 北東隅部の住居対角線上に位置する。径60cm×52cmの楕円形平面を呈し、深さは32cmで、逆梯形断面を示す。貯蔵穴に接して甕が出土した。

**床面** 掘り方を埋め戻した後に平坦面が形成されるが、硬化面は残存していない。

**掘り方** 住居全体に不規則な掘り方が認められる。P4に接して径100cm×88cm、深さ45cmのフラスコ状断面を呈する土坑が確認された。床面下であり、埋没土の状態から住居構築に伴うものとした。土坑内出土遺物はない。なお、P4がこの土坑を切って掘り込まれている。

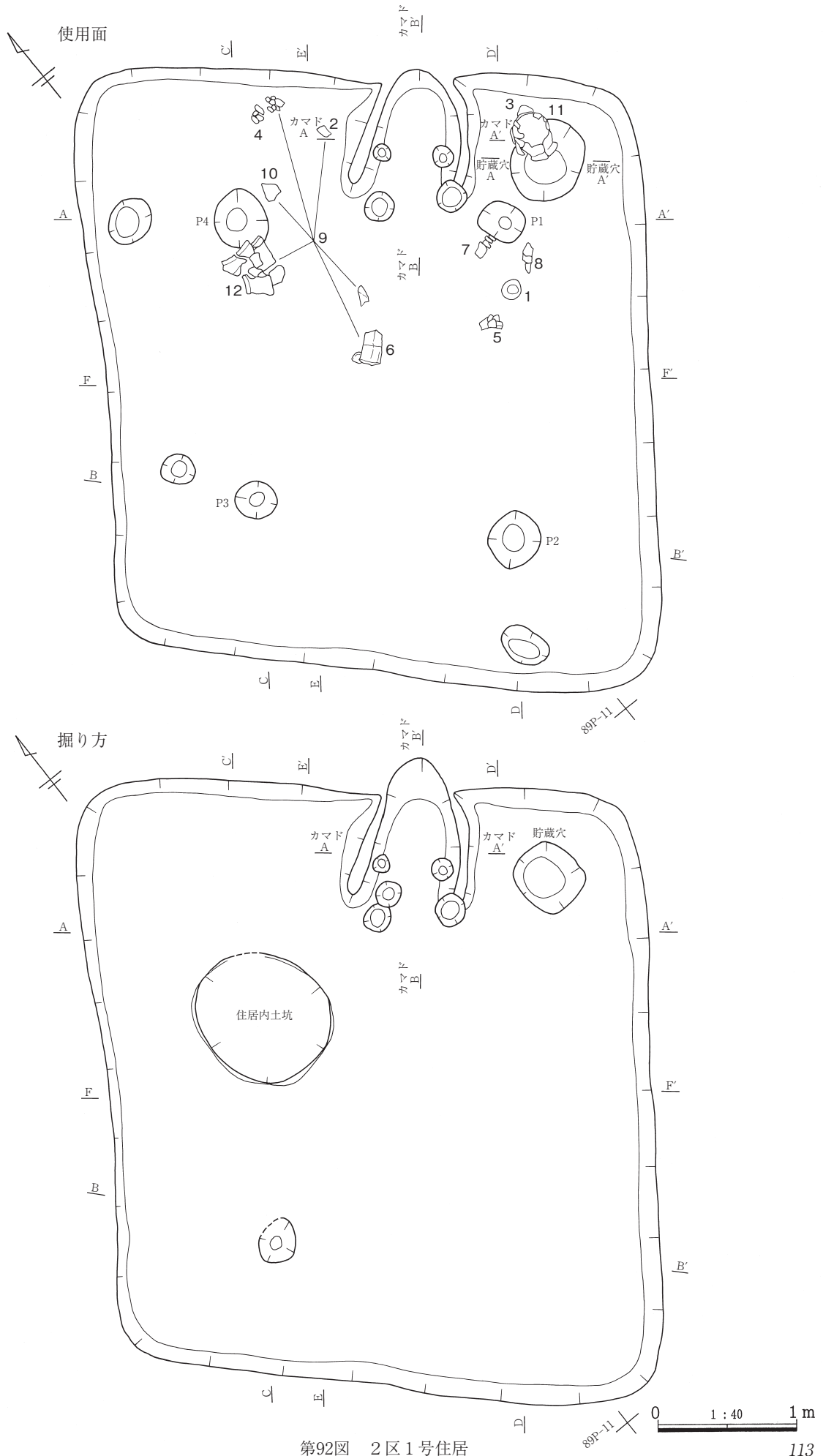
**遺物出土状況** 住居の残存状態が不良であったが、床面上を中心に第94、95図に示す坏、甕、壺、甑等が出土した。

**その他** 古墳時代中期（6C前半）

**2号住居**（第96・97図、PL29）

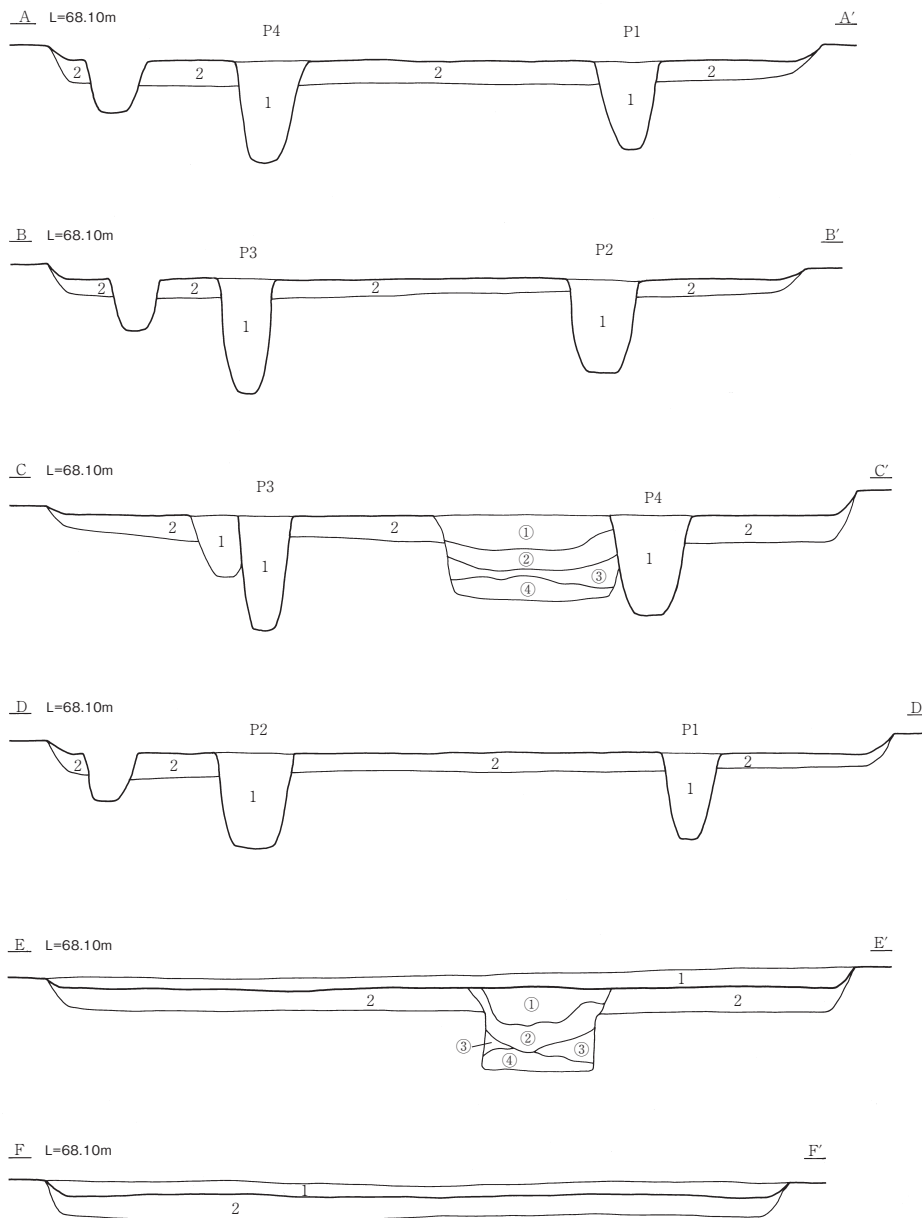
**位置** 89O-11グリッドに位置する。

**形状** 北西から南東方向に長軸をもつ長方形（台形）平面を呈する。北壁および南壁は平行関



第92図 2区1号住居

II 発掘調査の記録

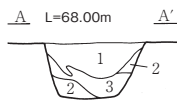


2区5面1号住居

- 1 黒色土 ローム粒を含む 軟く粘性がある
- 2 褐色土 ローム層 白色粒子を含む 硬く締まる

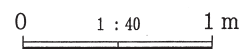
(住居内土坑)

- ① 暗褐色土 ローム、火山灰を含む 締まり強い
- ② 暗褐色土 ロームブロック、ローム粒を含む 粘性あり
- ③ 黒褐色土 ロームブロック、ローム粒を含む 粘性あり
- ④ 黒色土 ローム粒を含む 粘性あり



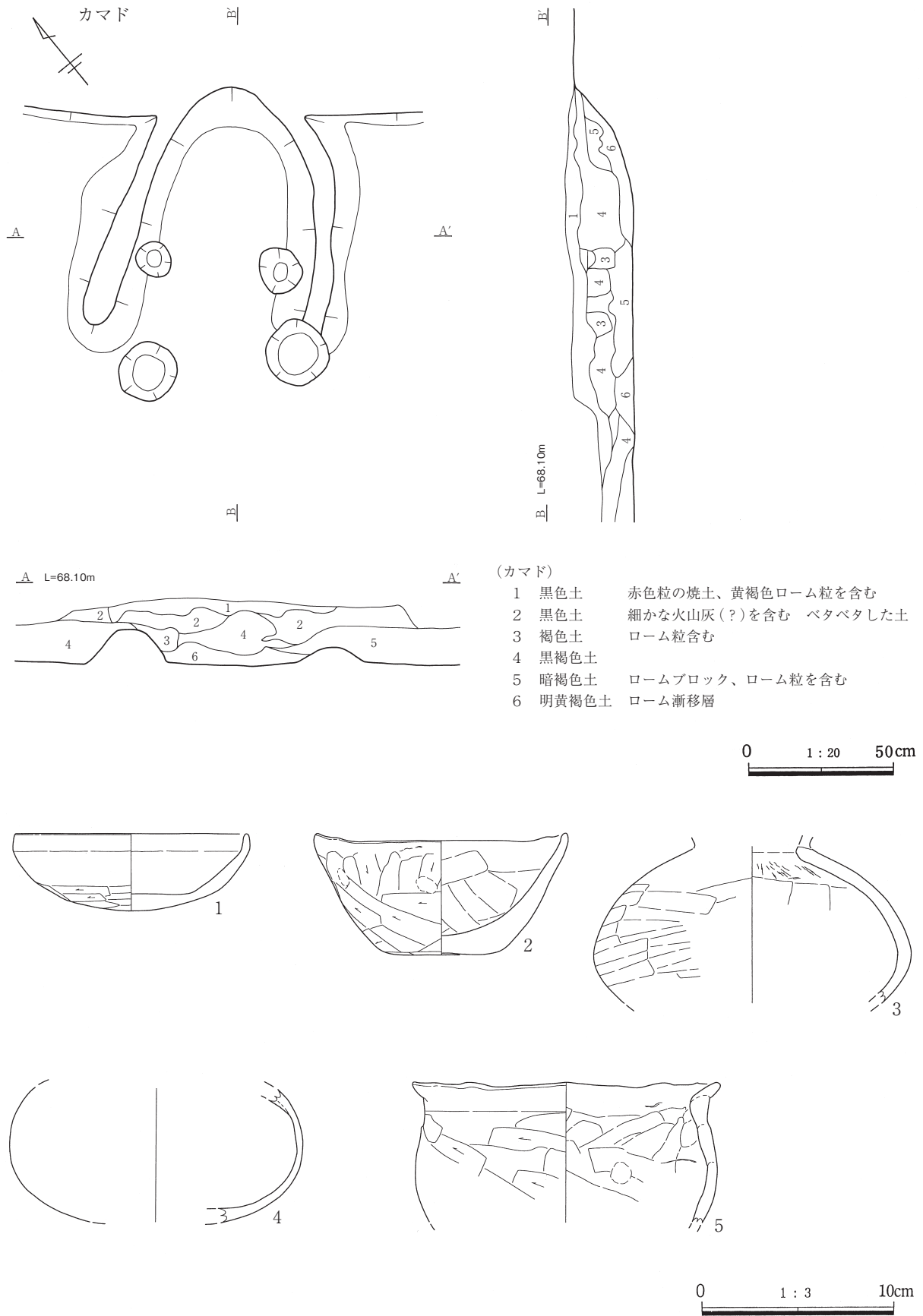
(貯蔵穴)

- 1 黒色土
- 2 黒褐色土 ローム粒を含む
- 3 黒褐色土 ローム粒を多く含む

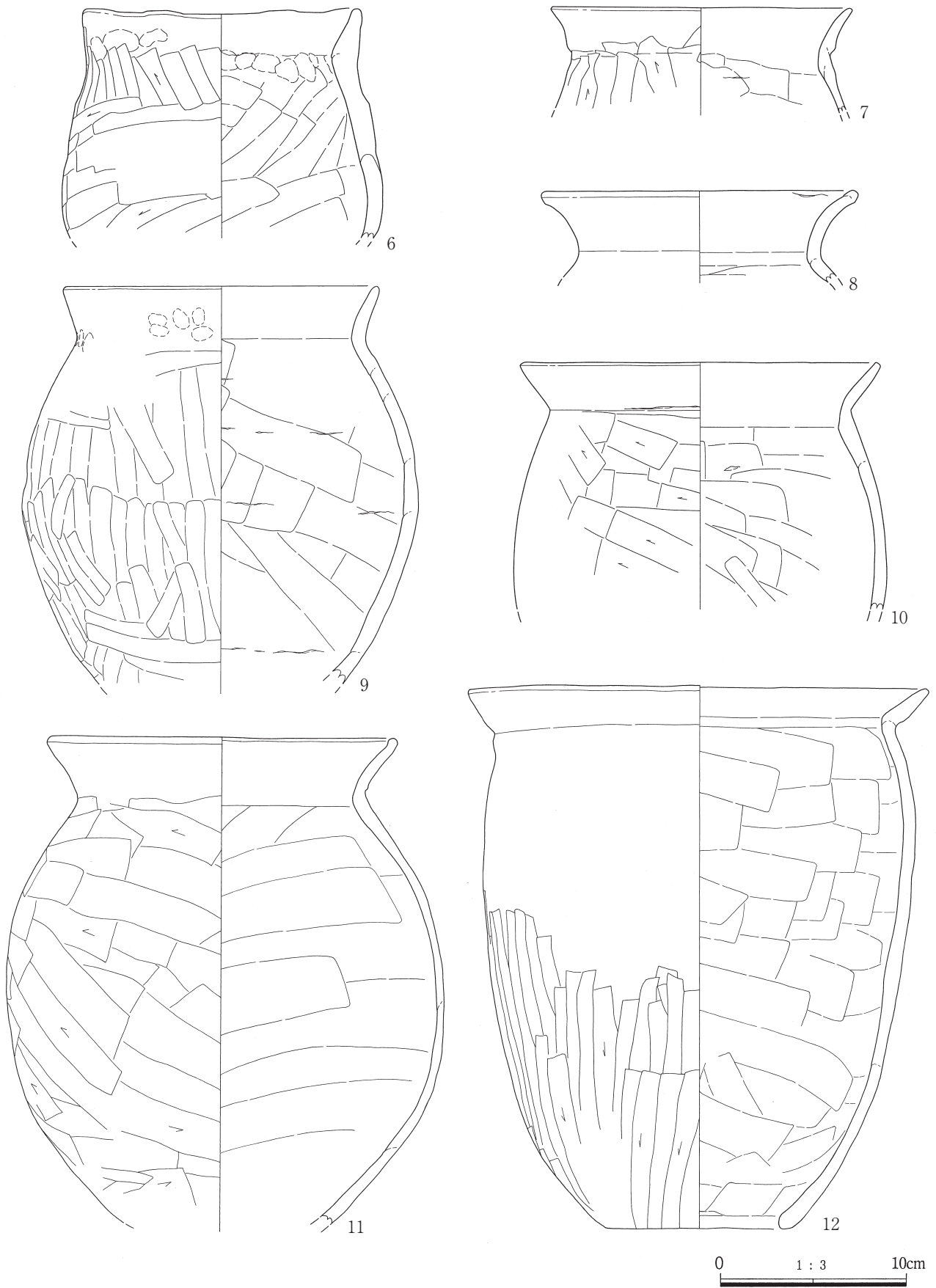


第93図 2区1号住居土層断面図

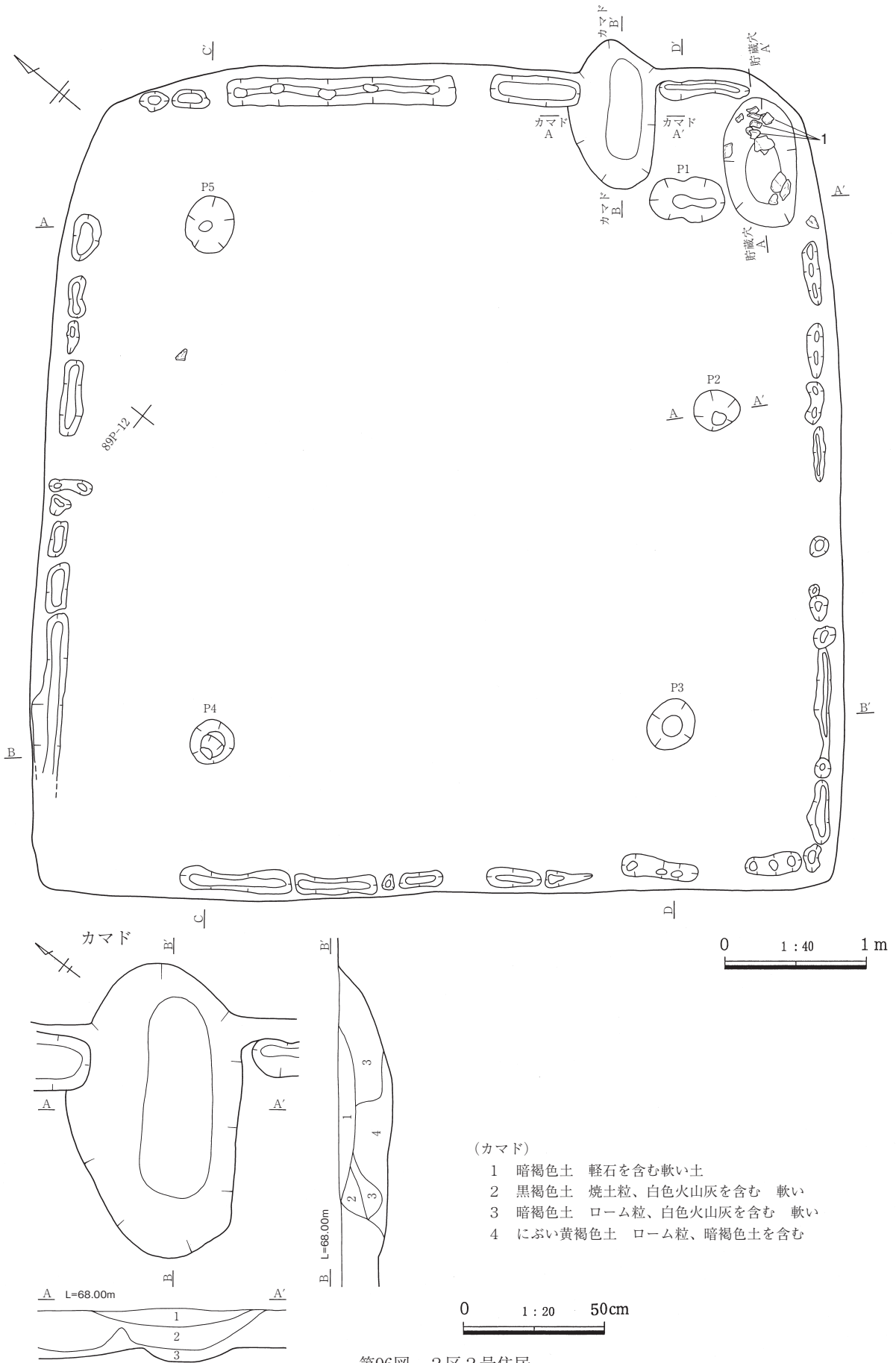




第94図 2区1号住居と出土遺物(1)

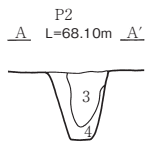
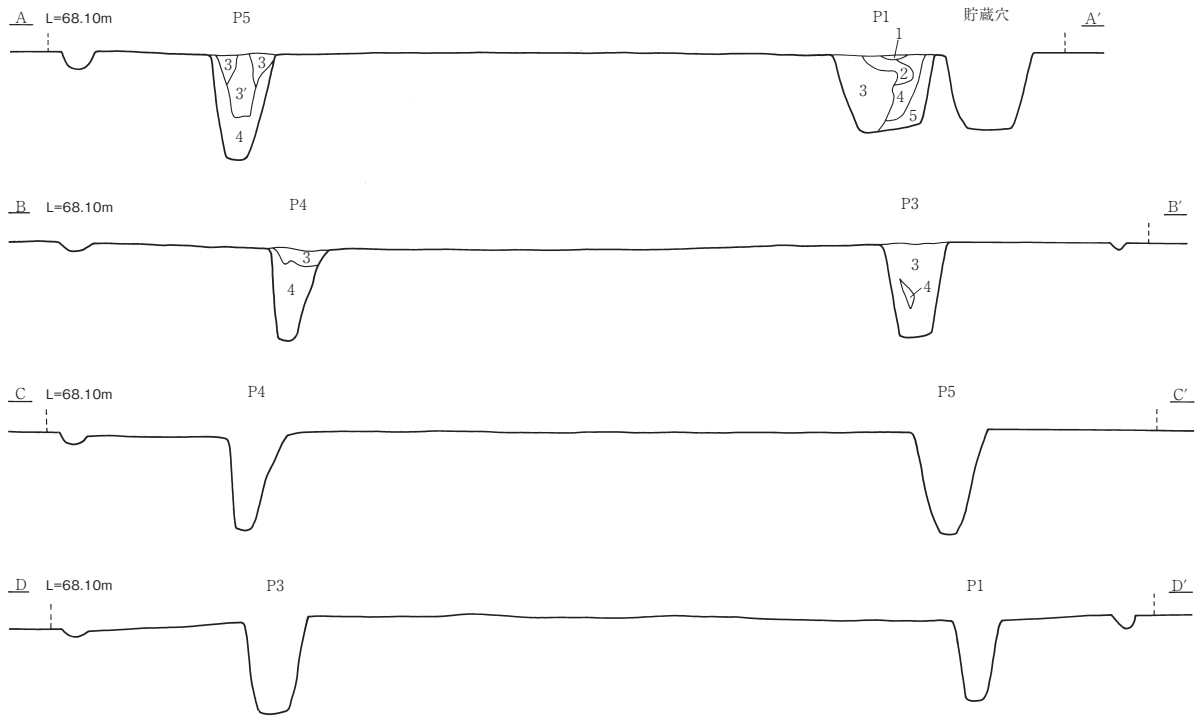


第95図 2区1号住居出土遺物(2)



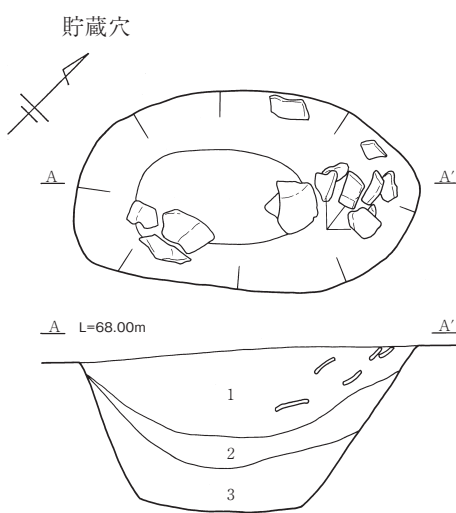
第96図 2区2号住居

II 発掘調査の記録



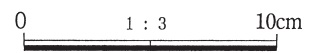
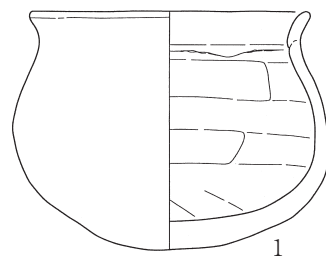
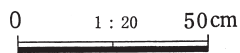
2区5面2号住居

- |         |                      |
|---------|----------------------|
| 1 灰色土   | 補助整備前の畑の混入土          |
| 2 黒色土   | 黄色のローム粒、赤色の焼土粒を含む    |
| 3 黒色土   | 黄色のローム粒、赤色の焼土粒を僅かに含む |
| 3' 黒色土  | 柱根か                  |
| 4 明灰褐色土 | ローム粒、ロームの細かい土を含む     |
| 5 黄褐色土  | ロームブロック、ローム粒を含む      |



(貯蔵穴)

- |        |                 |      |
|--------|-----------------|------|
| 1 黒色土  | ローム粒、赤色の土器片粒を含む | 粘性あり |
| 2 暗褐色土 | 粘性ありべたべたした土     |      |
| 3 黒色土  | ローム粒、火山灰を含む     |      |



第97図 2区2号住居と出土遺物

係にあるが、西・東壁は北壁に向かって幅が狭くなり、台形平面となる。

**重複** 遺構間の重複は認められていない。しかし、上層からの攪乱もしくは削平により、壁、床面等は遺失し住居下部のみ残存している。そのため、住居面からの遺物は認められていない。

**規模** 住居中軸長は、長軸590cm、短軸565cm。各壁長は、北壁長480cm、南壁長560cm、西・東壁長410cm、東壁長440cmであり、東・西壁長は住居長軸長に類する。

**面積** 28.05㎡

**主軸方位** N-33°-E

**竈** 北壁3/4東寄りに掘り込まれる。大半は遺失し、楕円形平面を呈する下部（掘り方部分）のみが残存する。確認長は、幅60cm、長さ110cm。掘り方断面は塊状で深さ19cm。

**柱穴** 住居対角線上に配置され、4ヶ所確認された。柱穴配置は規則的で北側柱穴で各隅から100cm、南側柱穴で各隅から150cm程度の位置に設置される。また、柱穴配置は、住居壁から100cm～120cm内側に設定される。P1-P3、P4-P5間は370cm、P1-P5、P3-P4間は330cmを測る。住居平面形は台形を呈するが、柱穴配置は長方形配置となっている。

なお、P1-P3間にP2が確認された。柱痕が認められるが、性格は不明である。

**貯蔵穴** 北東隅部の住居対角線上に位置する。径90cm×54cmの楕円形平面を呈し、確認深は43cmを測る。貯蔵穴から小型甕が出土した。

**床面** ほぼ遺失するため不明。

**周溝** 部分的に不明であるが、ほぼ全周する。幅15cm前後、深さ10cmとなる。

**掘り方** 不明。

**所見** 古墳時代後期（6C）

**6号住居**（第98図、PL29）

**位置** 89P-6グリッドに位置する。

**形状** 隅丸長方形を呈する。残存状況は不良であり、竪穴状遺構の痕跡が認められた程度である。

**規模** 中軸長は、長軸410cm、短軸358cmを測る。

**面積** 13.26㎡

**所見** 長方形平面の掘り込みのみが確認され、柱穴、竈もしくは炉、周溝、貯蔵穴などの内部施設は不明である。そのため、住居であるかについても特定できないが、規模や検出状況から住居として調査を進めた経緯もあり、調査時遺構名として報告する。

なお、伴出遺物とはいえないが、土師器・須恵器小片が1点ずつ遺構確認時に検出されている。

**井戸** 微高地縁辺に1基確認した。出土遺物から平安時代に所属する遺構といえる。

**4号井戸**（第99図、PL59）

79L-18グリッドに位置する。径109cm×104cmの円形平面を呈し、確認深96cmを測る。上端に石積みの一部に確認され、井戸内にも同様の石が流入している。検出状況から、石積みは井戸上部に行なわれ、下部は円筒状の掘り込みとなる。埋没土中から、土師器坏、須恵器坏・甕が出土している。遺物から井戸の時期は、平安時代（9C中葉）に相当するものと考えられる。

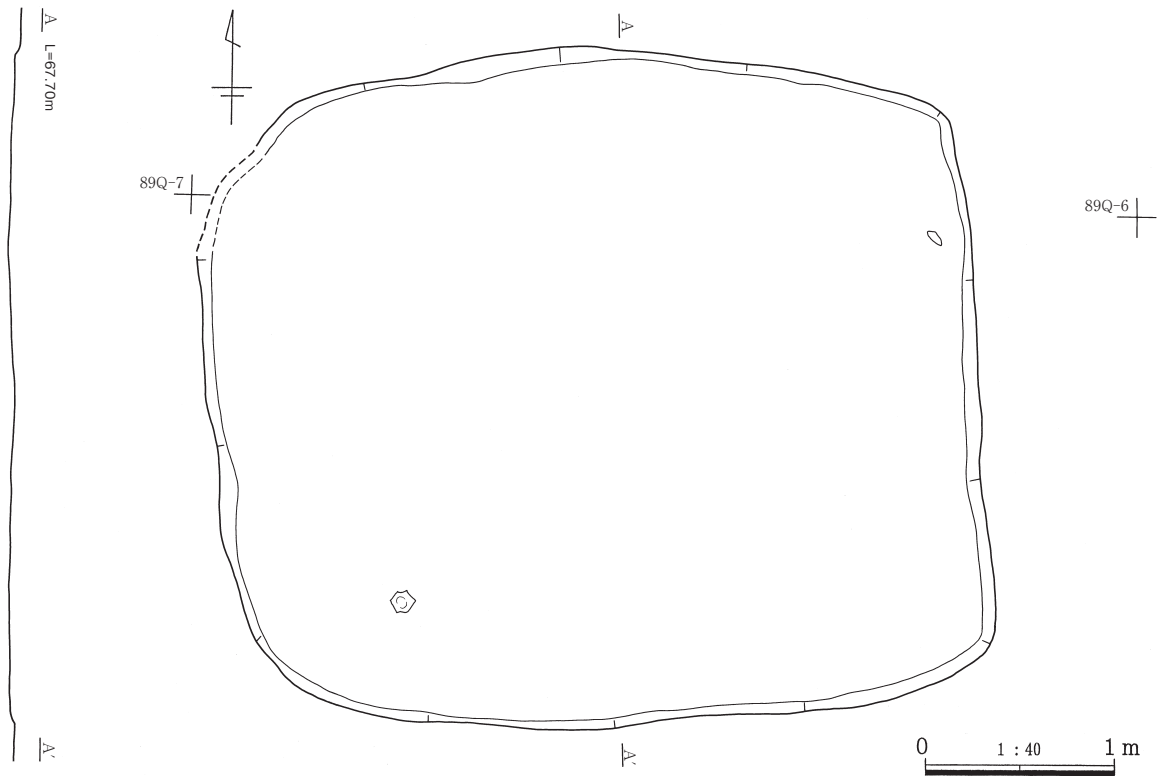
**溝** 溝が4条確認されているが、いずれも低地部に位置し、2区東端部にあたる。

**45号溝**（100図、PL63）

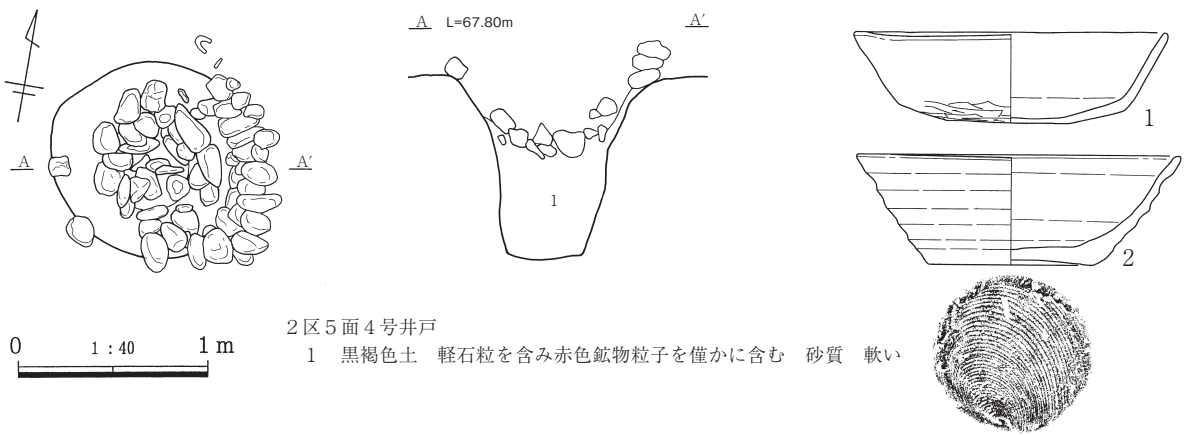
79H-16グリッド～79T-20グリッドに位置し、南北方向に走行する。幅3m前後、深さ58cmを測り、調査長は64mである。鍋底状断面を呈し、As-Bに埋没する溝である。直線的に走行し、N-15°-Wを示す。調査区内では、大きな高低差は認められないが、基本的に北から南側に傾斜もつものといえる。溝底面には、砂・シルト等により埋没し、水路として使用された溝であるとみられる。出土遺物は検出されていない。As-Bで埋没するところから、第5面で検出された埋没水田に伴う用水溝であろう。

**44号溝**（第101図、PL64）

79M-13グリッド～79M-14グリッドに位置し、東西方向に走行する。幅120cm前後、深さ36cm、調査

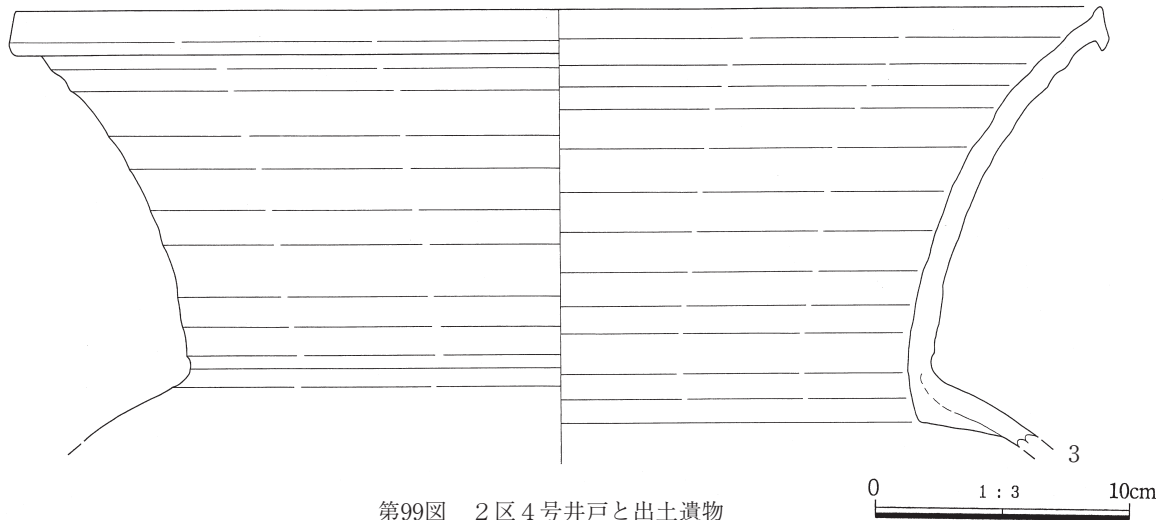


第98図 2区6号住居

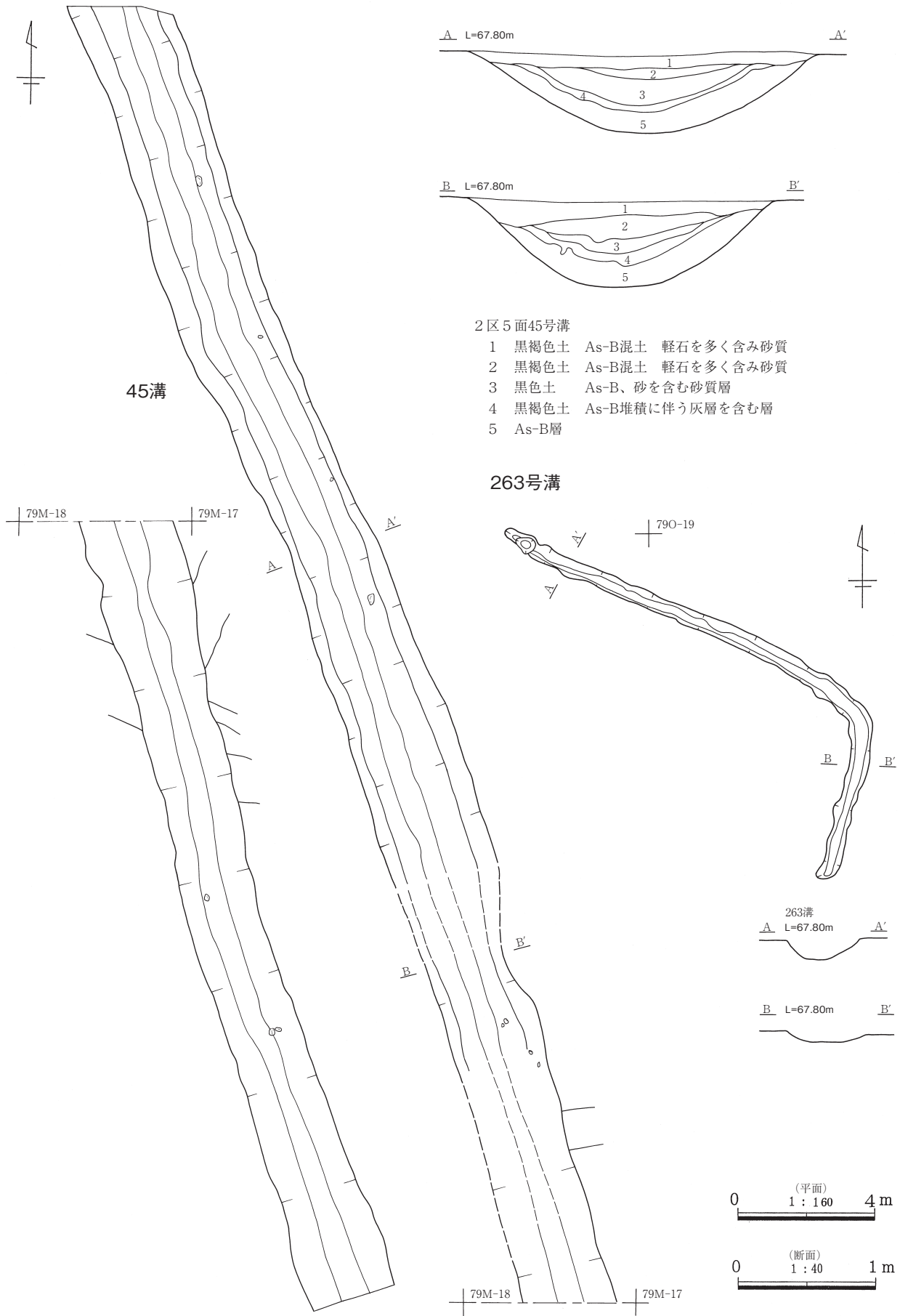


2区5面4号井戸

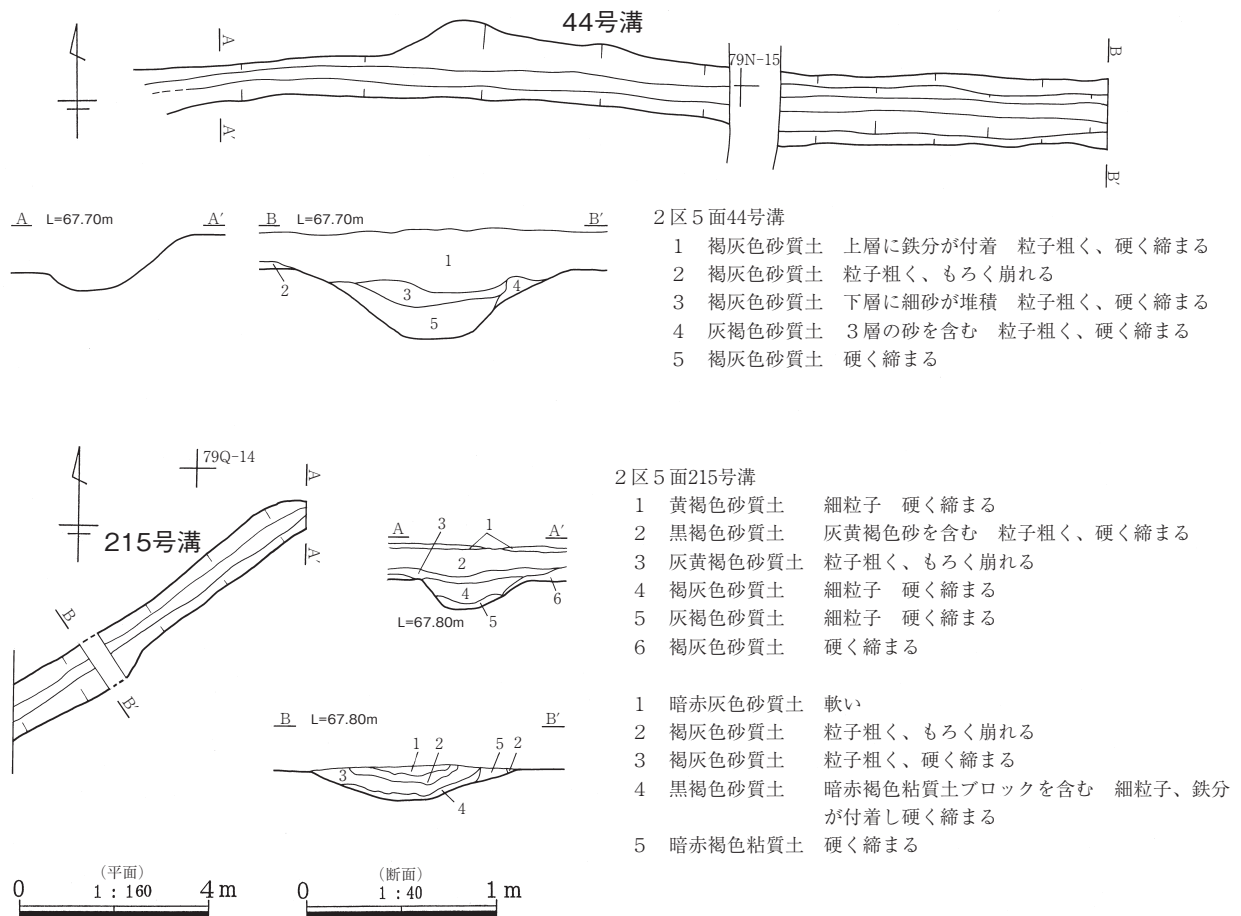
1 黒褐色土 軽石粒を含み赤色鉱物粒子を僅かに含む 砂質 軟い



第99図 2区4号井戸と出土遺物



第100図 2区45・263号溝



第101図 2区44・215号溝

長は6.9m。As-Bにより埋没し、西端部は45号溝に接する。東側は1区に延長する。鍋底状断面を呈し、溝底部には砂層が堆積し、流水溝であったものとみられる。45号溝から西側には延長部が認められないことから、45号溝から分岐する水路として機能したものと見える。

**215号溝 (第101図、PL66)**

79O-14グリッド～79P-13グリッドに位置し、東西方向に走行する。幅60cm～100cm、深さ17cm、調査長は7.6m。東側は1区へ延長することが確認できるが、西側については遺失していることから、延長方向は不明となっている。

**263号溝 (第100図)**

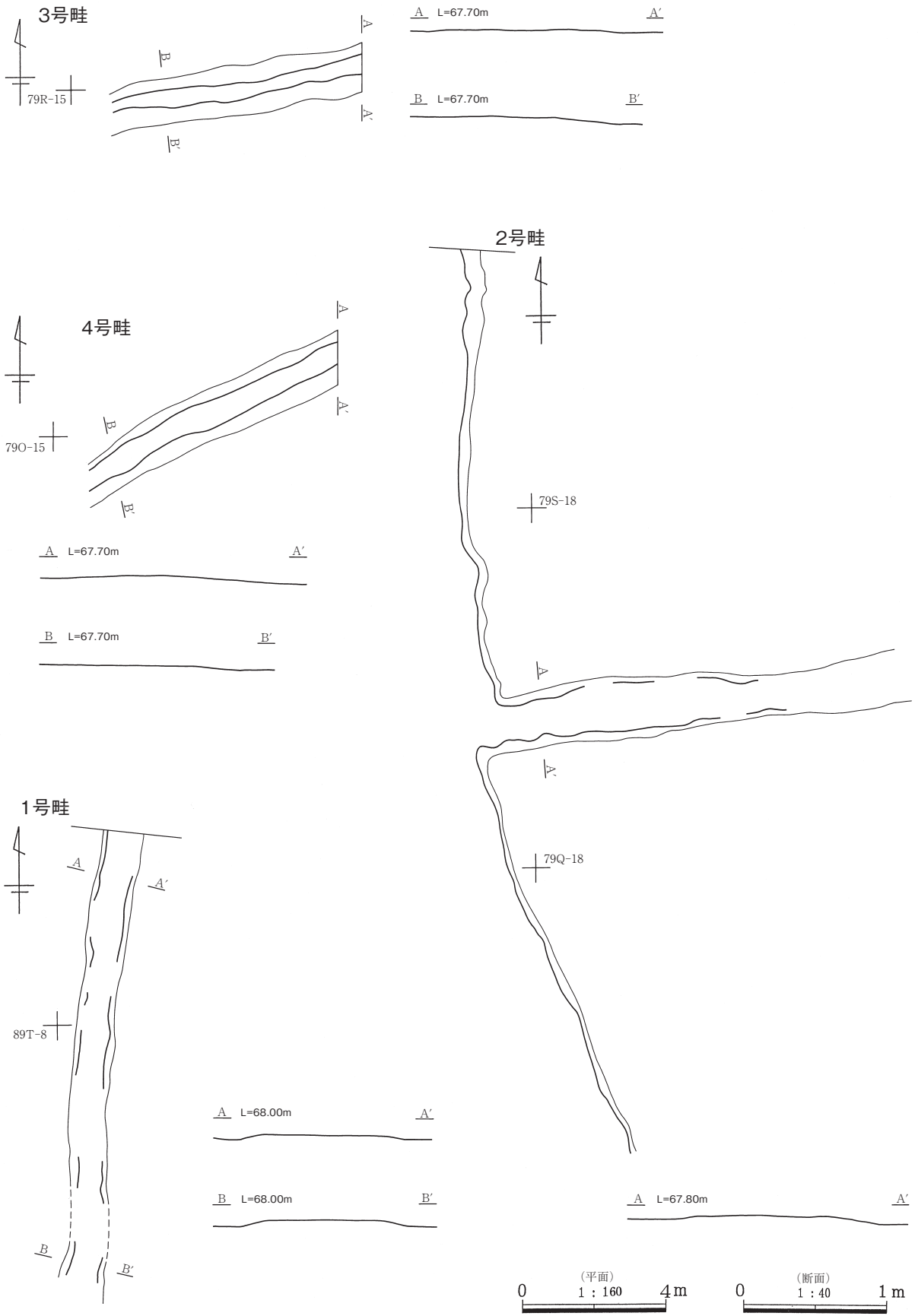
79M-17グリッド～79N-19グリッドに位置し、幅50cm前後、深さ12cm前後で、調査長は16.6m。45号溝と接する部分で直角に屈曲する。溝両端部は遺失しているため、不明である。方形に屈曲することか

ら、水田区画に伴う溝である可能性もある。

**水田 (第102図)**

この面で確認された水田面は、1108 (天仁元) 年降下火山灰As-Bに埋没するものである。残存状況は不良であり、水田に伴う畦畔が部分的に検出されている。検出された畦畔もほぼ平坦になり、As-Bを除去しながら、わずかな起伏により検出している。1畦は89R-7グリッド～89T-7グリッドに位置し、ほぼ南北方向に走行する。2畦は79O-17グリッド～79T-18グリッドに位置し、水田区画の交差部分となる。南北方向の畦は、一部が45号溝と平行する。この畦から東方向に畦が延びる。3号畦は79Q-17グリッド～79T-18グリッドに位置し、東西方向に走行する。4号畦は79N-14グリッド～79O-13グリッドに位置し、N-30°-Wの走行を示す。北側に位置する215号溝とほぼ平行する。





第102図 2区1~4号畦

c 4面の遺構と遺物

第4面は、これまでの同路線の発掘調査ではAs-B混土層で確認される遺構面である。通常、As-B混土層は軽石含有量の量比、土層色調の相違等により分層されている。福島飯塚遺跡では2層に分層され、それぞれ3面・4面の遺構面が確認されている。東接する福島大島遺跡では、さらに分層し、最大4面の遺構面が検出されている。

確認される遺構は、多くは水田であるが、同時に区画溝を伴う館も特徴的に存在する。東接する福島大島遺跡、西接する斉田竹之内遺跡等でもやはり中世館の検出が認められている。

2区4面においても、区画溝を伴い、掘立柱建物群、土坑群、ピット群および井戸などにより形成される中世館が検出された。この館が位置する地点は微高地部にあたり、周辺の低地部では残存状況は不良ながら水田に伴う畦畔や溝が確認されている。

1号館（第154図、PL56）

48号溝により区画された部分を1号館とした。北側部分が調査範囲となり、南半部は未調査である。

この部分は、微高地を形成する黒色土上に「As-B混土層」が堆積し、遺構確認面および遺構埋没土が同様の「As-B混土」であるため、遺構確認が不明瞭であり、同時に遺構間重複や柱穴等の小規模遺構が多いことも原因として、把握しにくいものだった。

48号溝（第154図）はほぼ方形に巡るが、北西隅および北東隅両屈曲部は直角とはならず、北側溝底面中央を基準線として垂線を描くと、西・東側溝がそれぞれ外側に20°程広がりをもっている。おそらく全体として方形区画となるものと考えられるが、調査部分のみだと台形平面を示す。推定される区画形状は、北側溝が直線的で、北西隅が角状、北東隅が弧状平面を示しながら、西・東溝が外側にやや湾曲する方形区画形状を呈するものとなるものと思われる。幅は4m～6m前後、深さは80cm～90cmを測る。断面形は場所によって相違があり、西半部は逆梯形断面、東半部は弧状断面を呈する。

48号溝による区画のほぼ中央に56号溝が垂下する。48号溝北側溝を基準とすれば、直交する溝で直線的に走行する。さらに、56号溝に東接して57溝が平行する。この両溝により、48号溝で区画された1号館が西区画と東区画に区分されるものとなる。両溝は70cm前後の間隔を保つ。前記のとおり、配置をみると48号溝北側溝と56号・57号溝が直線的に走行し、垂直に交差することから、規格的に設置された区画溝であるものといえる。これらの溝に比し、48号溝西溝および東溝は鈍角に連続し、湾曲する。おそらく東・西溝は地形に即して、微高地縁辺を巡るように掘り込まれることで、このような形状を示すことになったと考えられる。なお、1号館も56号・57号溝を基準として計測すると10°ほど東側に軸線をおいている。この位置も地形に即したものといえるかもしれない。

報告中には、56・57号溝に区画される範囲を東区画、西区画と称する。この東・西区画は56溝が48号溝区画中央部に設置され、東接して57溝が存在することから、57号溝分だけ東区画が東西規模において狭くなる。さらに検出される遺構にも相違があり、利用目的に応じて西および東に区画が行なわれていたものといえる。

西区画は、掘立柱建物群、井戸、方形土坑、楕円形土坑、竪穴状遺構、ピット群、溝が分布する。

東区画は、方形土坑、楕円形土坑、井戸、ピット群、溝が分布する。

両区画で最も顕著な点は、掘立柱建物の存在である。東区画にも立棟できていない掘立柱建物も存在する点も考慮しても、西区画に掘立柱建物が集中することは特徴的である。報告では14棟を示しているが、建物方向は区画される溝にはほぼ沿ったもので、整然とした分布状況を示す。掘立柱建物は全域に分布するのではなく、一定の場所に設置されることから、全ての掘立柱建物が2棟から3棟の重複関係をもっている。

いずれもこれら遺構群は重複することから、数時期にわたり機能した館状施設であることがわかる。

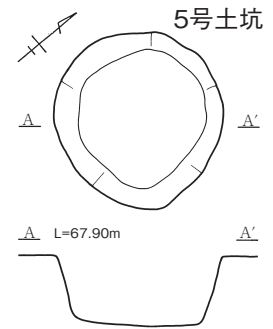
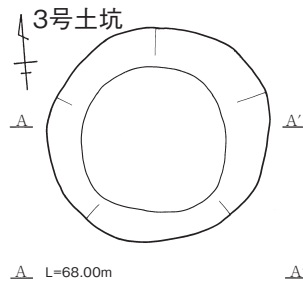
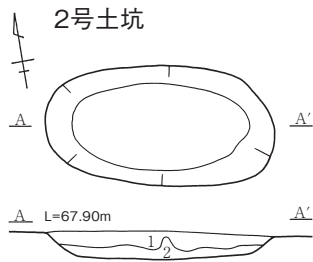
方形土坑を主とした土坑群は、西・東区画それぞれに分布する。土坑間も重複が多い。なお、西区画



第103図 2区第4面全体図

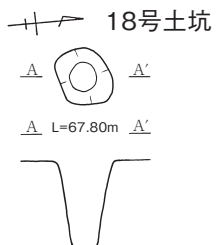
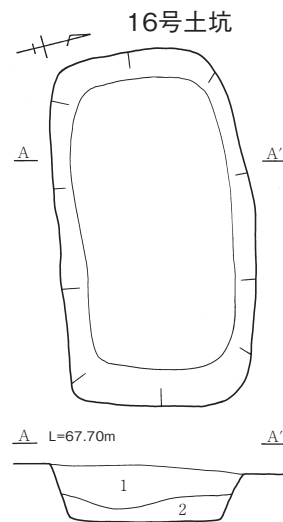
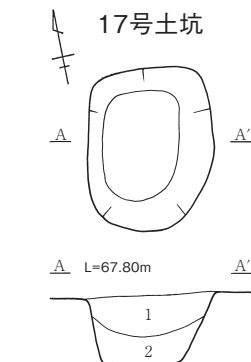
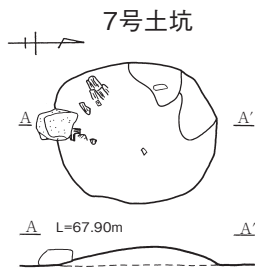
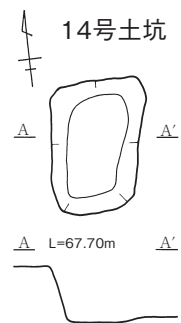
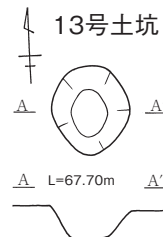
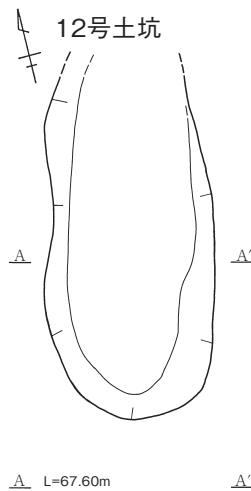
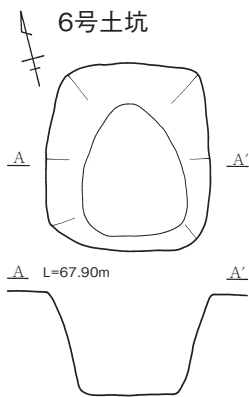
0 1 : 400 10 m

II 発掘調査の記録



2区4面2号土坑

- 1 黒色土 白色粒子、黄色土粒子を含む 砂質で軟い
- 2 黒色土 黄色土粒子を僅かに含む 砂質で軟い

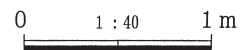


2区4面16号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ローム粒子を含む 砂質
- 2 黒褐色土 白色粒子、ローム粒子、ロームブロックを多く含む 黒色粘質土ブロックを僅かに含む

2区4面17号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ローム粒子を含む 砂質で締まりあり
- 2 黒褐色土 白色粒子、ロームブロックを僅かに含む 砂質



第104図 2区2・3・5～7・12～14・16～18号土坑

では、掘立柱建物と重複する場合、方形土坑が時間的に古い場合が目立った。

井戸は第4面で13基を調査したが、48号溝で区画された1号館内には10基存在する。なお、1基(17号井戸)は所在地点が不明であるが、遺構のみ報告しておく。10基の井戸は、西区画に6基、東区画に2基、56号・57号溝中央部に1基そして48号溝北側溝北法面に1基位置する。井戸間に重複はない。分布をみると、8号井戸が西区画中央部分に位置する他は、溝に接した地点に掘り込まれる例が目立つ。井戸間の時間的關係は不明であるため確定できないが、確認状態からみると一定の規則性を伺うことができる。7号・12号・3号・5号は48号溝北溝に平行して、直線的に分布する。さらに、これらの井戸と平行して13m～15m程度南側に10号・8号・2号井戸が分布する。このような位置関係から配置に規格性が存在するか特定はできない。しかし、8号井戸が西区画中央部に位置することについては、このような井戸位置の關係性から生じたことかもしれない。

1号井戸は、48号溝法面に位置する。調査では48号溝と1号井戸の時間的關係を把握できていない。新旧関係をもつことも考えられるが、48号溝に伴う井戸であるとするれば、生活用水利用としてではなく、溝内への水補給を目的とする地下水湧出井戸として利用された可能性もあるだろう。

竪穴状遺構は、西区画西溝寄りに平行して位置する。4.9m×4.1mを測り、長軸を東西方向にもつ長方形遺構で、1棟のみ存在する。確認深は浅く、底面はほぼ平坦面を示す。また、柱穴等の内部施設や出土遺物も認められていない。

溝は西・東区画にそれぞれ検出された。性格は不明であるが、基本的に南北方向を示す溝が多い。

ピット群は、柱穴状の小穴が該当する。計856基を示した。掘立柱建物、柵列等が含まれるものと考えたが、関連するピット群が摘出されていないため、それぞれ単独遺構として平面図および一覧表により報告しておきたい。

以下、確認された遺構について報告しておく。

#### 土坑(第104図～第123図、PL30～PL55)

土坑として調査する遺構は、主として1号館内に集中するが、周囲にも点在している。また、1号館内にあっても西区画および東区画に分布している。

以下、1号館西区画・東区画、および1号館外をグリッドとして、分布地点ごとに報告する。

#### 1号館東区画

#### 2号土坑(第104図、PL30)

89J-3グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径120cm×63cm、深さ15cmを測る。

#### 3号土坑(第104図、PL30)

89J-3グリッドに位置する。円形平面を呈し、径116cm×114cm、深さ23cmを測る。

#### 5号土坑(第104図、PL30)

89J-3グリッドに位置する。円形平面を呈し、径93cm×89cm、深さ37cmを測る。

#### 6号土坑(第104図、PL30)

89J-3グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径102cm×87cm、深さ53cmを測る。

#### 7号土坑(第104図、PL30)

89I-1グリッドに位置する。円形平面を呈し、径85cm×74cmを測る。

#### 16号土坑(第104図、PL30)

89L-3グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径191cm×105cm、深さ30cmを測る。

#### 17号土坑(第104図、PL30・31)

89K-3グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径87cm×66cm、深さ36cmを測る。

#### 18号土坑(第104図)

89K-3グリッドに位置する。円形平面を呈し、径32cm×26cm、深さ46cmを測る。

#### 19号土坑(第105図、PL30・31)

89K-3グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径193cm×127cm、深さ32cmを測る。

#### 21号土坑(第105図、PL31)

89K-2グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径220cm×98cm、深さ32cmを測る。22号土坑と重複する。

**22号土坑** (第105図、PL31)

89K-2 グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径190cm×115cm、深さ20cmを測る。21号土坑と重複する。

**23号土坑** (第105図、PL31)

89K-1 グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径114cm×107cm、深さ34cmを測る。24号土坑と重複する。

**24号土坑** (第105図、PL31)

89K-1 グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径254cm×115cm、深さ25cmを測る。23号土坑と重複する。

**25号土坑** (第105図、PL31・32)

89J-4 グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径216cm×101cm、深さ45cmを測る。26号土坑と重複する。

**26号土坑** (第106図、PL31・32)

89J-3 グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径96cm×(51cm)、深さ19cmを測る。25号土坑と重複する。

**28号土坑** (第106図、PL32)

89I-4 グリッドに位置する。円形平面を呈し、径110cm×106cm、深さ20cmを測る。

**29号土坑** (第106図、PL32)

89I-4 グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径153cm×104cm、深さ22cmを測る。30号土坑と重複する。

**30号土坑** (第106図、PL32)

89I-4 グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径89cm×81cm、深さ37cmを測る。29号土坑と重複する。古銭が出土している。

**31号土坑** (第106図、PL33)

89K-1 グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径85cm×40cm、深さ40cmを測る。

**32号土坑** (第106図)

89J-1 グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径60cm×54cm、深さ40cmを測る。

**33号土坑** (第106図、PL33)

89J-2 グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径94cm×93cm、深さ46cmを測る。土錘が出土している。

**34号土坑** (第106図、PL33)

89J-3 グリッドに位置する。円形平面を呈し、径92cm×84cm、深さ18cmを測る。

**35号土坑** (第106図、PL33)

89J-3 グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径58cm×56cm、深さ46cmを測る。

**36号土坑** (第107図、PL34)

89K-3 グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径164cm×(128cm)、深さ23cmを測る。37号土坑・5号井戸と重複する。

**37号土坑** (第107図、PL34)

89K-3 グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径221cm×(112cm)、深さ21cmを測る。36号土坑、5号井戸と重複する。

**38号土坑** (第107図、PL34)

89I-3 グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径98cm×84cm、深さ30cmを測る。

**39号土坑** (第107図、PL34)

89I-3 グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径119cm×105cm、深さ36cmを測る。40号土坑と重複する。

**40号土坑** (第107図、PL34・35)

89I-3 グリッドに位置する。隅丸長方形を呈し、径(147cm)×112cm、深さ30cmを測る。39号土坑と重複する。

**41号土坑** (第107図、PL35)

89I-3 グリッドに位置する。隅丸長方形を呈し、径(262cm)×130cm、深さ46cmを測る。42号土坑と重複する。

**42号土坑** (第108図、PL35)

89I-3 グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径114cm×70cm、深さ47cmを測る。41号土坑と重複する。

**43号土坑** (第108図、PL35)

89I-3 グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈

し、径500cm×112cm、深さ30cmを測る。44号土坑と重複する。

#### 44号土坑（第108図、PL35）

89I-3グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径170cm×98cm、深さ44cmを測る。43号土坑、45号土坑と重複する。

#### 45号土坑（第108図）

89I-4グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径74cm×43cm、深さ12cmを測る。44号土坑と重複する。

#### 46号土坑（第108図、PL35・36）

89I-3グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径158cm×124cm、深さ29cmを測る。

#### 47号土坑（第108図、PL36）

89H-3グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径（268cm）×113cm、深さ24cmを測る。

#### 50号土坑（第109図、PL36）

89H-3グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径255cm×215cm、深さ14cmを測る。322号土坑と重複する。

#### 51号土坑（第109図、PL36）

89H-3グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径60cm×（51cm）、深さ12cmを測る。

#### 52号土坑（第109図、PL36）

89I-1グリッドに位置する。（隅丸長方形）平面を呈し、径188cm×（52cm）、深さ18cmを測る。140号溝に切られている。

#### 53号土坑（第109図、PL36）

89I-1グリッドに位置する。円形平面を呈し、径93cm×78cm、深さ11cmを測る。

#### 54号土坑（第109図、PL36・37）

89H-2グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径102cm×94cm、深さ20cmを測る。

#### 55号土坑（第109図、PL37）

89I-2グリッドに位置する。円形平面を呈し、径86cm×82cm、深さ30cmを測る。

#### 56号土坑（第109図、PL37）

89I-2グリッドに位置する。円形平面を呈し、径

93cm×89cm、深さ14cmを測る。

#### 58号土坑（第110図、PL37）

89H-2グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径（270cm）×108cm、深さ18cmを測る。古銭が出土している。

#### 59号土坑（第110図、PL37）

89J-2グリッドに位置する。楕円形を呈し、径69cm×58cm、深さ46cmを測る。

#### 60号土坑（第110図、PL38）

89J-2グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径（116cm）×102cm、深さ12cmを測る。61号土坑と重複する。

#### 61号土坑（第110図、PL38）

89J-2グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径192cm×120cm、深さ34cmを測る。60号土坑、72号土坑と重複する。

#### 63号土坑（第110図、PL38）

89H-2グリッドに位置する。円形平面を呈し、径100cm×91cm、深さ23cmを測る。

#### 66号土坑（第110図）

89J-1グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径67cm×60cm、深さ42cmを測る。

#### 67号土坑（第110図）

89H-2グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径31cm×29cm、深さ35cmを測る。

#### 68号土坑（第110図）

89H-2グリッドに位置する。円形平面を呈し、径39cm×37cm、深さ30cmを測る。

#### 69号土坑（第110図、PL38）

89H-2グリッドに位置する。円形平面を呈し、径59cm×54cm、深さ30cmを測る。

#### 71号土坑（第110図、PL38）

89I-2グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径46cm×35cm、深さ27cmを測る。

#### 72号土坑（第110図、PL38）

89J-2グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径（131cm）×（41cm）、深さ13cmを測る。61号土坑と重複する。

**73号土坑** (第111図、PL38・39)

89H-2グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径160cm×103cm、深さ36cmを測る。129号溝を切っている。

**74号土坑** (第111図、PL39)

89G-1グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径268cm×174cm、深さ18cmを測る。

**75号土坑** (第110図)

89G-2グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径(26cm)×(25cm)、深さ10cmを測る。

**76号土坑** (第110図)

89G-1グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径82cm×(78cm)、深さ20cmを測る。

**77号土坑** (第111図)

89G-1グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径(59cm)×48cm、深さ29cmを測る。

**78号土坑** (第111図、PL39)

89G-1グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径(107cm)×96cm、深さ39cmを測る。

**79号土坑** (第111図)

89G-2グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径64cm×39cm、深さ34cmを測る。

**173号土坑** (第120図)

89J-2グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径114cm×84cm、深さ28cmを測る。土錘が出土している。

**175号土坑** (第120図、PL51)

79K-20グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径125cm×80cm、深さ20cmを測る。土錘が出土している。

**176号土坑** (第120図、PL51)

79J-20グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径212cm×102cm、深さ28cmを測る。

**177号土坑** (第120図、PL51)

79J-20グリッドに位置する。円形平面を呈し、径87cm×75cm、深さ16cmを測る。178号土坑と重複する。

**178号土坑** (第120図、PL51)

79J-20グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径207cm×105cm、深さ17cmを測る。177号土坑と重複する。

**180号土坑** (第120図)

89H-2グリッドに位置する。円形平面を呈し、径36cm×30cm、深さ32cmを測る。

**181号土坑** (第120図、PL51・52)

79I-20グリッドに位置する。円形平面を呈し、径101cm×100cm、深さ86cmを測る。182号土坑と重複する。

**182号土坑** (第120図、PL52)

79I-20グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径(132cm)×108cm、深さ18cmを測る。181号土坑と重複する。

**219号土坑** (第121図、PL52)

79I-20グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径(510cm)×220cm、深さ17cmを測る。

**220号土坑** (第121図、PL53)

79H-20グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径212cm×101cm、深さ22cmを測る。

**322号土坑** (第109図)

89H-3グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径186cm×98cm、深さ21cmを測る。50号土坑と重複する。

**1号館西区画**

**88号土坑** (第111図、PL39)

89L-10グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径120cm×89cm、深さ56cmを測る。89号土坑と重複する。

**89号土坑** (第111図、PL39)

89L-10グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径222cm×103cm、深さ21cmを測る。88号土坑と重複する。

**90号土坑** (第111図、PL39・40)

89L-10グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径84cm×64cm、深さ25cmを測る。

**92号土坑** (第111図、PL40)

89L-10グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈



し、径103cm×58cm、深さ20cmを測る。

#### 94号土坑（第112図、PL40）

89K-10グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径92cm×77cm、深さ18cmを測る。12号掘立柱建物と重複する。

#### 95号土坑（第112図、PL40）

89L-11グリッドに位置する。円形平面を呈し、径111cm×102cm、深さ26cmを測る。

#### 96号土坑（第112図、PL40）

89K-10グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径110cm×82cm、深さ21cmを測る。

#### 97号土坑（第112図、PL41）

89K-10グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径125cm×（59cm）、深さ11cmを測る。98号土坑と重複する。

#### 98号土坑（第112図、PL41）

89K-10グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径316cm×117cm、深さ35cmを測る。97号土坑、12号・14号掘立柱建物と重複する。

#### 99号土坑（第112図、PL41）

89K-10グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径187cm×116cm、深さ25cmを測る。98号土坑、12号掘立柱建物と重複する。

#### 100号土坑（第112図、PL41）

89K-9グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径397cm×141cm、深さ43cmを測る。12号掘立柱建物と重複する。

#### 101号土坑（第113図、PL41）

89K-9グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径187cm×105cm、深さ47cmを測る。103号土坑と重複する。古銭が出土している。

#### 102号土坑（第113図、PL42）

89K-10グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径243cm×82cm、深さ26cmを測る。107号土坑と重複する。

#### 103号土坑（第113図、PL42）

89K-9グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径（197cm）×156cm、深さ43cmを測る。101

号土坑と重複する。

#### 104号土坑（第113図、PL42）

89K-10グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径211cm×118cm、深さ59cmを測る。105号土坑と重複する。

#### 105号土坑（第113図、PL42）

89K-10グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径（160cm）×107cm、深さ31cmを測る。104号土坑と重複する。

#### 106号土坑（第113図、PL43）

89J-10グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径208cm×129cm、深さ41cmを測る。

#### 107号土坑（第113図、PL43）

89K-10グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径80cm×（45cm）、深さ15cmを測る。102号土坑と重複する。

#### 108号土坑（第114図、PL43）

89I-11グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径563cm×145cm、深さ27cmを測る。137号土坑、2号・3号掘立柱建物と重複する。古銭が出土している。

#### 109号土坑（第114図、PL43）

89H-10グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径（130cm）×128cm、深さ22cmを測る。

#### 110号土坑（第114図、PL43）

89H-11グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径（175cm）×101cm、深さ36cmを測る。

#### 111号土坑（第114図、PL44）

89J-6グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径416cm×107cm、深さ30cmを測る。162号土坑と重複する。

#### 112号土坑（第115図、PL44）

89K-5グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径270cm×86cm、深さ25cmを測る。70号溝を切っている。

#### 113号土坑（第115図、PL44）

89K-5グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径373cm×161cm、深さ49cmを測る。69号・

70号溝、9号・11号掘立柱建物と重複する。

**114号土坑** (第114図、PL44)

89K-7グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径114cm×66cm、深さ23cmを測る。

**115号土坑** (第115図、PL44)

89K-7グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径(178cm)×102cm、深さ33cmを測る。123号土坑と重複する。

**116号土坑** (第115図、PL45)

89K-8グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径184cm×95cm、深さ34cmを測る。117号土坑と重複する。

**117号土坑** (第115図、PL45)

89K-8グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径91cm×77cm、深さ10cmを測る。116号土坑と重複する。

**118号土坑** (第115図、PL45)

89J-7グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径282cm×118cm、深さ35cmを測る。

**119号土坑** (第115図、PL45・46)

89J-8グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径81cm×72cm、深さ19cmを測る。

**120号土坑** (第116図、PL46)

89K-6グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径(86cm)×61cm、深さ22cmを測る。

**121号土坑** (第115図、PL46)

89K-8グリッドに位置する。円形平面を呈し、径61cm×59cm、深さ17cmを測る。

**122号土坑** (第115図、PL44・45)

89K-7グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径67cm×60cm、深さ40cmを測る。

**123号土坑** (第116図、PL44・45)

89K-7グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径204cm×184cm、深さ34cmを測る。115号土坑と重複する。

**124号土坑** (第116図、PL46)

89J-8グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径113cm×69cm、深さ30cmを測る。

**125号土坑** (第116図、PL46・47)

89J-8グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径148cm×86cm、深さ32cmを測る。

**126号土坑** (第116図、PL47)

89K-7グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径238cm×190cm、深さ49cmを測る。114号土坑、157号土坑と重複する。

**127号土坑** (第116図、PL47)

89K-7グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径108cm×59cm、深さ22cmを測る。

**128号土坑** (第116図、PL47)

89K-8グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径142cm×74cm、深さ17cmを測る。

**129号土坑** (第116図、PL47)

89K-8グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径(202cm)×89cm、深さ10cmを測る。

**130号土坑** (第117図、PL48)

89H-6グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径(238cm)×133cm、深さ43cmを測る。

**131号土坑** (第117図、PL48)

89K-9グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径(150cm)×124cm、深さ68cmを測る。154号土坑と重複する。

**132号土坑** (第117図、PL48)

89J-9グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径140cm×109cm、深さ40cmを測る。

**133号土坑** (第117図、PL48)

89J-9グリッドに位置する。円形平面を呈し、径71cm×66cm、深さ25cmを測る。

**134号土坑** (第117図、PL48)

89J-10グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径157cm×126cm、深さ18cmを測る。16号掘立柱建物と重複する。

**135号土坑** (第117図、PL48)

89J-10グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径291×100cm、深さ52cmを測る。15号掘立柱建物と重複する。

**137号土坑** (第117図)

89I-11グリッドに位置する。円形平面を呈し、径65cm×62cm、深さ27cmを測る。108号土坑と重複する。

#### 140号土坑 (第118図)

89J-10グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径89cm×82cm、深さ28cmを測る。

#### 141号土坑 (第118図)

89J-10グリッドに位置する。円形平面を呈し、径48cm×42cm、深さ22cmを測る。

#### 142号土坑 (第118図)

89I-11グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径73cm×69cm、深さ29cmを測る。

#### 143号土坑 (第118図)

89H-11グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径46cm×32cm、深さ52cmを測る。

#### 144号土坑 (第118図、PL48)

89J-8グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径200cm×100cm、深さ30cmを測る。

#### 145号土坑 (第118図、PL48)

89K-7グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径360cm×108cm、深さ40cmを測る。

#### 147号土坑 (第118図、PL49)

89J-8グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径168cm×148cm、深さ50cmを測る。17号掘立柱建物と重複する。

#### 148号土坑 (第116図、PL49)

89K-6グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径(347cm)×110cm、深さ15cmを測る。120号土坑、69号溝と重複する。

#### 149号土坑 (第118図)

89H-10グリッドに位置する。円形平面を呈し、径38cm×32cm、深さ32cmを測る。

#### 150号土坑 (第118図、PL49)

89I-9グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径(155cm)×80cm、深さ18cmを測る。155号土坑と重複する。石臼、支柱が出土している。

#### 151号土坑 (第118図、PL49)

89L-6グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径105cm×53cm、深さ80cmを測る。

#### 152号土坑 (第118図)

89K-8グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径112cm×67cm、深さ24cmを測る。4号掘立柱建物と重複する。古銭が出土している。

#### 153号土坑 (第119図)

89L-8グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径134cm×76cm、深さ9cmを測る。

#### 154号土坑 (第119図、PL49)

89J-8グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径231cm×162cm、深さ54cmを測る。131号土坑と重複する。

#### 155号土坑 (第118図、PL49)

89I-9グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径(256cm)×120cm、深さ26cmを測る。150号土坑、16号掘立柱建物と重複する。石鉢、すり石が出土している。

#### 157号土坑 (第119図、PL49)

89K-7グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径117cm×87cm、深さ29cmを測る。126号土坑と重複する。石が出土している。

#### 158号土坑 (第119図、PL50)

89J-7グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径149cm×83cm、深さ29cmを測る。8号掘立柱建物と重複する。

#### 159号土坑 (第119図、PL50)

89J-7グリッドに位置する。円形平面を呈し、径76cm×64cm、深さ35cmを測る。

#### 162号土坑 (第119図、PL50)

89I-6グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径(364cm)×168cm、深さ30cmを測る。111号土坑、130号土坑と重複する。

#### 163号土坑 (第119図、PL50)

89J-6グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径72cm×71cm、深さ29cmを測る。69号溝を切っている。

#### 166号土坑 (第119図、PL50)

89L-6グリッドに位置する。円形平面を呈し、径127cm×116cm、深さ54cmを測る。

**167号土坑** (第120図、PL51)

89L-7 グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径(90cm)×(77cm)、深さ10cmを測る。168号土坑と重複する。

**168号土坑** (第120図、PL51)

89K-7 グリッドに位置する。円形平面を呈し、径(85cm)×84cm、深さ47cmを測る。167号土坑と重複する。

**213号土坑** (第120図)

89G-6 グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径30cm×(27cm)、深さ14cmを測る。

**214号土坑** (第120図、PL52)

89H-8 グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径110cm×68cm、深さ30cmを測る。石鉢が出土している。

**216号土坑** (第120図、PL52)

89G-6 グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径102cm×49cm、深さ54cmを測る。

**217号土坑** (第121図、PL52)

89H-7 グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径107cm×80cm、深さ33cmを測る。

**218号土坑** (第121図、PL52)

89H-7 グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径148cm×64cm、深さ49cmを測る。

**1号館56・57号溝間**

**12号土坑** (第104図)

89J-5 グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径(183cm)×90cm、深さ30cmを測る。56号溝に切られてる。

**13号土坑** (第104図)

89I-6 グリッドに位置する。円形平面を呈し、径47cm×42cm、深さ15cmを測る。

**14号土坑** (第104図)

89I-6 グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径70cm×49cm、深さ30cmを測る。

**48号土坑** (第108図)

89I-5 グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径53cm×41cm、深さ14cmを測る。

**49号土坑** (第109図)

89I-5 グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径184cm×101cm、深さ22cmを測る。

**グリッド(1号館外)**

**222号土坑** (第121図、PL53)

79H-17グリッドに位置する。円形平面を呈し、径86cm×77cm、深さ32cmを測る。

**223号土坑** (第121図、PL53)

79I-18グリッドに位置する。隅丸方形平面を呈し、径60cm×55cm、深さ48cmを測る。

**224号土坑** (第121図、PL53)

79L-17グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径34cm×21cm、深さ6cmを測る。

**225号土坑** (第121図、PL53)

79O-18グリッドに位置する。円形平面を呈し、径45cm×40cm、深さ25cmを測る。

**226号土坑** (第121図、PL53)

79M-19グリッドに位置する。円形平面を呈し、径27cm×26cm、深さ20cmを測る。

**227号土坑** (第122図、PL53・54)

79M-19グリッドに位置する。円形平面を呈し、径31cm×29cm、深さ20cmを測る。

**228号土坑** (第122図、PL54)

79M-19グリッドに位置する。円形平面を呈し、径34cm×29cm、深さ27cmを測る。

**229号土坑** (第122図、PL54)

79M-18グリッドに位置する。隅丸長方形平面を呈し、径209cm×109cm、深さ38cmを測る。

**230号土坑** (第122図、PL54)

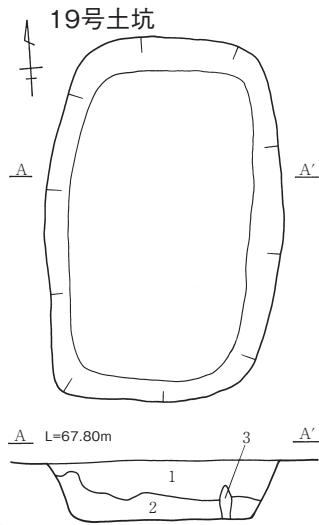
79M-18グリッドに位置する。(楕円形)平面を呈し、径(128cm)×不明、深さ21cmを測る。

**317号土坑** (第122図、PL54)

89R-5 グリッドに位置する。円形平面を呈し、径41cm×40cm、深さ23cmを測る。

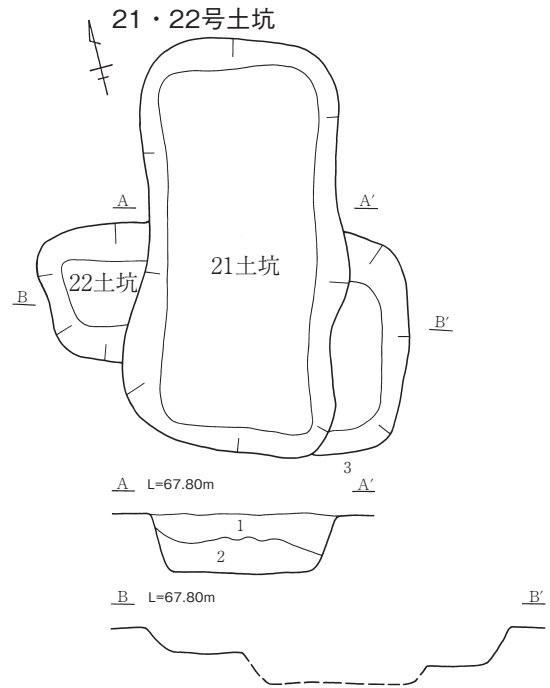
**318号土坑** (第122図、PL55)

89Q-4 グリッドに位置する。円形平面を呈し、径44cm×39cm、深さ10cmを測る。



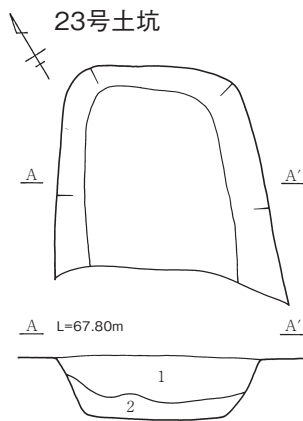
2区4面19号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒子、ロームブロックを含む 砂質で締まりあり
- 2 黒褐色土 ロームブロックを多く含む 砂質 硬く締まる
- 3 明黄褐色土 ローム 粘質あり



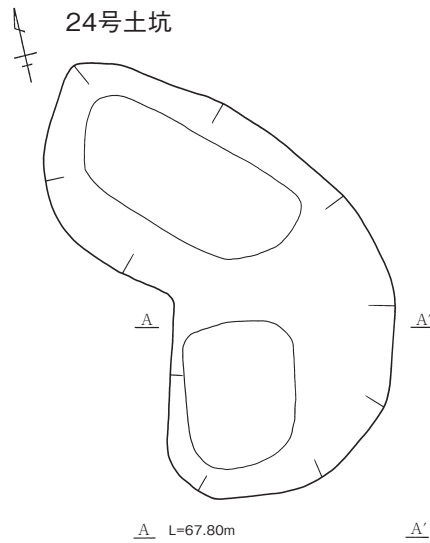
2区4面21・22号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ローム粒子を含む 砂質で締まりあり
- 2 黒褐色土 白色粒子、ロームブロック、黒色土粒子を含む 砂質で締まりあり



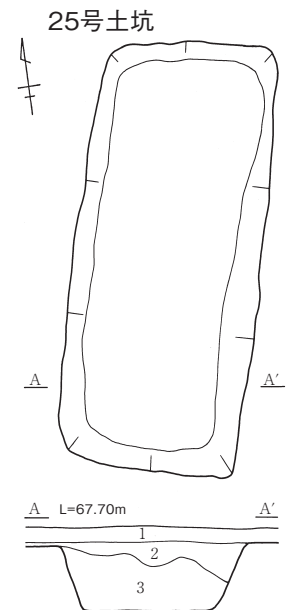
2区4面23号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ローム粒子、ロームブロック、黒褐色土ブロックを含む 砂質で締まりあり
- 2 黒褐色土 白色粒子、ローム粒子、黒褐色土ブロックを含む 砂質で軟い



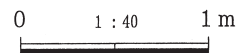
2区4面24号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒子、黒褐色土粒子、白色粒子、炭化物を含む 砂質で軟い
- 2 黒褐色土 ロームブロック、白色粒子を含む
- 3 褐色土 ローム 白色粒子を多く含む 砂質
- 4 褐色土 ローム 硬質



2区4面25号土坑

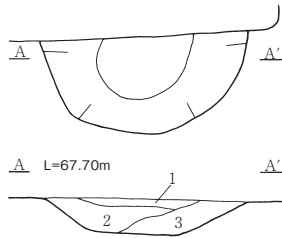
- 1 暗褐色土 白色粒子、赤色土粒子を含む 砂質、粘性で締まりあり
- 2 黒褐色土 ローム粒子を含む 砂質 硬く締まる
- 3 暗褐色土 ロームブロックを多く含む 砂質



第105図 2区19・21～25号土坑

II 発掘調査の記録

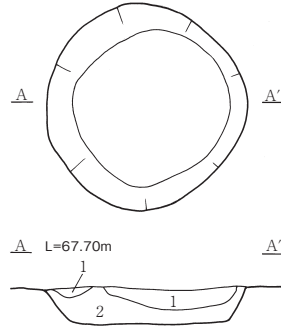
26号土坑



2区4面26号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ローム粒子を含む 砂質
- 2 暗褐色土 白色粒子、ロームブロックを含む 砂質
- 3 暗褐色土 白色粒子、ロームブロックを多く含む 砂質

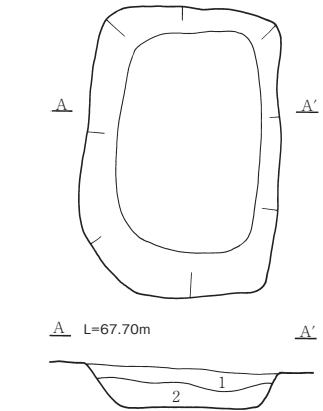
28号土坑



2区4面28号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ロームブロック、炭化物を含む 砂質で締めりあり
- 2 黒褐色土 白色粒子、ロームブロックを多く含む 砂質

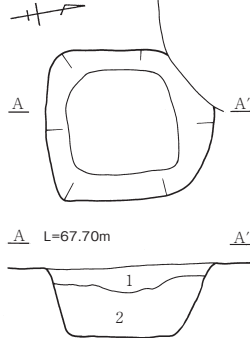
29号土坑



2区4面29号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ローム粒子、炭化物を含む 砂質で締めりあり
- 2 黒褐色土 白色粒子、ロームブロックを多く含む 砂質

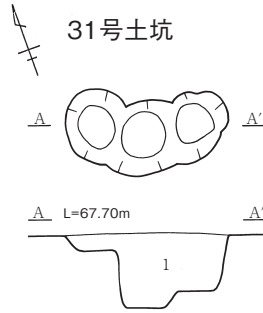
30号土坑



2区4面30号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ロームブロックを含む 砂質
- 2 黒褐色土 白色粒子、ローム粒子、ロームブロックを含む 砂質

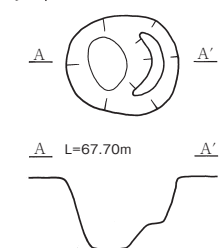
31号土坑



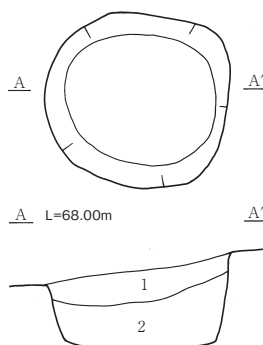
2区4面31号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ロームブロックを含む

32号土坑



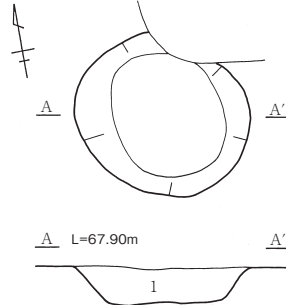
33号土坑



2区4面33号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ロームブロックを含む 砂質で締めりあり
- 2 黒色土 白色粒子、ローム粒子、ロームブロックを僅かに含む 砂質でやや軟い

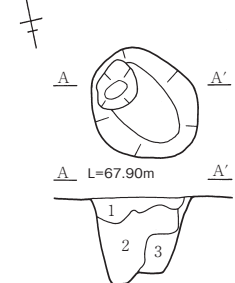
34号土坑



2区4面34号土坑

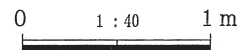
- 1 黒褐色土 軽石粒、ローム粒を僅かに含む 砂質

35号土坑

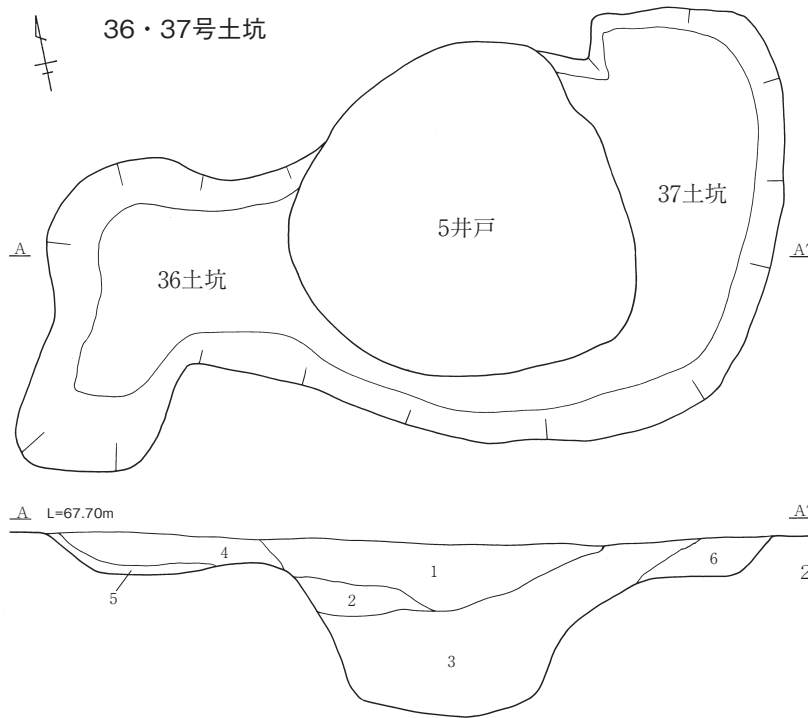


2区4面35号土坑

- 1 黒色土 軽石粒を含む
- 2 黒褐色土 ローム粒を多く含む 硬質
- 3 褐色ローム層

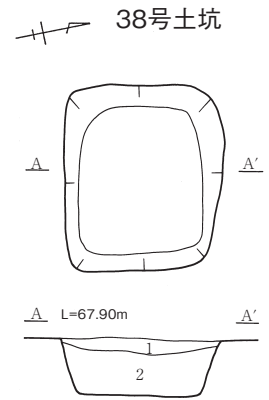


第106図 2区26・28～35号土坑



2区4面36・37号土坑、5号井戸

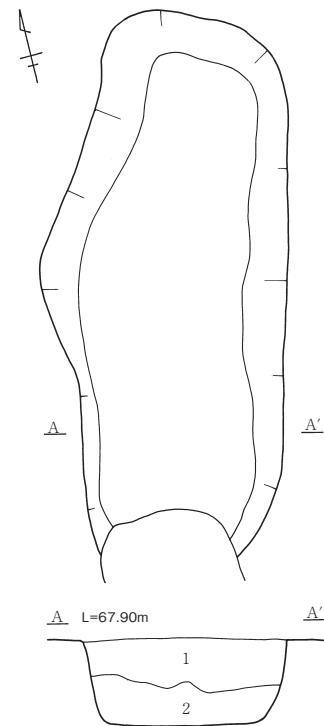
- 1 黒褐色土 白色粒子を多く含む ローム粒子、ロームブロックを含む 砂質 締まりあり
- 2 黒褐色土 白色粒子、ローム粒子を含む 砂質で軟い
- 3 黒褐色土 黒色土ブロック、ロームブロックを含む
- 4 暗褐色土 白色粒子、ローム粒子、黒褐色土ブロックを含む 砂質 締まり強い
- 5 黒褐色土 ローム粒子、ロームブロックを含む 粘性強く締まりあり
- 6 暗褐色土 白色粒子を多く含む 黒褐色土ブロック、ローム粒子、ロームブロックを含む 砂質で硬く締まる



2区4面38号土坑

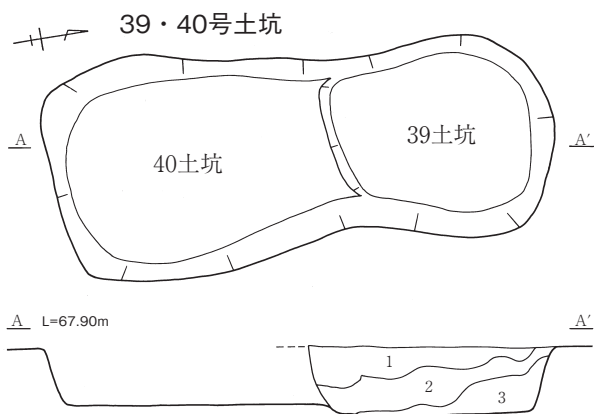
- 1 黒褐色土 白色粒子を多量に含む砂質土 ローム粒子を僅かに含む
- 2 黒褐色土 白色粒子、ローム、ローム粒を含む

41号土坑



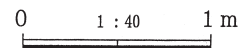
2区4面41号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ローム粒子を含む 砂質
- 2 黒褐色土 白色粒子、ローム粒子、ロームブロックを含む 砂質

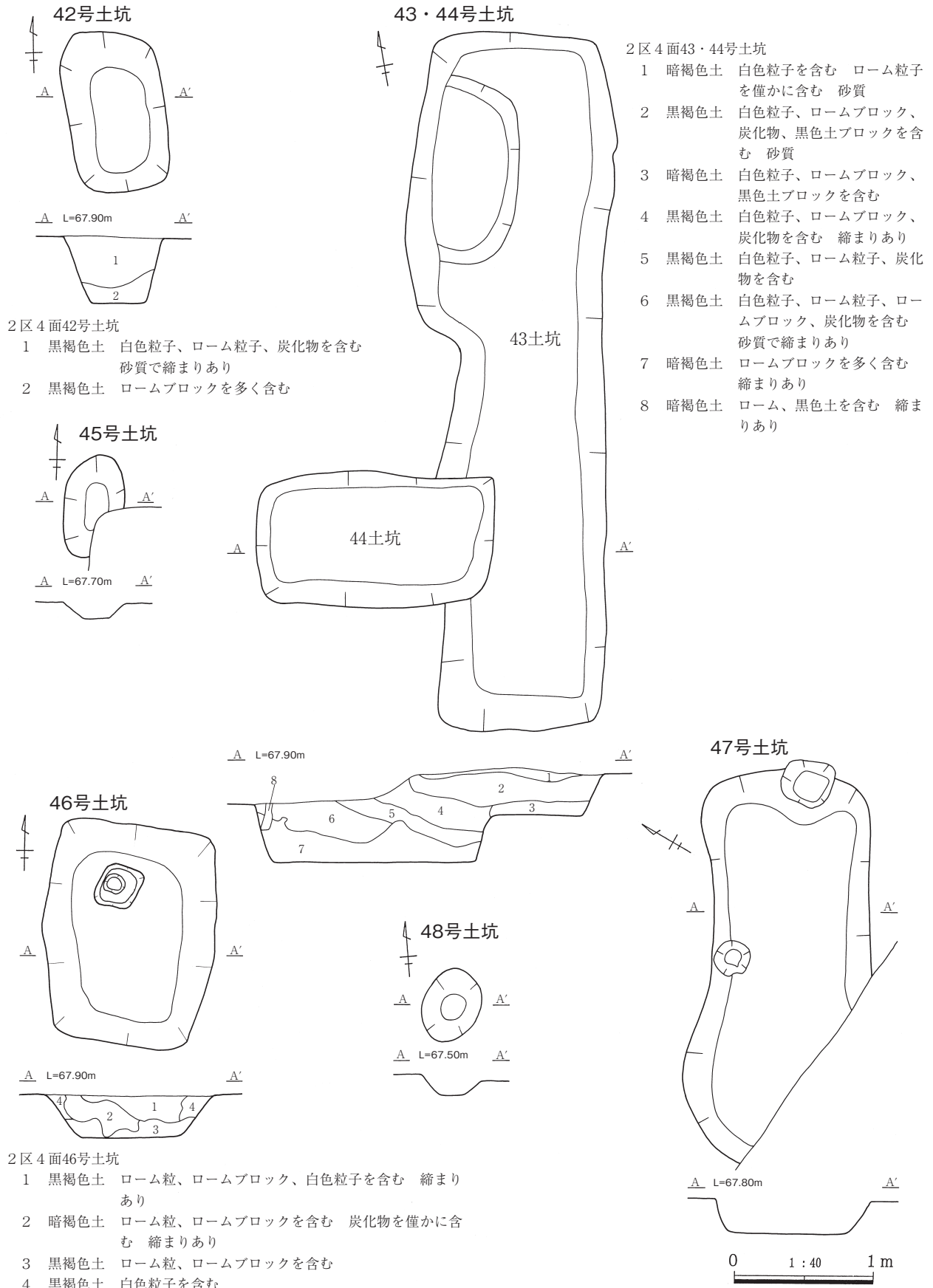


2区4面39・40号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子を多量に含む砂質土 ローム粒子を僅かに含む
- 2 黒色土 ロームを含む 粘性あり
- 3 暗褐色土 ロームを含む 粘性あり

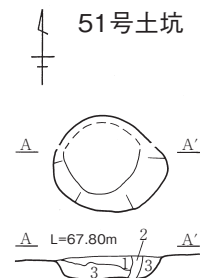
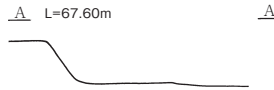
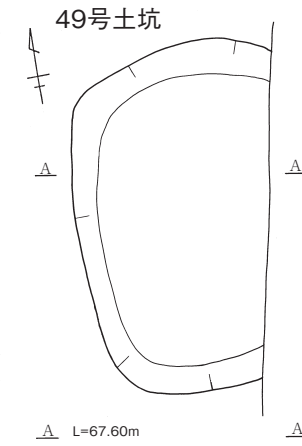
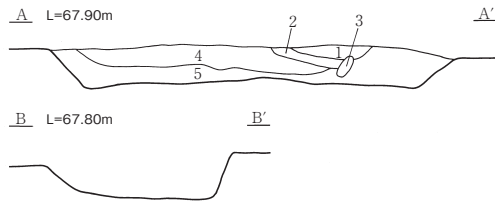
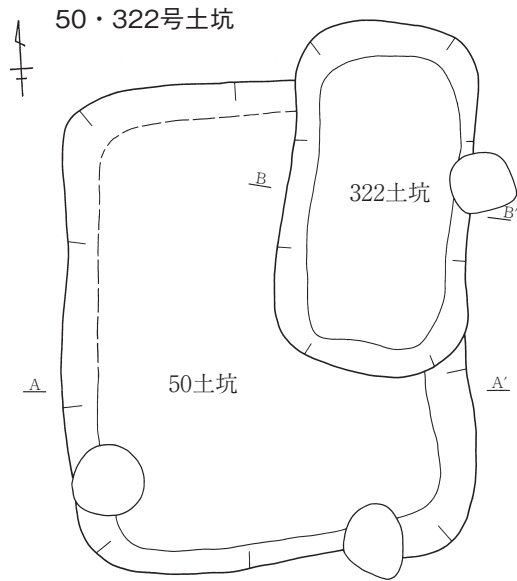


第107図 2区36~41号土坑



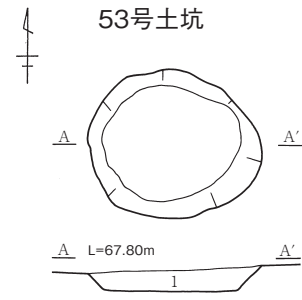
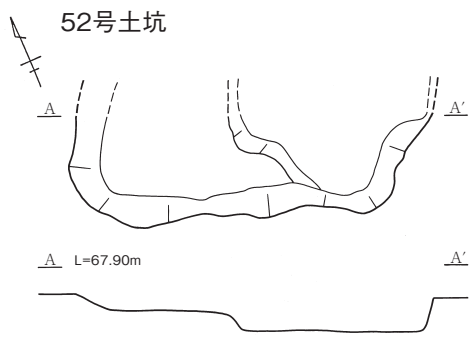
第108図 2区42~48号土坑



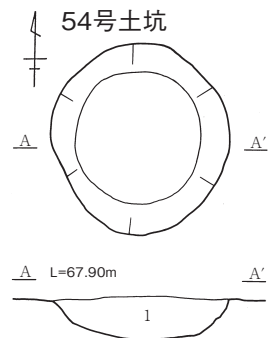


- 2区4面51号土坑
- 1 黒色土 焼土を多く含む 灰、炭化物を含む
  - 2 黒褐色土 ローム粒を多く含む
  - 3 暗褐色土 軽石粒を含む 締まりあり

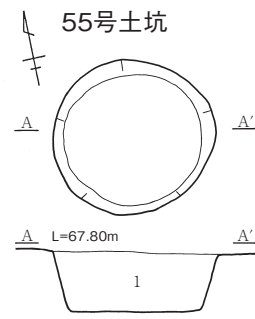
- 2区4面50号土坑
- 1 黒褐色土 焼土、灰、炭化物を含む
  - 2 黒褐色土 灰を含む
  - 3 黒褐色土 炭化物を多く含む
  - 4 黒褐色土 軽石粒、焼土、灰、炭化物を含む 砂質
  - 5 黒褐色土 軽石粒、ローム粒、炭化物を含む 砂質



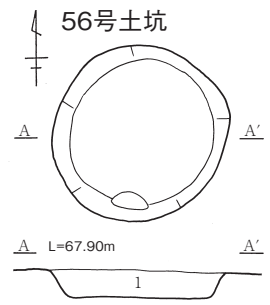
- 2区4面53号土坑
- 1 黒褐色土 ローム粒、ロームブロックを含む 軽石を多く含む 砂質



- 2区4面54号土坑
- 1 黒褐色土 ローム粒、軽石粒を含む 赤褐色粒子を僅かに含む 砂質で締まりあり

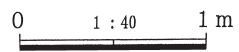


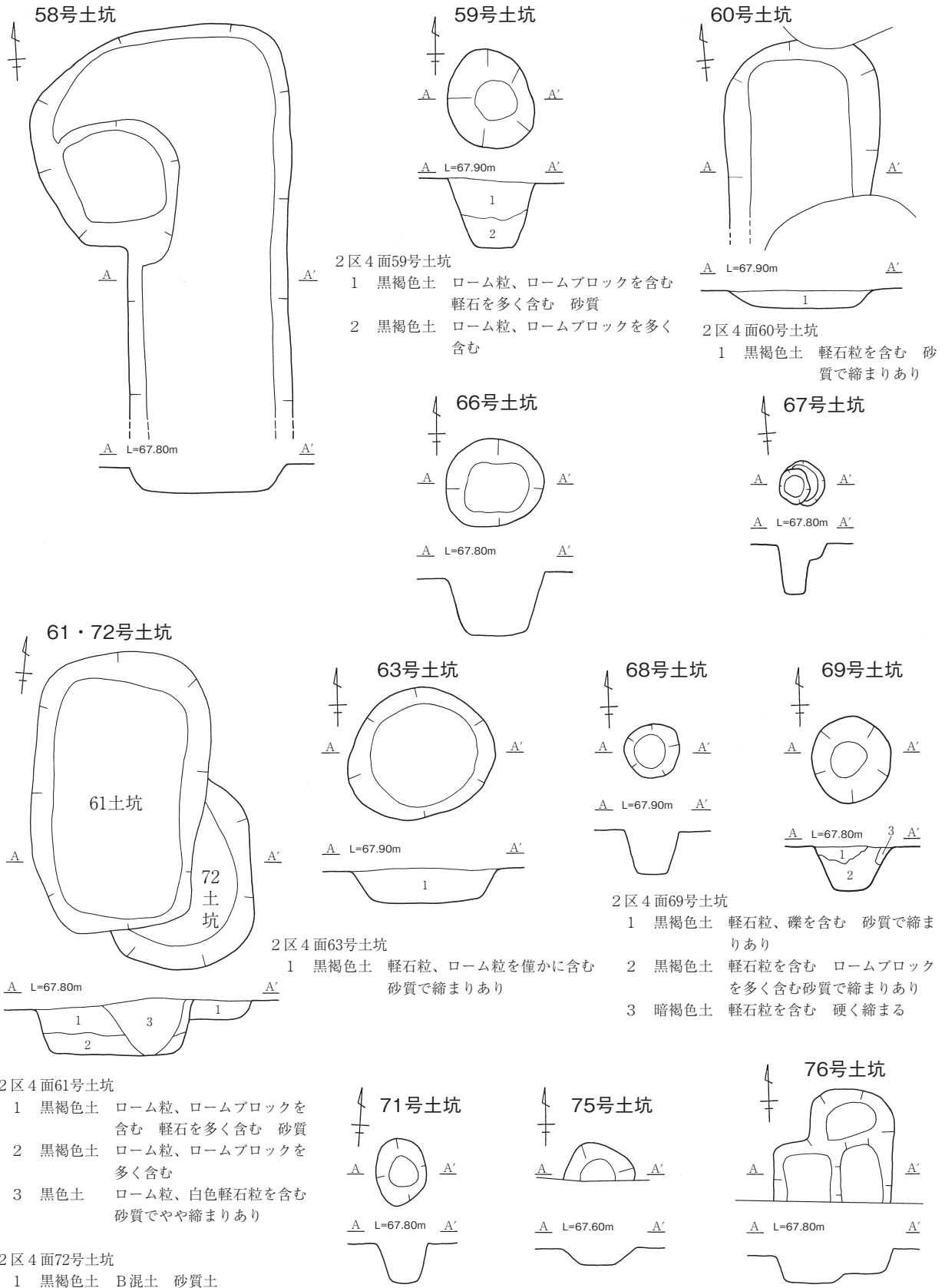
- 2区4面55号土坑
- 1 黒褐色土 ローム粒、ロームブロックを含む 軽石を多く含む 砂質



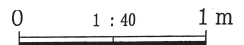
- 2区4面56号土坑
- 1 黒褐色土 ローム粒、ロームブロックを含む 軽石を多く含む 砂質

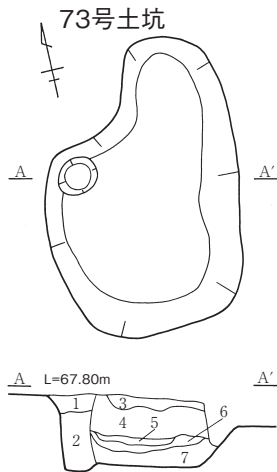
第109図 2区49~56・322号土坑





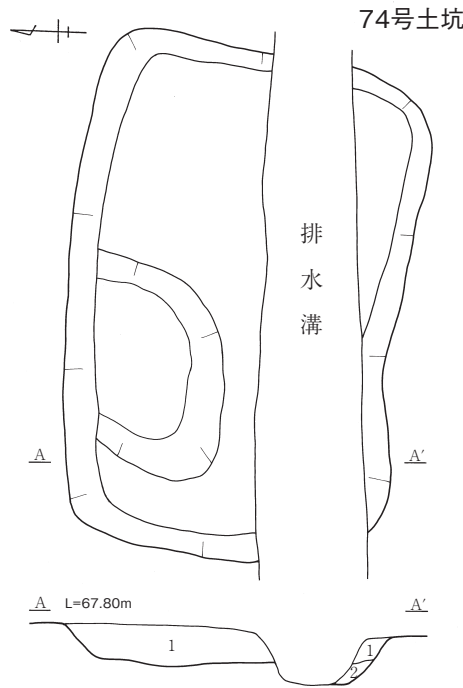
第110図 2区58~61・63・66~69・71・72・75・76号土坑





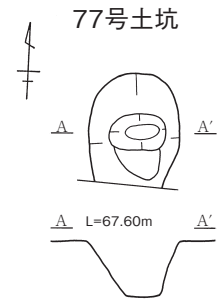
2区4面73号土坑

- 1 黒褐色土 軽石粒を含む 締まりあり
- 2 黒褐色土 軽石粒を含む 赤褐色粒子を僅かに含む 締まりあり
- 3 黒褐色土 ローム粒子を多く含む
- 4 黒褐色土 ローム粒子を含む 締まりあり
- 5 黒褐色土 シルト質 締まりあり
- 6 暗褐色土 荒い砂 ローム粒を僅かに含む
- 7 黒色土 ロームブロックを含む

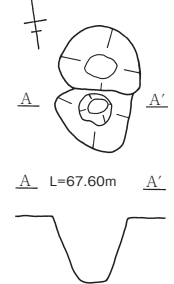


2区4面74号土坑

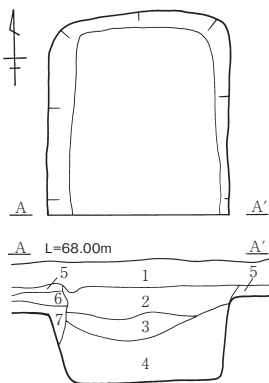
- 1 黒褐色土 軽石粒、ローム粒を含む 砂質 硬く締まる
- 2 黒褐色土 ロームブロックを多く含む 砂質 硬く締まる



2区4面77号土坑



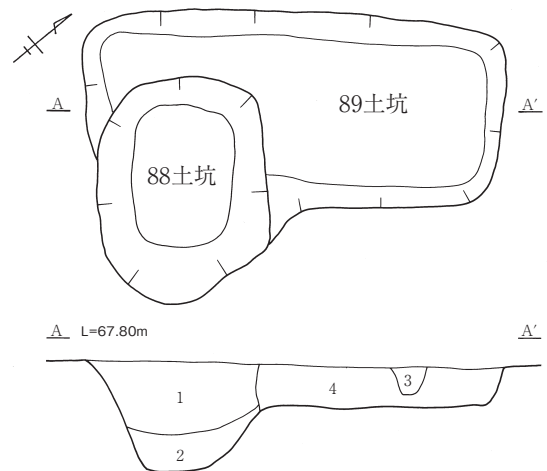
78号土坑



2区4面78号土坑

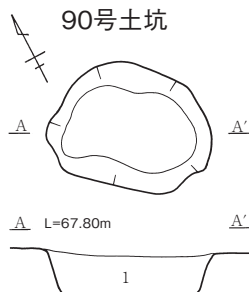
- 1 黒褐色土 As-B混土（淡）
- 2 黒褐色土 軽石粒を多く含む 赤褐色粒子、ローム粒を含む 砂質 硬く締まる
- 3 黒褐色土 軽石粒、ローム粒を僅かに含む 砂質
- 4 黒褐色土 軽石粒、ローム粒、礫を含む 砂質
- 5 黒褐色土 As-B混土（濃）
- 6 黒色土 軽石粒を含む きめの細かい土
- 7 黒褐色土 軽石粒を含む きめの細かい土

88・89号土坑



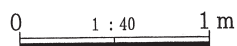
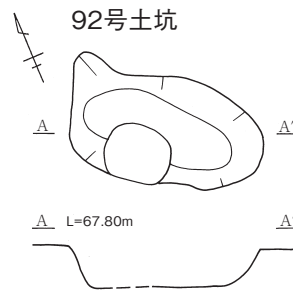
2区4面88・89号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ロームブロックを含む 砂質 締まりあり
- 2 黒褐色土 ロームブロックが堆積している 砂質
- 3 黒褐色土 白色粒子ローム粒子を含む
- 4 黒褐色土 白色粒子を含む ロームブロックを多く含む

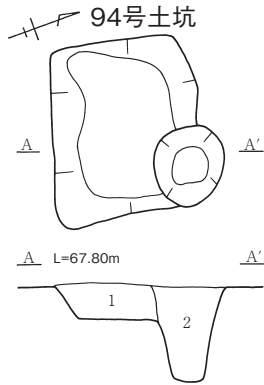


2区4面90号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ロームブロックを含む 砂質

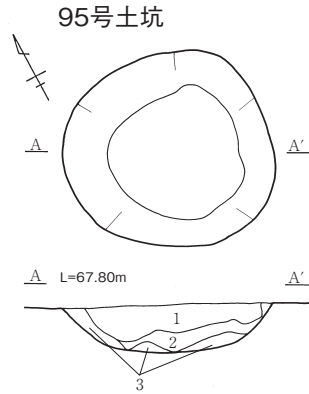


第111図 2区73・74・77～79・88～90・92号土坑



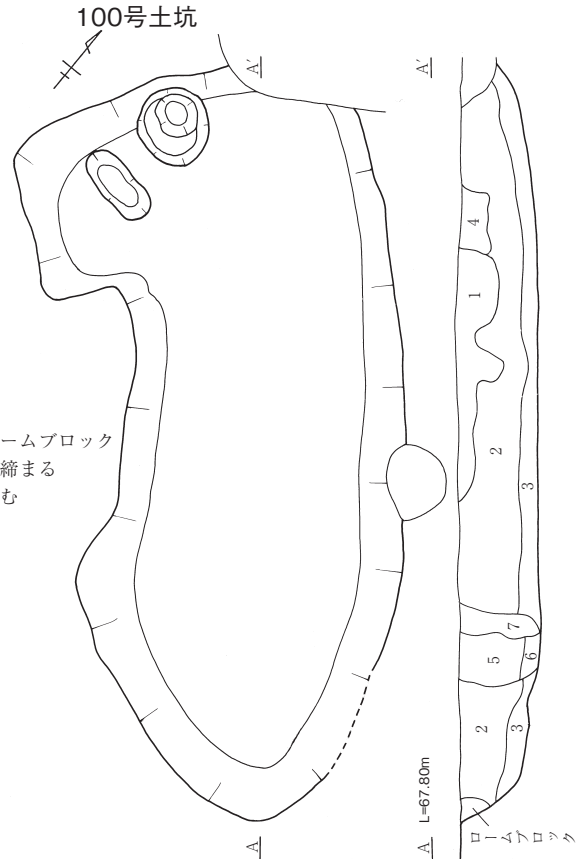
2区4面94号土坑

- 1 黒褐色土 ロームブロックを含む 砂質
- 2 黒褐色土 ロームブロックを含む 柱穴



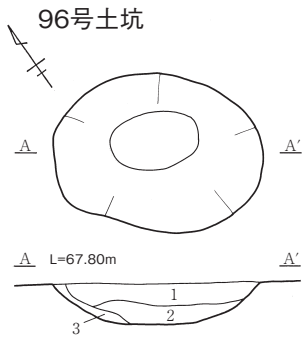
2区4面95号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子を多く含む ロームブロックを多く含む 砂質 硬く締まる
- 2 黒褐色土 ロームブロックを多く含む
- 3 黄褐色土 硬質ローム



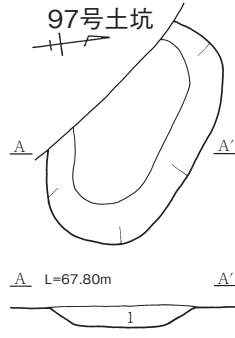
2区4面100号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒、ロームブロックを多く含む 軽石粒を含む
- 2 黒色土 ローム粒、ロームブロックを多く含む
- 3 黒褐色土 ローム粒を含む
- 4 黒褐色土 ロームを僅かに含む
- 5 黒褐色土 ローム粒を多く含む 柱穴
- 6 黒褐色土 ロームブロックを僅かに含む 柱穴
- 7 暗褐色土 ローム粒を含む 柱穴



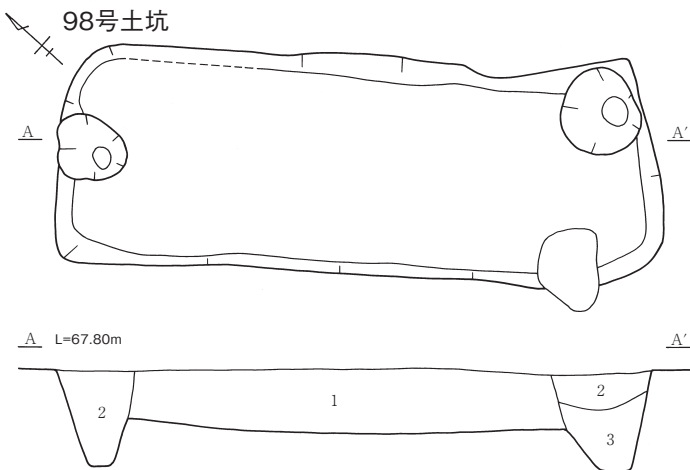
2区4面96号土坑

- 1 暗褐色土 白色粒子、ロームブロックを含む 砂質 硬く締まる
- 2 黒褐色土 ロームブロックを多く含む
- 3 黄褐色土 硬質ローム



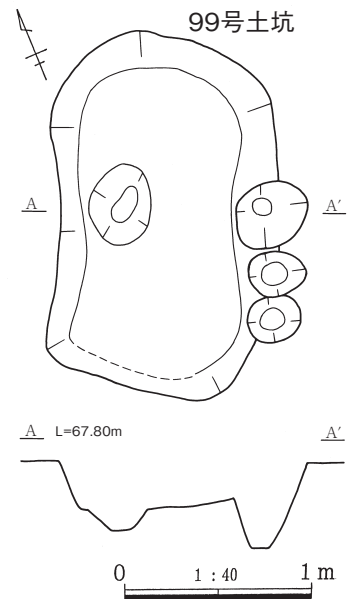
2区4面97号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ロームブロックを含む 砂質 硬く締まる



2区4面98号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒、ロームブロックを多く含む 軽石粒を含む
- 2 黒褐色土 ローム粒を含む
- 3 暗褐色土 ロームを多く含む

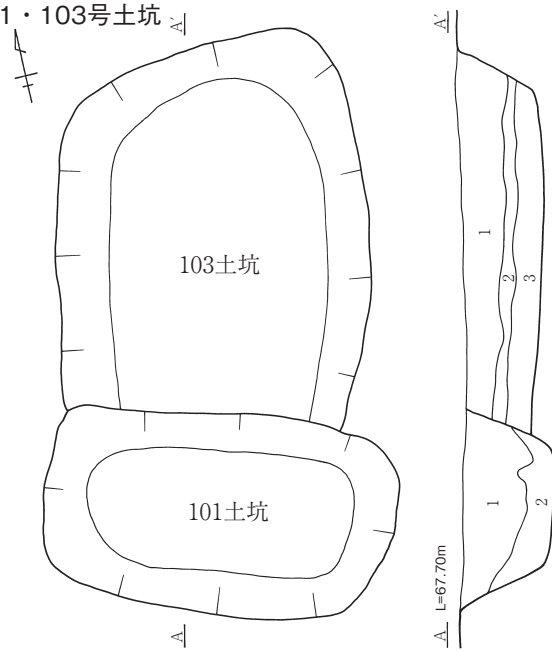


99号土坑

0 1:40 1m

第112図 2区94~100号土坑

101・103号土坑



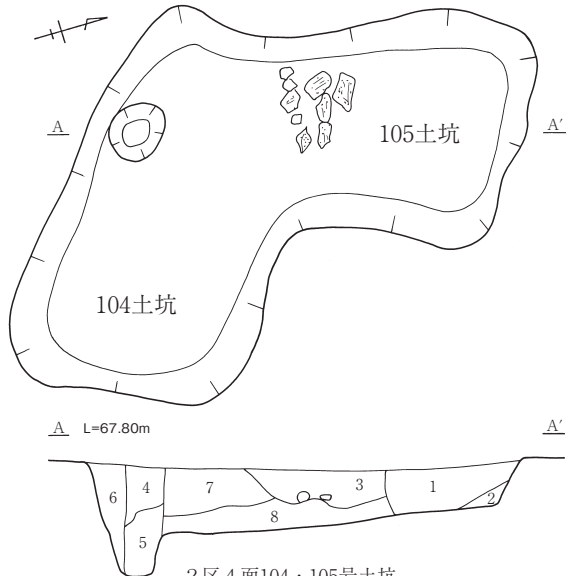
2区4面101号土坑

- 1 黒色土 軽石粒、ローム粒、ロームブロックを多く含む
- 2 黒褐色土 ローム粒、ロームブロックを多く含む

2区4面103号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒、軽石粒を含む 砂質
- 2 黒色土 ローム粒を僅かに含む 軽石粒を含む 砂質
- 3 黒褐色土 ロームを多く含む 軽石粒を含む 砂質

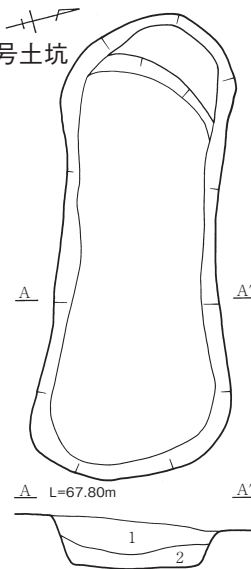
104・105号土坑



2区4面104・105号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ロームブロックを含む 砂質
- 2 黒褐色土 白色粒子を含む ローム粒を僅かに含む 硬く締まる
- 3 黒褐色土 白色粒子、ロームブロックを含む
- 4 暗褐色土 赤褐色粒子（鉄分）を含む
- 5 黒褐色土 赤褐色粒子（鉄分）を含む
- 6 黒褐色土 白色粒子、ロームブロックを含む
- 7 黒褐色土 白色粒子を含む ロームブロックを多く含む
- 8 黒色土 白色粒子を含む ロームブロックを多く含む

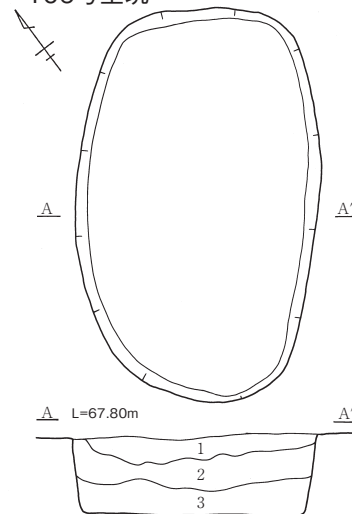
102号土坑



2区4面102号土坑

- 1 暗褐色土 軽石粒を多く含む ローム粒、ロームブロックを多く含む 砂質
- 2 黒褐色土 ローム粒、軽石粒を含む 砂質

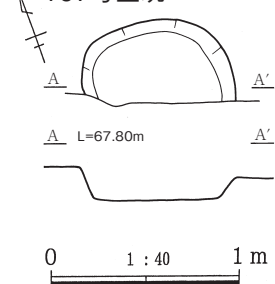
106号土坑



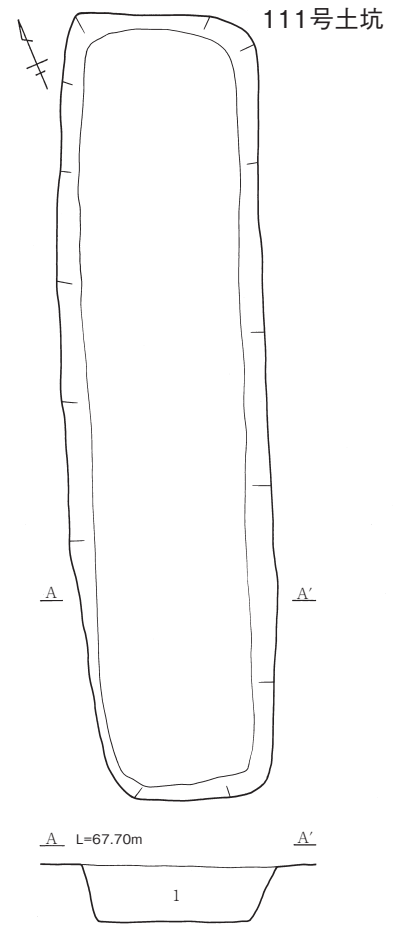
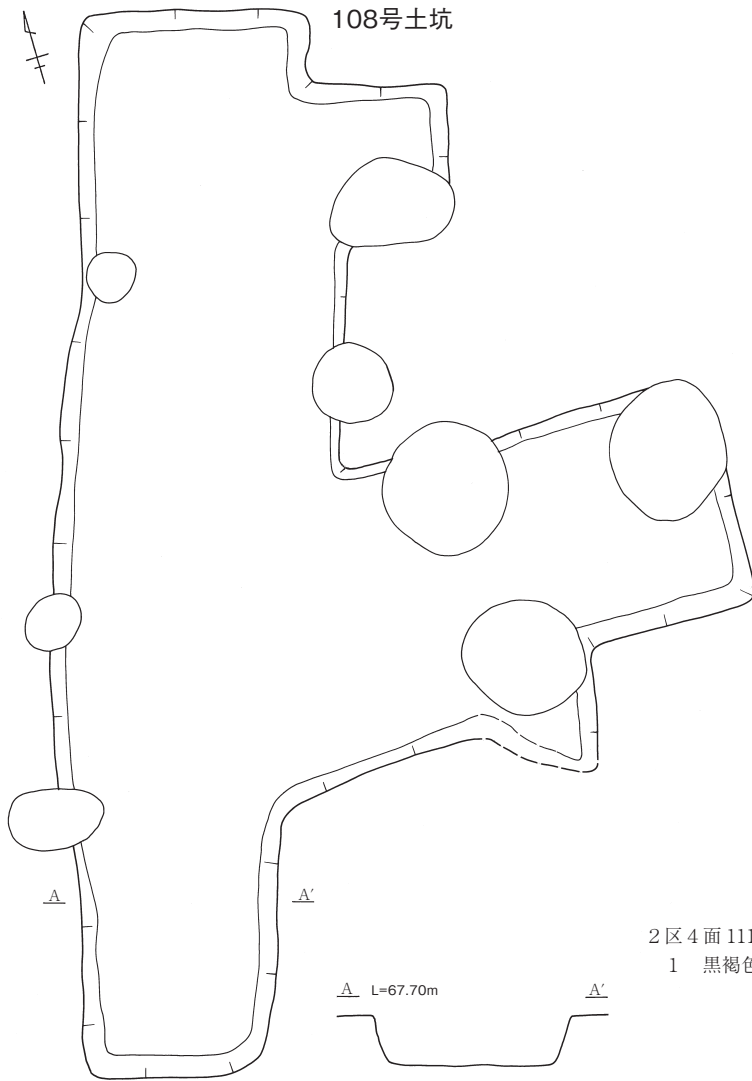
2区4面106号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子を含む ロームブロックを多く含む
- 2 黒褐色土 白色粒子、ロームブロックを含む
- 3 黒褐色土 白色粒子を含む ロームブロックを多く含む

107号土坑

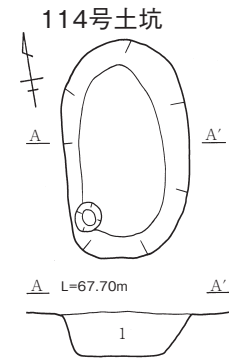
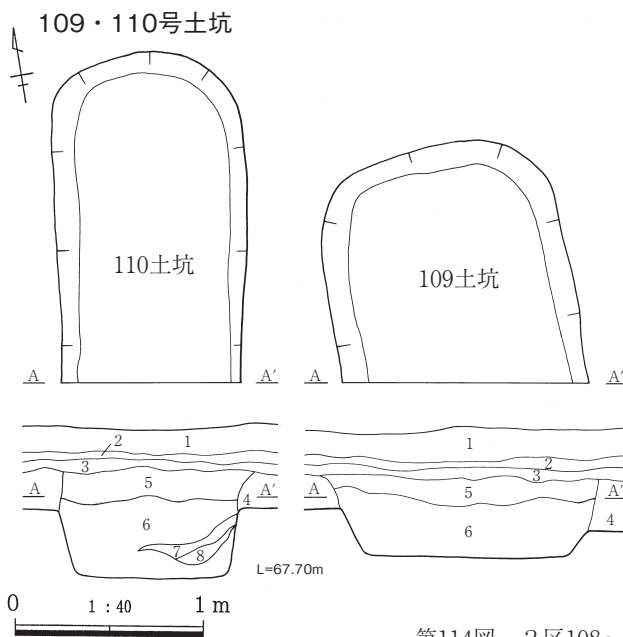


第113図 2区101～107号土坑



2区4面111号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子を含む ローム粒子、ロームブロックを多く含む 砂質 締まりあり



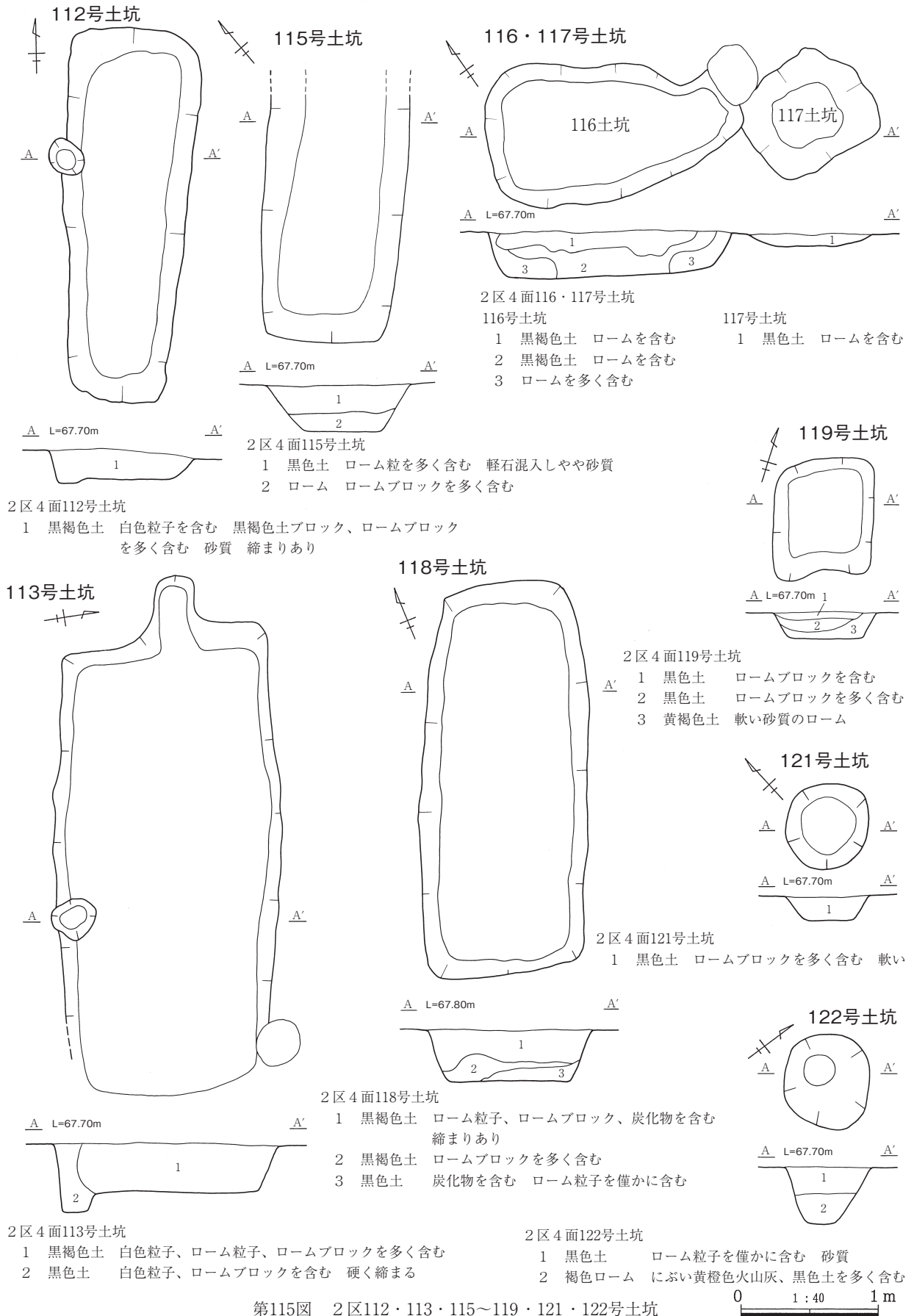
2区4面114号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子を含む ロームブロックを僅かに含む

2区4面109・110号土坑

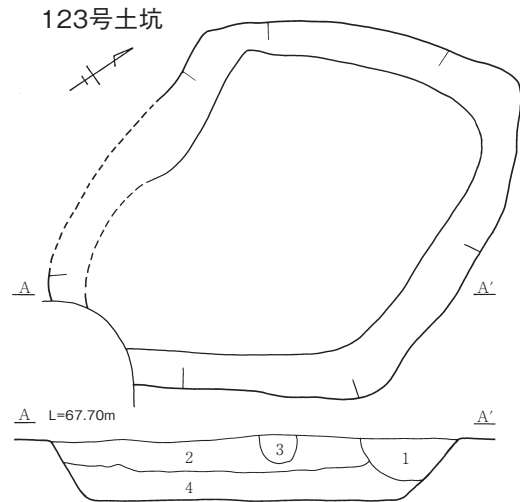
- 1 灰黄褐色土 表土 白色粒子混入  
 2 にぶい黄褐色土 白色粒子、鉄分を含む  
 3 暗褐色土 白色粒子を含む 鉄分を多く含む  
 4 黒色土 白色粒子を含む  
 5 黒褐色土 白色粒子、ローム粒子を含む  
 6 黒褐色土 白色粒子、黒色土粒子を含む ローム粒子、ロームブロックを多く含む  
 7 にぶい黄褐色土 軟質ローム  
 8 黒色土 ロームブロックを多く含む

第114図 2区108~111・114号土坑



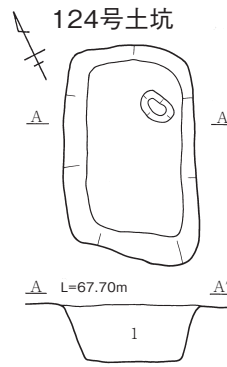
第115図 2区112・113・115～119・121・122号土坑

II 発掘調査の記録



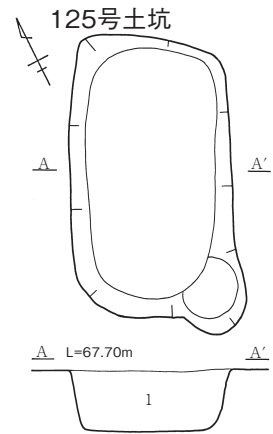
2区4面123号土坑

- 1 黒色土 ローム粒子を僅かに含む 砂質
- 2 黒色土 ロームブロックを多く含む
- 3 黒褐色土 軽石粒、赤褐色粒（鉄分）を含む
- 4 褐色ローム におい黄橙色火山灰、黒色土を多く含む



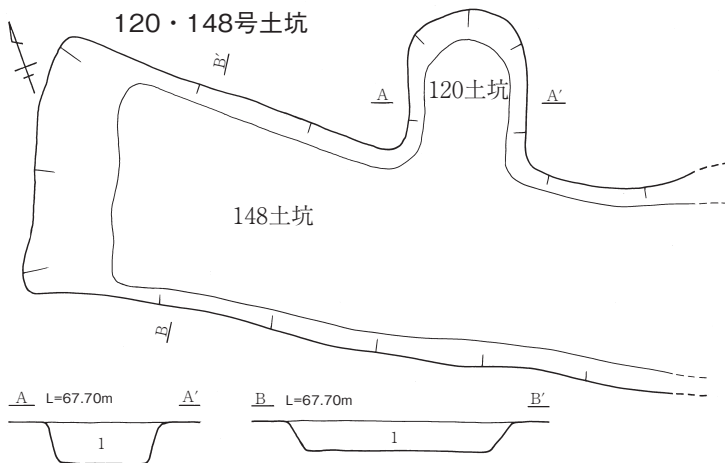
2区4面124号土坑

- 1 黒色土 ロームブロックを含む 砂質 軟い



2区4面125号土坑

- 1 黒色土 褐色、におい黄橙色ブロックを多く含む 砂質 軟い

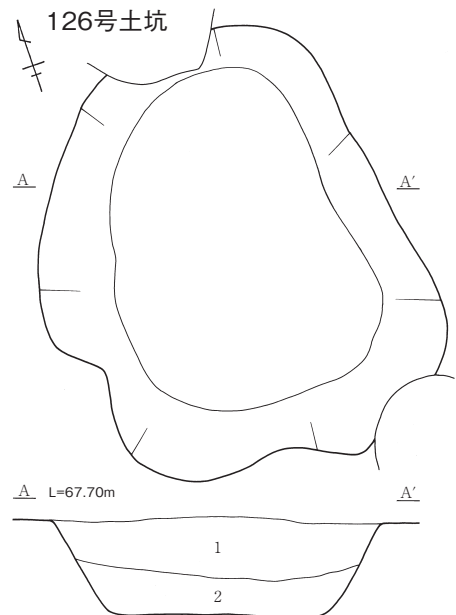


2区4面120号土坑

- 1 黒褐色土 軽石粒を含む ロームブロックを多く含む 砂質 締まりあり

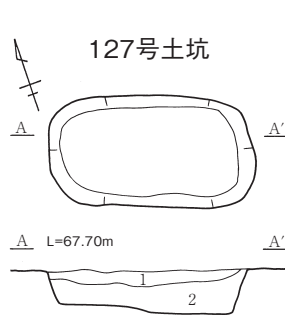
2区4面148号土坑

- 1 明褐色ロームと黒褐色土が50%ずつ混入 砂質 軟い



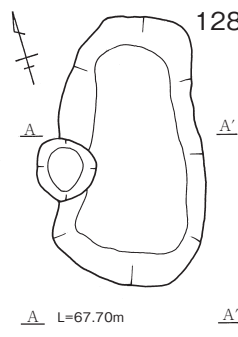
2区4面126号土坑

- 1 黒色土 ロームブロックを含む 砂質
- 2 黒色土 ロームブロックを多く含む 軟い



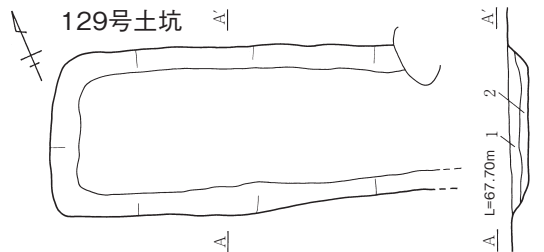
2区4面127号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒子を含む 砂質
- 2 黒色土 ロームブロックを多く含む



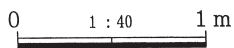
2区4面128号土坑

- 1 黒色土 炭化物、軽石粒、ロームブロックを含む 砂質 軟い
- 2 におい黄褐色土 ローム 黒色土ブロック、褐色ロームブロックを多く含む 軟い



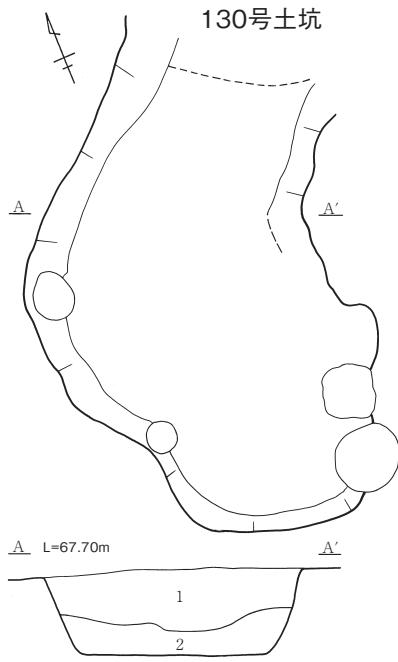
2区4面129号土坑

- 1 黒色土 軽石粒、ロームブロックを含む 砂質
- 2 黒褐色土 ロームブロックを多く含む



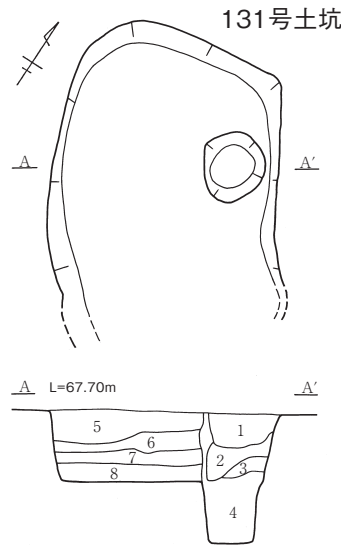
第116図 2区120・123～129・148号土坑





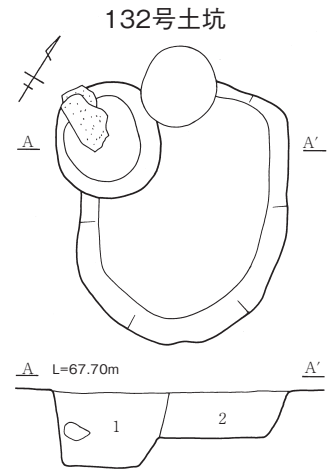
2区4面130号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ロームブロック、黒色土ブロックを含む 炭化物を僅かに含む 砂質
- 2 黒色土 黒色土ブロックとロームブロックが50%ずつ水平に堆積



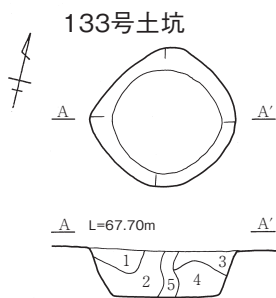
2区4面131号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、赤褐色粒(鉄分)を含む 砂質 縮まりあり
- 2 黒褐色土 ローム粒を含む 軟い
- 3 黒色土 軟い
- 4 黒褐色土 ロームブロックを含む 粘性あり
- 5 黒色土 ローム粒子を僅かに含む 軟い
- 6 黒褐色土 黒褐色土ブロックと黄褐色ロームブロックが50%ずつ混入
- 7 黒色土 砂質 軟い
- 8 黒褐色土 黒褐色土粘質土ブロックと黄褐色ロームブロックが50%ずつ混入



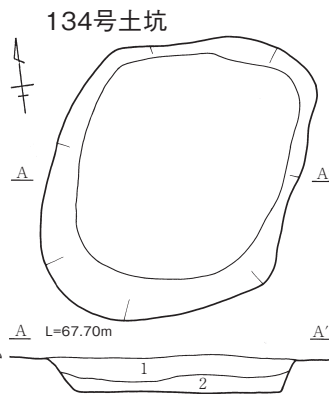
2区4面132号土坑

- 1 黒褐色土 黒色土ブロック、ロームブロックを含む 砂質 縮まりあり
- 2 黒褐色土 黒色土ブロック、ロームブロックを含む 砂質 軟い



2区4面133号土坑

- 1 黒褐色土 白色粒子、ロームブロックを含む 砂質
- 2 黒褐色土 白色粒子、ロームブロックを多く含む 砂質
- 3 黒褐色土 白色粒子、黒色土ブロックを含む 砂質 軟い
- 4 褐色土 ローム 黒色土ブロックを多く含む
- 5 にぶい黄黒褐色土 ローム 黒色土ブロックを含む

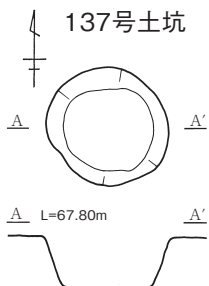
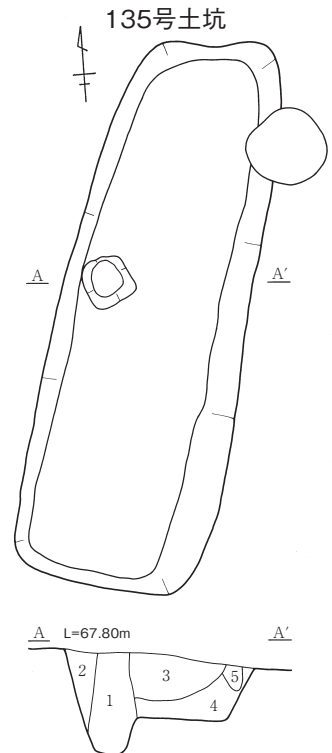


2区4面134号土坑

- 1 黒色土 白色粒子、ロームブロックを含む 炭化物を僅かに含む 砂質 軟い
- 2 黒色土 ロームブロックを多く含む 砂質 軟い

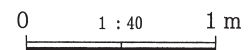
2区4面135号土坑

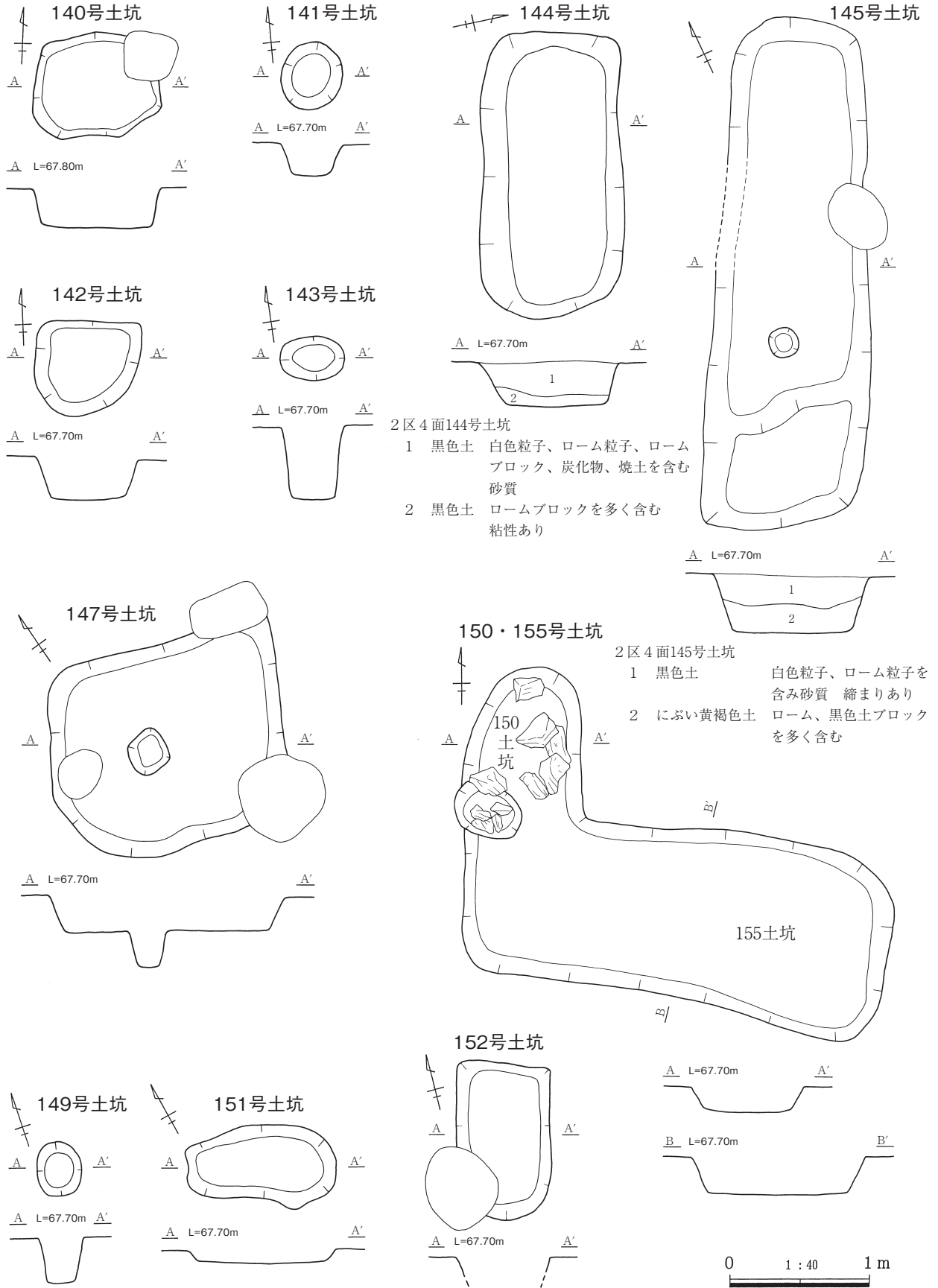
- 1 黒褐色土 焼土、ロームブロックを僅かに含む 軟い
- 2 黒褐色土 焼土、炭化物を僅かに含む 硬く縮まる
- 3 黒褐色土 白色粒子、ローム粒子、ロームブロックを含む 炭化物を僅かに含む 砂質 縮まりあり
- 4 黒褐色土 白色粒子、炭化物を含む 砂質 縮まりあり
- 5 黒褐色土 ロームブロックを多く含む 砂質



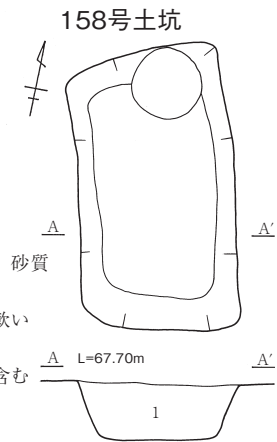
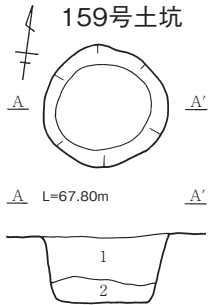
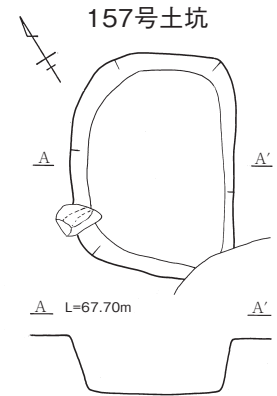
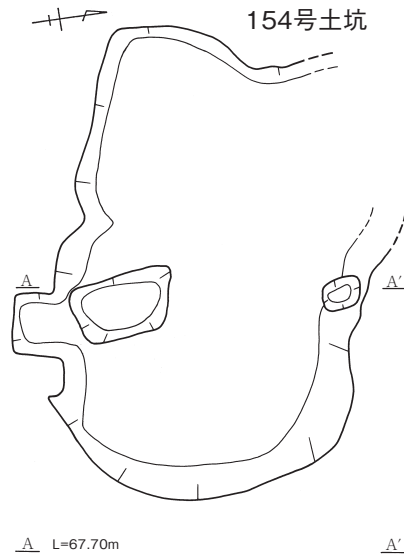
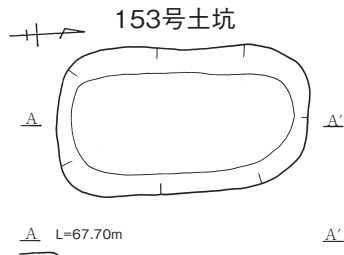
137号土坑

第117図 2区130~135・137号土坑





第118図 2区140~145・147・149~152・155号土坑



2区4面159号土坑

- 1 黒褐色土 軽石粒を含む ローム粒を多く含む 縮まりあり
- 2 黒色土 軽石粒を含む ローム粒を僅かに含む

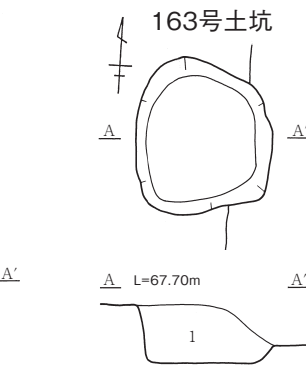
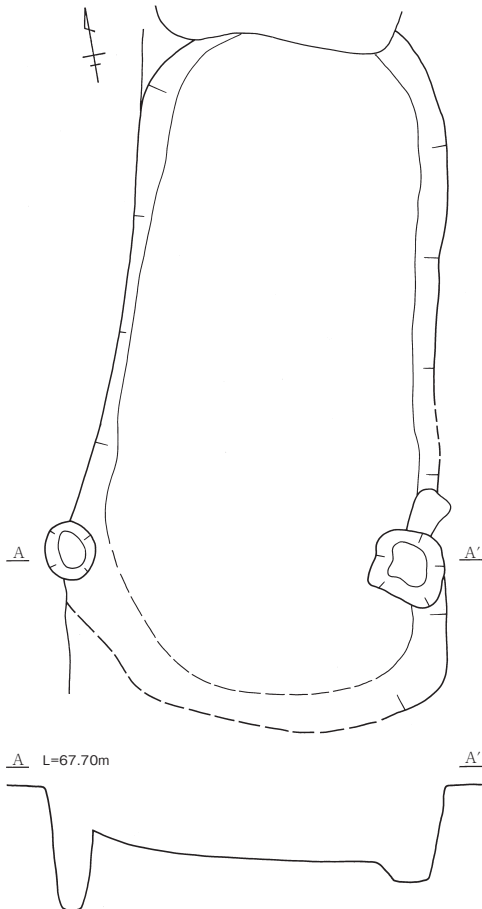
2区4面154号土坑

- 1 黒褐色土 ローム粒、軽石粒、炭化物を含む 砂質
- 2 褐色土 ローム 黒褐色土粒を多く含む
- 3 黒色土 ローム粒子を僅かに含む 砂質 軟い
- 4 にぶい黄褐色土 軟質ローム
- 5 黒褐色土 ローム粒子、黒色土粒子を僅かに含む 砂質 縮まりあり

2区4面158号土坑

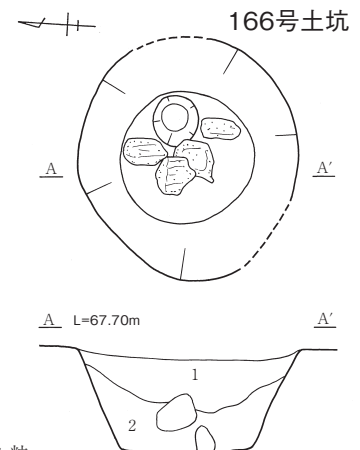
- 1 黒褐色土 軽石粒、黒色土粒、ローム粒を含む 砂質

162号土坑



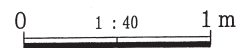
2区4面163号土坑

- 1 黒褐色土 軽石粒を含む ローム粒を多く含む 縮まりあり



2区4面166号土坑

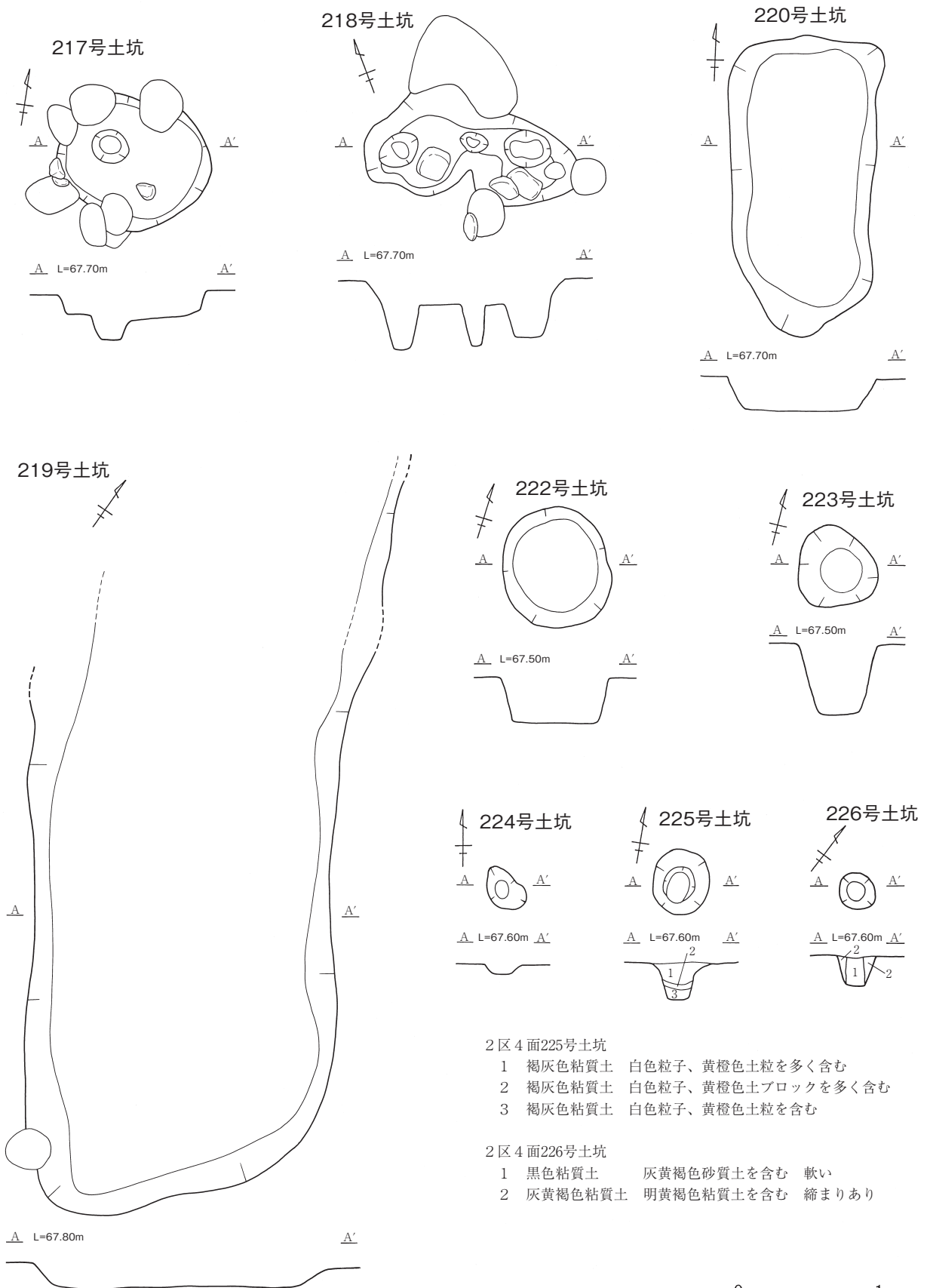
- 1 褐色ローム 黒褐色土粒、にぶい黄褐色土粒を含む 軟い
- 2 褐色ローム 黒褐色土粒、にぶい黄褐色土粒、礫を含む 軟い



第119図 2区153・154・157～159・162・163・166号土坑

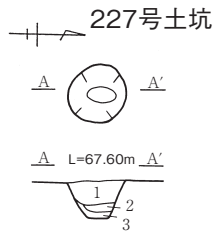


第120図 2区167・168・173・175～178・180～182・213・214・216号土坑



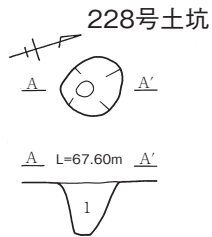
第121図 2区217～220・222～226号土坑

II 発掘調査の記録



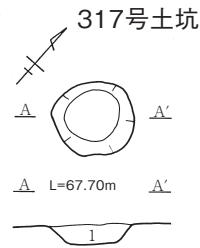
2区4面 227号土坑

- 1 黒色粘質土 やや軟い
- 2 黒色粘質土 黄灰色砂質土ブロックを含む 粘性あり
- 3 灰黄褐色粘質土 締まりあり



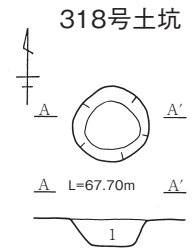
2区4面 228号土坑

- 1 黒色粘質土 にぶい黄橙色シルト質土ブロックを含む 軟い



2区4面 317号土坑

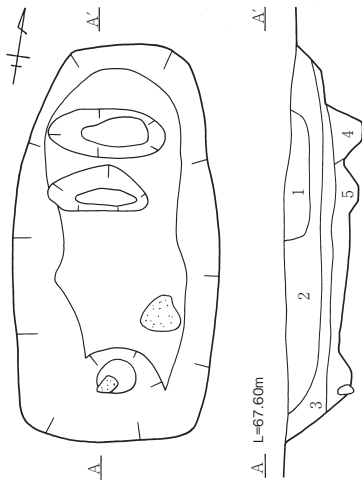
- 1 黒褐色粘質土 白色粒子、明褐色土ブロックを多く含む



2区4面 318号土坑

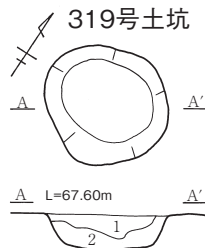
- 1 褐灰シルト質土 明褐色土、灰白色ブロックを多く含む

229号土坑



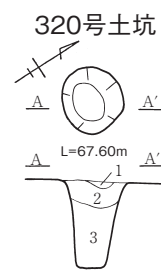
2区4面 229号土坑

- 1 黒色シルト質土 焼土ブロックを多く含む 軟い
- 2 黒色シルト質土 軟い
- 3 灰白色粘質土 黒色土ブロックを多く含む
- 4 黒色シルト質土 灰白色ブロックを含む
- 5 黒色シルト質土 灰白色ブロックを多く含む



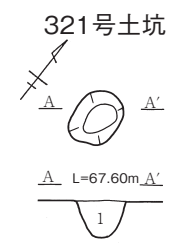
2区4面 319号土坑

- 1 褐灰シルト質土 明褐色土、灰白色ブロックを多く含む
- 2 黒色粘質土



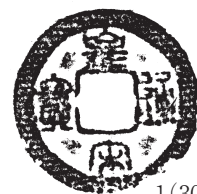
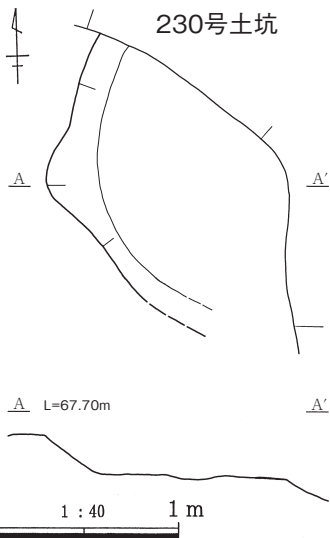
2区4面 320号土坑

- 1 黒色粘質土 灰色土を含む 白色粒子を多く含む
- 2 黒色粘質土 灰色土ブロック、白色粒子を多く含む
- 3 黒色粘質土 白色粒子を多く含む



2区4面 321号土坑

- 1 黒褐色シルト質土 灰白色土、黄橙色土、黒色土ブロックを多く含む



1(30土)  
(1/1)



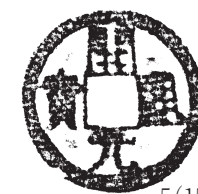
2(58土)  
(1/1)



3(101土)  
(1/1)



4(108土)  
(1/1)

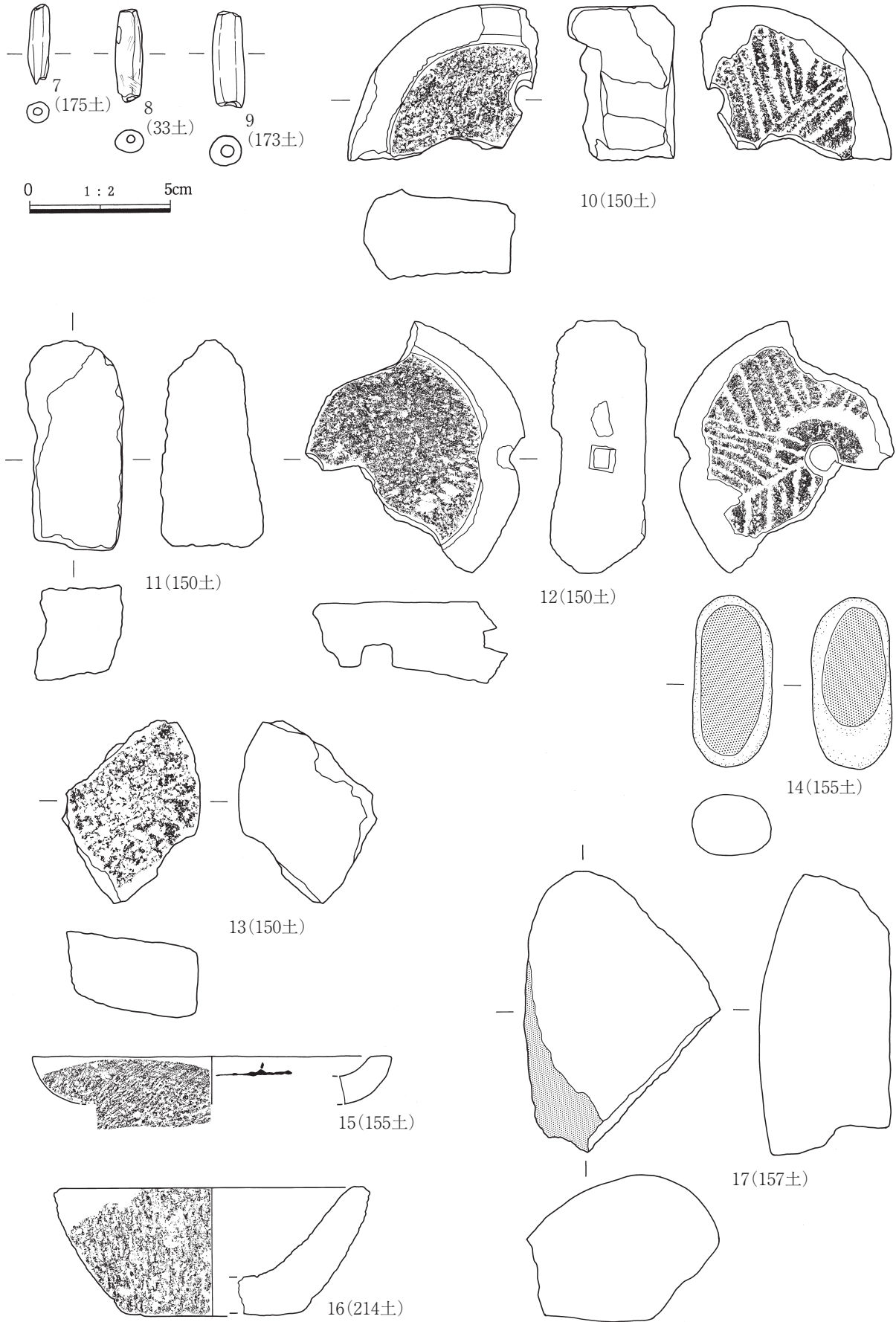


5(152土)  
(1/1)



6(154土)  
(1/1)

第122図 2区227~230・317~321号土坑と土坑出土遺物(1)



第123図 2区土坑出土遺物(2)

**319号土坑**（第122図、PL55）

89Q-4グリッドに位置する。円形平面を呈し、径69cm×62cm、深さ45cmを測る。

**320号土坑**（第122図、PL55）

89T-2グリッドに位置する。円形平面を呈し、径34cm×32cm、深さ45cmを測る。

**321号土坑**（第122図、PL55）

79N-19グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径31cm×24cm、深さ19cmを測る。

**掘立柱建物**（第124～140図、PL56～58）

掘立柱建物は14棟確認された。いずれも発掘調査時に検出したもので、館西区画に集中する。館内には、土層断面に柱痕をもつ土坑や、柱穴と推定できるピット類が多数検出されている。これら800基以上の柱穴状遺構の類が全て掘立柱建物を構成するものではないであろうが、立棟が確認されていない建物も含まれるものと思われる。ここでは、発掘調査によって確認した14棟について報告を行う。土坑やピット類については、それぞれ遺構別に報告するものとした。

掘立柱建物は、同様の地点に設置される場合が多いため、いずれの建物も2棟～4棟間に重複が認められる。さらに棟方向も南北方向もしくは東西方向を示し、館区画の形状に則した配置となっている。

館北側部分の掘立柱建物群は、区画溝（48号溝）に平行するように棟方向を東西方向とする建物が集中し、5棟（9・10・11・13・4号掘立柱建物）が重複する。

これら建物群の南側にも掘立柱建物群の集中部があるが、ここでは棟方向を東西方向にもつ建物とともに南北方向となる建物も含まれる。

なお、掘立柱建物群間の重複について、それぞれの時間的新旧関係については把握されていない。しかし、掘立柱建物群と重複する方形土坑との関係では、掘立柱建物（柱穴）が新しい傾向があるとの調査所見が得られている。

**2号掘立柱建物**（第125図、PL56）

**位置** 89J-11グリッドに位置する。

**主軸方位** N-28°-E

**重複** 3号掘立柱建物、108号土坑と重複する。

**形態** 桁行3間、梁行2間。桁行長は600cmで、柱間は200cm。梁行長は400cmで、柱間は200cmを測る南北棟。

**面積** 24.0㎡

**柱穴** 10ヶ所確認された。径97cm～48cmと平面規模に差があるが、深さは40cm～50cm前後を計測する。

**その他** 出土遺物は認められていない。

**3号掘立柱建物**（第126図、PL56）

**位置** 89J-11グリッドに位置する。

**主軸方位** N-68°-W

**重複** 2号掘立柱建物、108号土坑と重複する。

**形態** 桁行2間、梁行2間。桁行長は400cmで、柱間は200cm。梁行長は320cmで、柱間は160cmを測る東西棟。

**面積** 12.8㎡

**柱穴** 6ヶ所確認された。南辺および東辺側の中央柱穴は確認できていない。径30cm～40cmと円形平面で、深さは20cm～30cm前後を計測する。

**その他** 出土遺物は認められていない。

**4号掘立柱建物**（第127・128図、PL56・57）

**位置** 89L-8グリッドに位置する。

**主軸方位** N-81°-W

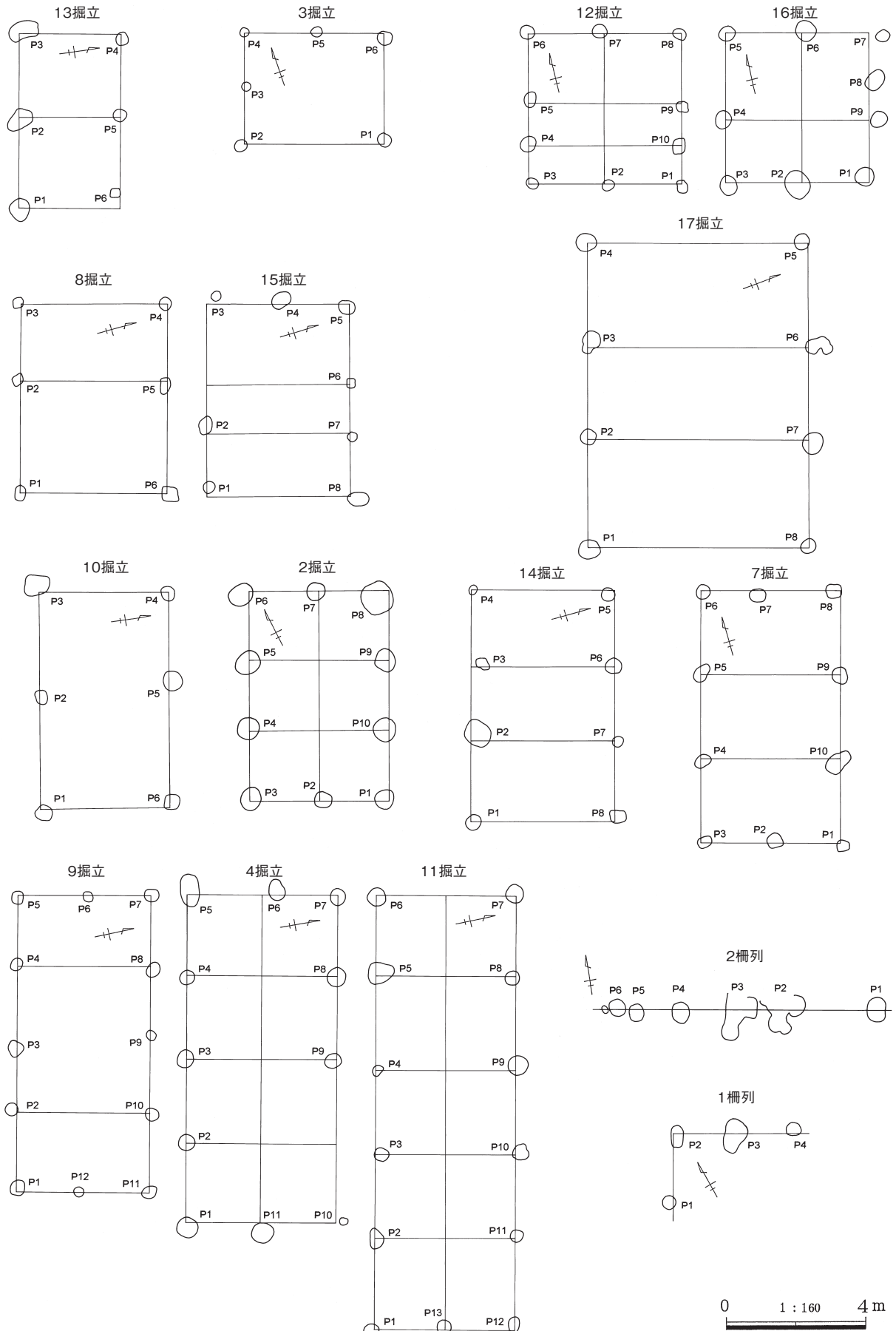
**重複** 13号掘立柱建物、12号井戸、152・153号土坑と重複する。

**形態** 桁行4間、梁行2間。桁行長は850cmで、柱間は180cm～240cm。梁行長は380cmで、柱間は180cm～200cmを測る東西棟。

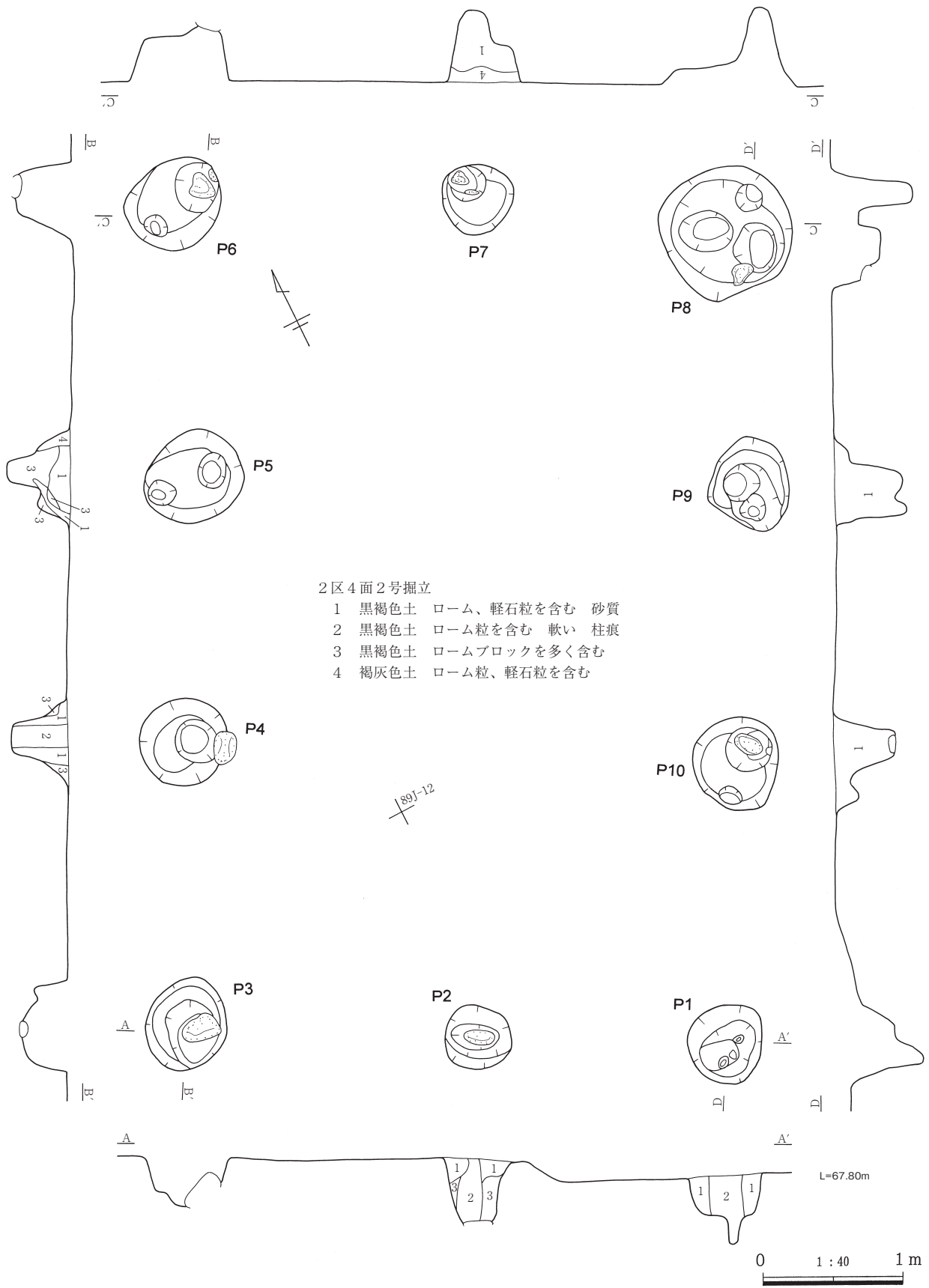
**面積** 39.48㎡

**柱穴** 11ヶ所確認された。北東隅（P10）が柱軸線からやや北側にはずれる。また、P10の西側柱穴は確認できていない。径50cm～60cmの円形平面で、深さは40cm～70cm前後を計測する。





第124図 2区掘立柱建物、柵列 分類一覧図



第125図 2区2号掘立柱建物

その他 出土遺物は認められていない。

#### 7号掘立柱建物（第129図、PL57）

位置 89I-7グリッドに位置する。

主軸方位 N-17°-E

重複 8号掘立柱建物と重複する。

形態 桁行3間、梁行2間。桁行長は720cmで、柱間は240cm。梁行長は400cmで、柱間は160cm～240cmを測る南北棟。

面積 28.8㎡

柱穴 10ヶ所確認された。径40cm～70cm、深さは40cm～50cm前後を計測する。

その他 出土遺物は認められていない。

#### 8号掘立柱建物（第130図、PL57）

位置 89I-7グリッドに位置する。

主軸方位 N-81°-W

重複 7号掘立柱建物、158号土坑と重複する。

形態 桁行2間、梁行1間。桁行長は540cmで、柱間は220cm～320cm。梁行長は420cmを測る東西棟。

面積 22.94㎡

柱穴 6ヶ所確認された。径40cm前後、深さは22cm～36cmを測るが、P6は67cmと深い。

その他 出土遺物は認められていない。

#### 9号掘立柱建物（第131図、PL57）

位置 89L-6グリッドに位置する。

主軸方位 N-75°-W

重複 10・11号掘立柱建物、113号土坑と重複する。

形態 桁行4間、梁行2間。桁行長は850cmで、柱間は180cm～240cm。梁行長は380cmで、柱間は180cm～200cmを測る東西棟。

柱穴 12ヶ所確認された。径30cm～40cm、深さは40cm～50cm前後を計測する。

その他 出土遺物は認められていない。

#### 10号掘立柱建物（第132図、PL58）

位置 89L-7グリッドに位置する。

主軸方位 N-78°-W

重複 9・11号掘立柱建物と重複する。

形態 桁行2間、梁行1間。桁行長は620cmで、柱間は260cm～360cm。梁行長は370cm測る東西棟。

面積 22.94㎡

柱穴 6ヶ所確認された。径30cm～40cm、深さは40cm～50cm前後を計測する。

その他 出土遺物は認められていない。

#### 11号掘立柱建物（第133図、PL58）

位置 89L-7グリッドに位置する。

主軸方位 N-78°-W

重複 9・10号掘立柱建物、113号土坑と重複する。

形態 桁行5間、梁行2間。桁行長は1240cmで、柱間は230cm～270cm。梁行長は400cmで、柱間は200cmを測る東西棟。14棟の中で桁行長が最も長い建物。

面積 49.6㎡

柱穴 13ヶ所確認された。西辺側中央柱穴は確認されていない。径30cm～70cm前後、深さは40cm～60cm前後を計測するが、P12・13は20cm前後と浅い。

その他 出土遺物は認められていない。

#### 12号掘立柱建物（第134図）

位置 89K-10グリッドに位置する。

主軸方位 N-14°-E

重複 14号掘立柱建物、94・98・99・106号土坑と重複する。

形態 桁行3間、梁行2間。桁行長は430cmで、柱間は110cm～200cm。梁行長は440cmで、柱間は220cmを測る。

面積 18.92㎡

柱穴 10ヶ所確認された。径40cm前後、深さは40cm前後、60cm～50cm前後および11cm等を計測し、深浅がある。

その他 出土遺物は認められていない。

**13号掘立柱建物**（第135図、PL58）

**位置** 89L-9グリッドに位置する。

**主軸方位** N-79°-W

**重複** 4号掘立柱建物と重複する。

**形態** 桁行2間、梁行2間。桁行長は400cmで、柱間は200cm。梁行長は320cmで、柱間は160cmを測る東西棟。

**面積** 14.5㎡

**柱穴** 6ヶ所確認された。北東隅（P6）が柱軸線よりやや内側にずれる。確認平面径は30cm前後～80cm前後まであり、深さも44cm～70cmとやや不規則。

**その他** 出土遺物は認められていない。

**14号掘立柱建物**（第136図、PL58）

**位置** 89K-10グリッドに位置する。

**主軸方位** N-74°-W

**重複** 12・15号掘立柱建物、98・132号土坑と重複。

**形態** 桁行3間、梁行1間。桁行長は660cmで、柱間は210cm～230cm。梁行長は410cmを測る東西棟。

**面積** 27.06㎡

**柱穴** 8ヶ所確認された。径30cm前後～80cm前後と平面規模に差があり、深さは40cm～50cm前後を計測する。なお、P2が15cmと浅く、皿状断面を呈する土坑状である。

**その他** 出土遺物は認められていない。

**15号掘立柱建物**（第137図、PL58）

**位置** 89J-10グリッドに位置する。

**主軸方位** N-71°-W

**重複** 14・16・17号掘立柱建物、135号土坑と重複。

**形態** 桁行3間、梁行2間。桁行長は550cmで、柱間は140cm～230cm。梁行長は410cmで、柱間は200cm～210cmを測る東西棟。

**面積** 22.55㎡

**柱穴** 8ヶ所確認された。北西隅（P3）が柱軸線から西にややずれがあり、P3の東隣柱穴は

確認されていない。また、西辺側中央柱穴も確認されていない。径30cm～60cm前後、深さは40cm～50cm前後を計測する。

**その他** 出土遺物は認められていない。

**16号掘立柱建物**（第138図、PL58）

**位置** 89I-10グリッドに位置する。

**主軸方位** N-17°-E

**重複** 15・17号掘立柱建物、2号柵列、132・134・141・150・155号土坑と重複。

**形態** 桁行2間、梁行2間。桁行長は440cmで、柱間は190cm～220cm。梁行長は430cmで、柱間は180cm～250cmを測る東西棟。

**面積** 17.63㎡

**柱穴** 9ヶ所確認された。北東隅（P7）は柱軸線からやや外側にずれる。径30cm前後～80cm前後と平面規模に差があり、深さは30cm～60cm前後を計測する。なお、P7-P9間にP8が位置するが、伴う柱穴であるかは不明だが、軸線上にあるため図示した。

**その他** 出土遺物は認められていない。

**17号掘立柱建物**（第139・140図）

**位置** 89I-8グリッドに位置する。

**主軸方位** N-68°-W

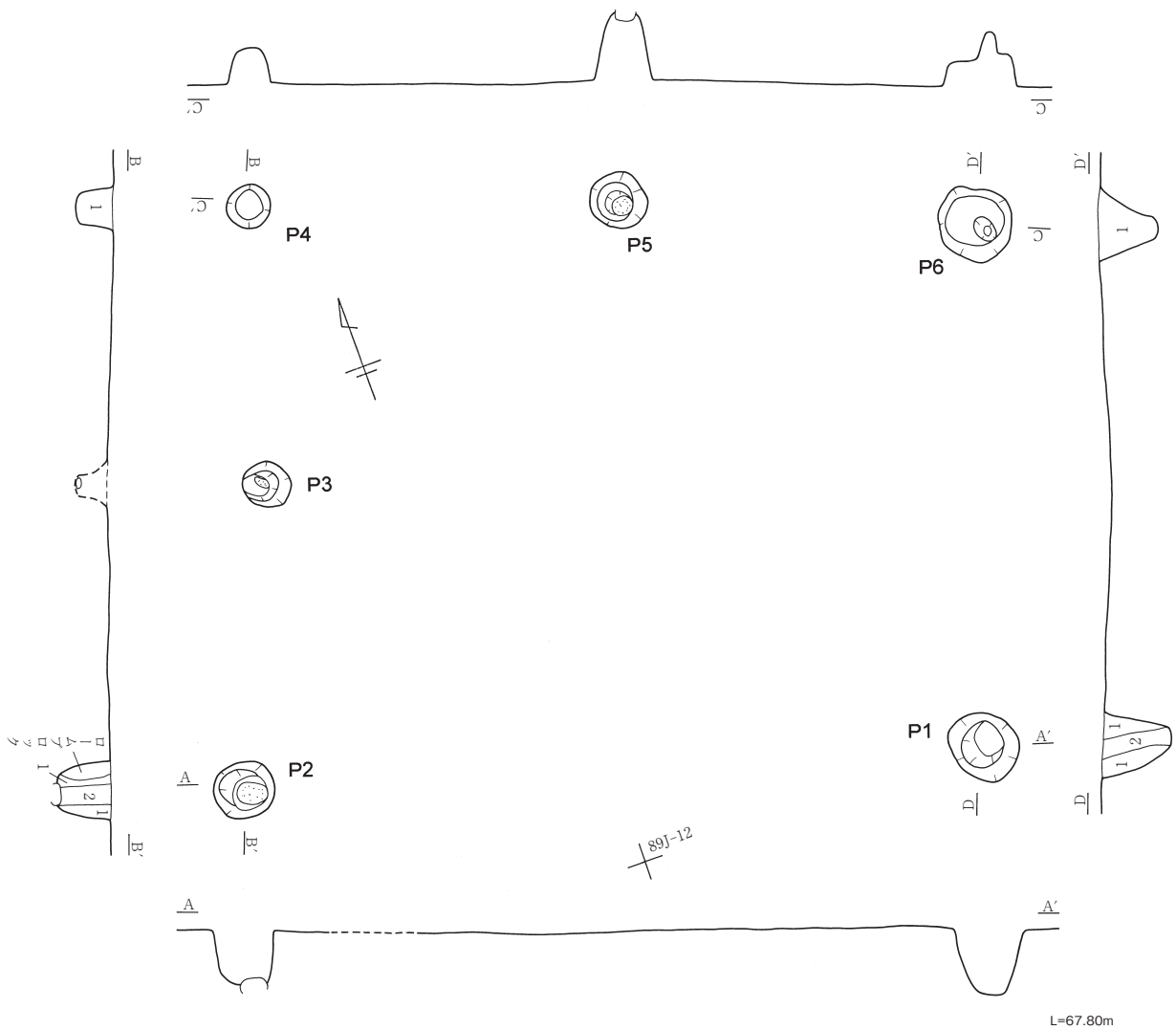
**重複** 15・16号掘立柱建物、8号井戸、133・147・150・155号土坑と重複。

**形態** 桁行3間、梁行1間。桁行長は870cmで、柱間は260cm～310cm。梁行長は630cmを測る東西棟。14棟中、最も規模の大きな建物。

**面積** 54.81㎡

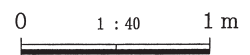
**柱穴** 8ヶ所確認された。径30cm前後～70cm前後、深さは30cm～50cm前後を計測する。なお、P7は22cmと浅い。

**その他** 出土遺物は認められていない。



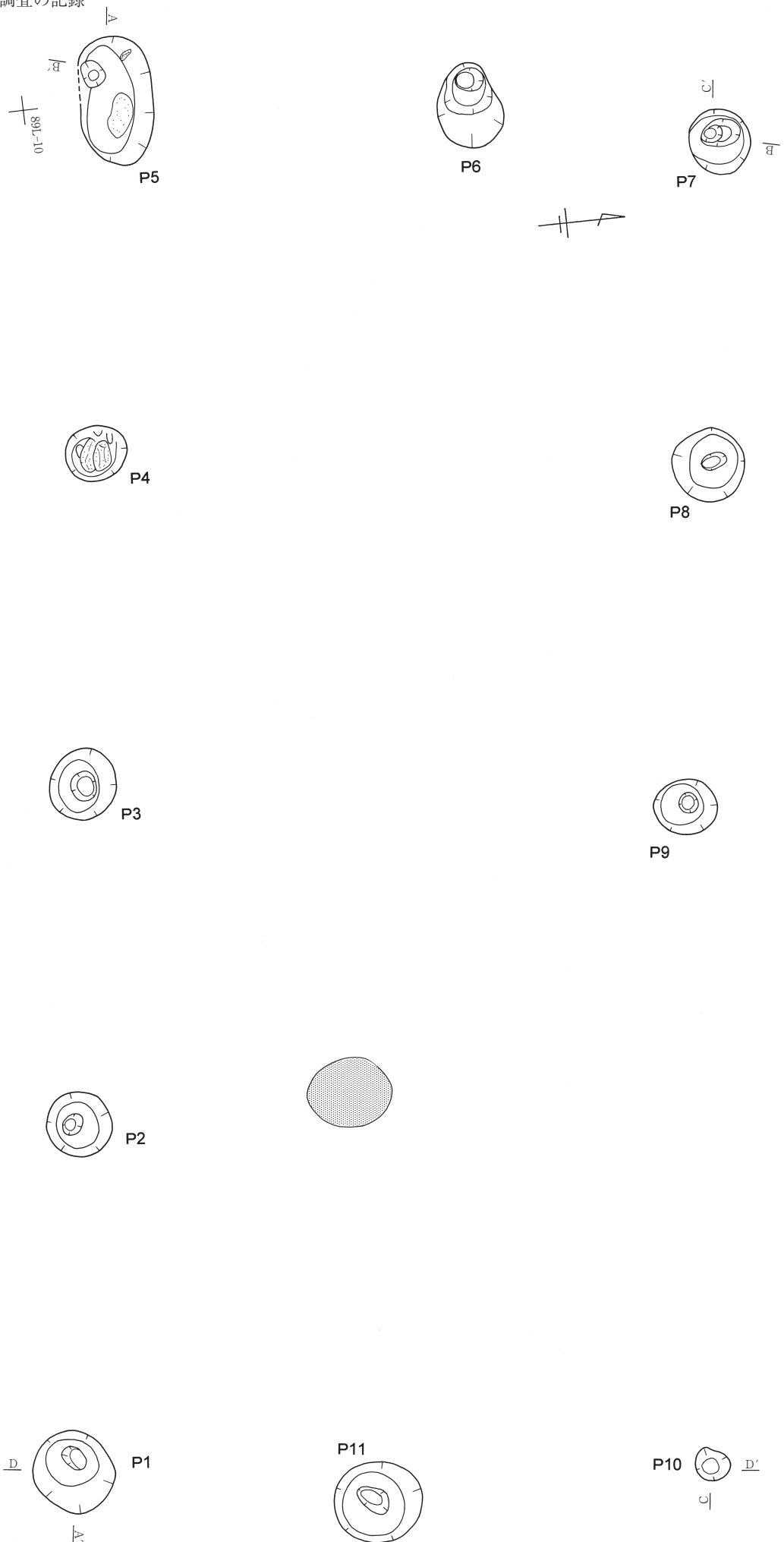
2区4面3号掘立

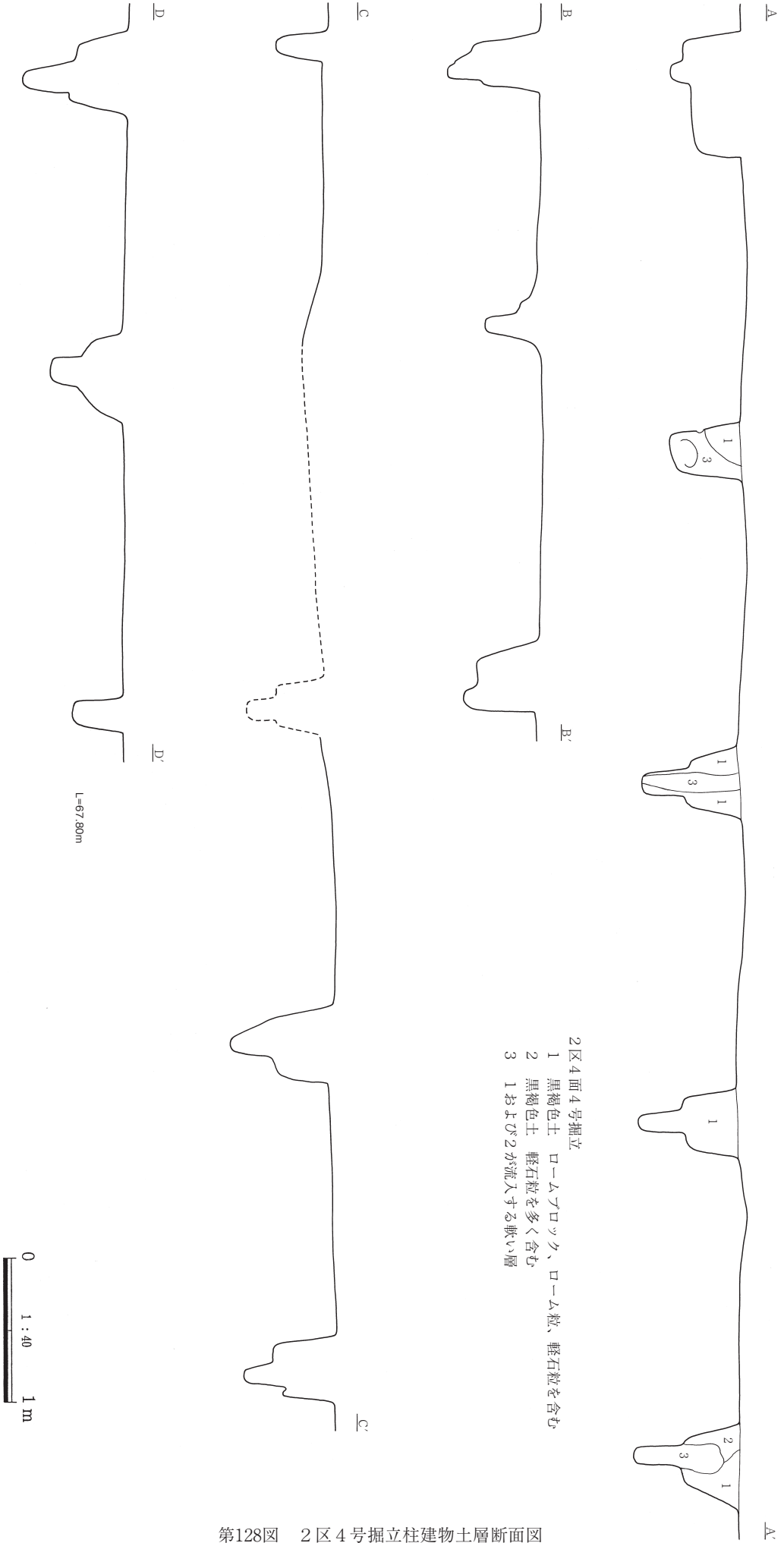
- 1 黒褐色土 ローム粒、ロームブロックを多く含む
- 2 黒色土 ローム粒を含む 軟い 柱痕



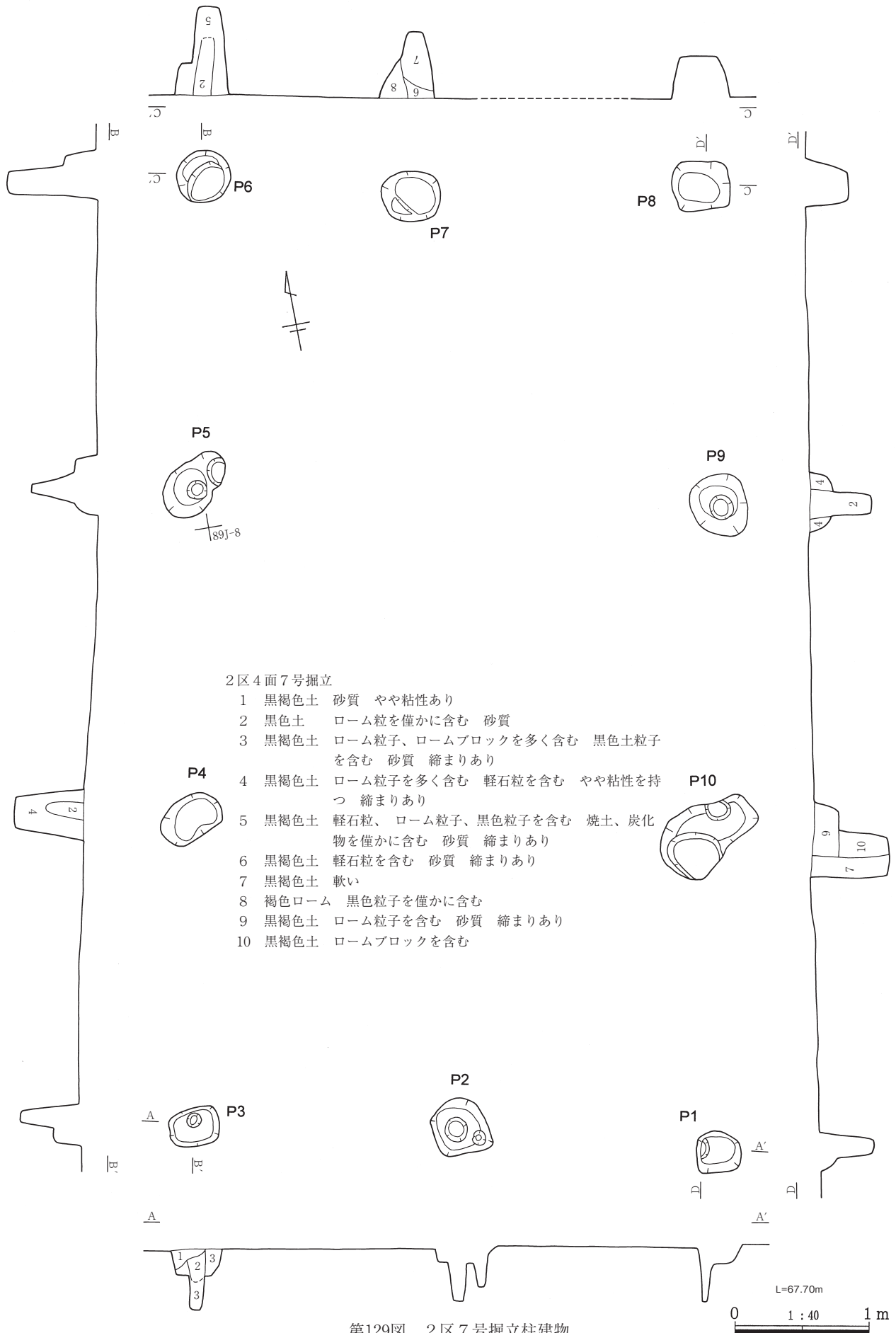
第126図 2区3号掘立柱建物

II 発掘調査の記録

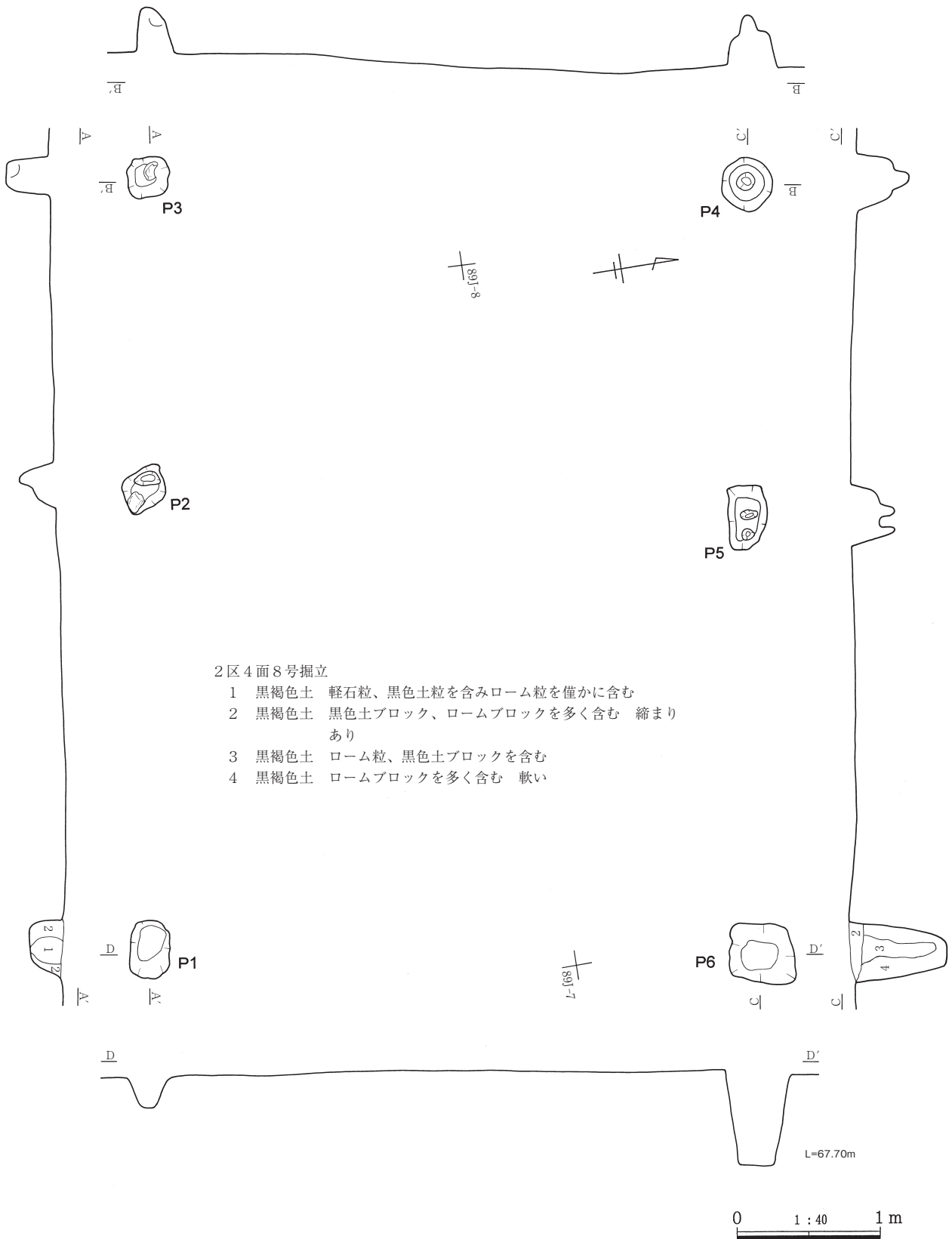




第128図 2区4号掘立柱建物土層断面図



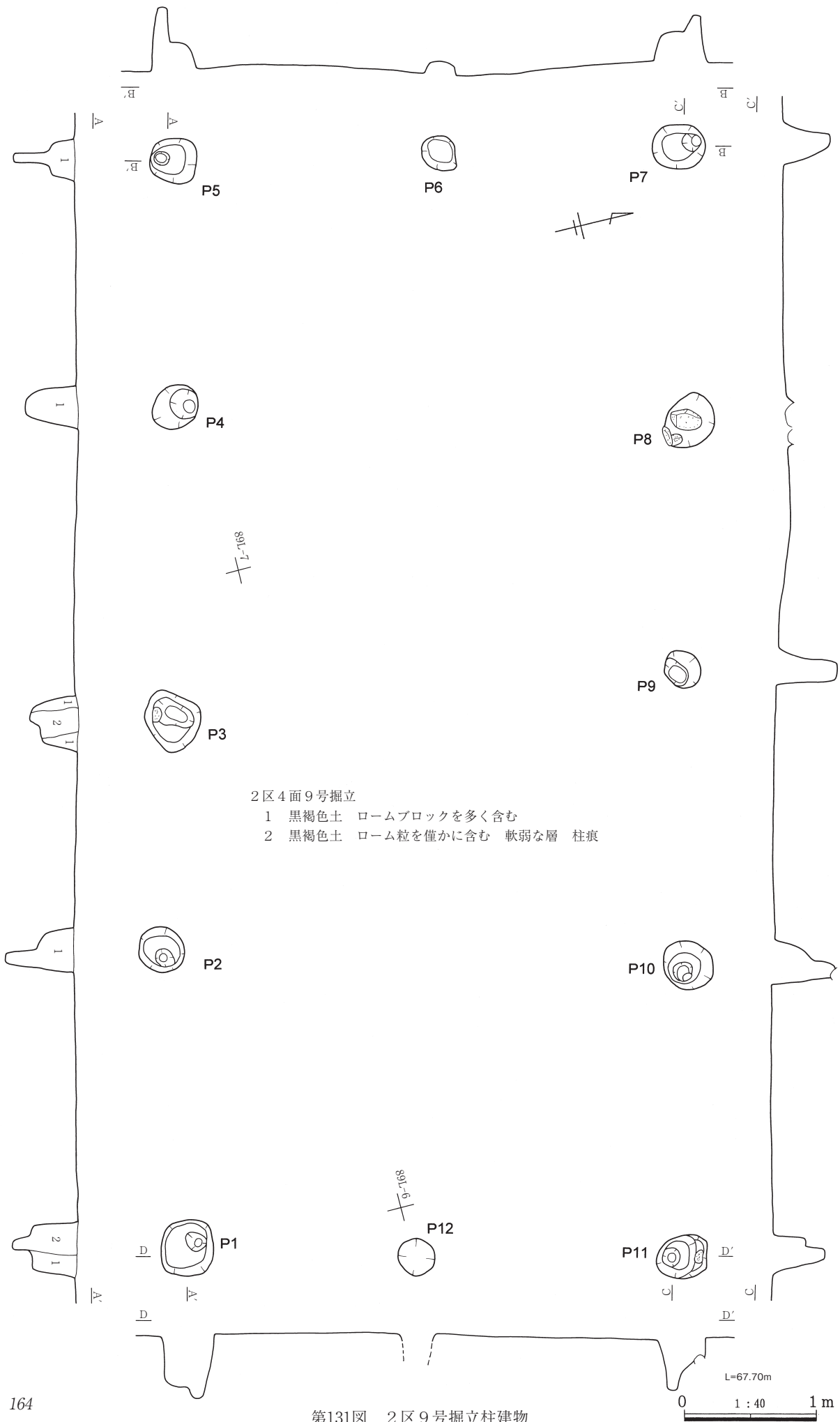


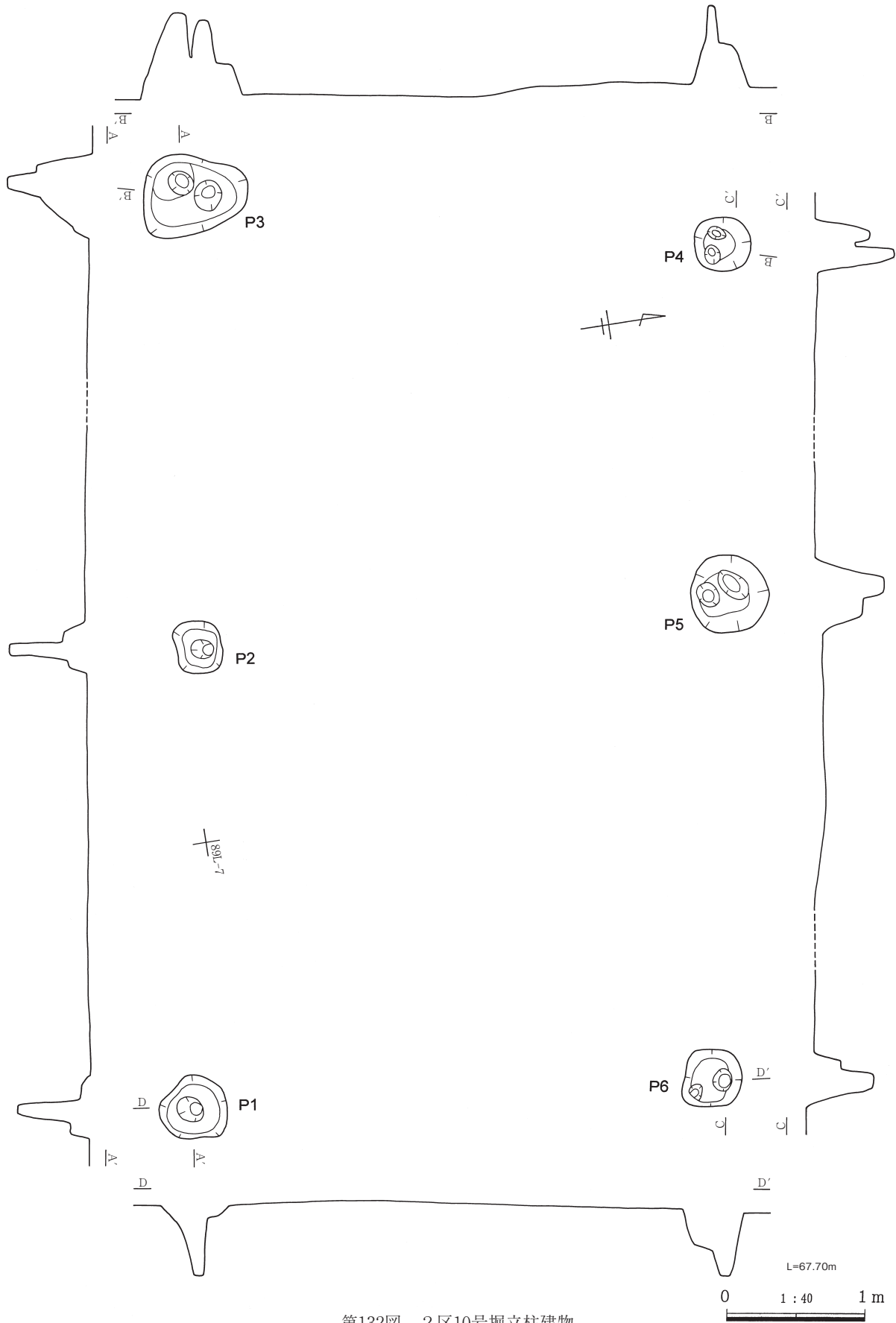


2区4面8号掘立

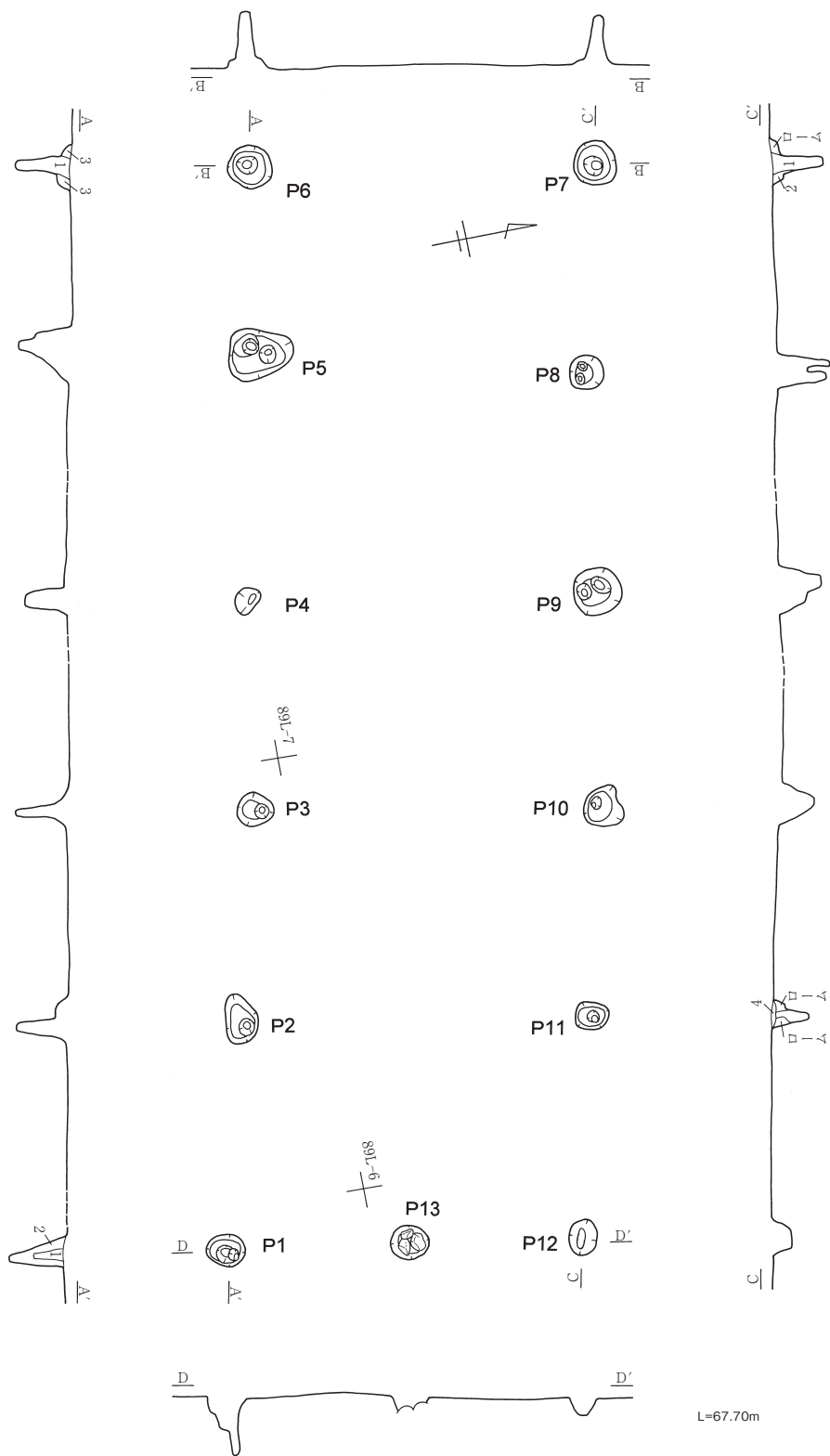
- 1 黒褐色土 軽石粒、黒色土粒を含みローム粒を僅かに含む
- 2 黒褐色土 黒色土ブロック、ロームブロックを多く含む 締まりあり
- 3 黒褐色土 ローム粒、黒色土ブロックを含む
- 4 黒褐色土 ロームブロックを多く含む 軟い

第130図 2区8号掘立柱建物



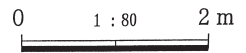


第132図 2区10号掘立柱建物

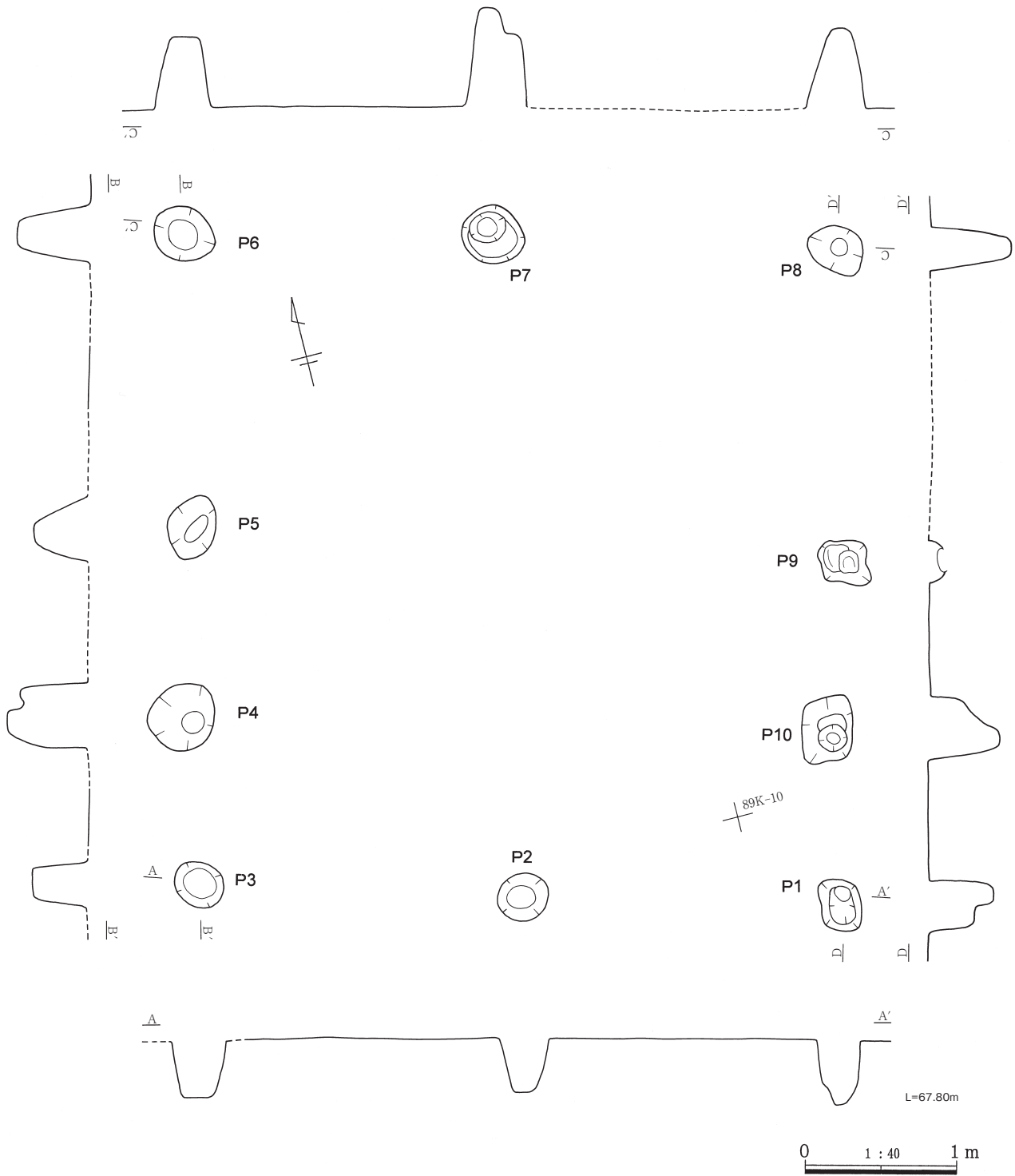


2区4面11号掘立

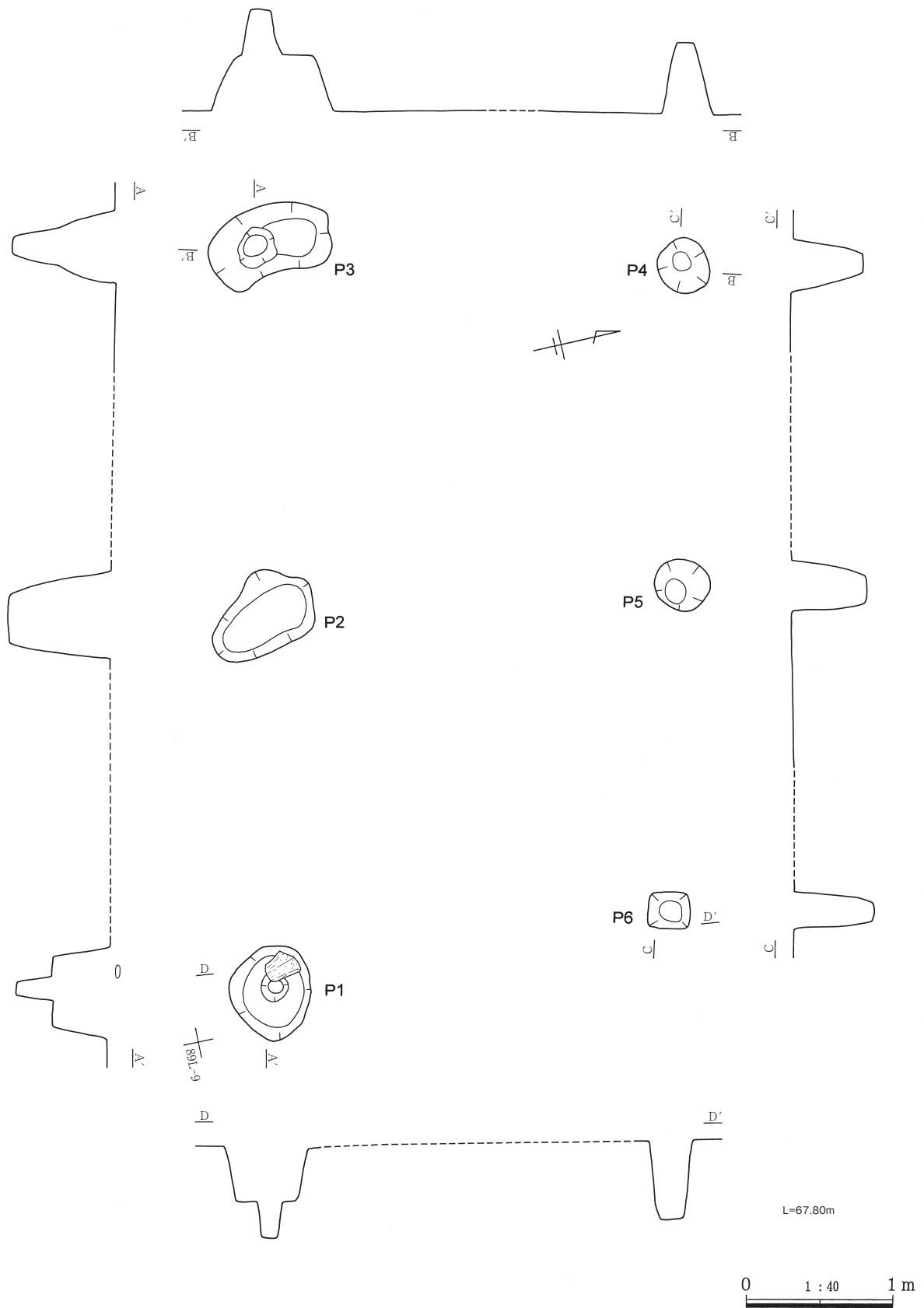
- 1 黒褐色土 軟弱な層
- 2 黒褐色土 軽石粒、ローム粒を含む 砂質 締まりあり
- 3 黒褐色土 ローム粒、黒色土粒を多く含む
- 4 黒褐色土 軽石粒を含む 砂質 やや粘性あり



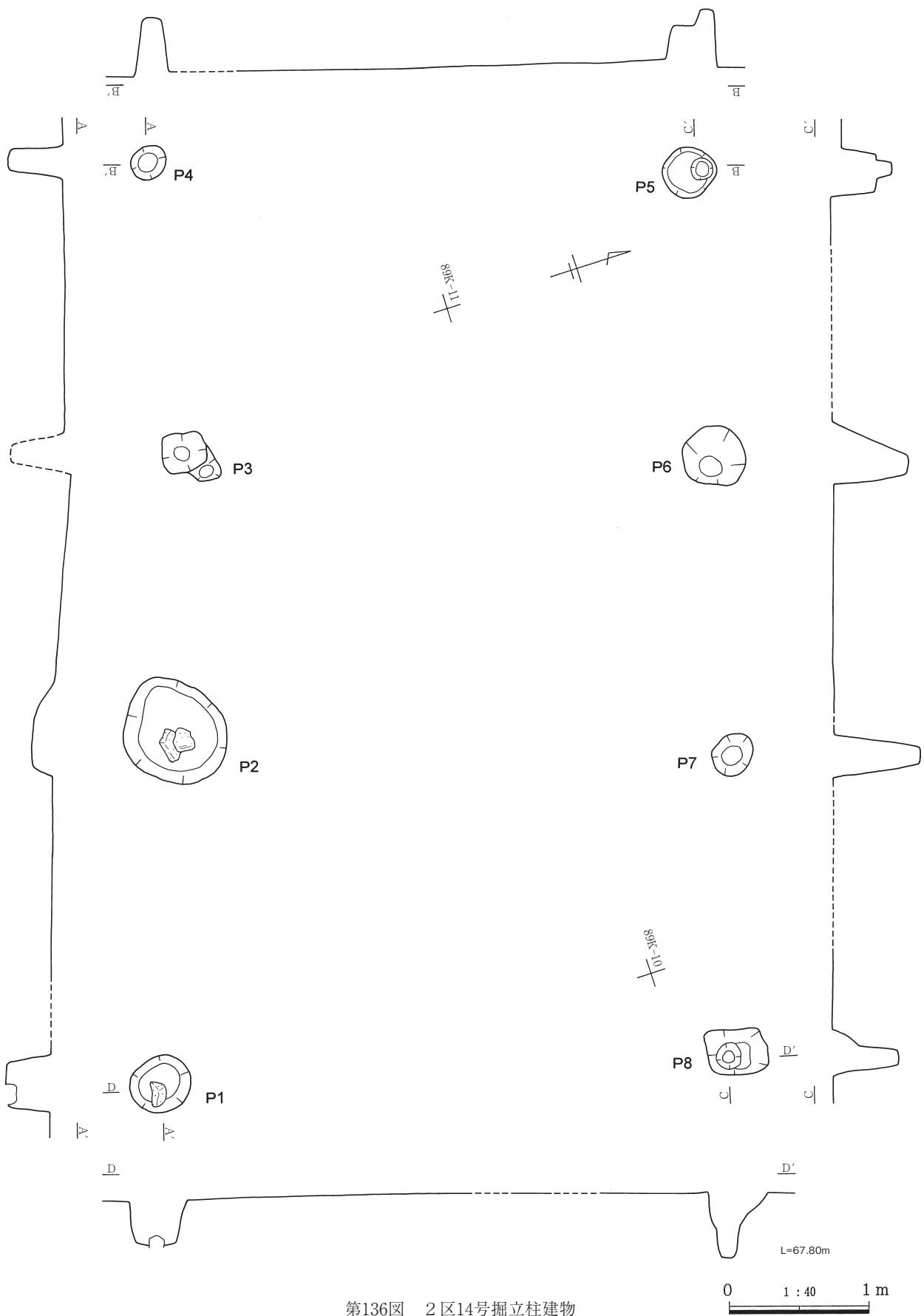
第133図 2区11号掘立柱建物



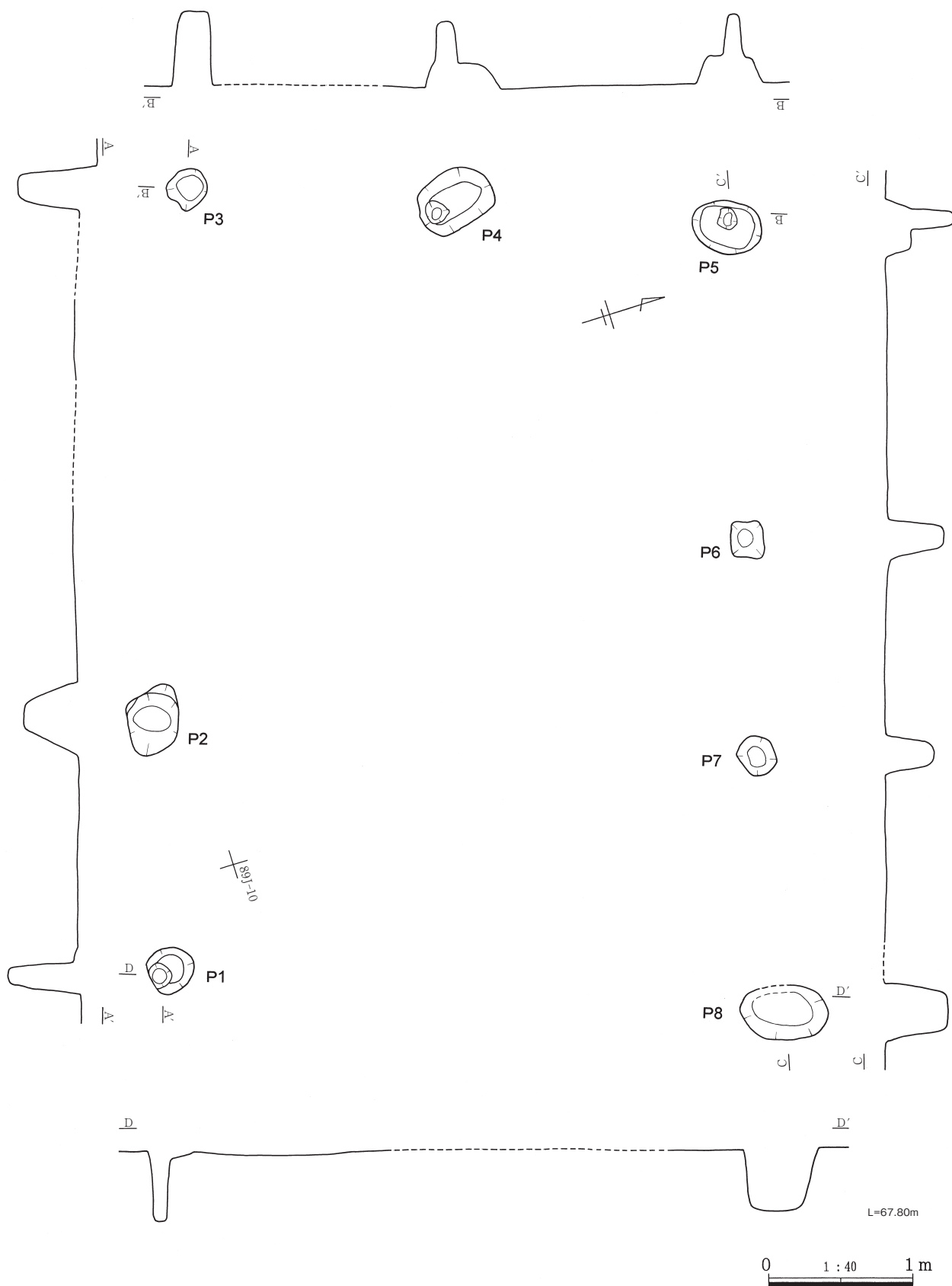
第134図 2区12号掘立柱建物



第135図 2区13号掘立柱建物

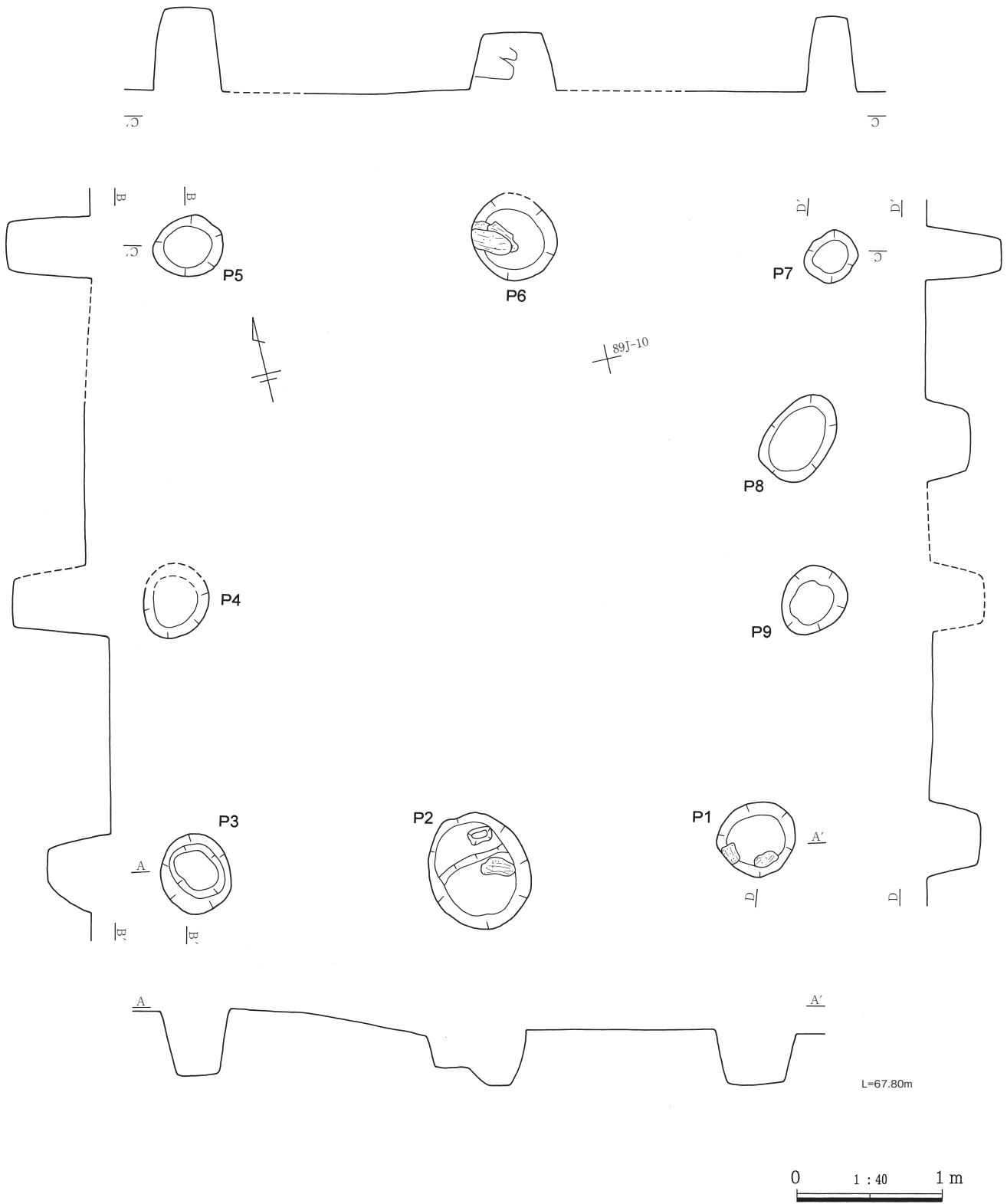


第136図 2区14号掘立柱建物

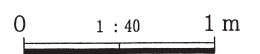
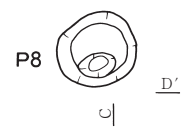
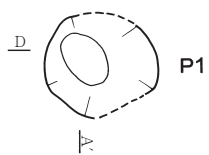
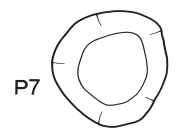
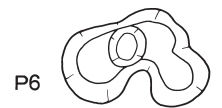
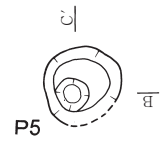
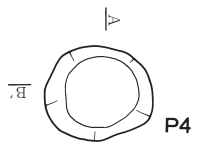


第137図 2区15号掘立柱建物

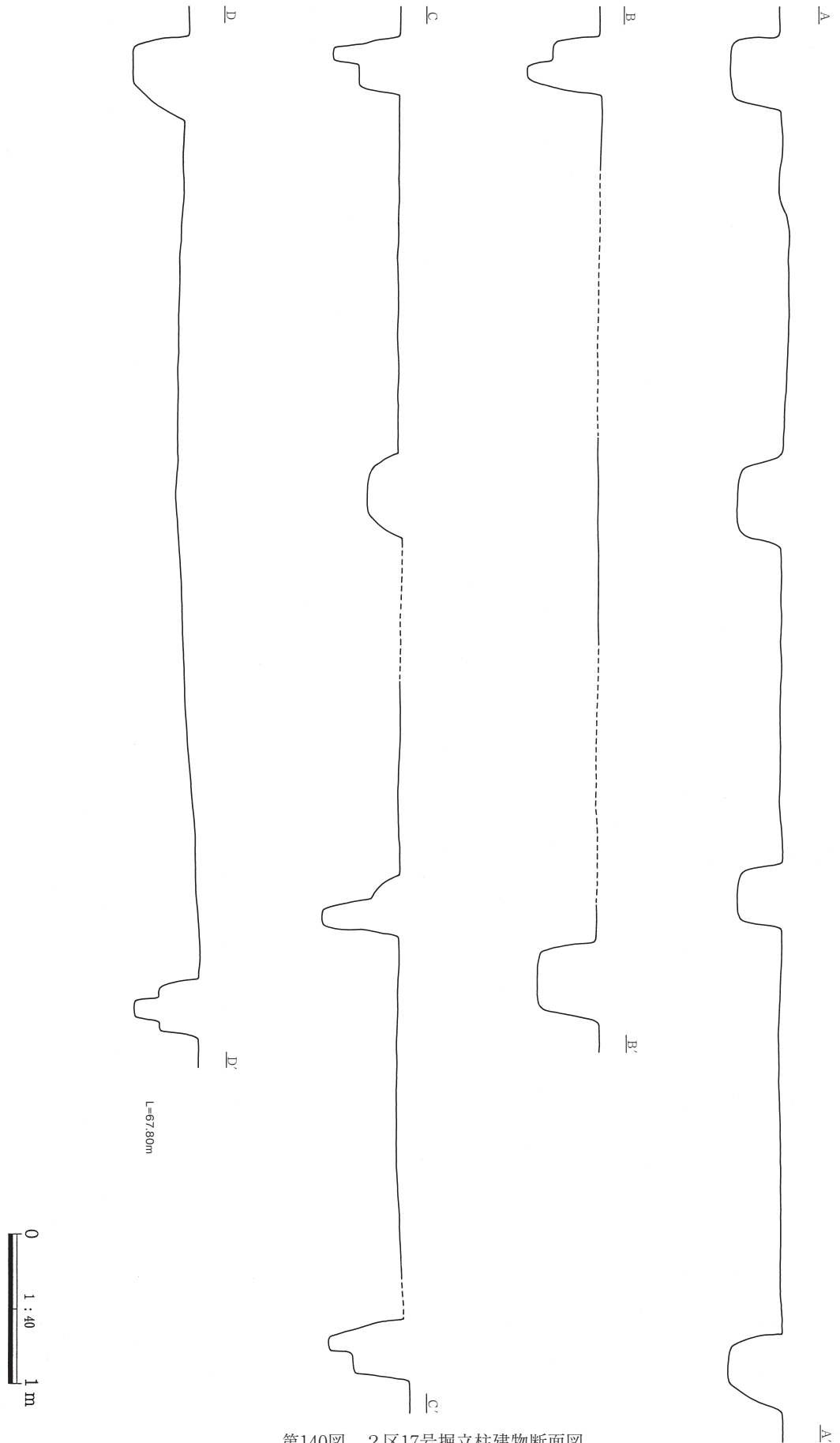




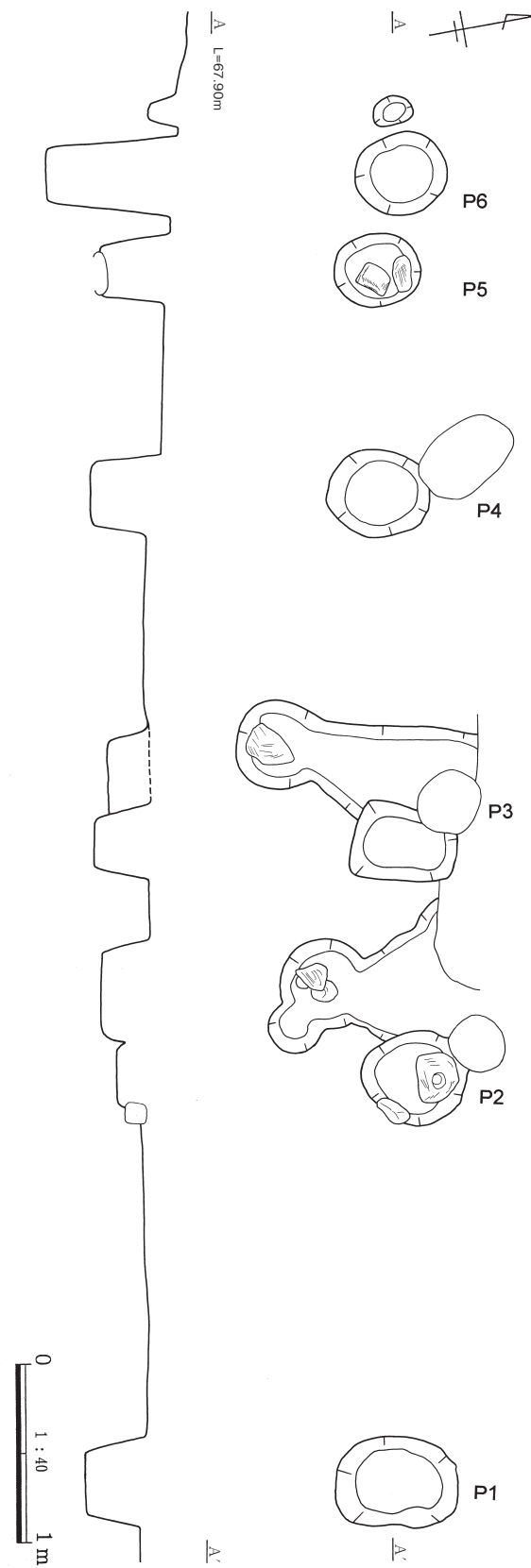
第138図 2区16号掘立柱建物



第139図 2区17号掘立柱建物

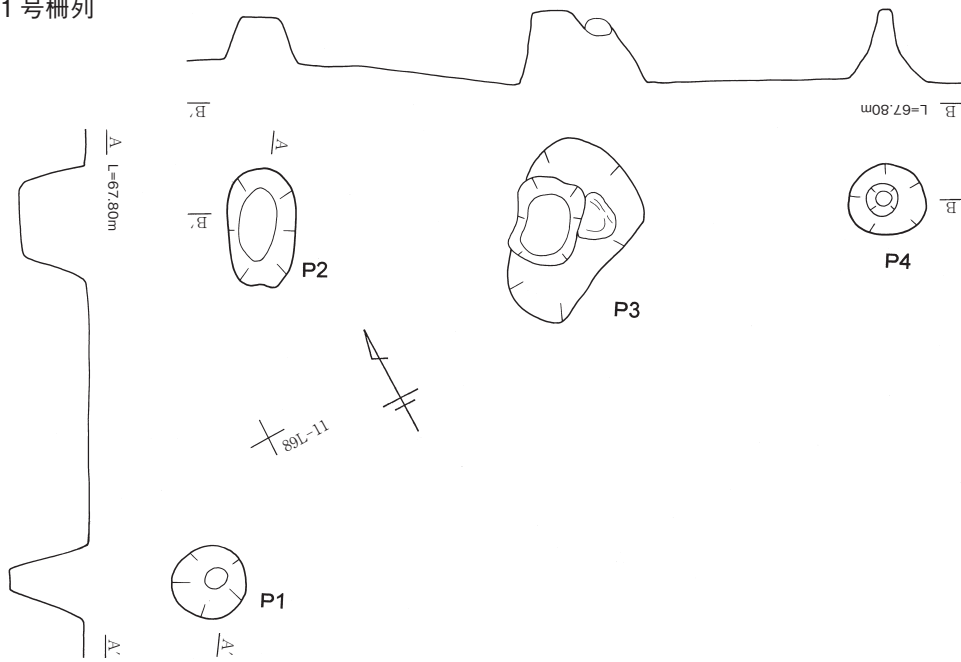


第140図 2区17号掘立柱建物断面図

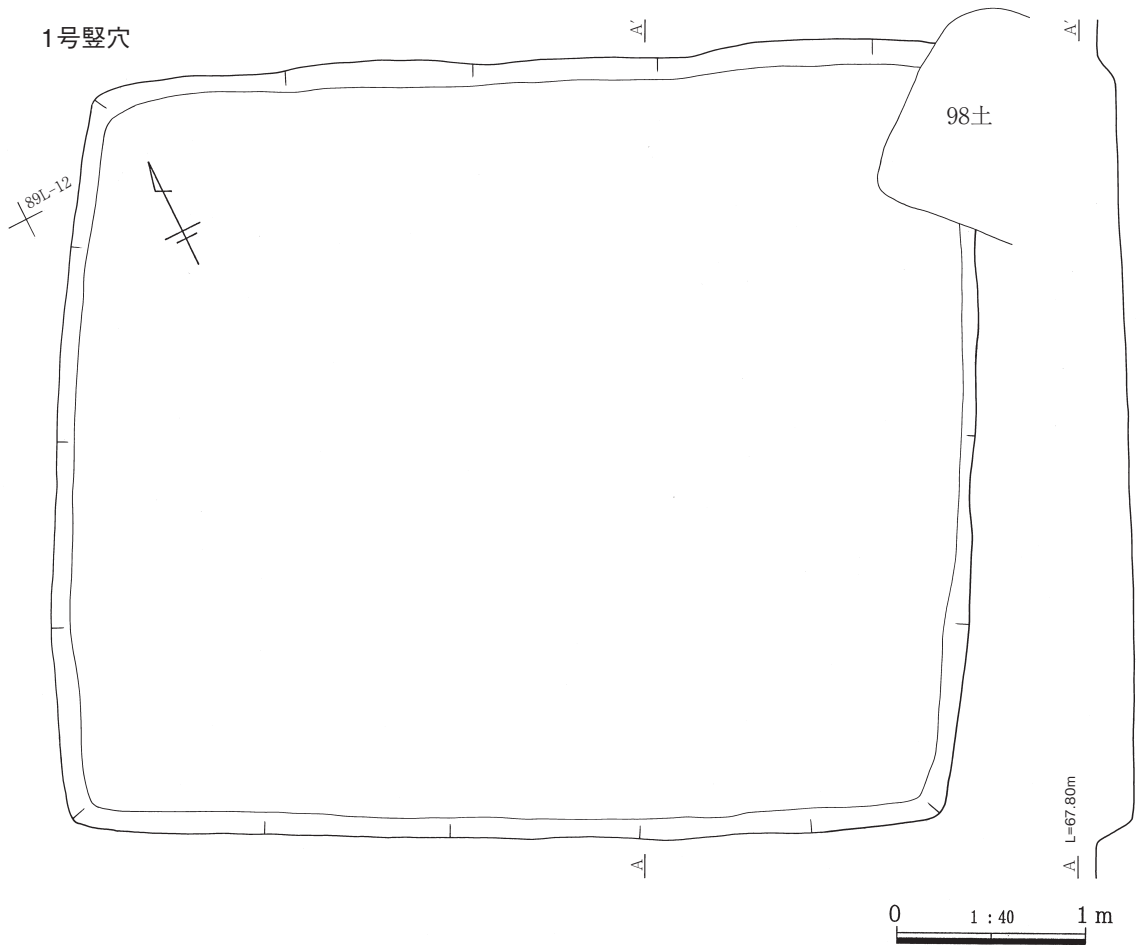


第141図 2区2号柵列

1号柵列



1号竪穴



第142図 2区1号柵列と1号竪穴

### 柵列 (第141・142図)

1号館西区画の掘立柱建物群に混在して位置する。柱穴状の小穴が集中することから、配列のみでは特定できないが、調査中に検出した列状柱穴を柵列として報告する。

#### 1号柵列 (第142図、PL58)

89K-10グリッドに位置し、12号掘立柱建物、1号竪穴に北接する。ほぼ直角状に柱穴が並ぶため、掘立柱建物の一部を考慮したが、確認できないことから柵列とした。P1-P2は200cm、P2-P3は160cm、P3-P4は170cmを計測する。

#### 2号柵列 (第141図、PL58)

89I-9グリッドで、16号・17号掘立柱建物が重複する部分に位置する。6柱穴が直線的に並ぶことから、柵列とした。P1-P2は230cm、P2-P3は120cm、P3-P4は200cm、P4-P5は120cm、P5-P6は60cmを計測する。建物の一辺の可能性も考慮したが、列状のものとした。

#### 1号竪穴 (第142図、PL67)

89K-11グリッドに位置し、区画溝(48号溝)西溝に短軸が平行する。4.9m×4.1mの長方形平面を呈し、深さ20cm、長軸方位はN-62°-Eを測る。68号溝を切り、北東隅部を98号土坑に切られる。底面は平坦であるが、硬化面および付属施設、出土遺物などは検出されていない。

### ピット群 (第143図～第147図)

遺構検出に伴い、多数の柱穴とみられる小穴を検出し、建物の確認を行なったが、明確ではないことから、これらをピットとして報告する。なお、調査過程で柱穴状の小穴以外の土坑もこれに含まれてしまったが、調査時の記録に従って一括した。なお、ピット群とした遺構は計856基となるため、表4に記載して報告とする。

### 井戸 (第148図～第152図、PL59～PL61)

井戸は計13基確認された。方形区画溝内の館部に

11基、区画溝外に2基が位置する。

#### 1号井戸 (第148図、PL59)

89M-4グリッドに位置する。方形区画溝である48号溝北法面に掘り込まれる。径125cm×115cmでほぼ円形平面を呈し、円筒形断面を示す。掘削深100cm以下は壁面崩落により、底面については未確認となってしまった。

#### 2号井戸 (第148図、PL59)

89I-5グリッドに位置する。方形区画を分割する平行する東西溝である56号溝西上端に掘り込まれる。径160cm×143cmの楕円形平面を呈し、深さ111cmを測り、逆梯形断面を示す。

#### 3号井戸 (第148図、PL59)

89L-4グリッドに位置する。方形区画を分割する平行する東西溝である56・57号溝間の方形区画溝48号溝に接する部分に掘り込まれる。径290cm×205cmの楕円形平面を呈し、深さは92cmで逆台形断面を示す。

#### 5号井戸 (第148図、PL60)

89K-3グリッドに位置する。館東区画北西端部付近に掘り込まれる。径188cm×174cmの不整楕円形を呈し、深さは92cmで深鍋状断面を示す。36・37号土坑と重複する。

#### 6号井戸 (第149図)

89N-10グリッドに位置する。方形区画溝48号溝北西隅付近の北側に掘り込まれる。径285cm×248cmの楕円形平面を呈し、深さは104cmで漏斗状断面を示す。1号方形周溝墓を切り、49号溝により切られる。

#### 7号井戸 (第149図、PL60)

89M-11グリッドに位置する。館西区画北西隅部に掘り込まれ、西壁は48号溝に接する。径240cm×220cmの円形平面を呈し、深さは92cmで逆梯形断面を示す。

#### 8号井戸 (第149図、PL60)

89J-9グリッドに位置する。館西区画中央付近に掘り込まれる。径207cm×189cmの楕円形平面を呈し、深さは183cm、壁上部は崩落のためか広がり

90

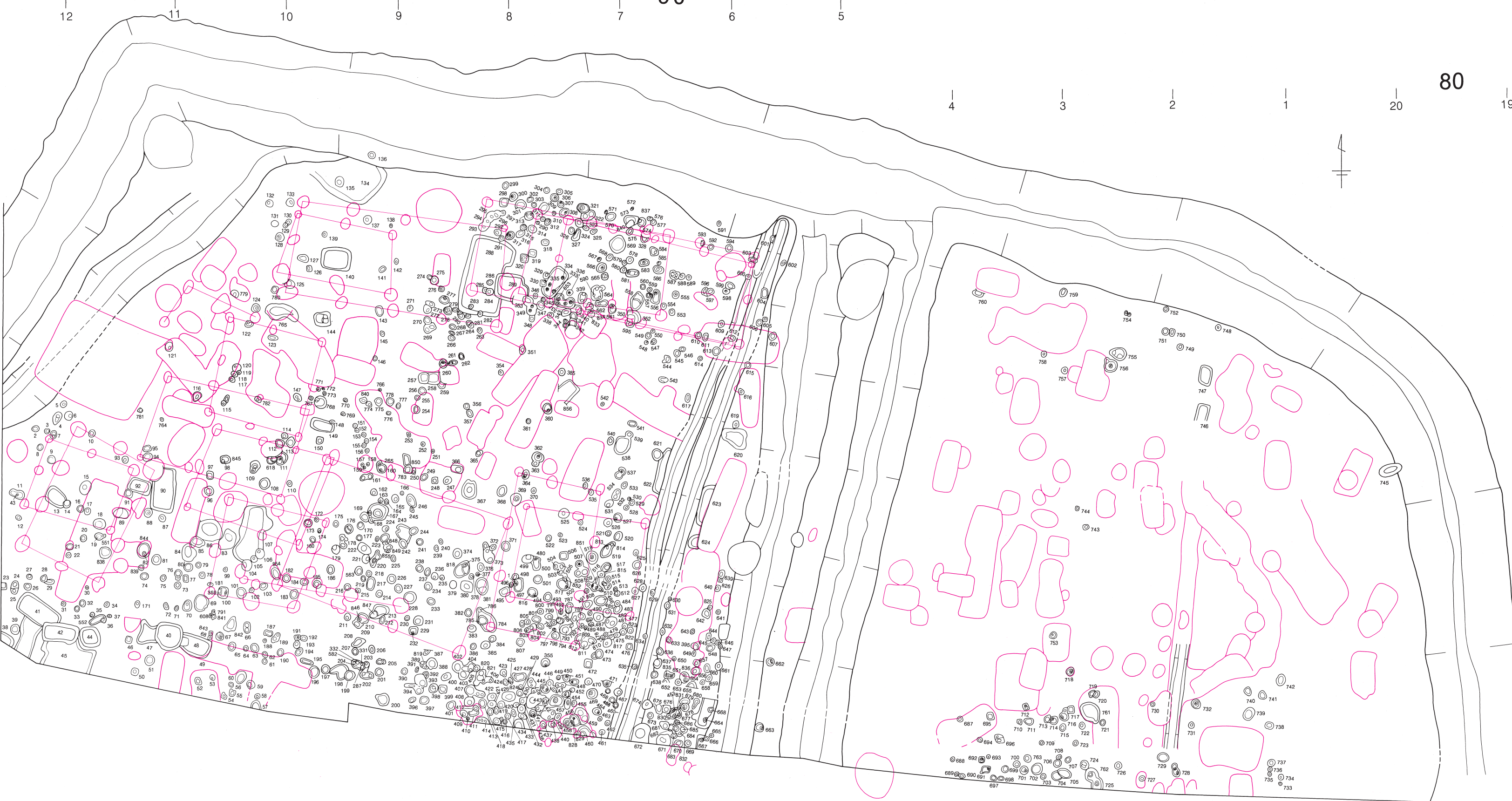
80

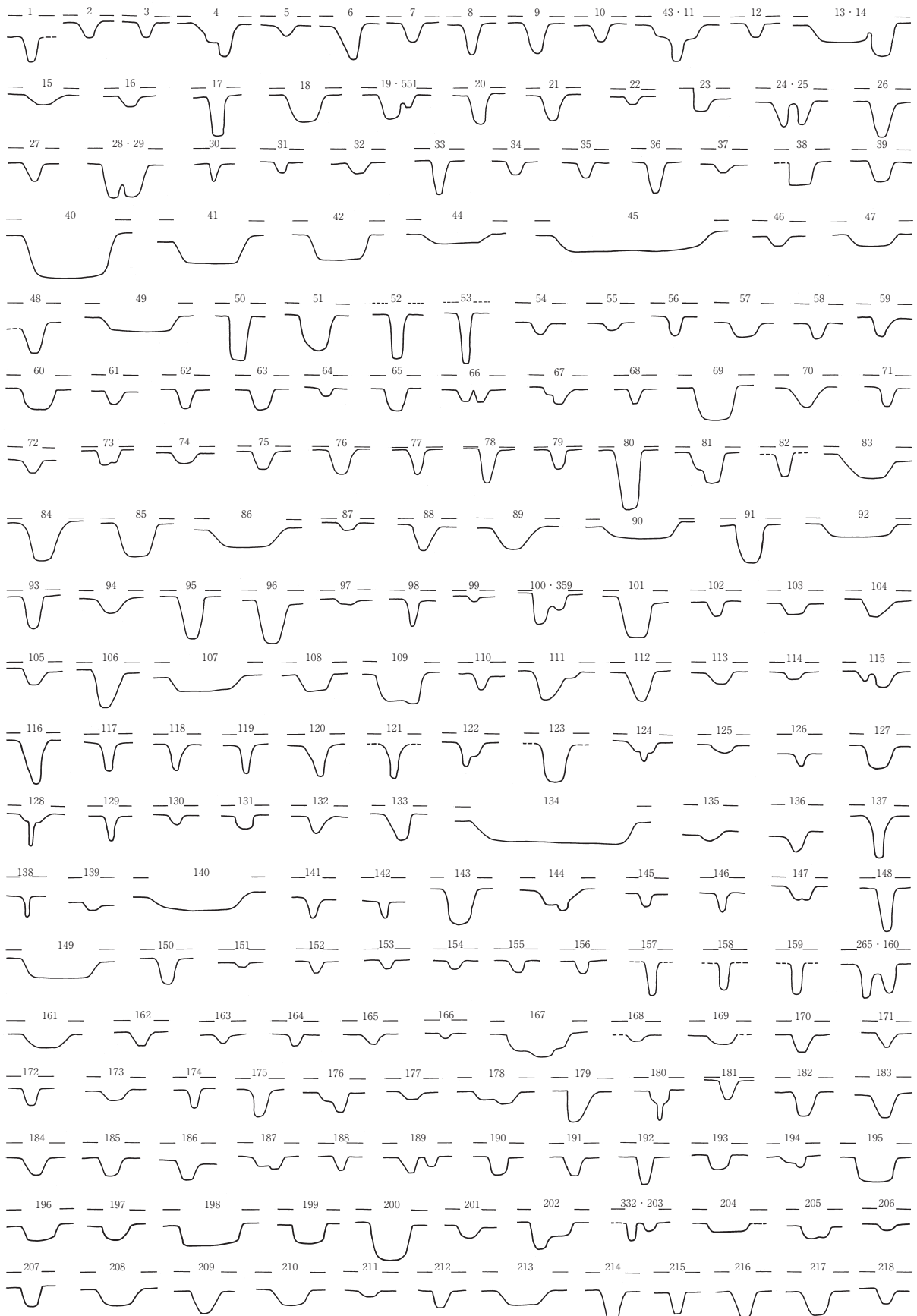
89

79

第143図 2区1号館内ビット

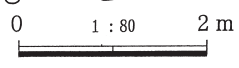
0 1:160 4m





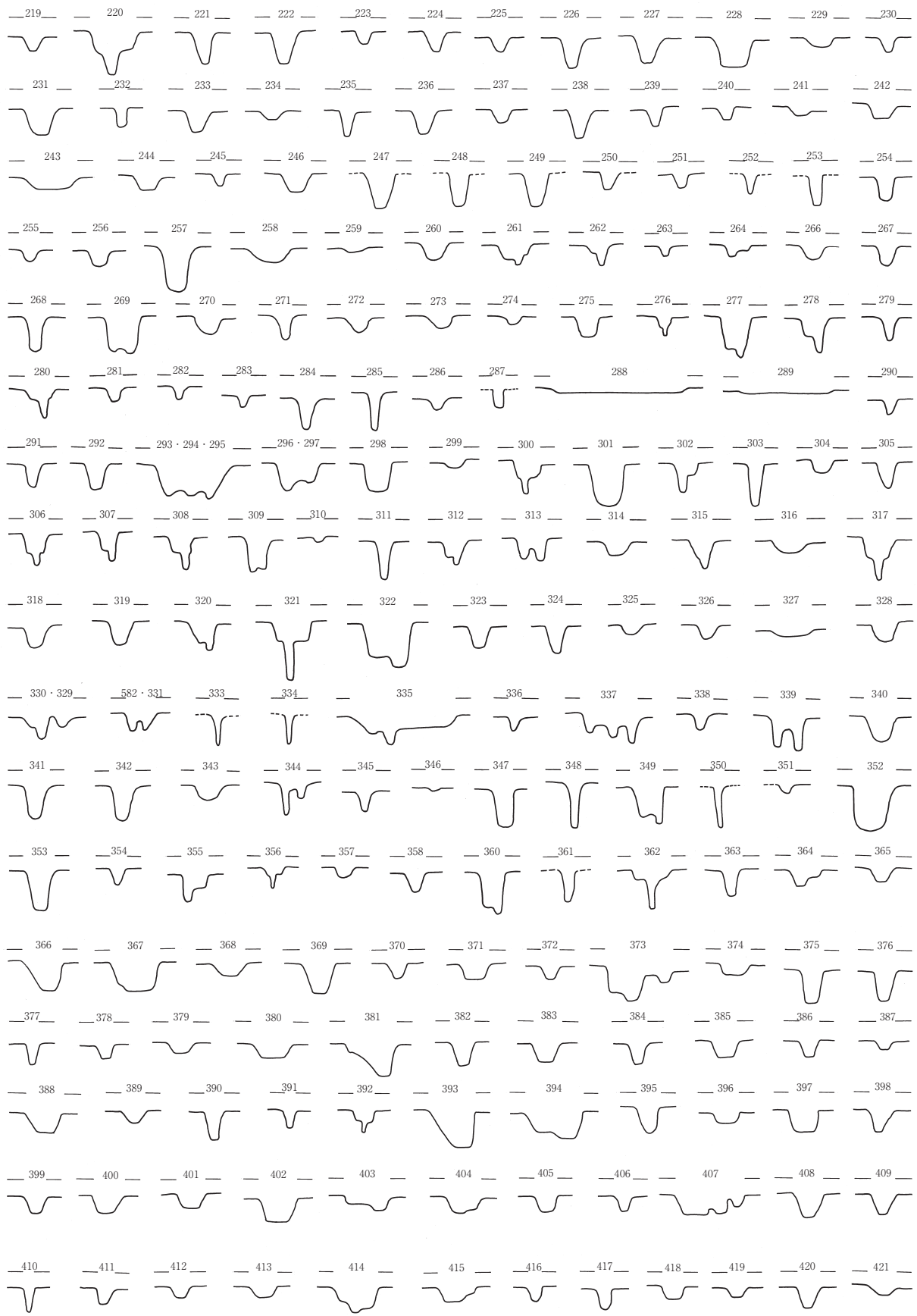
L=67.80m

第144図 2区1号館内ピット断面図(1)





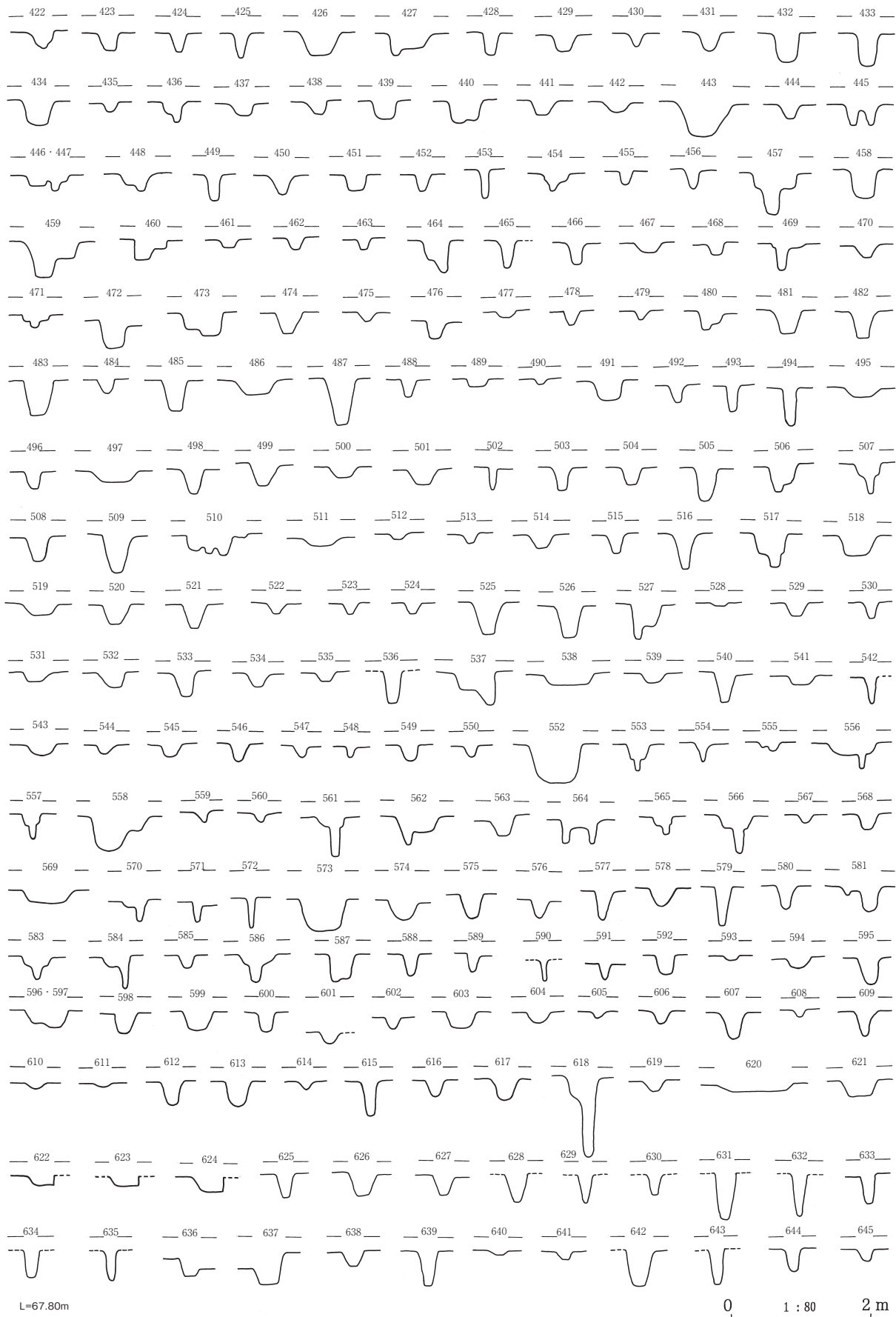
II 発掘調査の記録



L=67.80m

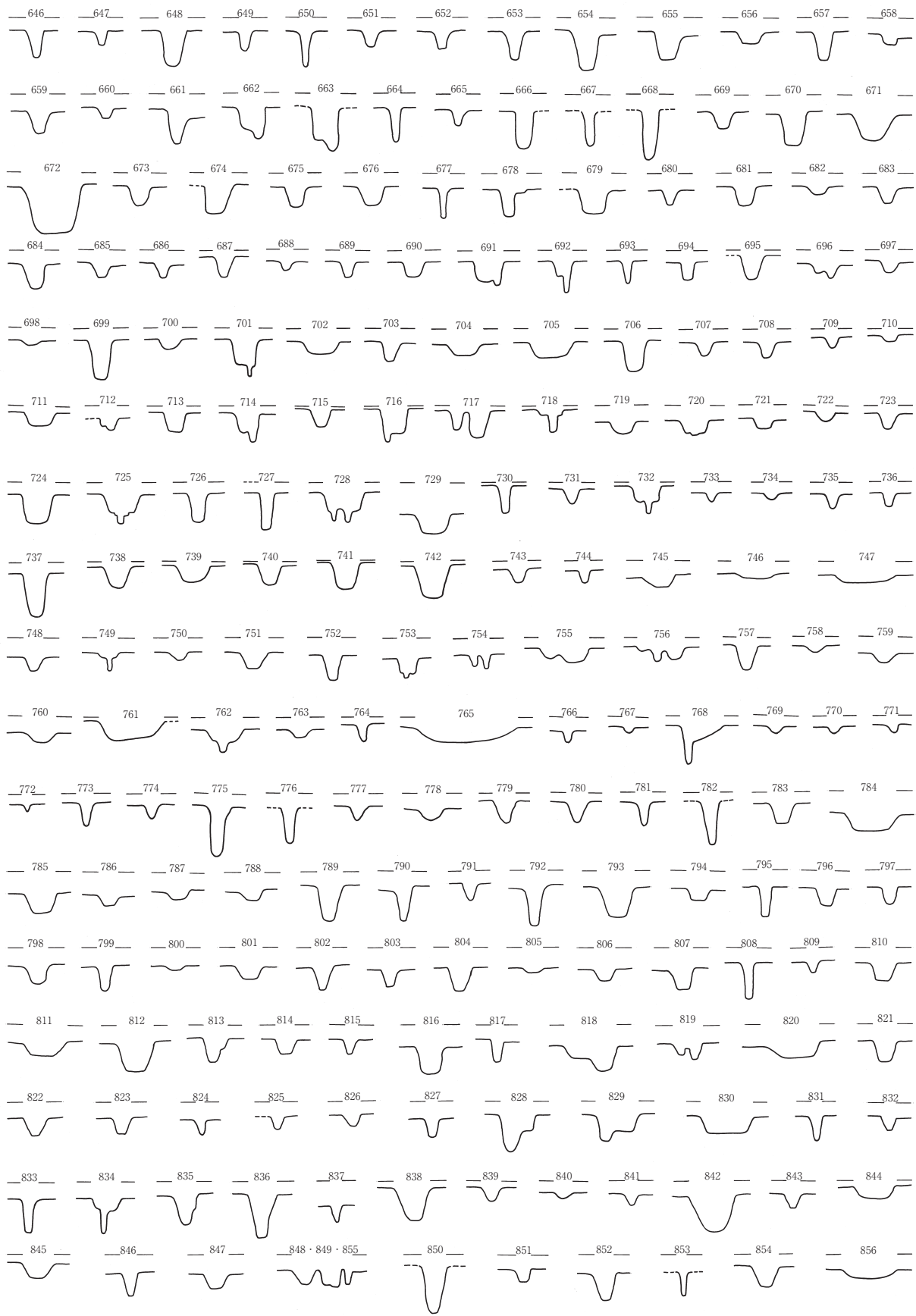
第145図 2区1号館内ピット断面図(2)

0 1 : 80 2 m



第146図 2区1号館内ピット断面図(3)

II 発掘調査の記録



L=67.80m

第147図 2区1号館内ピット断面図(4)

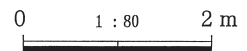


表4 2区4面 館内ピット類 一覧表 (cm)

No.	グリッド	径		確認深
		短径	長径	
1	89-I-7	22	23	36
2	89-J-12	23	24	19
3	89-J-12	22	23	20
4	89-K-11	44	60	46
5	89-K-11	30	30	16
6	89-K-11	38	42	49
7	89-J-12	30	40	27
8	89-J-12	25	28	23
9	89-J-12	36	38	41
10	89-J-11	25	30	23
11	89-J-11	40	70	18
12	89-J-12	22	23	18
13	89-J-12	70	84	22
14	89-J-11	32	36	44
15	89-J-11	52	56	13
16	89-J-11	28	30	14
17	89-J-11	27	28	56
18	89-J-11	45	56	37
19	89-I-11	32	40	35
20	89-I-11	28	30	44
21	89-I-11	26	34	36
22	89-I-11	22	22	9
23	89-I-12	25	30	17
24	89-I-12	28	30	37
25	89-I-12	27	32	33
26	89-I-12	28	32	49
27	89-I-12	24	28	25
28	89-I-12	30	36	50
29	89-I-12	24	40	47
30	89-I-11	14	16	25
31	89-I-12	18	20	13
32	89-I-11	32	36	15
33	89-I-11	25	28	48
34	89-I-11	22	24	16
35	89-I-11	20	22	20
36	89-I-11	22	28	44
37	89-I-11	14	22	13
38	89-H-12	34	68	31
39	89-I-12	42	44	28
40	89-H-10	123	130	63
41	89-I-12	100	210	41
42	89-H-11	84	160	33
43	89-J-12	14	18	50
44	89-H-11	94	96	14
45	89-H-11	98	246	29
46	89-I-11	30	30	13
47	89-I-11	68	108	17
48	89-H-10	32	40	37
49	89-H-10	107	134	21
50	89-H-11	31	32	65
51	89-H-11	47	48	49
52	89-H-10	24	34	62
53	89-H-10	22	23	70
54	89-H-10	24	28	16
55	89-H-10	26	30	9
56	89-H-10	22	24	27
57	89-H-10	32	44	20
58	89-H-10	25	26	22
59	89-H-10	36	38	28
60	89-H-10	44	55	28
61	89-H-10	25	26	17
62	89-H-10	27	28	26
63	89-H-10	36	38	31
64	89-H-10	22	23	9
65	89-H-10	34	38	33
66	89-I-10	27	45	19
67	89-I-10	36	38	22
68	89-I-10	18	20	21
69	89-I-10	62	76	49
70	89-I-10	42	44	27
71	89-I-10	20	24	27
72	89-I-11	22	28	18
73	89-I-10	32	32	19
74	89-I-11	30	36	15
75	89-I-11	26	30	28
76	89-I-10	32	44	33
77	89-I-10	26	32	35
78	89-I-10	25	30	48
79	89-I-10	22	22	28
80	89-I-10	32	40	83
81	89-I-11	44	46	41
82	89-I-11	20	24	31
83	89-I-10	58	80	36
84	89-I-10	62	76	53
85	89-I-10	44	58	47
86	89-I-10	92	110	29
87	89-J-11	30	30	9
88	89-J-11	34	38	32
89	89-J-11	46	66	30
90	89-J-11	108	200	21
91	89-J-11	34	40	52
92	89-J-11	60	104	17
93	89-J-11	28	30	44
94	89-J-11	40	42	37
95	89-J-11	28	40	58
96	89-J-10	40	42	57
97	89-J-10	29	34	8
98	89-J-10	16	18	39
99	89-I-10	15	18	8
100	89-I-10	48	54	20
101	89-I-10	44	46	60
102	89-I-10	22	22	23
103	89-I-10	28	35	17
104	89-I-10	45	48	25
105	89-I-10	30	32	22
106	89-I-10	40	42	49
107	89-I-10	106	260	23
108	89-J-10	48	50	22
109	89-J-10	34	63	45
110	89-J-9	20	26	22
111	89-J-9	44	62	41
112	89-J-10	36	38	43
113	89-J-9	36	40	17
114	89-J-10	26	28	14
115	89-K-10	25	56	23
116	89-K-10	38	48	51
117	89-K-10	22	30	37
118	89-K-10	24	32	38
119	89-K-10	18	22	42
120	89-K-10	36	40	44
121	89-K-11	32	42	51
122	89-K-10	28	34	34
123	89-K-10	20	44	54
124	89-L-10	40	40	28
125	89-L-10	34	46	11
126	89-L-9	21	25	15
127	89-L-9	32	50	32
128	89-L-10	38	38	46
129	89-L-10	20	22	34
130	89-L-9	24	25	13
131	89-L-10	25	28	21
132	89-L-10	30	36	24
133	89-L-9	35	38	35
134	89-L-9	230	240	30
135	89-M-9	40	46	10
136	89-M-9	32	34	17
137	89-L-9	36	40	62
138	89-L-9	12	14	24
139	89-L-9	25	28	10
140	89-L-9	102	138	22
141	89-L-9	22	32	30
142	89-L-9	20	23	25
143	89-K-9	36	48	47
144	89-K-9	62	72	31
145	89-K-9	20	22	19
146	89-K-9	20	20	25
147	89-K-9	28	44	19
148	89-J-9	18	26	60
149	89-J-9	56	110	21
150	89-J-9	27	30	36
151	89-J-9	16	18	6
152	89-J-9	18	18	17
153	89-J-9	18	20	11
154	89-J-9	18	20	11
155	89-J-9	19	21	15
156	89-J-9	20	20	18
157	89-J-9	13	14	49
158	89-J-9	14	15	36
159	89-J-9	14	16	43
160	89-J-9	14	16	41
161	89-J-9	20	58	20
162	89-J-9	30	30	20
163	89-J-9	22	22	12
164	89-J-9	20	23	15
165	89-J-8	35	38	15
166	89-J-8	15	15	7
167	89-J-9	80	90	31
168	89-J-9	22	24	9
169	89-J-9	40	42	15
170	89-J-9	30	35	24
171	89-I-9	22	30	18

II 発掘調査の記録

2区4面 館内ピット類 一覧表 (cm)

No.	グリッド	径		確認深
		短径	長径	
172	89-J-9	22	24	24
173	89-J-9	36	40	16
174	89-I-9	18	20	27
175	89-J-9	26	28	39
176	89-J-9	40	42	32
177	89-I-9	26	28	9
178	89-I-9	34	68	20
179	89-I-9	36	40	44
180	89-I-9	24	30	43
181	89-I-10	20	24	30
182	89-I-9	35	38	33
183	89-I-9	37	42	36
184	89-I-9	30	35	24
185	89-I-9	34	36	25
186	89-I-9	36	40	27
187	89-I-10	20	42	18
188	89-I-10	18	19	21
189	89-I-10	25	52	23
190	89-H-10	29	33	25
191	89-I-9	27	30	27
192	89-I-9	22	28	38
193	89-H-9	30	33	19
194	89-H-9	32	38	19
195	89-H-9	18	60	32
196	89-H-9	52	53	19
197	89-H-9	38	42	20
198	89-H-9	72	84	26
199	89-H-9	44	46	28
200	89-H-9	55	56	55
201	89-H-9	35	38	16
202	89-H-9	36	62	38
203	89-H-9	12	14	12
204	89-H-9	42	62	12
205	89-H-9	26	42	19
206	89-H-9	28	36	8
207	89-H-9	29	30	27
208	89-H-9	38	64	22
209	89-I-9	30	41	31
210	89-I-9	46	54	21
211	89-I-9	28	32	10
212	89-I-9	24	36	25
213	89-I-9	40	70	18
214	89-I-9	28	31	47
215	89-I-9	20	21	31
216	89-I-9	32	34	38
217	89-I-9	44	60	35
218	89-I-9	24	26	26
219	89-I-9	26	28	20
220	89-I-9	30	85	64
221	89-I-9	36	38	48
222	89-I-9	42	68	46
223	89-I-9	18	20	16
224	89-I-9	26	28	28
225	89-I-9	20	25	20
226	89-I-9	42	44	45
227	89-I-8	37	48	38
228	89-I-8	54	59	40

No.	グリッド	径		確認深
		短径	長径	
229	89-I-8	34	39	14
230	89-I-8	20	24	22
231	89-I-8	40	46	36
232	89-I-8	16	17	28
233	89-I-8	32	38	29
234	89-I-8	34	36	13
235	89-I-8	21	22	36
236	89-I-8	32	34	33
237	89-I-8	30	36	19
238	89-I-8	32	36	43
239	89-I-8	22	25	27
240	89-I-8	22	26	18
241	89-I-8	30	34	13
242	89-I-8	38	40	21
243	89-I-8	65	74	16
244	89-I-8	35	41	20
245	89-J-8	17	20	18
246	89-J-8	40	62	28
247	89-J-8	33	42	49
248	89-J-8	26	28	51
249	89-J-8	29	38	48
250	89-J-8	17	27	24
251	89-J-8	15	17	20
252	89-J-8	18	20	30
253	89-J-8	17	20	45
254	89-K-8	30	34	34
255	89-K-8	22	22	15
256	89-K-8	34	35	19
257	89-K-8	50	52	58
258	89-K-8	49	62	18
259	89-K-8	32	38	6
260	89-K-8	34	40	25
261	89-K-8	32	49	31
262	89-K-8	28	33	31
263	89-K-8	19	22	16
264	89-K-8	30	39	18
265	89-J-9	14	14	47
266	89-K-8	25	32	19
267	89-K-8	18	32	25
268	89-K-8	34	38	47
269	89-K-8	42	58	53
270	89-K-8	38	40	25
271	89-L-8	21	28	33
272	89-K-8	38	40	18
273	89-L-8	22	40	14
274	89-L-8	19	19	12
275	89-L-8	32	36	27
276	89-L-8	20	20	27
277	89-L-8	40	48	58
278	89-L-8	40	40	47
279	89-K-8	20	30	29
280	89-K-8	25	38	39
281	89-K-8	24	28	21
282	89-K-8	28	30	17
283	89-L-8	18	20	13
284	89-L-8	36	36	44
285	89-L-8	18	26	51

No.	グリッド	径		確認深
		短径	長径	
286	89-L-8	24	28	11
287	89-H-9	13	14	23
288	89-K-8	192	360	5
289	89-L-7	118	150	3
290	89-L-7	14	20	22
291	89-L-8	24	24	31
292	89-L-8	30	32	37
293	89-L-8	38	50	43
294	89-L-8	35	30	42
295	89-L-8	28	44	48
296	89-L-8	25	38	37
297	89-L-8	23	25	28
298	89-L-7	40	41	43
299	89-M-8	30	31	10
300	89-L-7	36	40	42
301	89-L-7	42	50	58
302	89-L-7	24	34	41
303	89-L-7	20	23	60
304	89-M-7	28	31	15
305	89-M-7	23	29	37
306	89-M-7	38	38	44
307	89-L-7	30	32	40
308	89-L-7	36	50	45
309	89-L-7	38	50	43
310	89-L-7	17	18	9
311	89-L-7	18	24	53
312	89-L-7	26	34	36
313	89-L-7	38	42	30
314	89-L-7	35	40	16
315	89-L-7	25	32	39
316	89-L-7	30	48	14
317	89-L-7	40	40	59
318	89-L-7	30	32	26
319	89-L-7	34	38	32
320	89-L-7	38	38	41
321	89-L-7	46	52	82
322	89-L-7	40	68	62
323	89-L-7	31	40	30
324	89-L-7	18	22	39
325	89-L-7	19	30	13
326	89-L-7	30	38	16
327	89-L-7	34	59	7
328	89-L-7	22	35	28
329	89-L-7	27	32	17
330	89-L-7	30	31	32
331	89-H-9	10	15	22
332	89-H-9	10	14	24
333	89-L-7	14	16	40
334	89-L-7	14	16	41
335	89-L-7	120	150	43
336	89-L-7	22	26	16
337	89-L-7	50	85	37
338	89-K-7	24	28	20
339	89-L-7	35	58	46
340	89-K-7	40	42	35
341	89-K-7	35	36	50
342	89-K-7	32	35	40

2区4面 館内ピット類 一覧表 (cm)

No.	グリッド	径		確認深
		短径	長径	
343	89-K-7	32	48	19
344	89-K-7	23	42	46
345	89-L-7	22	23	29
346	89-K-7	20	24	5
347	89-L-7	37	38	57
348	89-K-7	25	26	62
349	89-K-7	50	50	52
350	89-K-6	16	20	57
351	89-K-7	30	32	12
352	89-K-6	54	60	60
353	89-L-7	40	50	51
354	89-K-8	22	22	22
355	89-H-7	35	40	37
356	89-K-8	30	30	30
357	89-K-8	28	32	14
358	89-K-7	30	34	28
359	89-I-10	20	34	46
360	89-K-7	40	50	60
361	89-J-7	22	22	44
362	89-J-7	46	60	55
363	89-J-7	24	32	34
364	89-J-7	34	42	24
365	89-J-8	26	34	20
366	89-J-8	32	55	43
367	89-J-8	68	85	42
368	89-J-8	40	50	17
369	89-J-7	50	57	45
370	89-J-7	24	25	23
371	89-I-7	40	42	22
372	89-I-8	22	28	21
373	89-I-8	38	95	46
374	89-I-8	41	42	14
375	89-I-8	29	34	49
376	89-I-8	30	36	43
377	89-I-8	17	18	29
378	89-I-8	25	26	21
379	89-I-8	34	36	15
380	89-I-8	44	58	20
381	89-I-8	56	74	45
382	89-I-8	38	54	35
383	89-I-8	32	40	25
384	89-I-8	26	30	29
385	89-I-7	39	40	23
386	89-I-7	26	28	23
387	89-H-8	20	30	12
388	89-H-8	49	52	30
389	89-H-8	24	32	15
390	89-H-8	24	26	37
391	89-H-8	14	30	24
392	89-H-8	29	32	28
393	89-H-8	46	65	52
394	89-H-8	20	90	39
395	89-H-6	30	34	37
396	89-H-8	20	34	15
397	89-H-8	38	43	29
398	89-H-8	38	40	31
399	89-H-8	30	38	24

No.	グリッド	径		確認深
		短径	長径	
400	89-H-8	32	44	24
401	89-H-8	40	42	20
402	89-H-8	40	52	32
403	89-H-8	44	63	20
404	89-H-8	32	50	23
405	89-H-8	26	30	23
406	89-H-8	26	30	23
407	89-H-8	26	96	27
408	89-H-8	39	43	33
409	89-H-8	30	33	27
410	89-H-8	14	16	32
411	89-H-8	26	45	25
412	89-H-8	24	28	16
413	89-H-8	39	40	11
414	89-H-8	25	65	35
415	89-H-8	20	50	19
416	89-H-7	24	26	20
417	89-H-7	24	26	27
418	89-H-8	29	34	17
419	89-H-8	24	35	12
420	89-H-8	32	35	28
421	89-H-8	30	32	11
422	89-H-8	34	40	25
423	89-H-8	29	34	25
424	89-H-8	20	28	28
425	89-H-7	15	18	33
426	89-H-7	44	58	33
427	89-H-7	32	61	34
428	89-H-7	24	25	30
429	89-H-7	30	33	24
430	89-H-7	22	24	17
431	89-H-7	30	41	25
432	89-H-7	38	40	37
433	89-H-7	26	38	46
434	89-H-7	42	44	34
435	89-H-7	20	30	14
436	89-H-7	32	34	29
437	89-H-7	25	35	15
438	89-H-7	26	30	20
439	89-H-7	28	35	26
440	89-H-7	42	62	32
441	89-H-7	28	40	20
442	89-H-7	20	32	14
443	89-H-7	60	96	49
444	89-H-7	25	30	23
445	89-H-7	38	48	28
446	89-H-7	28	35	16
447	89-H-7	28	30	25
448	89-H-7	16	47	26
449	89-H-7	17	18	36
450	89-H-7	30	36	26
451	89-H-7	30	38	23
452	89-H-7	20	25	25
453	89-H-6	10	20	42
454	89-H-7	36	42	25
455	89-H-7	22	29	22
456	89-H-7	24	50	25

No.	グリッド	径		確認深
		短径	長径	
457	89-H-7	52	65	58
458	89-H-7	35	40	41
459	89-H-7	42	80	50
460	89-H-7	38	85	27
461	89-H-7	22	27	9
462	89-H-7	20	22	19
463	89-H-7	18	20	17
464	89-H-7	30	38	48
465	89-H-7	24	25	40
466	89-H-7	25	28	31
467	89-H-6	34	35	16
468	89-H-7	20	20	18
469	89-H-7	44	48	42
470	89-H-7	30	32	19
471	89-H-7	31	41	17
472	89-H-7	38	40	40
473	89-H-7	30	58	33
474	89-H-7	36	42	31
475	89-H-7	26	30	13
476	89-H-6	28	30	24
477	89-I-6	27	29	8
478	89-I-7	18	24	20
479	89-I-7	20	22	12
480	89-I-7	7	8	27
481	89-I-7	32	45	33
482	89-I-7	22	38	39
483	89-I-6	34	44	48
484	89-I-7	22	28	20
485	89-I-7	38	45	45
486	89-I-7	46	61	21
487	89-I-7	42	45	64
488	89-I-7	16	20	25
489	89-I-7	15	33	10
490	89-I-7	20	20	7
491	89-I-7	38	40	30
492	89-I-7	20	20	25
493	89-I-7	12	16	38
494	89-I-7	16	20	56
495	89-I-7	38	50	15
496	89-I-7	20	22	23
497	89-I-7	43	62	15
498	89-I-7	26	30	35
499	89-I-7	36	54	30
500	89-I-7	40	62	16
501	89-I-7	38	40	24
502	89-I-7	11	18	32
503	89-I-7	26	28	34
504	89-I-7	25	33	27
505	89-I-7	28	30	46
506	89-I-7	36	41	38
507	89-I-7	36	37	43
508	89-I-7	30	34	38
509	89-I-7	39	40	55
510	89-I-7	20	86	30
511	89-I-7	54	65	12
512	89-I-7	22	30	8
513	89-I-7	20	20	13

II 発掘調査の記録

2区4面 館内ピット類 一覧表 (cm)

No.	グリッド	径		確認深
		短径	長径	
514	89-I-7	22	35	23
515	89-I-7	24	27	27
516	89-I-7	30	36	51
517	89-I-7	43	52	48
518	89-I-7	55	56	27
519	89-I-7	44	90	16
520	89-I-7	36	42	29
521	89-I-7	24	28	34
522	89-I-7	28	28	15
523	89-I-7	16	20	19
524	89-J-7	19	20	17
525	89-J-7	42	43	48
526	89-J-7	36	38	47
527	89-J-7	42	43	50
528	89-J-7	23	25	4
529	89-J-7	24	30	19
530	89-J-7	16	19	24
531	89-J-7	32	42	12
532	89-J-7	18	20	20
533	89-J-6	30	38	30
534	89-J-6	20	28	18
535	89-J-7	26	27	16
536	89-J-7	20	29	48
537	89-J-6	30	56	48
538	89-J-6	65	82	17
539	89-J-6	30	35	12
540	89-J-6	30	33	43
541	89-J-6	26	36	15
542	89-K-7	14	15	38
543	89-K-6	25	46	16
544	89-K-6	32	35	15
545	89-K-6	32	33	16
546	89-K-6	19	30	26
547	89-K-6	25	26	16
548	89-K-6	19	19	16
549	89-K-6	29	30	24
550	89-K-6	18	20	16
551	89-I-11	12	16	19
552	89-I-11	30	80	55
553	89-K-6	30	30	40
554	89-L-6	28	28	25
555	89-L-6	24	24	14
556	89-L-6	35	60	39
557	89-L-6	24	29	34
558	89-L-6	59	82	48
559	89-L-6	20	20	17
560	89-L-6	24	26	10
561	89-K-7	37	40	58
562	89-L-7	30	63	40
563	89-I-9	36	38	28
564	89-L-7	38	70	33
565	89-L-7	29	30	26
566	89-L-7	44	50	55
567	89-L-7	18	21	12
568	89-L-7	28	34	21
569	89-L-6	76	84	18
570	89-L-7	34	43	29

No.	グリッド	径		確認深
		短径	長径	
571	89-L-7	12	16	21
572	89-L-6	12	12	42
573	89-L-6	45	65	44
574	89-L-6	40	41	31
575	89-L-6	32	33	31
576	89-L-6	22	25	23
577	89-L-6	24	28	40
578	89-L-6	32	36	23
579	89-L-6	22	22	57
580	89-L-6	26	28	37
581	89-L-6	24	58	36
582	89-H-9	10	14	22
583	89-L-6	32	48	36
584	89-L-6	33	40	48
585	89-L-6	18	24	18
586	89-L-6	35	54	40
587	89-L-6	38	46	40
588	89-L-6	22	26	30
589	89-L-6	21	23	25
590	89-L-7	12	14	32
591	89-L-6	20	20	24
592	89-L-6	28	39	25
593	89-L-6	11	21	8
594	89-L-6	35	36	17
595	89-K-6	20	34	39
596	89-L-6	23	38	19
597	89-L-6	38	46	25
598	89-L-6	24	30	27
599	89-L-6	33	42	26
600	89-L-5	22	28	29
601	89-L-5	20	28	16
602	89-L-5	19	26	15
603	89-L-5	21	42	23
604	89-L-5	32	48	17
605	89-K-5	20	22	11
606	89-K-5	30	32	18
607	89-K-5	30	38	23
608	89-I-10	10	18	8
609	89-K-6	30	32	27
610	89-K-6	30	32	10
611	89-K-6	30	33	6
612	89-K-6	30	33	36
613	89-K-6	38	40	35
614	89-K-6	24	24	18
615	89-K-5	30	32	50
616	89-K-5	24	34	24
617	89-K-6	28	40	29
618	89-J-10	32	48	117
619	89-J-5	25	30	13
620	89-J-5	82	112	10
621	89-J-6	46	50	22
622	89-J-6	38	210	15
623	89-J-6	40	190	13
624	89-I-6	44	70	20
625	89-I-6	20	22	42
626	89-I-6	36	40	31
627	89-I-6	28	30	29

No.	グリッド	径		確認深
		短径	長径	
628	89-I-6	30	35	40
629	89-I-6	16	27	39
630	89-I-6	19	22	30
631	89-I-6	26	30	66
632	89-I-6	20	26	59
633	89-H-6	20	26	44
634	89-I-6	16	20	39
635	89-H-6	20	20	42
636	89-H-6	30	34	24
637	89-H-6	32	46	44
638	89-H-6	26	30	23
639	89-I-6	25	36	52
640	89-I-6	25	26	4
641	89-I-6	20	20	13
642	89-I-6	36	38	52
643	89-I-6	20	25	51
644	89-I-6	24	34	32
645	89-H-6	20	25	15
646	89-H-6	20	26	37
647	89-H-6	18	20	19
648	89-H-6	26	38	48
649	89-H-6	18	24	24
650	89-H-6	14	16	50
651	89-H-6	20	24	22
652	89-H-6	16	32	25
653	89-H-6	26	28	38
654	89-H-6	22	40	54
655	89-H-6	27	42	39
656	89-H-6	32	36	16
657	89-H-6	26	30	40
658	89-H-6	18	20	16
659	89-H-6	26	32	32
660	89-H-6	24	40	15
661	89-H-6	32	38	50
662	89-H-6	34	39	42
663	89-H-5	40	42	61
664	89-H-6	15	21	48
665	89-H-6	18	20	23
666	89-H-6	20	22	50
667	89-H-6	20	22	49
668	89-H-6	20	25	70
669	89-H-6	28	30	24
670	89-H-6	32	34	46
671	89-H-6	50	63	34
672	89-H-6	80	85	67
673	89-H-6	29	30	28
674	89-H-6	38	44	39
675	89-H-6	30	36	29
676	89-H-6	31	35	28
677	89-H-6	14	16	40
678	89-H-6	35	36	38
679	89-H-6	22	50	34
680	89-H-6	12	50	22
681	89-H-6	37	48	25
682	89-H-6	16	30	9
683	89-H-6	22	28	23
684	89-H-6	27	28	34

2区4面 館内ピット類 一覧表 (cm)

No.	グリッド	径		確認深
		短径	長径	
685	89-H-6	18	24	20
686	89-H-6	16	20	21
687	89-H-3	28	28	28
688	89-G-3	18	20	12
689	89-G-3	20	20	22
690	89-G-3	18	32	21
691	89-G-3	28	38	32
692	89-G-3	28	30	43
693	89-G-3	16	18	28
694	89-H-3	18	22	25
695	89-H-3	32	36	34
696	89-H-3	40	40	16
697	89-G-3	28	30	13
698	89-G-3	20	30	5
699	89-G-3	32	38	56
700	89-G-3	26	30	13
701	89-G-3	38	40	51
702	89-G-3	54	54	16
703	89-G-3	26	28	27
704	89-G-3	30	48	14
705	89-G-2	40	64	21
706	89-G-3	36	40	40
707	89-G-2	26	28	21
708	89-G-3	18	28	22
709	89-H-3	18	20	13
710	89-H-3	22	22	8
711	89-H-3	38	44	17
712	89-H-3	24	32	17
713	89-H-3	32	34	29
714	89-H-3	40	40	42
715	89-H-3	30	32	23
716	89-H-2	40	44	42
717	89-H-2	30	52	38
718	89-H-2	36	42	32
719	89-H-2	28	32	16
720	89-H-2	26	38	19
721	89-H-2	28	30	12
722	89-H-2	28	30	14
723	89-H-2	24	28	23
724	89-G-2	38	40	37
725	89-G-2	54	56	41
726	89-G-2	32	32	41
727	89-G-2	24	24	50
728	89-G-2	54	60	40
729	89-G-2	42	50	28
730	89-H-2	20	20	40
731	89-H-1	25	26	24
732	89-H-1	42	44	32
733	89-G-1	12	16	12
734	89-G-1	18	20	10
735	89-G-1	18	20	22
736	89-G-1	18	20	22
737	89-G-1	30	34	62
738	89-H-1	28	38	29
739	89-H-1	48	62	25
740	89-H-1	36	36	28
741	89-H-1	32	40	34
742	89-H-1	40	52	45

No.	グリッド	径		確認深
		短径	長径	
743	89-J-2	22	28	19
744	89-J-2	18	18	18
745	79-J-20	45	100	15
746	89-K-1	58	80	10
747	89-K-1	58	92	8
748	89-K-1	28	28	18
749	89-K-1	30	30	24
750	89-K-2	26	40	11
751	89-K-2	36	36	25
752	89-L-2	26	28	36
753	89-I-3	32	32	27
754	89-K-2	18	30	18
755	89-K-2	58	74	16
756	89-K-2	64	70	22
757	89-K-2	40	42	33
758	89-K-3	24	28	8
759	89-L-3	36	40	13
760	89-L-3	26	48	14
761	89-H-2	90	98	27
762	89-G-2	54	57	29
763	89-G-3	28	30	11
764	89-K-11	14	16	23
765	89-K-9	70	140	23
766	89-K-9	12	13	17
767	89-K-9	18	18	8
768	89-K-9	58	60	52
769	89-K-9	20	20	8
770	89-K-9	20	20	9
771	89-K-9	18	22	10
772	89-K-9	10	14	11
773	89-K-9	18	22	31
774	89-K-9	22	24	22
775	89-K-9	32	34	69
776	89-K-9	18	18	51
777	89-K-9	24	30	19
778	89-K-9	34	38	15
779	89-L-10	28	36	32
780	89-L-10	30	34	31
781	89-K-11	18	22	35
782	89-K-10	28	30	61
783	89-J-8	30	34	28
784	89-I-8	70	130	25
785	89-I-8	40	44	29
786	89-I-8	20	25	16
787	89-I-7	28	34	11
788	89-I-7	22	30	15
789	89-I-7	35	42	49
790	89-I-7	25	55	50
791	89-I-10	16	24	15
792	89-I-7	30	35	55
793	89-I-7	45	50	42
794	89-I-7	32	38	17
795	89-I-7	16	18	40
796	89-I-7	25	26	22
797	89-I-7	16	18	24
798	89-I-7	32	35	26
799	89-I-7	29	32	34
800	89-I-7	23	25	5

No.	グリッド	径		確認深
		短径	長径	
801	89-I-7	30	39	16
802	89-I-7	25	30	34
803	89-I-7	22	25	28
804	89-I-7	30	35	33
805	89-I-7	25	30	7
806	89-I-7	25	30	16
807	89-H-7	32	34	27
808	89-I-7	19	20	53
809	89-I-7	15	16	12
810	89-H-7	30	37	26
811	89-H-7	38	58	19
812	89-H-7	33	50	41
813	89-I-7	12	30	37
814	89-I-7	25	35	20
815	89-I-7	16	24	20
816	89-I-7	41	48	41
817	89-I-7	18	32	29
818	89-I-8	58	72	30
819	89-H-8	12	45	23
820	89-H-8	35	80	23
821	89-H-8	24	35	30
822	89-I-6	29	30	26
823	89-I-6	26	28	32
824	89-H-7	11	13	20
825	89-I-6	16	23	18
826	89-I-6	18	21	15
827	89-H-7	19	20	26
828	89-H-7	20	45	41
829	89-H-7	24	58	35
830	89-H-6	40	72	22
831	89-H-6	12	14	34
832	89-H-6	14	18	21
833	89-K-7	25	26	49
834	89-L-7	36	48	50
835	89-H-6	26	34	44
836	89-H-6	22	40	62
837	89-L-6	12	16	22
838	89-I-11	50	50	45
839	89-I-11	32	36	20
840	89-K-9	28	28	11
841	89-I-10	18	18	15
842	89-I-10	58	68	49
843	89-I-10	20	22	19
844	89-I-11	60	70	17
845	89-J-10	36	46	23
846	89-I-9	19	21	33
847	89-I-9	34	42	22
848	89-I-9	30	40	23
849	89-I-9	20	36	24
850	89-J-8	33	52	67
851	89-I-7	18	32	18
852	89-I-7	16	34	40
853	89-L-7	13	16	30
854	89-I-10	38	54	32
855	89-I-9	16	24	23
856	89-K-7	74	148	12



もち、以下は円筒状断面を示す。

**9号井戸**（第149図、PL60）

89I-6グリッドに位置する。館西区画中央56号溝寄りに掘り込まれる。2号井戸と2m程南西となる。径228cm×173cmの楕円形平面を呈し、深さは132cmを測る。上部は漏斗状に広がるが、以下は円筒状断面を示す。埋没土から石臼片（第151図2）、礫が出土した。162号土坑と重複する。

**10号井戸**（第150図、PL61）

89J-12グリッドに位置する。館西区画西寄りに掘り込まれ、3号掘立柱建物に西接する。径92cm×86cmの円形平面を呈し、深さは81cmで上端径が広がる筒形断面を示す。埋没土中から鍋（第151図1）、礫（第151図4、5）、有孔礫（第152図7）が出土した。

**12号井戸**（第150図、PL61）

89L-8グリッドに位置する。館西区画中央北よりに掘り込まれ、48号溝に南接する。径207cm×166cmで楕円形平面を呈する。深さは177cmを測り、上部には礫を野面積みし補強している。下位は円筒状断面を示す。4号掘立柱建物柱軸線上に重複し、11号掘立柱建物に西接する。板碑片（第151図6）が出土するが、出土層位は不明。この板碑片が第3面に報告する16号溝出土の板碑と接合している。両遺構の時間的同時性を示すものか、耕作等による土壌移動により出土位置も移動し、検出時のようになったかについて判断できる情報が少ないため、それぞれ調査時の確認面を優先し、報告しておきたい。なお、接合状態を示す図は第3面16号溝出土遺物図中に示しておく。

**13号井戸**（第150図、PL61）

89Q-11グリッドに位置する。径118cm×105cmの楕円形平面を呈し、深さは78cmで漏斗状断面を呈する。

**17号井戸**（第150図、PL61）

位置不明。調査記録から2区4面で検出された井戸であることから、報告しておく。径116cm×103cmの楕円形平面を呈し、深さは70cmで逆梯形断面を示す。

**18号井戸**（第150図、PL61）

89G-4グリッドに位置する。東区画南西部に掘

り込まれ、57号溝に東接する。径204cm×166cmの楕円形平面を呈し、上部は漏斗状に広がり、下部は円筒状断面を示す。埋没土上層に円礫（第151図3）、火輪（第152図8）および礫等が出土した。

**溝**（第153図～第161図、PL62～66）

第4面で確認された溝群は、上層からの攪乱などにより遺失する部分も多く、走行や形状が不明確であり、把握しにくい遺構となっている。

その中で、48号溝は幅4m～6m前後、深さ80cm～90cmを測る方形区画を示す溝として2区南西部に検出された。この溝は微高地縁辺を巡るように区画されるもので、区画内は微高地上となり、掘立柱建物、土坑、井戸等により1号館が形成されている。1号館内にも複数の溝が検出されるが、明確に館に伴うものは56号溝、57号溝であり、他溝については館構成溝であるかは、不明である。

48号溝外側は、基本的には低地部にあたり、水田（畦畔）も部分的に確認され、この耕作関連の溝も存在する。

**25号溝**（第153図）

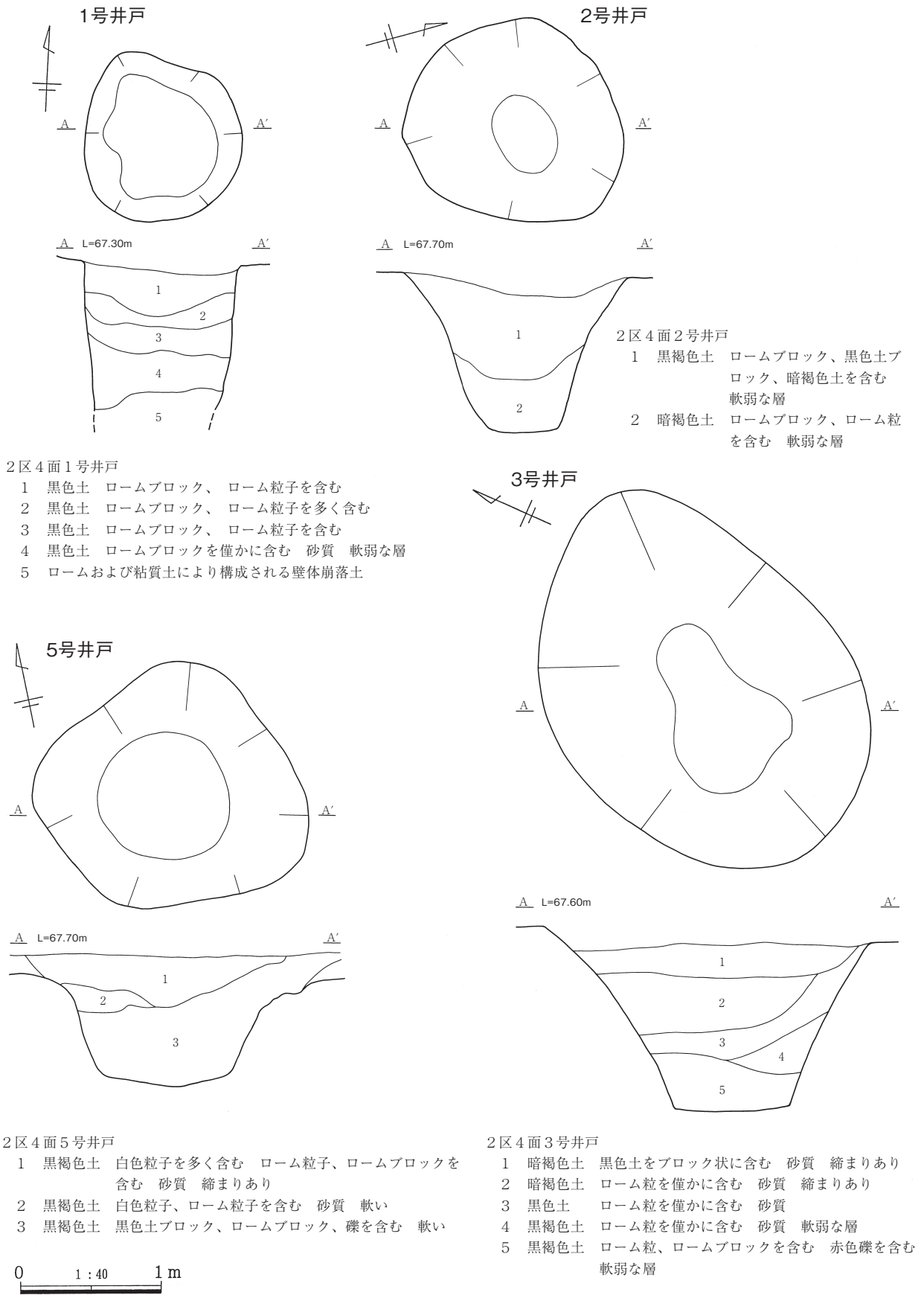
79J-13グリッド～79K-18グリッドに位置する。幅70cm～120cm、深さ13cmを計測する。東西方向に走行し、西端部は不明となるが、東側は1区へ連続する。

**26溝**（第153図、PL63）

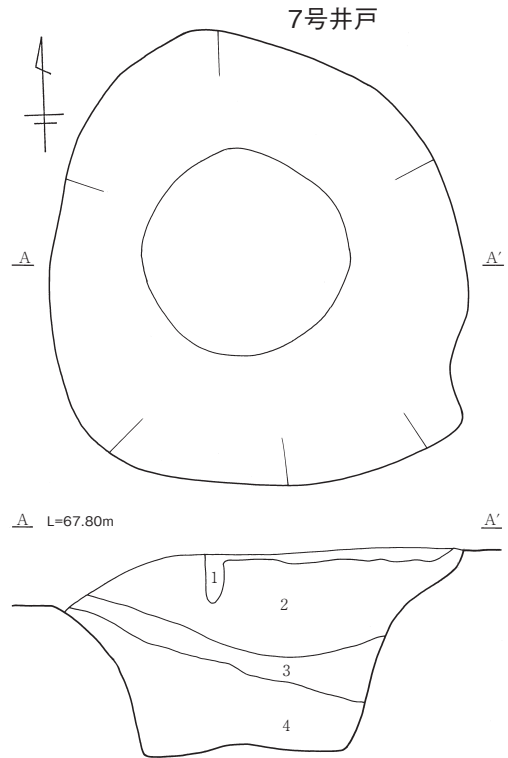
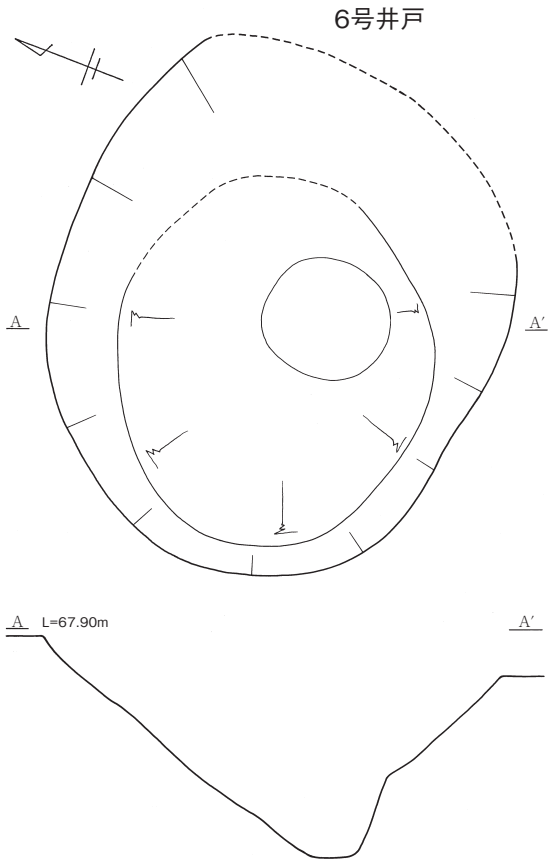
79O-13グリッド～79N-20グリッドに位置する。幅120cm、深さ26cmを計測する。東西方向に走行し、西端部は不明となるが、東側は1区へ連続する。25号溝と20m前後の間隔をもち、西方向に向かってやや間隔が狭まるが、ほぼ平行に走行する。

**48号溝・56号溝・57号溝（1号館）**（第154・155図、PL64・65）

48号溝は幅4m～6m、深さ90cm前後で、確認延長95mで、方形に巡る区画溝であり、1号館を形成する遺構となる。北西隅は角状に、北東隅は弧状に屈曲するが、両隅とも直角を形成するのではなく、鈍角を示す。北側溝は直線的であるが、西、東側溝は湾曲さみ

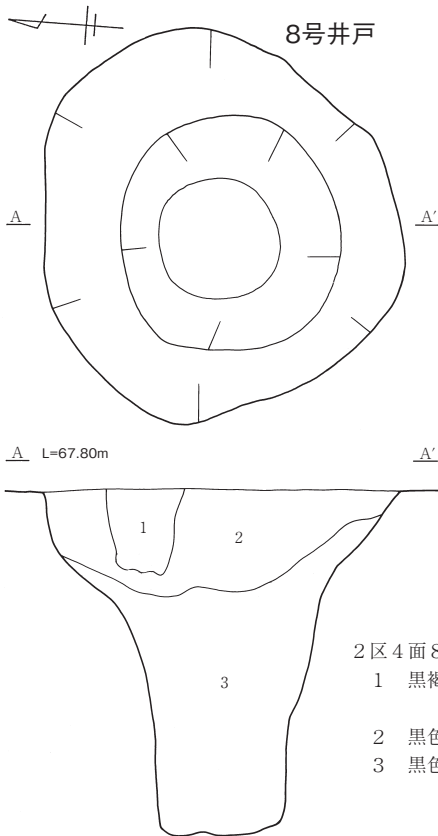


第148図 2区1～3・5号井戸



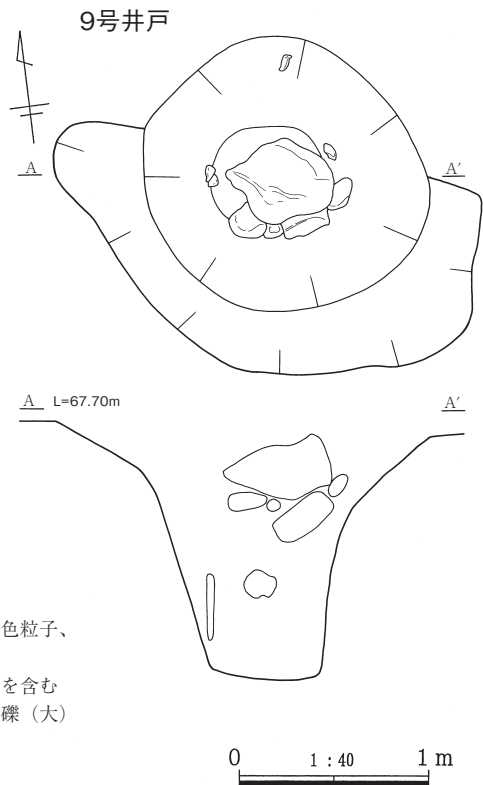
2区4面7号井戸

- 1 にぶい黄褐色土 褐色粒子を含む シルト質土層
- 2 黒色土 ロームブロック、ローム粒を含む やや粘性あり
- 3 黒褐色土 ロームを僅かに含む 砂質 水分を含み軟弱
- 4 黒色土 ロームブロック、3層土を含む 軟弱な層



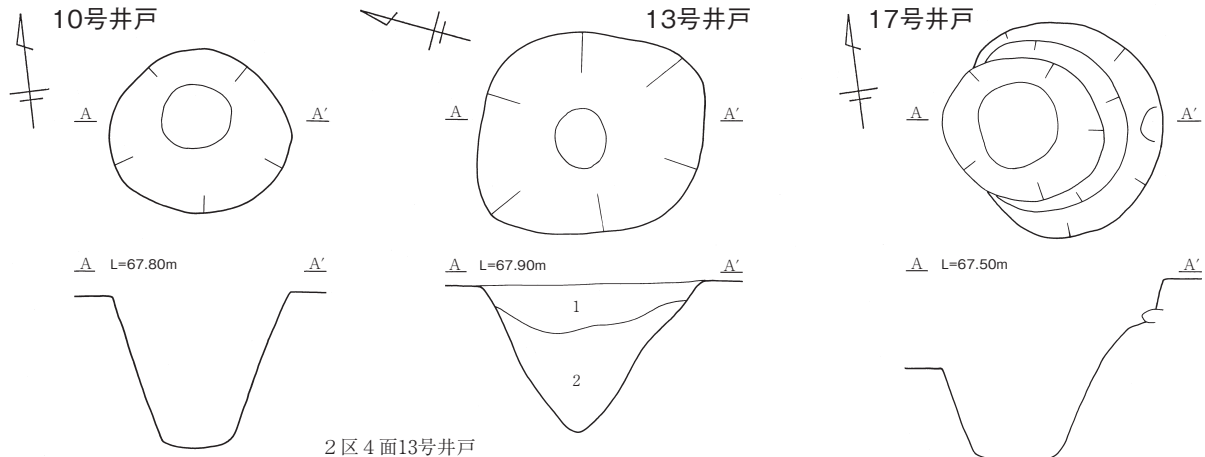
2区4面8号井戸

- 1 黒褐色土 白色粒子を多く含む 赤褐色粒子、炭化物を含む 下層軟い
- 2 黒色土 軽石粒、炭化粒、礫(小)を含む
- 3 黒色土 炭化物、ロームブロック、礫(大)を含む 軟い

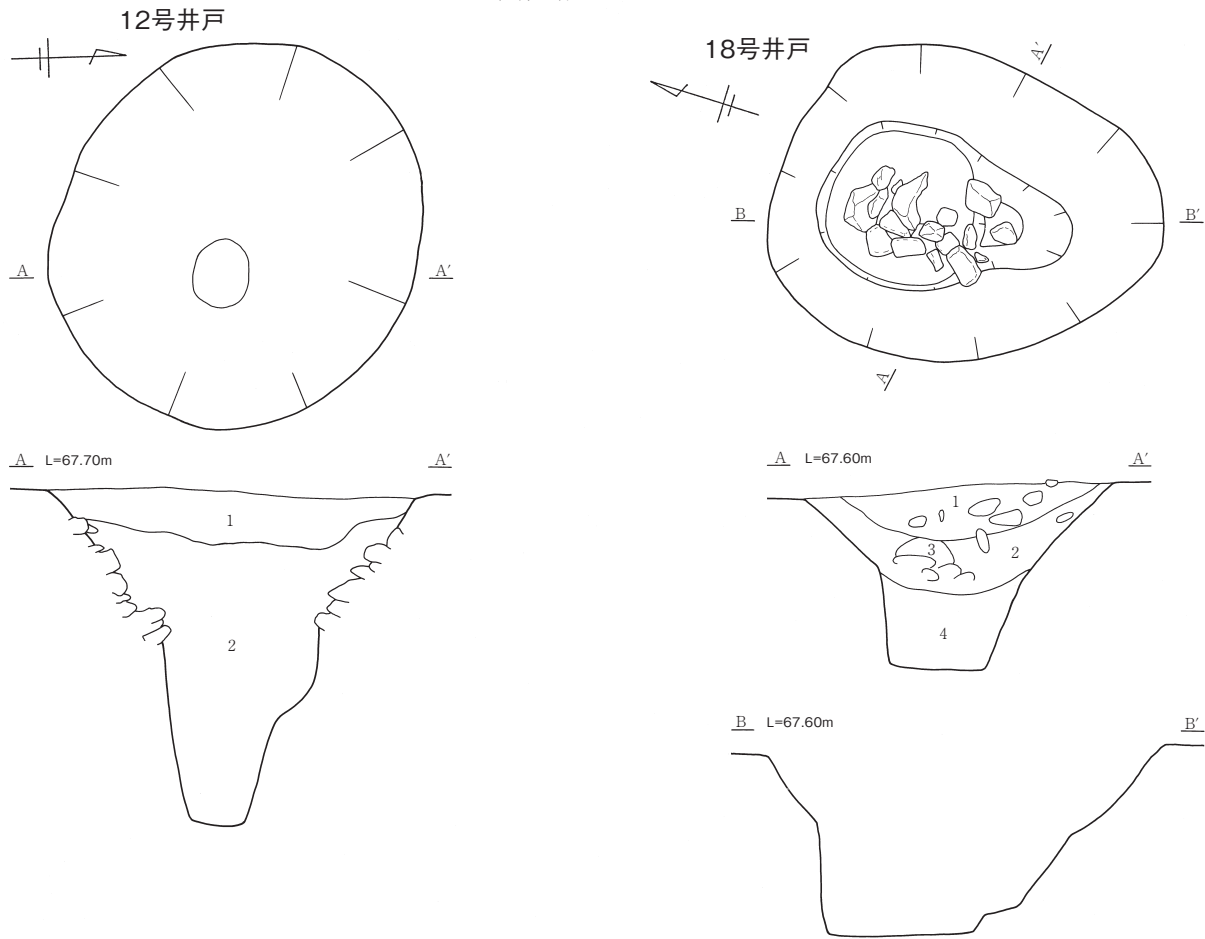


0 1:40 1 m

第149図 2区6~9号井戸



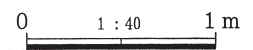
2区4面13号井戸  
 1 黒色土 白色軽石粒を含む やや粘性あり  
 2 黒色土 ロームブロック、ローム粒を多く含む やや軟弱な層

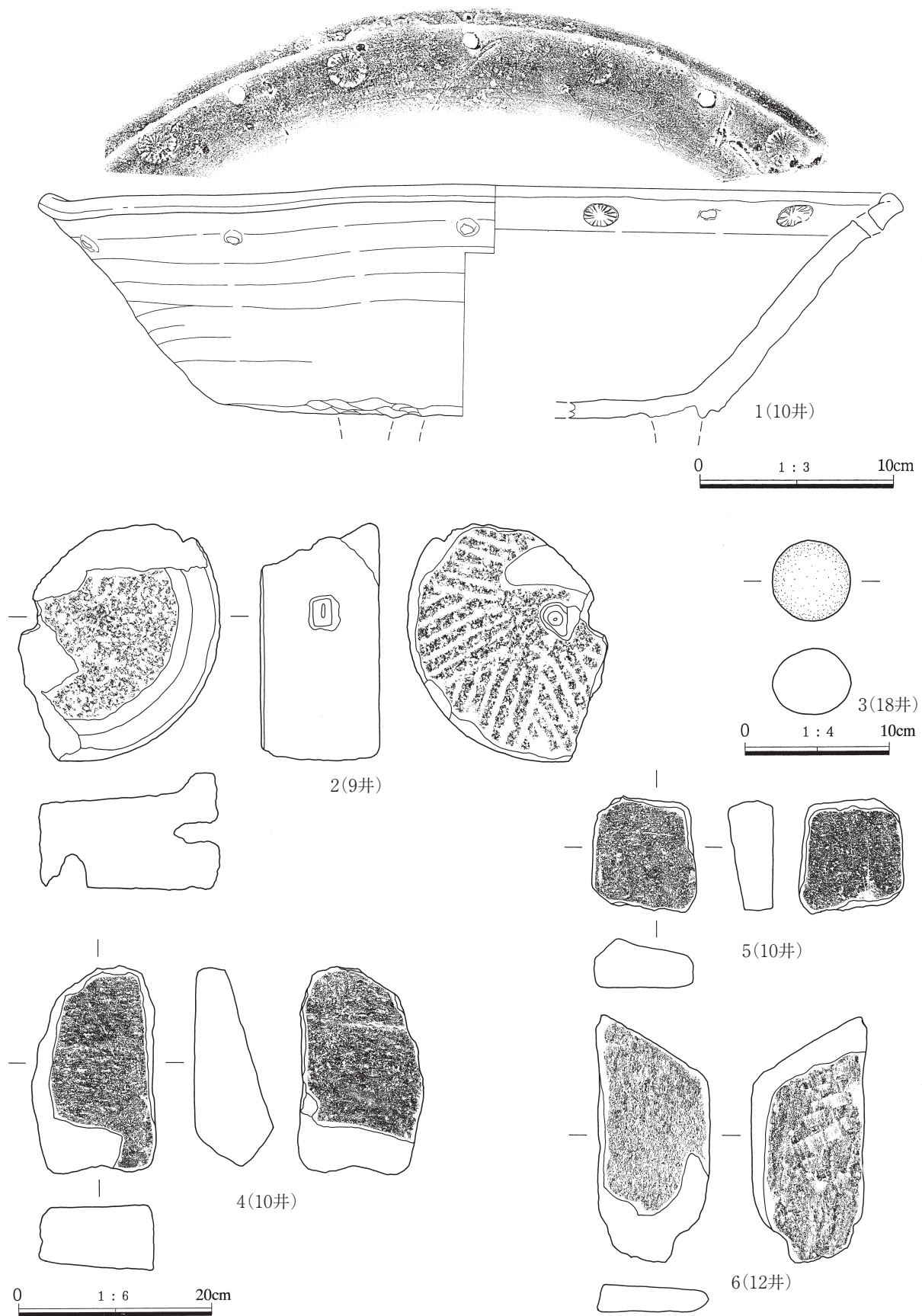


2区4面12号井戸  
 1 黒褐色土 軽石粒を含む 砂質  
 2 黒褐色土 ローム粒を含む 壁体の礫が崩落 粘性あり 軟弱な層

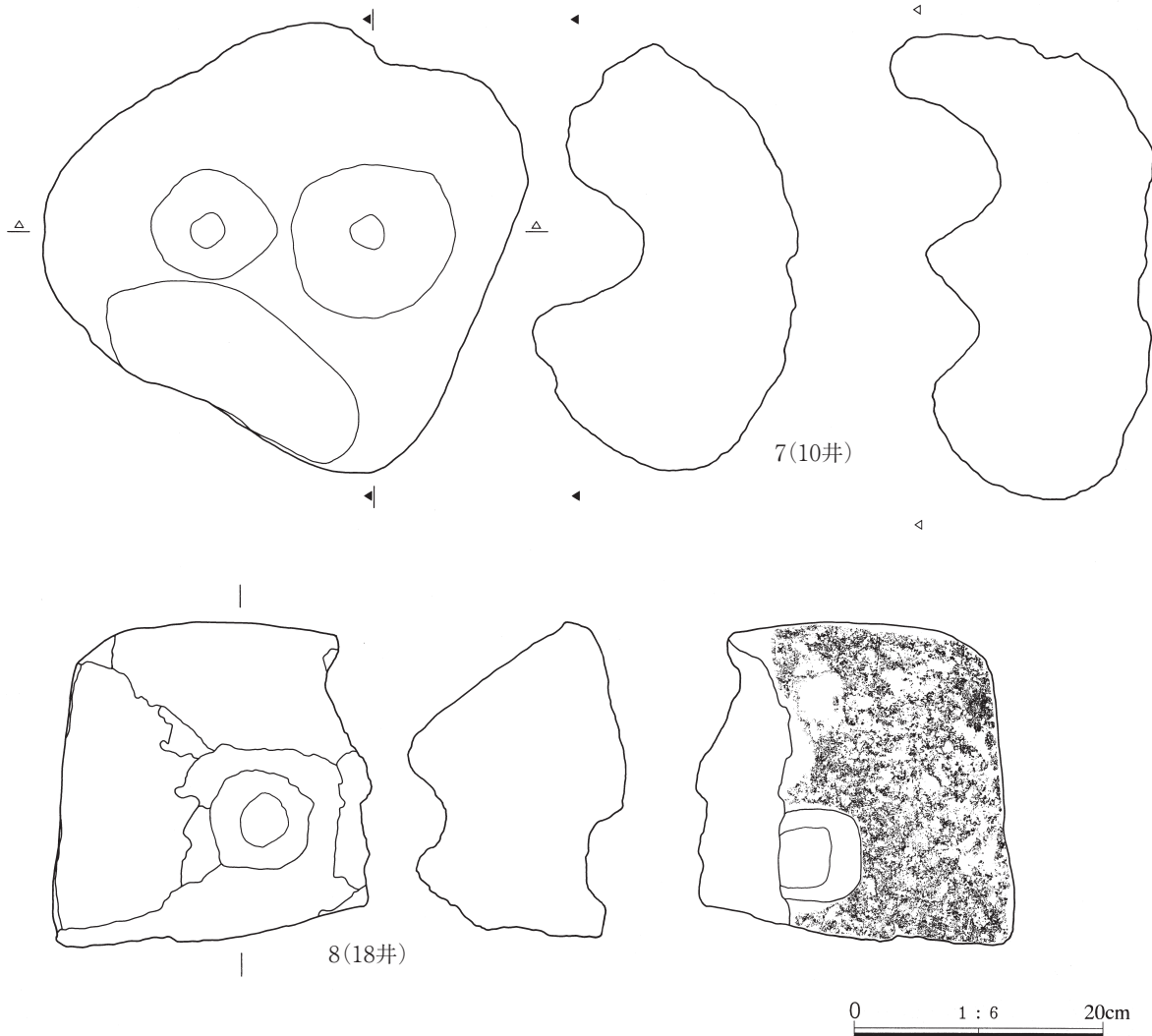
2区4面18号井戸  
 1 灰黄褐色土 褐色ローム粒を含む 白色軽石粒を僅かに含む やや粘性あり  
 2 灰黄褐色土 ロームブロックを含む 粘性強い  
 3 にぶい黄橙色ロームブロック 灰黄褐色土ブロックを含む 粘性強い  
 4 黒褐色土 黄褐色土ロームブロックを多く含む

第150図 2区10・12・13・17・18号井戸





第151図 2区井戸出土遺物 (1)



第152図 2区井戸出土遺物(2)

の方形区画となるものだろう。48号溝埋没土から土錘、陶器皿、紡錘車等が出土した。また、北側溝中央部北法面には1号井戸が位置する。時間的新旧関係が不明のため確定できないが、溝に伴うものとすれば、溝内への湧出水を得る目的となるだろう。

56・57号溝は48号溝北側溝と垂直に交差する溝で、館内を東西に区画する溝となる。

56号溝は幅300cm、深さ45cm、57号溝は幅250cm、深さ58cmを測り、100cm前後の間隔で平行する。48号溝による区画との位置関係では、北側溝ほぼ中央に56号溝が垂直に位置し、その東側に57号溝が平行するものとなる。そのため、両溝による東西の区画は西側が広くなり、東側は57号溝が走行する面積分が狭くなる。また、両溝間に3号井戸が位置する。ちょうど、48号溝北法面の1号井戸と溝を挟んだ位

置となる。56号溝埋没土中から内耳鍋(第158図)、石臼、石鉢、石製品、板碑片、古銭(第159図)が、57号溝埋没土中からは石鉢、板碑片(第159図)が出土している。これらの溝は、As-B混土を主に埋没土とし、溝底面には砂礫の堆積も認められる。

#### 49号溝(第156図、PL64)

89M-11グリッド～89O-6グリッドに位置する。幅25cm～50cm前後、深さ8cm前後を測る。48号溝、6・7号井戸と重複するが、いずれの遺構より49号溝が新しい。

#### 50号溝・51号溝(第156図、PL64)

2m程の間隔で平行する位置にあり、南北方向に走行する。50号溝は幅40cm前後、深さ12cmで確認長は3.6m。51号溝は幅20cm、深さ10cmで、確認長は1.7mとなる。

**52号溝・53号溝・54号溝**（第157図、PL64・65）

関連性は不明であるが、近接する南北方向の溝群である。52号溝と53号溝は同規模で、平行する位置にある。52号溝は幅35cm、深さ5cm、確認長100cm。53号土坑は幅40cm、深さ16cm、確認長570cm。54号溝は幅80cm～110cm、深さ45cmで、逆梯形断面を呈する。確認長は12mで、南端部は48号溝に接するが、時間的新旧関係は不明である。平面位置をみると、48号溝を挟んだ延長上に57号溝が存在する。両溝は底面レベルや断面形に相違があるため、同一の遺構ではないと考えられるが、1号館に伴う溝の可能性は、平面位置からは伺うことができる。

**55号溝**（第157図）

79L-19グリッド～89N-4グリッドに位置する。幅100cm～130cm、深さ40cmを測り、微高地縁辺に沿って巡るため、蛇行状に走行する。西端部は54号溝に接し、以西は不明となる。東端部も途切れてしまい不明となるが、延長上に161号溝が位置し、溝底部レベルも同様であることから、この溝に連続するものと考えられる。

**58号溝**（第157図、PL65）

89M-2グリッド～89M-6グリッドに位置する。幅1m～2m、深さ38cm、確認長24.8mを測る。48号溝に北接し、西端部および東端部とも48号溝と重複するが、時間的前後関係は不明である。なお、54号溝には切られている。溝埋没土中から、土錘が出土している。

**68号溝**（第160図、PL65）

89K-12グリッド～89M-9グリッドに位置する。1号館北西隅部にあり、北端部は48号溝に接する。1号竪穴と重複し、この溝が時間的に古い。幅2m、深さ58cmで逆梯形断面を呈し、確認長22mを測る。埋没土中から円孔礫が出土した。

**69号溝・70号溝**（第161図、PL65）

1号館西区画に位置する溝で、69号および70号溝が並列し、南北に走行する。69号溝は幅50cm、深さ30cm、70号溝は幅90cm、深さ60cmを測り、逆梯形断面を呈する。館内区画溝である56号溝西側に位置

する。113・148号土坑、9・11号掘立柱建物等が重複するが、これらの遺構より69・70号溝が古い。北端部は、48号溝に接し、北側の走行は不明である。両溝延長線上、48号溝北側に52・53号溝が位置し、平面位置では関連するようみえるが、溝底面レベルが大きく相違することから、一連の溝ではないものと考えられる。

両溝は接して並列するが、新旧関係については断面観察によっても同様の埋没土であり確定できていない。

**129号溝**（第161図、PL66）

89H-1グリッド～89J-1グリッドに位置し、東区画中央部に存在する。幅60cm、深さ16cmで南北に走行しするが、南端部および北端部は不明である。

**140号溝**（第161図）

89H-1グリッド～89J-1グリッドに位置する。幅100cm前後、深さ20cmで、弧状に湾曲し、両端部は129号溝に接する。

**161号溝**（第161図、PL66）

79I-17グリッド～79J-17グリッドに位置し、幅35cm、深さ7cmを測る。55号溝に連続するものとみられ、微高地縁辺を巡るよう走行する。

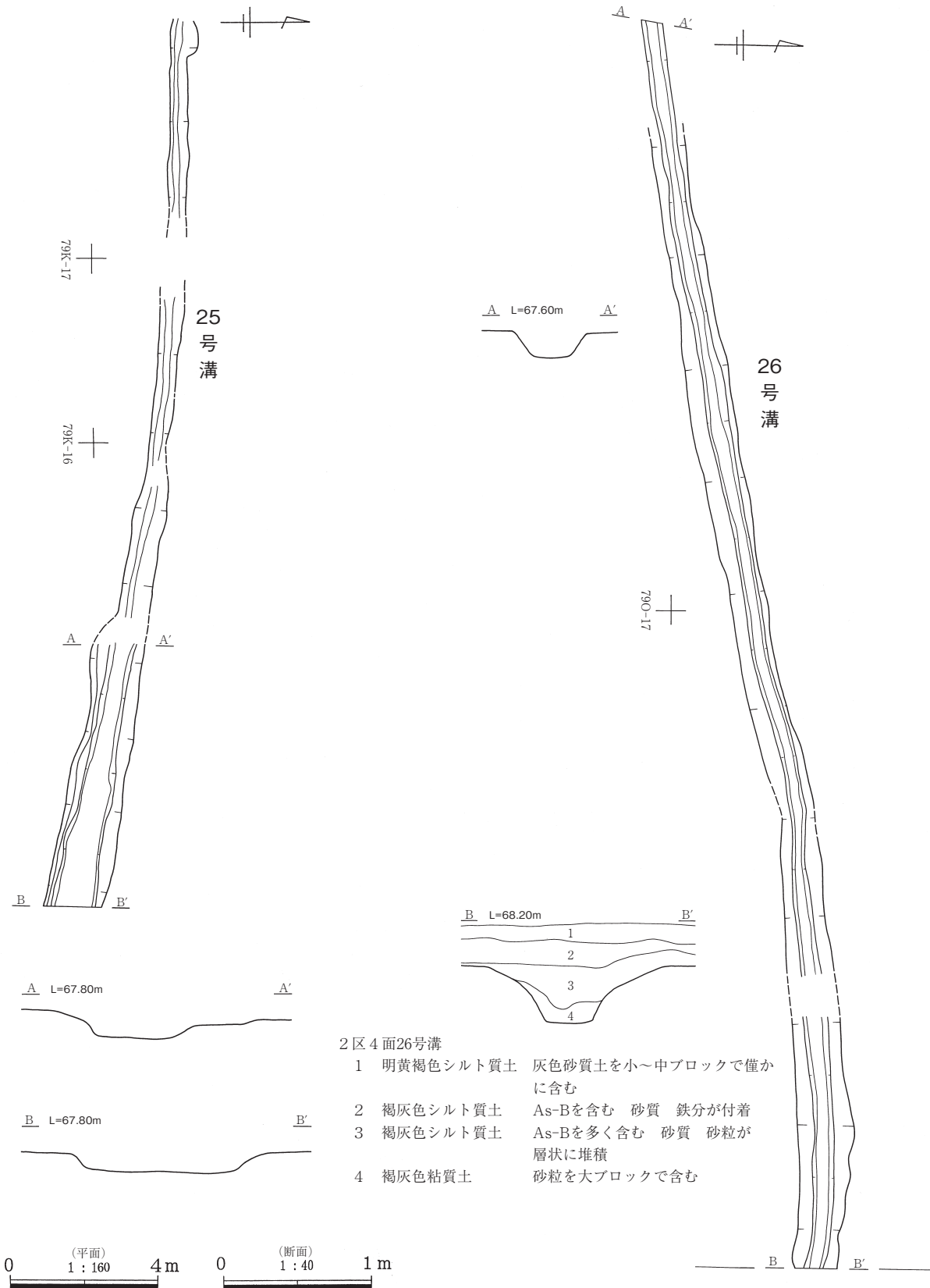
**水田**（第162図、PL67）

2区東側の低地部に畦畔が部分的に確認され、水田が存在することがわかる。

5畦（第162図）は79Q-14グリッドに位置し、わずかな帯状の高まりとして確認された。方位はN-80°-Eを示す。南接して不規則な凹凸が帯状に連続し、耕作に伴う痕跡とみられる。この痕跡は5号畦確認部分にのみ認められている。

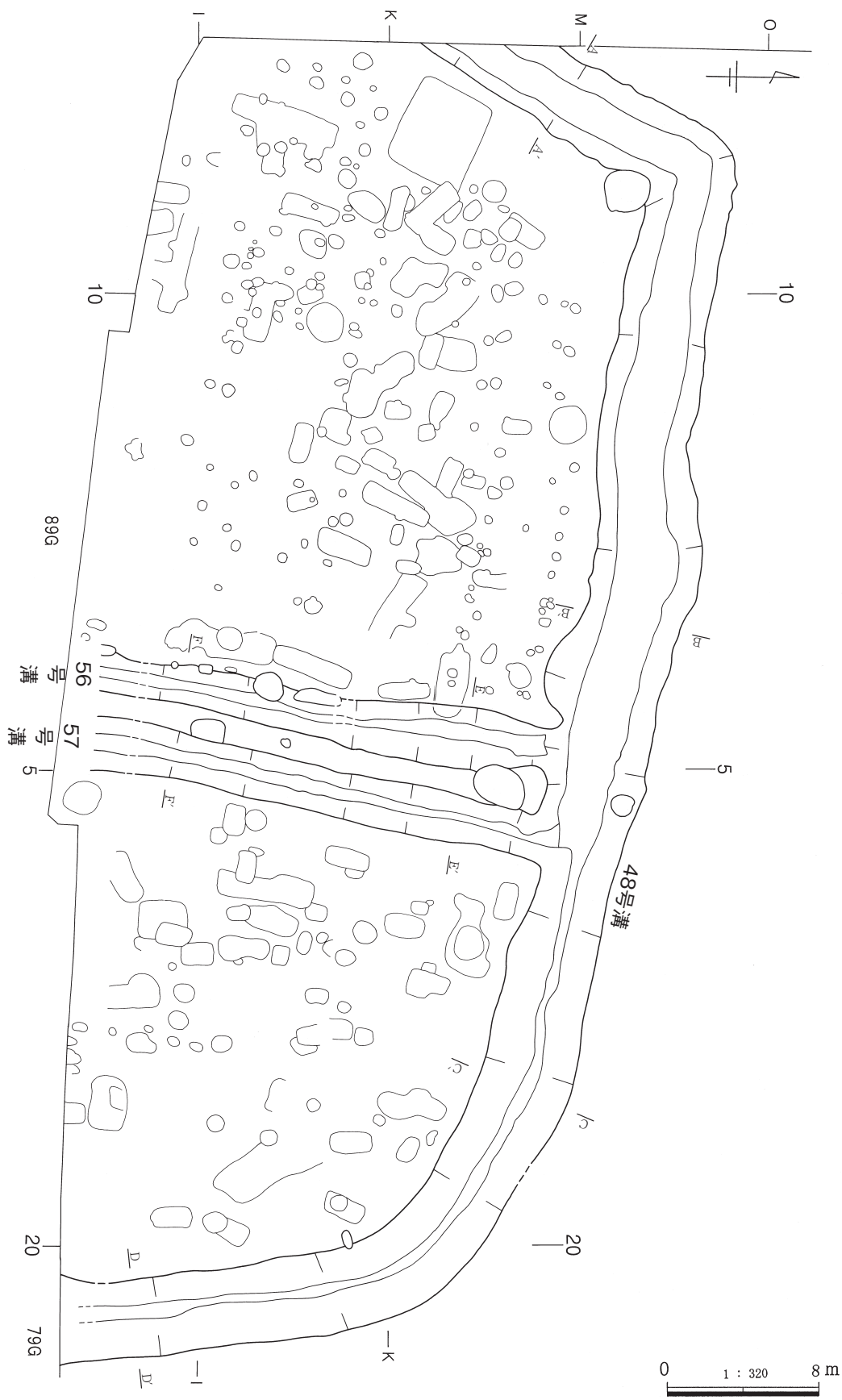
6畦（第162図、PL67）は79P-14グリッド～79Q-13グリッドに位置し、帯状のわずかな高まりとして確認され、方位はN-70°-Eを示す。

5・6畦とも2区東壁部に位置するが、1区では延長部分は未確認となっている。

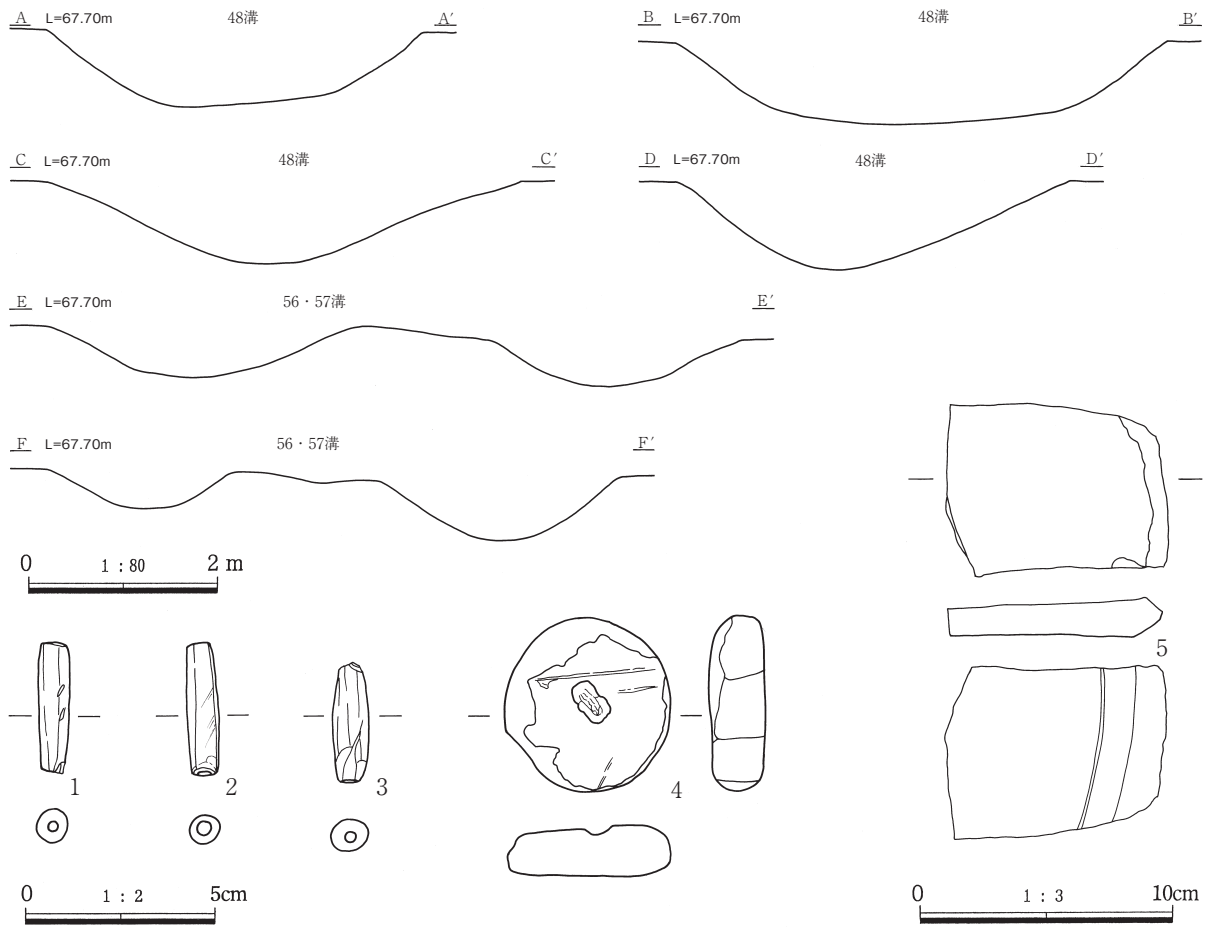


第153図 2区25・26号溝

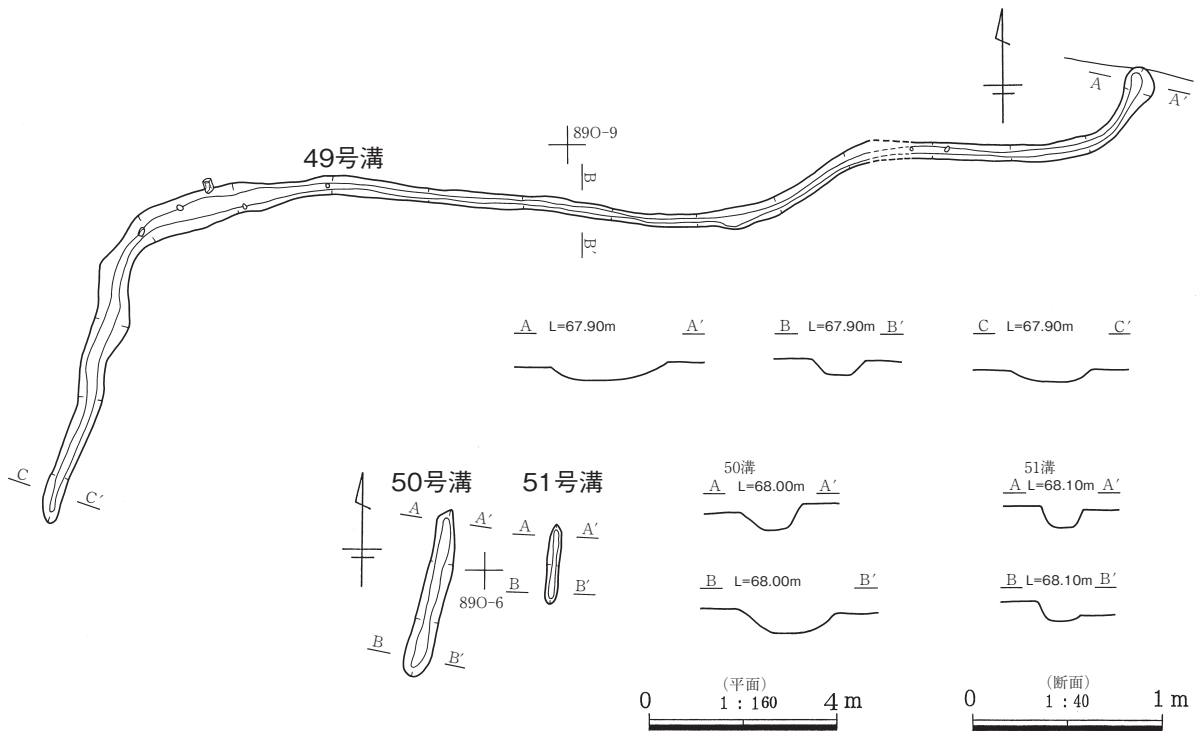




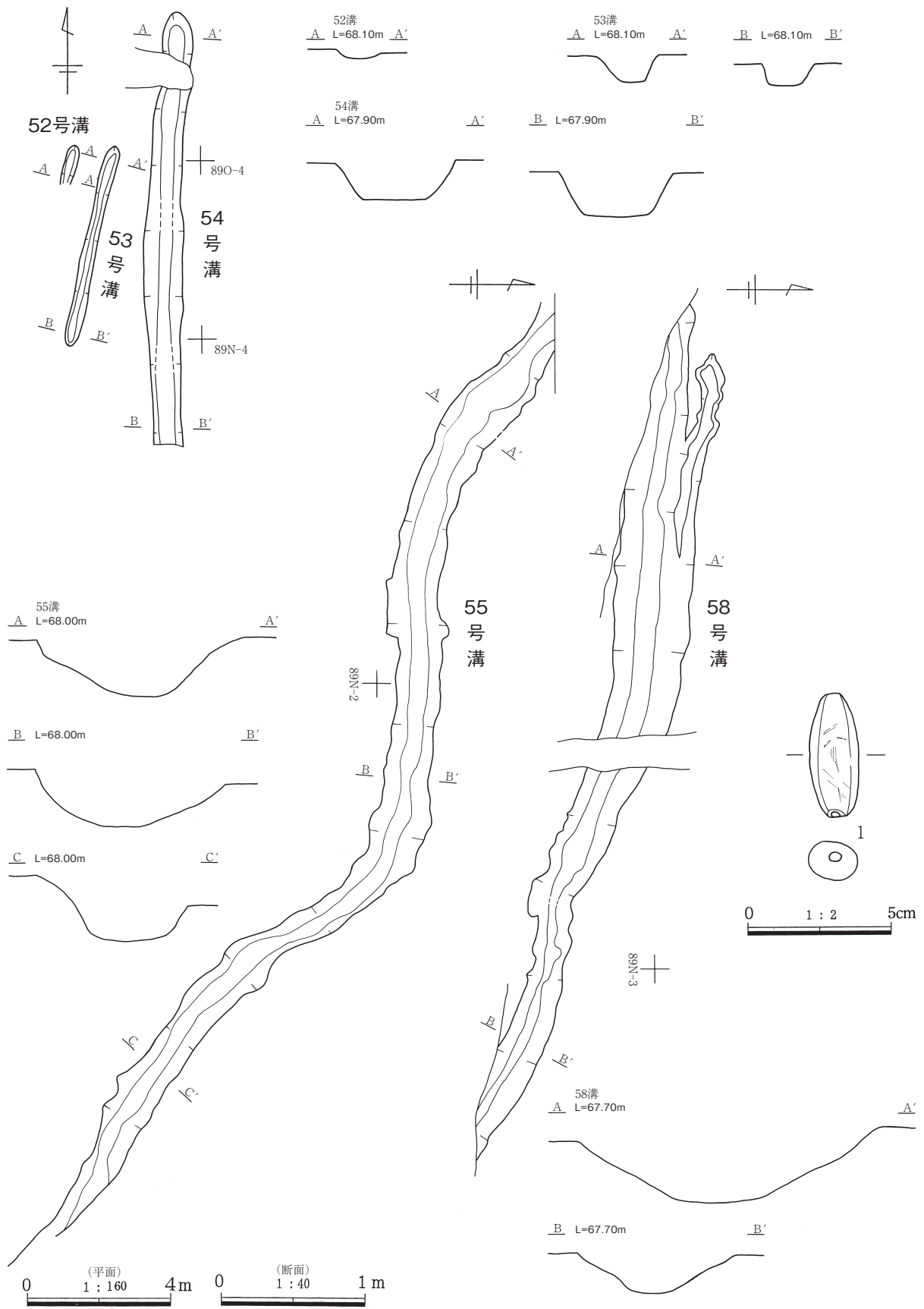
第154図 2区48・56・57号溝 (1号館)



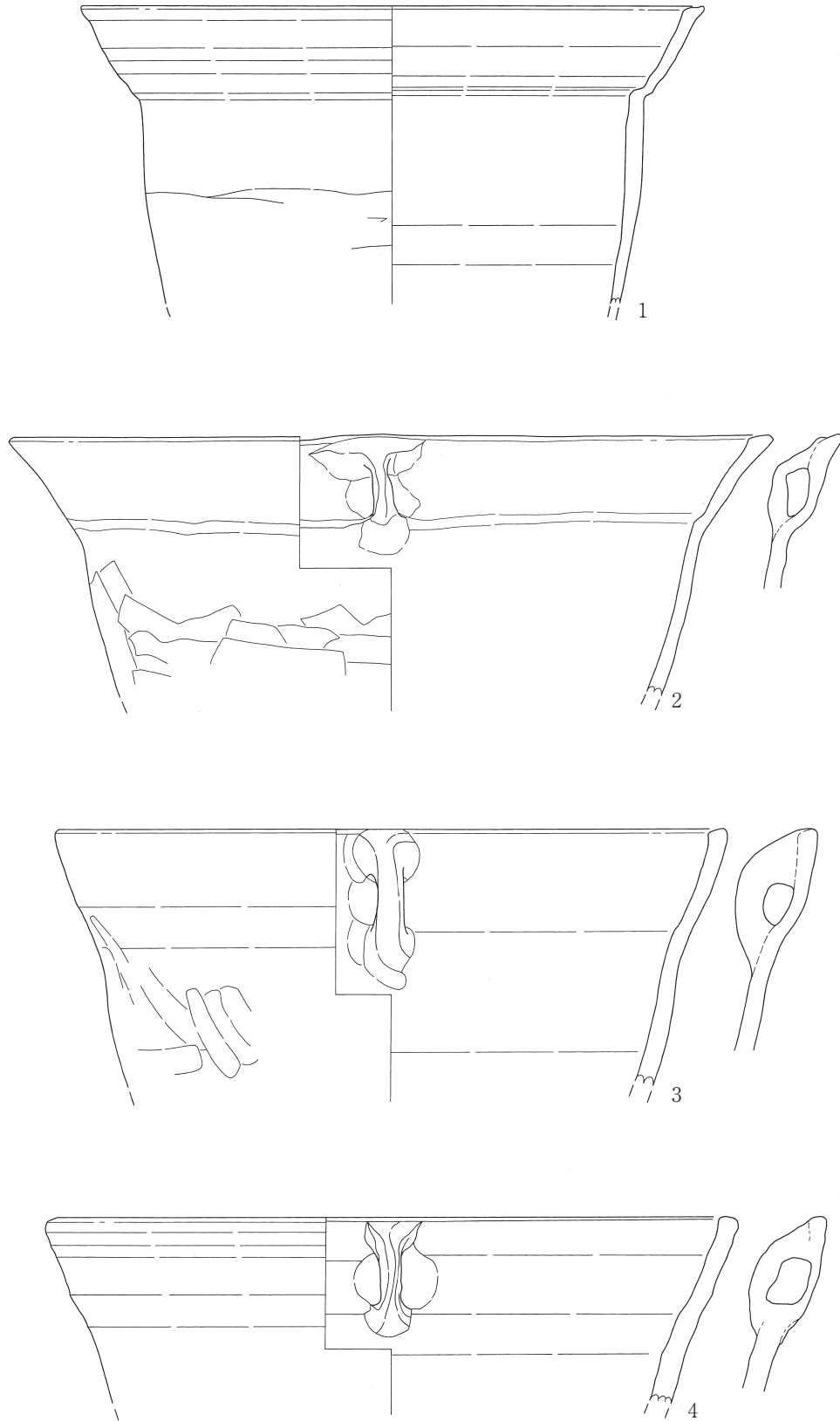
第155図 2区48・56・57号溝土層断面と48号溝出土遺物



第156図 2区49・50・51号溝

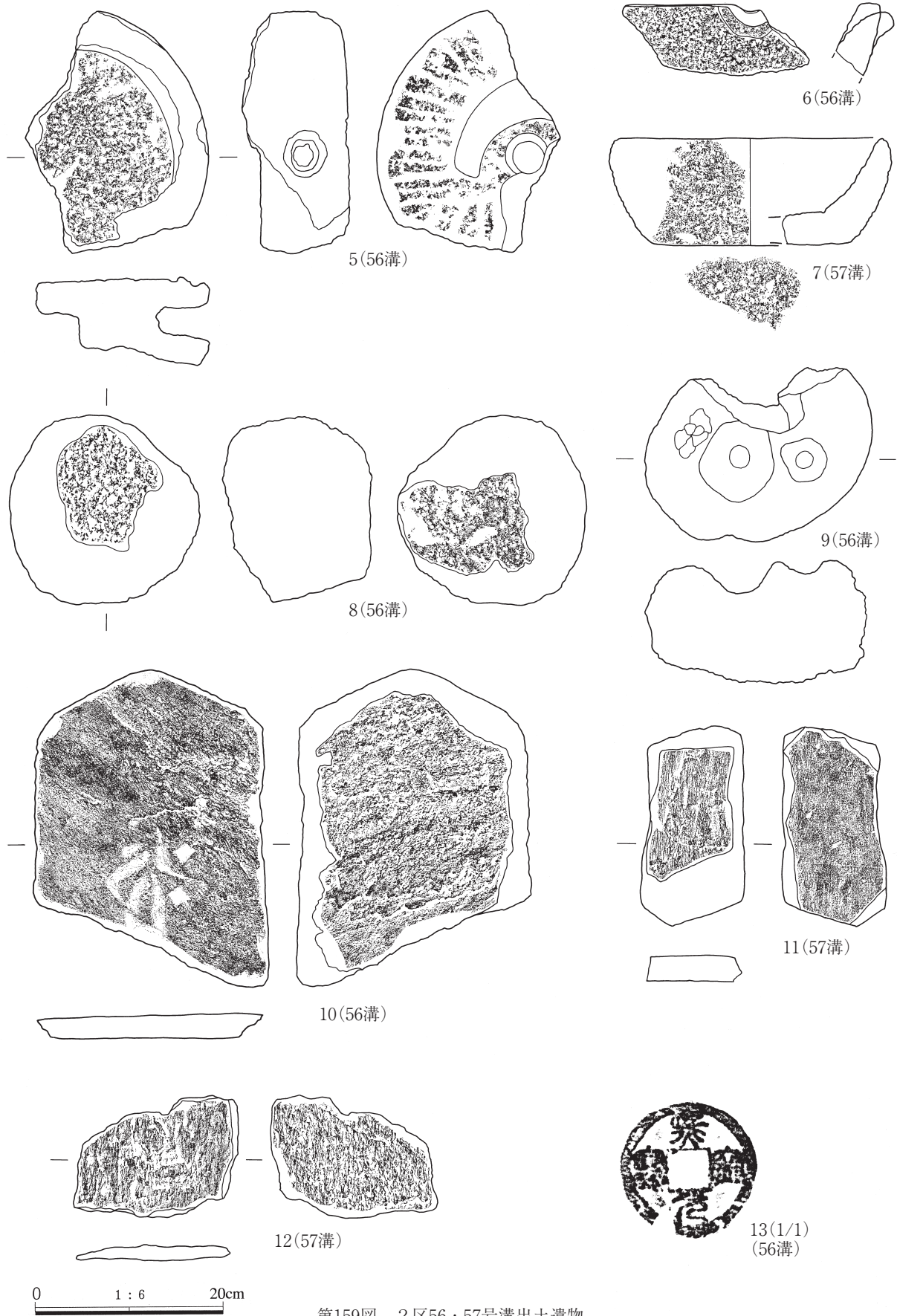


第157図 2区52~55・58号溝と58号溝出土遺物

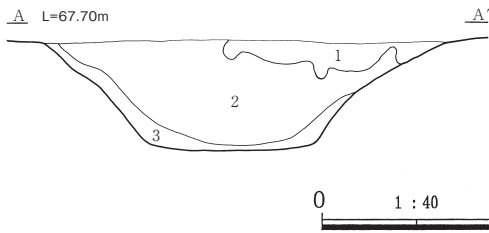
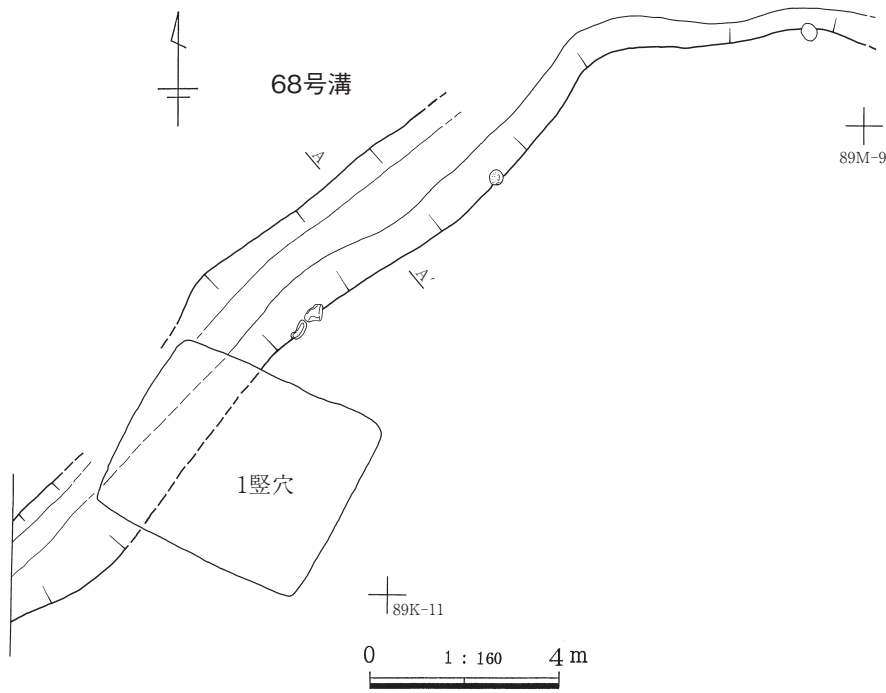


0 1 : 3 10cm

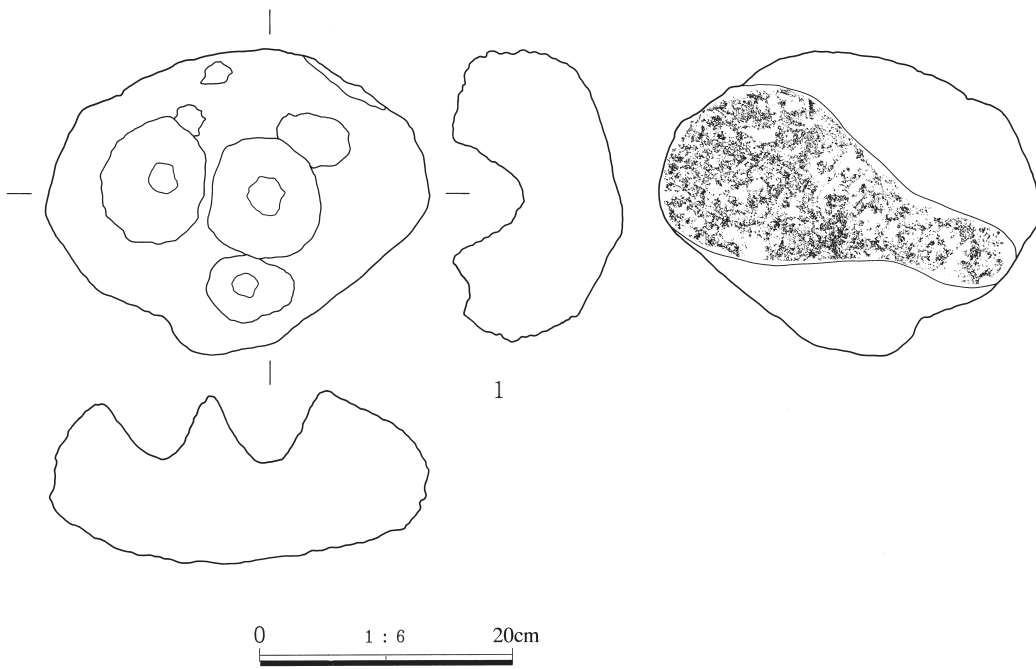
第158図 2区56号溝出土遺物



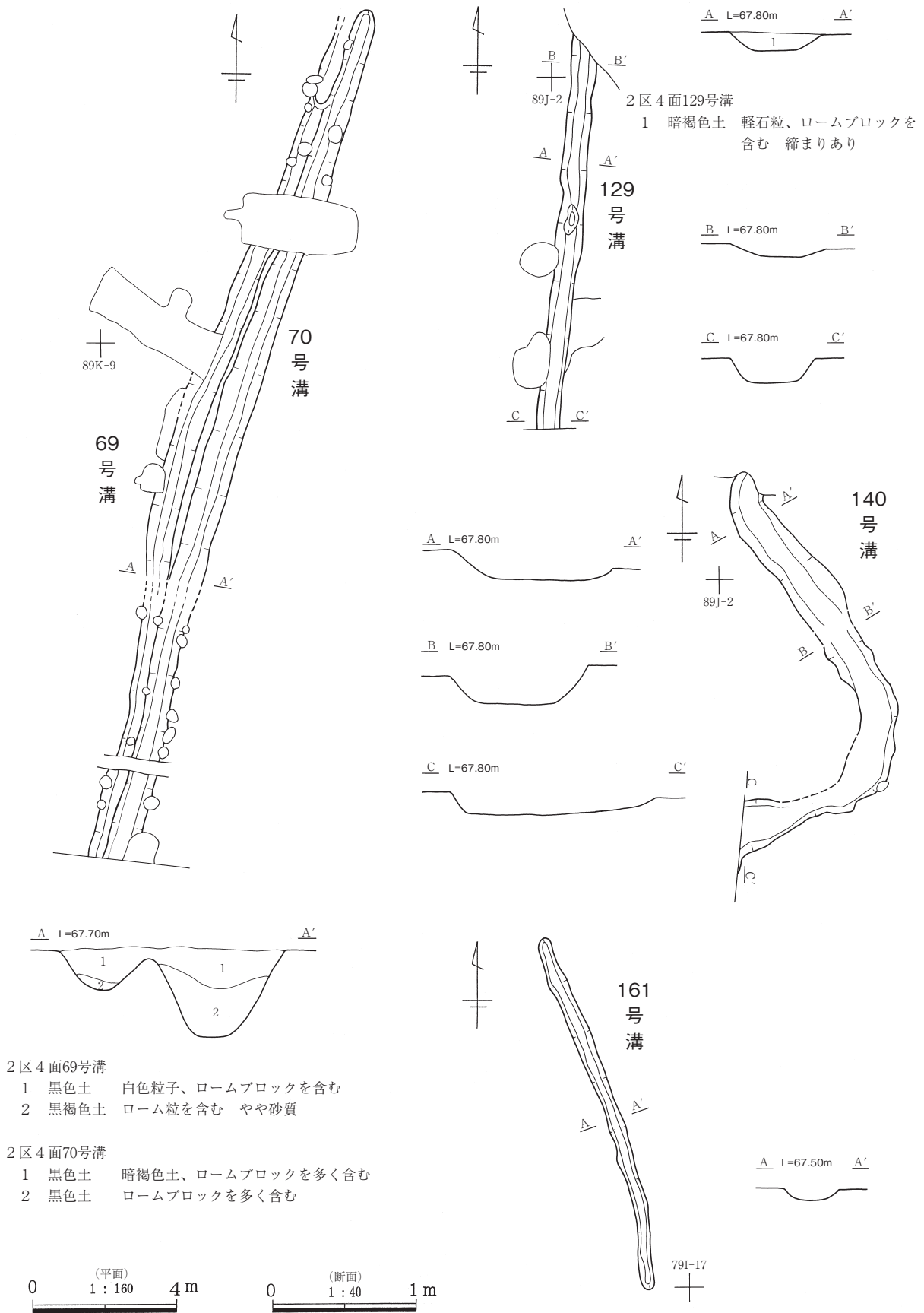
第159図 2区56・57号溝出土遺物



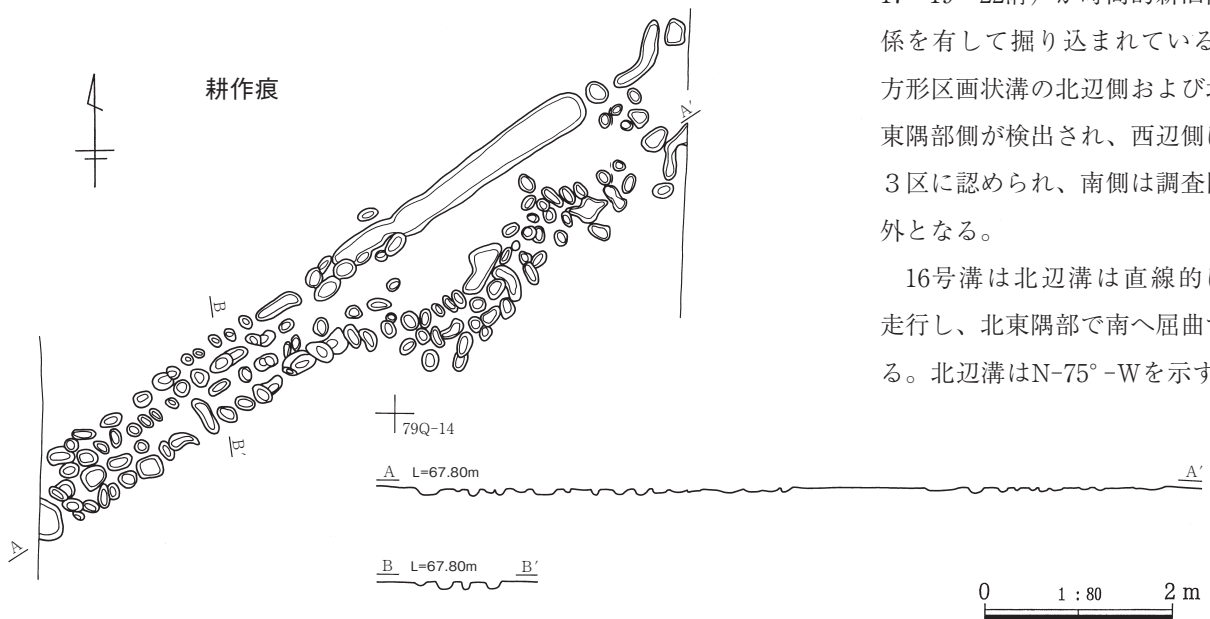
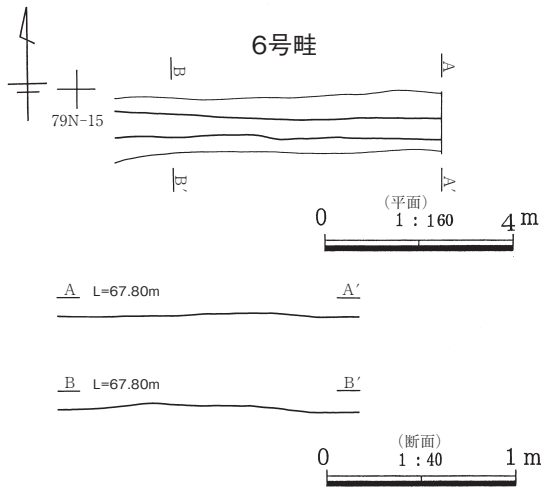
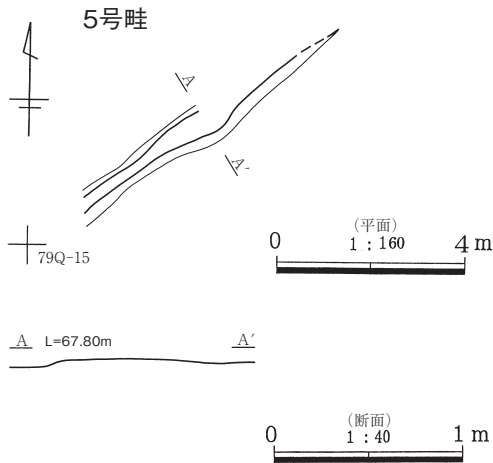
- 2区4面68号溝
- 1 黒褐色土 ロームブロックを含む
  - 2 黒色土 ローム粒を僅かに含む 粘性あり
  - 3 暗褐色土 ローム粒を含む 砂質層



第160図 2区68号溝と出土遺物



第161図 2区69・70・129・140・161号溝



第162図 2区5・6号畦と耕作痕

d 3面の遺構と遺物 (第163図)

As-B混土層上面で検出される遺構群であり、これまでの調査では、埋没水田が確認されている。2区では、調査区南側に微高地が存在することから遺構確認面としての第3面が把握しにくい状態であった。複数の遺構確認面は基本的に低地部を対象としたもので、部分的に存在する埋没微高地との遺構面の整合性が反映しないためである。低地部で確認された複数遺構面が、微高地部では同一確認面となってしまう。

3面では、調査区全域に断片的に畦畔が確認された。北半部の低地部にも数条検出され、南半部の微高地部にも畦畔の存在が把握されている。同時に、微高地を大きく取り囲むように方形に区画状に巡る溝群も検出された。これら溝群は、規模の大きなもので、複数の溝が重複して形成されている。この溝群は性格は不明であったが、位置関係から第4面で調査する1号館との関連が想定できるが、ここでは調査経過に沿って確認された遺構面によって報告するものとする。

溝 (第164図～第166図、PL62～PL66)

2区南西部分に集中する方形区画状の溝群が主要なものである。ほぼ同様の位置に複数の溝 (16・17・19～22溝) が時間的新旧関係を有して掘り込まれている。方形区画状溝の北辺側および北東隅部側が検出され、西辺側は3区に認められ、南側は調査区外となる。

16号溝は北辺溝は直線的に走行し、北東隅部で南へ屈曲する。北辺溝はN-75°-Wを示す。



2区西端部でわずかに屈曲部がみとめられ、北西隅から北東隅までの北辺溝の長さは約75mを測る。屈曲した東辺溝は、北辺溝に比し幅、深さとも小規模となり、連続する溝であるにも関わらず形態の異同は著しい。また東辺溝には24号溝や27号溝が接して南走する。北辺溝は幅360cm～240cm、深さ80cm～100cmを測り、東側に向かって規模が小さくなる傾向がある。東辺溝は、幅80cm～50cm、深さ60cm～40cmを測り、南側に向かって規模が小さくなる傾向がある。出土遺物は、板碑、埴（第168・169図）が検出された。板碑2点は折損するものの完形であり、溝底面から出土している。また、第169図4の板碑片は、4面確認の12号井戸出土の板碑片と接合関係をもつ。遺構間の時間的同時性を持つ可能性もあるが、廃棄にある程度の時間差を有している可能性もあろう。調査による確認遺構面を優先し、ここに報告する。なお、同図には12号井戸出土片との接合図を示した。

18号溝は、16号溝北辺溝に平行し、東側部で屈曲し16号溝に接する。規模は幅、深さとも16号溝より小規模である。新旧関係は不明である。幅30cm～20cm、深さ16cmを測る。

19～22号溝は16号溝に接し、平行するが北辺溝は大きく弧状に湾曲する。また、一部は東側へ直線的に延長し、さらに1区にも連続する。

また、16・19～22号溝は2区西端部でわずかに屈曲部が存在し、3区に南辺溝が検出されている。これらの溝群は、幅80cm～40cm、深さ40cm～80cmを測る。23号溝は、幅100cm前後、深さ20cm前後で、19～22号溝の延長溝の一部とみられ、1区へと直線的に走行する。

なお、16・19～22号溝は土層断面から、22号溝→21号溝→20号溝→19号溝→16号溝の順に時間的に新しくなり、これら5条の溝群は南側から北側に向かって時間的に経緯していることになる。

**203号溝・204号溝**（第166図、PL66）は、79R-13グリッド～79Q-14グリッドに位置し、低地部にあたる。両溝は、100cm程度の間隔で平行し、南西か

ら北東方向に向かって走行する。203号溝は幅40cm～60cm、深さ10cm、204号溝は幅40cm、深さ8cmを測る。

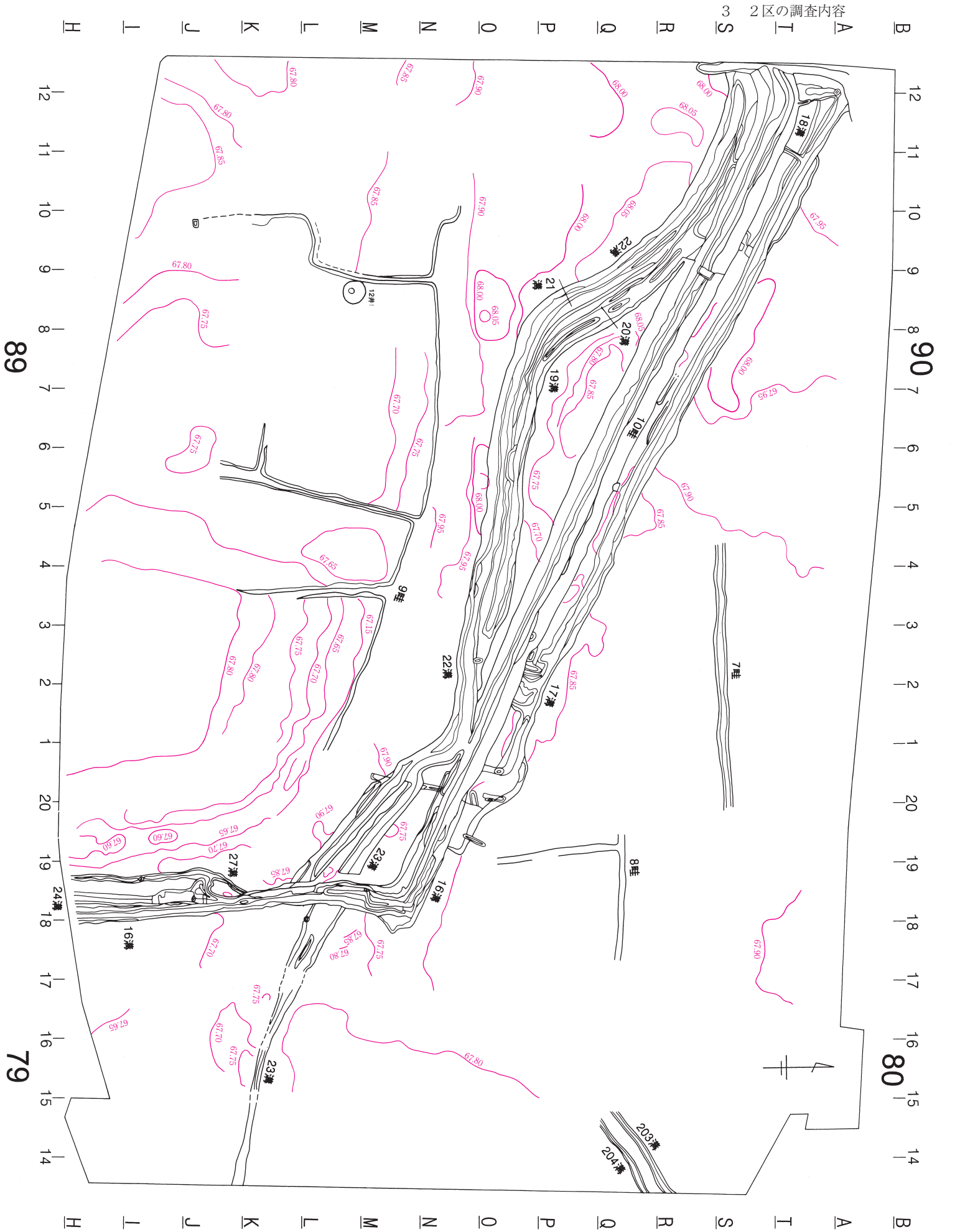
#### 水田（第166・167図）

低地部および微高地部を含め、断片的であるが水田（畦畔）を検出した。残存状況は不良で、わずかな高まりもしくは土質や色調の相違により把握された。低地部では、3カ所で畦畔を確認した。7畦は79S-9グリッド～89S-4グリッドに位置し、東西方向に走行し、確認長は22m。8畦は79O-19グリッド～79Q-17グリッドに位置し、畦区画交差部を検出した。10畦は89Q-6グリッド～89R-7グリッドに位置し、16号溝および18号溝間に検出した。溝との時間的關係は確認されていないが、検出状況からは16・18号溝埋没後に水田化されたものとみられる。

微高地上にも水田区画が検出されている。地形に則した区画を示すが、この部分でもほぼ方位に沿った位置関係をもっている。区画の規模は、東西間が20m～5mが認められる、南北間は1ヶ所であるが、14mを計測する。

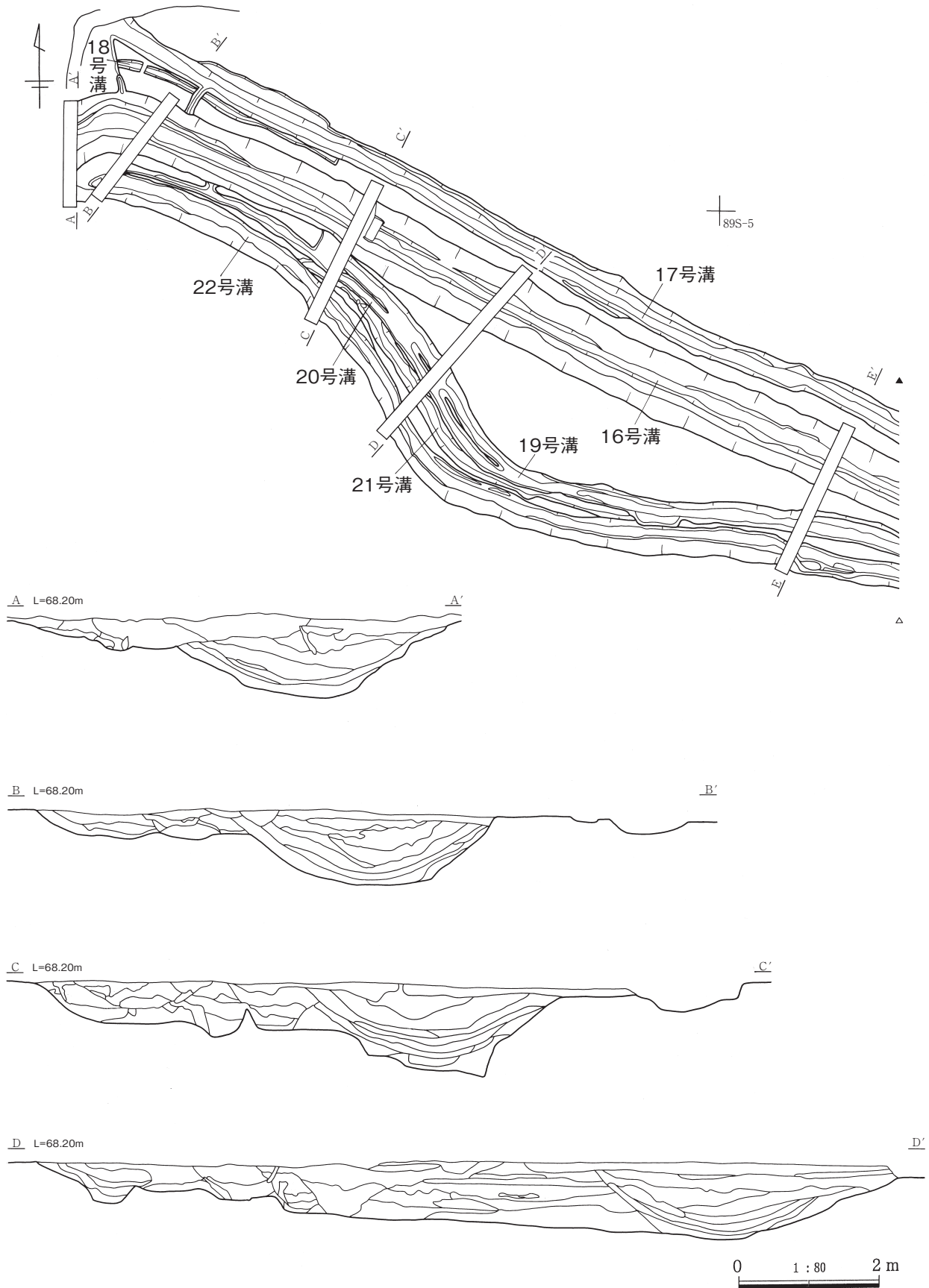
#### 16号溝出土の板碑について（第168図1・2、第169図4・5）

1は、阿弥陀三尊種子板碑。頂部右端を欠失するも遺存状態は良好で、長さ85.1cm、幅26.3cm、厚さ2cmを測る。碑面は下端部を除いて丁寧な水研ぎが施され平滑。種子・蓮座は薬研彫りで蓮座は主尊のキリークのみが付く。種子の占める割合は比較的大きく、脇侍下でほぼ碑面の中央にまで達する。二条線をはじめ他の装飾は刻まれていない。板碑の年代については紀年銘不明のため様式から判断するに、主尊種子はしっかりしているものの蓮座花卉の数が少なく蓮実の描画もない。また、二条線を刻んでおらず左右の端の切り込みすらないことから、年代的には比較的新しい南北朝期14世紀中頃の造立と考えられる。この板碑の最大の特徴は、碑面に割付けの罫書き線が残ることにある。頂部二条線位置に横に2条、外周の枠線部、碑面下端に横1条、枠線内

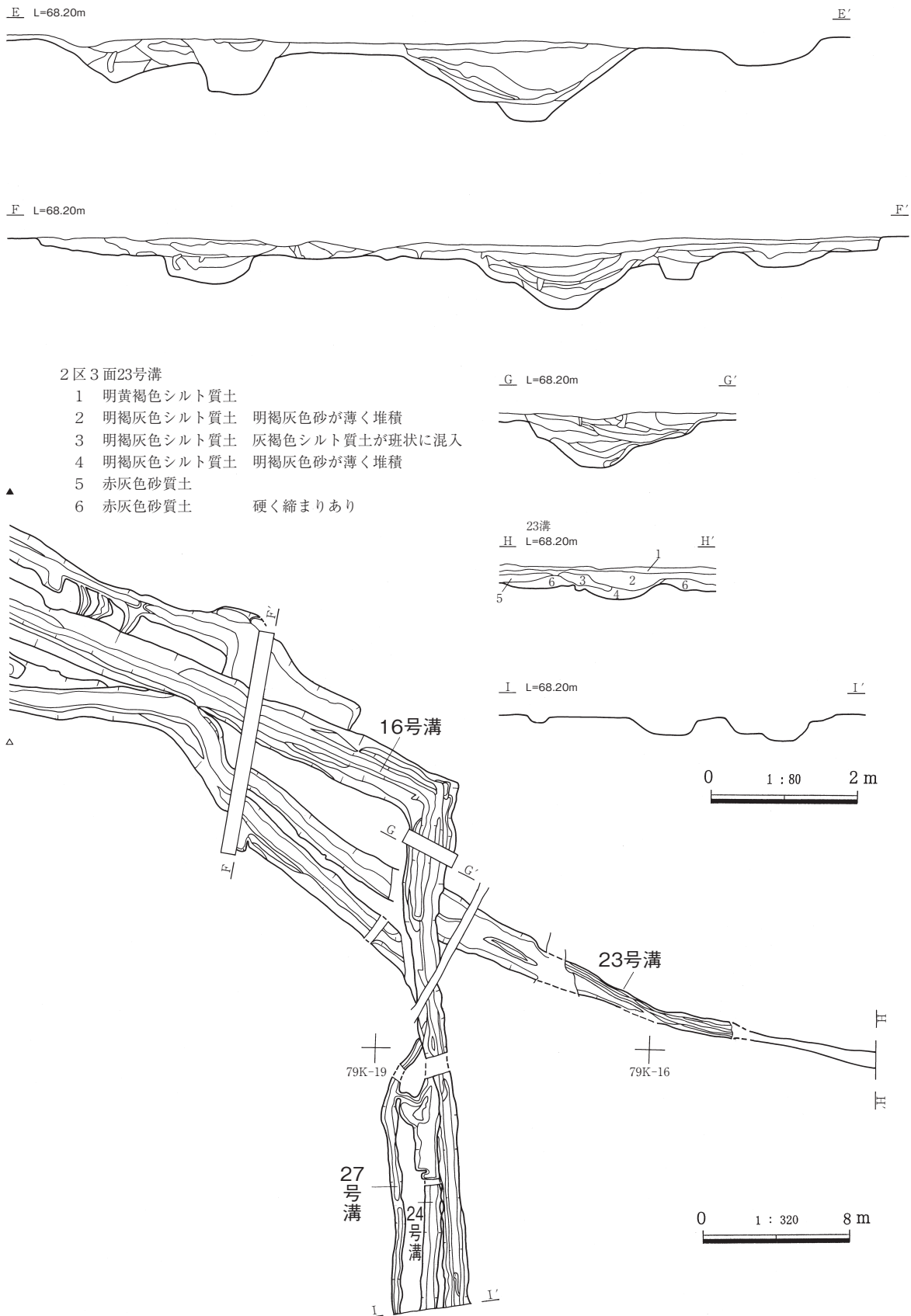


第163図 2区第3面全体図

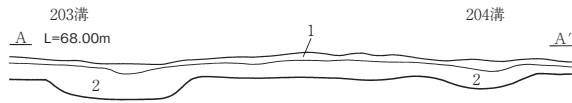
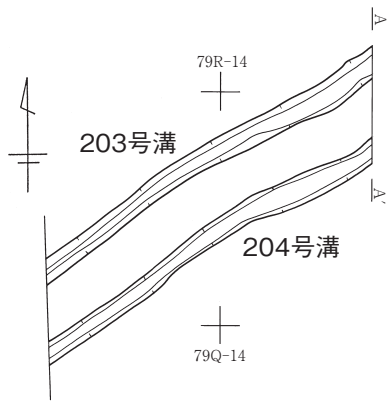
0 1 : 400 10 m



第164図 2区16~24・27号溝

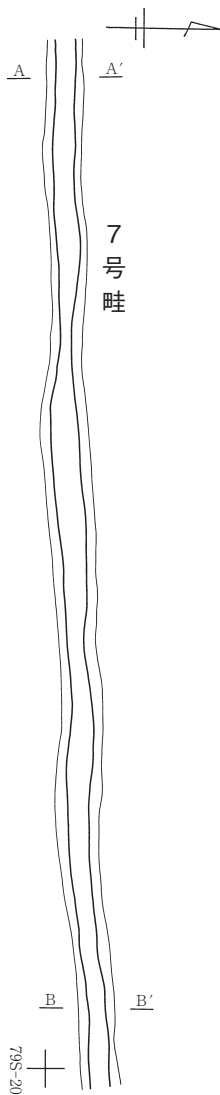


第165図 2区16~24・27号溝



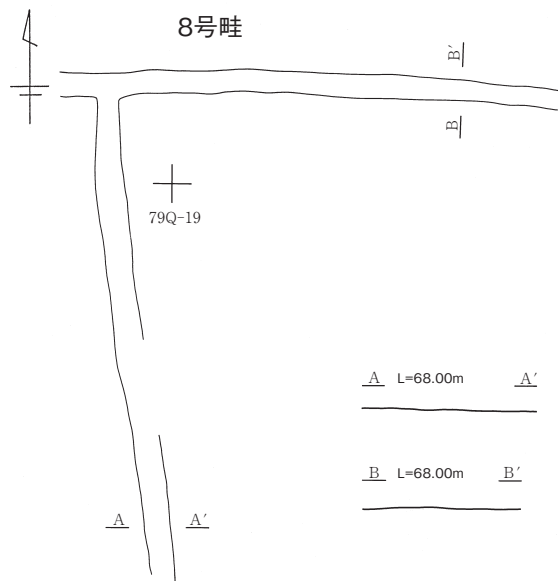
2区3面203・204号溝

- 1 黄灰色シルト質土 黄色土粒を多く含む 軟い
- 2 黄褐色シルト質土 白色粒子を僅かに含む



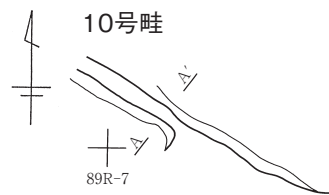
A L=68.00m A'

B L=68.00m B'

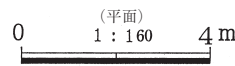


A L=68.00m A'

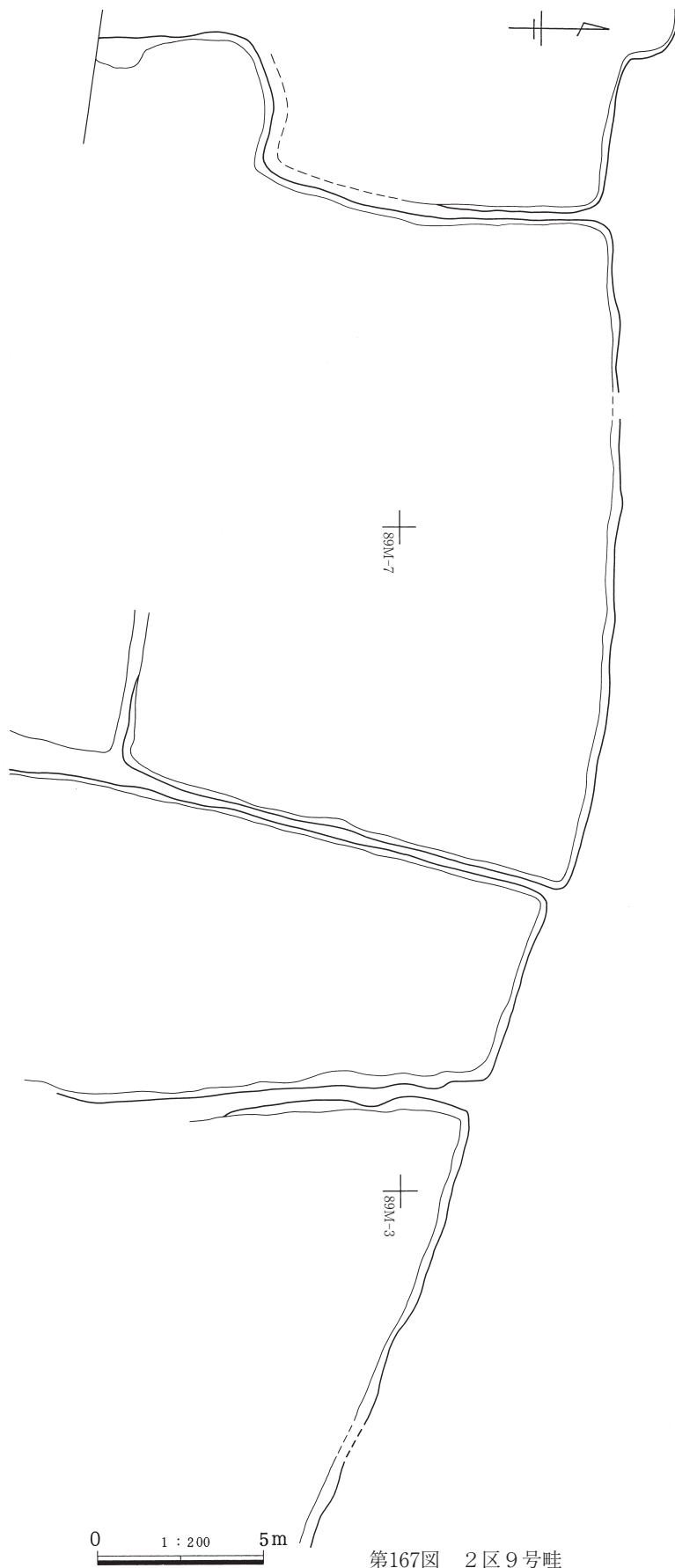
B L=68.00m B'



A L=67.70m A'



第166図 2区203・204号溝、7・8・10号畦



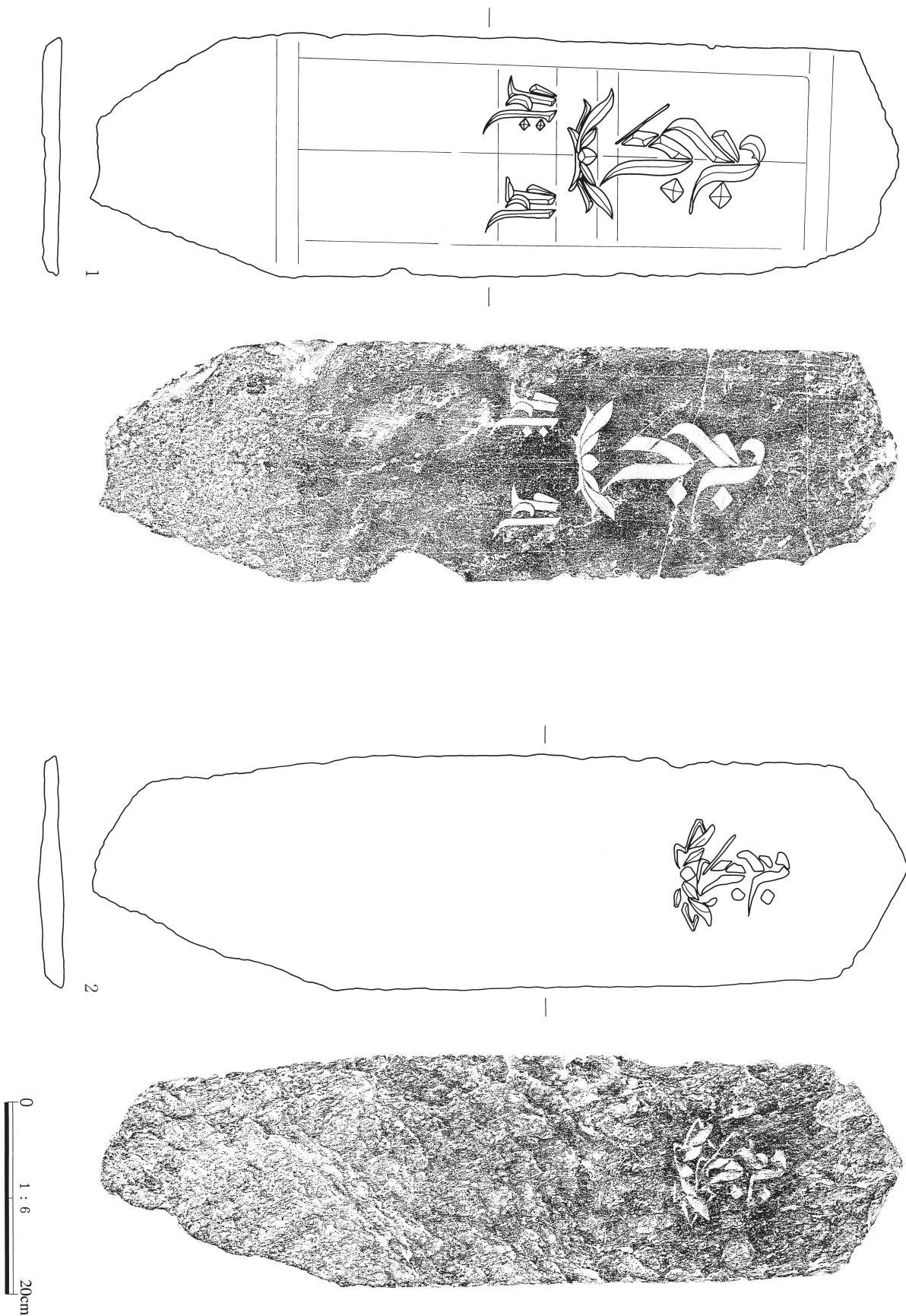
第167図 2区9号畦

中央に縦1条、主尊キリーク種子下端に横1条、蓮座の蓮実上端に横1条、脇侍種子上下に横2条の罫書き線が明瞭に残る。罫書き線を有する板碑は珍しくないが、本板碑の場合は罫書き線が明瞭に残るのに反して、紀年銘が不明である。紀年銘以外の偈文・造立趣旨等の文字も見当たらない。通常、細く浅い罫書き線が残るほど碑面の摩滅が少なく遺存状態が良好であれば、紀年銘も刻まれていれば明瞭に残るはずである。にもかかわらず見当たらないということは、紀年銘が刻まれていないものと判断される。

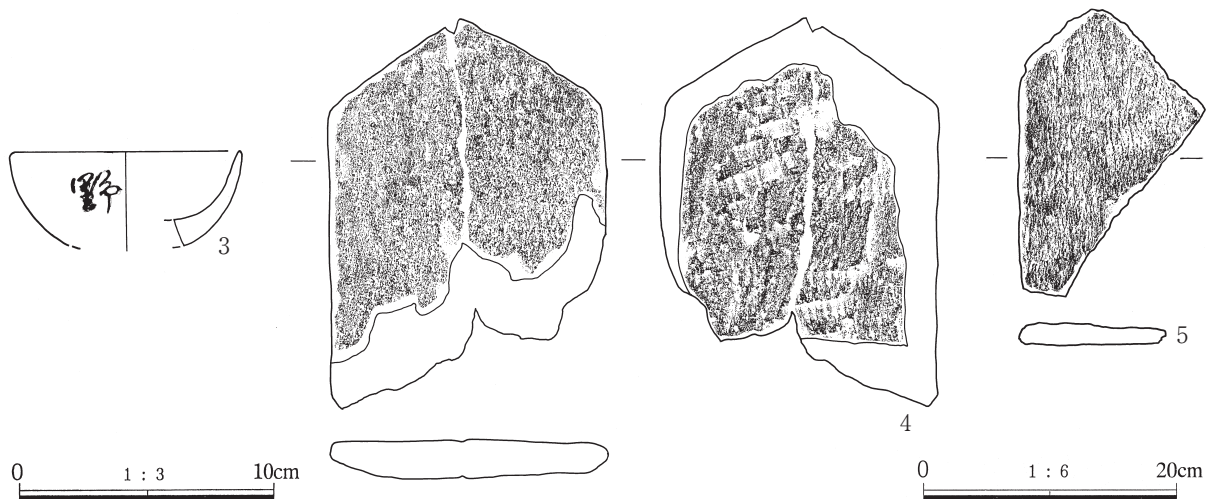
紀年銘が刻まれていない場合は、二通りの解釈が可能である。ひとつは刻字以外の墨書等による紀年銘の記載、もうひとつは紀年銘の刻字前、即ち未完成品の板碑であるとの解釈である。このような板碑の存在は他所にも報告例があり、紀年銘のみ書体や刻字が粗雑な事例と併せて、紀年銘を刻まない状態で流通し、造立地付近で紀年銘のみを刻んだものと解されている。

本板碑は、碑面の主尊下に墨痕は認められない事から墨書紀年銘の可能性は低く、紀年銘を刻まない状態=流通途上に有る板碑である可能性が高い。

単独一基の出土板碑ではその証明が難しいものの、本遺跡の立地が利根川に近い事が、流通途上の未成品板碑の存在に大きく起因していると考えられる。なぜならば、埼玉県秩父地方の石材産地付近に想定される板碑製作工房から当時あって重量物である製品を搬出・移送するには水運を使ったであろうことは容易に想像され、今後、川に近い場所で同様の未成品板碑の発



第168図 2区16号溝出土遺物(1)



第169図 2区16号溝出土遺物(2)

見例が増加すれば、板碑流通における水運利用が裏付けられるものと思われる。

2は、阿弥陀一尊種子板碑。側面の剥落はあるものの完形。長さ85.7cm、幅24.9cm、厚さ2.6cmを測る。碑面は板状成形段階の剥離痕凹凸を残す粗雑な整形。種子は葉研彫りで蓮座は葉研彫り陰刻と線刻を合わせたもの。頂部に線刻二条線の痕跡が残る。碑面は摩滅し、紀年銘も不明。年代は、種子・蓮座の様式から14世紀末頃と考えられる。

4は、板碑頂～上部破片。幅22cm、厚さ3cmを測る。主尊・紀年銘等不明。裏面に板状整形時の工具(ノミ)痕が斜方向に残る。年代は、小型化傾向にあることと二条線の無刻化から、15世紀初頭～中頃の造立と考えられる。

5は、板碑頂部～上部左端部破片。推定幅18～20cm、厚さ1.8cmを測る。主尊・紀年銘等不明。年代は、小型化傾向にあることと二条線の無刻化から15世紀初頭～中頃の造立と考えられる。

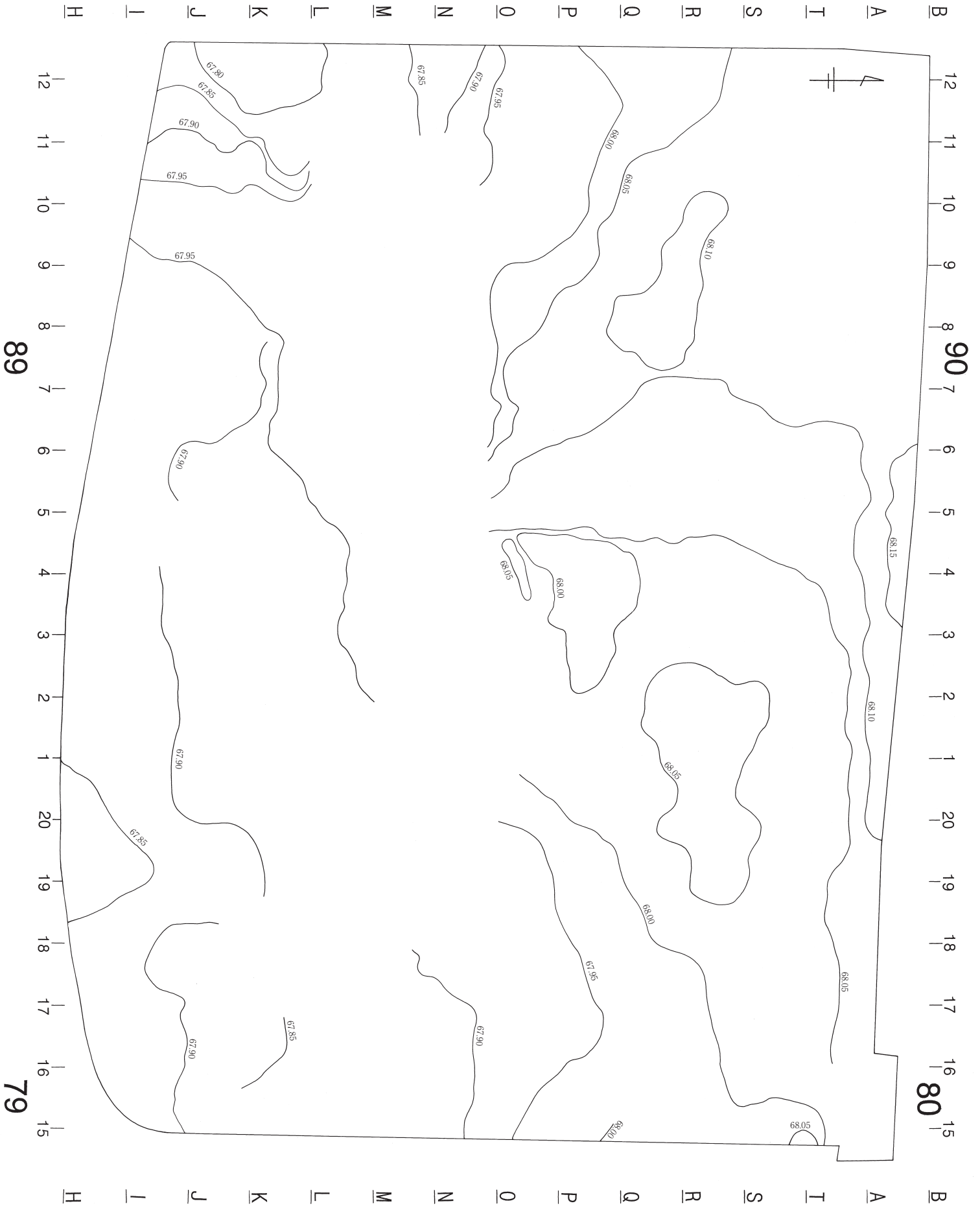
本遺跡より出土する板碑は、未掲載の破片資料を含め18点を数える。破片資料の中には、その厚さから大型板碑の破片と推定されるものも含まれる。遺跡の所在する佐波郡玉村町には、在銘板碑16基を含む40基が存在し(『群馬県史 資料編8』昭和63年)、最古のものは玉村町上之手観照寺所在の弘長二(1262)年銘の阿弥陀一尊種子板碑であり、新し

いものは同町斎田所在の文和二(1353)年銘の阿弥陀三尊種子板碑である。群馬県内における板碑造立の最盛期は1320年代～1360年代であり、この年代の板碑が町内に多く所在することは他地域と差異はないが、弘長二年銘の板碑は県内でも15番目に古い板碑であり、この地域には早い段階から板碑が搬入されていたことを物語っている。本遺跡出土の板碑をはじめ、埋蔵文化財発掘調査により出土する板碑は、既存資料の空白部を埋めるのみならず、本遺跡第168図1の板碑のように、造立・廃棄後の風化による摩滅が少ない状態で資料を観察できることで、新たに得られる知見も多いものと思われる。(新倉明彦)

#### e 2面の調査面(第170図)

第2面については、遺構確認面の検出により面的調査を行なった。しかし、遺構の検出にはいたっていないが、R354号関連調査では、水田もしくは畠等の農耕地の検出が行なわれていることから、2区第2面においても、生産遺構の存在する可能性が高い。周辺地の調査により検出されるものと考えられる。なお、この面の標高値は67.80m～68.05mを計測する。





第170図 2区第2面全体図

0 1 : 400 10 m



第171図 2区第1面全体図

0 1 : 400 10 m

f 1面の遺構と遺物

2区で確認された遺構は、As-A軽石埋設溝(As-A復旧溝)および溝(水路)である。

As-A復旧溝は、6群確認されている。近年の区画整理により表土下も削平を受けているため、残存状況は不良であり、遺失する部分も多い。

溝は、水路であるとともに、地形に沿った走行を示すものや、区画状に屈曲するものも存在する。これらの溝には、As-Aにより埋没したものは認められない。復旧溝群は、溝による区画内に、もしくは溝に沿って位置することから、復旧溝群と溝は同時に存在したものとみられ、江戸時代の土地区画をあらわしているものだろう。

1号復旧溝(第172図)

79M-17~79N-20グリッドに位置する。北西から南東方向に掘削される。1条の溝は幅50cm前後、深

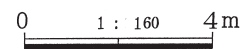
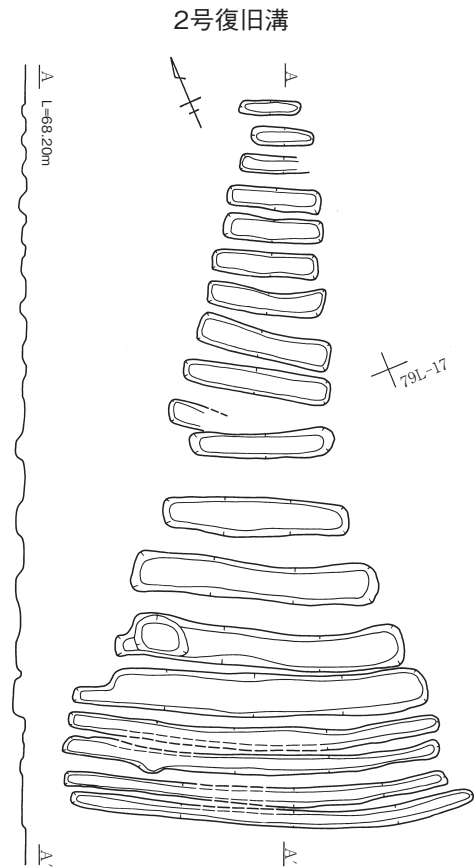
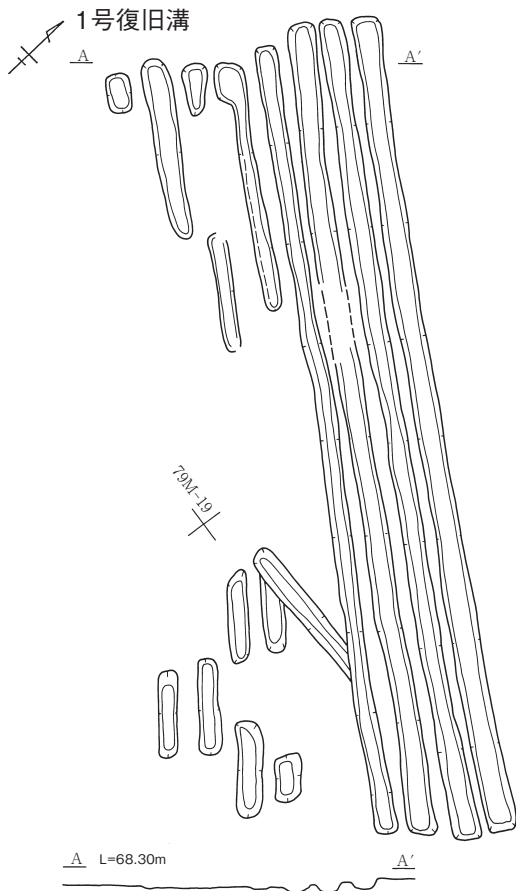
さ25cm、延長17.60mを測る。溝は8条単位(一部9条)で構成され、面積は約106㎡を計測する。復旧溝の単位がわかる例は1号復旧溝のみである。北辺列は、4号復旧溝の北辺列に一致し、南・東・西辺列は他復旧溝により区切られるため、区画が判別できる。他例は区画が特定できない。

2号復旧溝(第172図)

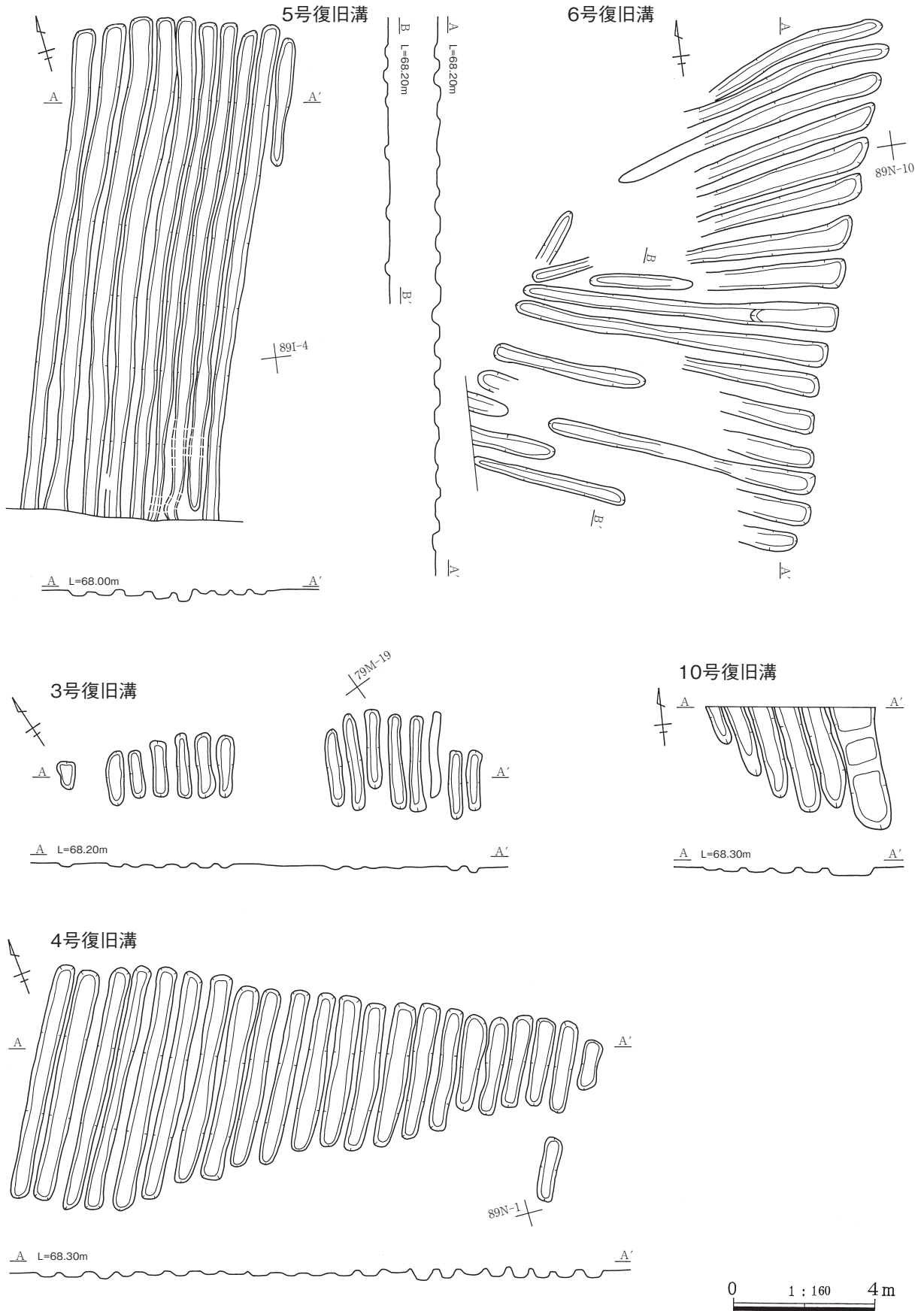
79J-17グリッド~79M-17グリッドに位置する。北西から南東方向に掘削され、1号復旧溝と同列となる。西辺列は、1・3号復旧溝に区画され、東辺列は4号溝に沿っている。北辺列は1号復旧溝と一致するが、南辺列は接する遺構がなく、区画は不明である。1条の溝は幅30cm~80cm、深さ20cmを測る。確認された溝は19条である。

3号復旧溝(第173図)

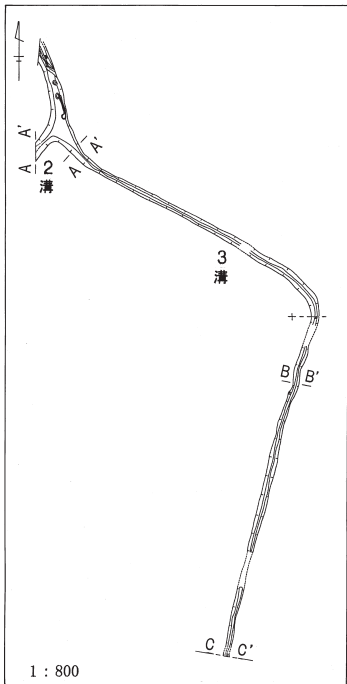
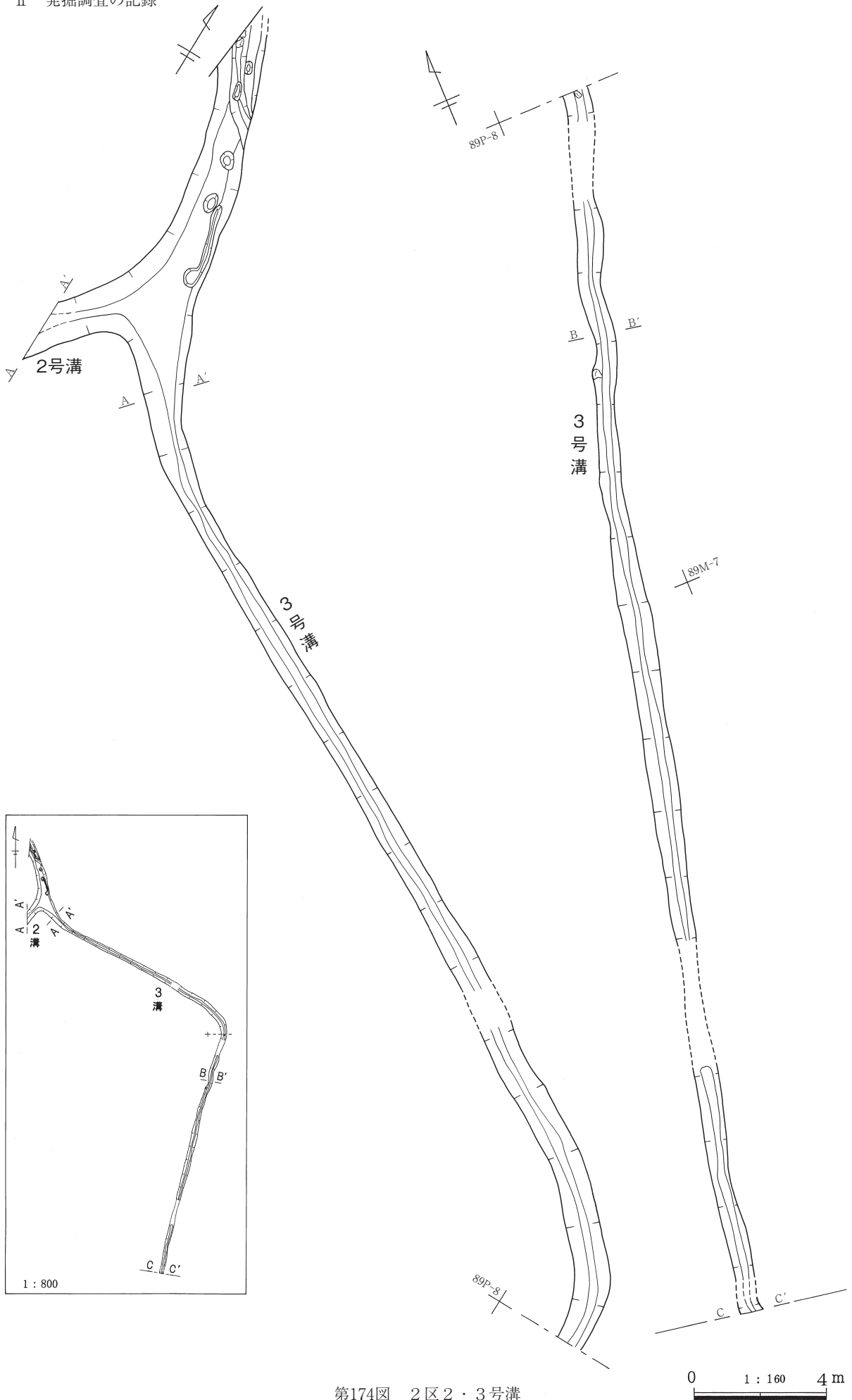
79L-18グリッド~79M-20グリッドに位置する。



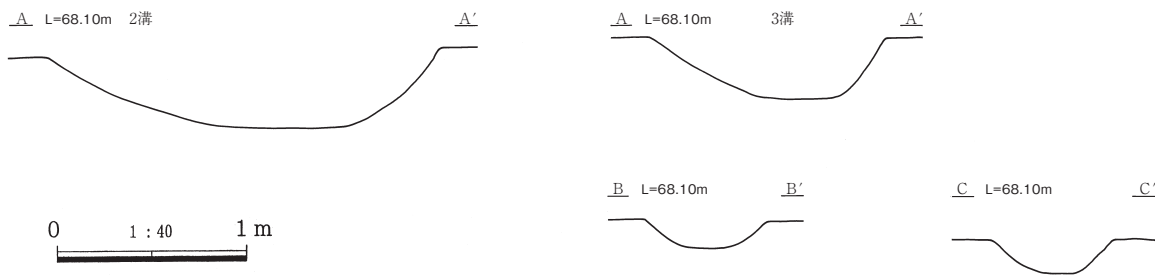
第172図 2区1・2号復旧溝



第173図 2区3～6・10号復旧溝



第174図 2区2・3号溝



第175図 2区2・3号溝断面図

1号復旧溝の南接し、直交するように北東から南西方向に掘削される。残存状況は不良で、15条の溝が確認された。1条は幅40cm前後、深さ30cmを測る。

#### 4号復旧溝 (第173図、PL67)

79N-20グリッド～80O-3グリッドに位置する。1号復旧溝に西接し、北東から南西方向に掘削される。22条が確認されるが、北・東辺列は1号復旧溝に区切られるが、南・西辺列は特定できない。1条は幅50cm前後、深さ20cmを測る。

#### 5号復旧溝 (第173図、PL67)

89H-4グリッド～89J-4グリッドに位置する。10条確認され、南端部は調査区外となる。北東から南西方向に掘削され、3号・4号復旧溝と同方向を示す。1条幅50cm前後、深さ10cm前後である。

#### 6号復旧溝 (第173図、PL67)

89L-10グリッド～89N-10グリッドに位置する。西半部が攪乱により大半が遺失する。平行する溝群が方形に並ぶのではなく、放射状に掘削される。16条が確認され、1条は幅40cmから80cm、深さ20cm前後を測る。

#### 10号復旧溝 (第173図、PL67)

80A-14グリッド～80N-10グリッドに位置する。調査区北東端部に確認され、5号溝に区画された部分に掘削される。6条確認されたが、1条には底面に方形区画状の畝をもつ。幅40cmから100cm、深さ20cm。

確認された溝は、区画を示す水路として使用されたもので、As-A降下前後の江戸時代の土地利用の状態をあらわすものといえる。ここで検出された各溝は、As-A復旧溝群と関連し、同時期の遺構である。攪乱

や表土掘削により遺失遺構もあろうが、基本的に2区は耕作地として利用されていたものと思われる。

#### 2号溝 (第174・175図)

89S-12グリッド～90A-12グリッドに位置する。西側に向かって弧状に走行し、東側は3号溝に連続する。幅120cm～190cm、深さ40cm前後を測る。西端は調査区外となるが、3区に延長する。

#### 3号溝 (第174・175図)

89H-8グリッド～89S-11グリッドに位置する。2号溝に連続し、北西から南東方向に直線的に走行し89P-6グリッド付近で屈曲、南走し方形の区画を示す。1号～6号復旧溝は、3号溝の方形区画と方向性等類似した位置関係を示す。幅50cm前後、深さ30cm前後。

#### 4号溝 (第176・177図、PL62)

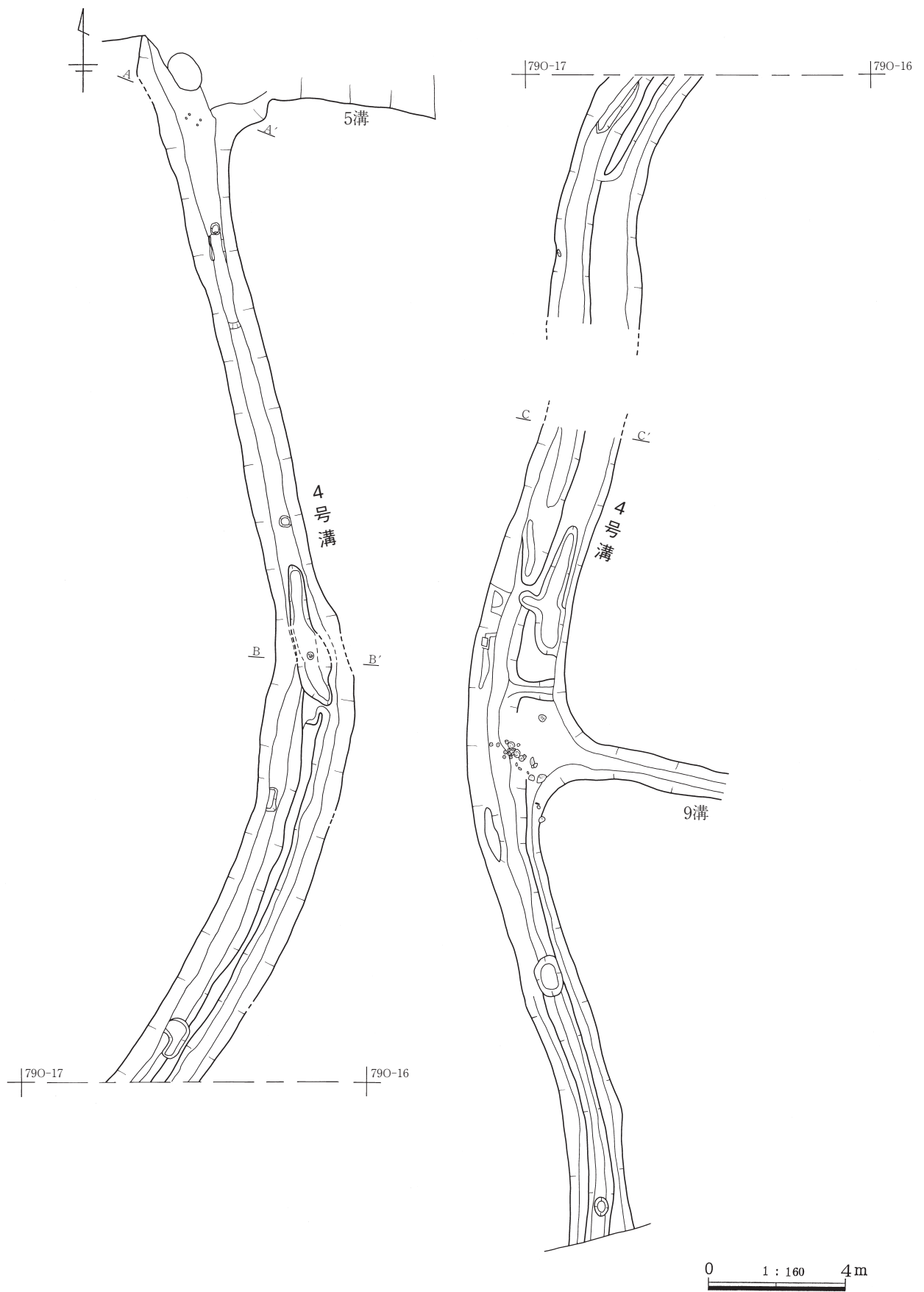
79H-16グリッド～79T-16グリッドに位置する。北から南方向へ蛇行しながら走行する。幅120cm～260cm、深さ40cm前後で、確認長は67.5mを測る。北端部は5号溝に接し、79K-16グリッド付近では東走する9号溝が分岐する。2号復旧溝は、蛇行状の4号溝に沿って掘削されている。埋没土中から磁器碗等が出土している。

#### 5号溝 (第177図、PL62)

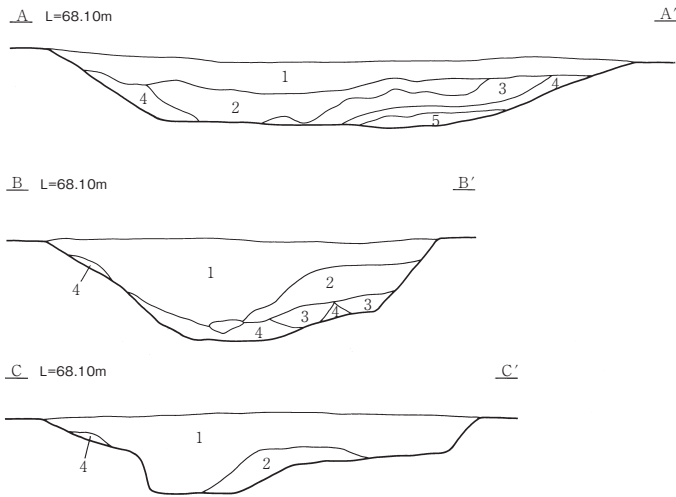
79T-14グリッド～80A-15グリッドに位置する。北東方向に弧状に走行し、この区画内に10号復旧溝が位置する。南側は4号溝に連続し、区画および水路として機能する。幅100cm前後、深さ40cmを測る。

#### 9号溝 (第177図、PL62)

79K-16グリッド～79J-13グリッドに位置する。4号溝から分岐し、南東方向に走行し、1区へ延長する。幅40cm～50cm、深さ15cmを測る。

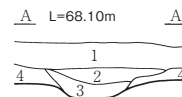
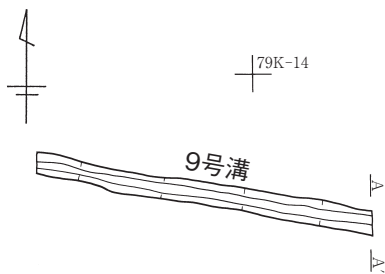
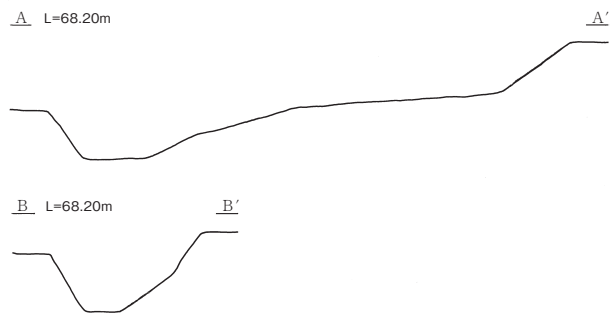
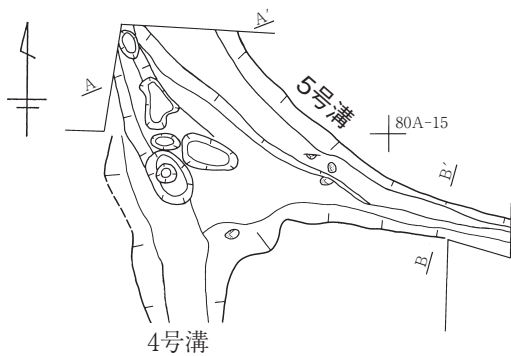
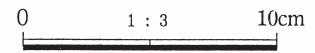
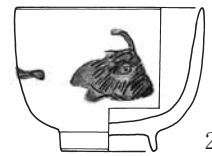
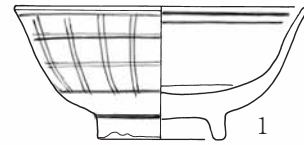
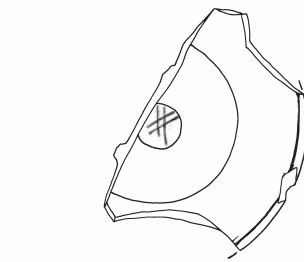


第176図 2区4号溝



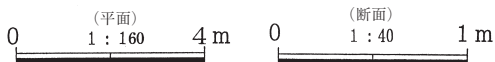
2区1面4号溝

- 1 褐灰色土 As-Aを含む 表土の土
- 2 褐灰色土 粘質土
- 3 明褐灰色土 粘質土
- 4 にぶい褐色土 As-Aを含む
- 5 褐色土 As-Aを含む 砂状土



2区1面9号溝

- 1 明黄褐色シルト質土 粘性あり
- 2 灰白色シルト質土
- 3 明灰褐色シルト質土 4層との境界に鉄分付着
- 4 明褐灰色シルト質土



第177図 2区4・5・9号溝と4号溝出土遺物



g グリッド出土遺物（第178図～第182図、PL85・86）

遺構出土以外に遺物が出土するが、これはグリッド出土遺物として一括報告する。なお、参考として出土位置をグリッド単位で出土遺物位置（表5）として示しておく。

第178図1～14は縄文土器である。1～3は諸磯c式土器、4～6は称名寺1式土器、7～14、42は加曾利B式土器に相当する。43は凹基無茎鏃、完形で重さは1g。チャート製。44は基部を欠損する有茎石鏃、珪質頁岩製。45は石核、硬質泥岩製。

15～41は古墳時代前期に相当する土器片である。第179図は、古墳時代（4世紀代）の土器類を一括している。46～49、51、55、58はS字状口縁台付甕、50、56、57が高坏、52が内斜口縁鉢、53が埴もしくは小型壺、54が台付甕、59が甕台部、60が壺、61が木葉痕をもつ甕底部。

第180図66～77は土錘。78・79・82は石製模造品。81は蛇紋岩製管玉。

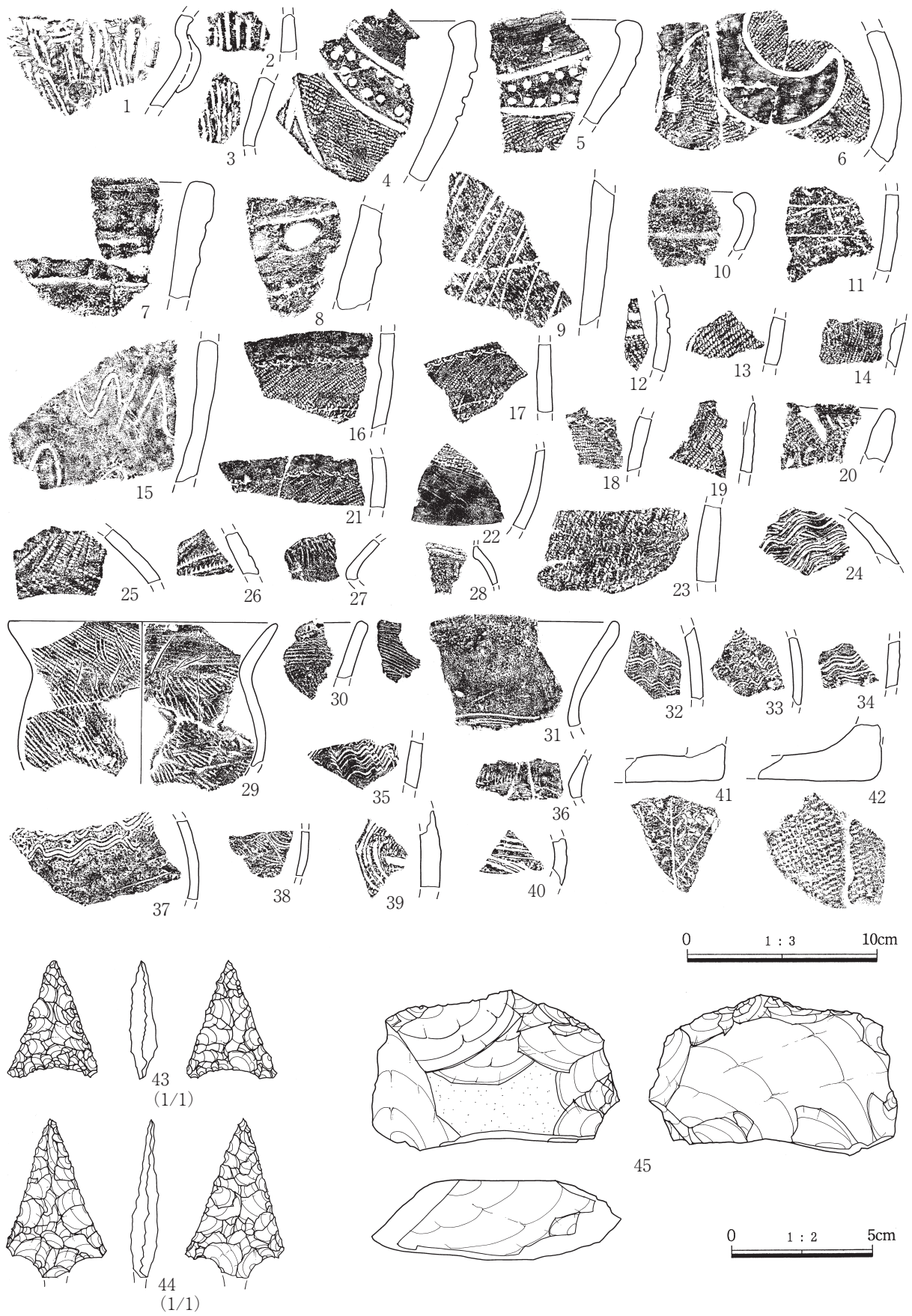
グリッド出土遺物の中で80の琴柱形石製品が注目される。この遺物は第5面遺構確認作業時に出土したものである。完形品であり、長さ2.6cm、幅2.0

cm、厚み0.4cm、重さ3.0gを測る。上帯部には格子目状の線刻が施された後、径1.8mmの円孔が穿たれる。円孔端部はシャープであり、使用により擦れた痕跡は認められない。中央部は長さ7mm、幅2mmの長円形に2ヶ所が削り抜かれ、柱部は円形断面を呈する。下帯部は矢羽根状の線刻が施される。下端部に角状突起は長さ4mmで、先端部は弧状に尖りぎみとなる。琴柱形石製品の分類では「本村型」に相当する資料である。滑石製。

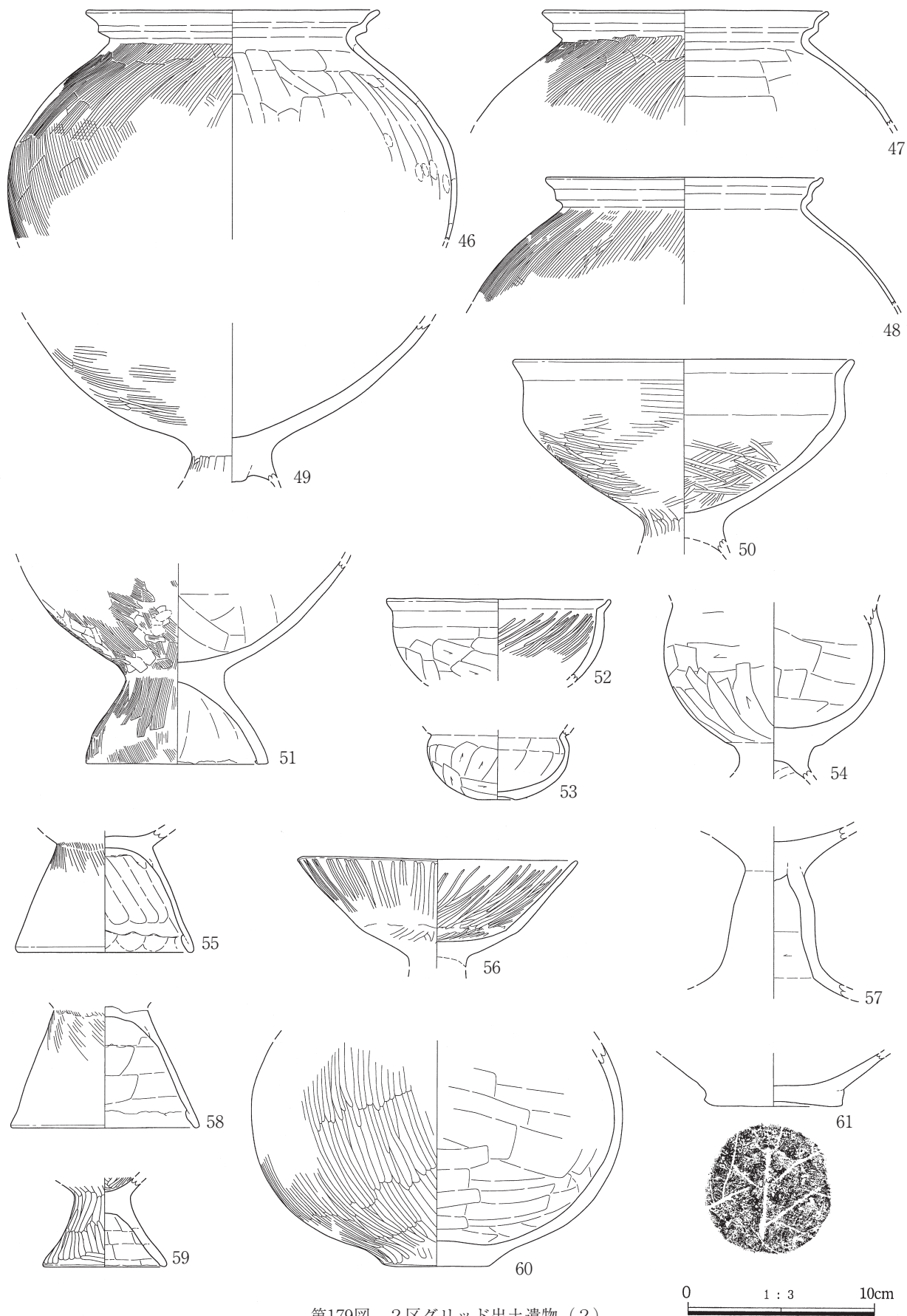
第181図83～91は土師器坏類。92～94は須恵器坏。95～97は須恵器皿。98～104は須恵器碗。182図105、106は土製紡錘車。107、108は扁平円礫。109、110は棒状礫で、端部に敲打痕が認められることから薦編み石の可能性がある。111は砥石。112は石臼（上臼）。113は扁平礫で片面に擦り痕が形成され、磨石である。114は礫片。115は五輪塔（火輪）。116、117は煙管吸い口。118～126は古銭。118は永楽通宝（初鑄年1408年）、119は洪武通宝（初鑄年1368年）、120、122、125は元豊通宝（初鑄年1078年）、121は聖宋元宝（初鑄年1101年）、123は至道元宝（初鑄年995年）、124は熙寧元宝（初鑄年1068年）、126は天禧通宝（初鑄年1017年）である。

表5 2区グリッド出土遺物 出土グリッド（第178図～第182図）

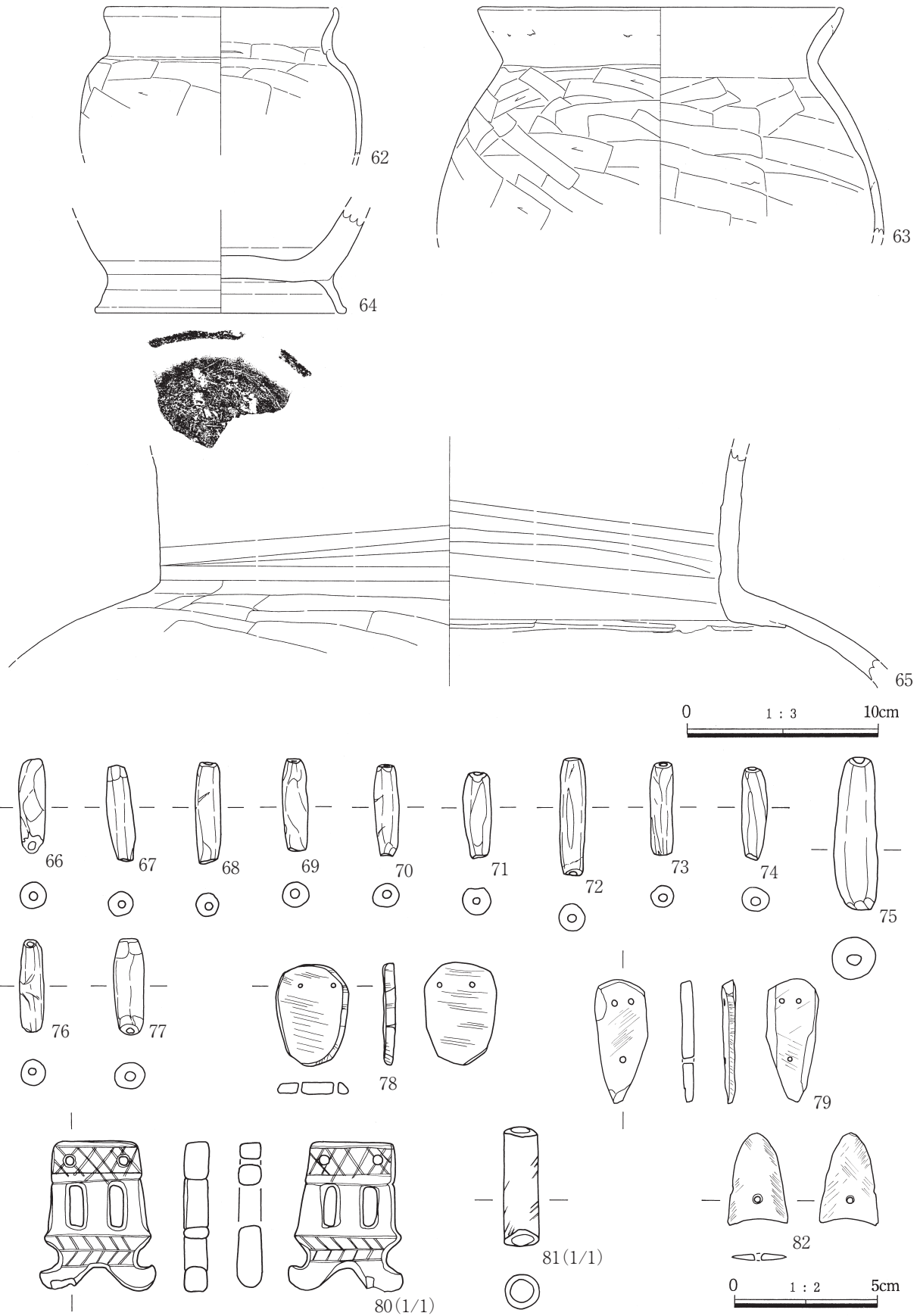
グリッド	遺物番号	グリッド	遺物番号	グリッド	遺物番号
79-H-17	15	79-O-18	75	89-K-5	124
79-H-18	46・47・55	79-O-19	45	89-K-6	123
79-H-19	64・65・86・98・99	79-O-20	43	89-K-9	112・118
79-I-19	25	79-P-14	57	89-K-10	111
79-I-20	48	79-Q-19	42	89-L-1	2・27・77
79-J-17	6	79-R-17	44	89-L-2	72
79-J-18	28	89-G-1	35	89-L-6	81・106
79-K-15	95・104	89-G-2	26	89-L-9	119
79-K-17	4・10	89-H-1	23・30・39・94・100	89-M-1	66・90
79-K-18	5・14・36	89-H-2	3・29・49	89-M-2	1・62・93
79-K-20	53	89-H-3	38・120	89-M-3	51
79-L-17	17・91	89-H-5	19	89-M-4	54
79-L-19	78・82・88・103	89-H-9	41	89-M-5	117
79-L-20	32・105	89-H-10	122・125	89-M-7	16・34
79-M-13	121	89-I-1	11・20・40・58	89-M-8	31
79-M-14	73・80	89-J-1	61・102	89-N-5	52
79-M-18	108	89-J-2	24・56・60・67	89-N-6	116
79-M-19	7・8・9・18・21・33・84・85・87・89・92・97・107・113・114	89-J-4	69	89-O-8	59
		89-J-9	76	89-O-9	63
79-M-20	83	89-J-11	109・110	89-O-10	22・37
79-N-17	126	89-K-1	12・70	89-P-9	50
79-N-19	96	89-K-2	68	89-Q-9	79



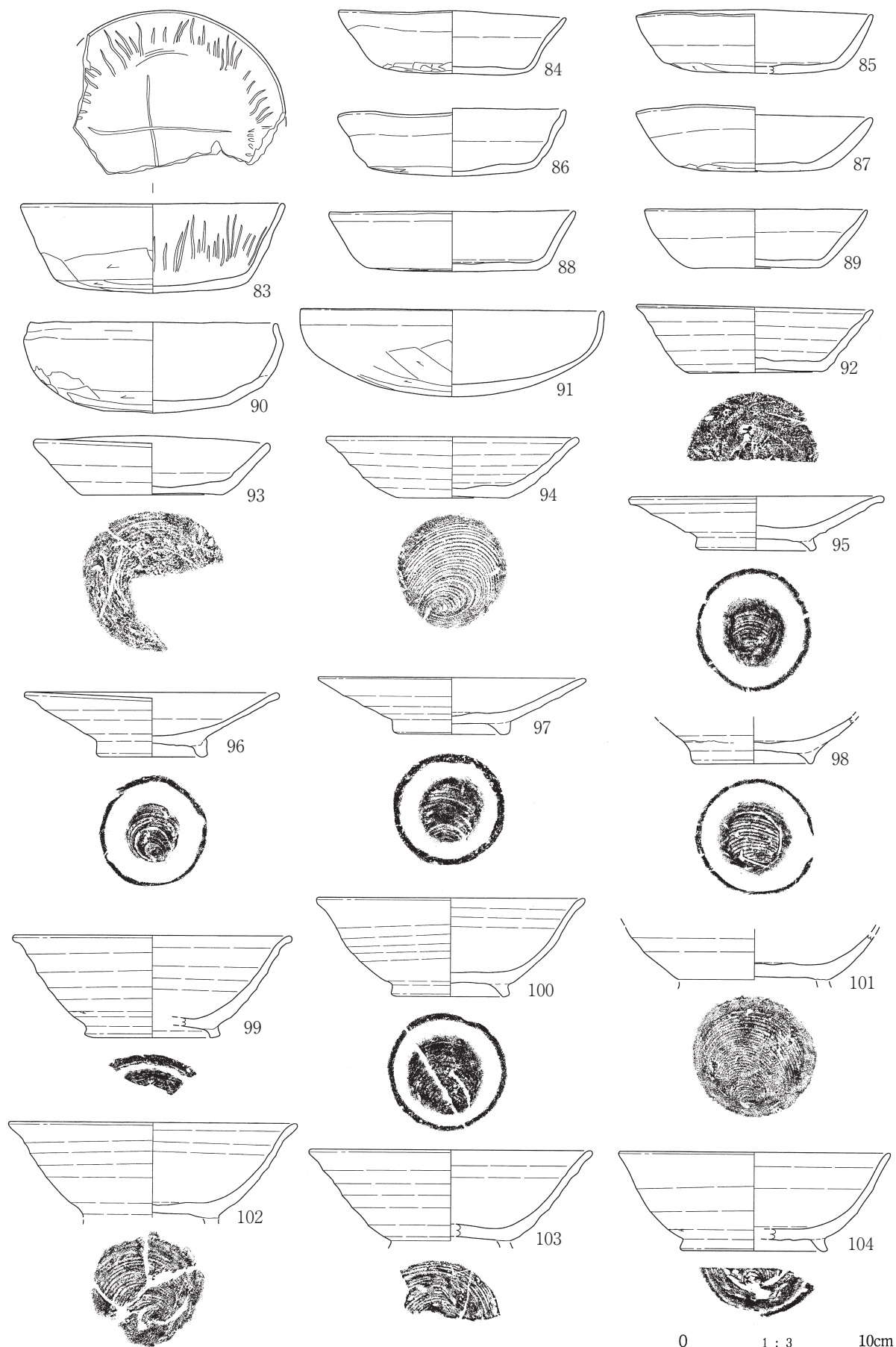
第178図 2区グリッド出土遺物(1)



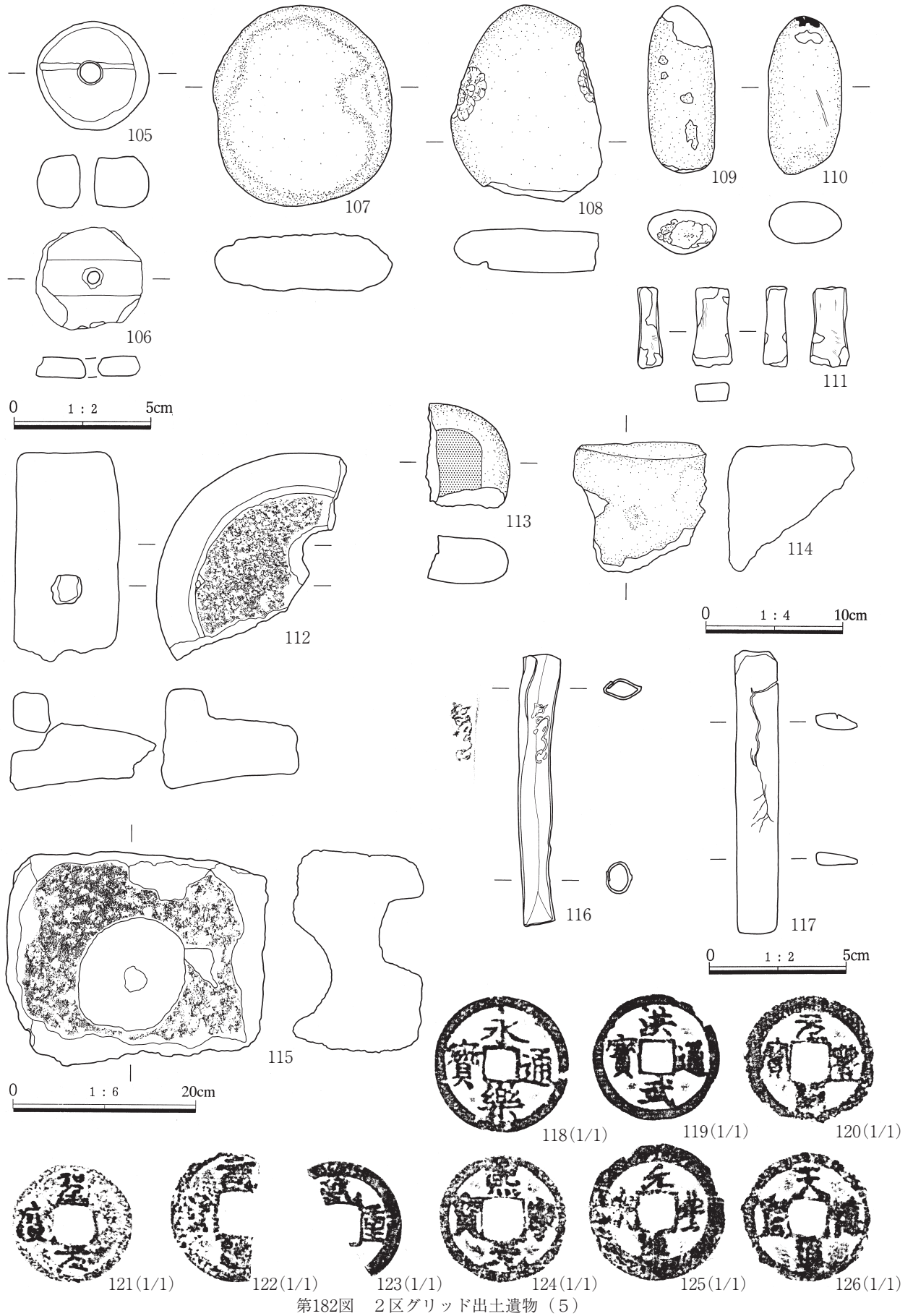
第179図 2区グリッド出土遺物(2)



第180図 2区グリッド出土遺物(3)



第181図 2区グリッド出土遺物(4)



第182図 2区グリッド出土遺物(5)

# 3 区

#### 4 3区の調査内容

##### a 6面の遺構

第5面であるAs-B埋没水田耕作土の下層に検出された遺構確認面であり、指標となるテフラや洪水層等に被覆された同一埋没面ではない。As-B埋没水田以前の複数時期の遺構が含まれるものである。

検出された遺構は、土坑および溝である。

土坑は計10基となるが、3区西側に点在する。確認深は浅く、楕円形平面を呈するもので、出土遺物は認められない。

溝は18条を数えるが、いずれも断片的確認にとどまるものが多い。なお、溝走行の一部を検出するため、溝間の関連性について把握できていない。

なお、これら遺構には遺物の出土が認められていないため、時期については確定できない。

以下、確認遺構について報告しておく。

##### 土坑（第184図、PL68～PL70）

##### 301号土坑（第184図、PL68・69）

99S-8グリッドに位置する。円形平面を呈し、径115cm×97cm、深さ9cmを測る。

##### 302号土坑（第184図、PL69）

99P-12グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径165cm×141cm、深さ39cmを測る。底面中央部が段状を呈し、重複土坑の可能性もある。

##### 303号土坑（第184図、PL69）

99O-11グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、311号土坑と重複する。短径160cm、深さ23cmを測る。

##### 304号土坑（第184図、PL69）

100B-13グリッドに位置する。西側は調査区外のため全形は不明である。短径109cm、確認長は330cm、深さ21cmを測る。平面形が弧状であるため、溝状遺構の一部かもしれない。

##### 311号土坑（第184図、PL69）

99P-11グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、303・312号土坑と重複する。短径122cm、深さ15cmを測る。

##### 312号土坑（第184図、PL69）

99P-11グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、

311号土坑と重複する。短径110cm、深さ25cmを測る。

##### 313号土坑（第184図、PL70）

99T-12グリッドに位置する。円形平面を呈し、径24cm×22cm、深さ7cmを測る。他区ではピットと報告する規模の遺構である。

##### 314号土坑（第184図、PL70）

99T-10グリッドに位置する。円形平面を呈し、径22cm×20cm、深さ13cmを測る。他区ではピットと報告する規模の遺構である。

##### 315号土坑（第184図、PL70）

100B-9グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、316号土坑を切って掘り込まれる。径73cm×55cm、深さ31cmを測る。

##### 316号土坑（第184図、PL70）

100B-9グリッドに位置する。楕円形平面を呈し、径169cm×84cm、深さ6cmを測る。北西隅に315号土坑が重複する。

##### 溝（第185図～189図、PL71～PL76）

溝は調査区全域に認められるが、部分的なものが多い。溝の連続性が不明であるが、見かけ上は次のA～D群の4カ所に分布域をみることができる。

##### A群

89M-15グリッド～90A-15グリッド付近に存在する南北に走行する溝群（71号・72号溝）。

71号溝（第185図、PL71・72）は幅60cm～100cmで、深さ13cm、確認長30.5m。

72号溝（第185図、PL72）は幅30cm～70cmで、深さ16cm、確認長24m。

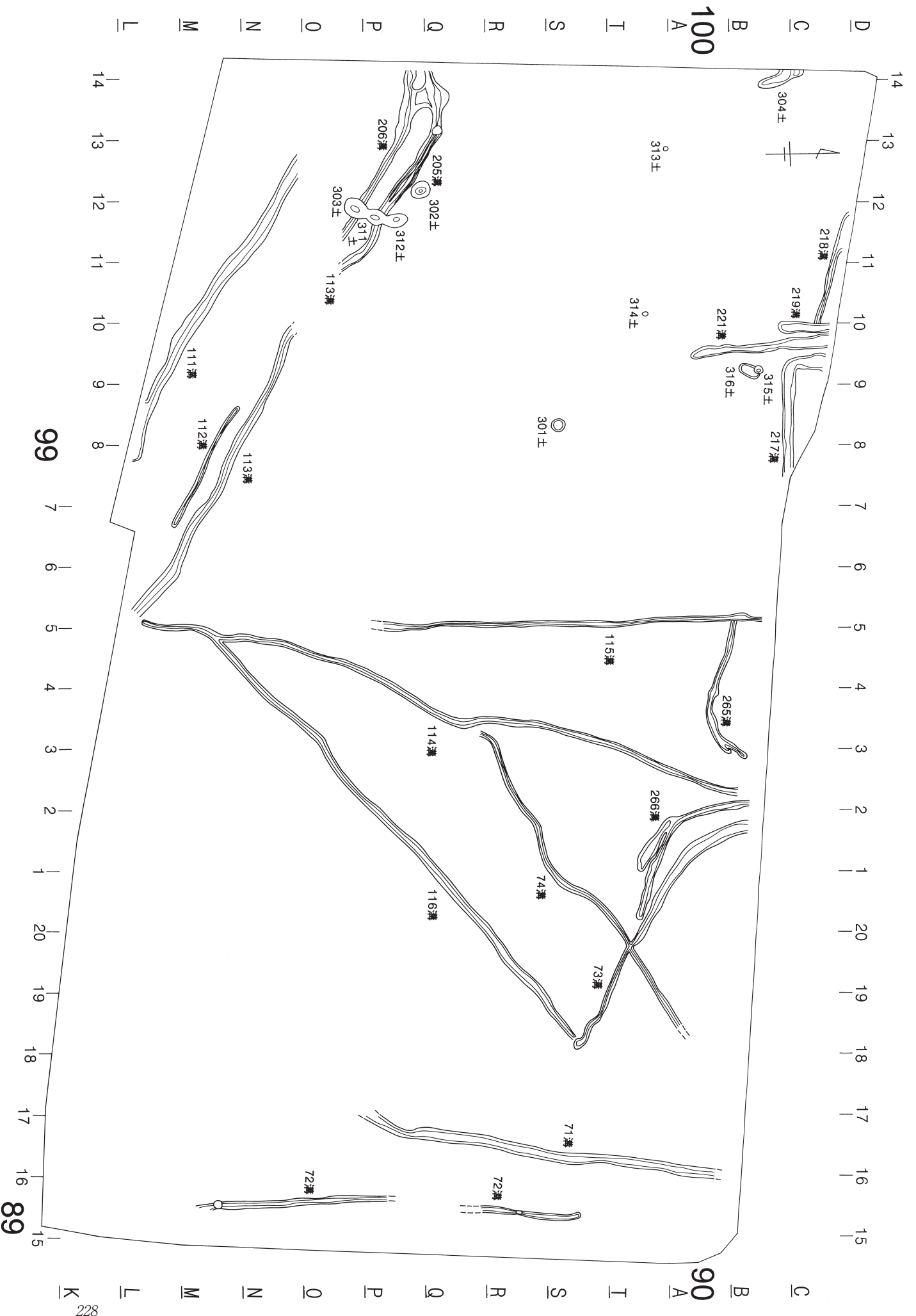
##### B群

89-18ライン～99-5ライン付近に存在する南北および北東から南西方向に走行する溝群（73・74・114～116・265・266号溝）。

73号溝（第185図、PL72・73）は幅30cm～100cm、深さ14cm、確認長24mで、北西～南東方向に走行し、74号溝と交差する。新旧関係は不明。

74号溝（第186図、PL72・73）は幅30cm～60cm、深さ14cm、確認長31m。北東～南西に走行し、南端





100  
B  
C  
D  
E  
F  
G  
H  
I  
J  
K  
L  
M  
N  
O  
P  
Q  
R  
S  
T  
U  
V  
W  
X  
Y  
Z  
AA  
AB  
AC  
AD  
AE  
AF  
AG  
AH  
AI  
AJ  
AK  
AL  
AM  
AN  
AO  
AP  
AQ  
AR  
AS  
AT  
AU  
AV  
AW  
AX  
AY  
AZ  
BA  
BB  
BC  
BD  
BE  
BF  
BG  
BH  
BI  
BJ  
BK  
BL  
BM  
BN  
BO  
BP  
BQ  
BR  
BS  
BT  
BU  
BV  
BW  
BX  
BY  
BZ  
CA  
CB  
CC  
CD  
CE  
CF  
CG  
CH  
CI  
CJ  
CK  
CL  
CM  
CN  
CO  
CP  
CQ  
CR  
CS  
CT  
CU  
CV  
CW  
CX  
CY  
CZ  
DA  
DB  
DC  
DD  
DE  
DF  
DG  
DH  
DI  
DJ  
DK  
DL  
DM  
DN  
DO  
DP  
DQ  
DR  
DS  
DT  
DU  
DV  
DW  
DX  
DY  
DZ  
EA  
EB  
EC  
ED  
EE  
EF  
EG  
EH  
EI  
EJ  
EK  
EL  
EM  
EN  
EO  
EP  
EQ  
ER  
ES  
ET  
EU  
EV  
EW  
EX  
EY  
EZ  
FA  
FB  
FC  
FD  
FE  
FF  
FG  
FH  
FI  
FJ  
FK  
FL  
FM  
FN  
FO  
FP  
FQ  
FR  
FS  
FT  
FU  
FV  
FW  
FX  
FY  
FZ  
GA  
GB  
GC  
GD  
GE  
GF  
GG  
GH  
GI  
GJ  
GK  
GL  
GM  
GN  
GO  
GP  
GQ  
GR  
GS  
GT  
GU  
GV  
GW  
GX  
GY  
GZ  
HA  
HB  
HC  
HD  
HE  
HF  
HG  
HH  
HI  
HJ  
HK  
HL  
HM  
HN  
HO  
HP  
HQ  
HR  
HS  
HT  
HU  
HV  
HW  
HX  
HY  
HZ  
IA  
IB  
IC  
ID  
IE  
IF  
IG  
IH  
II  
IJ  
IK  
IL  
IM  
IN  
IO  
IP  
IQ  
IR  
IS  
IT  
IU  
IV  
IW  
IX  
IY  
IZ  
JA  
JB  
JC  
JD  
JE  
JF  
JG  
JH  
JI  
JJ  
JK  
JL  
JM  
JN  
JO  
JP  
JQ  
JR  
JS  
JT  
JU  
JV  
JW  
JX  
JY  
JZ  
KA  
KB  
KC  
KD  
KE  
KF  
KG  
KH  
KI  
KJ  
KK  
KL  
KM  
KN  
KO  
KP  
KQ  
KR  
KS  
KT  
KU  
KV  
KW  
KX  
KY  
KZ  
LA  
LB  
LC  
LD  
LE  
LF  
LG  
LH  
LI  
LJ  
LK  
LM  
LN  
LO  
LP  
LQ  
LR  
LS  
LT  
LU  
LV  
LW  
LX  
LY  
LZ  
MA  
MB  
MC  
MD  
ME  
MF  
MG  
MH  
MI  
MJ  
MK  
ML  
MN  
MO  
MP  
MQ  
MR  
MS  
MT  
MU  
MV  
MW  
MX  
MY  
MZ  
NA  
NB  
NC  
ND  
NE  
NF  
NG  
NH  
NI  
NJ  
NK  
NL  
NM  
NO  
NP  
NQ  
NR  
NS  
NT  
NU  
NV  
NW  
NX  
NY  
NZ  
OA  
OB  
OC  
OD  
OE  
OF  
OG  
OH  
OI  
OJ  
OK  
OL  
OM  
ON  
OO  
OP  
OQ  
OR  
OS  
OT  
OU  
OV  
OW  
OX  
OY  
OZ  
PA  
PB  
PC  
PD  
PE  
PF  
PG  
PH  
PI  
PJ  
PK  
PL  
PM  
PN  
PO  
PP  
PQ  
PR  
PS  
PT  
PU  
PV  
PW  
PX  
PY  
PZ  
QA  
QB  
QC  
QD  
QE  
QF  
QG  
QH  
QI  
QJ  
QK  
QL  
QM  
QN  
QO  
QP  
QQ  
QR  
QS  
QT  
QU  
QV  
QW  
QX  
QY  
QZ  
RA  
RB  
RC  
RD  
RE  
RF  
RG  
RH  
RI  
RJ  
RK  
RL  
RM  
RN  
RO  
RP  
RQ  
RR  
RS  
RT  
RU  
RV  
RW  
RX  
RY  
RZ  
SA  
SB  
SC  
SD  
SE  
SF  
SG  
SH  
SI  
SJ  
SK  
SL  
SM  
SN  
SO  
SP  
SQ  
SR  
SS  
ST  
SU  
SV  
SW  
SX  
SY  
SZ  
TA  
TB  
TC  
TD  
TE  
TF  
TG  
TH  
TI  
TJ  
TK  
TL  
TM  
TN  
TO  
TP  
TQ  
TR  
TS  
TT  
TU  
TV  
TW  
TX  
TY  
TZ  
UA  
UB  
UC  
UD  
UE  
UF  
UG  
UH  
UI  
UJ  
UK  
UL  
UM  
UN  
UO  
UP  
UQ  
UR  
US  
UT  
UU  
UV  
UW  
UX  
UY  
UZ  
VA  
VB  
VC  
VD  
VE  
VF  
VG  
VH  
VI  
VJ  
VK  
VL  
VM  
VN  
VO  
VP  
VQ  
VR  
VS  
VT  
VU  
VV  
VW  
VX  
VY  
VZ  
WA  
WB  
WC  
WD  
WE  
WF  
WG  
WH  
WI  
WJ  
WK  
WL  
WM  
WN  
WO  
WP  
WQ  
WR  
WS  
WT  
WU  
WV  
WW  
WX  
WY  
WZ  
XA  
XB  
XC  
XD  
XE  
XF  
XG  
XH  
XI  
XJ  
XK  
XL  
XM  
XN  
XO  
XP  
XQ  
XR  
XS  
XT  
XU  
XV  
XW  
XX  
XY  
XZ  
YA  
YB  
YC  
YD  
YE  
YF  
YG  
YH  
YI  
YJ  
YK  
YL  
YM  
YN  
YO  
YP  
YQ  
YR  
YS  
YT  
YU  
YV  
YW  
YX  
YY  
YZ  
ZA  
ZB  
ZC  
ZD  
ZE  
ZF  
ZG  
ZH  
ZI  
ZJ  
ZK  
ZL  
ZM  
ZN  
ZO  
ZP  
ZQ  
ZR  
ZS  
ZT  
ZU  
ZV  
ZW  
ZX  
ZY  
ZZ

第183图 3区第6面全体图

部は14号溝に接するとみられる。

114号溝（第187図）は幅40cm～50cm、深さ14cm、確認長52.2mで、南端部で116号溝と接する。中央付近に屈曲する部分があるが、この場所で74号溝と接するようである。

115号溝（第188図）は幅30cm～70cm、深さ8cm、確認長30.8mで、ほぼ南北方向に走行する。

116号溝（第187図、PL74）は幅50cm～80cm、深さ14cm、確認長36.4m。南端部で114号溝と接する。

265号溝（第189図）は幅30cm～80cm、深さ6cm、確認長13m。弧状平面を呈し、西端部は115号溝に接する。

266号溝（第189図）は幅40cm～100cm、深さ11cm、確認長14.3m。73号溝に平行するように弧状平面を呈し、東端部は2条に分岐する。

### C群

99Q-14グリッド～99K-5グリッド間に存在する北西から南東方向に走行する溝群（111号～113号・205号・206号溝）。

111号溝（第186図、PL73）は幅80cm～120cm、深さ20cm、確認長28.6m、北西～南東方向に走行する

112号溝（第186図、PL73）は幅20cm～40cm、深さ6cm、確認長11.4m。北西～南東方向に走行し、113号溝に平行する。

113号溝（第188図、PL73）は幅30cm～110cm、深さ9cm、確認長48.5m。北西～南東方向に走行し、111号・112号溝に平行する。中央部分で途切れる。

205号溝（第188図、PL74）は幅30cm～140cm、深さ5cm、確認長12.4mで、113号溝が分岐する部分にあたるようで、同一溝とみられる。

206号溝（第186図、PL73・74）は幅40cm～100cm、深さ14cm、確認長15mで113号溝に平行する。東側部が不明となるが、113号溝と接し分岐する溝の可能性もある。

### D群

100C-11グリッド～100B-7グリッド付近に存在する溝群（217～219号・221号溝）。

217号溝（第189図、PL74・75）は幅70cm～130cm、深さ22cm、確認長13mを測る。部分的確認であるた

め、全形が不明であるが直角に屈曲する平面形を示す溝であり、確定はできないが屈曲する点や規模からみて、方形周溝墓の可能性もあろう。ただ、溝内から遺物や埋没土層からテフラの確認等はないため、積極的な事由に乏しい。

218号溝（第189図、PL75）は幅20cm～50cm、深さ9cm、確認長9.2m。北西～南東方向に走行し、東端部で219号溝に接する。

219号溝（第189図、PL75）は幅70cm～100cm、深さ14cm、確認長7mで、南北方向に走行する。

221号溝（第189図、PL76）は幅60cm～120cmで、深さ9cm、確認長11.4m。南北方向に走行し、219号溝に東接し、ほぼ平行する。

### b 5面の遺構（第190図）

第5面は、各区共通の遺構面として調査の基準ともなっているAs-B埋没面であり、3区においても水田面が検出された。

3区では、As-B層の堆積は薄層で、部分的に遺失しているため、埋没水田についても残存状況はあまり良好ではない。他に、土坑が2基検出されている。

### 水田（第190・192図）

残存状態は不良であるが、調査区西側を主として水田面（畦畔）が検出された。標高は67.85m～68.00mである。

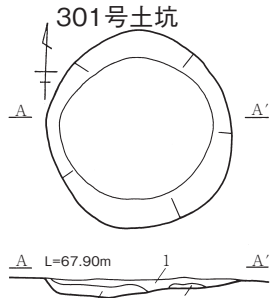
畦畔は、As-B層を除去しながら確認されるわずかな高まりとして検出される程度にまで低平化している。水田区画は、地形に沿って北西～南東方向の区画も認められるが、基本的に方位に即した方形区画が行なわれる。南北畦は20m～15m間隔で、東西畦は10m前後の間隔をもっている。

### 86号土坑（第191図、PL68）

89M-19グリッドに位置し、径117cm×86cmの楕円形平面を呈し、深さは33cmを測る。

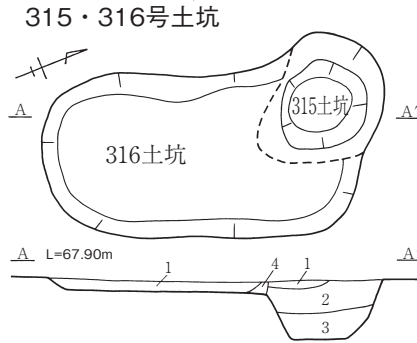
### 87号土坑（第191図、PL68）

89B-17グリッドに位置し、径193cm×37cmのやや不整な長円形平面を呈し、深さは10cmを測る。埋没土中から土錘が出土している。



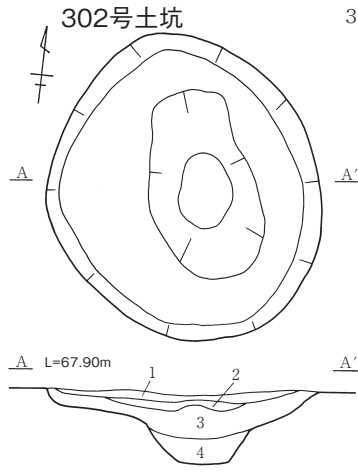
3区6面301号土坑

- 1 褐灰色粘質土 明褐色粘質土ブロックを含む
- 2 灰褐色砂質土 鉄分が付着 粘性強い



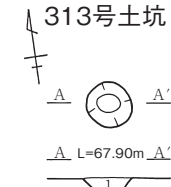
3区6面315・316号土坑

- 1 褐灰色砂質土 明褐色砂を多く含む 縮まりあり
- 2 褐灰色シルト質土 粘性あり硬く締まる
- 3 にぶい黄橙色粘質土 鉄分が付着 粘性あり
- 4 褐色砂質土 明褐色砂を含む やや粘性あり



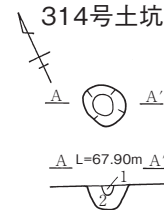
3区6面302号土坑

- 1 黄橙色粘質土 褐灰色粘質土を多く含む
- 2 灰白色砂質土 粘性あり
- 3 褐灰色粘質土 中層ゆるく下層に鉄分が付着 粘性強い
- 4 にぶい黄橙色粘質土 灰白色粘質土ブロックを含む



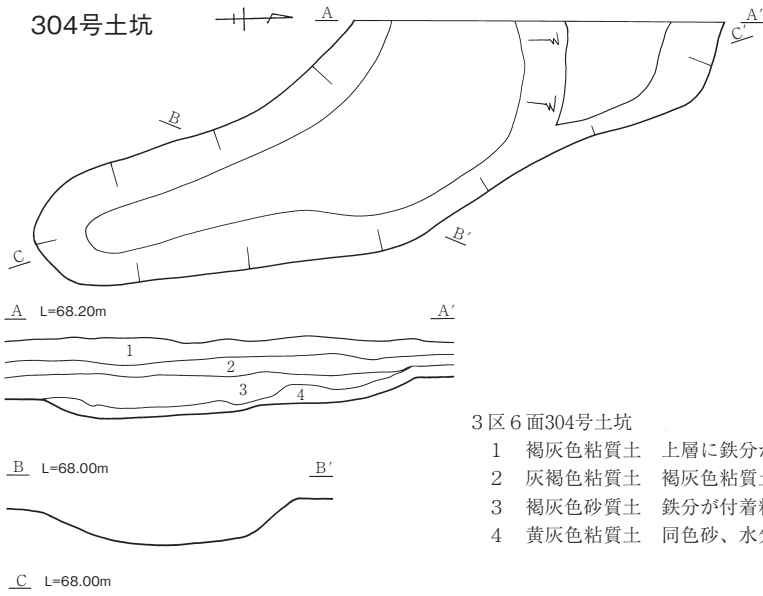
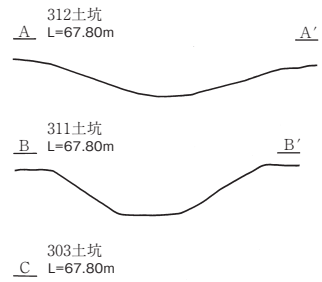
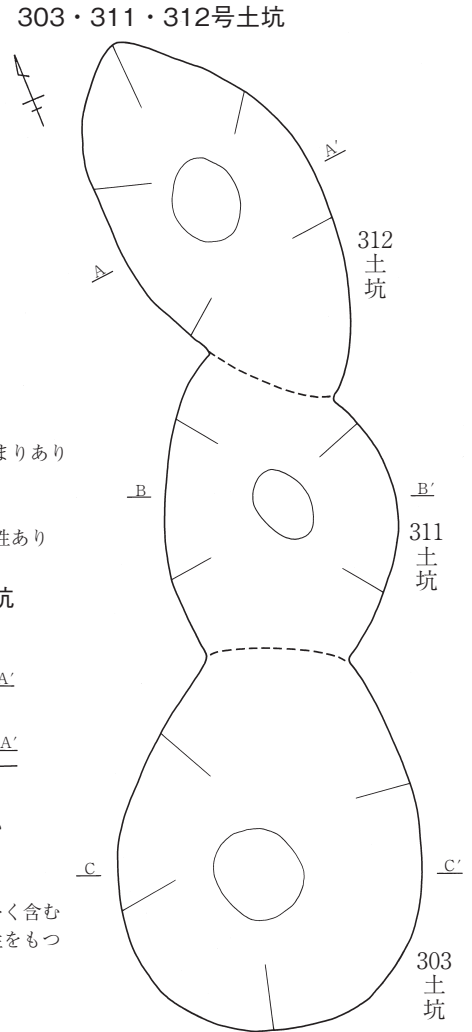
3区6面313号土坑

- 1 褐灰色粘質土 砂粒を多く含む 軟い



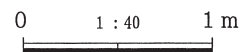
3区6面314号土坑

- 1 にぶい黄橙色粘質土 2層の砂粒を多く含む
- 2 オリーブ黒色砂質土 軟く、やや粘性をもつ

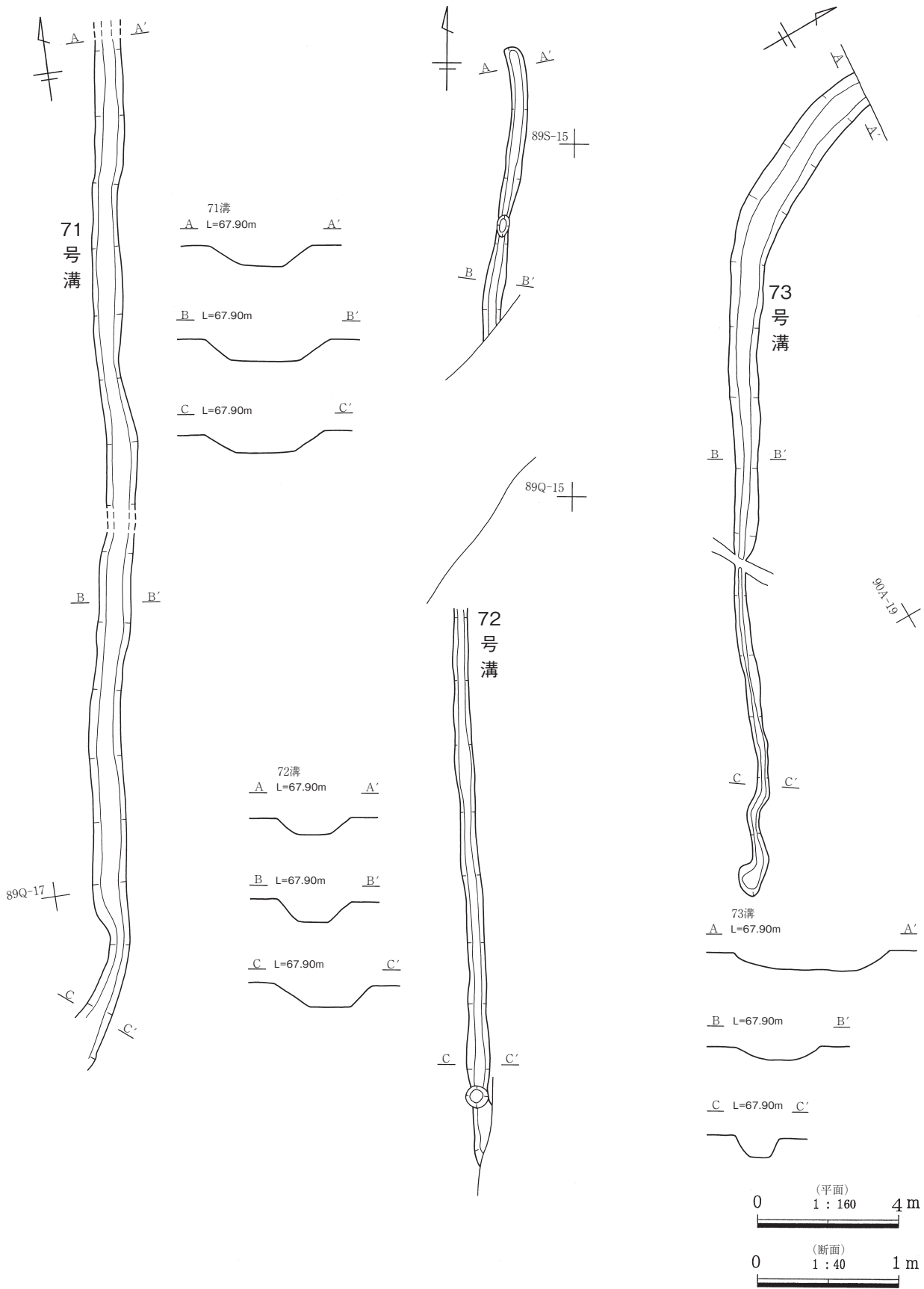


3区6面304号土坑

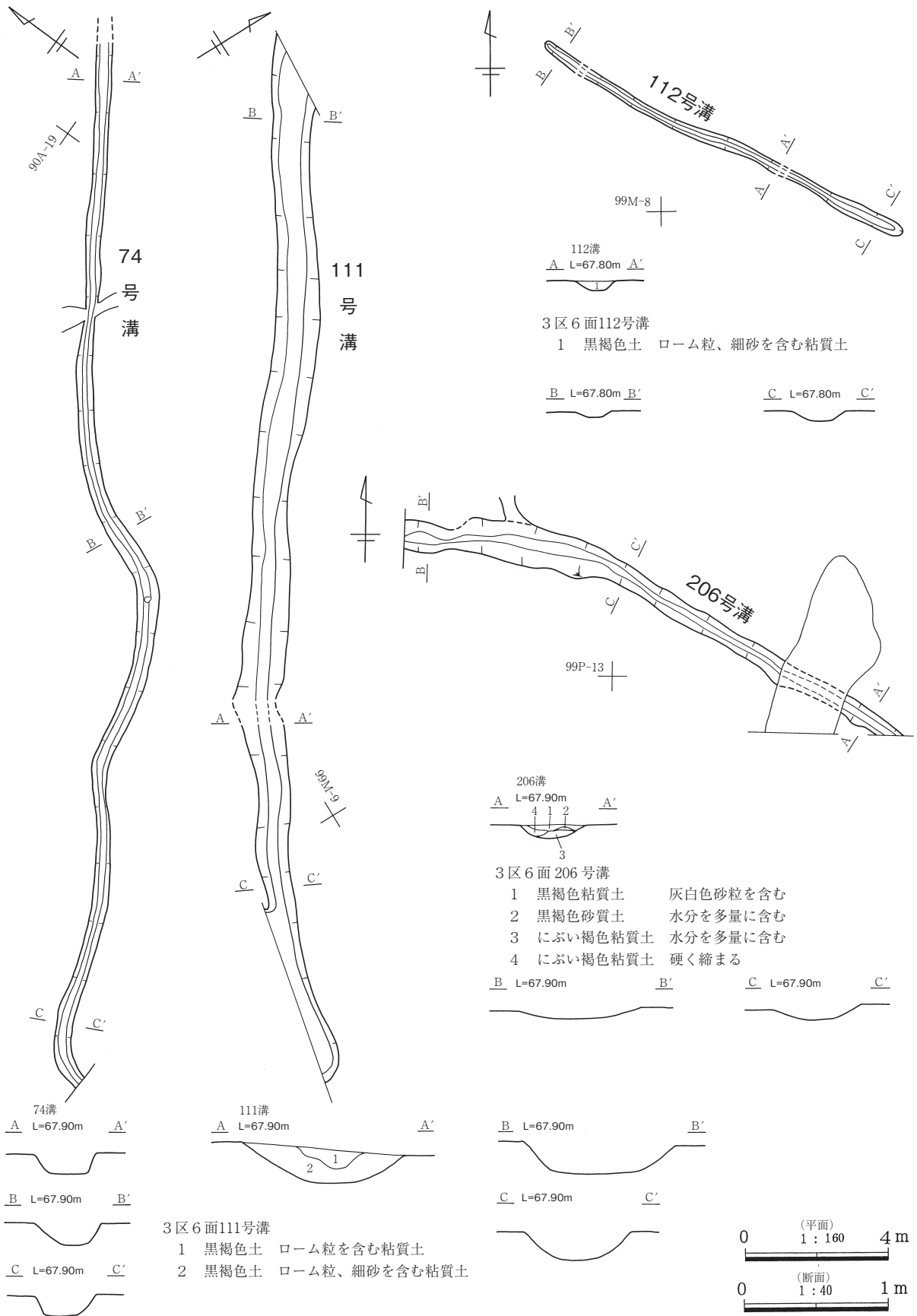
- 1 褐灰色粘質土 上層に鉄分が付着 硬く締まる
- 2 灰褐色粘質土 褐灰色粘質土を含む やや軟弱
- 3 褐灰色砂質土 鉄分が付着粘性強く軟い
- 4 黄灰色粘質土 同色砂、水分を含む縮まりあり



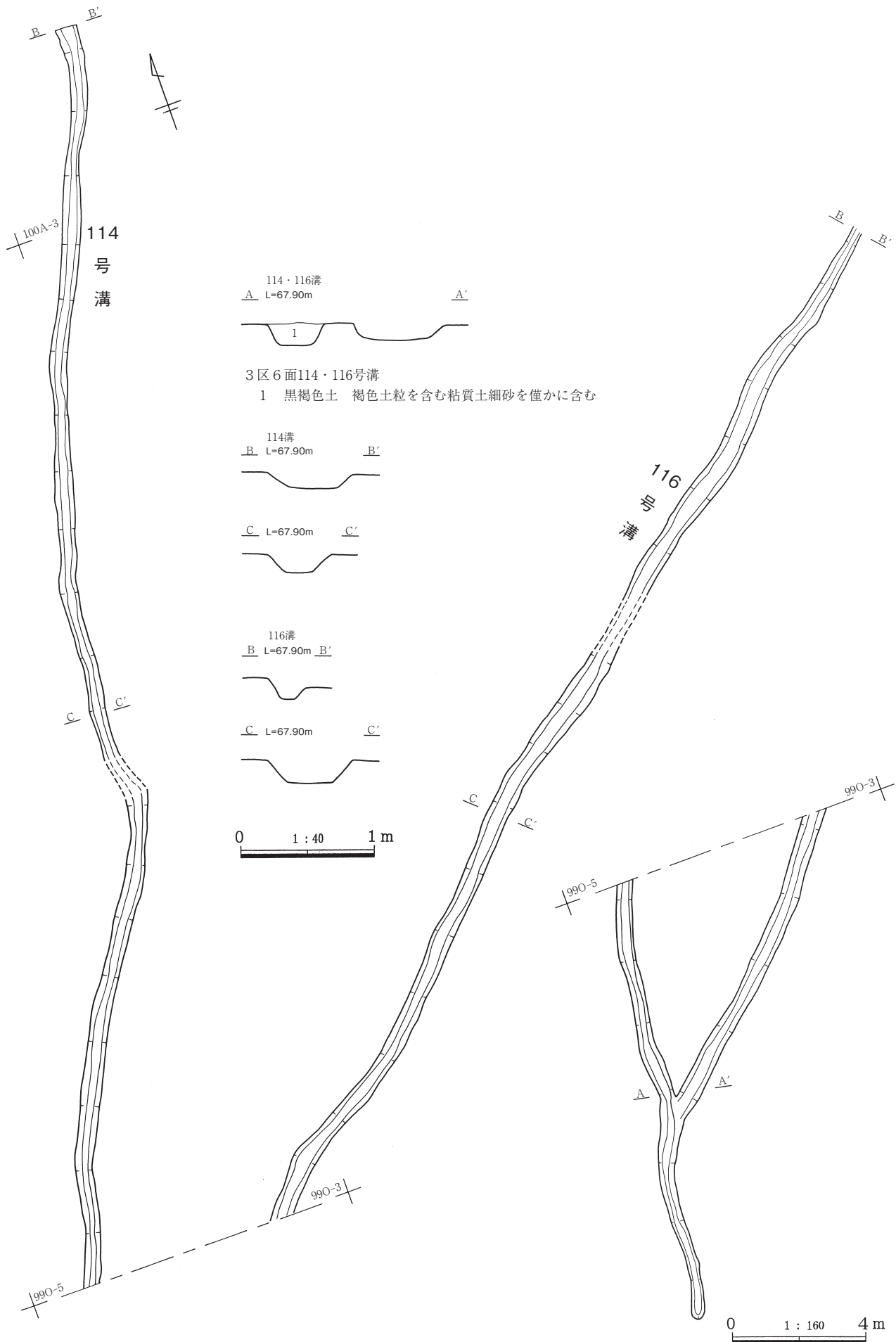
第184図 3区301~304・311~316号土坑



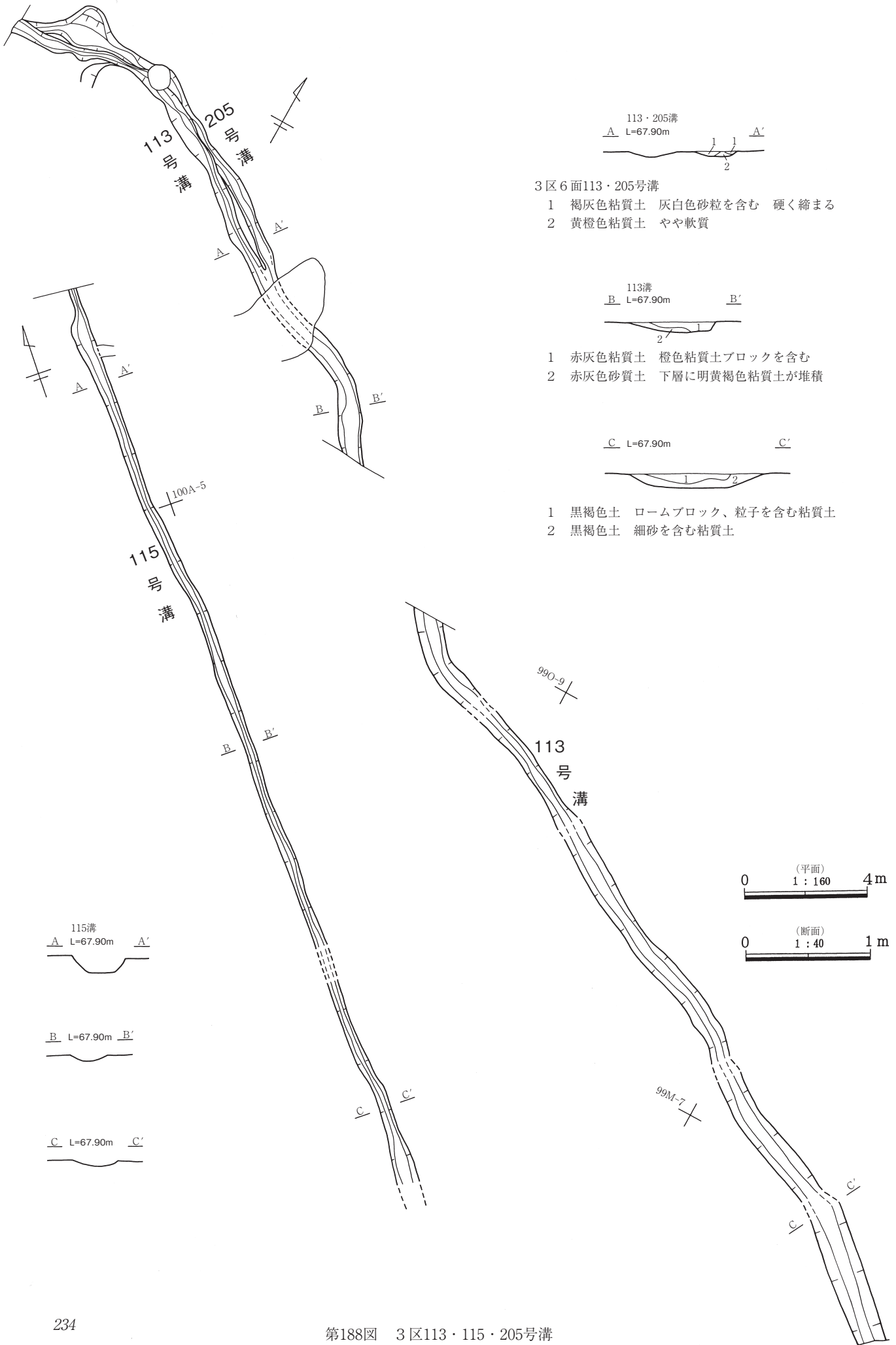
第185図 3区71・72・73号溝

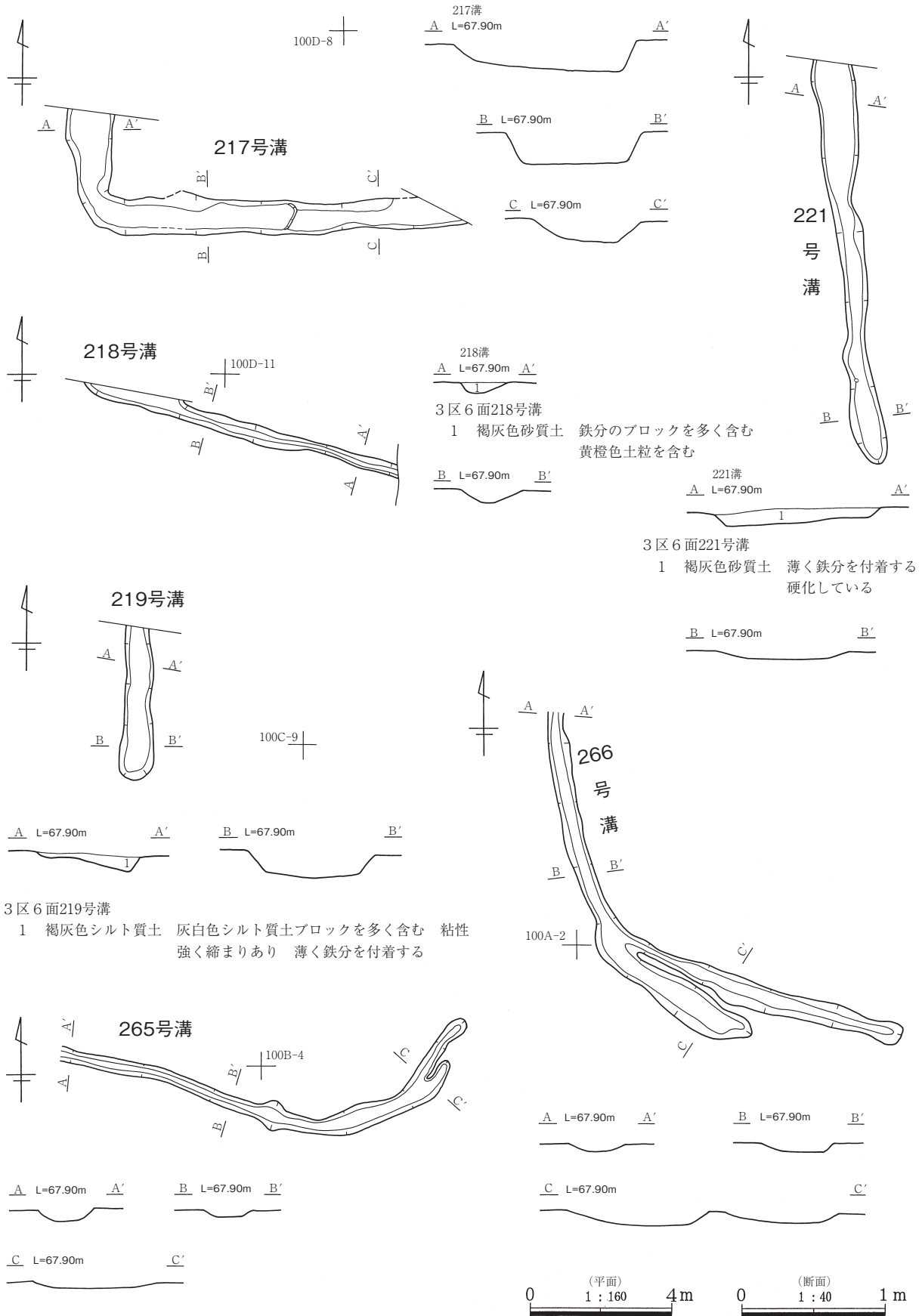


第186図 3区74・111・112・206号溝



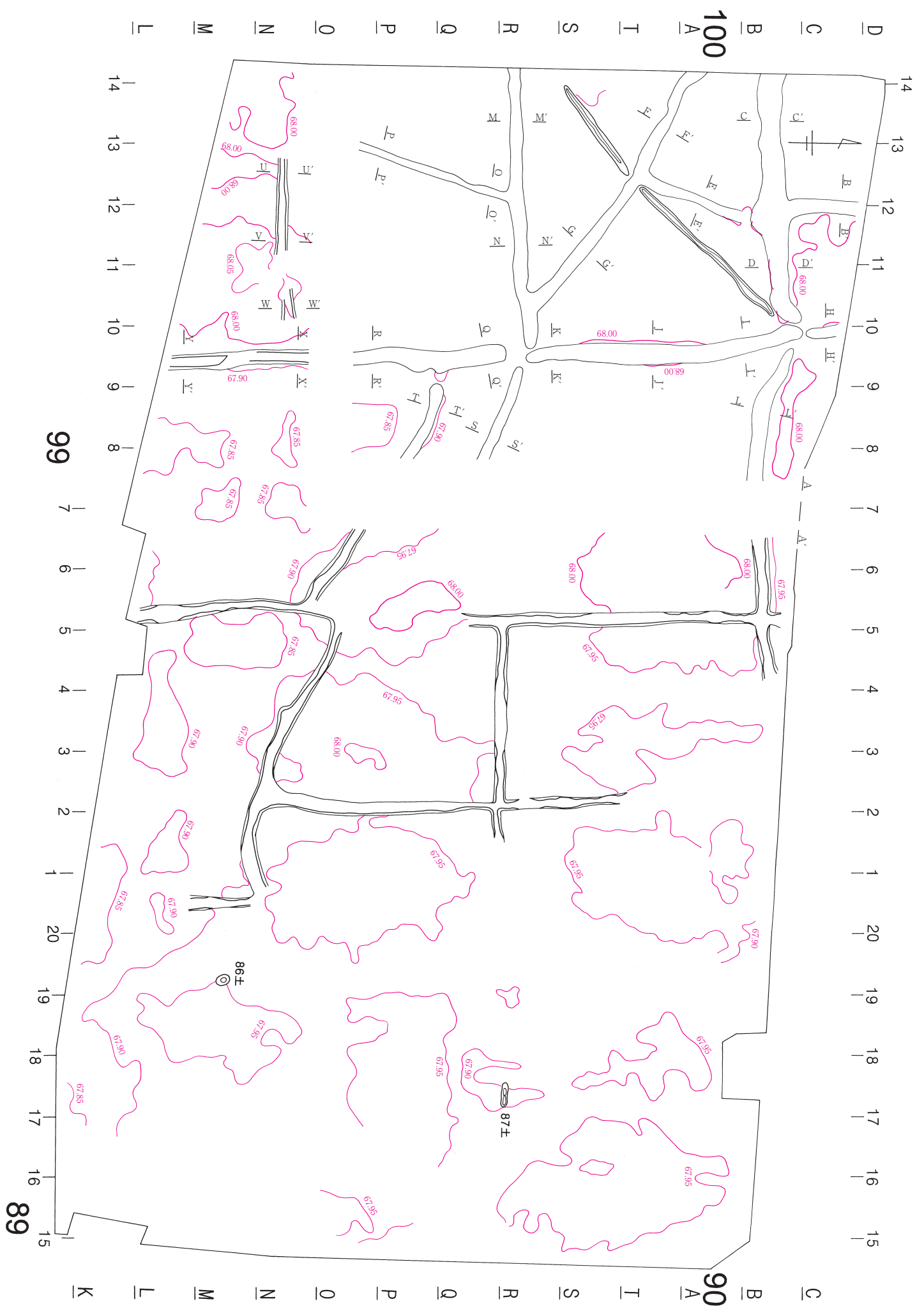
第187図 3区114・116号溝



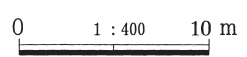


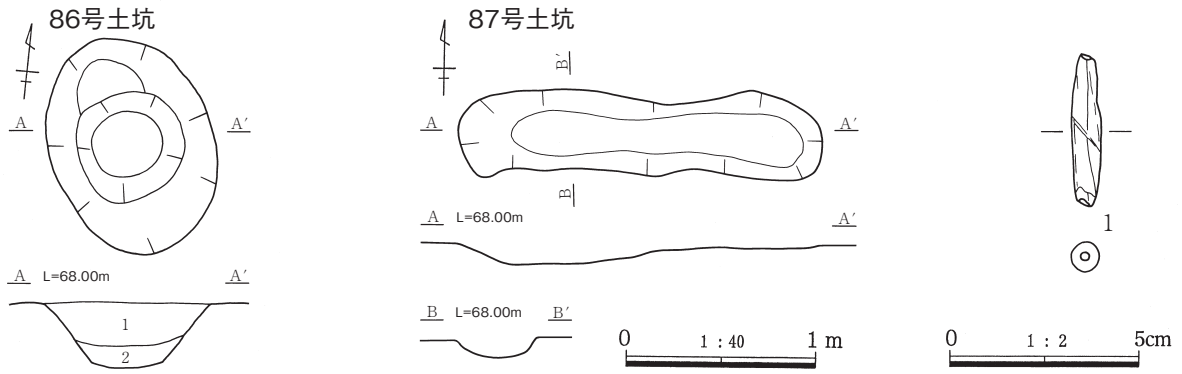
第189図 3区217~219・221・265・266号溝





第190图 3区第5面全体图

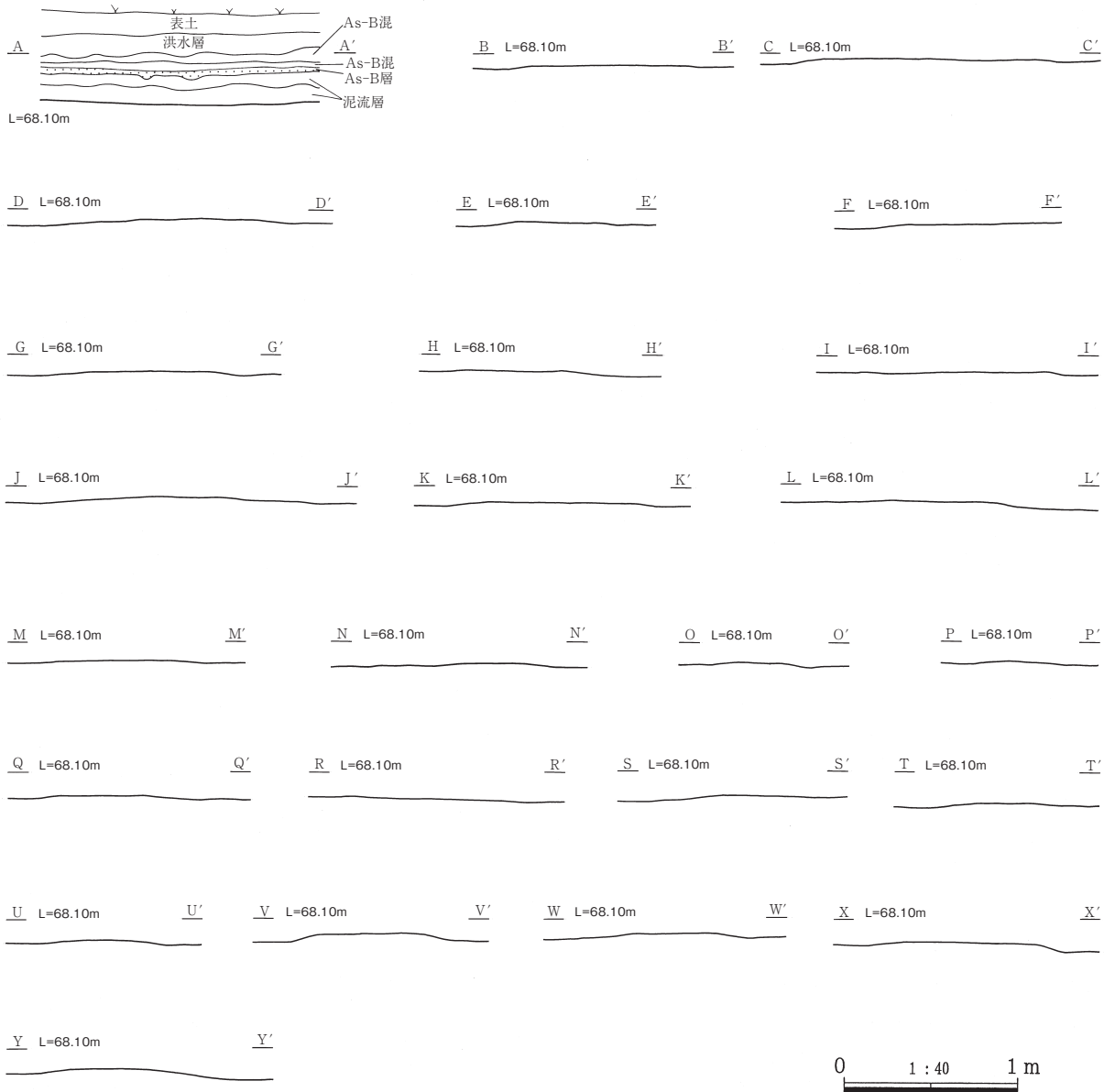




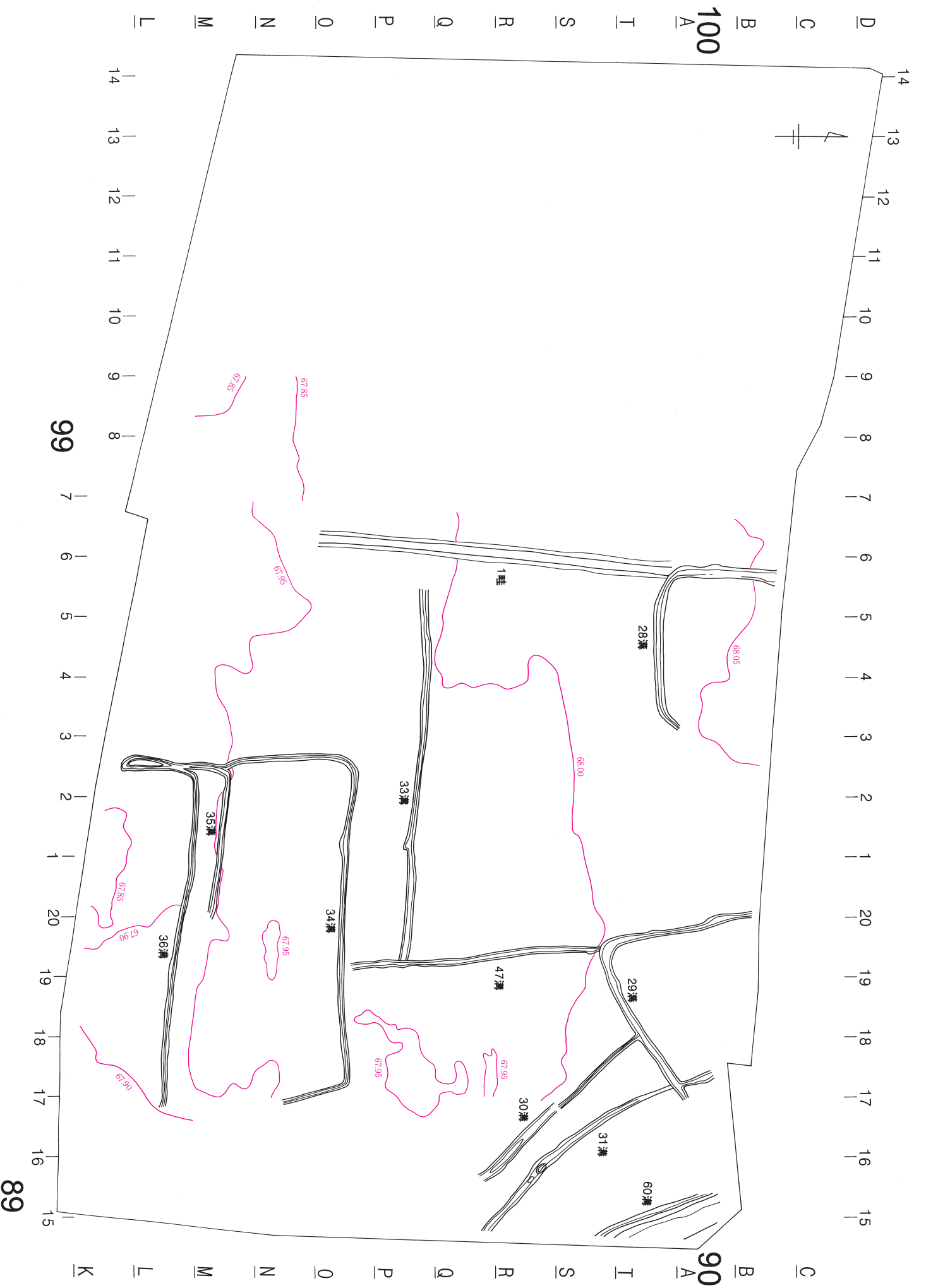
3区5面86号土坑

- 1 黒褐色土 鉄分粒子を含む 砂質 締まりあり
- 2 黒褐色土 暗褐色粘質土ブロックを含む 砂質

第191図 3区86・87号土坑と87号土坑出土遺物



第192図 3区第5面土層断面図



0 1 : 400 10 m

第193図 3区第4面全体図

## c 4面の遺構（第193図）

畦畔および溝が確認されたが各遺構は同一被覆層による埋没面ではなく「As-B混土」層中に認められるもので、時間的同時性を示すものではないが、これらの遺構により水田面を形成していたものとみられる。

**溝**（第194図～196図、PL71）

溝群は、調査区東側に確認された。方形区画状および北西～南東方向の走行を示す溝が存在する。

**28号溝**（第194図）

99T-3グリッド～100B-5グリッドに位置する。1号畦に北接し、一部走行を同様にする。北端部から南走し、8m前後南走し、その地点で東へほぼ直角に12m前後走行し、端部は北走する溝で方形の区画を示す。幅50cm～110cm、深さ9cm、確認長は22.4mを測る。

**29号溝**（第194図）

90A-17グリッド～90B-20グリッドに位置し、北および北東にV字形に走行する。幅30cm～120cm、深さ12cmで、確認長は28.2mを測る。

**30号溝**（第194図）

89Q-15グリッド～89T-17グリッドに位置し、北西～南東方向に直線的に走行する。北端部は29号溝に接し、南端部は3面遺構により遺失している。検出状況から、29号溝と共に区画を示す溝とみられ、形状が不規則であるが、水田区画を示す溝と考えられる。幅30cm～80cm、深さ8cm、確認長17.6mを測る。

**31号溝**（第195図）

89Q-14グリッド～90A-17グリッドに位置し、北西～南東方向にやや湾曲ぎみに走行する。北側は29号溝と重複し、さらに延長し、東壁に接し2区へ延長するものとみられる。29号溝との新旧関係については不明である。なお、途中延長部分が検出できていないが、位置や形状等から微高地縁辺を走行する2区4面55号溝に連続する可能性がある。幅50cm～100cm、深さ10cm、確認長22.8mを測る。

**33号溝**（第195図）

89P-19グリッド～99P-5グリッドに位置し、東西方向に直線的に走行する。西側は1号畦付近で不明となり、東側は47号溝に接し、以東には確認されて

いない。位置関係から、47号溝と共に方形の区画を形成する溝とみられ、水田区画を示すものと考えられる。幅40cm～80cm、深さ6cm、確認長31.2mを測る。

**34号溝**（第196図）

89N-16グリッド～99K-2グリッドに位置し、方形区画の一辺を形成する。区画長は27mで、東辺溝は3面遺構により遺失し、西辺溝は35号溝、36号溝と接する。水田区画に伴う溝であろうと考えられる。幅30cm～80cm、深さ11cm、確認長49.6mを測る。

**35号溝**（第196図）

89M-20グリッド～99K-2グリッドに位置し、方形区画の一角を形成する。34号溝、36号溝と接し、水田区画に伴う溝と考えられる。幅40cm～50cm、深さ6cm、確認長20.8mを測る。

**36号溝**（第196図）

89L-16グリッド～99K-2グリッドに位置し、方形区画の一角を形成する。東辺部は3面遺構により遺失し、西辺側は35号溝が北接し、南は不明となっている。水田区画に伴う溝であろうと考えられる。幅30cm～60cm、深さ12cm、確認長34.4mを測る。

**47号溝**（第195図）

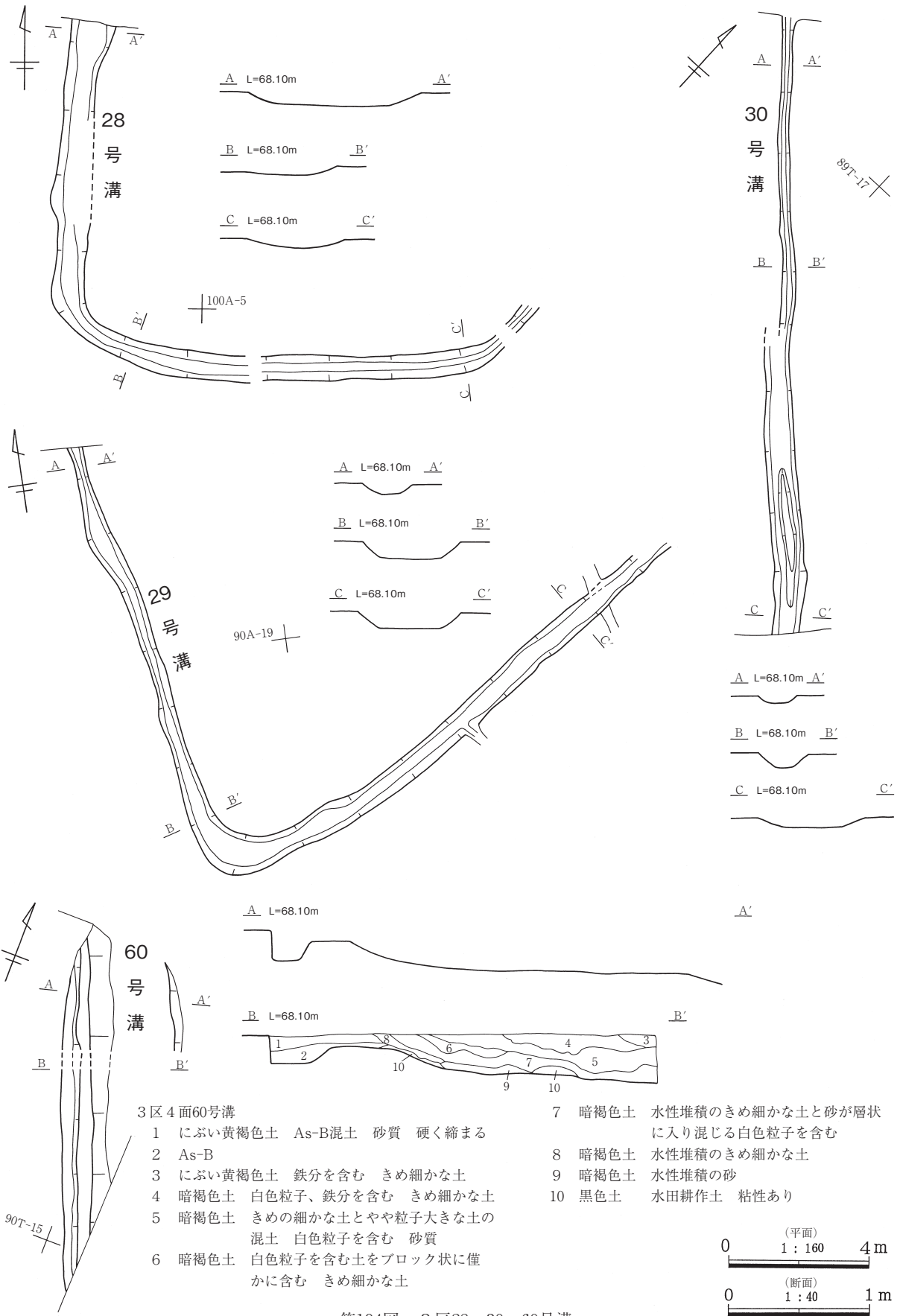
89O-19グリッド～89S-19グリッドに位置し、南北に走行し、北端部を29号溝、南端部を34号溝、西側に33号溝と接する。これらの溝群と共に水田区画を形成する溝であろうと考えられる。幅30cm～60cm、深さ6cm、確認長20.8mを測る。

**60号溝**（第194図、PL71）

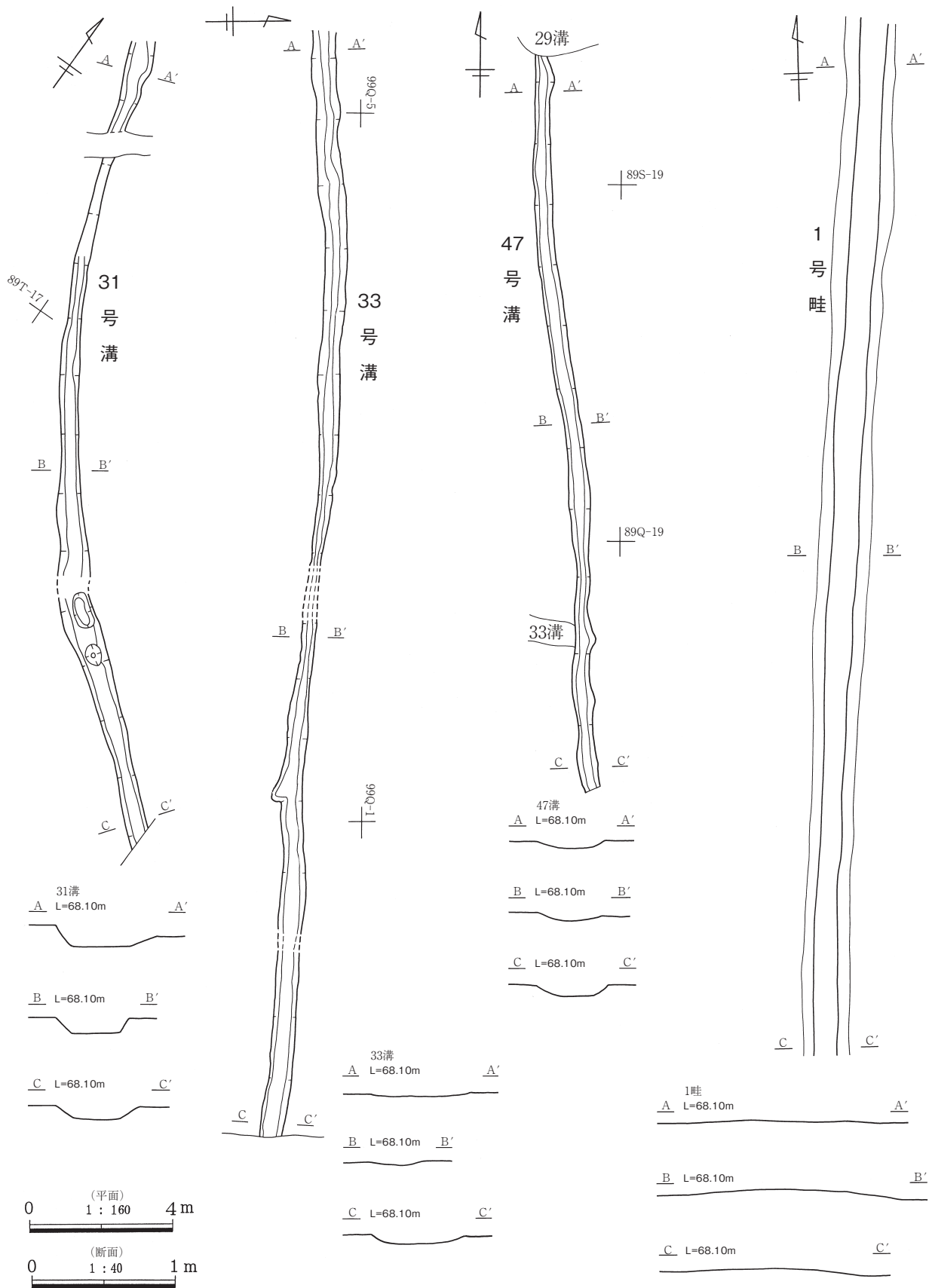
89T-14グリッド～90A-15グリッドに位置する。前記の溝群に比し、規模が大きい溝で西側法面のみが確認され、延長方向、深さ等は不明である。埋没土断面には砂層が堆積し、水田耕作に伴う水路として機能していた可能性がある。

**1号畦**（第195図）

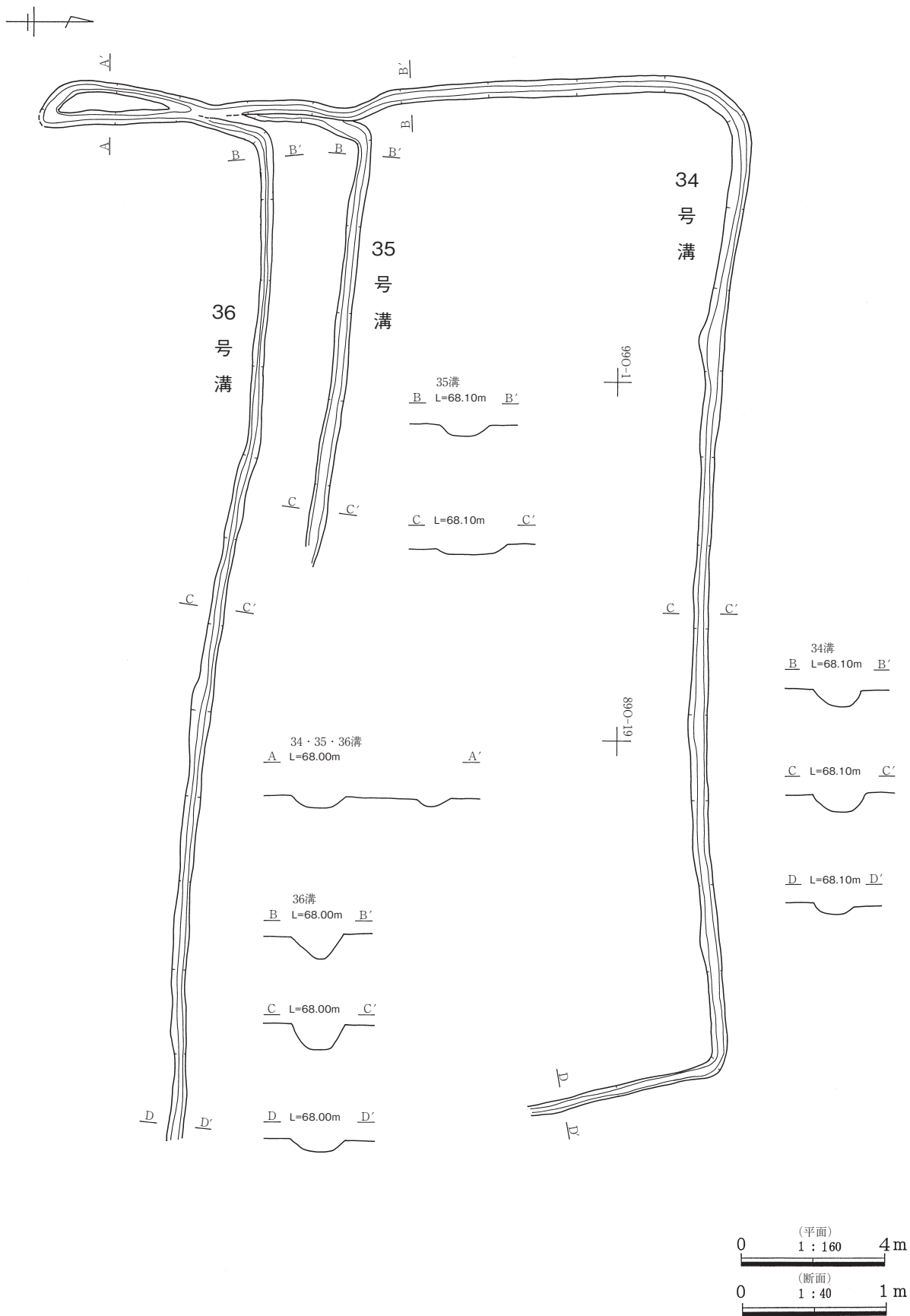
99O-6グリッド～89S-19グリッドに位置し、南北方向に走行する。残存状況は不良であり、わずかな帯状の高まりとして部分的に確認された。北側は28号溝に接し、南側は不明となっている。周囲の溝群と共に水田区画を形成していたものだろう。



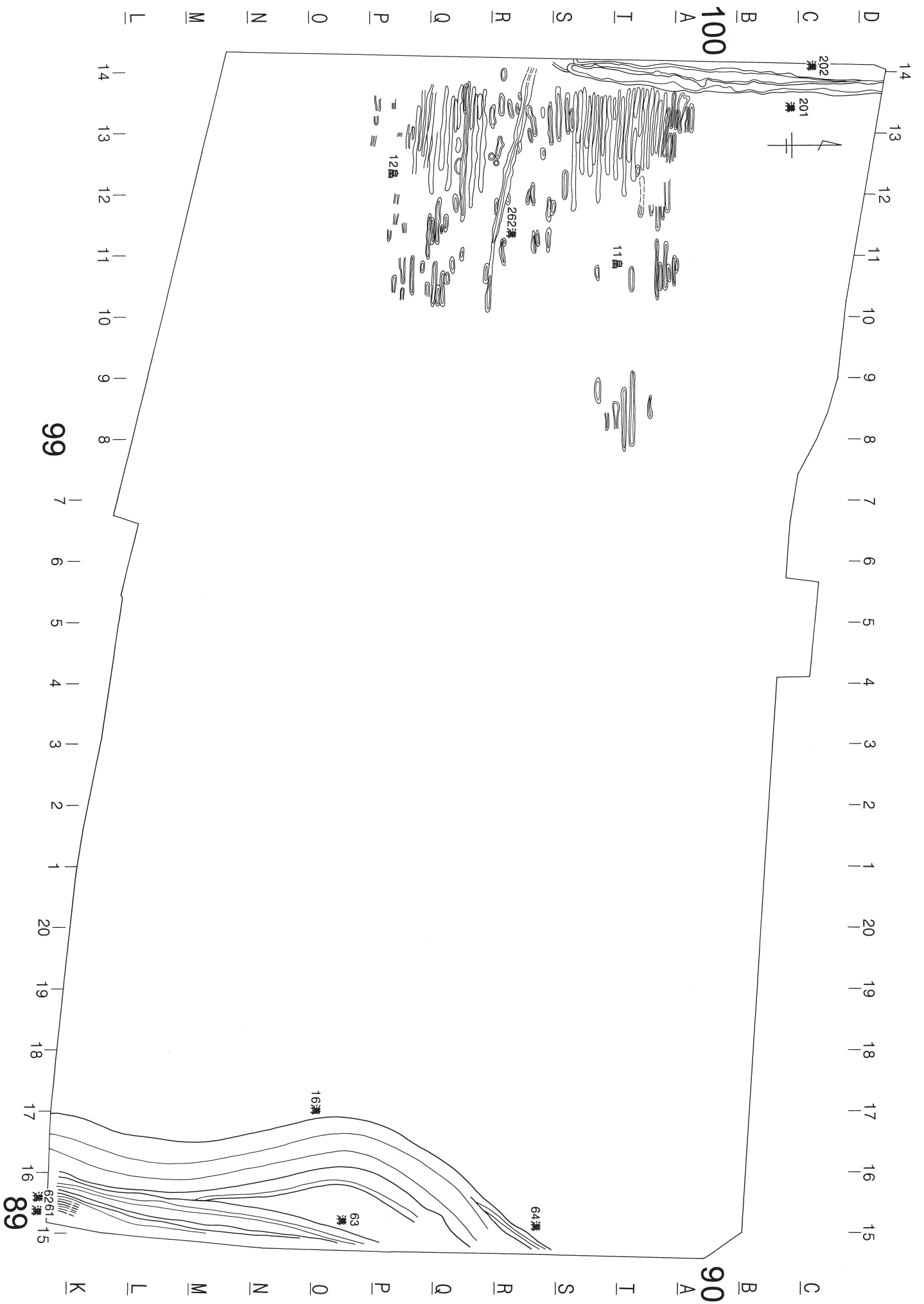
第194図 3区28~30・60号溝



第195図 3区31・33・47号溝、1号畦



第196図 3区34・35・36号溝



第197图 3区第3面全体图

0 1 : 400 10 m

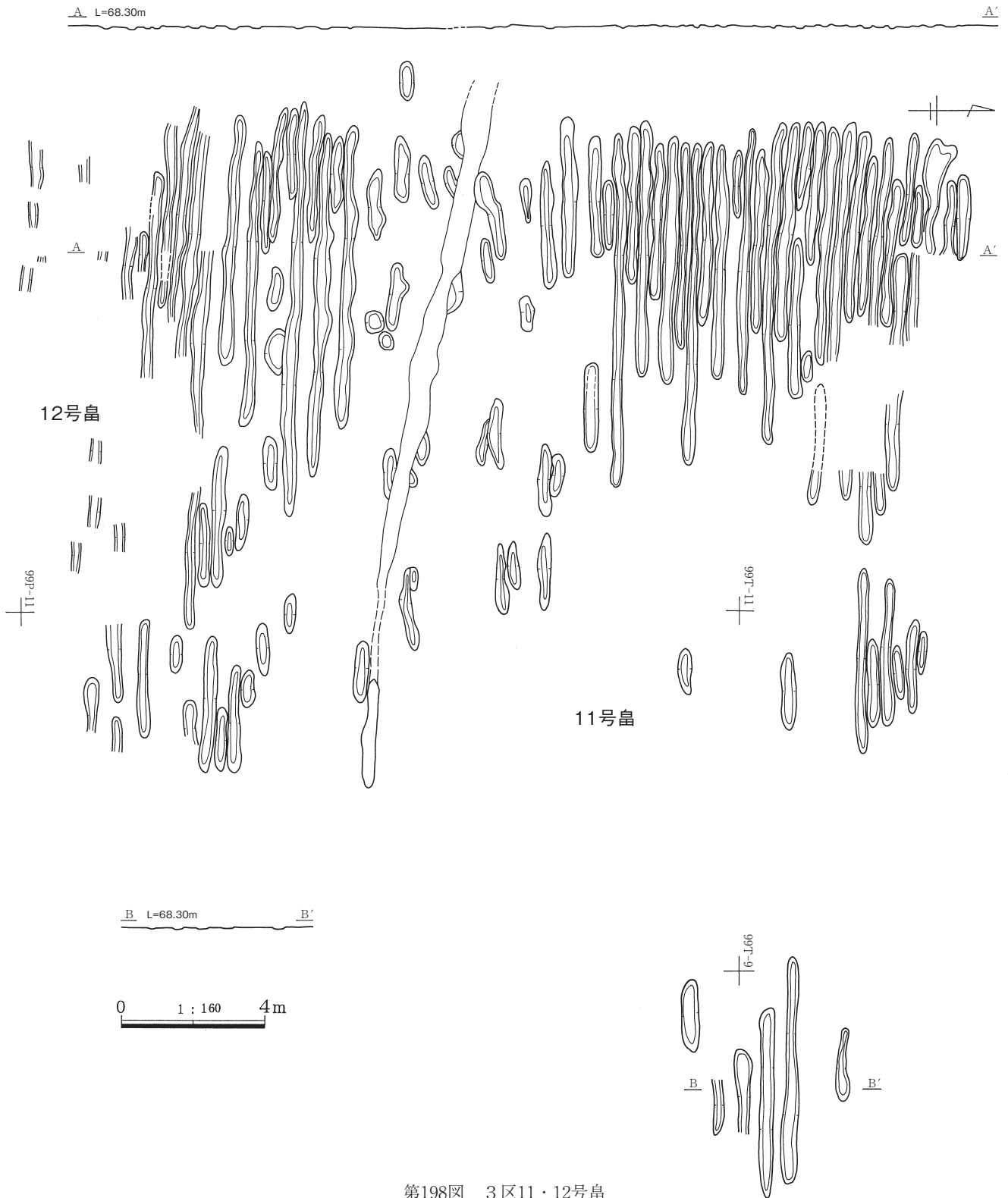


d 3面の遺構（第197図）

As-B混土層の上位層に確認される遺構面であり、  
 畠、溝が検出された。  
 畠は、調査区西側に検出され、浅い畝状の痕跡が

列状に認められている。

201号溝、262号溝はそれぞれ畠に接した位置に走  
 行する。一部重複も認められるが、畠と同時期の区



第198図 3区11・12号畠

画を示す溝とみられ、方形状区画を形成している。

東端部に検出された16号溝は、2区16号溝と連続する溝で、湾曲しながら方形状の区画を形成する。16号溝に接して存在する61～63号溝は、部分的確認にとどまるが、やはり2区19～22号溝に連続する一群とみられる。

**畠** (第198図、PL76)

調査の過程では、262号溝北側を11号畠、南側を12号畠とし2群にわけて把握した。見かけ上は、畠の連続性が262号溝により途切れ、201号溝と共に区画を示すものと理解したからである。畠走行も同方向を示し、一連の畠遺構とみることもできるが、報告に際しては調査時の呼称を使用するものとし、262号溝以北を11号畠、以南を12号畠としておく。262号溝部分では、畠の確認もあるが、不明確なものが多く、連続性もやや希薄となるようで、この溝が区画を示しているものとみておきたい。畠は東西方向で、11号畠西端部は201・202号溝に沿っている。11号畠東側にも畠状の柵列が認められる。

**201号・202号溝** (第199図、PL74)

99S-12グリッド～100C-13グリッドに位置し、重複した状態で南北方向に走行する。幅100cm～150cm、深さは201号溝が25cm、202号溝が10cm前後を測る。東西方向に走行する262号溝と共に方形状の区画を形成し、この区画に沿って畠が存在する。

**262号溝** (第199図)

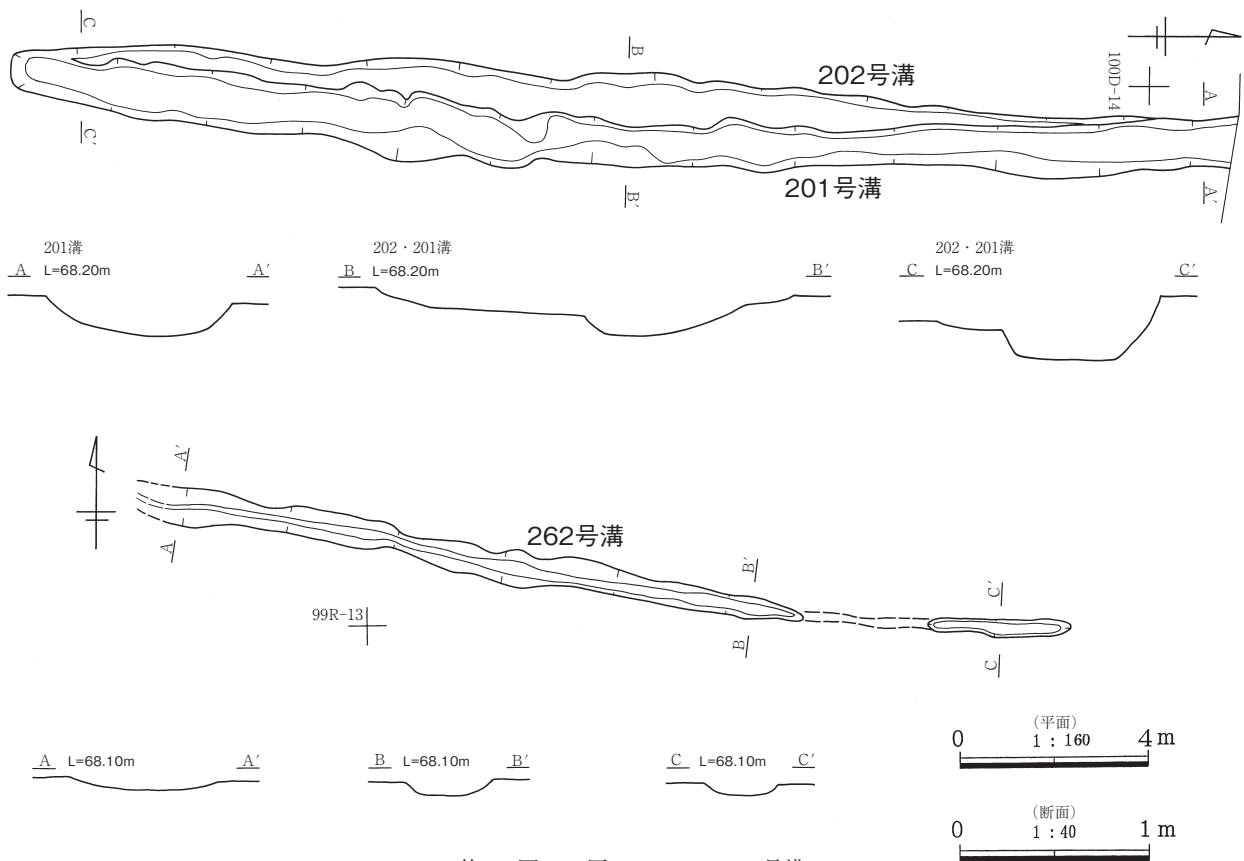
99Q-10グリッド～99R-13グリッドに位置する。201号溝と直交する位置関係にあり、耕地区画を示す溝であろうとみられる。幅30cm～80cm、深さ8cm、確認長20mを測る。

**16号溝** (第200図、PL71)

調査区東端部に検出された。幅3.6m～4m、深さ100cm前後で、蛇行しながら南走する。2区16号溝と連続し、方形状区画の西辺溝となる。

**61号・62号・63号・64号溝** (第200図、PL71)

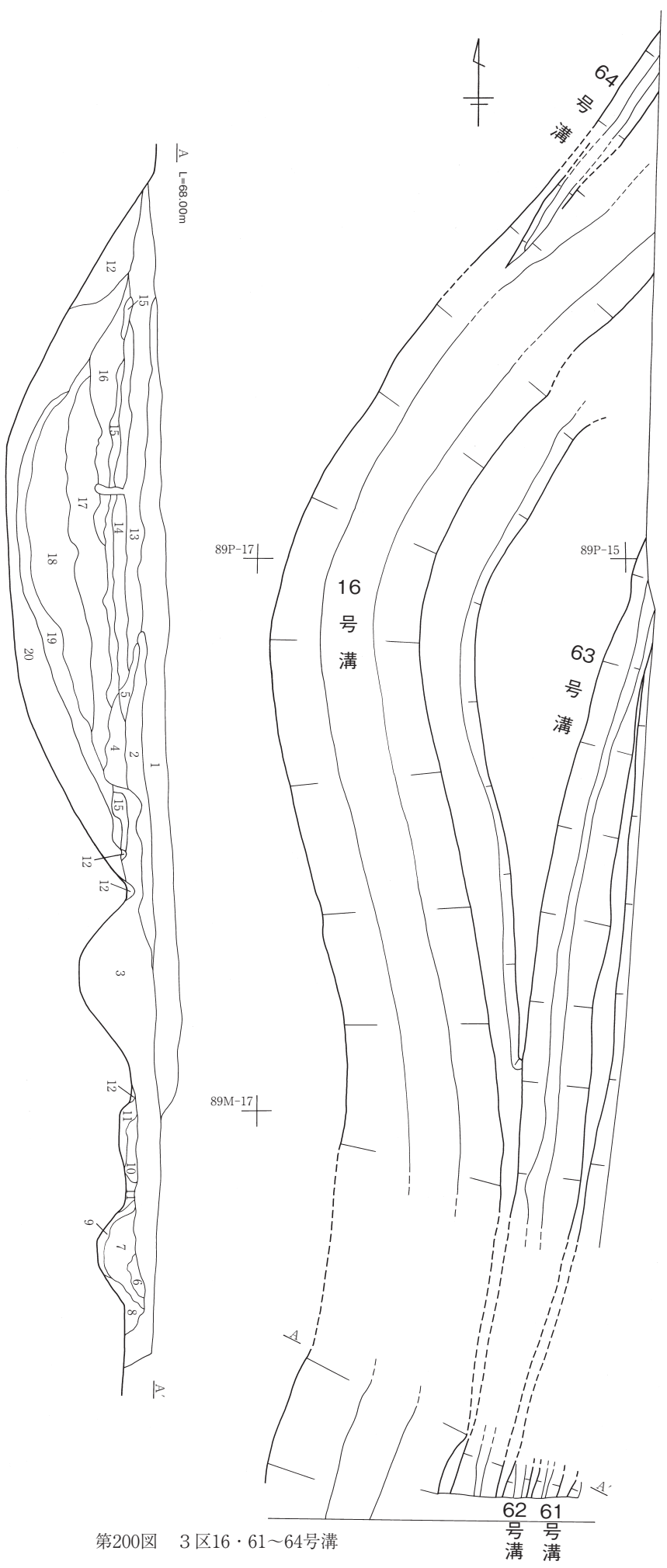
部分的検出および土層断面での確認であるが、63号溝が2区19号溝に、61・62号溝が2区20～22号溝に連続するものとみられる。



第199図 3区201・202・262号溝

II 発掘調査の記録

- 3区3面16・61～63号溝
- 1 におい、黄褐色土 A s - B混土白色粒子を多く含む 砂質 硬く締まる
  - 2 灰黄褐色土 赤褐色土粒子を含む 粘性あり硬く締まる きめ細かな土
  - 3 暗褐色土 赤褐色土粒子、白色粒子を多く含む 砂質 硬く締まる
  - 4 におい、黄褐色土 黒褐色土フロック、白色粒子を僅かに含む 粘性あり 砂質 締まりあり
  - 5 3層の上に4層がフロック状に混入している
  - 6 暗褐色土 黒褐色土粒子を含む ローム粒子を僅かに含む 締まりあり 水性堆積のきめ細かな土
  - 7 暗褐色土 赤褐色土粒子を含む 水性堆積のきめ細かな土
  - 8 暗褐色土 白色粒子を含む 砂質 締まりあり
  - 9 暗褐色土 ローム粒子を僅かに含む 水性堆積のきめ細かな土
  - 10 暗褐色土 白色粒子、赤褐色土粒子を含む 砂質 硬く締まる
  - 11 褐色土 白色粒子を多く含む極暗赤色粒子を僅かに含む 砂質 硬く締まる
  - 12 褐色土 ローム 硬質
  - 13 暗褐色土 白色粒子を多く含む 砂質 締まりあり
  - 14 暗褐色土 白色粒子を僅かに含む 水性堆積のきめ細かな土
  - 15 におい、黄褐色土 赤褐色土粒子を含む 締まりあり水性堆積のきめ細かな土
  - 16 暗褐色土 白色粒子を含む 砂質 締まりあり
  - 17 黒色土 ローム粒子、水性堆積のきめ細かな土をフロック状に含む 砂質 軟い
  - 18 黒褐色土 ローム粒子、ロームフロック含む 礫を僅かに含む砂質 軟い 下層部に粘性あり
  - 19 灰黄褐色土 水性堆積の粘性の強い土 砂を層状に多く含む
  - 20 褐色土 水性堆積の粘性の強い土 小石を多く含む



第200図 3区16・61～64号溝

## e 1面の遺構（第201図）

現表土下に検出される遺構面で、周辺地域でも広く確認されるものとなっている。江戸時代に相当する遺構面であり、1783（天明3）年の浅間山噴火に伴う降下火山灰（As-A）堆積後の、耕地復旧を目的にした火山灰埋設溝としての復旧溝が検出される。

また、耕地復旧により耕地区画や水路としての溝も存在する場合が多い。

3区1面においても同様の遺構面が検出され、As-A復旧溝や溝が確認された。

第1面は近年の区画整理事業により表土掘削を受け、遺失する部分も存在し残存状況は不良である。特に、As-A復旧溝は削平により攪乱され、検出部分も痕跡が残る程度となっている。

## 溝（第202・203図、PL70・71）

やや不規則な形状の溝であるが、走行は東西および南北方向を示し、区画を示すと共に水路として機能していたものとみられる。各溝の走行に沿って、As-A復旧溝が位置する。

## 6号溝（第202図、PL70）

100B-5グリッド～90A-14グリッドに位置する。100B-5グリッド付近で南北方向の溝が東側に屈曲し、直線的に走行し90A-14グリッド付近で南東方向に向きを変える溝で、方形状のもしくはクランク状の形状をもつ。2区に延長し、2号溝に連続するものとみられる。底面は起伏があり、砂層の堆積が認められた。6号溝に北接し、部分的に平行して6号溝より新しい溝が存在する。何らかの理由により、6号溝が部分的に掘り直されたものかもしれない。また、6号溝から7号溝および8号溝が分岐し、やはり区画および水路として機能したものと考えられる。6号溝西端屈曲部には7号復旧溝が位置する。

## 7号溝（第202図、PL70）

6号溝西端屈曲部から南西方向に分岐する溝で、分岐から7m程度で遺構は遺失し、走行は不明となる。

## 8号溝（第202図、PL71）

6号溝西端屈曲部から東10m前後の部分で、南側に分岐する。分岐から8m前後で走行は不明となる。

この8号溝南側延長部付近に、8号復旧溝が位置することから、やはり区画、水路として機能したものとみられる。

## 261号溝（第203図）

99N-12グリッド～89K-20グリッドに位置し、北西から南東方向に走行する。ほぼ直線的に走行するが、残存状況が不良であり、平面形状は不規則なもので、部分のおよび西側、東側延長部は遺失する。261号溝に沿って、9号復旧溝が位置している。

## As-A復旧溝（第203図、PL76）

復旧溝群が3ヶ所確認された。いずれも部分的確であるが、耕地復旧が実施されていたことがわかる。

7号復旧溝は、6号溝西端屈曲部北側に位置し、溝区画に沿うように掘削される。北端部は調査区外であるが、7条単位で南北方向に並列する。

8号復旧溝は遺失部が多いが、4条単位で、確認長は17mで、南北方向に並列する。

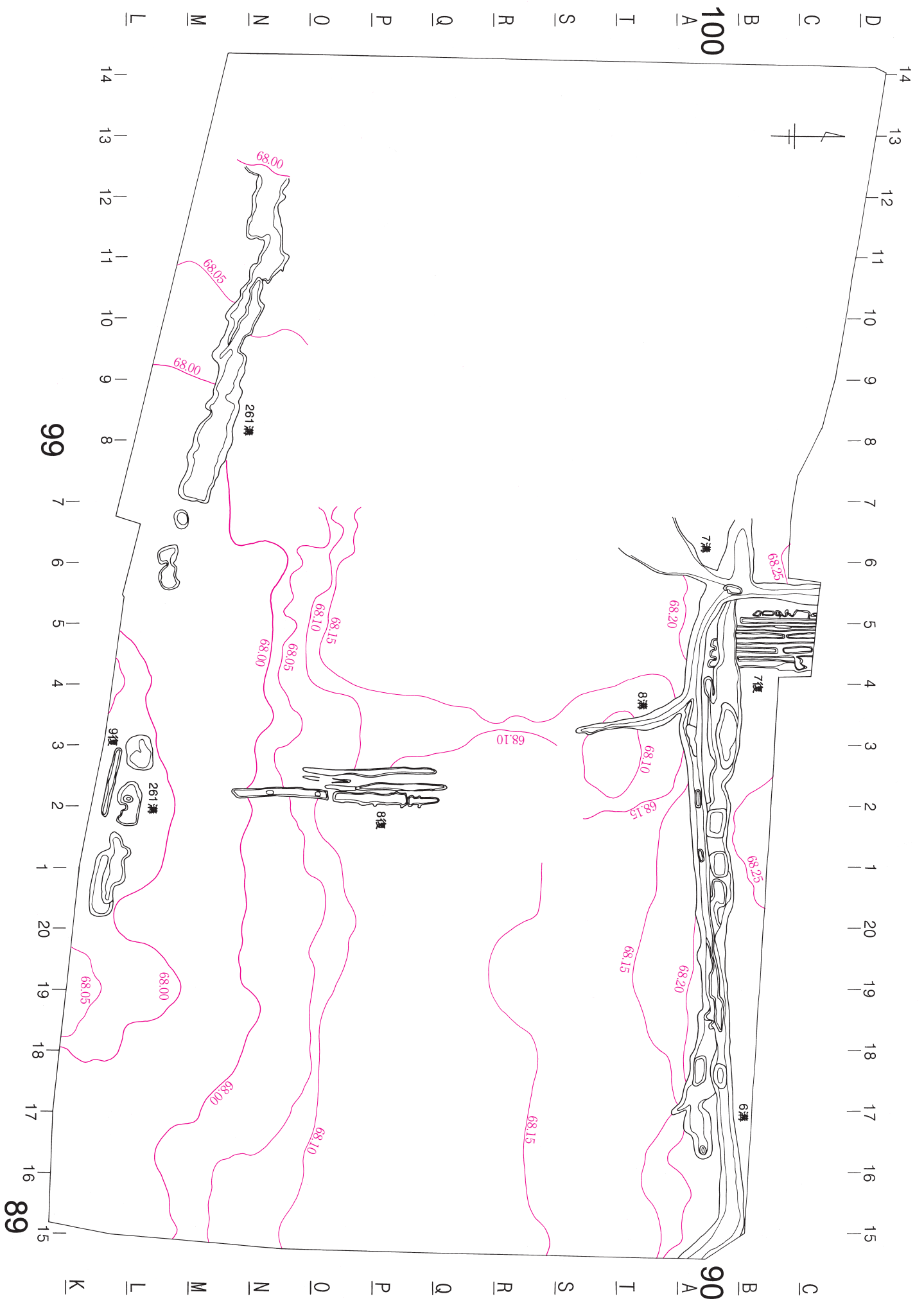
9号復旧溝は1条のみ検出し、261号溝の走行に沿って位置する。

## f グリッド出土遺物（204図、PL86・91）

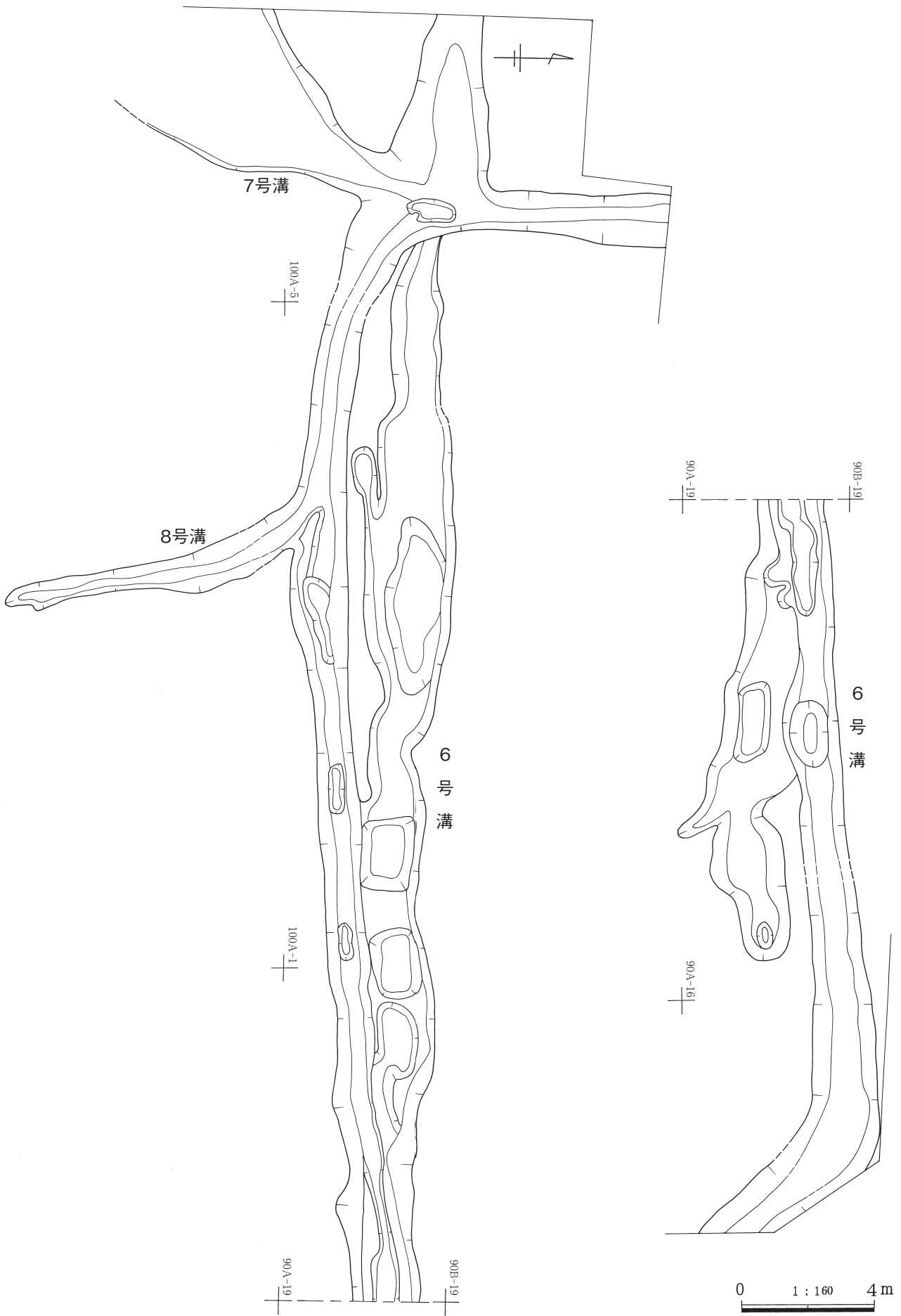
グリッド出土遺物として、点数は少ないが図示し、報告しておく。各遺物は、遺構検出時等に出土したので、検出面についても特定できないものである。

1は頸部片で、右傾する縄文面に横走線文が5条巡る。縄文は施文が不明瞭で種別は特定できない。弥生時代中期とみられる。69N-18グリッド出土。2は黒曜石製石鏃。凹基無茎鏃で扱いは浅めである。0.8g。縄文時代（前期）の資料であるとみられる。89M-15グリッド出土。3は須恵器坏、4は須恵器碗で9世紀代の資料であろう。89L-15グリッド出土。5は完形の土錘で、重量は144gを測る。99M-10グリッド出土。6は1面に磨耗痕が認められる磨石。完形で重さは1970gを測る。粗粒輝石安山岩製。89L-15グリッド出土。

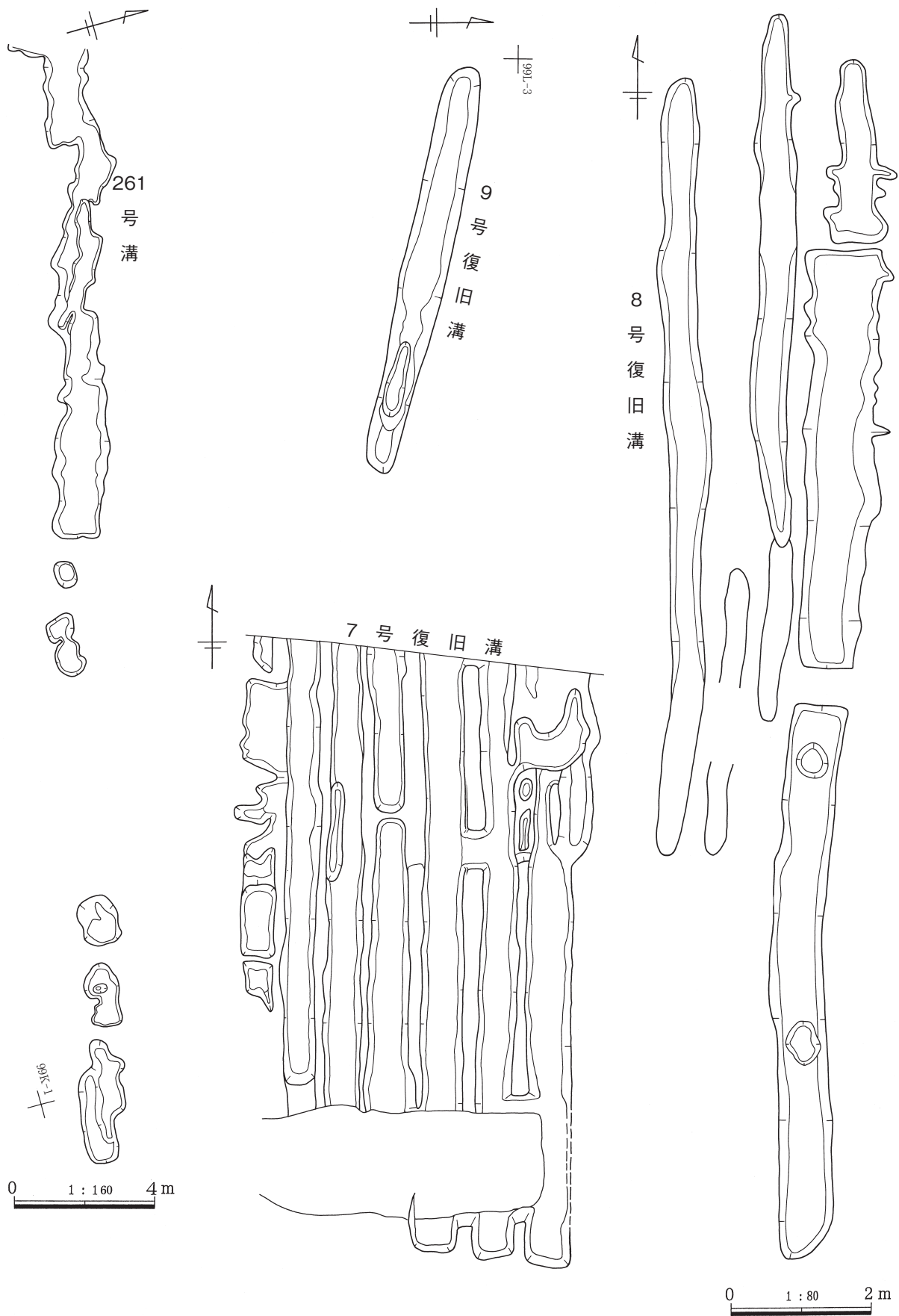
縄文時代および弥生時代については、遺構は検出されていないが、他調査区でも遺物出土があることから、近接地に集落が存在する可能性があるものと思われる。



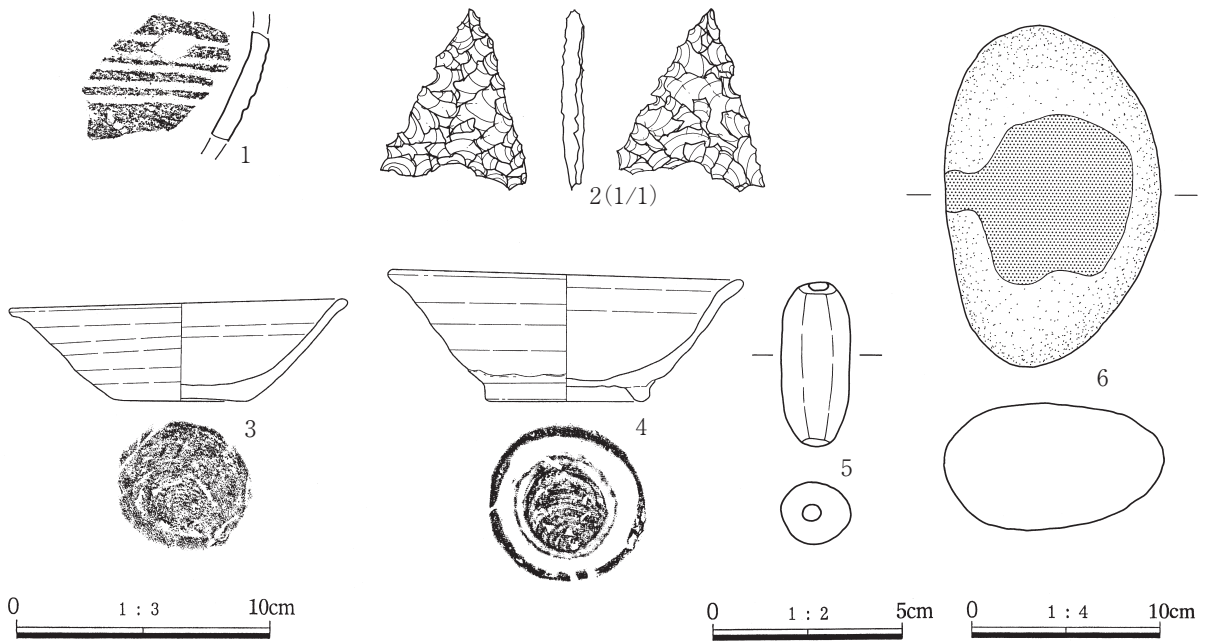
第201図 3区第1面全体図



第202図 3区6~8号溝



第203図 3区261号溝と7～9号復旧溝



第204図 3区グリッド出土遺物

## 5 6区の調査内容 (第205図)

6区と呼称した調査区は、既存施設として大型スーパーマーケットが存在する場所であり、店舗および駐車場(アスファルト敷)として利用されていた。調査区のほぼ1/2程度の面積が店舗部分にあたる。

発掘調査は、これら構造物の撤去後に着手された。店舗部分は、基礎柱が遺構確認面下に達しているため遺失する部分も多い。また、店舗建設にあたり部分的に表土掘削、土盛り等が行なわれた影響も受けている。

遺構は近世の溝、As-B埋没水田が検出された。これまでの一連の遺構確認面では、それぞれ第1面および第5面に相当する。

### a 225号溝 (第206図)

調査区北西端部に検出された大規模な溝であり、東法面が確認されている。確認面が表土下150cm程度で、調査区端部にあたることから、確認面下100cm程度で調査不能となった。埋没土が砂、砂礫層で、湧水も激しいため連続的な崩落が生じたためである。溝幅、深さについては不明となってしまった。

土層断面からAs-B層およびAs-B混土層を切って掘り込まれることが理解され、埋没土中からは

近世の陶磁器類が出土している。第206図1は在地系皿(江戸期)。2は肥前磁器碗(18世紀前～中)。3は肥前磁器紅皿(19世紀中以降)。4は肥前磁器碗(17世紀末～18世紀中)。5は瀬戸・美濃陶器鉢(江戸期)。6は肥前磁器碗(17世紀末～18世紀中)。7は肥前陶器碗(17世紀中～末)。

これらのことから近世(江戸期)の溝(もしくは小河川)であるとみられ、細砂・砂礫層により埋没することから、大量の水流により一気に埋没したものと考えられる。

### b 水田 (第205図)

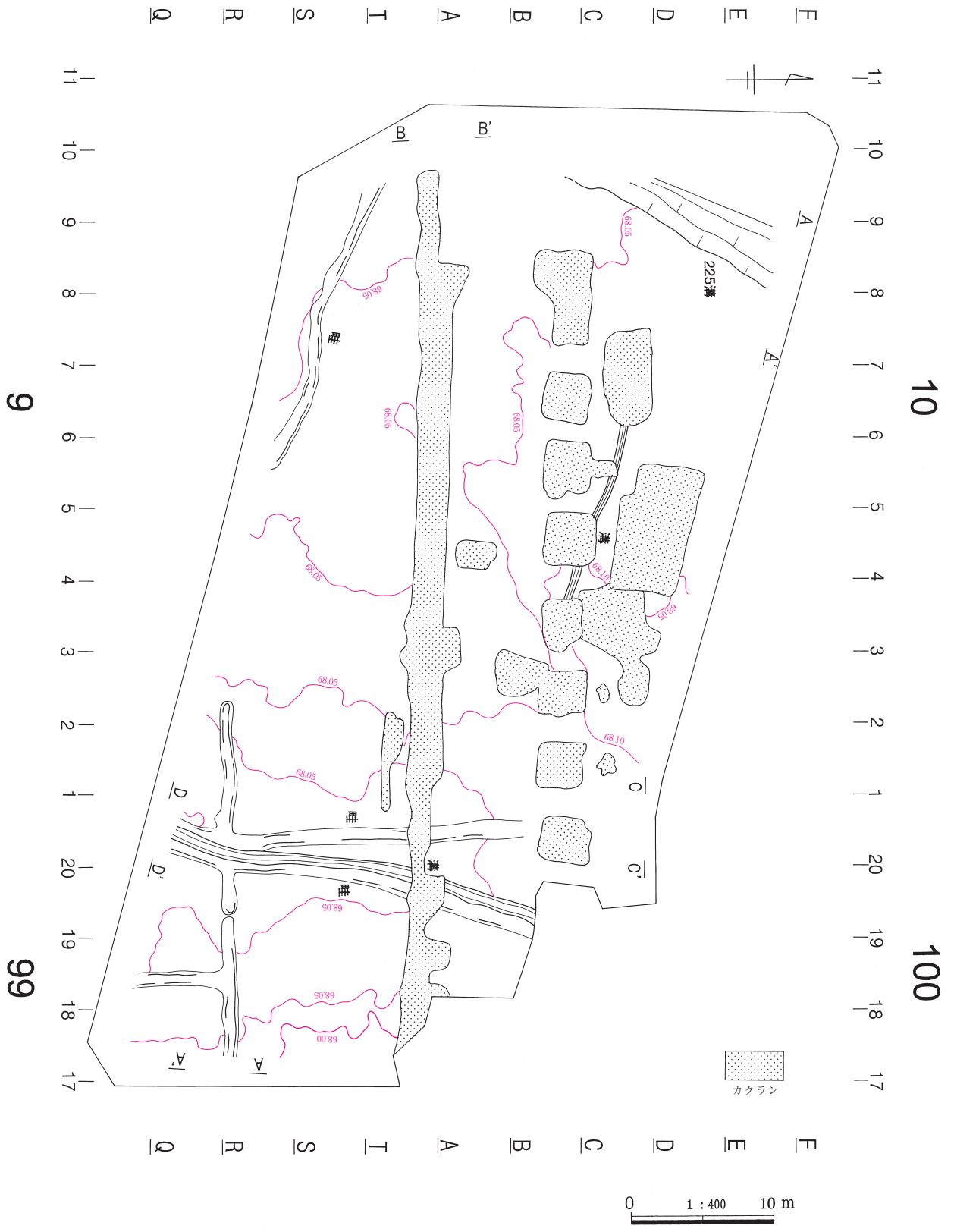
As-B埋没水田が検出された。攪乱部も多いが、As-B層の堆積が広範囲に確認された。層厚は数cm～10cm程度で、同層下に埋没水田が認められた。

畦畔の残存状況は不良であり、水田区画の単位は不明である。確認された畦畔は、ほぼ東西南北方向に一致する。

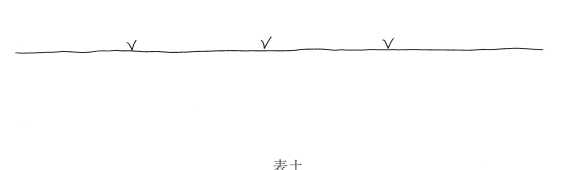
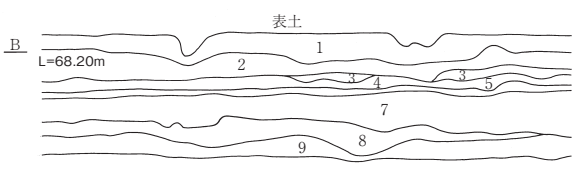
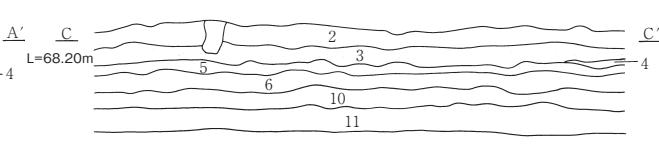
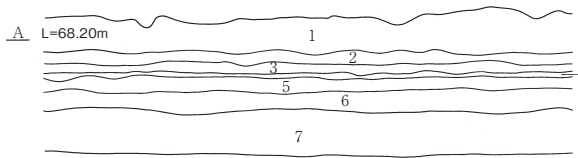
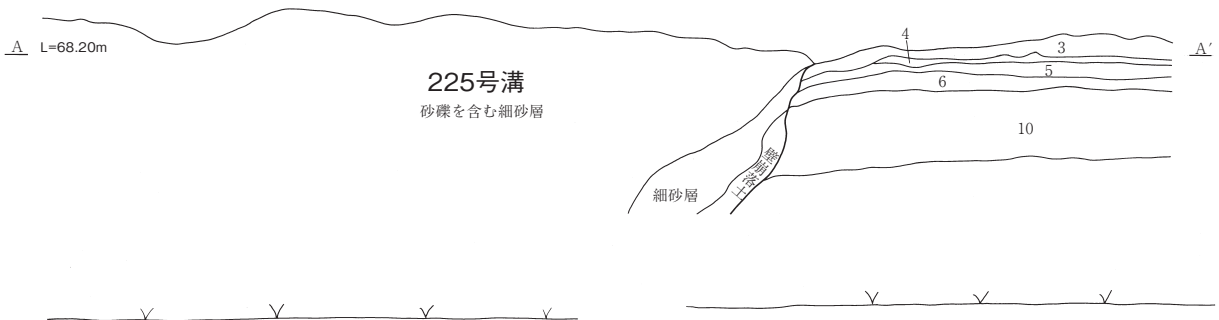
なお、畦畔の一部は東側に延長し、3区に連続している。両調査区間には現道が縦断するため不明であるが、連続する水田区画の東西畦間距離は55mを計測する。

標高は、68.05mを計測する。



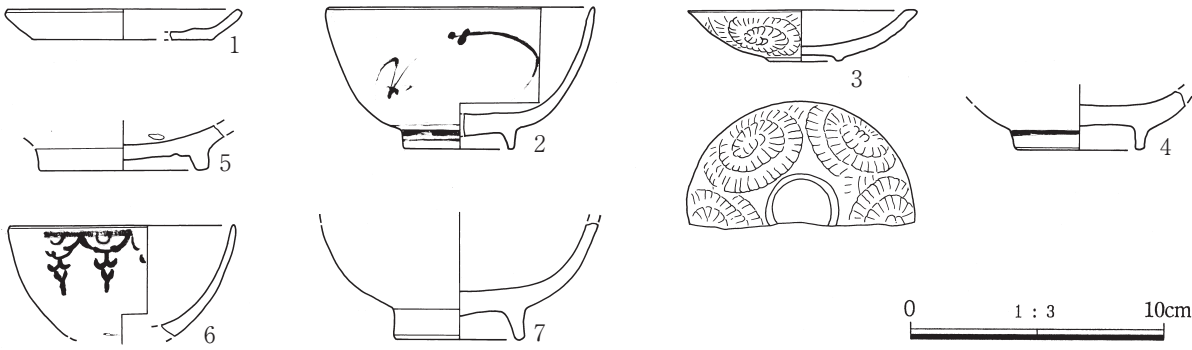
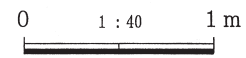
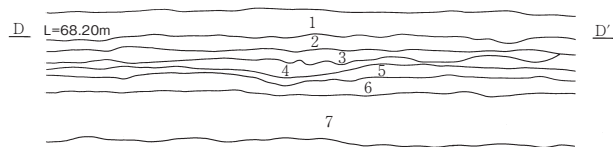


第205図 6区第5面全体図



6区5面

- 1 暗灰黄色土 洪水層 シルト質 軟弱な土
- 2 灰黄褐色土 As-B混土 (淡) 軟弱な層
- 3 黒褐色土 As-B混土 (濃) 鉄分を含む
- 4 As-B 鉄分を含み黄色味を帯びる
- 5 黒色粘質土 鉄分を含む 粘性が強い
- 6 黒褐色粘質土 鉄分を含む 粘性が強い
- 7 灰褐色土 指頭大の礫を含む 砂質
- 8 黒褐色粘質土 鉄分を含む 粘性が強い
- 9 暗赤褐色粘質土 砂、礫、鉄分を多く含む 粘性が強く硬く締まる
- 10 黒褐色土 白色軽石粒、鉄分を含む 粘性が強い
- 11 鉄分を含む 砂質で粘性が強い



第206図 6区土層断面と225号溝出土遺物

## 6 調査のまとめ

### 1号館について（第103図・207図）

#### a. 方形区画の平面形状

2区4面において確認された1号館は、方形の区画溝に囲まれた掘立柱建物群、土坑群により構成され、環濠屋敷もしくは方形居館などとも呼称される遺構であり、微高地上に立地し、検出面から中世に相当するものである。確認された館は、北側部のみで南側部は調査区外となっている。

区画溝である48号溝の平面形をみると、北西隅は角状を呈するが、北東隅は弧状を呈する。しかし、北辺溝は直線的であり、両隅は平面形状に差異が認められるものの、109°程の鈍角でそれぞれ西・東辺溝に延長する点は共通する。このような共通点の存在は、隅部の形状にみられる相違とは別にやはり規格性が看取される点である。つまり各辺溝が直角に交差して方形を形成するのではなく、鈍角で連続することになれば方形区画の全形が台形平面となるようにみえる。ただ、調査部分が少なく確定できないが、東辺溝は弧状の隅部形状に沿って湾曲しながら連続しており、西辺溝も同様に湾曲すれば、台形平面とはならず、東・西辺溝が湾曲する方形区画を形成する可能性はあろう。

区画内に走行する56・57号溝は、48号溝北辺溝と直角に交差する。2条の溝は、並行しながら直線的に走行し、館内をさらに区画する。この区画を西区と東区と呼称しておく。西・東区は中央部で区画されず、西区画がやや広い区画となる。ちょうど56号溝西側上端ライン辺りが中央にあたる。つまり56・57号溝の2条分の溝が中央東寄りに位置することになる。

西区画には掘立柱建物群が集中し、東区画には方形土坑群が主として分布する。西区画にも方形土坑は存在するが、数量は東区画に比し少なく、掘立柱建物と重複もするがやや分布域を異にする傾向がある。東区画にもピットが認められることから、掘立柱建物が存在する可能性もあるが、両区画の遺構の分布差は明らかである。西区画が居住域、東区画が貯蔵域という機能差を示す可能性があろう。

#### b. 掘立柱建物の位置

掘立柱建物は西区画で14棟を報告した。その他にも柱穴に類するピット類も多数存在するため、さらに多くの掘立柱建物があったものと思われる。ここでは、調査時に確認した14棟および柵列とした2基の柱列によって、館内での位置の特徴をみておきたい。

本来の1号館の設置における基準線の設計については不明であるが、調査によって得られた遺構形状から、基準となる軸線（A、B）が二方向認められる。

A軸線は、48号溝北辺溝と56・57号溝により形成される直交する基軸線であり、館の主軸方位となるような軸線である。B軸線は、48号溝北辺溝と鈍角（109°程度）に連続する西辺溝の走行が示す基軸線である。このA・B軸線に沿って掘立柱建物の位置をみると、どちらかの軸線に建物方位もしくは柱穴列が平行関係にあることがわかる。

確認された14棟の掘立柱建物はいずれも重複関係にあり、単独で存在する例はない。3～4棟の重複が共通する傾向である。これは、掘立柱建物立地範囲が限定されることで、結果的に重複例が多くなったというばかりではなく、同様の地点に建物が繰り返り立棟されることが要因する。

これらの内、A軸線に沿う掘立柱建物は9・10・11号の一群、4・13号の一群、7・8号の一群、12・14号の一群および16号掘立柱建物、2号柵列も同様である。B軸線に沿う例として、2・3号の一群、15・17号掘立柱建物および1号柵列が相当し、さらに1号堅穴もこれに平行するように西辺溝に接する。このような掘立柱建物等の位置差は、平面位置からみていくとA・B軸線を形成する溝に接するものについて、方位を一致させるとのことかもしれない。各軸線を形成する溝に接するとはいえない、やや離れた位置に存在する掘立柱建物もあるものの、溝により接した位置の掘立柱建物等については、それぞれの溝が形成する軸線（A・B）に沿った位置を示していることから、基本的にどちらかの基軸線を基準としたものと考えられる。離れた位置の掘立柱建物は、基軸線に沿った掘立柱建物との時間的関連性をあらわすことかもしれない。



第207図 2区1号館平面図

## 7 火山灰分析報告

株式会社 古環境研究所

～1号方形周溝墓埋没土中の火山灰分析～

## 1. はじめに

群馬県域に分布する後期更新世以降に堆積した地層の中には、赤城火山や浅間火山さらに榛名火山などの北関東地方とその周辺に分布する火山のほか、九州地方の始良カルデラなど遠方の火山に由来するテフラ（火山砕屑物、いわゆる火山灰）が多く認められる。テフラの中には噴出年代が明らかにされている示標テフラがあり、これらとの層位関係を遺跡で求めることで、遺構の構築年代や遺物包含層の堆積年代を知ることができるようになっている。

そこで、遺構覆土中より堆積年代の不明なテフラ層が検出された福島飯塚遺跡において、地質調査により土層を記載するとともに、屈折率測定により示標テフラの検出同定を行って、遺構の年代に関する資料を収集することになった。調査分析の対象となった地点は、1号周溝墓の周溝部2地点である。

## 2. 土層の層序

## (1) 1号周溝墓南北セクション北地点

1号周溝墓南北セクション北地点で認められる周溝の覆土は、下位より黒色土と黄褐色土のブロックからなる土層（層厚12cm）、黄灰色砂層（層厚5cm）、黒褐色土（層厚1cm）、成層したテフラ層（層厚1.5cm）、黒褐色土（層厚40cm）の連続からなる（図1）。

## (2) 1号周溝墓東西セクション西地点

1号周溝墓東西セクション西地点で認められる周溝の覆土は、下位より黄褐色土ブロック混じり灰色土（層厚5cm）、黒褐色土（層厚7cm）、成層したテフラ層（層厚2.3cm）、黒褐色土（層厚18cm）の連続からなる（図2）。

## 3. 屈折率測定

## (1) 測定試料と測定方法

南北セクション北地点および東西セクション西地点で認められたテフラ層と示標テフラとの同定を行うために、2試料を対象に温度一定型位相差法（新井,1972,1993）により屈折率の測定を行った。

## (2) 測定結果

屈折率の測定結果を表1に示す。南北セクション北地点試料番号2には、比較的よく発泡した灰白色軽石（最大径4.0mm）が多く含まれている。重鉱物としては、斜方輝石と単斜輝石が認められる。火山ガラス（ $n$ ）と斜方輝石（ $\gamma$ ）の屈折率は、各々1.513-1.519と1.706-1.711である。東西セクション西地点試料番号2にも、比較的よく発泡した灰白色軽石（最大径4.1mm）が多く含まれている。重鉱物としては、斜方輝石と単斜輝石が認められる。火山ガラス（ $n$ ）と斜方輝石（ $\gamma$ ）の屈折率は、各々1.513-1.519と1.706-1.711である。

## 4. 示標テフラとの同定と遺構の年代について

南北セクション北地点および東西セクション西地点で認められたテフラ層は、含まれる軽石の特徴、重鉱物の組み合わせ、さらに火山ガラスや斜方輝石の屈折率などから、4世紀中葉に浅間火山から噴出したと推定されている浅間C軽石（As-C,新井,1979）に同定される可能性が非常に高い。このことから、周溝墓の構築年代に関しては、As-C降灰より前と考えられる。

## 5. まとめ

福島飯塚遺跡1号周溝墓について、地質調査と屈折率測定を行った。その結果、周溝覆土中に浅間C軽石（As-C,4世紀中葉）に同定される可能性の非常に高いテフラ層が認められた。このことから、周溝墓の構築年代に関しては、As-C降灰より前と推定された。

## 文献

新井房夫（1972）斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定—テフロクロロジーの基礎的研究。第四紀研究,11p.254-269.

新井房夫（1979）関東地方北西部の縄文時代以降の示標テフラ層。考古学ジャーナル, no.53, p.41-52.

新井房夫（1993）温度一定型屈折率測定法。日本第四紀学会編「第四紀試料分析法2—研究対象別分析法」, p.138-149.

町田 洋・新井房夫（1992）火山アトラス。東京大学出版会, 276 p.

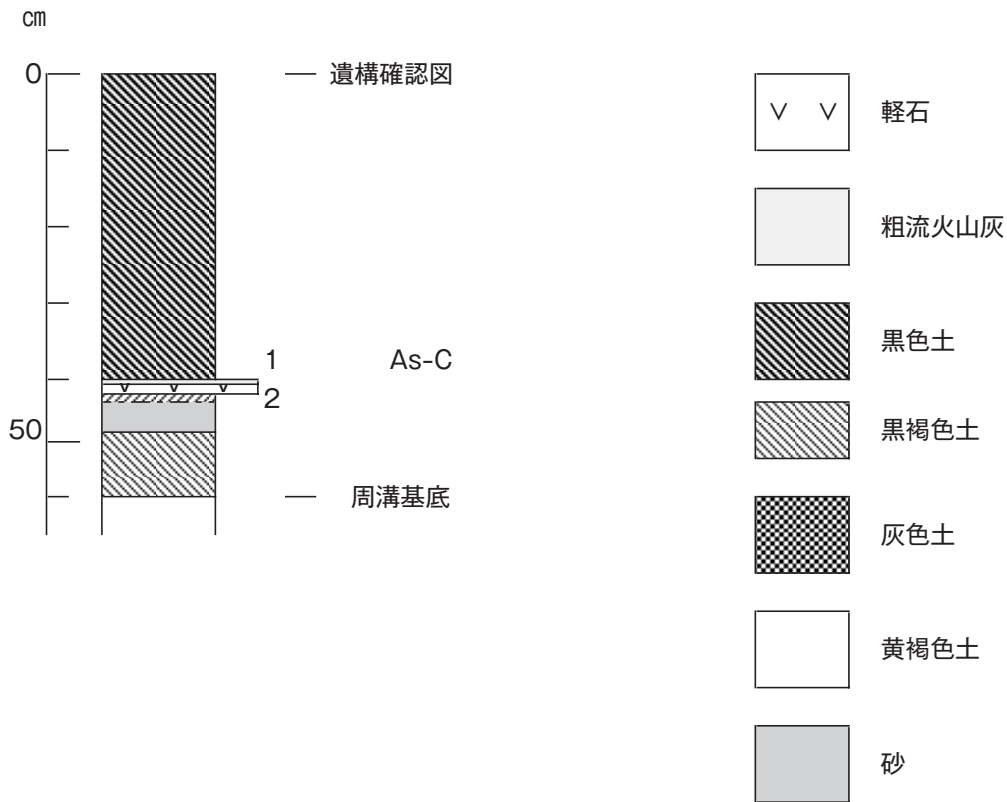


図1 1号周溝墓南北セクション北地点の土層柱状図  
数字はテフラ分析の試料番号

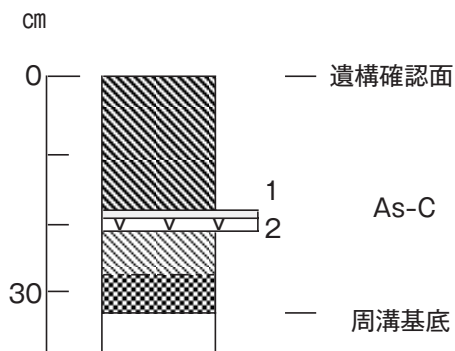


図2 1号周溝墓東西セクション西地点の土層柱状図  
数字はテフラ分析の試料番号

表1 福島飯塚遺跡1号周溝墓における屈折率測定結果

地点	試料	量	軽石			屈折率	
			色調	最大径	班晶	火山ガラス (n)	斜方輝石 (γ)
南北セクション北	2	+++	灰白	4.0	opx>cpx	1.513-1.519	1.706-1.711
南北セクション西	2	+++	灰白	4.1	opx>cpx	1.513-1.520	1.706-1.711

最大径の単位は,mm. opx:斜方輝石,cpx:単斜輝石. 屈折率測定は,温度一定型位相差法(新井,1972,1993)による.

## 8 樹種同定分析

株式会社古環境研究所 金原 明

～4区141号溝出土杭の樹種同定～

## 1. はじめに

木材は、セルロースを骨格とする木部細胞の集合体であり、解剖学的形質から、概ね属レベルの同定が可能である。木材は、花粉などの微化石と比較して移動性が少ないことから、比較的近隣の森林植生の推定が可能であり、遺跡から出土したものについては、木材の利用状況や流通を探る手がかりとなる。

## 2. 試料

試料は、R354号福島飯塚遺跡で検出された4区5.5面141号溝（注1）出土の杭材30点である。

## 3. 方法

試料は、予め作成された横断面（木口と同義）、放射断面（柁目と同義）、接線断面（板目と同義）の基本三断面の切片のプレパラートを、生物顕微鏡によって40～1000倍で観察した。同定は、解剖学的形質および現生標本との対比によって行った。

## 4. 結果

表1に結果を示し、主要な分類群の顕微鏡写真を示す。以下に同定の根拠となった特徴を記す。

モミ属 *Abies* マツ科

仮道管と放射柔細胞から構成される針葉樹材である。

横断面：早材から晩材への移行は緩やかである。

放射断面：放射柔細胞の分野壁孔は小型のスギ型で1分野に1～4個存在する。放射柔細胞の壁が厚く、じゅう状末端壁を有する。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型である。

以上の形質より、モミ属に同定される。モミ属は日本に5種が自生し、その内ウラジロモミ、トドマツ、シラビソ、オオシラビソの4種は亜寒帯に分布し、モミは温帯を中心に分布する。常緑高木で高さ45m、径1.5mに達する。材は保存性が低く軽軟であるが、現在では多用される。

針葉樹 *conifer*

横断面：早材から晩材への移行は比較的緩やかである。

放射断面：放射柔細胞の分野壁孔は不明瞭であり、型及び1分野における個数等は不明である。

接線断面：仮道管と単列の放射組織が存在する。

以上の形質より、針葉樹に同定される。なお本試料は樹脂道が存在しないことから、マツ属、トウヒ属、カラマツ、トガサワラ以外の針葉樹と考えられる。また仮道管にらせん肥厚が見られないが、腐蝕による可能性もあり、その他の組織も保存状態が悪く不明瞭な部分が多いため、針葉樹の同定にとどめる。

ヤナギ属 *Salix* ヤナギ科

横断面：小型で丸い道管が、単独あるいは2～3個放射方向に複合し、散在する散孔材である。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、道管相互の壁孔は交互状で密に分布する。放射組織は異性である。

接線断面：放射組織は、単列の異性放射組織型である。

以上の形質より、ヤナギ属に同定される。ヤナギ属は落葉の高木または低木で、北海道、本州、四国、九州に分布する。

クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. ブナ科

横断面：年輪のはじめに大型の道管が、数列配列する環孔材である。晩材部では小道管が、火炎状に配列する。早材から晩材にかけて、道管の径は急激に減少する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔である。放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は単列の同性放射組織型である。

以上の形質より、クリに同定される。クリは北海道の西南部、本州、四国、九州に分布する。落葉の高木で、通常高さ20m、径40cmぐらいであるが、大

きいものは高さ30m、径2mに達する。耐朽性が強く、水湿によく耐え、保存性の極めて高い材で、現在では建築、家具、器具、土木、船舶、彫刻、薪炭、椎茸ほだ木など広く用いられる。

コナラ属クヌギ節 *Quercus* sect. *Aegilops* ブナ科

横断面：年輪のはじめに大型の道管が、数列配列する環孔材である。晩材部では厚壁で丸い小道管が、単独でおおよそ放射方向に配列する。早材から晩材にかけて道管の径は急激に減少する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は同性放射組織型で、単列のものと同型の広放射組織からなる複合放射組織である。

以上の形質より、コナラ属クヌギ節に同定される。コナラ属クヌギ節にはクヌギ、アベマキなどがあり、本州、四国、九州に分布する。落葉の高木で、高さ15m、径60cmに達する。材は強靱で弾力に富み、器具、農具などに用いられる。

コナラ属アカガシ亜属 *Quercus* subgen. *Cyclobalanopsis* ブナ科

横断面：中型の道管が、1～数列幅で年輪界に関係なく放射方向に配列する放射孔材である。道管は単独で複合しない。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、放射組織は平伏細胞からなる。

接線断面：放射組織は同性放射組織型で、単列のものと同型の広放射組織からなる複合放射組織である。

以上の形質より、コナラ属アカガシ亜属に同定される。コナラ属アカガシ亜属にはアカガシ、イチイガシ、アラカシ、シラカシなどがあり、本州、四国、九州に分布する。常緑高木で、高さ30m、径1.5m以上に達する。材は堅硬で強靱、弾力性が強く耐湿性も高い。とくに農耕具に用いられる。

エノキ属 *Celtis* ニレ科

横断面：年輪のはじめにやや大型の道管が1～2列配列する環孔材である。孔圏部外の小道管は多数

複合して円形、ないし斜線状に配列する。早材から晩材にかけて、道管の径はやや急に減少する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、小道管の内壁にはらせん肥厚が存在する。放射組織はほとんどが平伏細胞であるが、上下の縁辺部に方形細胞が見られる。

接線断面：放射組織は異性放射組織型で、1～2細胞幅の小型のものと同型の6～9細胞幅ぐらいで鞘細胞をもつ大型のものからなる。

以上の形質より、エノキ属に同定される。エノキ属にはエゾエノキ、エノキなどがあり、北海道、本州、四国、九州、沖縄に分布する。落葉の高木で、高さ25m、径1.5mに達する。材は、建築、器具、薪炭などに用いられる。

ヤマグワ *Morus australis* Poiret クワ科

横断面：年輪のはじめに中型から大型の丸い道管が、単独あるいは2～3個複合して配列する環孔材である。孔圏部外の小道管は複合して円形の小塊をなす。道管の径は徐々に減少する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、小道管の内壁にはらせん肥厚が存在する。放射組織はほとんどが平伏細胞であるが、上下の縁辺部の1～3細胞ぐらいは直立細胞である。

接線断面：放射組織は上下の縁辺部が直立細胞からなる異性放射組織型で、1～6細胞幅である。小道管の内壁にはらせん肥厚が存在する。

以上の形質より、ヤマグワに同定される。ヤマグワは北海道、本州、四国、九州に分布する。落葉高木で、通常高さ10～15m、径30～40cmである。材は堅硬で靱性に富み、建築などに用いられる。

サクラ属 *Prunus* バラ科

横断面：早材部の道管はやや大きく密になる傾向を示し、他の部分においては小型で丸い道管が、単独あるいは2～3個放射方向および斜め方向に複合して散在する散孔材である。道管の径は早材部から晩材部にかけて緩やかに減少する。

放射断面：道管の穿孔は単穿孔で、道管の内壁にはらせん肥厚が存在する。放射組織は異性である。



接線断面：放射組織は、異性放射組織型で1～4細胞幅である。

以上の形質より、サクラ属に同定される。サクラ属には、ヤマザクラ、ウワミズザクラ、シウリザクラ、ウメ、モミなどがあり、北海道、本州、四国、九州に分布する。落葉の高木または低木である。

## 5. 所見

同定の結果、R354号福島飯塚遺跡の木材は、クリ16点、コナラ属クヌギ節4点、ヤマグワ3点、ヤナギ属2点、モミ属1点、針葉樹1点、コナラ属アカガシ亜属1点、エノキ属1点、サクラ属1点であった。

最も多いクリは、重厚で保存性が良い材であり建築材などに適する。続くコナラ属クヌギ節は概して弾力に富んだ強い材と言え、北関東においてクリと共に特徴的に多く使われる樹種である。ヤマグワはやや堅硬で韌性に富む材である。ヤナギ属は耐朽性、保存性が低い、切削、加工の容易な材である。モミ属は温帯性のモミと考えられる。モミは耐朽性、保存性は低い、軽軟な事から加工が容易な材である。コナラ属アカガシ亜属は極めて堅硬な材である。サクラ属は耐朽性、保存性の高い材で、切削、加工の難度は中庸である。エノキ属は概して強さは中庸でやや堅く、従曲性に富んだ材である。

樹木の分布としては、モミは温帯に広く分布する針葉樹であり、やや傾斜のある適潤地や谷間に生育する。クリは温帯に広く分布する落葉高木であり、暖温帯と冷温帯の中間域では純林を形成することもある。乾燥した台地や丘陵地を好み二次林要素でもある。ヤナギ属は温帯に広く分布する落葉の高木または低木で、湿地や河辺などの水辺に生育する。コナラ属クヌギ節にはクヌギとアベマキがあり、温帯に広く分布する落葉高木で、乾燥した台地や丘陵地に生育し二次林要素でもある。コナラ属アカガシ亜属は、一般にカシと総称されるが、イチイガシ、アラカシなど多くの種があり、温帯下部の暖温帯の照葉樹林を形成する主要高木である。イチイガシは自然度が高いが、アラカシは二次林性でもある。ヤマ

グワは温帯に広く分布する落葉高木で、谷間や緩傾斜地の適潤な深層の肥沃地を好む。サクラ属は温帯に分布する落葉の高木または低木で、やや乾燥した斜面等に生育する。エノキ属は温帯を中心に広く分布する落葉高木であり、そのうちエノキは適潤な谷合い、河川沿いや平坦地に生育し、エゾエノキは向陽の山地や溪谷に生育する。

以上から本遺跡出土木材の樹種は、いずれの樹種も温帯から温帯下部の暖温帯に生育する樹種ばかりであり、本遺跡周辺に生育しもたらされたと考えられる。

## 参考文献

- 佐伯浩・原田浩（1985）針葉樹材の細胞。木材の構造，文永堂出版，p.20-48。  
 佐伯浩・原田浩（1985）広葉樹材の細胞。木材の構造，文永堂出版，p.49-100。  
 島地謙・伊東隆夫（1988）日本の遺跡出土木製品総覧，雄山閣，p.296  
 山田昌久（1993）日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成，植生史研究特別第1号，植生史研究会，p.242

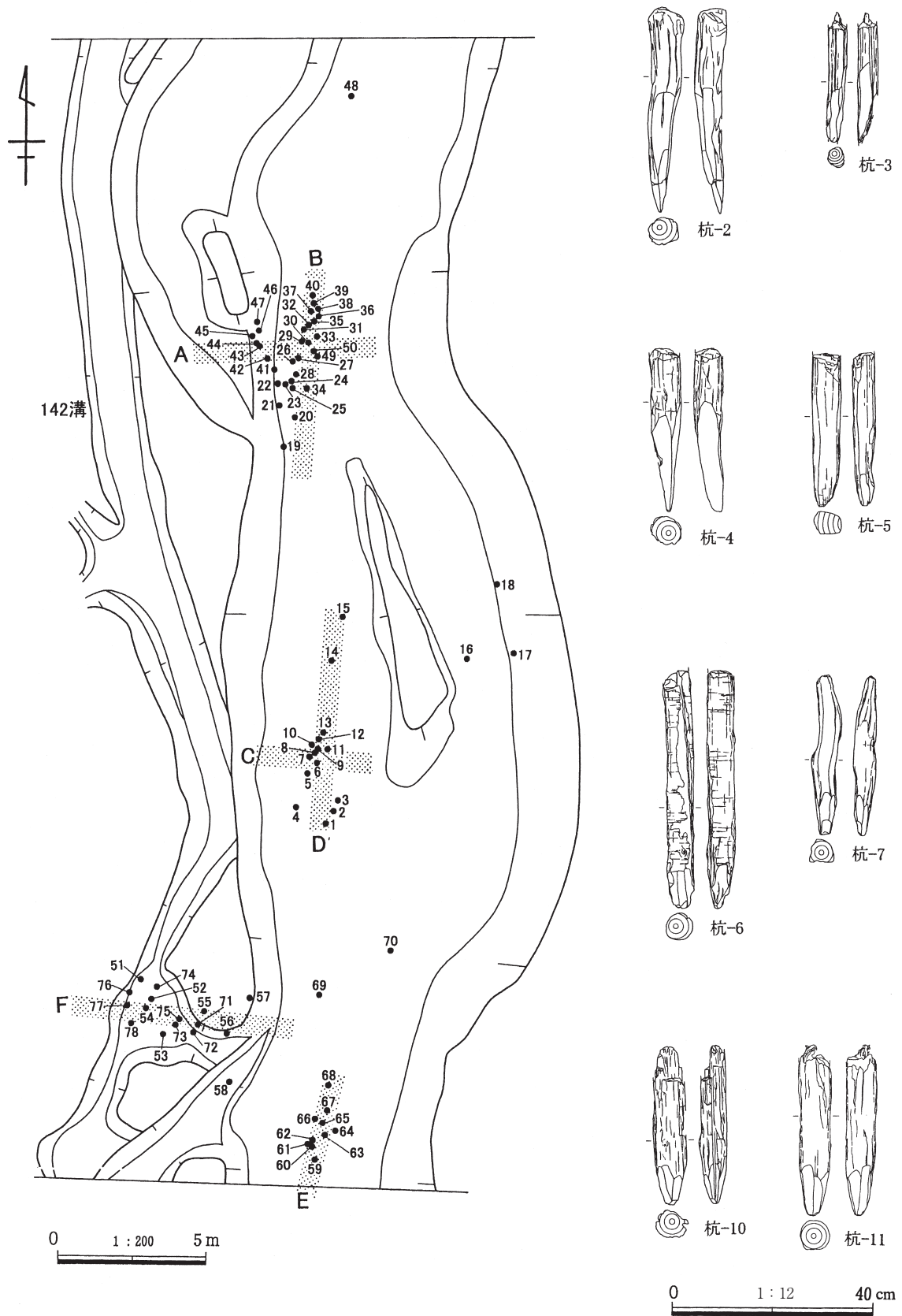
（注1）4区141号溝は、9世紀代を中心とした墨書土器252点、土器片1万点以上が出土した大規模な溝であり、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第400集『福島飯塚遺跡（1）』（国道354号線道路改築事業に係わる埋蔵文化財調査報告書第1集 2007）に報告した遺構であるが、出土杭の樹種同定については、本報告書『福島飯塚遺跡（2）』により報告するものとする。

図1、図2についても『福島飯塚遺跡（1）』第73図～第79図から編集掲載している。

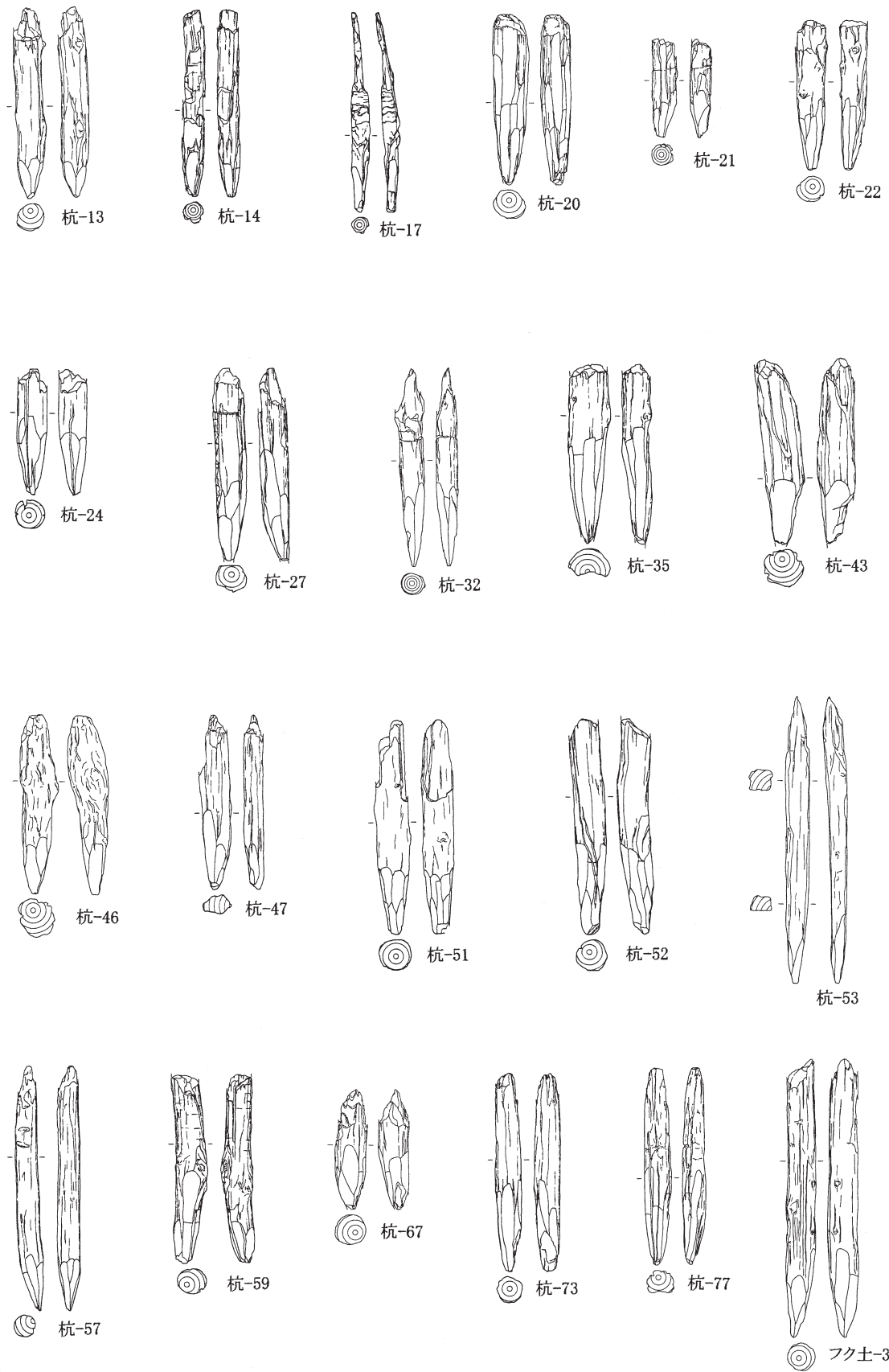
表1 福島飯塚遺跡における樹種同定結果

4区5.5面141号溝 出土杭

試仮No	名称	遺物仮No	結果 (学名/和名)	
No.1	杭	No.2	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
No.2	杭	No.3	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
No.3	杭	No.4	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
No.4	杭	No.5	<i>Quercus</i> sect. <i>Aegilops</i>	コナラ属クスギ節
No.5	杭	No.6	<i>Prunus</i>	サクラ属
No.6	杭	No.7	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
No.7	杭	No.10	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
No.8	杭	No.11	<i>Morus australis</i> Poirlet	ヤマグワ
No.9	杭	No.13	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
No.10	杭	No.14	<i>Quercus</i> sect. <i>Aegilops</i>	コナラ属クスギ節
No.11	杭	No.17	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
No.12	杭	No.20	<i>Salix</i>	ヤナギ属
No.13	杭	No.21	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
No.14	杭	No.22	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
No.15	杭	No.24	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
No.16	杭	No.27	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
No.17	杭	No.32	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
No.18	杭	No.35	<i>Quercus</i> sect. <i>Aegilops</i>	コナラ属クスギ節
No.19	杭	No.43	<i>Morus australis</i> Poirlet	ヤマグワ
No.20	杭	No.46	<i>Morus australis</i> Poirlet	ヤマグワ
No.21	杭	No.47	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
No.22	杭	No.51	<i>Quercus</i> sect. <i>Aegilops</i>	コナラ属クスギ節
No.23	杭	No.52	<i>Quercus</i> subgen. <i>Cyclobalanopsis</i>	コナラ属アカガシ亜属
No.24	杭	No.53	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
No.25	杭	No.57	conifer	針葉樹
No.26	杭	No.59	<i>Salix</i>	ヤナギ属
No.27	杭	No.67	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
No.28	杭	No.73	<i>Castanea crenata</i> Sieb. et Zucc.	クリ
No.29	杭	No.77	<i>Celtis</i>	エノキ属
No.30	杭	フク土3	<i>Abies</i>	モミ属



第1図 4区 141号溝杭出土位置図と出土杭



第2図 141号溝出土杭（樹種同定分析）

遺物観察表

( 1 区 )

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第14図 P L 78	1 19号住居 埋没土	土師器 高坏	3/5 18.5 13.4 12.3	酸化 にぶい黄橙色	外面：坏部磨き。坏底部～脚部上位磨き。脚部磨き後磨き。 内面：坏部磨き。脚部上半部磨きで、下半部横撫で。	白色粒、黒色粒、 雲母を含む
第14図 P L 78	2 19号住居 埋没土	土師器 高坏	脚部 - 11.6 -	酸化 にぶい黄橙色	外面：脚部磨き。 内面：脚部磨き。	白色粒、黒色粒を 含む
第14図 P L 78	3 19号住居 埋没土	土師器 台付甕	口縁～胴部中位1/2 14.0 - -	酸化 にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部磨き。	白色粒、黒色粒を 含む
第14図 P L 78	4 19号住居 埋没土	土師器 台付甕	口縁～胴部上部1/4 (13.5) - -	酸化 にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部磨き。	白色粒、黒色粒を 含む
第14図 P L 78	5 19号住居 埋没土	土師器 甕	口縁～胴部中位1/2 22.0 - -	酸化 橙色	外面：口縁部横撫で。胴部磨き。 内面：口縁部磨き。胴部磨き。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第14図 P L 78	6 19号住居 埋没土	土師器 台付甕	1/2 (12.5) 8.0 18.5	酸化 にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。台部刷毛目後撫で。 内面：口縁部横撫で。胴部磨き後撫で。台部撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第15図 P L 78	1 23号住居 埋没土	土師器 台付甕	口縁～胴部中位1/2 (16.0) - -	酸化 褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部磨き。	白色粒、黒色粒を 含む
第16図 P L 78	1 72号土坑 埋没土	土師器 台付甕	胴部上位～台部2/3 - - -	酸化 にぶい黄橙色	外面：胴部～台部刷毛目。 内面：胴部～台部磨き。	白色粒、黒色粒を 含む
第16図 P L 78	2 72号土坑 埋没土	土師器 台付甕	胴部中位～台部 - 10.2 -	酸化 にぶい黄橙色	外面：胴部刷毛目。台部刷毛目後撫で。 内面：胴部磨き。台部磨き。	白色粒、黒色粒を 含む
第16図 P L 78	3 72号土坑 埋没土	石製品 棒状礫	長軸11.3 短軸5.7 厚さ4.2 重さ408.5g		角閃石安山岩	
第17図 P L 78	1 81号土坑 埋没土	土師器 ミニチュア	完形 7.8 3.3 3.8	酸化 明赤褐色	外面：口縁部磨き。底部磨き。 内面：口縁部磨き。底部磨き。	褐色粒、白色粒、 黒色粒を含む
第17図 P L 78	2 81号土坑 埋没土	土師器 器台	脚部7/8 - 9.5 -	酸化 にぶい橙色	外面：脚部磨き。 内面：脚部刷毛目。	白色粒、黒色粒を 含む
第17図 P L 78	3 81号土坑 埋没土	土師器 甕	ほぼ完形 13.1 4.8 15.5	酸化 褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。底部磨き。 内面：口縁部横撫で。胴部刷毛目後磨き。	褐色粒、白色粒、 黒色粒を含む
第17図 P L 78	4 81号土坑 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸7.9 短軸3.3 厚さ2.4 重さ110.0g		珪質頁岩	
第17図 P L 78	5 81号土坑 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸15.0 短軸5.2 厚さ3.2 重さ382.1g		粗粒輝石安山岩	
第17図 P L 78	6 81号土坑 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸13.2 短軸6.1 厚さ4.4 重さ547.9g		ひん石	
第17図 P L 78	7 81号土坑 埋没土	石製品	長軸19.0 短軸14.4 厚さ4.8 重さ1377g		粗粒輝石安山岩	
第18図 P L 78	1 83号土坑 埋没土	石製品 棒状礫	長軸(11.0) 短軸10.3 厚さ6.2 重さ1073g		デイサイト	
第19図 P L 78	1 362号土坑 埋没土	土師器 坏	ほぼ完形 12.2 - 4.1	酸化 明赤褐色	外面：口縁部磨き。体部撫で。底部磨き。底部中央に線条痕あり。 内面：口縁部磨き。体部～底部撫で。	褐色粒、雲母を含 む
第19図 P L 78	2 362号土坑 埋没土	土師器 台付甕	台部のみ1/2 - 10.5 -	酸化 にぶい黄橙色	外面：台部磨き。 内面：台部磨き。	白色粒、黒色粒を 含む
第19図 P L 78	3 306号土坑 埋没土	土師器 埴	頸部～底部4/5 - 3.0 -	酸化 にぶい橙色	外面：頸部刷毛目。胴部磨き。底部撫で。 内面：頸部横撫で。胴部上半部撫で、下半部～底部磨き。	黒色粒、白色粒、 礫を含む
第19図 P L 78	4 307号土坑 埋没土	土師器 甕	口縁部～頸部7/8 16.8 - -	酸化 にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。頸部磨き。 内面：口縁部～頸部刷毛目後磨き。	白色粒、黒色粒を 含む
第23図 P L 78	1 1号ピット 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸11.2 短軸6.1 厚さ6.1 重さ570.4g		デイサイト	
第24図 P L 78	1 34号井戸 埋没土	土師器 高坏	坏部 19.6 - -	酸化 にぶい褐色	外面：口縁部磨き。坏底部磨き。 内面：口縁部～坏底部磨き。	白色粒、黒色粒を 含む
第26図 P L 78	1 226号溝 埋没土	土師器 埴	1/3 (16.8) 2.4 4.8	酸化 明褐色	外面：口縁部横撫で。胴部磨き。底部磨き、撫で。 内面：口縁部～底部磨き。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第26図 P L 78	2 226号溝 埋没土	土師器 台付甕	底部～台部7/8 - 8.6 -	酸化 にぶい黄橙色	外面：台部刷毛目後撫で。 内面：台部磨き。	白色粒、褐色粒、 角閃石を含む
第26図 P L 78	3 238号溝 埋没土	土師器 台付甕	口縁～胴部上位1/4 (14.8) - -	酸化 にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第26図 P L 78	4 238号溝 埋没土	土師器 台付甕	口縁～胴部下位1/4 (14.2) - -	酸化 にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部磨き。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第26図 P L 78	5 238号溝 埋没土	土師器 台付甕	胴部下位～台部1/2 - 8.4 -	酸化 褐色	外面：胴部磨き後刷毛目。台部刷毛目後撫で。細粒の多い砂付着。 内面：胴部磨き。台部撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第26図 P L 78	6 242号溝 埋没土	土師器 台付甕	口縁～胴部上位3/4 16.2 - -	酸化 にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部磨き。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第26図 P L 78	7 237号溝 埋没土	土師器 埴	口縁～胴部上部1/4 (11.0) - -	酸化 赤褐色	外面：口縁部～胴部磨き。赤彩あり。 内面：口縁部～胴部磨き。赤彩あり。	黒色粒、褐色粒、 白色粒を含む
第26図 P L 78	8 237号溝 埋没土	土師器 埴	口縁～胴部下位1/5 (11.0) - -	酸化 にぶい赤褐色	外面：口縁部～胴部磨き。赤彩あり。 内面：口縁部～胴部磨き。赤彩あり。	白色粒、黒色粒を 含む
第26図 P L 78	9 237号溝 埋没土	土師器 高坏	口縁部4/5 10.4 - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部磨き。坏底部撫で。 内面：口縁部磨き。	白色粒を含む
第26図 P L 78	10 237号溝 埋没土	土師器 埴	頸部～胴部中位1/2 - - -	酸化 明褐色	外面：頸部～胴部磨き。 内面：頸部磨き。胴部磨き。	白色粒、黒色粒を 含む
第26図 P L 78	11 237号溝 埋没土	土師器 埴	胴部下位～底部3/5 - 2.9 -	酸化 褐色	外面：胴部～底部磨き後磨き。 内面：胴部磨き。	白色粒、角閃石を 含む
第26図 P L 78	12 237号溝 埋没土	土師器 ミニチュア	頸部～胴部下位1/2 - - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：頸部～胴部磨き。 内面：頸部磨き。胴部上半部しぼり目、撫で。下半部磨き。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第29図 P L 78	1 223号溝 埋没土	土師器 坏	体部～底部1/2 - 3.2 -	酸化 褐色	外面：体部撫で。体部～底部磨き。 内面：体部～底部磨き。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第29図 P L 78	2 223号溝 埋没土	土師器 台付甕	口縁～胴部中位1/3 (12.0) - -	酸化 にぶい褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部磨き。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第29図 P L 78	223号溝 埋没土	土師器 甕	口縁～胴部下位1/2 (21.6) - -	酸化 橙色	外面：口縁部横撫で。胴部縦撫で。 内面：口縁部横撫で。胴部縦撫で。	白色粒、黒色粒、 礫を含む
第29図 P L 78	223号溝 埋没土	土師器 高坏	口縁～脚部上位3/4 21.2 - -	酸化 にぶい黄橙色	外面：口縁部～脚部縦磨き。 内面：口縁部縦磨き。脚部縦撫で。	角閃石、褐色粒を 含む
第31図 P L 78	3号住居 埋没土	土師器 坏	口縁～体部1/4 (11.0) - -	酸化 にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。体部縦削り。 内面：口縁部横撫で。体部撫で。	黒色粒、白色粒、 雲母を含む
第31図 P L 78	3号住居 埋没土	土師器 坏	口縁～体部下位1/4 (12.3) - 4.8	酸化 明赤褐色	外面：口縁部横撫で。体部～底部縦削り。 内面：口縁部縦磨き。体部～底部撫で。	褐色粒、角閃石、 石英を含む
第31図 P L 78	3号住居 埋没土	土師器 甕	口縁～胴部上位1/4 (30.9) - -	酸化 橙色	外面：口縁部横撫で。胴部縦撫で。 内面：口縁部横撫で。胴部縦撫で。	黒色粒、白色粒、 礫を含む
第31図 P L 78	3号住居 埋没土	土師器 甕	1/3 (13.6) 5.4 17.0	酸化 暗褐色	外面：口縁部横撫で。胴部縦削り。底部撫で。 内面：口縁部横撫で。胴部～底部縦撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第32図 P L 78	3号住居 埋没土	土師器 甕	1/2 (21.6) (7.5) 27.1	酸化 橙色	外面：口縁部横撫で。頸部縦撫で。胴部～底部縦削り。 内面：口縁部～胴部縦撫で。底部削り。	白色粒、黒色粒、 礫、雲母を含む
第32図 P L 78	3号住居 埋没土	土師器 甕	口縁～胴部下位1/3 (18.5) - -	酸化 にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。頸部～胴部縦削り。指頭痕あり。 内面：口縁部横撫で。胴部縦撫で。	白色粒、黒色粒、 礫を含む
第32図 P L 78	3号住居 埋没土	土師器 甕	胴部中位～底部1/4 - (6.0) -	酸化 褐色	外面：胴部縦削り。底部縦削り。 内面：胴部～底部縦撫で。	黒色粒、褐色粒、 白色粒、礫を含む
第32図 P L 78	3号住居 埋没土	土師器 甕	胴部下位～底部1/2 - 6.0 -	酸化 灰黄褐色	外面：胴部～底部縦削り。 内面：胴部～底部縦撫で。	白色粒、黒色粒、 礫を含む
第32図 P L 78	3号住居 埋没土	土師器 甕	胴部上位～底部2/3 - (6.0) -	酸化 褐色	外面：胴部～底部縦削り。 内面：胴部～底部縦撫で。	片岩、石英、白色 粒を含む
第32図 P L 78	3号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸16.2 短軸5.4 厚さ3.7 重さ454.3g		雲母石英片岩	
第32図 P L 78	3号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸13.6 短軸6.0 厚さ3.8 重さ501.7g		粗粒輝石安山岩	
第34図 P L 79	13号住居 埋没土	土師器 坏	4/5 11.7 - 4.1	酸化 橙色	外面：口縁部横撫で。体部～底部縦削り。 内面：口縁部横撫で。体部～底部撫で。	白色粒、雲母を含 む
第34図 P L 79	13号住居 埋没土	土師器 坏	ほぼ完形 11.1 - 6.0	酸化 にぶい褐色	外面：口縁部横撫で。体部縦削り。 内面：口縁部～体部縦撫で。	褐色粒を含む
第34図 P L 79	13号住居 埋没土	土師器 坏	1/2 15.5 - 7.9	酸化 褐色	外面：口縁部横撫で。体部縦削り。 内面：口縁部横撫で。体部撫で。	褐色粒、角閃石、 白色、黒色粒を含 む
第34図 P L 79	13号住居 埋没土	土師器 甕	口縁～胴部上位1/4 (18.8) - -	酸化 にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。胴部縦撫で。 内面：口縁部横撫で。後刷毛目。胴部縦撫で。漆附着。	白色粒、角閃石、 石英を含む
第34図 P L 79	13号住居 埋没土	土師器 小形甕	ほぼ完形 14.1 6.0 14.1	酸化 褐色	外面：口縁部横撫で。胴部縦削り。底部縦撫で。 内面：口縁部横撫で。胴部～底部縦撫で。	白色粒、雲母を含 む
第34図 P L 79	13号住居 埋没土	土師器 小形甕	ほぼ完形 9.7 (4.4) (9.1)	酸化 にぶい赤褐色	外面：口縁部横撫で。胴部～底部縦削り。 内面：口縁部横撫で。胴部～底部縦撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第34図 P L 79	13号住居 埋没土	土師器 甕	口縁～胴部上位1/3 (14.7) - -	酸化 褐色	外面：口縁部～頸部横撫で。後縦磨き。胴部縦撫で。後縦磨き。 内面：口縁部縦磨き。頸部～胴部縦撫で。後縦磨き。	褐色粒、白色粒を 含む
第34図 P L 79	13号住居 埋没土	土師器 甕	胴部下位～底部1/2 - 4.0 -	酸化 にぶい橙色	外面：胴部縦撫で。底部撫で。 内面：胴部～底部縦撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第34図 P L 79	13号住居 埋没土	土師器 甕	胴部下位～底部1/3 - 6.0 -	酸化 にぶい褐色	外面：胴部～底部縦撫で。 内面：胴部～底部縦撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第34図 P L 79	13号住居 埋没土	土師器 甕	胴部下位～底部1/2 - 5.8 -	酸化 褐色	外面：胴部縦撫で。底部縦削り。 内面：胴部～底部縦撫で。	白色粒、黒色粒、 礫を含む
第34図 P L 79	13号住居 埋没土	土師器 台付甕	台部 - - -	酸化 にぶい褐色	外面：台部縦撫で。 内面：台部縦撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第34図 P L 79	13号住居 埋没土	土師器 甕	胴部中位～底部 - 6.8 -	酸化 にぶい褐色	外面：胴部縦削り。底部縦撫で。胴部外面下位に布目圧痕あり。 内面：胴部～底部縦削り。胴部下位刷毛目。	角閃石、白色粒、 黒色粒を含む
第34図 P L 79	13号住居 埋没土	土師器 甕	口縁部一部欠損 24.8 8.2 27.5	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部縦削り。後縦磨き。底部縦撫で。 内面：口縁部～胴部縦撫で。後縦磨き。底部縦削り。	白色粒、礫を含む
第35図 P L 79	13号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸12.3 短軸7.9 厚さ4.9 重さ666.2g		砂岩	
第35図 P L 79	13号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸18.0 短軸5.4 厚さ4.1 重さ637.8g		粗粒輝石安山岩	
第35図 P L 79	13号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸16.2 短軸5.9 厚さ3.4 重さ560.7g		粗粒輝石安山岩	
第35図 P L 79	13号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸17.3 短軸5.8 厚さ3.6 重さ613.6g		緑色片岩	
第35図 P L 79	13号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸15.4 短軸4.5 厚さ3.4 重さ335.8g		粗粒輝石安山岩	
第35図 P L 79	13号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸17.7 短軸5.8 厚さ4.4 重さ734.5g		変玄武岩。紐ざり痕有り。	
第35図 P L 79	13号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸16.7 短軸5.6 厚さ4.6 重さ707.2g		黒色片岩	
第38図 P L 79	15号住居 埋没土	土師器 小形甕	2/5 (10.0) - 9.2	酸化 にぶい赤褐色	外面：口縁部横撫で。胴部～底部縦削り。 内面：口縁部～底部縦撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第38図 P L 79	15号住居 埋没土	土師器 甕	口縁部～胴部中位 15.5 - -	酸化 明褐色	外面：口縁部横撫で。胴部縦削り。 内面：口縁部横撫で。胴部縦撫で。	白色粒、礫を含む
第38図 P L 79	15号住居 埋没土	土師器 甕	口縁～胴部上位1/3 (18.0) - -	酸化 灰黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部縦撫で。 内面：口縁部横撫で。胴部縦撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第38図 P L 79	15号住居 埋没土	土師器 小形甕	ほぼ完形 13.0 5.6 17.9	酸化 明赤褐色	外面：口縁部横撫で。頸部縦撫で。胴部～底部縦削り。 内面：口縁部横撫で。胴部～底部縦削り。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第38図 P L 79	15号住居 埋没土	石製品 棒状礫	長軸17.0 短軸5.7 厚さ5.5 重さ806.9g		砂岩 スス附着。	
第40図 P L 79	16号住居 埋没土	土師器 坏	7/8 (12.3) - 5.7	酸化 明赤褐色	外面：口縁部横撫で。体部～底部縦削り。 内面：口縁部～体部横撫で。底部撫で。	白色粒、黒色粒を 含む

遺物観察表

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第40図 P L 79	2 16号住居 埋没土	土師器 片口	1/5 (13.4) - 5.4	酸化 明赤褐色	外面：口縁部横撫で。体部～底部匏削り。 内面：口縁部～体部横撫で。底部撫で。	白色粒、黑色粒を含む
第40図 P L 79	3 16号住居 埋没土	土師器 小形甕	1/2 (9.8) (4.8) 6.2	酸化 にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。胴部～底部匏撫で。 内面：口縁部横撫で。胴部～底部撫で（単位不明瞭）。	褐色粒、白色粒、 石英を含む
第40図 P L 79	4 16号住居 埋没土	土師器 片口	口縁～胴部上位1/6 (12.6) - -	酸化 にぶい橙色	外面：調整不明瞭 内面：調整不明瞭	白色粒、褐色粒、 角閃石、礫を含む
第40図 P L 79	5 16号住居 埋没土	土師器 甕	胴部下位～底部 - 6.7 -	酸化 明赤褐色	外面：胴部～底部匏削り。 内面：胴部～底部匏撫で。	白色粒、黑色粒、 褐色粒を含む
第40図 P L 79	6 16号住居 埋没土	土師器 甕	胴部下位～底部 - 7.4 -	酸化 にぶい赤褐色	外面：胴部～底部匏削り。 内面：胴部～底部匏撫で。	白色粒、黑色粒、 礫を含む
第40図 P L 79	7 16号住居 埋没土	土師器 甕	胴部下位～底部 - 7.3 -	酸化 にぶい褐色	外面：胴部匏削り。胴部下位匏撫で。底部匏削り。 内面：胴部～底部匏撫で。	白色粒、雲母、礫 を含む
第40図 P L 79	8 16号住居 埋没土	石製品 砥石	長軸24.2 短軸10.0 厚さ8.5 重さ3210g		デイサイト	
第40図 P L 79	9 16号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸15.0 短軸8.1 厚さ5.2 重さ952.7g		粗粒輝石安山岩	
第40図 P L 79	10 16号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸15.4 短軸 5.4 厚さ4.4 重さ712.4g		粗粒輝石安山岩	
第40図 P L 79	11 16号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸17.2 短軸5.1 厚さ4.1 重さ622.4g		粗粒輝石安山岩	
第40図 P L 79	12 16号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸17.4 短軸6.0 厚さ4.0 重さ669.2g		粗粒輝石安山岩	
第40図 P L 79	13 16号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸16.6 短軸 6.9 厚さ3.6 重さ662.5g		流紋岩	
第40図 P L 79	14 16号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸18.7 短軸 6.4 厚さ3.8 重さ797.7g		緑色片岩	
第40図 P L 79	15 16号住居 埋没土	石製品 台石	長軸13.8 短軸10.8 厚さ4.5 重さ1141g		粗粒輝石安山岩	
第40図 P L 79	16 16号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸16.2 短軸 5.8 厚さ4.0 重さ589.1g		粗粒輝石安山岩	
第40図 P L 79	17 16号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸16.4 短軸 4.8 厚さ4.1 重さ621.3g		緑色片岩	
第40図 P L 79	18 16号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸16.0 短軸6.3 厚さ4.2 重さ696.0g		雲母石英片岩	
第40図 P L 79	19 16号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸17.1 短軸7.3 厚さ3.1 重さ560.3g		粗粒輝石安山岩	
第40図 P L 79	20 16号住居 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸16.8 短軸5.9 厚さ3.5 重さ545.8g		粗粒輝石安山岩	
第41図 P L 79	1 17号住居 埋没土	土師器 坏	ほぼ完形 11.0 - 5.6	酸化 黒・明赤褐色	外面：口縁部横撫で。体部～底部匏削り。 内面：口縁部横撫で。体部匏磨き（黒色処理）。底部撫で。	白色粒、黑色粒、 褐色粒を含む
第43図 P L 79	1 20号住居 埋没土	土師器 坏	1/2 (13.4) - 5.4	にぶい褐色	外面：口縁部横撫で。体部～底部匏削り。 内面：口縁部横撫で。体部～底部匏撫で。	角閃石、白色粒を 含む
第43図 P L 79	2 20号住居 埋没土	土師器 甕	7/8 17.5 7.0 31.0	酸化 にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。胴部匏削り。底部匏撫で。 内面：口縁部横撫で。胴部～底部匏撫で。	白色粒、黑色粒を 含む
第43図 P L 79	3 20号住居 埋没土	土師器 甕	胴部中位～下位4/5 - - -	酸化 にぶい褐色	外面：胴部上位・下位匏削り、中位撫で。 内面：胴部匏撫で。	白色粒、礫を含む
第43図 P L 79	4 20号住居 埋没土	土師器 甕	3/4 18.3 (6.6) 32.0	酸化 にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。胴部匏削り。底部撫で。 内面：口縁部横撫で。胴部～底部匏撫で。	角閃石、白色粒、 褐色粒を含む
第45図 P L 79	1 71号土坑 埋没土	土師器 小形甕	完形 9.8 4.9 8.5	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部匏撫で。底部匏削り。 内面：口縁部横撫で。胴部～底部匏撫で。	角閃石、白色粒、 褐色粒を含む
第45図 P L 79	2 71号土坑 埋没土	土師器 甕	完形 20.8 7.2 26.0	酸化 褐灰色	外面：口縁部横撫で。胴部～底部匏削り。胴上位部ふきこぼれの痕跡。 内面：口縁部横撫で。胴部～底部匏撫で。	白色粒、黑色粒を 含む
第45図 P L 79	3 71号土坑 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸15.3 短軸 6.8 厚さ4.1 重さ634.7g		砂岩	
第45図 P L 80	4 329号土坑 埋没土	土師器 甕	ほぼ完形 18.2 8.4 24.2	酸化 灰黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部～底部匏削り。 内面：口縁部横撫で。胴部匏撫で、底部匏削り。	白色粒、黑色粒、 褐色粒を含む
第45図 P L 80	5 329号土坑 埋没土	土師器 甕	口縁～胴部中位2/3 22.0 - -	酸化 明褐色	外面：口縁部横撫で。胴部匏削り。 内面：口縁部横撫で。胴部匏撫で。	片岩、礫を含む
第45図 P L 80	6 329号土坑 埋没土	土師器 甕	胴部中位～底部 - 4.8 -	酸化 灰褐色	外面：胴部～底部匏削り。 内面：胴部～底部匏撫で。	白色粒、黑色粒を 含む
第46図 P L 80	1 342号土坑 埋没土	須恵器 小形壺	口縁部1/2欠損 9.4 - 7.5	還元 灰白色	外面：口縁部～胴部ロクロ調整。底部匏削り。 内面：口縁部～底部ロクロ調整。	白色粒、黑色粒を 含む
第46図 P L 80	2 348号土坑 埋没土	土師器 坏	完形 11.7 - 3.4	酸化 橙色	外面：口縁部横撫で。体部撫で。底部匏削り。 内面：口縁部横撫で。体部～底部撫で。	角閃石、白色粒、 石英を含む
第46図 P L 80	3 363号土坑 埋没土	土師器 高坏	脚部 - 10.8 -	酸化 橙色	外面：脚部匏磨き。 内面：脚部匏撫で。	白色粒、褐色粒、 礫を含む
第48図 P L 80	1 24号井戸 埋没土	須恵器 片口	4/5 23.3 10.9 9.5	還元 灰色	外面：口縁部～胴部上半部ロクロ調整、下半部匏削り、底部撫で。底部 右回転匏削り。内面：口縁部～胴部ロクロ調整。底部高台貼付時撫で。	白色粒、黑色粒、 礫を含む
第48図 P L 80	2 31号井戸 埋没土	土師器 坏	3/4 10.2 - 4.7	酸化 明赤褐色	外面：口縁部横撫で。体部～底部匏削り。 内面：口縁部～体部横撫で。底部撫で。	白色粒、褐色粒、 雲母を含む
第50図 P L 80	1 224号溝 埋没土	土師器 坏	4/5 11.6 9.7 3.7	酸化 にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。体部撫で。底部匏削り。 内面：口縁部～体部横撫で。底部撫で。	白色粒、褐色粒、 角閃石を含む
第50図 P L 80	2 224号溝 埋没土	土師器 坏	ほぼ完形 13.2 - 3.7	酸化 橙色	外面：口縁部横撫で。体部～底部匏削り。 内面：口縁部～体部横撫で。底部撫で。	白色粒、黑色粒、 褐色粒を含む
第50図 P L 80	3 224号溝 埋没土	土師器 台付甕	3/4 14.1 11.0 20.1	酸化 暗褐色	外面：口縁部～頸部横撫で。胴部匏削り。台部横撫で。 内面：口縁部～頸部横撫で。胴部匏撫で。台部横撫で。	角閃石、白色粒を 含む
第50図 P L 80	4 224号溝 埋没土	土師器 甕	口縁～胴部下位1/3 20.6 - -	酸化 暗褐色	外面：口縁部横撫で。底部匏削り。 内面：口縁部横撫で。底部匏撫で。	角閃石、白色粒を 含む

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第50図 P L 80	5 224号溝 埋没土	須恵器 甕	口径部1/4 29.7 - -	還元 灰色	外面：口縁部ロクロ調整。頸部磨撫で。 内面：口縁部ロクロ調整。頸部当て具らしき痕跡。	白色粒を含む
第57図 P L 80	1 25号溝 埋没土	須恵器 棒状磑	1/2 (10.9) 6.0 2.6	還元 灰白色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部右回転ス切り。 内面：口縁部～底部ロクロ調整。	黒色粒、褐色粒を含む
第59図 P L 80	1 37号溝 埋没土	石製品 台石	長軸18.6 短軸14.3 厚さ4.2 重さ2107g		粗粒輝石安山岩 スス付着。	
第59図 P L 80	2 37号溝 埋没土	石製品 棒状磑	長軸33.0 短軸9.1 厚さ5.8 重さ3180g		粗粒輝石安山岩	
第59図 P L 80	3 37号溝 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸23.7 短軸9.3 厚さ5.7 重さ1876g		ひん岩	
第59図 P L 80	4 37号溝 埋没土	石製品 こもあみ石	長軸21.0 短軸10.0 厚さ4.7 重さ1322g		ひん岩	
第63図 P L 80	1 23号溝 埋没土	石製品 板碑	長軸30.0 短軸13.6 厚さ2.4 重さ1620g		板碑中央右端部片。阿弥陀三尊種子の脇侍である観音菩薩種子(サ)の一部が残る。種子は薬研彫り、蓮座なし。緑色片岩	
第63図 P L 80	2 23号溝 埋没土	石製品 板碑	長軸13.0 短軸8.2 厚さ1.8 重さ225.3g		紀年銘・種子等の刻字や装飾はみられない。 緑色片岩	
第71図 P L 80	1 グリッド 69-K-13	石 鏝	長軸2.1 短軸1.9 厚さ0.4 重さ1.3g		チャート	
第71図 P L 80	2 グリッド 79-M-9	石 鏝	長軸2.1 短軸2.0 厚さ0.4 重さ1.4g		チャート	
第71図 P L 80	3 グリッド 1区	石 鏝	長軸1.7 短軸1.6 厚さ0.3 重さ0.8g		黒色頁岩	
第71図 P L 80	4 グリッド 79-N-2	打製石斧	長軸11.3 短軸6.6 厚さ2.1 重さ313.1g		硬質泥岩	
第71図 P L 80	5 グリッド 69-N-13	打製石斧	長軸12.8 短軸5.3 厚さ1.7 重さ149.3g		黒色頁岩	
第71図 P L 80	6 グリッド 1区	加工痕	長軸5.2 短軸4.9 厚さ1.7 重さ32.4g		珪質頁岩	
第71図 P L 80	7 グリッド 79-M-1	石製品	長軸10.4 短軸7.3 厚さ4.3 重さ453.2g		珪質頁岩	
第71図 P L 80	8 グリッド 79-O-1	削器	長軸11.8 短軸8.6 厚さ2.2 重さ313.1g		硬質泥岩	
第72図 P L 87	9 79-N-1 埋没土	弥生 胴部片	- - -	酸化 浅黄褐色	単一沈線により縦位、横位沈線文が施される。	黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	10 79-M-2 埋没土	弥生 壺	- - -	酸化 灰黄褐色	R L横位。単一沈線文により縦走線文が施され横走(弧状)線文を加える。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	11 79-O-1 埋没土	弥生 甕	- - -	酸化 明黄褐色	単一沈線文により横走線文が施される。内面に横位条痕文が認められる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	12 69-O-19 埋没土	弥生 甕	- - -	酸化 橙色	単一沈線文により波状横走線文が施される。内面磨撫で。南御山	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	13 79-N-3 埋没土	弥生	口縁部片 - - -	酸化 赤褐色	L R横位。口縁に刻目。幅4mm程度のヘラ状施文具により山形文、横走線文が施される。山形文は左から右方向へ施文される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	14 79M-2, 79N-3 埋没土	弥生	口縁部～頸部片 - - -	酸化 明赤褐色	L R横位。口縁に刻目。ヘラ状施文具により山形文が施され、頸部に横走線文帯が巡る。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	15 79-M-5 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	直前段反摺L L横位。単一沈線文により山形文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	16 69-P-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 黒褐色	幅1mm程度の施文具により山形文が施され、その上位に刺突文列が巡る。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	17 79-M-7 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	LもしくはL L横位。単一沈線文により山形文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	18 79-L-2 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	直前段反摺L L横位、縦位により羽状縄文を構成。単一沈線文が施される。	黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	19 79-O-1 埋没土	弥生 甕	- - -	酸化 にぶい黄褐色	単一沈線文により山形文が施される。 73図-101・102と同一個体。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	20 79-K-3 埋没土	弥生	口縁部片 - - -	酸化 淡黄色	折返し状口縁部に縄文(単軸絡条体1類、LRを絡条)。単一沈線文により横走方形区画文が施される。区画内に僅かに縄文が認められる	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	21 79-M-2 埋没土	弥生	口縁部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	口縁に沿って縄文帯が巡り下位に横位の単一沈線文が施される。 縄文はR Lであるが横、縦、斜位等施文方位は一定しない。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	22 1区 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 灰黄褐色	単一沈線文により方形区画文が施される。区画内にR L横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	23 79-O-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐灰色	左傾する条が認められるが種別不明。楕円形区画文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	24 69-P-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	僅かに縄文施文が認められるが種別不明。単一沈線文により弧状文、横走文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	25 79-O-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 赤褐色	不明瞭な縄文が施され単一沈線文により区画文が加えられる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	26 79-N-4 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	L R横位。単一沈線文による方形区画文内に沈線文を加える。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	27 79-O-1 埋没土	弥生	肩部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	直前段反摺L L横位。単一沈線文により四角状、弧状文を施す。 72図-28と同一個体。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	28 79-O-2 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 灰褐色	直前段反摺L L横位。単一沈線文により重四角文を施す。 72図-27と同一個体。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	29 79-P-2 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 明褐色	直前段反摺L L横位に横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	30 69-P-18 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 黒褐色	左傾する条が認められるが種別不明。単一沈線文により弧状、横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 P L 87	31 79-O-2 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 暗褐色	縄文面に横走沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む



遺物観察表

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第72図 32 P L 87	79-M-1 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	幅1mm程度の施文具により横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 33 P L 87	79-M-3 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	縄文施文（LもしくはLL）面に沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 34 P L 87	69-P-20 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 褐灰色	刺突文列2条巡り以下LR横位が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 35 P L 87	79-L-1 埋没土	弥生 甕	口縁部片 - - -	酸化 灰黄褐色	口縁に沿って刺突文（D字形爪形文）が巡り横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 36 P L 87	79-H-7 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	3条単位の櫛歯文に方形の刺突文列を加えLR横位を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 37 P L 87	79-O-1 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 赤灰色	LR横位の縄文帯、刺突文を施す。刺突文は断面三角形を呈する。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 38 P L 87	69-O-20 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい橙色	単一沈線文、3条単位の波状沈線文を施し刺突文を加える。刺突文は、形状が不均一であり縄末端による可能性もある。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 39 P L 87	79-Q-1 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	RL横位。単一沈線文により斜行線文が施され交点に円形貼付文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 40 P L 87	79-N-2 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	直前段反拗LL横位に方形刺突文列を施す。	黒色粒等の砂粒を含む
第72図 41 P L 87	69-L-19 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 暗灰黄色	横走線文、刺突文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 42 P L 87	79-K-3 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 灰褐色	斜位に刺突するためD字形刺突文となる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 43 P L 87	79-O-1 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	ループ文間に円形工具による斜位刺突によりD字形爪形文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 44 P L 87	79-N-6 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	縄文面（種別不明）に単一沈線文による重四角文を施し文様間に同種施文具による刺突文を加える。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 45 P L 87	69-R-14 埋没土	弥生 甕	口縁部片 - - -	酸化 灰白色	口唇部に刻目。口縁部は横位整形痕が見られ不明瞭な縦位沈線文が観察される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 46 P L 87	69-O-20 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 暗褐色	D字形刺突文、沈線文が認められる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 47 P L 87	79-L-4 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 暗褐色	浅い条痕文が斜行する。三角形の刺突文列が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 48 P L 87	69-P-20 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	平行線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 49 P L 87	79-L-3 埋没土	弥生 甕	頸部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	縄文は不明瞭（LR横位か）。方形の刺突文列が横位に施される。72図-50と同一個体の可能性あり。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 50 P L 87	79-L-3 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	器面の磨耗が著しい。方形の刺突文列が2条横位に施される。内面に指頭痕が見られる。72図-49と同一個体の可能性あり。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 51 P L 87	79-L-3 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	器面は磨耗する。刺突文列が認められる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 52 P L 87	79-N-3 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 黄灰色	平行沈線文および刺突文列が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 53 P L 87	79-O-1 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 明褐色	単一沈線文により山形文が施され同種施文具により刺突文を加える。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 54 P L 87	79-O-3 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 褐色	単一沈線による区画文、内側に沿って刺突文（斜位刺突）が施される。一部赤色塗彩の痕跡が残る。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 55 P L 87	79-N-3 埋没土	弥生 甕	口縁部片 - - -	酸化 灰黄褐色	有段口縁。有段部にLR横位を施し円孔文が加えられる。上下端に刻目が施され下端に小突起が付される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 56 P L 87	69-P-20 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 橙色	LR横位に単一沈線文による同心円文を施す。同心円文間に円形文を加える。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 57 P L 87	69-P-20 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	僅かに縄文が認められる。単一沈線により弧状文（同心円文）が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 58 P L 87	69-O-17 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	RL横位。施文は浅く不明瞭。単一沈線文により弧状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 59 P L 87	69-M-19 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 暗赤褐色	RL横位。施文は浅い。単一沈線文により弧状文が施される。	白色粒、黒色粒、輝石粒等砂粒を含む
第72図 60 P L 87	69-P-20 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 明褐色	単一沈線文による弧状文が施される。内面横撫で。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 61 P L 87	69-P-20 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	単一沈線による横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 62 P L 87	79-O-2 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 赤褐色	単一沈線文により横走線文が施される。縄文が僅かに認められる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 63 P L 87	79-O-1 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	単一沈線文により横走線文が施される。縄文が僅かに認められる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 64 P L 87	69-P-20 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 灰黄褐色	単一沈線文により弧状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 65 P L 87	69-P-20 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 褐色	単一沈線文により横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第72図 66 P L 87	69-P-20 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	単一沈線文により横走線文が施される。縄文が僅かに認められる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 67 P L 87	69-P-20 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 68 P L 87	69-O-19 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 赤褐色	弧状沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 69 P L 87	69-P-14 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	不明瞭な条が認められるが、種別は観察できない。単一沈線文により弧状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 70 P L 87	69-P-19 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 暗赤褐色	単一沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第73図 P L 87	71 69-N-15 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	単一沈線文を施す。	黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	72 69-P-20 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 褐色	不明瞭ながらRLが観察される。単一沈線文により渦状文、縦走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	73 79-F-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	単一沈線文により弧状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	74 79-N-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 暗褐色	沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	75 79-N-1 埋没土	弥生	肩部片 - - -	酸化 橙色	沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 87	76 69-P-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	直前段反摺LL横位。単一沈線文により円形文、横走線文、波状文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 87	77 79-N-2 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	78 69-M-19 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	弧状沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	79 79-O-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	沈線文および縄文（種別不明）が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 87	80 79-P-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐色	L（LL?）横位に横位の単一沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 87	81 79-O-4 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	縄文面に単一沈線文により弧状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	82 79-N-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 暗褐色	沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	83 79-O-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 橙色	単一沈線文が施される。	黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	84 79-N-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	単一沈線文により弧状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	85 79-R-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	単一沈線文により弧状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	86 79-N-3 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	沈線文間に縄文（種別不明）が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	87 79-P-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐色	横走沈線文間にL（LL?）横位が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	88 69-O-17 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 灰褐色	L R横位。単一沈線文により平行山形文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	89 69-S-14 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	L R横位。単一沈線文により横走線文、波状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	90 69-S-19 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐色	縄文面に単一沈線文により波状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	91 79-Q-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 黒褐色	左傾する条のみ認められる。単一沈線文により横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	92 69-O-17 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい褐色	L R横位。単一沈線文により横走文、山形文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	93 69-O-19 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 暗褐色	単一沈線文により横走線文が施される。浅く不明瞭な縄文が認められる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	94 69-L-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	左傾する条のみ認められる。単一沈線文により山形文、横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	95 69-O-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	不明瞭な条が観察される。種別は不明。単一沈線文により横走線文、波状文が施される。内面横撫で。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	96 79-O-2 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 褐灰色	直前段反摺LL横位。単一沈線文により波状文が8条横走する。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	97 69-O-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 灰褐色	左傾する条は認められるが筋形状が不明瞭のため種別不明。単一沈線文により山形文、横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	98 69-N-20 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	L R横位。施文は浅く不明瞭。単一沈線文により波状文が施される。内面横撫で。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	99 79-N-1 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 赤褐色	単一沈線文により横走線文が施される。僅かに縄文が認められる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	100 79-N-1 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	単一沈線文により波状文が施される。内面に横位条痕文。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	101 79-O-1 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	L R横位。単一沈線文により山形文が施される。 72図-19、73図-102と同一個体。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	102 79-O-1 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	72図-19、73図-101と同一個体。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	103 69-O-18 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 灰黄褐色	横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	104 69-P-20 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	RL横位。施文は浅い。単一沈線文により弧状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	105 79-P-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	L R横位。単一沈線文により波状文が4条施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	106 69-O-20 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	単一沈線文により波状文が施される。内面横撫で。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	107 79L-2, 79M-2 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 灰黄褐色	L R横位。単一沈線文により山形文、横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	108 79-L-2 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 明褐色	単一沈線文により波状文、横走線文を施す。波状文と横走線文間に不明瞭な縄文が認められる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 P L 88	109 79-O-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 灰褐色	L R横位か?。単一沈線文により横走文、山形文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む

遺物観察表

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第73図 110 P L 88	1区 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐灰色	L R横位。平行沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 111 P L 88	79-L-5 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい褐色	左傾する条が認められるが種別は不明。弧状沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 112 P L 88	79-P-1 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	L R横位。施文は浅く不明瞭。単一沈線文により横走線文、波状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 113 P L 88	79-L-2 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 暗褐色	単一沈線文により波状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 114 P L 88	79-P-2 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐色	L R横位。単一沈線文により横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 115 P L 88	79-O-2 埋没土	弥生	口縁部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	口縁上面にL R。口縁部に浅いL R横位、単一沈線による横走線文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 116 P L 88	79-O-2 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	縄文面（種別不明）に平行沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 117 P L 88	69-O-20 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	単一沈線文により横走線文が施される。	黒色粒等の砂粒を含む
第73図 118 P L 88	79-O-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	単一沈線文により横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 119 P L 88	69-P-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐色	縄文面に横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 120 P L 88	69-O-18・19 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 褐色	単一沈線文により横走線文が施される。不明瞭な縄文が認められる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 121 P L 88	79-O-2 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	単一沈線文により波状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 122 P L 88	69-O-17 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい褐色	単一沈線文により横走線文が施される。内面に整形痕が認められる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 123 P L 88	69-P-20 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	単一沈線文により波状文が施される。縄文施文あり。種別は不明。内面に整形痕が認められる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 124 P L 88	79-N-1 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 褐色	一部にR Lが観察される。単一沈線文により横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 125 P L 88	79-O-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 黒褐色	僅かに縄文が認められる。単一沈線文により波状文が施される。	白色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第73図 126 P L 88	79-N-2 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 灰黄褐色	単一沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 127 P L 88	79-M-3 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 灰白色	単一沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 128 P L 88	79-G-2 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 黒褐色	単一沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 129 P L 88	69-P-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 暗褐色	沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 130 P L 88	79-N-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐色	沈線文が施される。	黒色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第73図 131 P L 88	79-M-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 132 P L 88	79-O-4 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐色	単一沈線文により弧状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 133 P L 88	79-L-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 灰褐色	沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 134 P L 88	69-J-17 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 灰黄褐色	L横位。弧状文が施される。	白色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第73図 135 P L 88	79-O-2 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	浅く不明瞭な縄文面に単一沈線による山形状文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 136 P L 88	79-P-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 暗褐色	R L横位。沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 137 P L 88	69-O-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい褐色	R L横位。横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 138 P L 88	79-L-5 埋没土	弥生	頸部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	頸部に横走沈線文が巡る。R L横位。	黒色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第73図 139 P L 88	79-L-5 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐色	単一沈線文により山形状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 140 P L 88	79-L-5 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 浅黄褐色	弧状沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 141 P L 88	1区 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	浅い沈線文が巡る。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第73図 142 P L 88	79-M-3 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐色	単一沈線文が認められる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 143 P L 88	69-P-20 埋没土	弥生	口縁部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	口縁上面に平坦面をもつ。器面は平滑面を形成する。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 144 P L 88	1区 埋没土	土師器	口縁部片 - - -	酸化 にぶい褐色	口縁上面に沈線文が巡る。有段口縁下に刷毛目。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 145 P L 88	69-Q-19 埋没土	土師器	口縁部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	口縁上面に沈線文が巡る。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 146 P L 88	69-P-20 埋没土	土師器	口縁部片 - - -	酸化 にぶい褐色	口縁上面に平坦面をもつ。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 147 P L 88	79-L-1 埋没土	土師器	口縁部片 - - -	酸化 褐色	口唇部が尖りぎみ。有段口縁。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 148 P L 88	69-Q-17 埋没土	土師器	口縁部片 - - -	酸化 にぶい褐色	内面がやや肥厚する。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第74図 149 P L 88	79-N-2 埋没土	土師器 壺	口縁部片 - - -	酸化 赤褐色	口縁部外面に刻目帯を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 150 P L 88	69-P-20 埋没土	土師器	口縁部片 - - -	酸化 黒褐色	口縁上面に平坦面をもつ。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 151 P L 88	79-O-1 埋没土	土師器	口縁部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	口縁部内外面に横撫で。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 152 P L 88	79-N-3 埋没土	土師器	口縁部～頸部 - - -	酸化 明赤褐色	口縁部内面横撫で。口縁部に沈線文、頸部に刷毛目。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 153 P L 88	69-S-14 埋没土	土師器	口縁部片 - - -	酸化 灰白色	口縁部上面、外面に面をもち内面も含め刷毛目が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 154 P L 88	69-K-14 埋没土	土師器	口縁部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	口縁上面に平坦面をもつ。一部に縄文と観察される痕跡。内面横撫で。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 155 P L 88	69-P-18 埋没土	土師器	口縁部片 - - -	酸化 明赤褐色	口唇部に刻目。口縁有段部に刻目を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 156 P L 88	69-P-16 埋没土	土師器	口縁部片 - - -	酸化 黄褐色	有段口縁。口縁上端部および下端部に刻目。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 157 P L 88	79-Q-2 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 赤褐色	有段口縁。段端部に刺突文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 158 P L 88	69-K-15 埋没土	土師器	口縁部～頸部片 - - -	酸化 にぶい褐色	3～4本単位の櫛歯状施文具による条痕文が内外面に施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 159 P L 88	79-S-2 埋没土	土師器	口縁部～頸部片 - - -	酸化 にぶい橙色	口唇部に刻目。口縁部内外面横撫で。頸部に刷毛目を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 160 P L 88	1区 埋没土	土師器	口縁部～頸部片 - - -	酸化 淡黄色	斜行する櫛歯文が交差する。口縁部内面に刷毛目、頸部内面に指頭痕が認められる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 161 P L 88	69-K-18 埋没土	弥生 甕	口縁部～頸部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	頸部に不明瞭な弧状文、横走線文が施される。内面に一部刷毛目が見られる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 162 P L 88	69-P-15 埋没土	土師器	口縁部～肩部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	口縁部横撫で。肩部に斜位条線文が施される。	白色粒、黒色粒、輝石粒等砂粒を含む
第74図 163 P L 88	69-P-16 埋没土	土師器	頸部片 - - -	酸化 橙色	条線文が施される。内面刷毛目。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 164 P L 88	69-K-17 埋没土	弥生 壺	口縁部～頸部片 - - -	酸化 明赤褐色	頸部に櫛歯状施文具による横走線文が巡る。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 165 P L 88	69-J-14 埋没土	土師器	口縁部～頸部片 - - -	酸化 灰白色	斜行する櫛歯文を施す。内面刷毛目。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 166 P L 89	69-O-17 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	条線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 167 P L 89	69-O-17 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 黄褐色	条線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 168 P L 89	69-R-18 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 明黄褐色	L R 横位？	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 169 P L 89	69-J-15 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	不規則な刷毛目が施される	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 170 P L 89	69-M-16 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 淡黄色	不明瞭であるが縄文および条線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 171 P L 89	79-N-6 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	条線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 172 P L 89	69-P-19 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい橙色	やや幅広の集合条線文により羽状文が施される。内面に輪積痕が残る	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 173 P L 89	69-K-13・14 埋没土	弥生 壺	口縁部～頸部片 - - -	酸化 にぶい橙色	頸部に簾状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 174 P L 89	69-J-15 埋没土	土師器	頸部～胴部片 - - -	酸化 淡黄色	頸部に簾状文、肩部に羽状櫛歯文を施す。胴部は横撫で。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 175 P L 88	69-I-15 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	R L 横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 176 P L 89	69-P-20 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい橙色	条痕文が施される。	黒色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第74図 177 P L 89	69-J-14 埋没土	土師器	頸部片 - - -	酸化 浅黄褐色	頸部に櫛歯状施文具による簾状文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 178 P L 89	69-J-16 埋没土	土師器	頸部～肩部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	肩部に刷毛目を加えた後、櫛歯文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 179 P L 89	79-O-2 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 黒褐色	櫛歯状施文具により斜行状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 180 P L 88	69I-14, 79L-5 埋没土	弥生 壺	頸部～肩部片 - - -	酸化 浅黄褐色	頸部に5本単位の櫛歯状施文具により羽状文を構成する。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 181 P L 89	69-J-16 埋没土	土師器	頸部片 - - -	酸化 橙色	平行線文が3条巡り両側に刻目が施される。	黒色粒等の砂粒を含む
第74図 182 P L 89	69-J-14 埋没土	土師器	肩部片 - - -	酸化 浅黄褐色	櫛歯状施文具により羽状文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 183 P L 89	69-K-13 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	平行線文により波状文、横走線文が施される。内面に輪積痕が残る。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 184 P L 89	69-J-13 埋没土	土師器	頸部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	頸部に簾状文、波状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 185 P L 89	69-K-13 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	刻目帯が一部認められ粗雑な条線文が施される。断面中央に黒色層が見られる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 186 P L 89	69-K-14 埋没土	土師器	頸部片 - - -	酸化 灰黄褐色	頸部に刷毛目。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 187 P L 89	69-O-18 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	櫛歯文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む

遺物観察表

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第74図 188 P L 89	69-Q-17 埋没土	土師器	口縁部片 - - -	酸化 灰白色	口縁上面に縄文帯。5本単位の櫛歯状施文具により波状文が施される	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 189 P L 89	79-N-3 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄橙色	平行沈線文が交差状に施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 190 P L 89	69-P-14 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 橙色	櫛歯状施文具により横走、波状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 191 P L 89	69-O-18 埋没土	土師器 壺	肩部片 - - -	酸化 明赤褐色	櫛歯文（1単位7条）が施される。赤色塗彩が一部残る。内面に輪積痕が認められる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 192 P L 89	1区 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄橙色	櫛歯文が羽状に施される。	白色粒等の砂粒を含む
第74図 193 P L 89	79-N-3 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	斜行する櫛歯文により三角状区画文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 194 P L 89	69-S-14 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄橙色	櫛歯状施文具により波状文を施す。	黒色粒等の砂粒を含む
第74図 195 P L 89	79-S-3 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄橙色	3本単位の櫛歯文により波状文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第74図 196 P L 89	79-N-1 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 黒褐色	3本単位の櫛歯状施文具により波状文が施される。	白色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第74図 197 P L 89	79-Q-1 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 橙色	単一沈線による波状文および櫛歯波状文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 198 P L 89	79-M-2 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい褐色	櫛歯波状文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 199 P L 89	79-Q-3 埋没土	土師器 壺	胴部片 - - -	酸化 にぶい褐色	櫛歯状施文具により波状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 200 P L 89	69-J-16 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 灰黄褐色	5本単位の櫛歯状施文具により波状文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 201 P L 89	69-L-20 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	波状文が施される。	白色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第75図 202 P L 89	79-N-1 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 黒褐色	波状文が施される。	白色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第75図 203 P L 89	79P-3, 79Q-2 埋没土	土師器	頸部～胴部片 - - -	酸化 にぶい褐色	頸部～肩部に横走櫛歯文。胴部に櫛歯波状文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 204 P L 89	69-J-16 埋没土	土師器 甕	口縁部～頸部 (17.0) - - -	酸化 にぶい橙色	口縁部～頸部に輪積痕が残る。肩部に櫛歯状工具により波状文を施す	砂粒を含む
第75図 205 P L 89	69-J-15 埋没土	土師器	頸部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	簾状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 206 P L 89	79-S-9 埋没土	土師器	口縁部片 - - -	酸化 灰黄褐色	折返し口縁外面に櫛歯波状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 207 P L 89	79-Q-3 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい橙色	櫛歯波状文。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 208 P L 89	69-I-15 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	櫛歯状施文具により波状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 209 P L 89	69-I-15 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	櫛歯状施文具により波状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 210 P L 89	69-J-13 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	櫛歯状施文具により波状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 211 P L 89	69-O-17 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい褐色	横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 212 P L 89	1区 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 灰黄褐色	横走沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 213 P L 89	79-S-4 埋没土	土師器	口縁部 1/4 (16.0) - - -	酸化 橙色	口縁部外面に折返し状に面をもち櫛歯状施文具による刺突文を施す。 口縁部中央に横走線文が巡る。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 214 P L 89	79S-1, 79S-2 埋没土	土師器	口縁部 2/3 18.0 - - -	酸化 橙色	口縁部外面に凹帯をもつ面を形成し櫛歯状施文具による刺突文を施す 外面縦位磨き、内面横撫で。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 215 P L 89	69-P-16 埋没土	土師器	口縁部～頸部片 - - -	酸化 橙色	有段口縁。頸部に刷毛目。内面横、斜位刷毛目。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 216 P L 89	1区 埋没土	弥生 壺	口縁部片 - - -	酸化 褐色	口縁部に粘土帯貼付し有段口縁とする。粘土紐を縦位に3条加える。 口縁内面に矢羽根状刺突を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 217 P L 89	79-K-4 埋没土	土師器	口縁部～頸部片 (15.0) - - -	酸化 にぶい橙色	口唇部に斜位刻目。頸部に刷毛目。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 218 P L 90	1区 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 褐灰色	斜位刷毛目後、横撫で。内面刷毛目。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 219 P L 89	69-P-16 埋没土	弥生 壺	口縁部～頸部片 - - -	酸化 にぶい褐色	口縁外面に面をもち櫛歯状施文具による斜位刺突文を施す。 口縁内外面横撫で。	白色粒等の砂粒を含む
第75図 220 P L 90	69-S-19 埋没土	弥生 壺	頸部～肩部片 - - -	酸化 褐色	頸部に浅い刺突文（もしくは縄状の圧痕）が1列巡る。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 221 P L 90	69-L-19 埋没土	土師器	頸部～肩部片 - - -	酸化 明赤褐色	頸部に刷毛目。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 222 P L 89	79-O-3 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	上半部に斜行条線文を施し端部に縄閉端部による刺突文を加える。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 223 P L 90	69-J-15 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	刷毛目を施した後、刺突文を加える。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 224 P L 90	69-I-14 埋没土	土師器	頸部片 - - -	酸化 明赤褐色	頸部に刷毛目。	黒色粒等の砂粒を含む
第75図 225 P L 89	69-P-13 埋没土	土師器	頸部片 - - -	酸化 褐色	頸部に平行線文が巡り円形貼付文が施される。内面横位刷毛目。	黒色粒等の砂粒を含む
第75図 226 P L 90	69-P-16 埋没土	土師器	頸部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	頸部に円形貼付文を施す。内面に刷毛目。	黒色粒等の砂粒を含む

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第75図 P L 90	227 69-Q-14 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 橙色	磨耗が著しい。ボタン状貼付文を施す。	黒色粒等の砂粒を含む
第75図 P L 90	228 69-L-13 埋没土	土師器	口縁部～肩部片 - - -	酸化 橙色	口縁部縦位磨き。頸部に隆帯貼付し肩部に刷毛目。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 P L 90	229 69-M-13 埋没土	土師器	頸部～肩部片 - - -	酸化 にぶい黄橙色	頸部に隆帯を貼付する。隆帯上に斜位刻目を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 P L 89	230 1区 埋没土	土師器	口縁部～肩部片 - - -	酸化 にぶい橙色	S字状口縁。頸部に刷毛目を施し3条単位の平行線文が横走する。	黒色粒等の砂粒を含む
第75図 P L 90	231 1区 埋没土	土師器	口縁部～肩部片 - - -	酸化 灰褐色	S字状口縁。頸部に刷毛目。肩部に平行沈線文帯が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 P L 90	232 69-K-19 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 浅黄橙色	縄文（RLか）が施される。	黒色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第75図 P L 90	233 69-P-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 黒褐色	LR横位。閉端部の回転施文も認められる。外面に炭化物付着。	黒色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第75図 P L 90	234 69-N-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい褐色	RL横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 P L 90	235 69-P-20 埋没土	弥生 甕	胴部片 - - -	酸化 にぶい橙色	LR横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 P L 90	236 69-R-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐色	LR横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 P L 90	237 79-M-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 橙色	RL横位。	白色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第75図 P L 90	238 79-M-2 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐色	LR横位。	黒色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第75図 P L 90	239 1区5面 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 黒褐色	LR横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 P L 90	240 69-G-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 橙色	LRを施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第75図 P L 90	241 79-L-2 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 灰褐色	LR横位。下半部は平滑面形成。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	242 69-O-14 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 灰褐色	直前段反撚RR横位を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	243 69-G-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい橙色	L（LL?）横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	244 79-O-2 埋没土	弥生	口縁部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	LR横位。有段口縁。	黒色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	245 79-N-2 埋没土	弥生	口縁部片 - - -	酸化 黒褐色	LR横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	246 79-N-2 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐色	RL横位。	黒色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	247 69-O-14 埋没土	弥生 壺	胴部片 - - -	酸化 灰黄褐色	直前段反撚RR横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	248 79-M-5 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 浅黄橙色	RL横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	249 79-L-3 埋没土	弥生	口縁部片 - - -	酸化 橙色	RL横位。	黒色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	250 79-M-3 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	LR横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	251 79-O-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい橙色	LR横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	252 79-P-2 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	LR横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	253 79-N-3 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 浅黄色	LもしくはLL横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	254 79-I-6 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 浅黄褐色	RL横位。	黒色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	255 69-P-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	胴上半部にLR横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	256 69-P-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	LR横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	257 69-P-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	LR横位。内面に横位条痕。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	258 79-M-3 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	RL横位。	黒色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	259 79-N-3 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	条線文か？	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	260 69-P-20 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	LもしくはLL横位。	黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	261 79-O-1 埋没土	弥生	口縁部片 - - -	酸化 暗赤褐色	口縁上面に平坦面をもつ。LR横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	262 79-P-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	LR横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	263 79-N-6 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	RL横位。	黒色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	264 79-O-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 灰黄褐色	LR横位。	白色粒等の砂粒を含む
第76図 P L 90	265 79-K-3 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 灰褐色	LRを施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む

遺物観察表

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第76図 266 P L 90	79-L-4 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 灰黄褐色	L R横位。	黒色粒等の砂粒を含む
第76図 267 P L 90	79-S-5 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい橙色	R L横位。	白色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第76図 268 P L 90	79-N-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐灰色	L R横位。内面に横位刷毛目。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 269 P L 90	69-K-2 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	R L横位か。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 270 P L 90	79-O-8 埋没土	弥生	口縁部片 - - -	酸化 暗褐色	L R横位。有段口縁。口縁上面に平坦面。	白色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第76図 271 P L 90	69-O-15 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 灰黄色	L R横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 272 P L 90	79-M-4 埋没土	弥生 壺	口縁部片 - - -	酸化 灰黄褐色	口縁部外面に面をもちL R横位を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 273 P L 90	79-O-1 埋没土	弥生 甕	口縁部片 - - -	酸化 明赤褐色	折返し状口縁。口唇部、口縁部に直前段反摺L L横位を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 274 P L 90	79-O-8 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 灰黄褐色	R L横位。	白色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第76図 275 P L 90	69-S-14 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい褐色	L R横位。閉端部の回転も一部に認められる。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 276 P L 90	79-I-9 埋没土	弥生	肩部片 - - -	酸化 にぶい橙色	胴上半部にL R横位。	黒色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第76図 277 P L 90	69-R-14 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐灰色	L R横位か？	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 278 P L 90	69-F-14 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	不明瞭であるがL横位が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 279 P L 90	69-O-18 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	R L横位。	白色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第76図 280 P L 90	79-Q-9 埋没土	弥生	口縁部～頸部片 - - -	酸化 浅黄褐色	R L横位。縄文帯は3cm程度。内面整形良好で平滑面を形成する。	黒色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第76図 281 P L 90	69-J-14 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	L R横位。	黒色粒、輝石粒等の砂粒を含む
第76図 282 P L 90	69-P-14 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	L R横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 283 P L 90	69-R-14 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 灰黄褐色	L R横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 284 P L 90	69-Q-14 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 褐灰色	不明瞭であるがR横位が観察される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 285 P L 90	79-N-1 埋没土	弥生	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	磨耗が著しい。L R横位。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 286 P L 90	79-O-2 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 暗褐色	平行線文による縦位、横位条線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 287 P L 90	79-O-2 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 黒褐色	集合沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 288 P L 90	79-O-1 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	縄文面に集合沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 289 P L 90	79-O-1 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 黒褐色	櫛歯状施文具により羽状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 290 P L 90	79-O-2 埋没土	縄文 深鉢	口縁部～胴部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	LもしくはL L横位。3～4本程度の櫛歯状施文具を用いる。縦位に櫛歯文が垂下しその間に斜位もしくは羽状の櫛歯文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 291 P L 90	79-O-1 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 にぶい赤褐色	集合沈線文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 292 P L 90	79-O-1 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	集合沈線文により三角状文を施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 293 P L 90	79-O-3 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	集合沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 294 P L 90	79-O-1 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	平行沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 295 P L 90	79-O-1 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 褐色	LもしくはL Lが認められる。集合沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 296 P L 90	79-O-1 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 暗褐色	櫛歯状施文具により斜行、横走文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 297 P L 90	79-O-3 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 橙色	縄文面に集合沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 298 P L 90	79-O-1 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 にぶい褐色	直前段反摺L L、平行沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 299 P L 90	79-L-2 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 暗褐色	平行沈線文を施し内面に横位条線文を加える。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 300 P L 90	79-Q-2 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 黒褐色	縄文面に集合沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 301 P L 90	1区5面 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 暗褐色	LもしくはL L横位。集合沈線文により縦位、斜行文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 302 P L 90	79-O-2 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 黒褐色	平行線文にLもしくはL Lを施す。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 303 P L 90	69-P-20 埋没土	縄文 深鉢	胴部片 - - -	酸化 にぶい褐色	集合沈線文 LもしくはL Lが施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第76図 304 P L 90	79-O-2 埋没土	縄文 深鉢	口縁部片 - - -	酸化 黒褐色	LもしくはL Lが施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第76図 P L 91	305 79-M-1 埋没土	縄文鉢	胴部片 - - -	酸化 にぶい橙色	平行沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等の 砂粒を含む
第76図 P L 91	306 79-O-8 埋没土	土師器	底部 1/4 - (7.6) -	酸化 にぶい黄褐色	底面に木葉痕。	白色粒、黒色粒等の 砂粒を含む
第76図 P L 91	307 79-S-1 埋没土	土師器 壺	底部 1/2 - (7.0) -	酸化 にぶい黄褐色	底面に木片状、糸状痕跡が残る。	白色粒、黒色粒等の 砂粒を含む
第76図 P L 91	308 79-R-3 埋没土	土師器	底部 1/2 - (9.0) -	酸化 暗褐色	外面に縦位竈撫で。底面に木葉痕。断面に黒化層が見られる。	白色粒、黒色粒等の 砂粒を含む
第76図 P L 91	309 69-O-20 埋没土	土師器 甕	底部片 - (10.0) -	酸化 赤褐色	底部面に布目痕。	白色粒、黒色粒等の 砂粒を含む
第77図 P L 80	310 グリッド 79-R-3	土師器 台付甕	4/5 11.3 7.0 19.9	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。台部刷毛目後撫で。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。漆付き。単位不明瞭。台部撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第77図 P L 80	311 グリッド 79-K-6	土師器 台付甕	口縁～胴部下位1/2 11.2 - -	酸化 橙色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第77図 P L 80	312 グリッド 79-P-3	土師器 台付甕	口縁～胴部中位1/2 (12.0) - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第77図 P L 80	313 グリッド 69-L-20	土師器 台付甕	口縁～胴部上位1/2 13.0 - -	酸化 灰黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第77図 P L 80	314 グリッド 69-N-15	土師器 台付甕	口縁～胴部中位1/2 11.2 - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。 指頭痕あり。	白色粒、黒色粒を 含む
第77図 P L 80	315 グリッド 79-K-1	土師器 台付甕	口縁～胴部上位2/3 13.3 - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第77図 P L 80	316 グリッド 69-L-20	土師器 台付甕	口縁～胴部上位1/4 (12.8) - -	酸化 にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。	白色粒、石英を含 む
第77図 P L 80	317 グリッド 79-S-5	土師器 台付甕	口縁～胴部中位1/4 (14.5) - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。頸部撫で。胴部竈撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第77図 P L 80	318 グリッド 79-M-1	土師器 台付甕	口縁部～胴部下位 13.5 - -	酸化 にぶい赤褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第77図 P L 80	319 グリッド 69L-20.79L-1	土師器 台付甕	口縁部～胴部上位 15.1 - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。 指頭痕あり。	白色粒、黒色粒を 含む
第77図 P L 80	320 グリッド 69-L-20	土師器 台付甕	口縁～胴部上位1/5 (13.0) - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第77図 P L 80	321 グリッド 69-L-20	土師器 台付甕	口縁～胴部上位1/3 (14.0) - -	酸化 灰黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第77図 P L 80	322 グリッド 69-N-15	土師器 台付甕	口縁～胴部上位1/3 16.1 - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。頸部撫で。胴部竈撫で。	白色粒、黒色粒、 雲母、礫を含む
第78図 P L 80	323 グリッド 69-M-13	土師器 台付甕	口縁～胴部下位2/5 15.6 - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。	白色粒、褐色粒、 片岩、雲母を含む
第78図 P L 80	324 グリッド 79-Q-5	土師器 台付甕	口縁～胴部上位1/4 (15.0) - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第78図 P L 80	325 グリッド 69-L-13	土師器 台付甕	口縁～胴部上位1/4 (18.9) - -	酸化 にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。	褐色粒、黒色粒、 雲母を含む
第78図 P L 80	326 グリッド 79-P-3	土師器 台付甕	胴上位～台中位1/2 - - -	酸化 褐色	外面：胴部～台部刷毛目。 内面：胴部～台部竈撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第78図 P L 80	327 グリッド 69-L-13	土師器 台付甕	台部1/3 - (11.4) -	酸化 にぶい黄褐色	外面：台部刷毛目後撫で。 内面：台部竈撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第78図 P L 80	328 グリッド 79-N-4	土師器 台付甕	底部～台部 - 8.2 -	酸化 にぶい黄褐色	外面：台部刷毛目後撫で。 内面：台部竈撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第78図 P L 80	329 グリッド 79-Q-2	土師器 台付甕	胴部下位～台部 - - -	酸化 にぶい赤褐色	外面：胴部～台部刷毛目。 内面：胴部～台部竈撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第78図 P L 80	330 グリッド 79-O-3	土師器 台付甕	口縁～胴部下位1/2 (9.6) - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。頸部竈撫で。胴部刷毛目、竈撫で。 内面：口縁部横撫で。胴部刷毛目、竈撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第78図 P L 80	331 グリッド 79-O-3	土師器 甕	口縁～胴部中位1/4 13.8 - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部刷毛目後横撫で。胴部竈磨き。 内面：口縁部横撫で。胴部竈磨き。 指頭痕あり。	白色粒、黒色粒を 含む
第78図 P L 80	332 グリッド 79-P-3	土師器 台付甕	胴中位～台上位1/2 - - -	酸化 褐色	外面：胴部～台部刷毛目。 内面：胴部～台部竈撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第78図 P L 80	333 グリッド 79-L-5	土師器 小形甕	口縁～胴部下位1/3 (11.0) - -	酸化 灰黄褐色	外面：口縁部竈磨き。胴部上半部刷毛目、下半部竈削り。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。	角閃石、白色粒、 黒色粒を含む
第78図 P L 80	334 グリッド 79-S-2	土師器 甕	口縁～胴部下位1/4 (12.8) - -	酸化 にぶい褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。	白色粒、角閃石、 石英を含む
第78図 P L 80	335 グリッド 69-K-13・15	土師器 甕	口縁～胴部下位1/2 14.4 - -	酸化 橙色	外面：口縁部横撫で。頸部刷毛目。胴部刷毛目後竈撫で。 内面：口縁部横撫で。頸部竈磨き、竈削り。胴部竈磨き、竈撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第79図 P L 81	336 グリッド 69-O-17	土師器 台付甕	口縁～底部2/3 (15.0) - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部刷毛目。胴部刷毛目後竈撫で。 内面：口縁部刷毛目。胴部竈撫で。底部刷毛目。	白色粒、黒色粒を 含む
第79図 P L 81	337 グリッド 69-O-17	土師器 甕	口縁～胴部下位2/3 14.9 - -	酸化 暗褐色	外面：口縁部～胴部上半部刷毛目、胴部下半部竈撫で。 内面：口縁部刷毛目。胴部竈撫で。	白色粒、褐色粒を 含む
第79図 P L 81	338 グリッド 79-S-3	土師器 甕	口縁～胴部下位1/4 (14.8) - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部上半部刷毛目、下半部竈撫で。 内面：口縁部横撫で。胴部上半部竈削り・竈撫で、下半部刷毛目。	白色粒、黒色粒を 含む
第79図 P L 81	339 グリッド 7面	土師器 台付甕	胴部上位～台部2/3 - (8.4) -	酸化 にぶい橙色	外面：胴部～台部刷毛目。 内面：胴部～台部刷毛目。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第79図 P L 81	340 グリッド C黒粘土面	土師器 台付甕	口縁～胴部中位1/3 14.9 - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部上半部竈撫で、下半部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第79図 P L 81	341 グリッド 69-O-18	土師器 台付甕	胴部下位2/3 - - -	酸化 褐色	外面：胴部上半部竈撫で、下半部刷毛目。 内面：胴部竈撫で。	褐色粒、黒色粒、 礫を含む
第79図 P L 81	342 グリッド 79-L-1	土師器 台付甕	口縁～胴部下位3/5 (14.8) - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部竈撫で。竈削り。	白色粒、黒色粒を 含む
第79図 P L 81	343 グリッド 79-S-2	土師器 台付甕	胴部中位～台部 - 8.0 -	酸化 にぶい橙色	外面：胴部竈撫で。刷毛目。台部竈撫で。 内面：胴部～台部竈撫で。	白色粒、黒色粒を 含む



遺物観察表

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第79図 344 P L 81	グリッド 79-L-2	土師器 台付甕	胴部下位～台部 - 9.2 -	酸化 におい黄褐色	外面：胴部縦撫で後刷毛目、台部横撫で。 内面：胴底部縦撫で。台部刷毛目。	白色粒、黒色粒を含む
第79図 345 P L 81	グリッド 79-P-4	土師器 台付甕	底部～台部1/2 - 9.0 -	酸化 におい赤褐色	外面：台部刷毛目。砂粒の多い粘土付着。 内面：台部縦撫で後刷毛目。	白色粒、黒色粒を含む
第80図 346 P L 81	グリッド 79-S-2	土師器 甕	口縁～胴部下位2/3 (16.7) - -	酸化 におい褐色	外面：口縁部横撫で。頸部縦撫で。胴部縦削り。 内面：口縁部横撫で。胴部縦撫で。	白色粒、角閃石、 礫を含む
第80図 347 P L 81	グリッド 69-L-20	土師器 甕	口縁部～胴部1/6 (22.6) - -	酸化 におい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部縦撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第80図 348 P L 81	グリッド 79-P-1	土師器 鉢	口縁部～体部1/3 (24.6) - -	酸化 におい黄褐色	外面：口縁部横撫で。体部縦撫で。指頭痕あり。 内面：口縁部縦撫で。体部刷毛目。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第80図 349 P L 81	グリッド 79-M-5	土師器 壺	口縁部～胴部上位 (15.8) - -	酸化 におい褐色	外面：口縁部横撫で。口辺部縦磨き。頸部縦撫で。胴部縦磨き。 内面：口縁部縦磨き。胴部縦撫で。	白色粒、黒色粒、 礫を含む
第80図 350 P L 81	グリッド 79-M-5	土師器 甕	口縁部～胴部上位 12.7 - -	酸化 におい黄褐色	外面：口縁部刷毛目後横撫で。頸部～胴部縦磨き。 内面：口縁部刷毛目。胴部縦撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第80図 351 P L 81	グリッド 79-P-4	土師器 甕	口縁部～胴部上位3/5 (13.0) - -	酸化 におい灰褐色	外面：口縁部横撫で。口縁部～胴部縦磨き。 内面：口縁部縦磨き。胴部縦撫で。	角閃石、白色粒、 黒色粒を含む
第80図 352 P L 81	グリッド 79-M-5	土師器 壺	口縁部～頸部3/5 12.6 - -	酸化 におい黄褐色	外面：口縁部刷毛目後横撫で。口辺部～頸部刷毛目後縦磨き。 内面：口縁部～頸部刷毛目後縦磨き。	褐色粒、黒色粒を含む
第80図 353 P L 81	グリッド 79-K-3・4	土師器 壺	口唇部除く口縁～頸部 - - -	酸化 におい褐色	外面：口辺部横撫で、刷毛目。頸部横撫で。 内面：口辺部刷毛目。頸部撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒、礫を含む
第80図 354 P L 81	グリッド 79-O-2	土師器 高坏	口縁部～体部1/6 (13.0) - -	酸化 明褐色	外面：坏部縦磨き。坏底部刷毛目。 内面：坏部縦磨き。	角閃石、褐色粒を含む
第80図 355 P L 81	グリッド 79-P-3	土師器 壺	胴部上位～底部2/3 - 6.9 -	酸化 におい赤褐色	外面：胴部上半部縦削り、胴部下半部刷毛目後縦磨き。底部縦削り。 内面：胴部～底部縦撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第80図 356 P L 81	グリッド 69-O-17	土師器 甕	胴部上位～底部3/4 - 5.6 -	酸化 明赤褐色	外面：胴部縦磨き。底部縦削り。 内面：胴部～底部縦撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第80図 357 P L 81	グリッド 69-O-17	土師器 埴	1/3 (15.8) 2.1 5.0	酸化 明褐色	外面：口縁部～底部縦削り後縦磨き。 内面：口縁部～底部縦磨き。	褐色粒、白色粒を含む
第80図 358 P L 81	グリッド 79-L-1	土師器 埴	口縁部～底部1/2 - - -	酸化 におい褐色	外面：口縁部横撫で後縦磨き。胴部～底部縦磨き。 内面：口縁部～底部縦磨き。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第80図 359 P L 81	グリッド 79-J-7	土師器 埴	口縁部2/3欠損 - 2.7 -	酸化 におい黄褐色	外面：口縁部～底部調整不明瞭。 内面：口縁部～底部縦撫で。	褐色粒、黒色粒を含む
第80図 360 P L 81	グリッド 79-Q-2	土師器 ミニチュア	ほぼ完形 9.4 - 4.2	酸化 におい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部縦撫で。底部縦磨き。 内面：口縁部～底部縦撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第81図 361 P L 81	グリッド 79-P-3	土師器 埴	7/8 10.9 (5.0) 17.9	酸化 褐色	外面：口縁部縦磨き。胴部～底部縦削り。 内面：口縁部縦磨き。胴部～底部縦撫で。単位不明瞭。	白色粒、黒色粒を含む
第81図 362 P L 81	グリッド 79-L-1	土師器 埴	口縁部4/5欠損 (10.7) 4.7 15.8	酸化 におい黄褐色	外面：口縁部～胴部縦磨き。底部縦撫で。 内面：口縁部～底部縦撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第81図 363 P L 81	グリッド 79-S-2	土師器 埴	3/4 10.1 3.4 13.1	酸化 におい黄褐色	外面：口縁部～胴部縦磨き。底部縦撫で。 内面：口縁部刷毛目後縦磨き。胴部～底部縦撫で。	褐色粒、黒色粒を含む
第81図 364 P L 81	グリッド 79-L-5	土師器 ミニチュア	胴部上位～底部 - 3.1 -	酸化 褐色	外面：胴部縦磨き。底部撫で。 内面：胴部縦撫で。	褐色粒、白色粒を含む
第81図 365 P L 81	グリッド 69-O-17	土師器 ミニチュア	口縁部欠損 - 2.6 -	酸化 におい褐色	外面：胴部刷毛目後縦磨き。底部撫で。胴部下位焼成後穿孔。 内面：胴部～底部縦撫で。	褐色粒、白色粒を含む
第81図 366 P L 81	グリッド 69-O-17	土師器 埴	胴部上位～底部 - - -	酸化 褐色	外面：胴部上半部縦撫で。胴部下半部～底部縦削り。 内面：胴部～底部縦撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第81図 367 P L 81	グリッド 79-L-3	土師器 埴	頸部～底部1/2 - 2.5 -	酸化 におい褐色	外面：頸部～胴部上半部縦磨き、胴部下半部縦撫で。底部撫で。 内面：頸部～底部縦撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第81図 368 P L 81	グリッド 69-O-18	土師器 埴	口縁～胴部中位1/5 (13.8) - -	酸化 褐色	外面：口縁部～胴部器面荒れ調整不明瞭。 内面：口縁部横撫で。胴部縦磨き。	白色粒、礫を含む
第81図 369 P L 81	グリッド 79-O-3	土師器 注口	口縁部～体部1/4 (10.0) - -	酸化 におい黄褐色	外面：口縁部～体部撫で。 内面：口縁部～体部撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第81図 370 P L 81	グリッド 69-M-13	土師器 高坏	1/3 (21.3) 11.0 12.2	酸化 明褐色	外面：坏部～脚部調整不明瞭。 内面：坏部調整不明瞭。脚部刷毛目。裾部横撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第81図 371 P L 81	グリッド 79-Q-3	土師器 高坏	口縁部～脚部1/2 11.3 - -	酸化 におい褐色	外面：口縁部刷毛目・横撫で後縦磨き。坏部～脚部刷毛目後縦磨き。 内面：坏部縦磨き。脚部上半部縦撫で、下半部横撫で。	白色粒、褐色粒、 角閃石を含む
第81図 372 P L 81	グリッド 69-O-18	土師器 高坏	坏部のみ口縁一部欠損 13.0 - -	酸化 明褐色	外面：口縁部横撫で。坏上半部撫で、下半部縦削り。坏底部撫で。 内面：口縁部横撫で。坏部縦撫で。	褐色粒、白色粒を含む
第81図 373 P L 81	グリッド 69-O-17	土師器 高坏	坏底部～脚部上位 - - -	酸化 褐色	外面：脚部撫で、縦磨き。 内面：脚部縦磨き、縦撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第81図 374 P L 81	グリッド 69-M-19	土師器 高坏	脚部7/8 - 10.3 -	酸化 褐色	外面：脚部縦磨き。裾部横撫で。 内面：脚部上半部撫で、下半部縦撫で。裾部横撫で。	白色粒、角閃石、 礫を含む
第81図 375 P L 81	グリッド 79-Q-2	土師器 器台	脚部 - 10.5 -	酸化 におい赤褐色	外面：脚部縦磨き。 内面：脚部刷毛目。	白色粒、黒色粒を含む
第81図 376 P L 81	グリッド 1区	土師器 器台	ほぼ完形 7.7 11.0 8.5	酸化 褐色	外面：口縁部横撫で。器受部～脚部縦磨き。 内面：口縁部縦磨き。脚部縦撫で。	褐色粒、角閃石、 白色粒、黒色粒
第81図 377 P L 81	グリッド 79-Q-3	土師器 器台	2/3 6.6 11.0 7.6	酸化 赤褐色	外面：口縁部横撫で。器受部～脚部上半部刷毛目、下半部横撫で。 内面：口縁部横撫で。脚部縦撫で。	白色粒、黒色粒、 褐色粒、雲母を含む
第81図 378 P L 81	グリッド 79-R-3	土師器 器台	3/4 9.2 (9.5) 8.0	酸化 明赤褐色	外面：口縁部横撫で。器受部縦撫で。脚部縦磨き。 内面：口縁部縦磨き。脚部上半部縦撫で、下半部横撫で。	黒色粒、白色粒、 礫を含む
第81図 379 P L 81	グリッド 69-O-17	土師器 器台	口縁～脚部中位1/6 (10.2) - -	酸化 灰黄褐色	外面：口縁部横撫で。器受部～脚部縦撫で。 内面：口縁部横撫で。器受部～脚部縦撫で。	白色粒を含む
第81図 380 P L 81	グリッド 79-L-2	土師器 器台	口縁～脚部中位5/6 7.6 - -	酸化 暗褐色	外面：口縁部～脚部縦磨き。 内面：口縁部縦磨き。脚部縦撫で。	角閃石、白色粒を含む
第81図 381 P L 81	グリッド 79-L-2	土師器 器台	口縁～脚部中位3/5 (9.1) - -	酸化 褐色	外面：口縁部横撫で。器受部縦削り。脚部縦磨き。 内面：口縁部縦磨き。脚部縦撫で。	白色粒、褐色粒を含む
第81図 382 P L 81	グリッド 69-P-18	土師器 器台	脚部下位欠損 9.0 - -	酸化 褐色	外面：脚部縦磨き。 内面：脚部縦磨き。 全体的に器面摩耗し調整不明瞭。	白色粒、角閃石、 礫を含む

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第81図 P L 81	383 グリッド 79-M-2	土師器 器台	器受部～脚部上位 - - -	酸化 にぶい黄橙色	外面：器受部～脚部磨き。 内面：器受部磨き。脚部磨き、磨きで。	白色粒、石英を含む
第81図 P L 81	384 グリッド 69-L-20	土師器 器台	底部～脚部2/3 - - -	酸化 にぶい橙色	外面：脚部磨き。 内面：脚部磨き、磨きで。	角閃石、白色粒、 黒色粒を含む
第82図 P L 81	385 グリッド 69-M-19	土師器 器台	2/3 12.4 - 5.6	酸化 橙色	外面：口縁部横撫で。体部～底部磨き。 内面：口縁部～底部磨き。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第82図 P L 81	386 グリッド 69-L-16	土師器 器台	口縁部1/4欠損 12.1 - 4.9	酸化 褐色	外面：口縁部横撫で。体部～底部磨き。 内面：口縁部～体部横撫で。底部磨きで。	白色粒、黒色粒を含む
第82図 P L 81	387 グリッド 79-Q-2	土師器 器台	4/5 12.1 - 4.2	酸化 褐色	外面：口縁部横撫で。体部磨きで。底部磨き。 内面：口縁部～体部横撫で。底部磨きで。	白色粒、角閃石、 石英を含む
第82図 P L 81	388 グリッド 79-Q-2	土師器 器台	1/2 (11.0) - 5.7	酸化 明赤褐色	外面：口縁部横撫で。体部磨きで。底部磨き。 内面：口縁部～体部横撫で。底部磨きで。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第82図 P L 81	389 グリッド 69-L-19	土師器 器台	3/4 12.4 - 5.2	酸化 明赤褐色	外面：口縁部横撫で。体部～底部磨き。 内面：口縁部～体部横撫で。底部磨きで。	褐色粒、白色粒を含む
第82図 P L 81	390 グリッド 79-P-2	土師器 器台	7/8 12.3 9.0 3.8	酸化 褐色	外面：口縁部横撫で。体部磨きで。底部磨き。 内面：口縁部～体部横撫で。底部磨きで。	白色粒、黒色粒を含む
第82図 P L 81	391 グリッド 79-P-2	土師器 器台	4/5 11.9 10.7 3.2	酸化 褐色	外面：口縁部横撫で。体部磨きで。底部磨き。 内面：口縁部～体部横撫で。底部磨きで。	白色粒、黒色粒を含む
第82図 P L 81	392 グリッド 79-M-1	須恵器 器台	完形 12.5 7.7 3.3	還元 灰白色	外面：口縁部～体部口調整。底部右回転磨き後磨きで。 内面：口縁部～底部口調整。	白色粒、黒色粒を含む
第82図 P L 81	393 グリッド 79-P-2	土師器 器台	3/4 12.0 9.3 3.4	酸化 にぶい赤褐色	外面：口縁部横撫で。体部磨きで。底部磨き。 内面：口縁部～体部横撫で。底部磨きで。	白色粒、黒色粒を含む
第82図 P L 82	394 グリッド 79-M-1	土師器 器台	4/5 11.8 9.0 2.9	酸化 にぶい赤褐色	外面：口縁部横撫で。体部磨きで。底部磨き。 内面：口縁部～体部横撫で。底部磨きで。	白色粒、黒色粒、 石英を含む
第82図 P L 82	395 グリッド 79-P-2	土師器 器台	3/4 17.4 7.7 7.9	酸化 褐色	外面：口縁部横撫で。体部磨きで。底部磨き。 内面：口縁部～体部横撫で。底部磨きで。	白色粒、黒色粒、 角閃石を含む
第82図 P L 82	396 グリッド 69-L-19	土師器 ミニチュア	4/5 5.3 4.2 7.1	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目、磨きで。底部磨きで。 内面：口縁部刷毛目。胴部～底部磨きで。	白色粒、黒色粒を含む
第82図 P L 82	397 グリッド 69-L-19	土師器 ミニチュア	ほぼ完形 (5.0) 4.6 6.3	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部～底部磨きで。 内面：口縁部～胴部上半部磨きで。胴部下半部～底部磨きで。	白色粒、黒色粒を含む
第82図 P L 82	398 グリッド 69-L-19	土師器 ミニチュア	1/2 5.7 4.3 6.9	酸化 にぶい褐色	外面：口縁部磨きで。胴部磨きで。底部磨きで。 内面：口縁部刷毛目。胴部～底部磨きで。	白色粒、黒色粒を含む
第82図 P L 82	399 グリッド 69-O-17	土師器 ミニチュア	7/8 5.5 4.2 5.9	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部指頭痕。胴部刷毛目、磨きで。底部磨きで。 内面：口縁部刷毛目。胴部～底部磨きで。	褐色粒、黒色粒を含む
第82図 P L 82	400 グリッド 79-L-1	土師器 ミニチュア	3/4 (5.5) 4.4 6.2	酸化 にぶい褐色	外面：口縁部横撫で。胴部磨きで。底部磨きで。 内面：口縁部～底部磨きで。	白色粒、黒色粒を含む
第82図 P L 82	401 グリッド 79-P-4	土師器 ミニチュア	ほぼ完形 5.6 3.5 5.7	酸化 褐色	外面：口縁部～胴部磨き。底部磨きで。 内面：口縁部磨き。胴部～底部磨きで。	白色粒、角閃石を含む
第82図 P L 82	402 グリッド 79-S-2・4	土師器 ミニチュア	口縁～胴中位2/3欠 3.5 3.9 5.4	酸化 にぶい褐色	外面：口縁部磨きで。胴部磨きで。 内面：口縁部磨きで。胴部磨きで。	白色粒、角閃石を含む
第82図 P L 82	403 グリッド 69-L-19	土師器 ミニチュア	1/2 (5.4) 3.6 4.3	酸化 にぶい褐色	外面：口縁部～胴部磨きで。底部磨きで。 内面：口縁部～胴部刷毛目。底部磨きで。	白色粒、黒色粒を含む
第82図 P L 82	404 グリッド 79-O-3	土師器 ミニチュア	3/4 4.3 2.3 5.7	酸化 明褐色	外面：口縁部～底部磨きで。 内面：口縁部～胴部磨きで。底部磨きで。	白色粒、黒色粒を含む
第82図 P L 82	405 グリッド 69-L-19	土師器 ミニチュア	口縁部1/3欠損 5.7 2.8 5.6	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部～底部磨きで。 内面：口縁部刷毛目。胴部～底部磨きで。	褐色粒、石英を含む
第82図 P L 82	406 グリッド 79-K-4	土師器 ミニチュア	口縁部1/5欠損 8.0 4.6 5.3	酸化 褐色	外面：口縁部～底部磨きで。 内面：口縁部～底部磨きで。	白色粒、褐色粒、 角閃石を含む
第82図 P L 82	407 グリッド 69-L-19	土師器 ミニチュア	ほぼ完形 5.9 4.3 5.2	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部～底部磨きで。 内面：口縁部刷毛目。胴部～底部磨きで。	白色粒、黒色粒を含む
第82図 P L 82	408 グリッド 69-R-20	土師器 ミニチュア	頸部～底部2/3 - 3.0 -	酸化 褐色	外面：胴部調整不明瞭。胴部上半部磨きで、下半部磨きで。底部磨きで。 内面：胴部～底部磨きで。	白色粒、黒色粒、 礫を含む
第82図 P L 82	409 グリッド 79-S-2	土師器 ミニチュア	口縁～胴部下位2/5 (6.8) - -	酸化 にぶい褐色	外面：口縁部横撫で。胴部上半部磨きで、下半部磨きで。 内面：口縁部横撫で。胴部磨きで。	白色粒、黒色粒を含む
第82図 P L 82	410 グリッド 79-L-3	土師器 ミニチュア	頸部～底部 - 4.7 -	酸化 灰黄褐色	外面：胴部～底部磨きで。 内面：胴部～底部磨きで。	白色粒、褐色粒を含む
第82図 P L 82	411 グリッド 69-K-17	土師器 ミニチュア	胴部破片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：胴部磨き、磨きで。 内面：胴部磨きで。	角閃石、石英を含む
第82図 P L 82	412 グリッド 69-L-19	土師器 ミニチュア	底部～台部 - 4.8 -	酸化 にぶい黄褐色	外面：底部刷毛目。台部磨きで。 内面：底部磨きで。台部磨きで。	白色粒、黒色粒を含む
第82図 P L 82	413 グリッド 69-O-18	土師器 ミニチュア	胴部中位～底部 - 3.9 -	酸化 褐色	外面：胴部磨き。底部磨きで。 内面：胴部～底部磨きで。	白色粒、黒色粒を含む
第82図 P L 82	414 グリッド 69-M-16	土師器 ミニチュア	完形 2.8 3.3 2.7	酸化 にぶい褐色	外面：口縁部～底部磨きで。指頭痕あり。手捏土器 内面：口縁部～底部磨きで。指頭痕あり。	砂粒を含む
第82図 P L 82	415 グリッド 79-L-5	土師器 ミニチュア	3/4 1.4 2.5 1.6	酸化 にぶい褐色	外面：口縁部～底部磨きで。手捏土器 内面：口縁部～底部磨きで。	砂粒を含む
第82図 P L 82	416 グリッド 79-P-2	土師器 ミニチュア	胴部下位～底部 - 6.9 -	酸化 にぶい褐色	外面：胴部磨きで。底部木葉痕。 内面：胴部～底部磨きで。	砂粒を含む
第82図 P L 82	417 グリッド 69-S-14	石製品 管玉	長さ1.6 直径0.4 孔径0.2 重さ0.5g		蛇紋岩	
第82図 P L 82	418 グリッド 69-S-14	石製品 管玉	長さ1.5 直径0.5 孔径0.3 重さ0.6g		黒曜石	
第82図 P L 82	419 グリッド 69-S-14	石製品 小玉	直径0.7 厚さ0.5 孔径0.15 重さ0.3g		蛇紋岩	
第82図 P L 82	420 グリッド 69-S-14	土製品 小玉	直径0.7 厚さ0.6 孔径0.1 重さ0.3g	酸化 褐色	表面は黒色を呈し、整形は丁寧。	
第82図 P L 82	421 グリッド 69-S-14	土製品 小玉	直径0.7 厚さ0.5 孔径0.1 重さ0.3g	酸化 褐色	表面は黒色を呈し、整形は丁寧。	

遺物観察表

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第82図 P L 82	422 グリッド 69-S-14	石製品 小玉	直径0.65 厚さ0.4 孔径0.2 重さ0.2g		蛇紋岩	
第82図 P L 82	423 グリッド 69-S-14	石製品 小玉	直径0.7 厚さ0.2 孔径0.2 重さ0.2g		滑石	
第82図 P L 82	424 グリッド 69-S-14	土製品 小玉	直径0.7 厚さ0.6 孔径0.1 重さ0.3g	酸化 褐灰色	表面は黒色を呈し、整形は丁寧。	
第82図 P L 82	425 グリッド 69-S-14	石製品 小玉	直径0.6 厚さ0.5 孔径0.2 重さ0.3g		滑石	
第82図 P L 82	426 グリッド 69-S-14	石製品 小玉	直径0.7 厚さ0.2 孔径0.1 重さ0.1g		滑石	
第82図 P L 82	427 グリッド 69-I-14	石製品 帯石	長軸3.7 短軸2.3 厚さ0.6 重さ11.9g		珪質頁岩	
第82図 P L 82	428 グリッド 79-M-3	石製品 紡錘車	直径4.1 厚さ2.0 孔径0.6 重さ46.3g		蛇紋岩	
第82図 P L 82	429 グリッド 79-O-5	土製品 紡錘車	直径(4.4)厚さ1.5 孔径(0.7)重さ15.2g	酸化 淡黄色	半球状断面を呈し、中央に円孔を持つ。 紡錘車状土製品、推定直径5.8cm。	砂粒を含む
第83図 P L 82	430 グリッド 69-L-20	土師器 甕	4/5 17.7 6.0 33.3	酸化 橙色	外面：口縁部横撫で。胴部篋削り。底部篋撫で。 内面：口縁部横撫で。胴部～底部篋撫で。	白色粒、褐色粒を含む
第83図 P L 82	431 グリッド 79-P-2	土師器 甕	口縁～胴部下位3/4 (20.5) - -	酸化 にぶい橙色	外面：口縁部～頸部横撫で。胴部篋削り。 内面：口縁部～頸部横撫で。胴部篋撫で。	角閃石、白色粒、褐色粒を含む
第83図 P L 82	432 グリッド 1区	土師器 甕	口縁～胴部上位1/3 (23.0) - -	酸化 明褐色	外面：口縁部横撫で。胴部篋削り。 内面：口縁部横撫で。胴部篋撫で。	角閃石、白色粒を含む
第83図 P L 82	433 グリッド 1区	土師器 甕	口唇部除く口縁～底部 - 4.2 - -	酸化 明赤褐色	外面：口辺部横撫で。胴部～底部篋削り。 内面：口辺部横撫で。胴部～底部篋撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第83図 P L 82	434 グリッド 69-P-20	土師器 甕	胴部上位～底部2/3 - 5.7 - -	酸化 灰黄褐色	外面：胴部～底部篋削り。 内面：胴部～底部篋撫で。	白色粒、角閃石、雲母、礫を含む
第84図 P L 82	435 グリッド 69-L-20	土師器 甕	口縁部～胴部中位 23.0 - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部篋削り。 内面：口縁部横撫で。胴部篋撫で。	白色粒、褐色粒、石英、礫を含む
第84図 P L 82	436 グリッド C黒粘土面	土師器 台付甕	口縁～胴部上位3/4 18.0 - -	酸化 橙色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部篋撫で。胴部篋撫で(単位不明瞭)。	白色粒、褐色粒、黒色粒を含む
第84図 P L 82	437 グリッド 79-P-2	土師器 小形甕	7/8 13.2 5.2 14.8	酸化 褐色	外面：口縁部横撫で。胴部～底部篋削り。 内面：口縁部横撫で。胴部～底部篋撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第84図 P L 82	438 グリッド 1区	土師器 小形甕	口縁～胴部下位2/3 10.8 - -	酸化 褐色	外面：口縁部横撫で。胴部篋削り。 内面：口縁部横撫で。胴部篋撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第84図 P L 82	439 グリッド 79-P-2	土師器 小形甕	口縁～胴部下位2/3 11.6 - -	酸化 褐色	外面：口縁部横撫で。胴部篋削り。 内面：口縁部横撫で。胴部篋撫で。	角閃石、白色粒を含む
第84図 P L 82	440 グリッド 79-P-3	土師器 甕	3/5 (12.8) 7.4 14.3	酸化 にぶい赤褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。底部篋撫で。 内面：口縁部横撫で。胴部～底部篋撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第84図 P L 82	441 グリッド 69-P-20	土師器 小形甕	ほぼ完形 11.8 6.4 14.5	酸化 褐色	外面：口縁部横撫で。胴部～底部篋削り。 内面：口縁部横撫で。胴部～底部篋撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第84図 P L 82	442 グリッド 69-P-18	土師器 甕	胴部下位～底部1/3 - (7.0) - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：胴部篋撫で。底部篋削り。 内面：胴部篋撫で。底部削り。	白色粒、黒色粒、褐色粒を含む
第84図 P L 82	443 グリッド 69-K-15	土師器 甕	胴部下位～底部3/5 - 6.9 - -	酸化 にぶい橙色	外面：胴部篋削り。底部篋撫で。 内面：胴部～底部篋撫で。	白色粒、礫を含む
第84図 P L 82	444 グリッド 79-L-3	土師器 甕	胴部下位～底部 - 5.3 - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：胴部篋撫で。底部削り。 内面：胴部篋撫で。底部削り。	白色粒、黒色粒、褐色粒を含む
第84図 P L 82	445 グリッド 69-L-20	土師器 甕	胴部下位～底部1/2 - (5.5) - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：胴部～底部篋撫で。底部削り。 内面：胴部篋撫で。底部削り。	白色粒、黒色粒、褐色粒を含む
第84図 P L 82	446 グリッド 79-K-5	土師器 甕	胴部下位～底部1/4 - (8.0) - -	酸化 灰黄色	外面：胴部篋磨き。底部木葉痕。 内面：胴部～底部刷毛目。	白色粒、黒色粒、褐色粒を含む
第85図 P L 82	447 グリッド 79-R-2	須恵器 坏	完形 8.4 4.6 2.1	還元 にぶい橙色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部右回転系切り。 内面：口縁部～体部ロクロ調整。	石英を含む
第85図 P L 82	448 グリッド 79-L-2	須恵器 かわらけ	1/2 8.7 4.8 1.4	還元 橙色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部右回転系切り、棒状の痕跡が数条あり。 内面：口縁部～体部ロクロ調整。	褐色粒、雲母を含む
第85図 P L 82	449 グリッド 79-P-2	土製品 土錘	長さ4.0 直径1.25 孔径0.6 重さ0.5g	酸化	篋による整形。	砂粒を含む
第85図 P L 82	450 グリッド 69-Q-14	土製品 土錘	長さ3.7 直径1.4 孔径0.5 重さ7.0g	酸化 灰黄色	篋による整形。	砂粒を含む
第85図 P L 82	451 グリッド 79-L-1	土製品 土錘	長さ3.7 直径0.9 孔径0.3 重さ2.4g	酸化 灰褐色	篋による整形。	砂粒を含む
第85図 P L 82	452 グリッド 79-I-9	土製品 土錘	長さ(2.8)直径1.9 孔径0.5 重さ8.7g	酸化 にぶい黄褐色	篋による整形。	砂粒を含む
第85図 P L 82	453 グリッド 79-P-3	石製品 棒状礫	長軸24.8 短軸7.0 厚さ5.2 重さ1574g		珪質準片岩	
第85図 P L 82	454 グリッド 79-P-5	石製品 こもあみ石	長軸18.5 短軸7.5 厚さ4.7 重さ1030g		流紋岩	
第85図 P L 82	455 グリッド 79-L-2	石製品	長軸4.3 短軸4.2 厚さ0.9 重さ35.0g		珪質頁岩	
第85図 P L 82	456 グリッド 79-K-4	石製品	長軸7.4 短軸6.4 厚さ2.7 重さ112.3g		白色凝灰岩	
第85図 P L 82	457 グリッド 69-H,N-13	石製品 こもあみ石	長軸15.1 短軸5.8 厚さ4.5 重さ604.1g		砂岩	
第85図 P L 82	458 グリッド 69-M,N-13	石製品 こもあみ石	長軸16.1 短軸7.0 厚さ4.1 重さ799.0g		粗粒輝石安山岩	
第85図 P L 82	459 グリッド 79-P-3	石製品 台石	長軸19.0 短軸15.0 厚さ15.0 重さ3050g		二ツ岳石	
第85図 P L 82	460 グリッド 69-I-15	古 銭			聖宋元宝(初鑄年 1101年)	

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第85図 P L 82	461 グリッド 69-I-15	古銭			景德元宝(初铸年1044年)	
第85図 P L 82	462 グリッド 69-G-14	古銭			天禧通宝(初铸年1017年)	
第85図 P L 82	463 グリッド 69-K-13	古銭			至道元宝(初铸年995年)	
第85図 P L 82	464 グリッド 79-S-9	古銭			皇宋通宝(初铸年1039年)	
第85図 P L 82	465 グリッド 79-N-2	古銭			元豊通宝(初铸年1078年)	
第85図 P L 82	466 グリッド 69-G-13	古銭			不明	
第85図 P L 82	467 グリッド 79-M-1	古銭			永楽通宝(初铸年1408年)	
第85図 P L 82	468 グリッド 69-O-17	古銭			天保通宝 天保年間(1830~44年)	

(2区)

第88図 P L 83	1 1号埋甕 埋没土	土師器 埋甕	頸部 - - -	酸化 にぶい黄橙色	外面:頸部刷毛目。 内面:	白色粒、黒色粒等 の砂粒を多く含む
第88図 P L 83	2 1号埋甕 埋没土	土師器 埋甕	胴部~底部 - 15.0 -	酸化 にぶい黄橙色	外面:胴部に波状文。 内面:	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第89図 P L 83	1 22号井戸 埋没土	土師器 埴	2/3 9.9 2.5 7.5	酸化 にぶい黄褐色	外面:口縁部刷毛目後磨き。頸部刷毛目。胴部~底部磨き。 内面:口縁部~底部磨き。	角閃石、白色粒、 褐色粒を含む
第89図 P L 83	2 22号井戸 埋没土	土師器 高坏	脚部 - - -	酸化 にぶい黄褐色	外面:坏底部~脚部磨き。 内面:坏底部磨き。脚部磨き。	白色粒、黒色粒を 含む
第94図 P L 83	1 1号住居 埋没土	土師器 坏	完形 12.0 - 4.0	酸化 褐色	外面:口縁部横撫で。体部撫で。底部磨削り。 内面:口縁部横撫で。体部~底部撫で。	角閃石、白色粒、 褐色粒を含む
第94図 P L 83	2 1号住居 埋没土	土師器 鉢	1/4 (13.0) (6.0) 6.3	酸化 灰黄褐色	外面:口縁部~底部磨削り。 内面:口縁部横撫で。胴部~底部磨削り。	角閃石、白色粒を 含む
第94図 P L 83	3 1号住居 埋没土	土師器 埴	頸部~胴部下位1/3 - - -	酸化 暗褐色	外面:頸部撫で。胴部磨削り。 内面:頸部しぼり目。胴部磨削り。	角閃石、褐色粒を 含む
第94図 P L 83	4 1号住居 埋没土	土師器 埴	胴部上位~下位2/5 - - -	酸化 明赤褐色	外面:器面荒れ調整不明瞭。 内面:器面荒れ調整不明瞭。	白色粒、黒色粒、 礫を含む
第94図 P L 83	5 1号住居 埋没土	土師器 甕	口縁~胴部中位1/4 (15.8) - -	酸化 明赤褐色	外面:口縁部横撫で。胴部磨削り。 内面:口縁部横撫で。胴部磨削り。	白色粒、黒色粒を 含む
第95図 P L 83	6 1号住居 埋没土	土師器 甕	口縁~胴部中位1/2 (14.5) - -	酸化 橙色	外面:口縁部横撫で。胴部磨削り。 内面:口縁部横撫で。頸部指頭痕。胴部磨削り。	白色粒、黒色粒、 褐色粒を含む
第95図 P L 83	7 1号住居 埋没土	土師器 甕	口縁~胴部上位1/4 (16.0) - -	酸化 褐色	外面:口縁部横撫で。胴部磨削り。 内面:口縁部横撫で。胴部磨削り。	角閃石、白色粒、 黒色粒を含む
第95図 P L 83	8 1号住居 埋没土	土師器 甕	口縁~胴部上位1/4 (16.5) - -	酸化 明赤褐色	外面:口縁部~胴部横撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部磨削り。	白色粒、黒色粒を 含む
第95図 P L 83	9 1号住居 埋没土	土師器 甕	口縁~胴部下位1/3 (16.6) - -	酸化 にぶい褐色	外面:口縁部横撫で。胴部磨削り。 内面:口縁部横撫で。胴部磨削り。	白色粒、褐色粒を 含む
第95図 P L 83	10 1号住居 埋没土	土師器 甕	口縁~胴部中位1/6 (18.8) - -	酸化 明褐色	外面:口縁部横撫で。胴部磨削り。 内面:口縁部横撫で。胴部磨削り。	白色粒、褐色粒、 片岩を含む
第95図 P L 83	11 1号住居 埋没土	土師器 甕	口縁~胴部下位2/3 18.4 - -	酸化 灰褐色	外面:口縁部横撫で。胴部磨削り。 内面:口縁部横撫で。胴部磨削り。	白色粒、黒色粒を 含む
第95図 P L 83	12 1号住居 埋没土	土師器 甕	3/4 24.6 (10.0) 29.1	酸化 褐色	外面:口縁部横撫で。胴部上半部撫で、下半部~底部磨削り。 内面:口縁部横撫で。胴部磨削り。底部削り。	白色粒、黒色粒、 褐色粒、礫を含む
第97図 P L 83	1 2号住居 埋没土	土師器 小形甕	1/2 (10.8) - 9.4	酸化 にぶい赤褐色	外面:調整不明瞭。 内面:口縁部横撫で。胴部~底部磨削り。	白色粒、黒色粒を 含む
第99図 P L 83	1 4号井戸 埋没土	土師器 坏	3/4 12.2 8.9 3.5	酸化 褐色	外面:口縁部~体部上半部横撫で、下半部磨削り。底部ちじれ目。 内面:口縁部~体部横撫で。底部撫で。	白色粒、黒色粒を 含む
第99図 P L 83	2 4号井戸 埋没土	須恵器 坏	2/3 (12.6) 6.5 4.3	還元 灰白色~黒色	外面:口縁部~体部口調整。底部右回転系切り。 内面:口縁部~底部口調整。	白色粒、黒色粒を 含む
第99図 P L 83	3 4号井戸 埋没土	須恵器 甕	口縁~胴部上位1/5 (42.6) - -	還元 灰色	外面:口縁部~胴部口調整。 内面:口縁部~胴部口調整。	褐色粒、白色粒を 含む
第122図 P L 83	1 30号土坑 埋没土	古銭			皇宋通宝(初铸年1039年)	
第122図 P L 83	2 58号土坑 埋没土	古銭			開元通宝(初铸年621年)	
第122図 P L 83	3 101号土坑 埋没土	古銭			天禧通宝(初铸年1017年)	
第122図 P L 83	4 108号土坑 埋没土	古銭			皇宋通宝(初铸年1039年)	
第122図 P L 83	5 152号土坑 埋没土	古銭			開元通宝(初铸年621年)	
第122図 P L 83	6 154号土坑 埋没土	古銭			皇宋通宝(初铸年1039年)	
第123図 P L 83	7 175号土坑 埋没土	土製品 土錘	長さ 2.8 直径 0.7 孔径 0.3 重さ 1.5g	にぶい褐色		
第123図 P L 83	8 33号土坑 埋没土	土製品 土錘	長さ 3.4 直径 1.1 孔径 0.3 重さ 3.3g	褐色	甕による整形。	砂粒を含む
第123図 P L 83	9 173号土坑 埋没土	土製品 土錘	長さ 3.4 直径 1.1 孔径 0.4 重さ 3.7g	褐灰色		

遺物観察表

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第123図 P L 83	150号土坑 埋没土	石製品 石臼	外径(36.0) 厚さ11.1 重さ3540g		粗粒輝石安山岩	
第123図 P L 83	150号土坑 埋没土	石製品 支柱	長軸23.5 短軸10.6 厚さ10.0 重さ2210g		未固結凝灰岩	
第123図 P L 83	150号土坑 埋没土	石製品 石臼	外径(33.0) 厚さ10.1 重さ5000g		粗粒輝石安山岩	
第123図 P L 83	150号土坑 埋没土	石製品 石臼	外径(33.0) 厚さ7.7 重さ2420g		粗粒輝石安山岩	
第123図 P L 83	155号土坑 埋没土	石製品 磨石	長軸18.6 短軸8.6 厚さ6.5 重さ1621g		粗粒輝石安山岩	
第123図 P L 83	155号土坑 埋没土	石製品 石鉢?	口縁部~胴部 38.0 - 690.9g		粗粒輝石安山岩 内面にスス付着。	
第123図 P L 83	214号土坑 埋没土	石製品 石鉢	口縁部~底部 2020 g (34.0) (20.0) 13.8		粗粒輝石安山岩	
第123図 P L 83	157号土坑 埋没土	石製品	長軸29.9 短軸21.0 厚さ15.5 重さ11.5kg		粗粒輝石安山岩	
第151図 P L 84	10号井戸 埋没土	陶器 鍋	1/2 (43.5) 25.0 -	灰黄褐色	外面:口縁部~胴部ロクロ調整。三足 貼付時に周囲を(筒状、棒状) 内面:口縁部~胴部ロクロ調整。 工具で押さえている。	白色粒、黒色粒を含む
第151図 P L 84	9号井戸 埋没土	石製品 石臼	外径(42.0) 厚さ12.5 重さ7800g		粗粒輝石安山岩	
第151図 P L 84	18号井戸 埋没土	石製品	長軸5.5 短軸5.4 厚さ4.5 重さ192.6g		粗粒輝石安山岩	
第151図 P L 84	10号井戸 埋没土	石製品	長軸21.7 短軸13.0 厚さ6.8 重さ3450g		粗粒輝石安山岩	
第151図 P L 84	10号井戸 埋没土	石製品	長軸12.4 短軸11.0 厚さ5.2 重さ1100g		粗粒安山岩	
第151図 P L 84	12号井戸 埋没土	石製品 板碑	長軸26.0 短軸 12.0 厚さ3.0 重さ -		緑色片岩 第167図-4と接合	
第152図 P L 84	10号井戸 埋没土	石製品 凹石	長軸39.0 短軸 36.1 厚さ21.2 重さ19.7kg		粗粒輝石安山岩	
第152図 P L 84	18号井戸 埋没土	石製品 火輪	長軸26.0 短軸 26.0 厚さ17.8 重さ9200g		二ツ岳石	
第155図 P L 84	48号溝 埋没土	土製品 土鉢	長さ3.5 直径0.8 孔径0.3 重さ3.2g	にぶい橙色	筒による整形。	砂粒を含む
第155図 P L 84	48号溝 埋没土	土製品 土鉢	長さ3.2 直径1.0 孔径0.2 重さ2.8g	褐灰色	筒による整形。	砂粒を含む
第155図 P L 84	48号溝 埋没土	土製品 土鉢	長さ3.4 直径0.8 孔径0.2 重さ2.3g	にぶい橙色	筒による整形。	砂粒を含む
第155図 P L 84	48号溝 埋没土	石製品 紡錘車	直径4.5 厚さ1.4 重さ17.1g		軽石	
第155図 P L 84	48号溝 埋没土	陶器 皿	破片 - - -	灰オリーブ色	古瀬戸大皿 14~15C	
第157図 P L 84	58号溝 埋没土	土製品 土鉢	長さ4.3 直径1.7 孔径0.4 重さ10.6g	にぶい褐色	筒による整形。	砂粒を含む
第158図 P L 84	56号溝 埋没土	軟質陶器 内耳鍋	口縁~胴部中位1/4 (28.0) - -	橙色	外面:口縁部ロクロ調整、胴部筒削り。 内面:口縁部~胴部ロクロ調整。	白色粒、褐色粒、 雲母、礫を含む
第158図 P L 84	56号溝 埋没土	軟質陶器 内耳鍋	口縁~胴部中位1/4 (34.0) - -	灰褐色	外面:口縁部~胴部ロクロ調整、胴部筒削り。 内面:口縁部~胴部ロクロ調整。	白色粒、黒色粒を 含む
第158図 P L 84	56号溝 埋没土	軟質陶器 内耳鍋	口縁~胴部中位1/4 (30.0) - -	灰色	外面:口縁部ロクロ調整。胴部筒削り。 内面:口縁部~胴部ロクロ調整。	白色粒、黒色粒を 含む
第158図 P L 84	56号溝 埋没土	軟質陶器 内耳鍋	口縁~胴部上位破片 (30.0) - -	黄灰色	外面:口縁部~胴部ロクロ調整。 内面:口縁部~胴部ロクロ調整。	白色粒、黒色粒を 含む
第159図 P L 84	56号溝 埋没土	石製品 石臼	外径(33.0) 厚さ11.5 重さ5000g		粗粒輝石安山岩	
第159図 P L 84	56号溝 埋没土	石製品 石鉢	口縁部~胴部 - - - 572.4g		粗粒輝石安山岩	
第159図 P L 84	57号溝 埋没土	石製品 石鉢	口縁部~底部 820g (28.5) (21.4) 11.5		粗粒輝石安山岩	
第159図 P L 84	56号溝 埋没土	石製品	長軸20.3 短軸20.2 厚さ16.1 重さ5700g		二ツ岳石	
第159図 P L 84	56号溝 埋没土	石製品	長軸23.8 短軸18.7 厚さ13.1 重さ4000g		粗粒輝石安山岩	
第159図 P L 84	56号溝 埋没土	石製品 板碑	長軸33.2 短軸24.6 厚さ2.5 重さ4000g		緑色片岩	
第159図 P L 84	57号溝 埋没土	石製品 板碑	長軸21.7 短軸11.2 厚さ2.8 重さ1240g		緑色片岩	
第159図 P L 84	57号溝 埋没土	石製品 板碑	長軸17.5 短軸12.6 厚さ1.8 重さ580g		雲母石英片岩	
第159図 P L 84	56号溝 埋没土	古銭			熙寧元宝(初鑄年1068年)	
第160図 P L 84	68号溝 埋没土	石製品 凹石	長軸30.7 短軸 24.5 厚さ13.7 重さ5300g		二ツ岳石	
第168図 P L 84	16号溝 埋没土	石製品 板碑	長軸85.1 短軸26.3 厚さ2.0 重さ9000g		阿弥陀三尊種子板碑。種子は薬研彫り。二条線なし。紀年銘不詳。 碑面に割付けの罫書き線残る。緑色片岩 14C中頃	
第168図 P L 84	16号溝 埋没土	石製品 板碑	長軸85.7 短軸24.9 厚さ2.6 重さ8000g		阿弥陀一尊種子板碑。種子は薬研彫り。蓮座は陰刻と線刻。二条線・ 棒線なし。紀年銘不詳。碑面やや摩滅。緑色片岩 14C末頃	
第169図 P L 84	16号溝 埋没土	磁器 碗	口縁部~体部 9.0 - -	灰白色	肥前磁器 波佐見系 18C後~19C中。内外面施釉	

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第169図 P L 84	4 16号溝 埋没土	石製品 板碑	長軸31.1 短軸 22.0 厚さ3.0 重さ3350g		頂部片。種子部欠失。二条線なし。16号溝出土片と12号井戸出土片 接合。緑色片岩 15C初～中頃	
第169図 P L 84	5 16号溝 埋没土	石製品 板碑	長軸22.7 短軸14.7 厚さ1.8 重さ 800g		頂部左端破片。種子部欠失。二条線なし。 緑色片岩 15C初～中頃	
第177図 P L 84	1 4号溝 埋没土	磁器 端反碗	口縁部～底部1/3 (11.5) (5.1) 5.2	灰白色	肥前磁器 波佐見系 19C前～中。 蛇の目釉剥ぎ。	
第177図 P L 84	2 4号溝 埋没土	磁器 碗	口縁部～底部1/3 (7.4) (3.8) 5.7	灰白色	瀬戸・美濃磁器 19C中～後。 呉須の色は濃い。文様を印刷した後、 濃みを入れる。	
第178図 P L 91	1 グリッド 89-M-2	縄文鉢 深鉢	口縁部片 - - -	酸化 明赤褐色	平行線により集合条線文を横位、縦位に加え、円形縦長貼付文を施す。 諸磯C式土器。	砂粒を含む
第178図 P L 91	2 89-L-1 埋没土	縄文鉢 深鉢	胴部片 - - -	酸化 淡黄色	縦位沈線文が施される。	黒色粒等の砂粒を 含む
第178図 P L 91	3 89-H-2 埋没土	縄文鉢 深鉢	胴部片 - - -	酸化 褐色	集合条線文が縦位に施される。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	4 79-K-17 埋没土	縄文鉢 深鉢	口縁部片 - - -	酸化 浅黄色	波状口縁。口縁に沿った区画文内に刺突文、胴部区画文内にL Rが 施される。 称名寺2式。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	5 79-K-18 埋没土	縄文鉢 深鉢	口縁部片 - - -	酸化 淡黄色	波状口縁。口縁に沿った区画文内に刺突文、胴部区画文内にL Rが 施される。 称名寺2式。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	6 79-J-17-18 埋没土	縄文鉢 深鉢	胴部片 - - -	酸化 淡黄色	J字状区画文内にL Rを施す。 称名寺2式。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	7 79-M-19 埋没土	縄文鉢 深鉢	口縁部片 - - -	酸化 褐色	口縁下に押圧を施す。紐線文は剥落する。 加曾利B 2式。	白色粒、黒色粒、 輝石粒の砂粒を 含む
第178図 P L 91	8 79-M-19 埋没土	縄文鉢 深鉢	胴部片 - - -	酸化 橙色	紐線文上に押圧文を施す。 加曾利B 2式。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	9 79-M-19 埋没土	縄文鉢 深鉢	胴部片 - - -	酸化 灰色	縦位沈線文が施される。 加曾利B 2式。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	10 79-K-17 埋没土	縄文鉢 深鉢	口縁部片 - - -	酸化 暗灰黄色	口縁に沿って沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	11 89-I-1 埋没土	縄文鉢 深鉢	胴部片 - - -	酸化 暗褐色	単一沈線文が施される。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	12 89-K-1 埋没土	縄文鉢 深鉢	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	R L横位。横走線文が施される。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	13 2区4面 埋没土	縄文鉢 深鉢	胴部片 - - -	酸化 褐灰色	L R横位。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	14 79-K-18 埋没土	縄文鉢 深鉢	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	L R横位。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	15 79-H-17 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 灰黄褐色	単一沈線文により波状文が施される。部分的に斜行線文が認められる。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	16 89-M-7 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	L R横位。末端は条の一方で結縛するため結節回転となる。縄文帯下 に赤色塗彩。178図-17・21と同一個体。	白色粒等の砂粒を 含む
第178図 P L 91	17 79-L-17 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	第178図-16・21と同一個体。	白色粒等の砂粒を 含む
第178図 P L 91	18 79-M-19 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	L R横位。末端部を結縛のため結節回転が施される。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	19 89-H-5 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	L R横位。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	20 89-I-1 埋没土	土師器	口縁部片 - - -	酸化 にぶい橙色	口縁に沿って櫛歯状施文により矢羽根状刺突文が施され頸部に同 種施文で刻目を加える。	白色粒等の砂粒を 含む
第178図 P L 91	21 79-M-19 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	第178図-16・17と同一個体。	白色粒等の砂粒を 含む
第178図 P L 91	22 89-O-10 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 明赤褐色	直前段反摺L L横位。縄文帯下に赤色塗彩を施す。	白色粒等の砂粒を 含む
第178図 P L 91	23 89-H-1 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 灰黄褐色	直前段反摺L L横位。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	24 89-J-2 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	縄文施文後櫛歯状施文による波状文が加えられる。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	25 79-I-19 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい橙色	櫛歯状施文により矢羽根状刺突文が施される。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	26 89-G-2 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 橙色	櫛歯状刺突文が施される。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	27 89-L-1 埋没土	土師器	口縁部～頸部片 - - -	酸化 にぶい橙色	頸部に縦位刷毛目。内面は横位刷毛目。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	28 79-J-18 埋没土	土師器	頸部～肩部片 - - -	酸化 にぶい橙色	頸部、肩部に横走線文が認められる。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	29 89-H-2 埋没土	土師器	口縁部～胴部 - - -	酸化 橙色	斜行条線文により全面施文される。口縁部内面は横位、胴部内面は 斜位条線文が施される。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	30 89-H-1 埋没土	土師器	口縁部片 - - -	酸化 褐色	口縁上端に面をもち口縁部内外面に刷毛目状条線文が施される。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	31 89-N-8 埋没土	土師器	口縁部～頸部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	頸部に横走線文を施す。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	32 79-L-20 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	櫛歯状波状文が施される。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	33 79-M-19 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 灰白色	櫛歯状波状文が施される。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	34 89-M-7 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい褐色	3条単位の櫛歯状波状文が施される。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む
第178図 P L 91	35 89-G-1 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 暗褐色	3条単位の櫛歯状施文により波状文が施される。	白色粒、黒色粒等 の砂粒を含む

遺物観察表

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第178図 P L 91	36 79-K-18 埋没土	土師器	頸部片 - - -	酸化 にぶい橙色	頸部に刷毛目状の横走線文が認められる。	黒色粒等の砂粒を含む
第178図 P L 91	37 89-O-10 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 褐灰色	3条単位の櫛歯状施文により波状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第178図 P L 91	38 89-H-3 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 灰黄褐色	櫛歯状波状文が施される。	黒色粒等の砂粒を含む
第178図 P L 91	39 89-H-1 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 にぶい褐色	単一沈線文により弧状文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第178図 P L 91	40 89-I-1 埋没土	土師器	胴部片 - - -	酸化 明褐色	集合条線文が施される。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第178図 P L 91	41 89-H-9 埋没土	土師器	底部片 - - -	酸化 にぶい黄褐色	底面に木葉痕。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第178図 P L 91	42 79-Q-19 埋没土	縄文 深鉢	底部片 - - -	酸化 褐灰色	底面に網代痕。 加曾利B式。	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第178図 P L 85	43 グリッド 79-O-20	石 鎌	長軸2.1 短軸1.6 厚さ0.5 重さ1.0g		チャート	
第178図 P L 85	44 グリッド 79-R-17	石 鎌	長軸2.8 短軸1.7 厚さ0.5 重さ1.2g		珪質頁岩	
第178図 P L 85	45 グリッド 79-O-19	石 核	長軸8.8 短軸5.6 厚さ2.8 重さ166.7g		硬質泥岩	
第179図 P L 85	46 グリッド 79-H-18	土師器 台付甕	口縁～胴部中位1/4 (15.3) - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部横撫で。胴部中位指頭痕。	白色粒、黒色粒を含む
第179図 P L 85	47 グリッド 79-H-18	土師器 台付甕	口縁～胴部中位1/3 (15.0) - -	酸化 にぶい灰褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部横撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第179図 P L 85	48 グリッド 79-I-20	土師器 台付甕	口縁部～胴部上位 14.6 - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部刷毛目。 内面：口縁部横撫で。胴部横撫で。	石英、白色粒を含む
第179図 P L 85	49 グリッド 89-H-2	土師器 高坏	坏部～脚部上位 - - -	酸化 にぶい橙色	外面：坏部～脚部磨き。 内面：器面荒れ調整不明瞭。	白色粒、黒色粒を含む
第179図 P L 85	50 グリッド 89-P-9	土師器 高坏	口縁～脚部上位2/5 (18.0) - -	酸化 にぶい黄褐色	外面：口縁部横撫で。坏部～脚部磨き。 内面：口縁部横撫で。坏部～脚部磨き。	白色粒、黒色粒、褐色粒を含む
第179図 P L 85	51 グリッド 89-M-3	土師器 台付甕	胴部中位～台部2/3 - 9.5 -	酸化 灰黄褐色	外面：胴部～台部刷毛目後磨き。 内面：胴部～台部横撫で。	白色粒、褐色粒、石英を含む
第179図 P L 85	52 グリッド 89-N-5	土師器 坏	口縁部～体部1/4 (11.8) - -	酸化 明赤褐色	外面：口縁部横撫で。体部上半部撫で、下半部磨削り。 内面：口縁部横撫で。体部磨き。	白色粒、黒色粒を含む
第179図 P L 85	53 グリッド 79-K-20	土師器 小形壺	頸部～底部2/3 - 2.0 -	酸化 橙色	外面：頸部横撫で。胴部～底部磨削り。 内面：頸部～底部磨き。	白色粒、黒色粒、褐色粒を含む
第179図 P L 85	54 グリッド 89-M-4	土師器 台付甕	頸部～台部上位1/3 - - -	酸化 灰白色	外面：胴部横撫で。磨削り。台部横撫で。 内面：頸部～台部磨き。	白色粒、黒色粒を含む
第179図 P L 85	55 グリッド 79-H-18	土師器 台付甕	底部～台部 - 9.3 -	酸化 褐色	外面：底部～台部上半部刷毛目、下半部撫で。 内面：底部磨き。台部上半部砂粒の多い粘土貼付、下半部指撫で。	石英、白色粒を含む
第179図 P L 85	56 グリッド 89-J-2	土師器 高坏	坏部4/5 14.8 - -	酸化 にぶい赤褐色	外面：坏部刷毛目後磨き。 内面：坏部磨き。	白色粒、黒色粒を含む
第179図 P L 85	57 グリッド 79-P-14	土師器 高坏	坏底部～脚部2/3 - - -	酸化 明褐色	外面：坏底部～脚部撫で（単位不明瞭）。 内面：脚部磨削り。	白色粒、片岩、礫を含む
第179図 P L 85	58 グリッド 89-I-1	土師器 台付甕	台部 3/4 - 9.8 -	酸化 にぶい黄褐色	外面：台部上半部刷毛目、下半部横撫で。 内面：台部磨き。	白色粒、黒色粒を含む
第179図 P L 85	59 グリッド 89-O-8	土師器 高坏	坏底部～脚部3/5 - 6.4 -	酸化 褐色	外面：坏底部～脚部磨き。 内面：坏底部磨き。脚部磨き。	石英、白色粒を含む
第179図 P L 85	60 グリッド 89-J-2	土師器 甕	胴部上位～底部1/4 - 5.7 -	酸化 褐色	外面：胴部～底部磨き。 内面：胴部～底部磨き。	白色粒、角閃石を含む
第179図 P L 85	61 グリッド 89-J-1	土師器 甕	胴部下位～底部1/3 - 7.4 -	酸化 にぶい橙色	外面：胴部器面荒れ調整不明瞭。底部木葉痕。 内面：胴部～底部器面荒れ調整不明瞭。	黒色粒、白色粒、礫を含む
第180図 P L 85	62 グリッド 89-M-2	土師器 小形甕	口縁～胴部中位1/4 (12.0) - -	酸化 褐色	外面：口縁部横撫で。胴部磨削り。 内面：口縁部横撫で。胴部磨き。	白色粒、黒色粒を含む
第180図 P L 85	63 グリッド 89-O-9	土師器 甕	口縁～胴部中位1/4 (18.5) - -	酸化 にぶい赤褐色	外面：口縁部横撫で。胴部磨削り。 内面：口縁部横撫で。胴部磨き。	白色粒、黒色粒、片岩を含む
第180図 P L 85	64 グリッド 79-H-19	須恵器 壺	胴部下位～高台部 - (13.0) -	還元 灰色	外面：胴部～底部口クロ調整。 内面：胴部口クロ調整。高台貼付時撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第180図 P L 85	65 グリッド 79-H-19	須恵器 甕	頸部～胴部上位1/4 - - -	還元 灰色	外面：頸部口クロ調整。 内面：頸部口クロ調整。磨き。胴部撫で。	白色粒、黒色粒、礫を含む
第180図 P L 85	66 グリッド 89-M-1	土製品 土 錘	長さ3.3 直径0.9 孔径0.3 重さ2.5g	浅黄褐色	甕による整形。	砂粒を含む
第180図 P L 85	67 グリッド 89-J-2	土製品 土 錘	長さ3.4 直径0.9 孔径0.2 重さ2.4g	にぶい橙色	甕による整形。	砂粒を含む
第180図 P L 85	68 グリッド 89-K-3	土製品 土 錘	長さ3.6 直径0.8 孔径0.3 重さ2.7g	浅黄褐色	甕による整形。	砂粒を含む
第180図 P L 85	69 グリッド 89-J-4	土製品 土 錘	長さ3.2 直径0.9 孔径0.3 重さ2.5g	にぶい褐色	甕による整形。	砂粒を含む
第180図 P L 85	70 グリッド 89-K-1	土製品 土 錘	長さ3.2 直径1.0 孔径0.3 重さ2.1g	灰褐色	甕による整形。	砂粒を含む
第180図 P L 85	71 グリッド 89-K-2	土製品 土 錘	長さ3.0 直径1.0 孔径0.2 重さ2.9g	にぶい褐色	甕による整形。	砂粒を含む
第180図 P L 85	72 グリッド 89-L-2	土製品 土 錘	長さ4.2 直径0.9 孔径0.3 重さ4.1g	にぶい橙色	甕による整形。	砂粒を含む
第180図 P L 85	73 グリッド 79-M-14	土製品 土 錘	長さ3.2 直径0.8 孔径0.3 重さ2.4g	にぶい橙色	甕による整形。	砂粒を含む
第180図 P L 85	74 グリッド 2区	土製品 土 錘	長さ3.2 直径0.9 孔径0.3 重さ2.2g	にぶい橙色	甕による整形。	砂粒を含む

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第180図 P L 85	75 グリッド 79-O-18	土製品 土 錘	長さ5.3 直径1.5 孔径0.5 重さ10.7g	褐色	篋による整形。	砂粒を含む
第180図 P L 85	76 グリッド 89-J-9	土製品 土 錘	長さ3.2 直径0.8 孔径0.3 重さ2.4g	にぶい橙色	篋による整形。	砂粒を含む
第180図 P L 85	77 グリッド 89-L-1	土製品 土 錘	長さ3.3 直径1.0 孔径0.4 重さ3.1g	にぶい褐色	篋による整形。	砂粒を含む
第180図 P L 85	78 グリッド 79-L-19	石製品 模造品	長軸3.6 短軸2.5 厚さ0.4 重さ7.3g		緑色片岩	
第180図 P L 85	79 グリッド 89-Q-9	石製品 模造品	長軸4.3 短軸1.8 厚さ0.4 重さ5.5g		黒色片岩	
第180図 P L 85	80 グリッド 79-M-14	石製品 琴柱形石製品	長軸2.6 短軸2.0 厚さ0.4 重さ3.0g		琴柱形の石製品。「本村(ほんむら)」型。格子目状の線刻。円孔、両面突孔、径0.18cm、使用痕なし、長方形にくり抜かれている角窓がいている。縦0.75cm、横0.3cm、矢羽根状の線刻。角状の突起0.4cm。	
第180図 P L 85	81 グリッド 89-L-6	石製品 管 玉	長さ2.1 直 0.6 孔径0.4 重さ0.9g		蛇紋岩	
第180図 P L 85	82 グリッド 79-L-19	石製品 模造品	長軸3.3 短軸2.1 厚さ0.2 重さ2.2g		珪質準片岩	
第181図 P L 85	83 グリッド 79-M-20	土師器 杯	1/3 13.8 10.4 4.7	酸化 にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。体部～底部篋削り。 内面：口縁部～体部横撫で、篋磨き。底部撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第181図 P L 85	84 グリッド 79-M-19	土師器 杯	ほぼ完形 11.9 7.8 3.4	酸化 橙色	外面：口縁部横撫で。体部撫で。底部篋削り。 内面：口縁部～体部横撫で。底部撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第181図 P L 85	85 グリッド 79-M-19	土師器 杯	5/6 12.4 9.5 3.4	酸化 にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。体部撫で。底部篋削り。 内面：口縁部～体部横撫で。底部撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第181図 P L 85	86 グリッド 79-H-19	土師器 杯	3/5 11.9 8.9 3.6	酸化 にぶい赤褐色	外面：口縁部横撫で。体部撫で。底部篋削り。 内面：口縁部～体部横撫で。底部撫で。	角閃石、白色粒、黒色粒
第181図 P L 85	87 グリッド 79-M-19	土師器 杯	1/2 12.3 8.1 3.5	酸化 にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。体部撫で。底部篋削り。 内面：口縁部～体部横撫で。底部撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第181図 P L 85	88 グリッド 79-L-19	土師器 杯	3/5 12.9 9.0 3.2	酸化 にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。体部撫で。底部篋削り。 内面：口縁部～体部横撫で。底部撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第181図 P L 85	89 グリッド 79-M-19	土師器 杯	1/2 11.7 7.0 3.1	酸化 にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。体部撫で。底部篋削り。 内面：口縁部～体部横撫で。底部撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第181図 P L 85	90 グリッド 89-M-1	土師器 杯	2/3 13.0 - 4.8	酸化 赤褐色	外面：口縁部横撫で。体部撫で。底部篋削り。 内面：口縁部～体部横撫で。底部撫で。	白色粒、黒色粒、雲母を含む
第181図 P L 85	91 グリッド 79-L-17	土師器 杯	1/4 (16.0) - 4.6	酸化 明褐色	外面：口縁部横撫で。体部～底部篋削り。 内面：口縁部～底部撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第181図 P L 85	92 グリッド 79-M-19	須恵器 杯	1/2 (12.3) (7.0) 3.7	還元 灰色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部篋切り後篋撫で。 内面：口縁部～底部ロクロ調整。	白色粒、黒色粒を含む
第181図 P L 86	93 グリッド 89-M-2	須恵器 杯	3/4 12.1 7.4 3.1	還元 橙色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部右回転系切り。 内面：口縁部～底部ロクロ調整。	白色粒、黒色粒を含む
第181図 P L 86	94 グリッド 89-H-1	須恵器 杯	3/5 (13.1) 5.9 6.2	還元 灰黄色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部左回転系切り。 内面：口縁部～底部ロクロ調整。	石英、白色粒を含む
第181図 P L 86	95 グリッド 79-K-15	須恵器 皿	3/4 13.2 5.8 2.9	還元 灰色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部回転系切り。 内面：口縁部～体部ロクロ調整。底部高台貼付時回転撫で。	白色粒、褐色粒を含む
第181図 P L 86	96 グリッド 79-N-19	須恵器 皿	3/5 (13.2) 5.4 3.4	還元 にぶい橙色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部右回転系切り。 内面：口縁部～底部ロクロ調整。底部高台貼付時回転撫で。	褐色粒、黒色粒、雲母を含む
第181図 P L 86	97 グリッド 79-M-19	須恵器 皿	1/3 (14.0) 6.1 3.0	還元 黄灰色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部右回転系切り。 内面：口縁部～底部ロクロ調整。底部高台貼付時回転撫で。	白色粒、褐色粒を含む
第181図 P L 86	98 グリッド 79-H-19	須恵器 境	体部～高台部 - 6.0 -	還元 灰色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部右回転系切り。 内面：口縁部～底部ロクロ調整。底部高台貼付時回転撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第181図 P L 86	99 グリッド 79-H-19	須恵器 境	1/6 (14.5) (6.2) 5.4	還元 灰白色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部回転系切り。 内面：口縁部～体部ロクロ調整。底部高台貼付時回転撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第181図 P L 86	100 グリッド 89-H-1	須恵器 境	3/4 14.0 5.6 5.2	還元 灰白色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部右回転系切り。 内面：口縁部～体部ロクロ調整。底部高台貼付時回転撫で。	黒色粒、白色粒、礫を含む
第181図 P L 86	101 グリッド 2区	須恵器 境	体部～底部 - - -	還元 灰黄色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部右回転系切り。 内面：口縁部～底部ロクロ調整。	白色粒、黒色粒を含む
第181図 P L 86	102 グリッド 89-J-1	須恵器 境	口縁部～底部1/2 (15.0) - -	還元 にぶい黄橙色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部右回転系切り。 内面：口縁部～体部ロクロ調整。底部高台貼付時回転撫で。	白色粒、黒色粒、褐色粒を含む
第181図 P L 86	103 グリッド 79-L-19	須恵器 境	口縁部～底部1/3 (14.7) - -	還元 灰色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部右回転系切り。 内面：口縁部～底部ロクロ調整。	白色粒、黒色粒、褐色粒を含む
第181図 P L 86	104 グリッド 79-K-15	須恵器 境	1/4 (14.2) (7.4) 5.2	還元 灰色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部右回転系切り。 内面：口縁部～体部ロクロ調整。底部高台貼付時回転撫で。	白色粒、黒色粒を含む
第182図 P L 86	105 グリッド 79-L-20	土製品	直径4.0 孔径0.7 厚さ1.9 重さ40.0g	橙色	円柱状断面を呈し、中央部に円孔を持つ。円孔は、中心からやや偏在。	砂粒を含む
第182図 P L 86	106 グリッド 89-N-6	土製品	直径3.9 孔径0.4 厚さ0.7 重さ13.4g	黒褐色	土器片(甕)再加工作品。縁刃を打ち欠き、中央付近に穿孔する。	砂粒を含む
第182図 P L 86	107 グリッド 79-M-19	石製品 台 石	長軸14.4 短軸13.0 厚さ4.1 重さ1240g		粗粒輝石安山岩	
第182図 P L 86	108 グリッド 79-M-18	石製品	長軸(13.4) 短軸(11.0) 厚さ3.2 重さ815g		粗粒輝石安山岩	
第182図 P L 86	109 グリッド 89-J-11	石製品 磨 石	長軸12.2 短軸4.9 厚さ3.0 重さ296.6g		雲母石英片岩	
第182図 P L 86	110 グリッド 89-J-10	石製品 こもあみ石	長軸11.6 短軸5.4 厚さ3.1 重さ250g		粗粒輝石安山岩	
第182図 P L 86	111 グリッド 89-K-10	石製品 砥 石	長軸5.9 短軸2.9 厚さ1.9 重さ39.8g		砥沢石	
第182図 P L 86	112 グリッド 89-K-9	石製品 石 白	外径(36.0) 厚さ11.0 重さ5300g		粗粒輝石安山岩	



遺物観察表

挿図番号 図版番号	遺構名 出土位置	種別 器種	計測値 cm 口径・底径・器高	焼成 色調	製作技法等の特徴	胎土
第182図113 P L 86	グリッド 79-M-19	石製品 磨石	長軸(6.7)短軸(5.2) 厚さ3.5 重さ226.2g		粗粒輝石安山岩	
第182図114 P L 86	グリッド 79-M-19	石製品 カマド石	長軸(9.6)短軸 9.4 厚さ9.1 重さ 450g		未固結凝灰岩	
第182図115 P L 86	2区4面 埋没土	石製品 火輪	長軸28.9 短軸 23.9 厚さ14.4 重さ9100g		二ツ岳石	
第182図116 P L 86	グリッド 89-N-6	銅製品 キセル	長軸10.0 短軸 1.2 厚さ1.2			
第182図117 P L 86	グリッド 89-M-5	銅製品 棒状板製品	長軸10.4 短軸 1.6 厚さ0.6			
第182図118 P L 86	グリッド 89-K-9	古 銭			永楽通宝(初鑄年1408年)	
第182図119 P L 86	グリッド 89-L-9	古 銭			洪武通宝(初鑄年1368年)	
第182図120 P L 86	グリッド 89-H-3	古 銭			元豊通宝(初鑄年1078年)	
第182図121 P L 86	グリッド 79-M-13	古 銭			聖宋元宝(初鑄年1101年)	
第182図122 P L 86	グリッド 89-H-10	古 銭			元豊通宝(初鑄年1078年)	
第182図123 P L 86	グリッド 89-K-6	古 銭			至道元宝(初鑄年995年)	
第182図124 P L 86	グリッド 89-K-5	古 銭			熙寧元宝(初鑄年1068年)	
第182図125 P L 86	グリッド 89-H-10	古 銭			元豊通宝(初鑄年1078年)	
第182図126 P L 86	グリッド 79-N-17	古 銭			天禧通宝(初鑄年1017年)	

(3区)

第191図 P L 86	1 87号土坑 埋没土	土製品 土 錘	長さ3.9 直径0.7 孔径0.2 重さ2.3g	灰黄褐色	甕による整形。	砂粒を含む
第204図 P L 91	1 211号溝 埋没土	弥 生	頸部片 - - -	酸化 淡黄色	頸部はやや屈曲する。右傾条による縄文面に5条の沈線文が横走する	白色粒、黒色粒等の砂粒を含む
第204図 P L 86	2 グリッド 89-M-15	石 鏃	長軸2.4 短軸1.9 厚さ0.3 重さ0.8g		黒曜石	
第204図 P L 86	3 63号溝 埋没土	須恵器 坏	ほぼ完形 13.0 5.3 4.1	還元 灰白色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部右回転系切り。 内面：口縁部～底部ロクロ調整。	褐色粒、白色粒、 黒色粒、雲母を含
第204図 P L 86	4 グリッド 89-L-15	須恵器 碗	ほぼ完形 13.7 6.0 5.2	還元 灰色	外面：口縁部～体部ロクロ調整。底部右回転系切り。 内面：口縁部～体部ロクロ調整。底部高台貼付時回転撫で。	白色粒、黒色粒、 雲母を含む
第204図 P L 86	5 グリッド 99-M-10	土製品 土 錘	長さ4.3 直径1.9 孔径0.5 重さ14.4g	浅黄橙色	甕による整形。	砂粒を含む
第204図 P L 86	6 グリッド 89-L-15	石製品 円 磔	長軸18.0 短軸11.4 厚さ6.2 重さ1970g		粗粒輝石安山岩	

(6区)

第206図 P L 86	1 225号溝 埋没土	土師器 皿	口縁部～底部 (9.4) (7.1) 1.2	酸化 にぶい・橙色	在地系土器 江戸	
第206図 P L 86	2 225号溝 埋没土	磁 器 碗	口縁部～底部1/3 (10.6) (4.4) 5.6	灰白色	肥前磁器 波佐見系 外面雪輪梅樹文。 18C前～中	
第206図 P L 86	3 225号溝 埋没土	磁 器 紅 皿	口縁部～底部1/2 6.0 (1.9) 1.3	灰白色	肥前磁器 蜻唐草文。 18C前～中	
第206図 P L 86	4 225号溝 埋没土	磁 器 碗	高台部～底部 - 5.0 -	灰白色	肥前磁器 波佐見系 水磨。 17C末～18C中	
第206図 P L 86	5 225号溝 埋没土	陶 器 鉢?	高台部～底部 - 6.8 -	灰白色	瀬戸・美濃陶器 内面鉄釉。見込み目痕1ヶ所あり。 江戸	
第206図 P L 86	6 225号溝 埋没土	磁 器 碗	口縁部片 (9.0) - -	灰白色	肥前磁器 波佐見系 外面環珞文。 内外面施釉。 17C末～18C中	
第206図 P L 86	7 225号溝 埋没土	陶 器 碗	体部～底部 - (5.2) -	灰白色	肥前陶器 呉器手 水磨。 17C中～末	

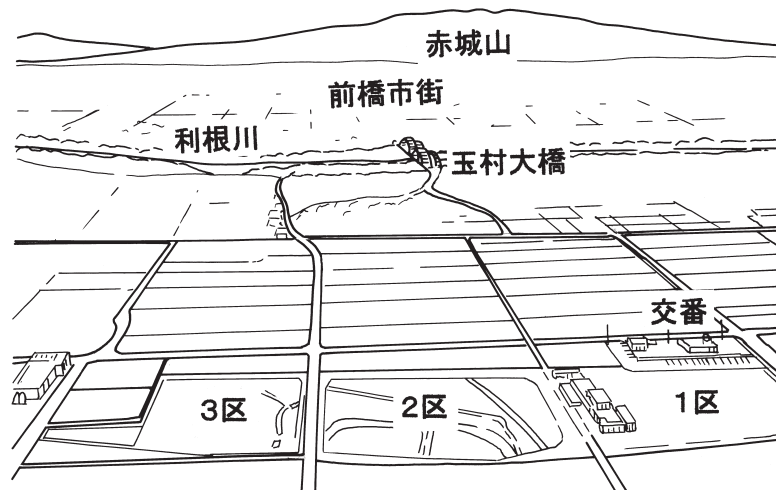
# 写真図版





遺跡を上空から望む 上方が北（航空写真）

平成10年11月12日撮影





遺跡を上空から望む 上方が西（航空写真）

平成10年11月12日撮影



1.1区第1面全景 北から



2.1区第3面全景 東から



1.1区第4面全景 南から



2.1区第5面全景 西から



1.1区第5面3号住居 南から



2.1区第5面3号住居 東から



3.1区第5面3号住居遺物出土状態



4.1区第5面13号住居 東南から



5.1区第5面13号住居焼土 東南から



6.1区第5面13号住居カマド使用面 南西から

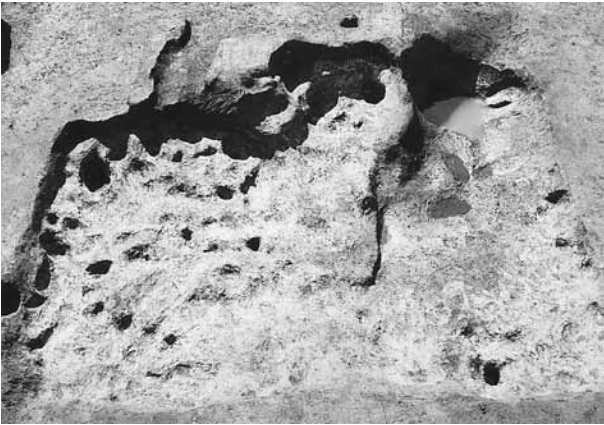


7.1区第5面13号住居掘り方 北西から



8.1区第5面14号住居カマド使用面 北から

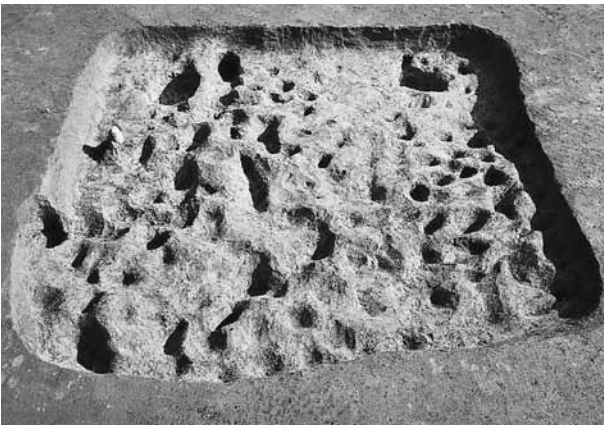




1.1区第5面14号住居掘り方 北から



2.1区第5面15号住居 南西から



3.1区第5面15号住居 南西から



4.1区第5面16号住居 南西から



5.1区第5面16号住居カマド 南西から



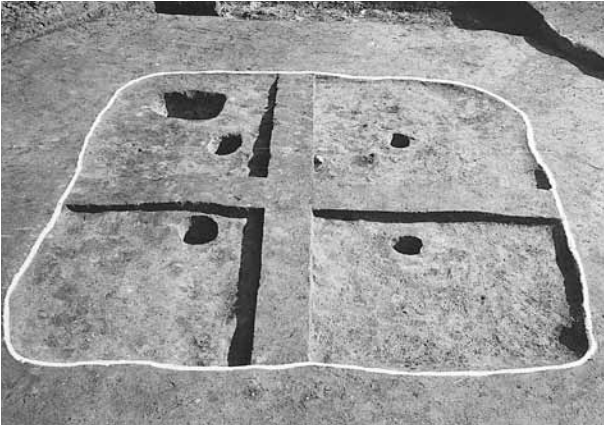
6.1区第5面16号住居カマド 南西から



7.1区第5面16号住居 南西から



8.1区第5面16号住居掘り方 南東から



1. 1区第5面17号住居 北西から



2. 1区第5面17号住居掘り方 西南から



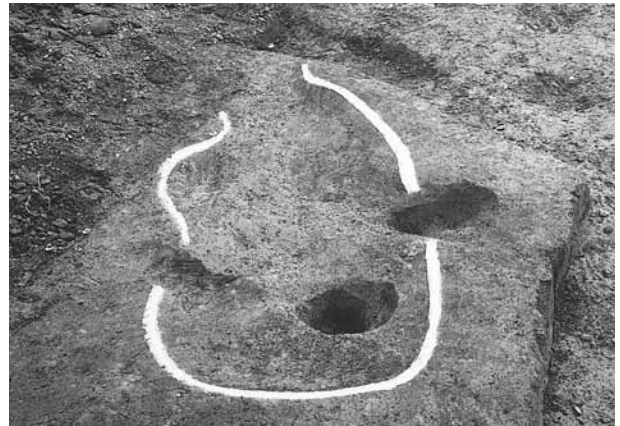
3. 1区第5面18号住居掘り方 北西から



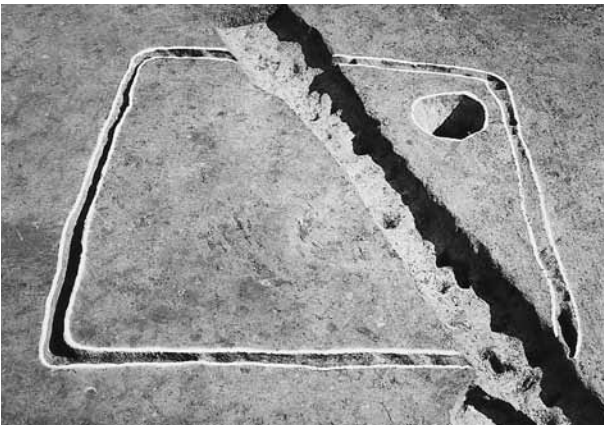
4. 1区第6面19号住居 南から



5. 1区第5面20号住居カマド 北から



6. 1区第5面20号住居カマド掘り方 北から



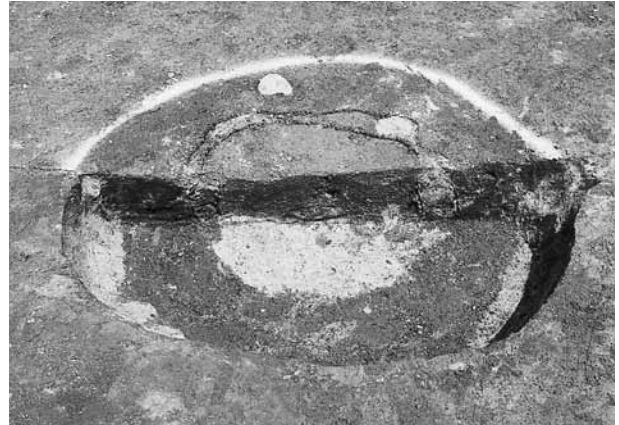
7. 1区第5面22号住居 北西から



8. 1区第6面23号住居 北西から



1.1区第5面71号土坑 南西から



2.1区第5面71号土坑土層断面



3.1区第6面72号土坑 南西から



4.1区第6面72号土坑土層断面



5.1区第6面73号土坑 南から



6.1区第6面73号土坑土層断面



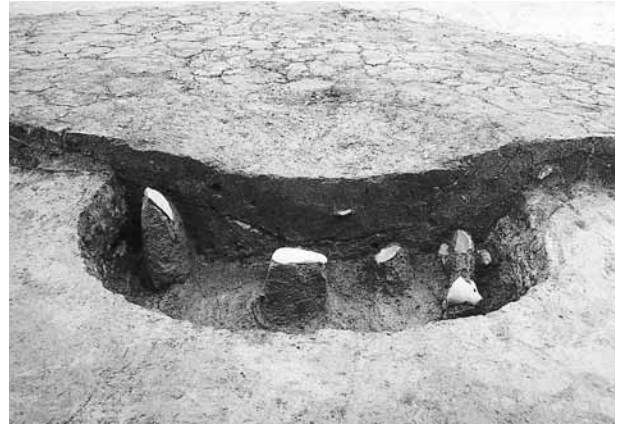
7.1区第6面74号土坑 南から



8.1区第6面74号土坑土層断面



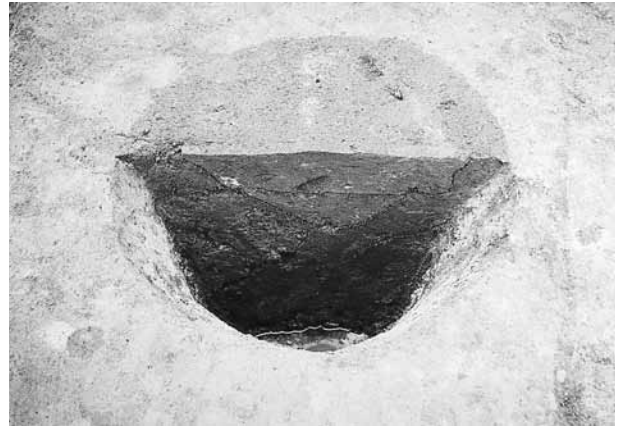
1.1区第6面81号土坑 北から



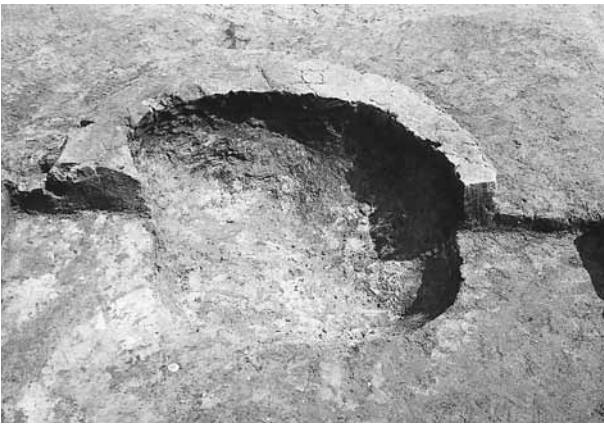
2.1区第6面81号土坑土層断面



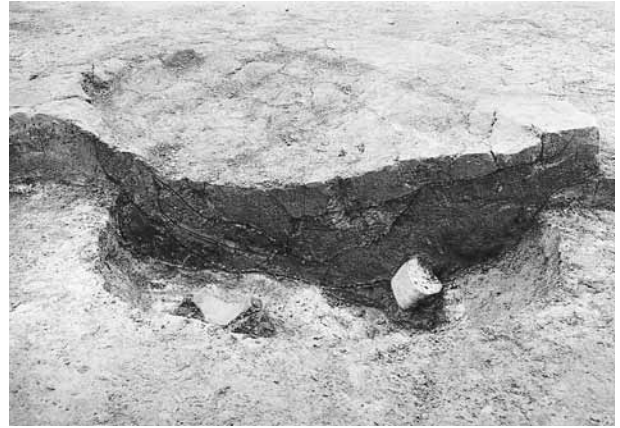
3.1区第6面82号土坑 南から



4.1区第6面82号土坑土層断面



5.1区第6面83号土坑 南から



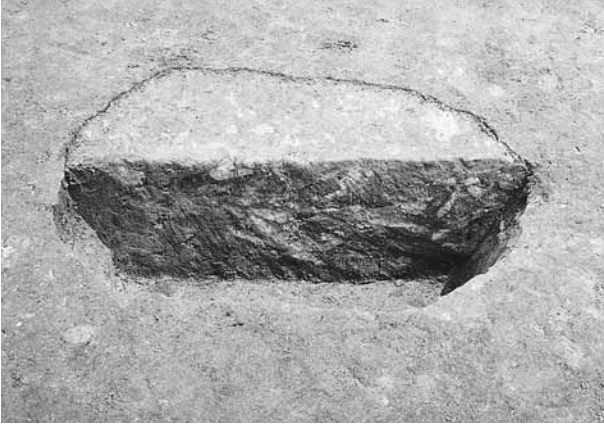
6.1区第6面83号土坑土層断面



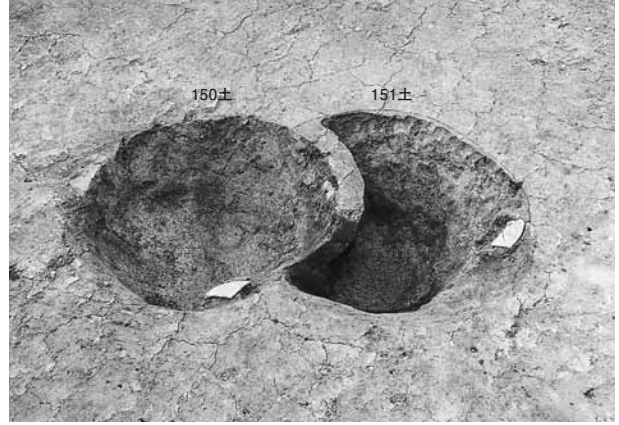
7.1区第6面84号土坑 南から



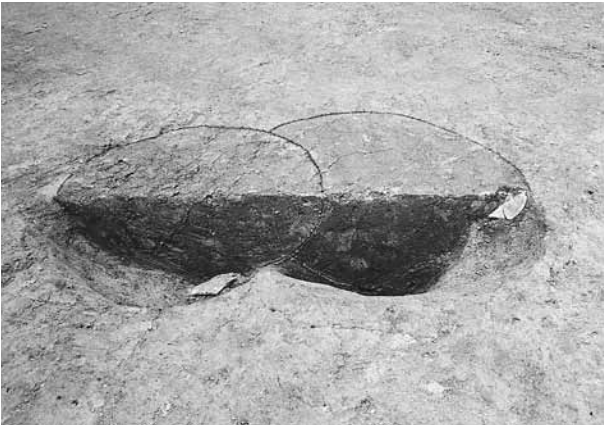
8.1区第6面85号土坑 南西から



1. 1区第6面85号土坑土層断面



2. 1区第6面150・151号土坑 南東から



3. 1区第6面150・151号土坑土層断面



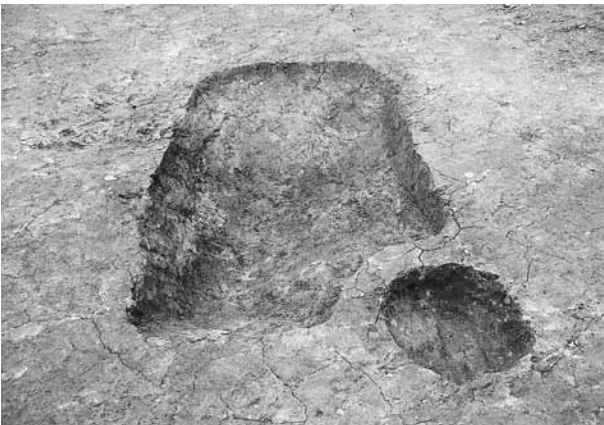
4. 1区第6面152号土坑 南から



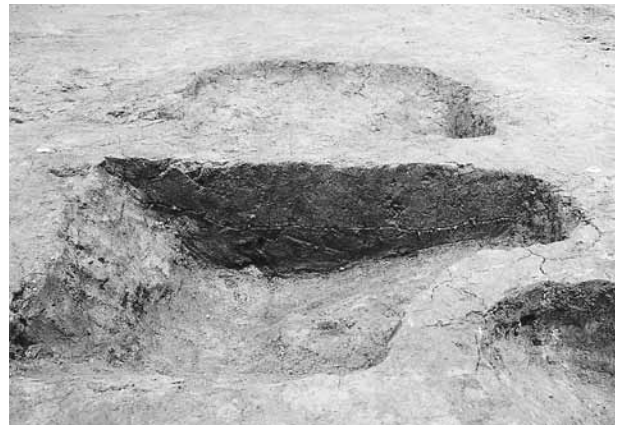
5. 1区第6面152号土坑土層断面



6. 1区第6面153号土坑 南から



7. 1区第6面154号土坑 南から



8. 1区第6面154号土坑土層断面



1.1区第5面234号土坑 西から



2.1区第5面305号土坑 東から



3.1区第6面306号土坑 東から



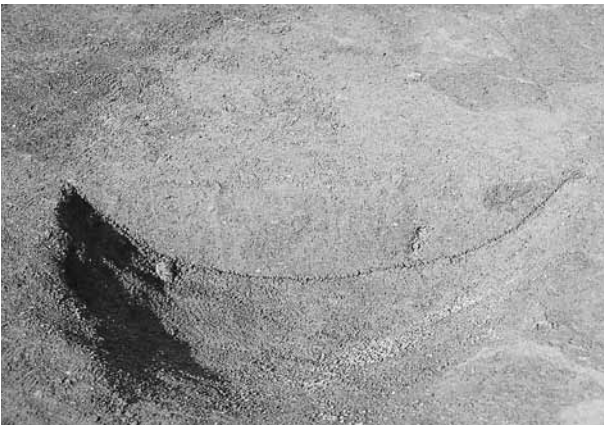
4.1区第3面308号土坑 東から



5.1区第3面308号土坑土層断面



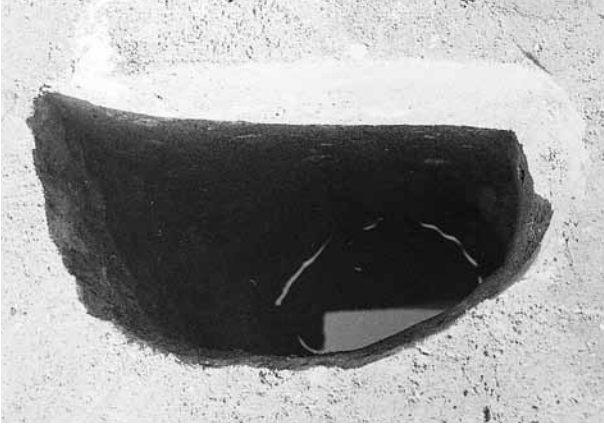
6.1区第4面310号土坑 南東から



7.1区第4面310号土坑土層断面



8.1区第5面322号土坑 北から



1. 1区第5面322号土坑土層断面



2. 1区第5面323号土坑 北から



3. 1区第5面323号土坑土層断面



4. 1区第5面325号土坑土層断面



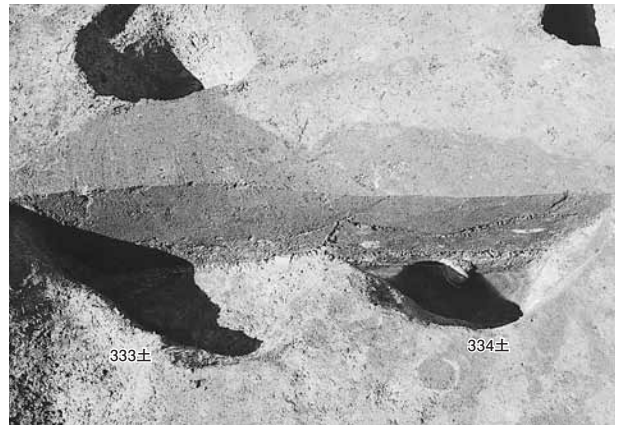
5. 1区第5面326・327号土坑 東から



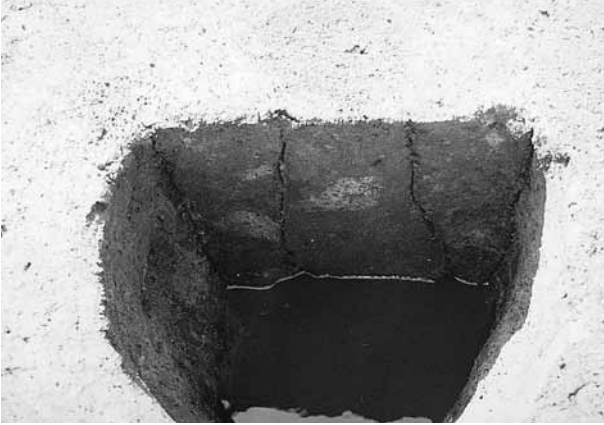
6. 1区第5面326・327号土坑土層断面



7. 1区第5面329号土坑土層断面



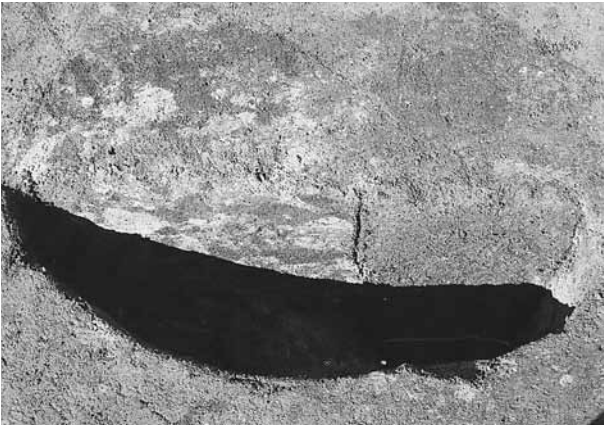
8. 1区第5面333・334号土坑土層断面



1. 1区第5面335号土坑土層断面



2. 1区第5面336号土坑土層断面



3. 1区第5面337号土坑土層断面



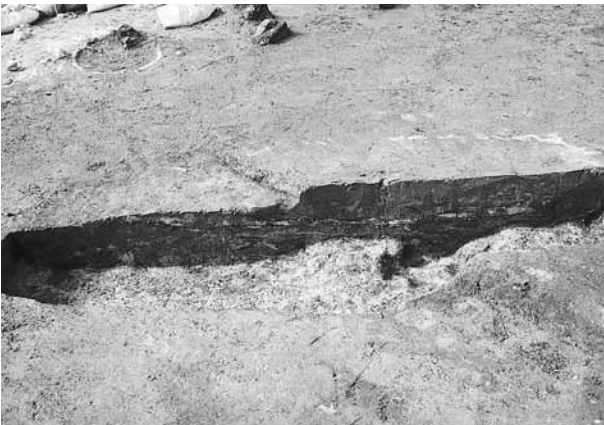
4. 1区第5面338号土坑土層断面



5. 1区第5面339号土坑土層断面



6. 1区第5面342号土坑 北東から

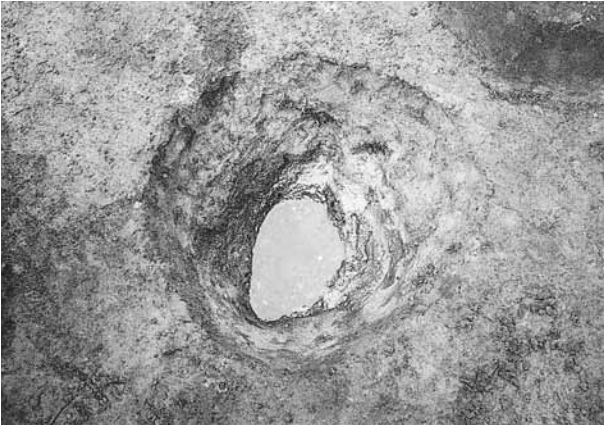


7. 1区第5面342号土坑土層断面

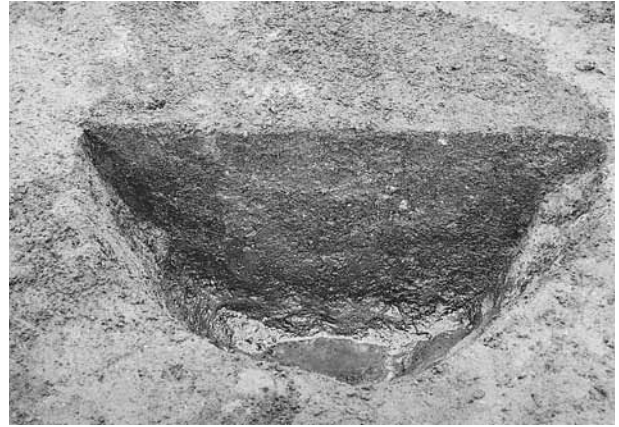


8. 1区第5面344号土坑 南東から





1. 1区第5面347号土坑 南から



2. 1区第5面347号土坑土層断面



3. 1区第5面348号土坑 南から



4. 1区第5面349号土坑 北東から



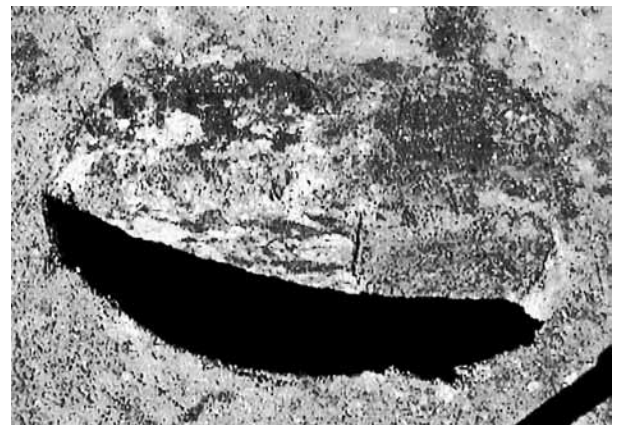
5. 1区第5面352号土坑 西から



6. 1区第6面355号土坑 東から



7. 1区第5面356号土坑 南から



8. 1区第6面357号土坑土層断面



1. 1区第6面358号土坑 東から



2. 1区第6面359号土坑 東から



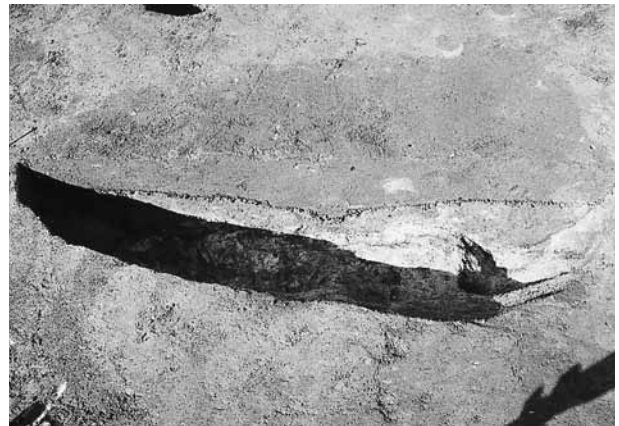
3. 1区第6面361号土坑 東南から



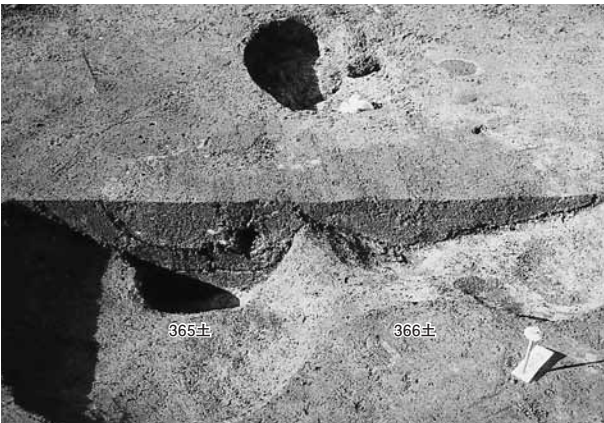
4. 1区第6面362号土坑 南西から



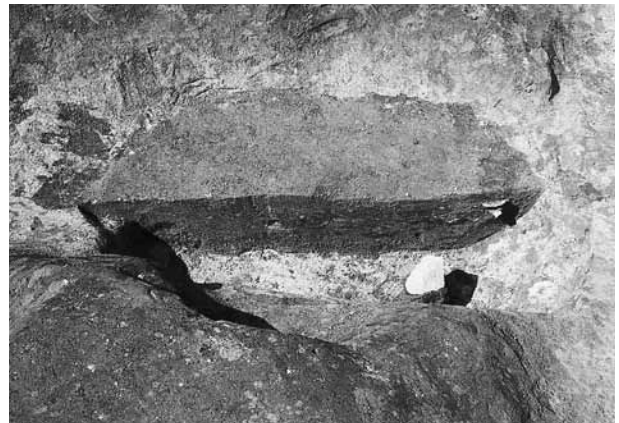
5. 1区第6面386号土坑土層断面



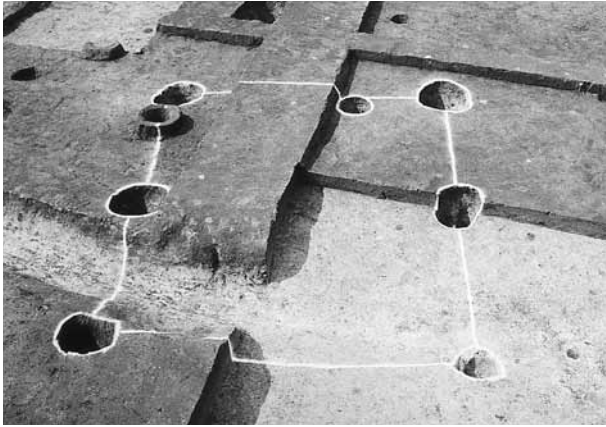
6. 1区第5面364号土坑土層断面



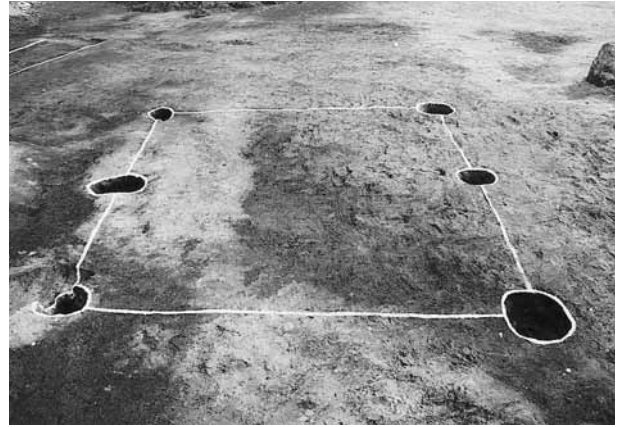
7. 1区第5面365・366号土坑土層断面



8. 1区第4面385号土坑土層断面



1. 1区第6面1号掘立柱建物 南から



2. 1区第6面24号掘立柱建物 北から



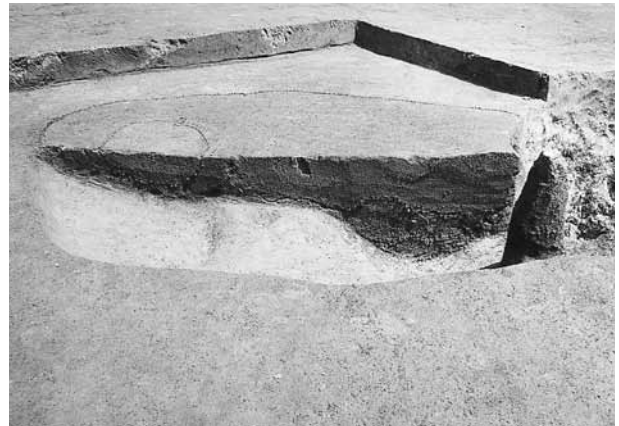
3. 1区第6面11号井戸 南から



4. 1区第6面11号井戸土層断面



5. 1区第6面11号井戸西側落込み状遺構



6. 1区第6面11号井戸西側落込み土層断面



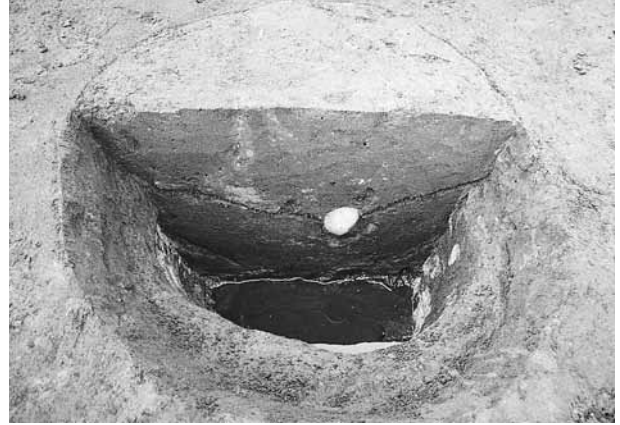
7. 1区第5面23号井戸 北から



8. 1区第5面23号井戸土層断面



1.1区第5面24号井戸 東から



2.1区第5面24号井戸土層断面



3.1区第5面25号井戸 東から



4.1区第5面25号井戸土層断面



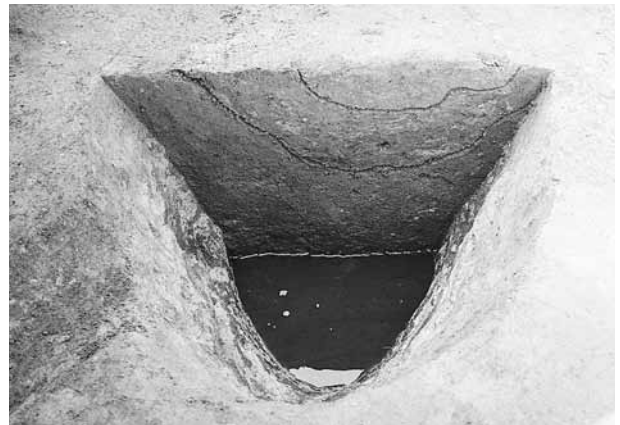
5.1区第5面26号井戸 東から



6.1区第5面26号井戸土層断面



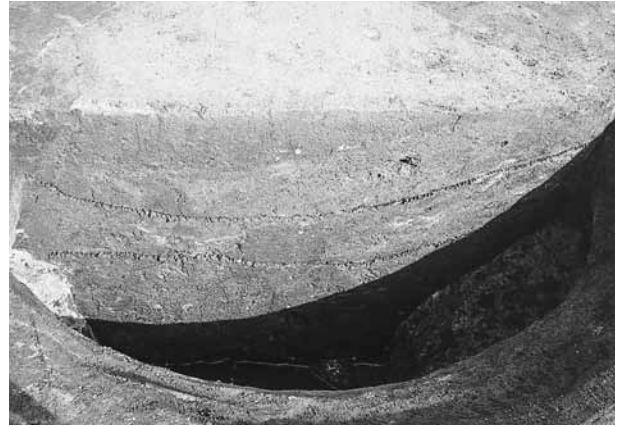
7.1区第5面27号井戸 東から



8.1区第5面27号井戸土層断面



1.1区第5面28号井戸 南から



2.1区第5面28号井戸土層断面



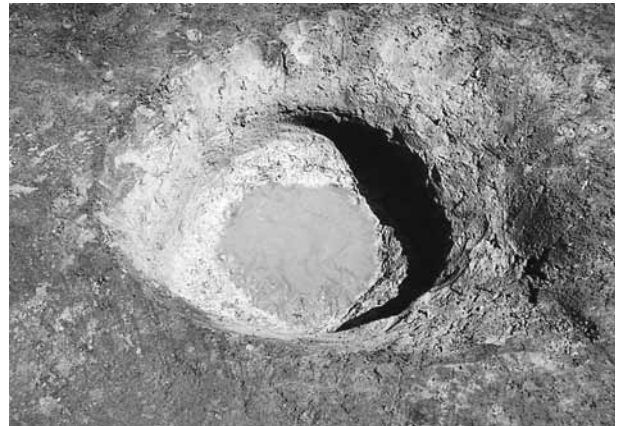
3.1区第5面29号井戸 西から



4.1区第5面30号井戸 西から



5.1区第5面31号井戸 東から



6.1区第6面32号井戸 西から



7.1区第6面34号井戸 北から



8.1区第6面34号井戸遺物出土状態



1.1区第1面1号溝 北から



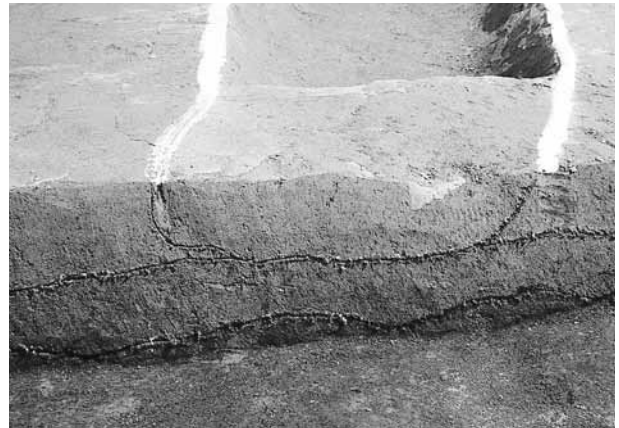
2.1区第1面1号溝南壁土層断面



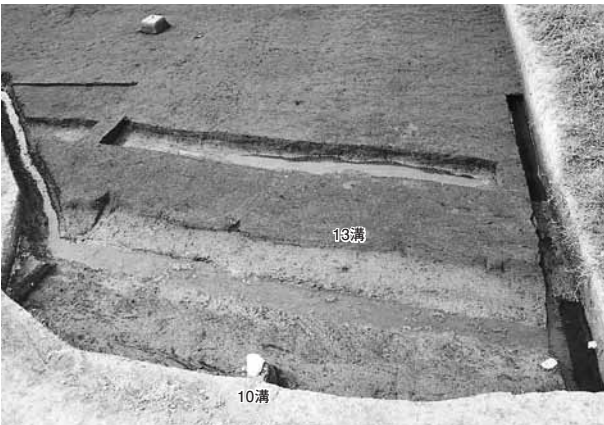
3.1区第1面1号溝北壁土層断面



4.1区第1面9号溝 東から



5.1区第1面9号溝土層断面



6.1区第3面10・13号溝 南から



7.1区第4面11号溝 西から



1. 1区第4面11号溝土層断面



2. 1区第4面11号溝土層断面



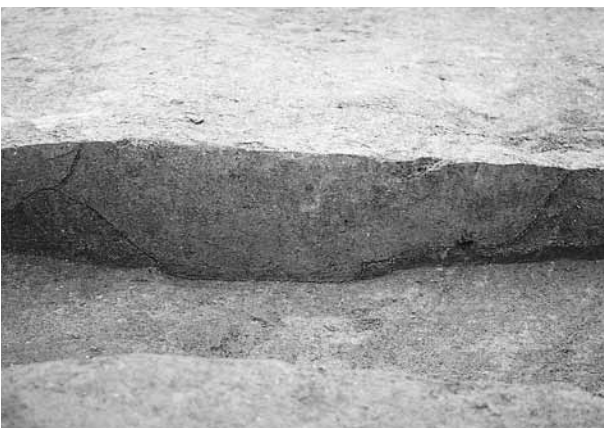
3. 1区第4面12号溝 南から



4. 1区第4面14号溝 西から



5. 1区第3面23号溝 西から



6. 1区第4面25号溝土層断面



7. 1区第4面25号溝 西から



1.1区第4面26号溝 西から



2.1区第4面37号溝 北から



3.1区第4面38・46号溝土層断面



4.1区第4面38・39・40・41・42・43・46号溝 西から



5.1区第4面39・40号溝土層断面

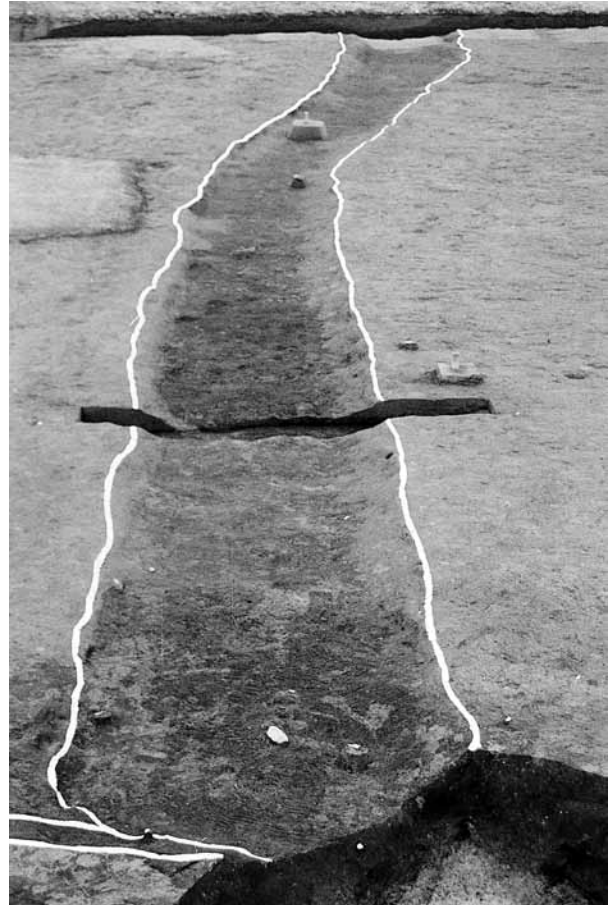


6.1区第4面42・43号溝土層断面

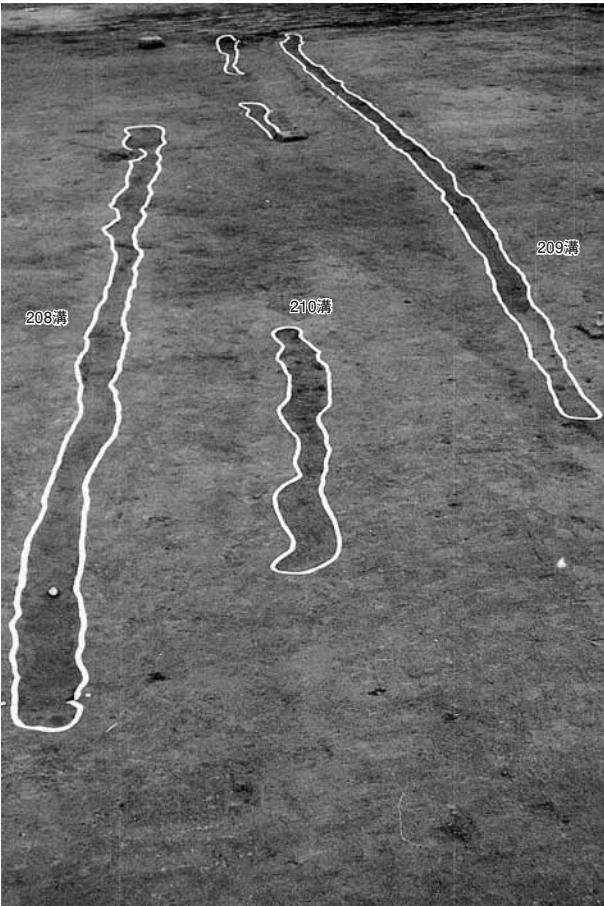




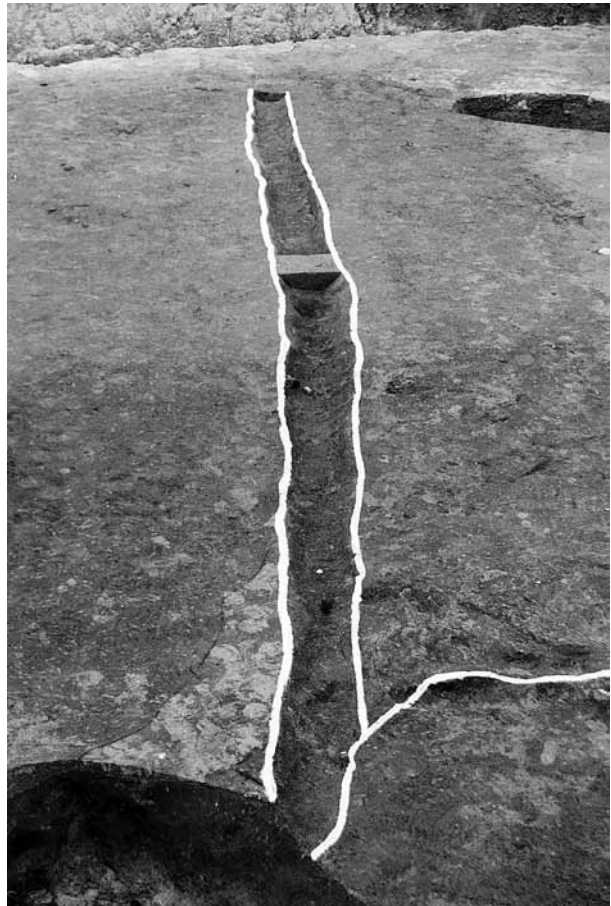
1.1区第6面65・66・67号溝 東から



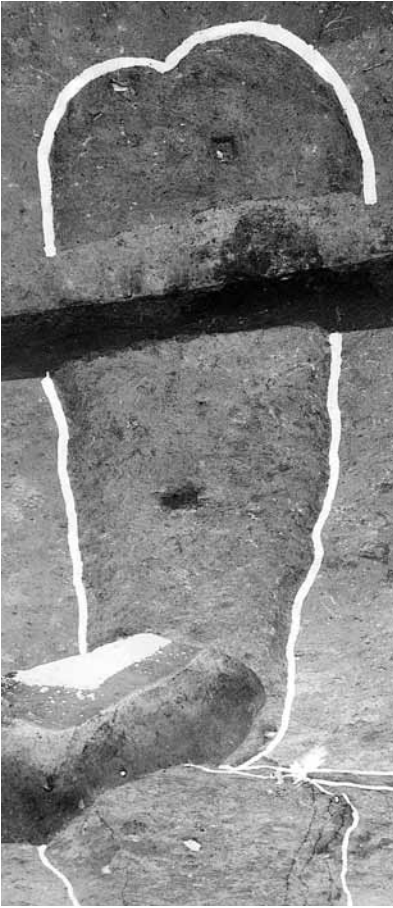
2.1区第3面207号溝 北から



3.1区第3面208・209・210号溝 南から



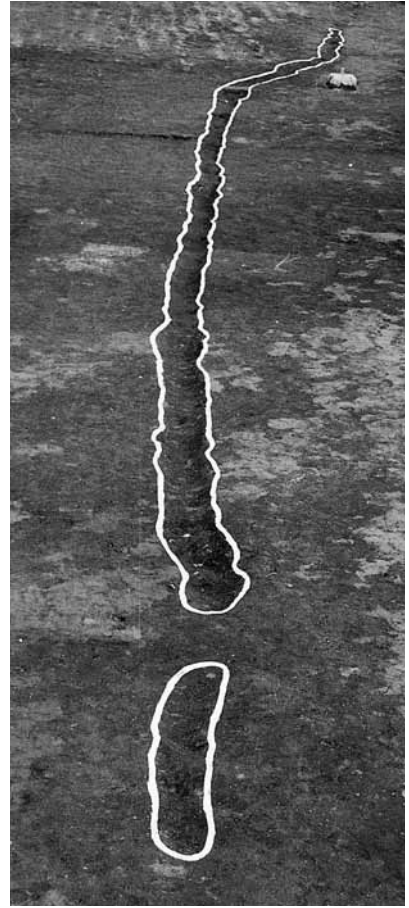
4.1区第3面211号溝 西から



1.1区第3面212号溝 南から



2.1区第4面214号溝 西から



3.1区第4面220号溝 西から



4.1区第5面222号溝 南東から



5.1区第6面223号溝 西から



6.1区第6面226号溝 東から



7.1区第5面227号溝 北から



1.1区第6面228号溝 西から



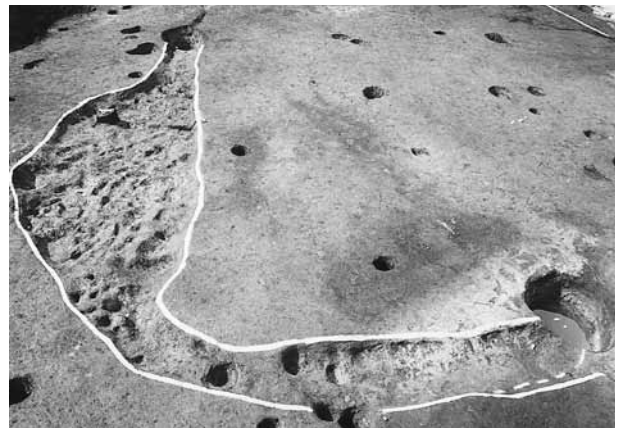
2.1区第5面229号溝 南から



3.1区第6面233号溝 東から



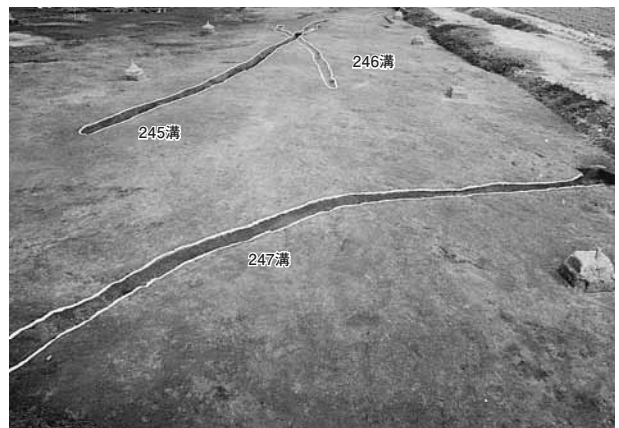
4.1区第6面235号溝 西から



5.1区第6面 242号溝 南東から



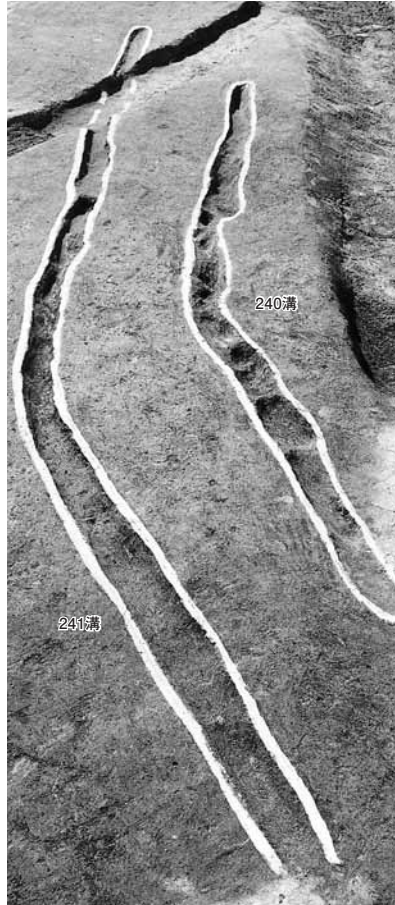
6.1区第6面242号溝土層断面



7.1区第6面245・246・247号溝 西から



1.1区第6面237号溝 南東から



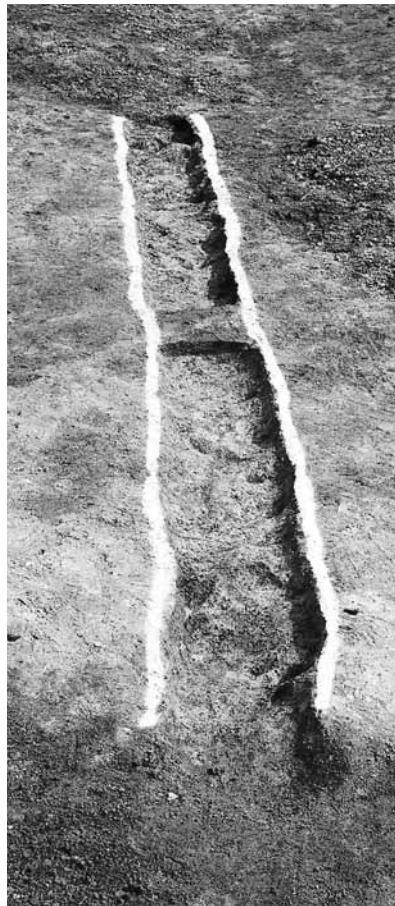
2.1区第5面240・241号溝 東から



3.1区第5面248号溝 南西から



4.1区第5面249号溝 北から



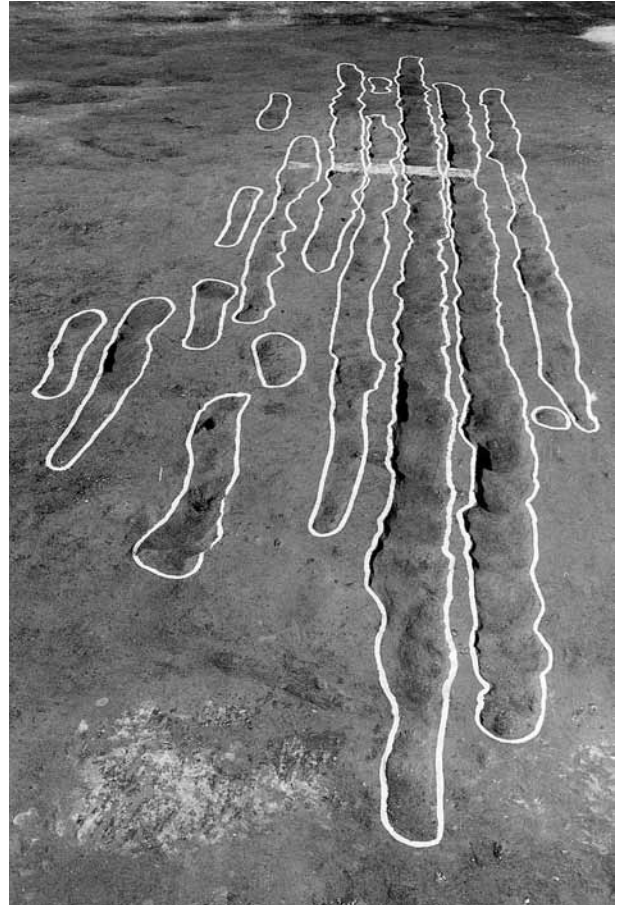
5.1区第6面250号溝 北西から



6.1区第6面251号溝 北東から



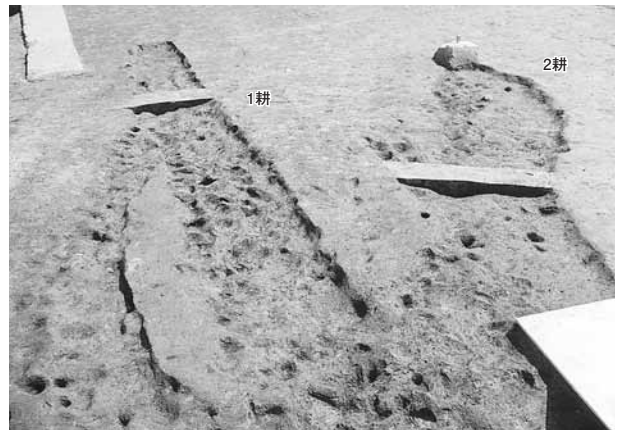
1.1区第1面11号復旧溝 東から



2.1区第1面22号復旧溝 南から



3.1区第1面1号畠 南から



4.1区第4面1・2号耕作痕 西から



5.1区第4面3号耕作痕 西から



6.1区第4面4号耕作痕 南東から



1.2区第1面全景 上空から 上方が北



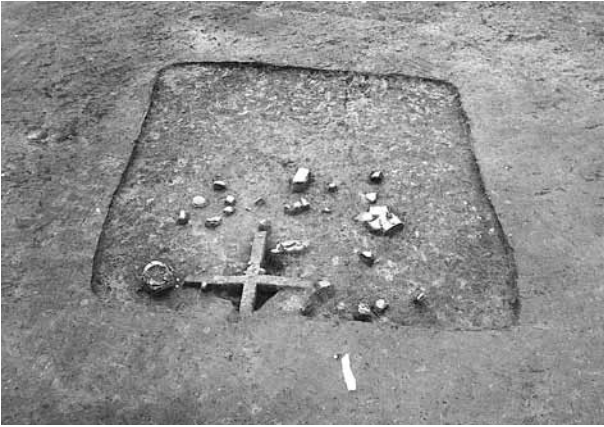
2.2区第3面全景 上空から 上方が南



1.2区第4面全景 上空から 上方が南



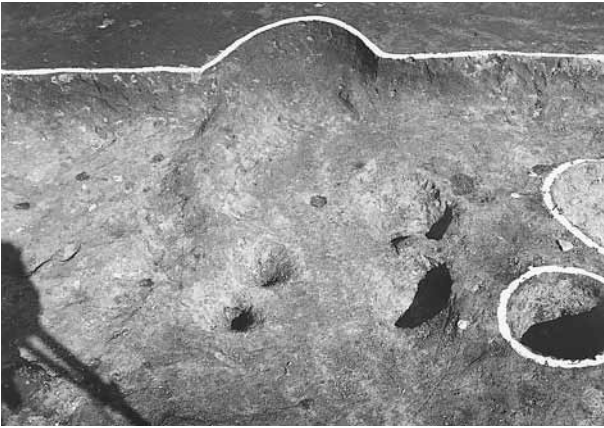
2.2区第5面全景 上空から 上方が南



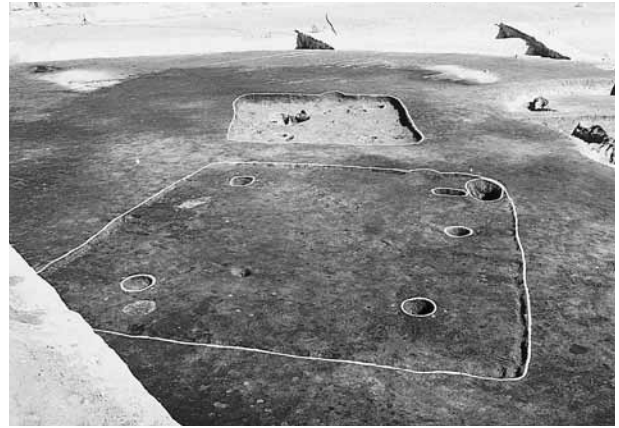
1. 2区第5面1号住居遺物出土状態 北東から



2. 2区第5面1号住居掘り方 南西から



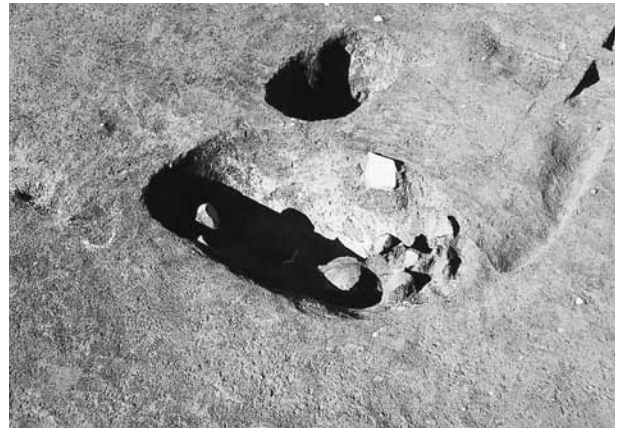
3. 2区第5面1号住居カマド掘り方 南西から



4. 2区第5面2号住居 南西から



5. 2区第5面2号住居掘り方 北西から



6. 2区第5面2号住居貯蔵穴 北東から

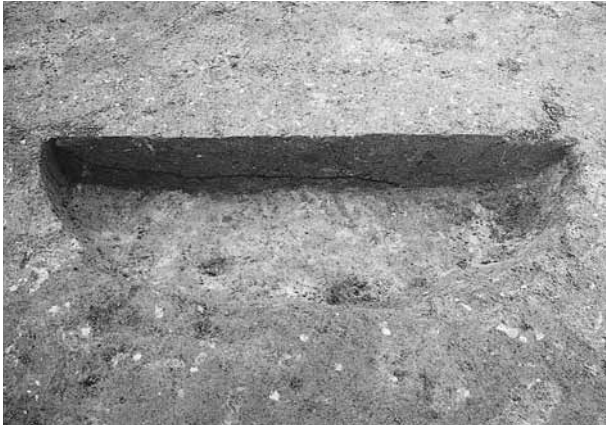


7. 2区第5面1・2号住居掘り方 南西から



8. 2区第5面6号住居土層断面





1. 2区第4面2号土坑土層断面



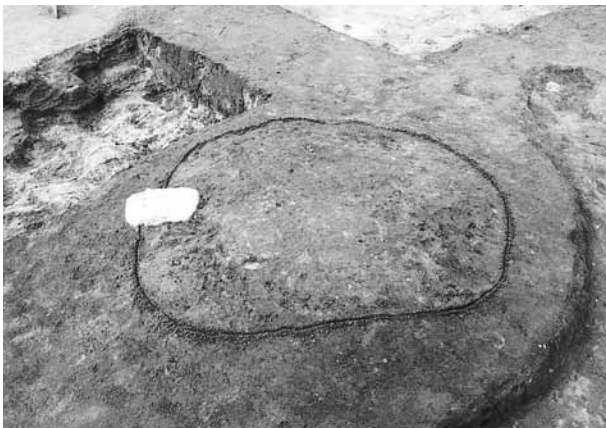
2. 2区第4面3号土坑 南西から



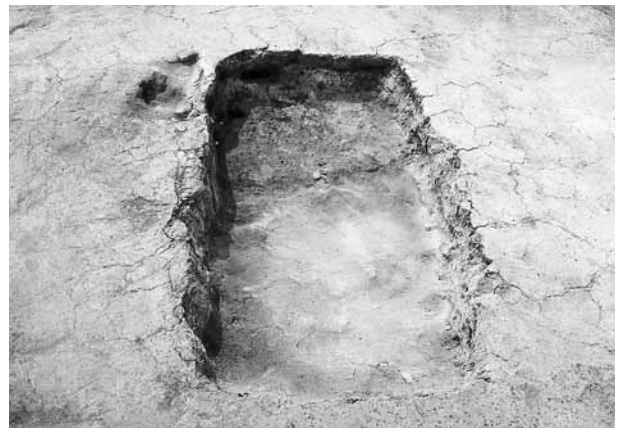
3. 2区第4面5号土坑 南東から



4. 2区第4面6号土坑 南西から



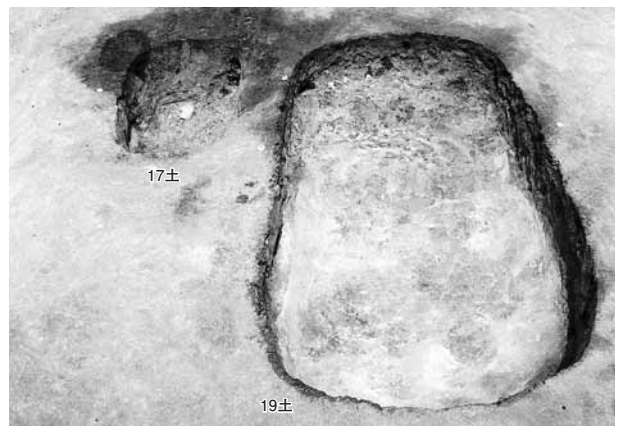
5. 2区第4面7号土坑 東から



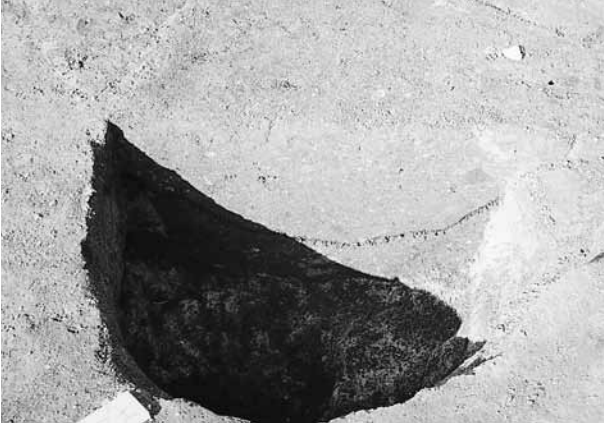
6. 2区第4面16号土坑 東から



7. 2区第4面16号土坑土層断面



8. 2区第4面17・19号土坑 南から



1. 2区第4面17号土坑土層断面



2. 2区第4面19号土坑土層断面



3. 2区第4面21・22号土坑 南から



4. 2区第4面21号土坑土層断面



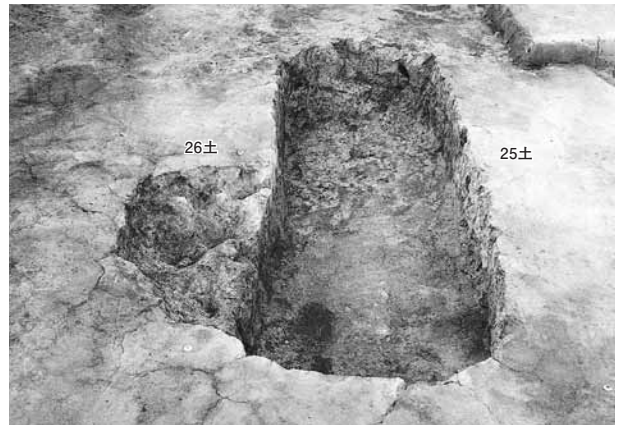
5. 2区第4面23・24号土坑 北から



6. 2区第4面23号土坑土層断面



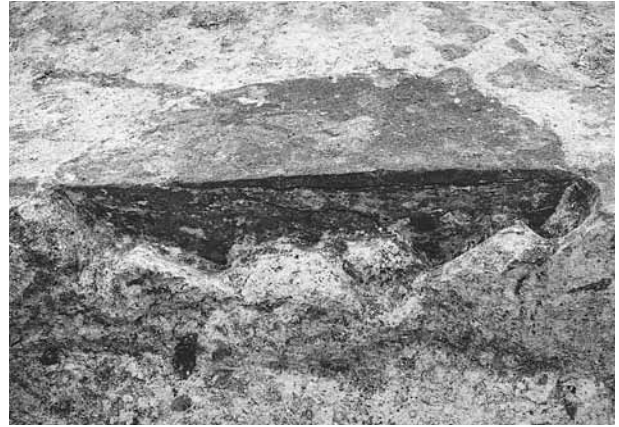
7. 2区第4面24号土坑土層断面



8. 2区第4面25・26号土坑 北から



1. 2区第4面25号土坑土層断面



2. 2区第4面26号土坑土層断面



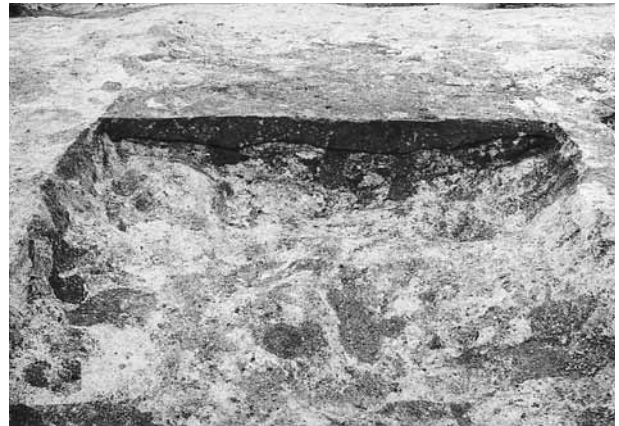
3. 2区第4面28号土坑 東から



4. 2区第4面28号土坑土層断面



5. 2区第4面29号土坑 南から



6. 2区第4面29号土坑土層断面



7. 2区第4面30号土坑 南から



8. 2区第4面30号土坑土層断面



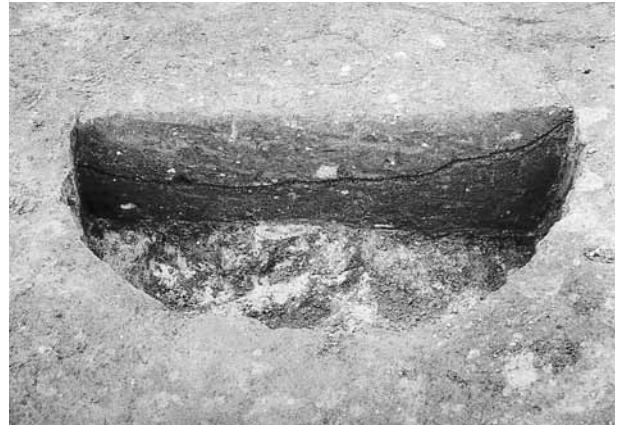
1. 2区第4面31号土坑 北から



2. 2区第4面31号土坑土層断面



3. 2区第4面33号土坑 東から



4. 2区第4面33号土坑土層断面



5. 2区第4面34号土坑 南から



6. 2区第4面34号土坑土層断面



7. 2区第4面35号土坑 東から



8. 2区第4面35号土坑土層断面



1. 2区第4面36号土坑 南から



2. 2区第4面36号土坑土層断面



3. 2区第4面37号土坑 南から



4. 2区第4面37号土坑土層断面



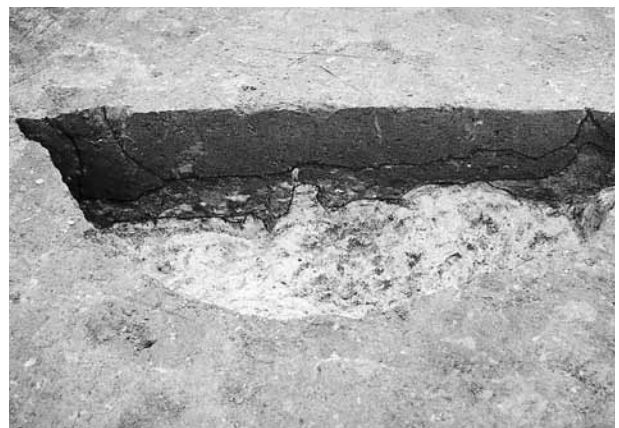
5. 2区第4面38号土坑 東から



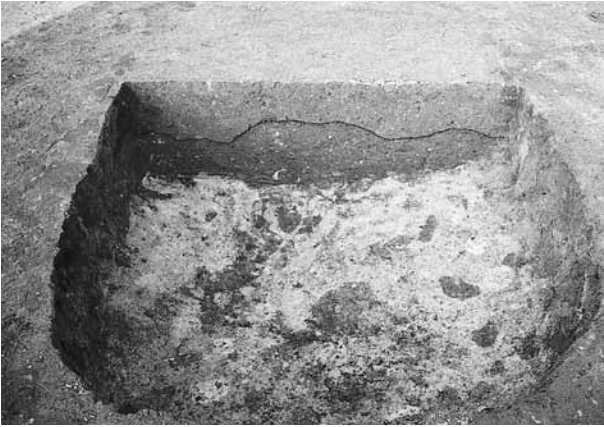
6. 2区第4面38号土坑土層断面



7. 2区第4面39・40号土坑 南から



8. 2区第4面39号土坑土層断面



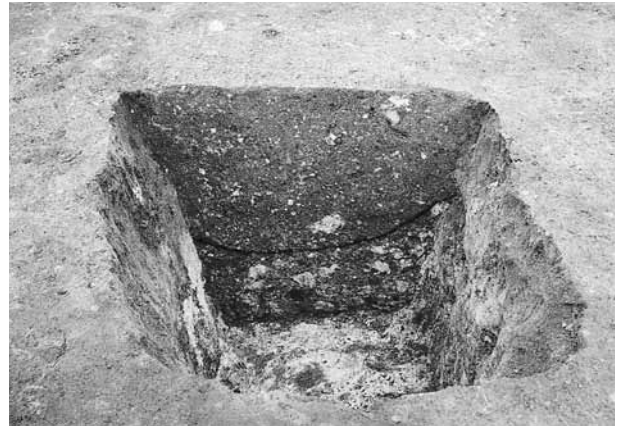
1. 2区第4面40号土坑土層断面



2. 2区第4面41・42号土坑 南から



3. 2区第4面41号土坑土層断面



4. 2区第4面42号土坑土層断面



5. 2区第4面43号土坑 南から



6. 2区第4面44号土坑 西から



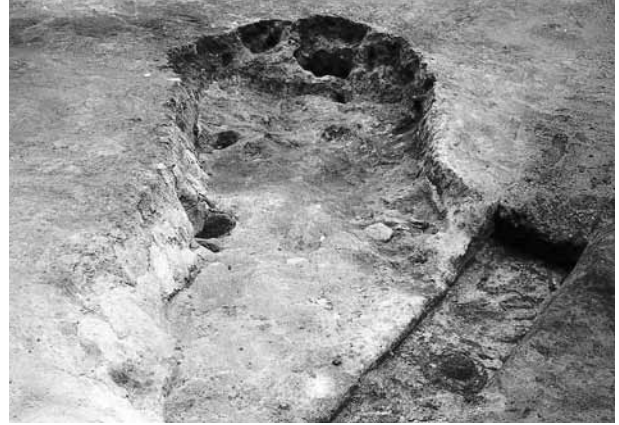
7. 2区第4面43・44号土坑土層断面



8. 2区第4面46号土坑 南から



1. 2区第4面46号土坑土層断面



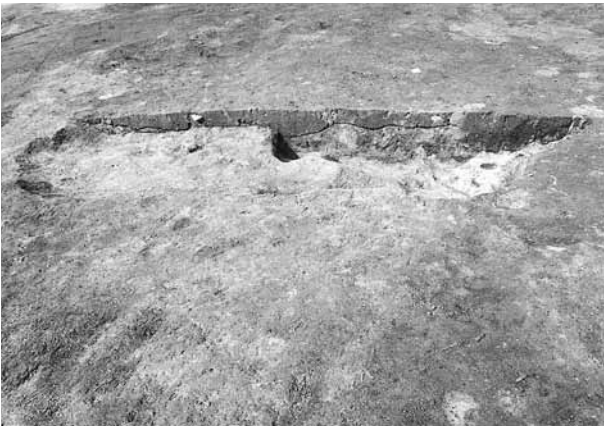
2. 2区第4面47号土坑 南西から



3. 2区第4面50号土坑土層断面



4. 2区第4面51号土坑土層断面



5. 2区第4面52号土坑土層断面



6. 2区第4面53号土坑 南から



7. 2区第4面53号土坑土層断面



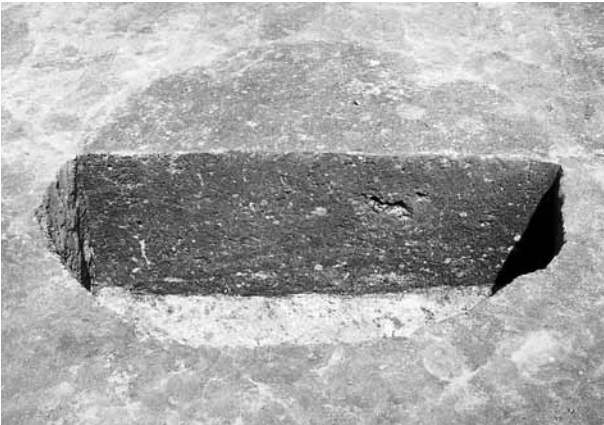
8. 2区第4面54号土坑 南から



1. 2区第4面54号土坑土層断面



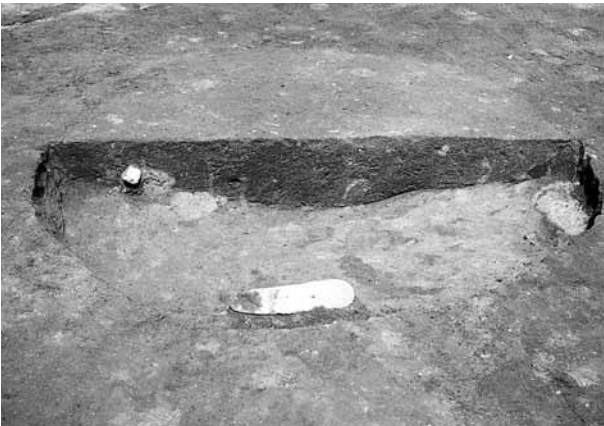
2. 2区第4面55号土坑 南西から



3. 2区第4面55号土坑土層断面



4. 2区第4面56号土坑 南から



5. 2区第4面56号土坑土層断面



6. 2区第4面58号土坑土層断面



7. 2区第4面59号土坑 南西から



8. 2区第4面59号土坑土層断面

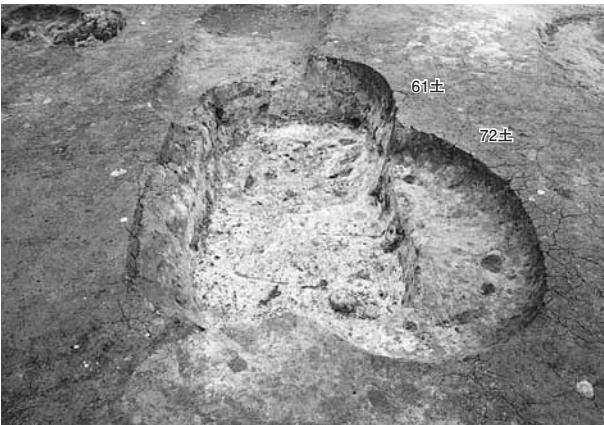




1. 2区第4面60号土坑 西から



2. 2区第4面60号土坑土層断面



3. 2区第4面61・72号土坑 南から



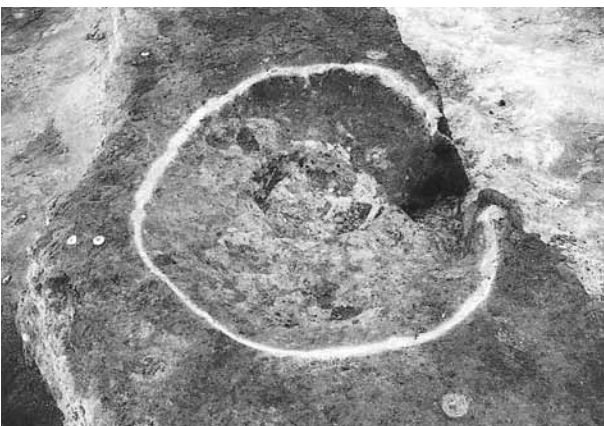
4. 2区第4面61号土坑土層断面



5. 2区第4面63号土坑土層断面



6. 2区第4面69号土坑土層断面



7. 2区第4面71号土坑 南から



8. 2区第4面73号土坑 南から



1. 2区第4面73号土坑土層断面



2. 2区第4面74号土坑 東から



3. 2区第4面74号土坑土層断面



4. 2区第4面78号土坑土層断面



5. 2区第4面88・89号土坑 東南から



6. 2区第4面88号土坑土層断面



7. 2区第4面89号土坑土層断面



8. 2区第4面90号土坑 北から



1. 2区第4面90号土坑土層断面



2. 2区第4面92号土坑 北から



3. 2区第4面92号土坑土層断面



4. 2区第4面94号土坑土層断面



5. 2区第4面95号土坑 南から



6. 2区第4面95号土坑土層断面



7. 2区第4面96号土坑 西から



8. 2区第4面96号土坑土層断面



1. 2区第4面97号土坑 西から



2. 2区第4面97号土坑土層断面



3. 2区第4面98号土坑 東南から



4. 2区第4面99号土坑 南から



5. 2区第4面99号土坑土層断面



6. 2区第4面100号土坑土層断面



7. 2区第4面101号土坑 南から



8. 2区第4面101号土坑土層断面



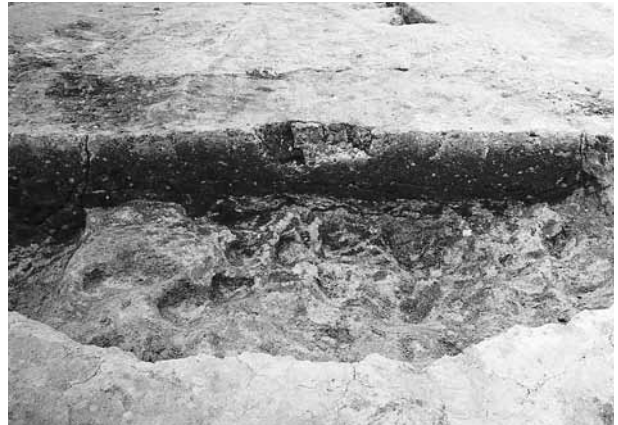
1. 2区第4面102号土坑 東から



2. 2区第4面102号土坑土層断面



3. 2区第4面103号土坑 東から



4. 2区第4面103号土坑土層断面



5. 2区第4面104号土坑 西から



6. 2区第4面104号土坑土層断面



7. 2区第4面105号土坑 南から



8. 2区第4面105号土坑土層断面



1. 2区第4面106号土坑 北から



2. 2区第4面106号土坑土層断面



3. 2区第4面107号土坑 南から



4. 2区第4面108号土坑土層断面



5. 2区第4面109号土坑 北から



6. 2区第4面109号土坑土層断面



7. 2区第4面110号土坑 北から



8. 2区第4面110号土坑土層断面



1. 2区第4面111号土坑土層断面



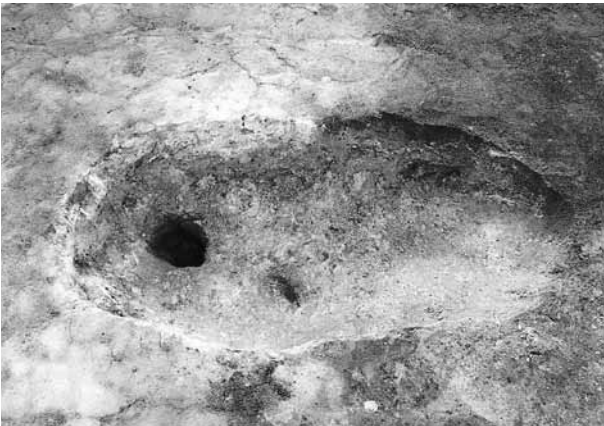
2. 2区第4面112号土坑 南から



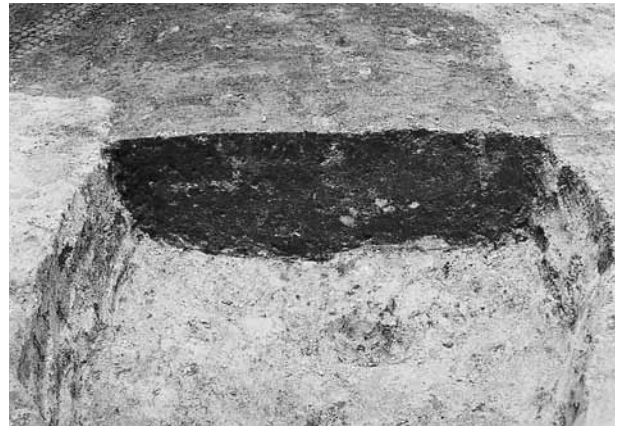
3. 2区第4面112号土坑土層断面



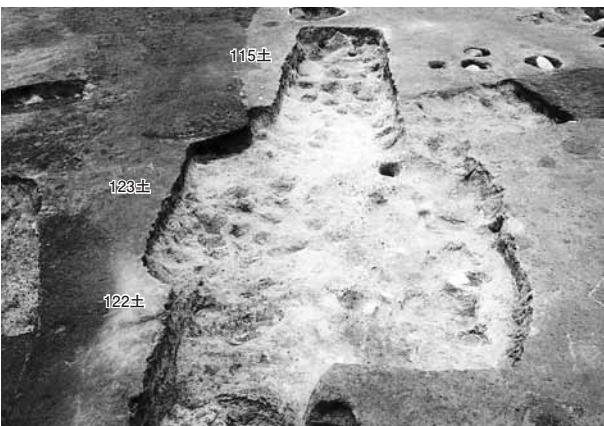
4. 2区第4面113号土坑土層断面



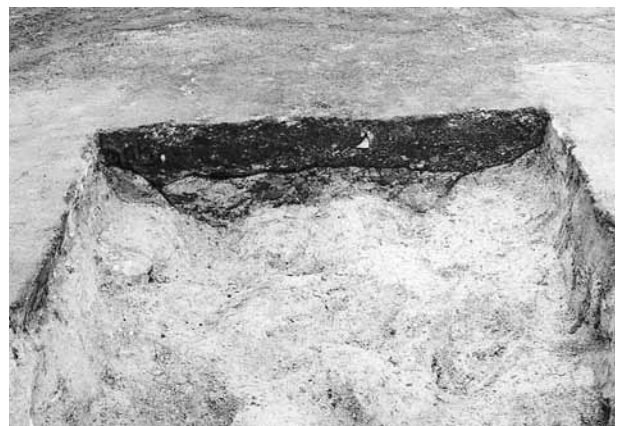
5. 2区第4面114号土坑 東から



6. 2区第4面114号土坑土層断面



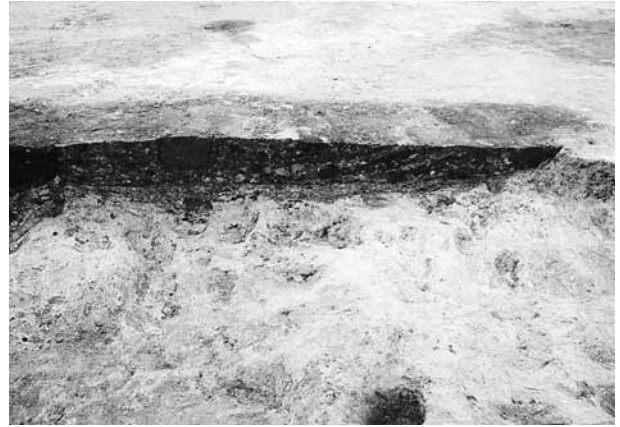
7. 2区第4面115・122・123号土坑 北東から



8. 2区第4面115号土坑土層断面



1. 2区第4面122号土坑土層断面



2. 2区第4面123号土坑土層断面



3. 2区第4面116号土坑 南西から



4. 2区第4面116号土坑土層断面



5. 2区第4面117号土坑 南西から



6. 2区第4面117号土坑土層断面

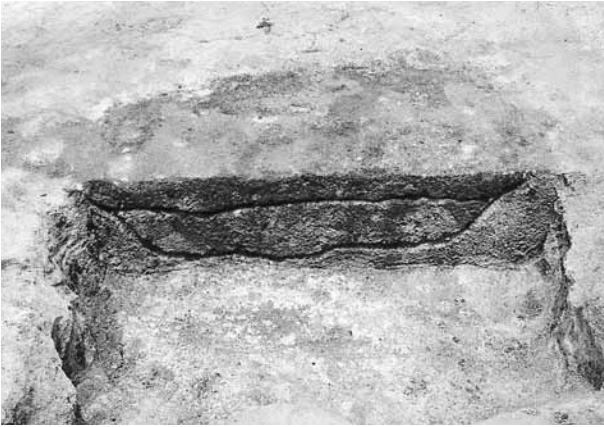


7. 2区第4面118号土坑 西から



8. 2区第4面119号土坑 南から





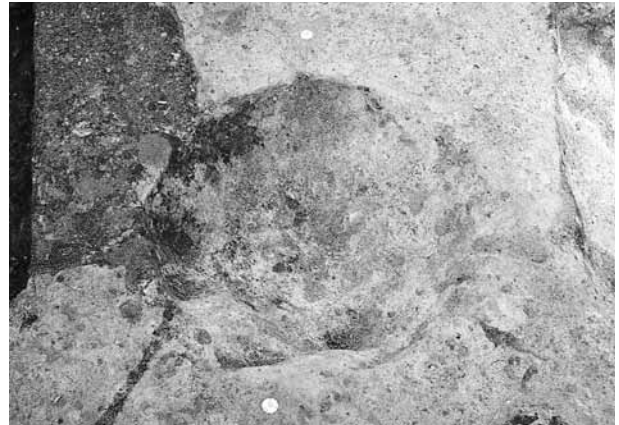
1. 2区第4面119号土坑土層断面



2. 2区第4面120号土坑 南から



3. 2区第4面120号土坑土層断面



4. 2区第4面121号土坑 東南から



5. 2区第4面121号土坑土層断面



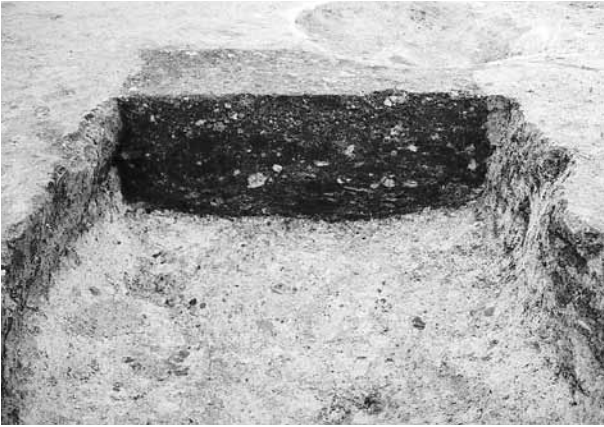
6. 2区第4面124号土坑 東から



7. 2区第4面124号土坑土層断面



8. 2区第4面125号土坑 東から



1. 2区第4面125号土坑土層断面



2. 2区第4面126号土坑 南西から



3. 2区第4面126号土坑土層断面



4. 2区第4面127号土坑土層断面



5. 2区第4面128号土坑 東から



6. 2区第4面128号土坑土層断面



7. 2区第4面129号土坑 北から



8. 2区第4面129号土坑土層断面



1. 2区第4面130号土坑土层断面



2. 2区第4面131号土坑土层断面



3. 2区第4面132号土坑土层断面



4. 2区第4面133号土坑土层断面



5. 2区第4面134号土坑土层断面



6. 2区第4面135号土坑土层断面



7. 2区第4面144号土坑土层断面



8. 2区第4面145号土坑土层断面



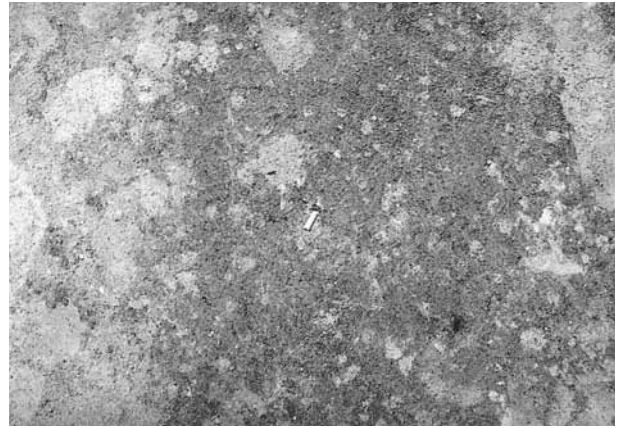
1. 2区第4面147号土坑土層断面



2. 2区第4面148号土坑土層断面



3. 2区第4面150号土坑 東から



4. 2区第4面151号土坑管玉出土状態



5. 2区第4面154号土坑土層断面



6. 2区第4面155号土坑 南から



7. 2区第4面157号土坑 南西から



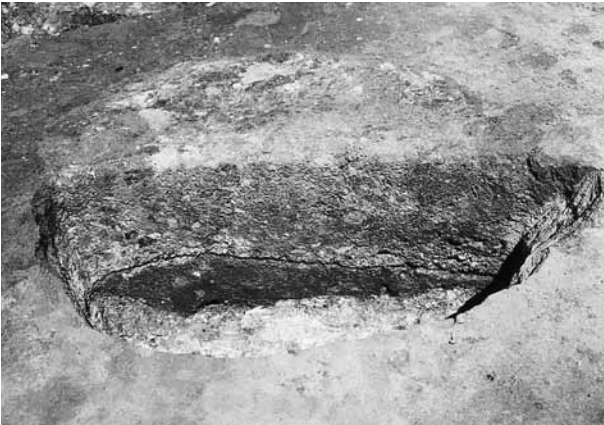
8. 2区第4面157号土坑土層断面



1. 2区第4面158号土坑土層断面



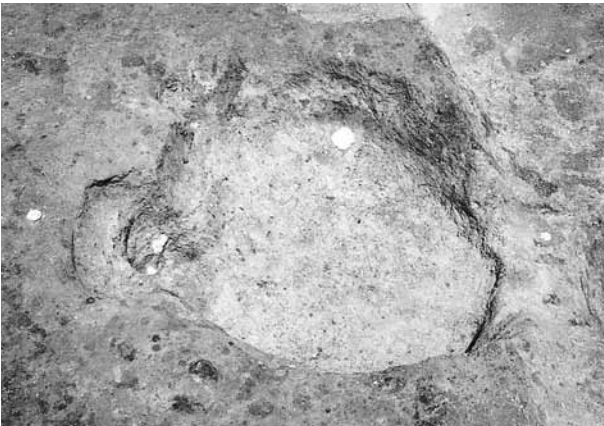
2. 2区第4面159号土坑 南から



3. 2区第4面159号土坑土層断面



4. 2区第4面162号土坑 西から



5. 2区第4面163号土坑 南から



6. 2区第4面163号土坑土層断面



7. 2区第4面166号土坑 西から



8. 2区第4面166号土坑土層断面



1. 2区第4面167号土坑土層断面



2. 2区第4面168号土坑土層断面



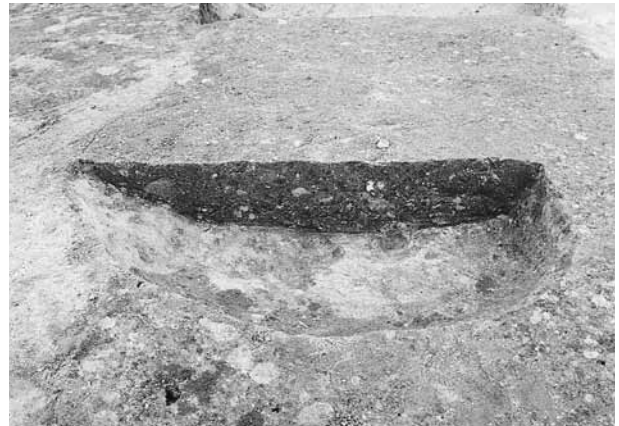
3. 2区第4面175号土坑土層断面



4. 2区第4面176号土坑 北から



5. 2区第4面177号土坑 南から



6. 2区第4面177号土坑土層断面



7. 2区第4面178号土坑土層断面



8. 2区第4面181号土坑 南から



1. 2区第4面181号土坑土層断面



2. 2区第4面182号土坑 南から



3. 2区第4面182号土坑土層断面



4. 2区第4面214号土坑 南から



5. 2区第4面216号土坑 南から



6. 2区第4面217号土坑 南から



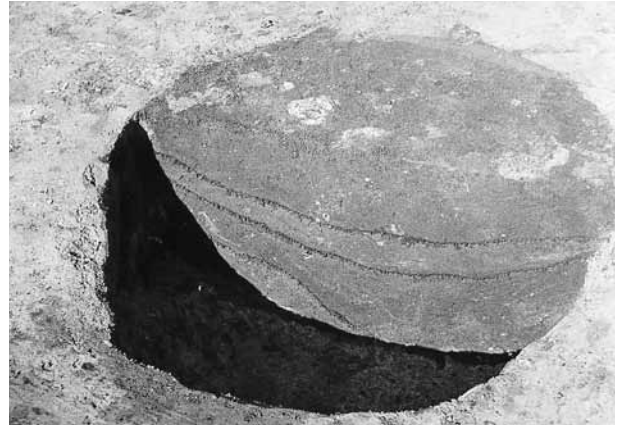
7. 2区第4面218号土坑 東から



8. 2区第4面219号土坑 南東から



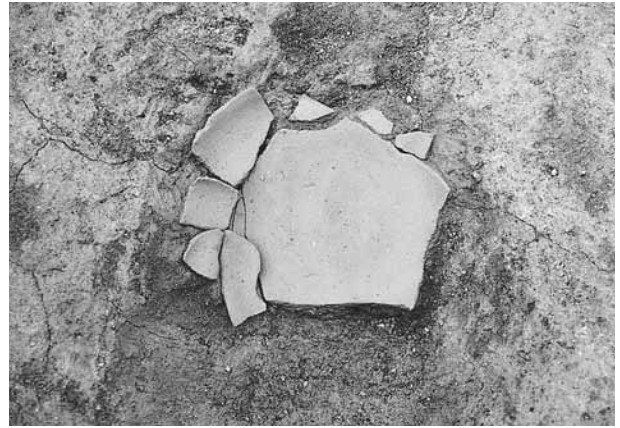
1. 2区第4面220号土坑土層断面



2. 2区第4面222号土坑土層断面



3. 2区第4面223号土坑土層断面



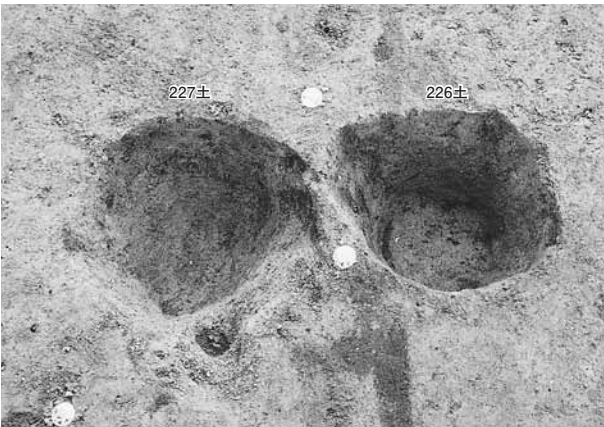
4. 2区第4面224号土坑遺物出土状態



5. 2区第4面225号土坑 南東から



6. 2区第4面225号土坑土層断面



7. 2区第4面226・227号土坑 北西から

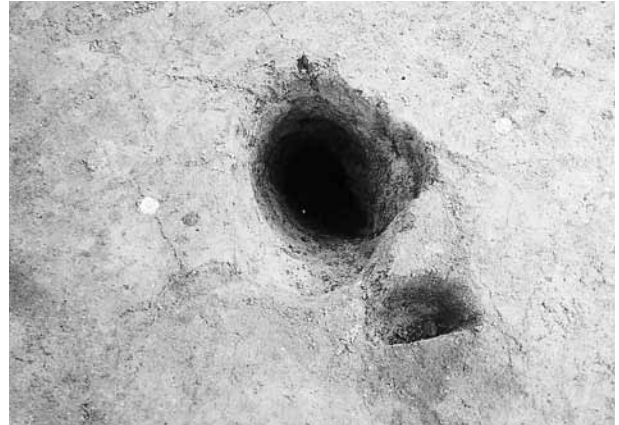


8. 2区第4面226号土坑土層断面





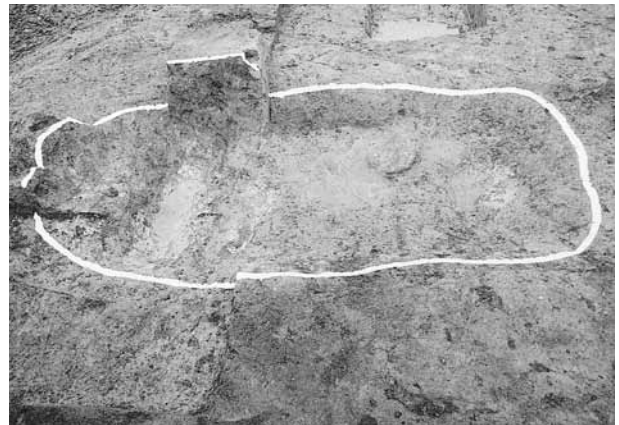
1. 2区第4面227号土坑土層断面



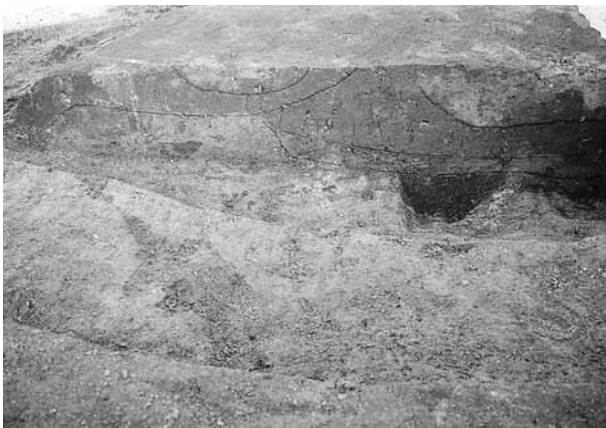
2. 2区第4面228号土坑 北西から



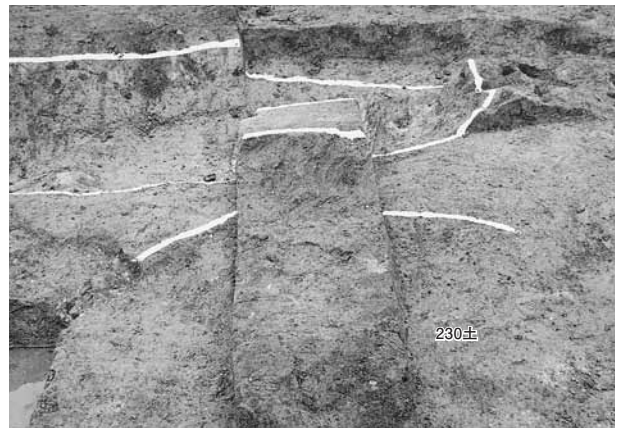
3. 2区第4面228号土坑土層断面



4. 2区第4面229号土坑 西から



5. 2区第4面229号土坑土層断面



6. 2区第4面230号土坑 東から



7. 2区第4面317号土坑 南から



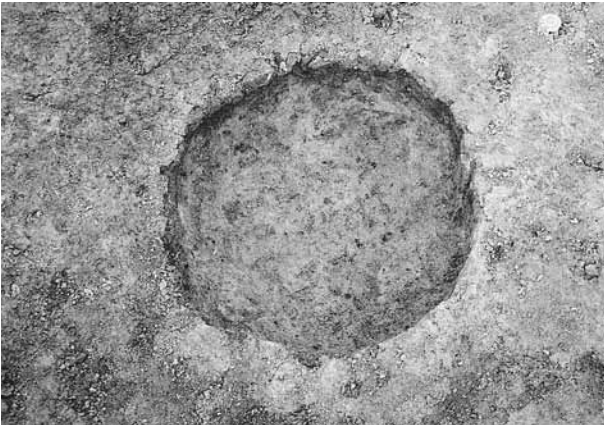
8. 2区第4面317号土坑土層断面



1. 2区第4面318号土坑 南から



2. 2区第4面318号土坑土層断面



3. 2区第4面319号土坑 南から



4. 2区第4面319号土坑土層断面



5. 2区第4面320号土坑 北西から



6. 2区第4面320号土坑土層断面



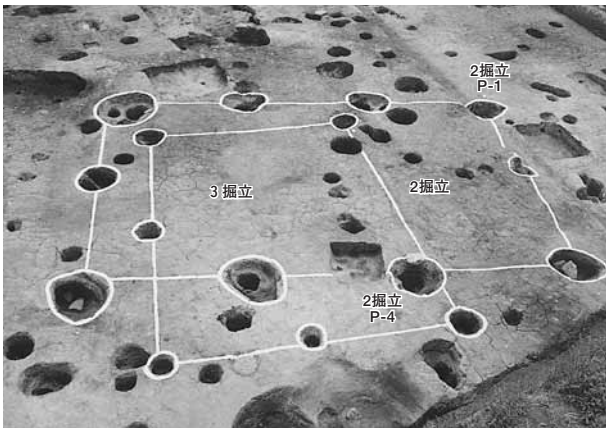
7. 2区第4面321号土坑 南東から



8. 2区第4面321号土坑土層断面



1. 2区第4面館内掘立柱建物群 西から



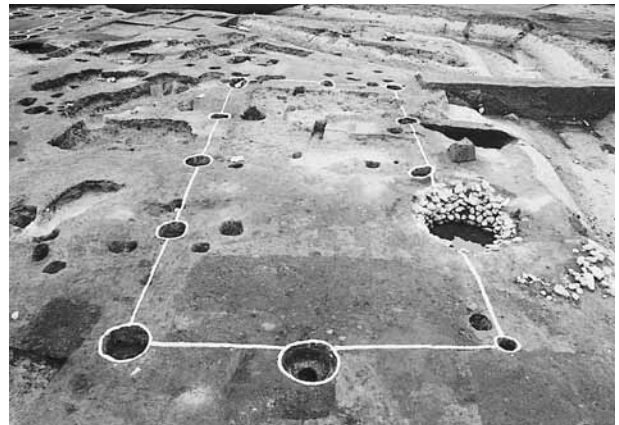
2. 2区第4面2・3号掘立柱建物 西から



3. 2区第4面2号掘立柱建物P 1土層断面



4. 2区第4面2号掘立柱建物P 4土層断面



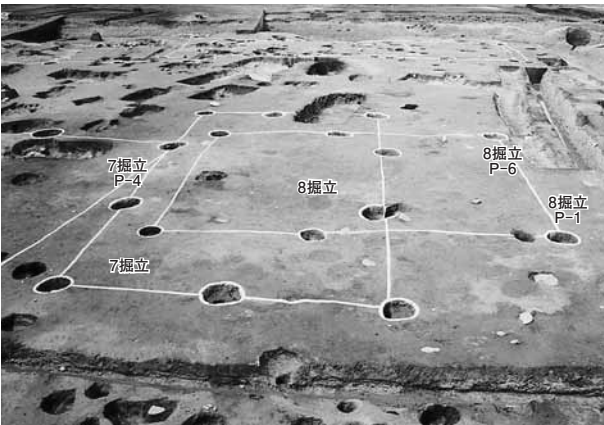
5. 2区第4面4号掘立柱建物 東から



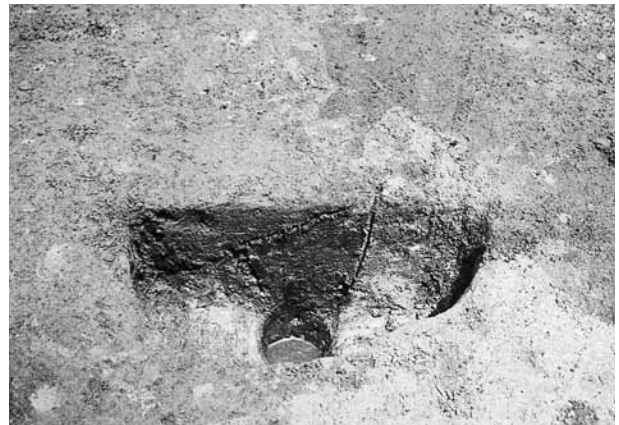
1. 2区第4面4号掘立柱建物P1土層断面



2. 2区第4面4号掘立柱建物P3土層断面



3. 2区第4面7・8号掘立柱建物 南から



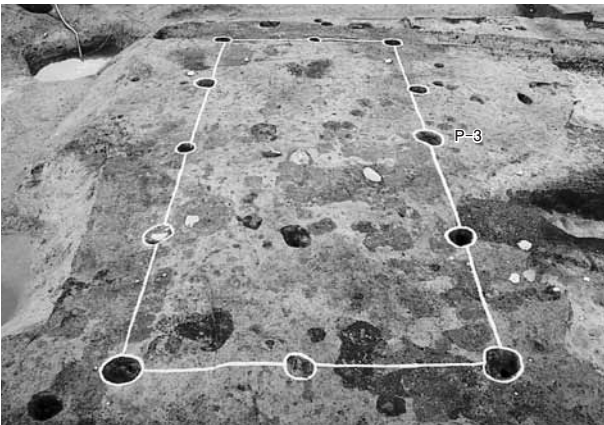
4. 2区第4面7号掘立柱建物P3土層断面



5. 2区第4面8号掘立柱建物P1土層断面



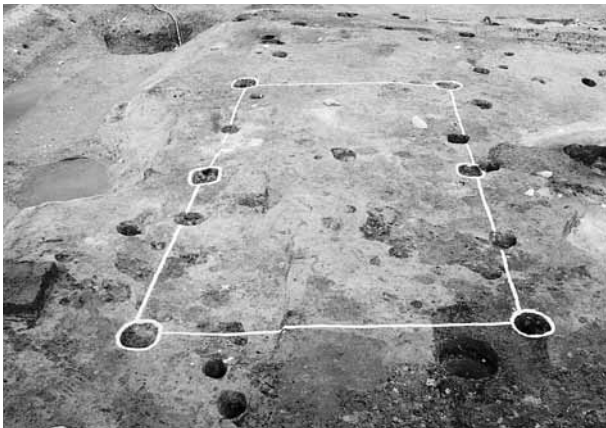
6. 2区第4面8号掘立柱建物P6土層断面



7. 2区第4面9号掘立柱建物 西から



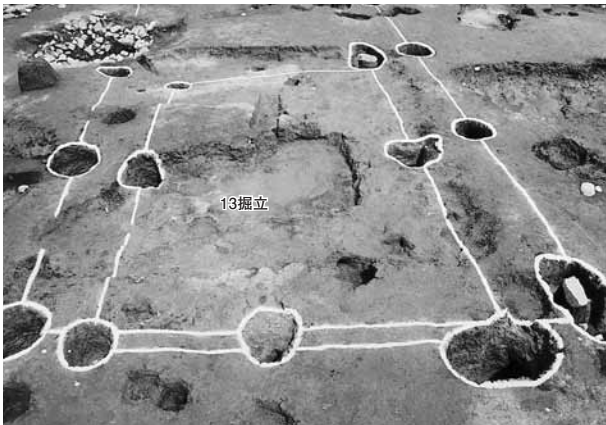
8. 2区第4面9号掘立柱建物P3土層断面



1. 2区第4面10号掘立柱建物 西から



2. 2区第4面11号掘立柱建物 西から



13掘立

3. 2区第4面13号掘立柱建物 西から



14掘立

4. 2区第4面14号掘立柱建物 西から



15掘立

5. 2区第4面15号掘立柱建物 西南から



16掘立

6. 2区第4面16号掘立柱建物 西南から



1  
柵列

7. 2区第4面1号柵列 西北から

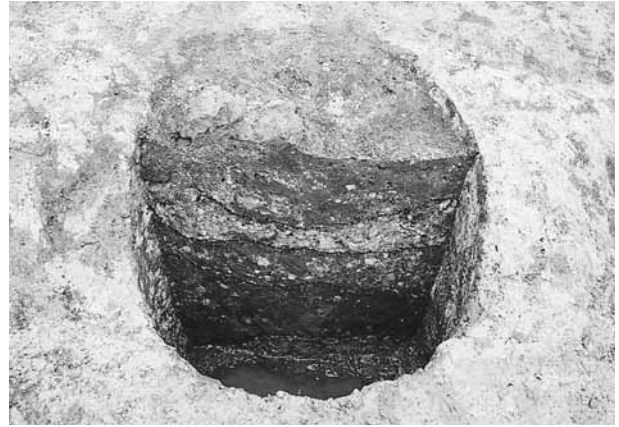


2  
柵列

8. 2区第4面2号柵列 東から



1. 2区第4面1号井戸 南から



2. 2区第4面1号井戸土層断面



3. 2区第4面2号井戸 東から



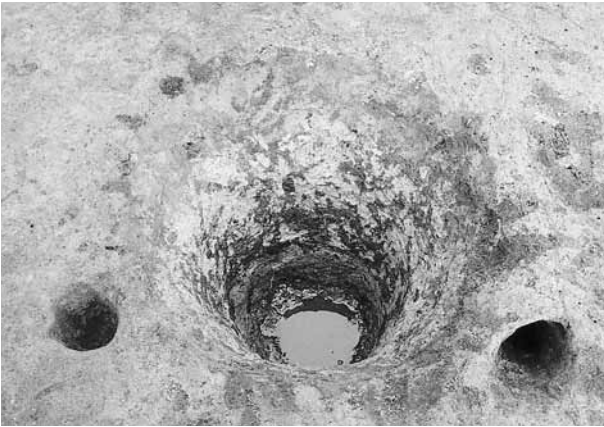
4. 2区第4面2号井戸土層断面



5. 2区第4面3号井戸 南から



6. 2区第4面3号井戸土層断面



7. 2区第5面4号井戸 南から



8. 2区第5面4号井戸 西から



1. 2区第4面5号井戸土層断面



2. 2区第4面7号井戸 南から



3. 2区第4面7号井戸土層断面



4. 2区第4面8号井戸 南から



5. 2区第4面8号井戸土層断面



6. 2区第4面9号井戸 南から



7. 2区第4面9号井戸土層断面



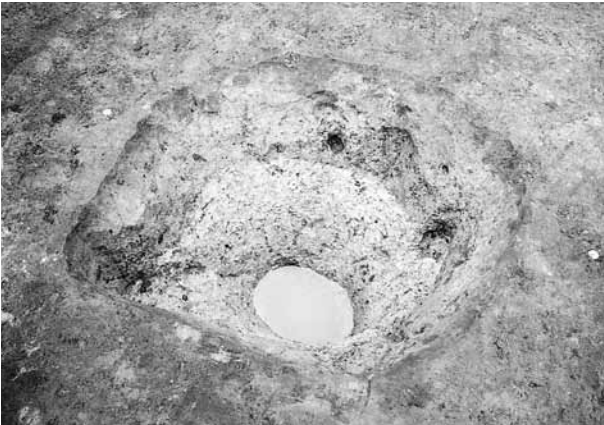
8. 2区第4面9号井戸 南から



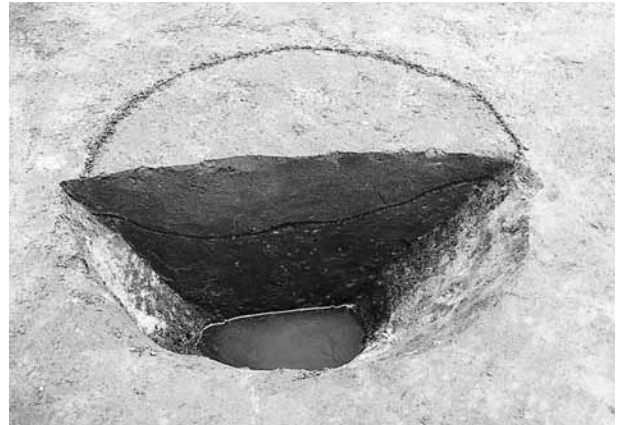
1. 2区第4面10号井戸 西から



2. 2区第3・4面12号井戸 東から



3. 2区第4面13号井戸 西南から



4. 2区第4面13号井戸土層断面



5. 2区第4面17号井戸 南東から



6. 2区第4面18号井戸 南から



7. 2区第4面18号井戸 西から



8. 2区第6面22号井戸 南から





1. 2区第1面4号溝 南から



2. 2区第1面5号溝土層断面



3. 2区第1面9号溝 西から



4. 2区第3面16号溝 南から



5. 2区第3面16号溝 東から



6. 2区第3面16号溝板碑出土状態



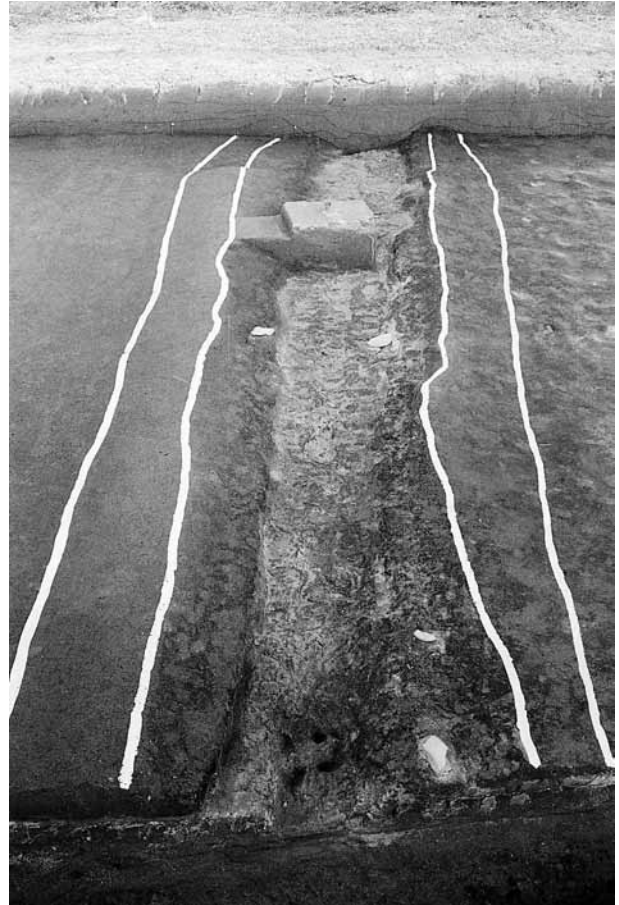
7. 2区第3面16号溝 西から



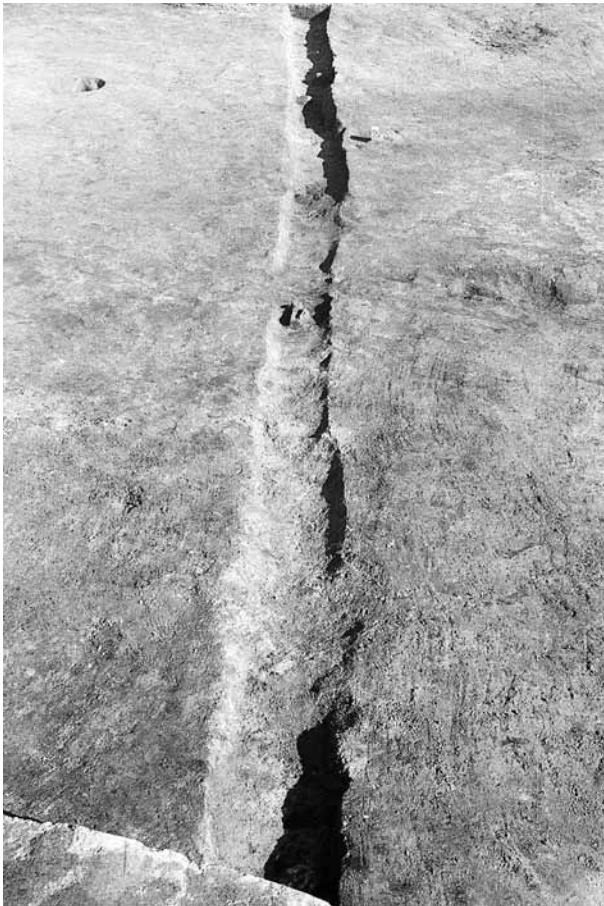
1. 2区第3面21号溝南壁工具痕



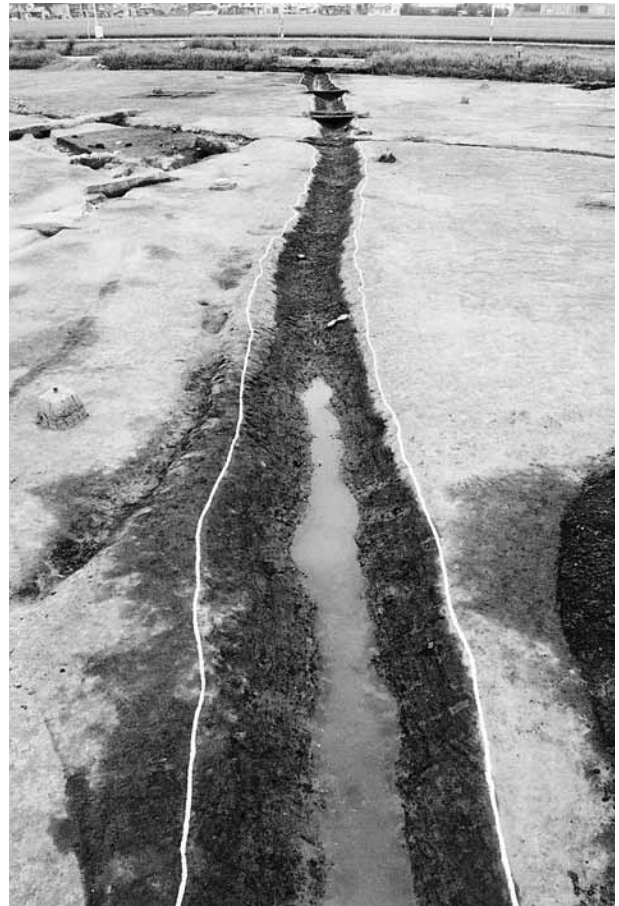
2. 2区第3面22号溝遺物出土状態



3. 2区第3面23号溝 西から



4. 2区第4面26号溝 東から



5. 2区第5面45号溝 南から



1. 2区第5面44号溝 西から



2. 2区第4面48号溝土層断面



3. 2区第4面49号溝 南西から



4. 2区第4面50号溝 南から



5. 2区第4面51号溝 南から



6. 2区第4面52号溝 南から



7. 2区第4面53号溝 南から



1. 2区第4面54号溝 南から



2. 2区第4面56・57号溝 南から



3. 2区第4面58号溝土層断面



4. 2区第4面68号溝土層断面



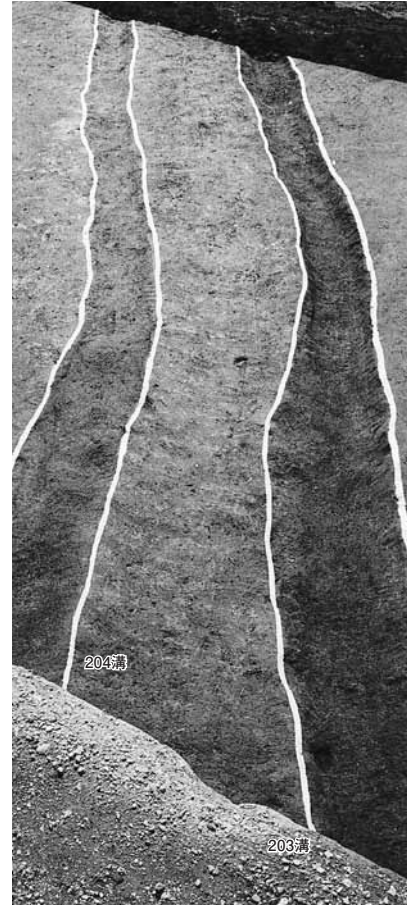
5. 2区第4面69・70号溝 南から



1. 2区第4面129号溝 南から



2. 2区第4面161号溝 南から



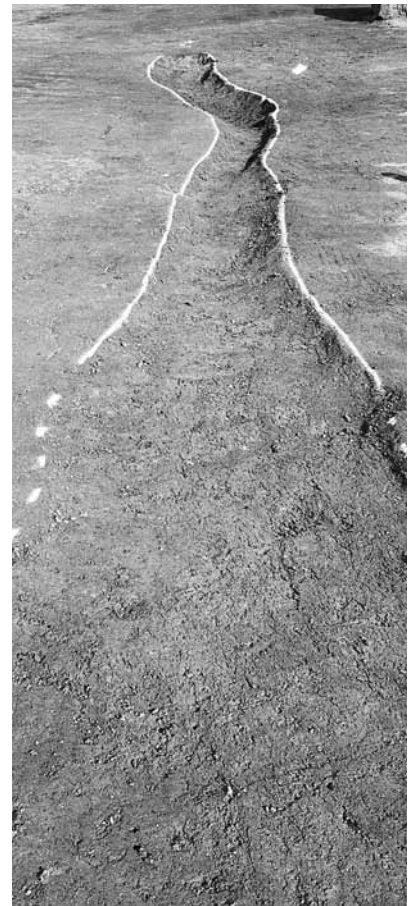
3. 2区第3面203・204号溝 東から



4. 2区第5面215号溝 西から



5. 2区第6面230号溝 東から



6. 2区第6面231号溝 西から



1. 2区第1面4号復旧溝 南から



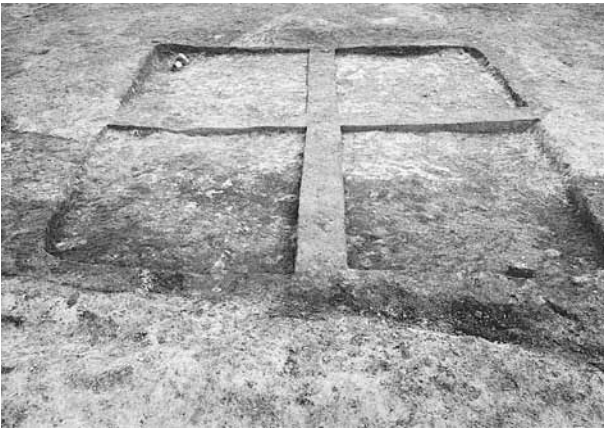
2. 2区第1面5号復旧溝 南から



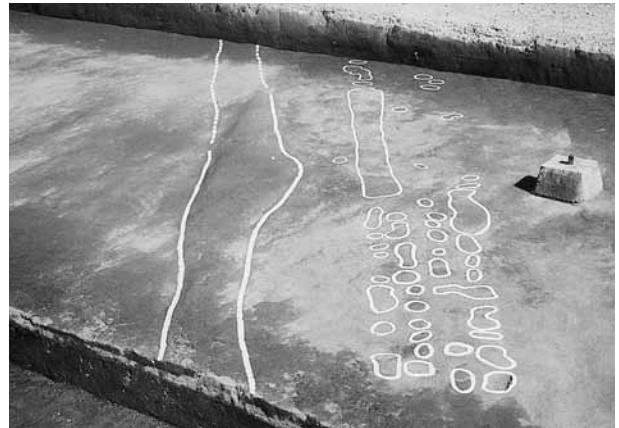
3. 2区第1面6号復旧溝 西から



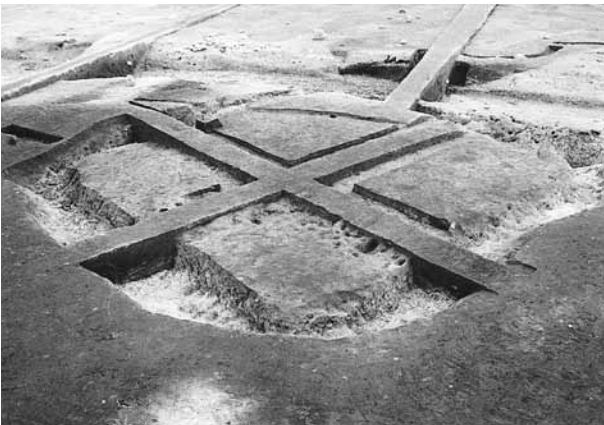
4. 2区第1面10号復旧溝 南から



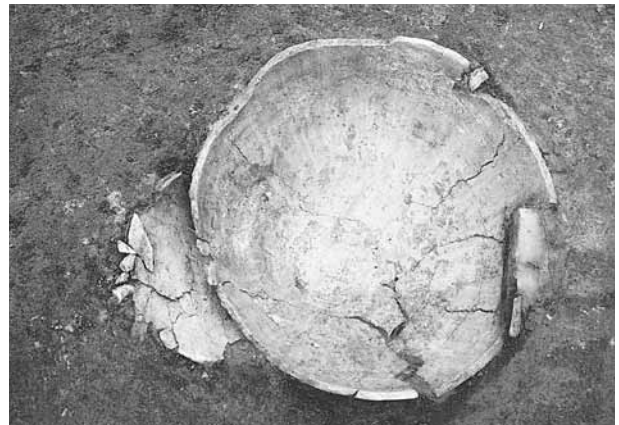
5. 2区第4面1号竪穴遺構 東から



6. 2区第4面耕作痕 西から



7. 2区第6面1号周溝墓 北西から



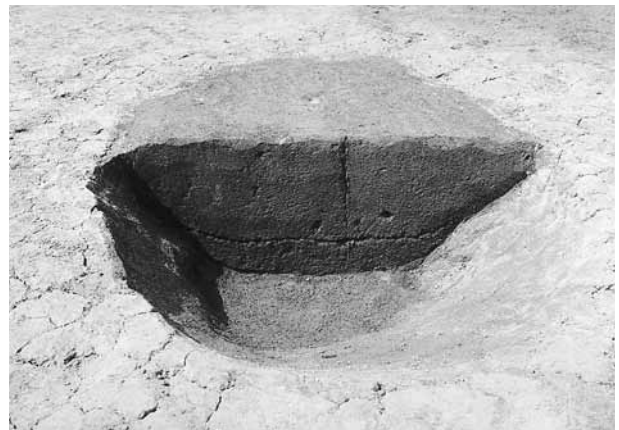
8. 2区第6面1号埋甕出土状態



1. 3区第5面全景 上空から 上方が北



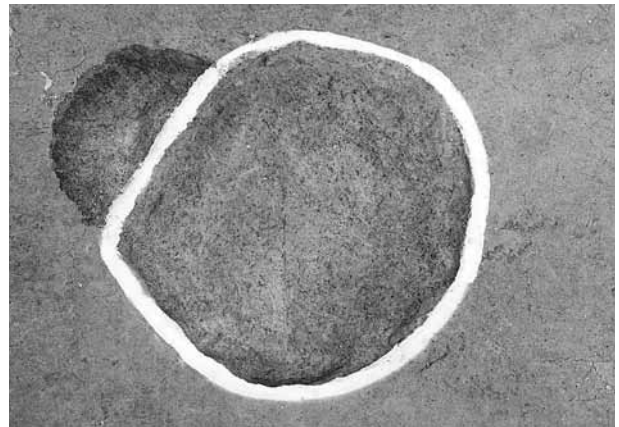
2. 3区第5面86号土坑 南から



3. 3区第5面86号土坑土層断面



4. 3区第5面87号土坑 北から



5. 3区第6面301号土坑 西から



1. 3区第6面301号土坑土層断面



2. 3区第6面302号土坑 南西から



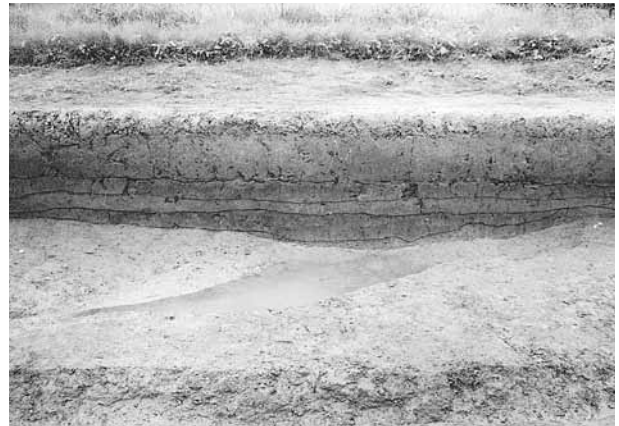
3. 3区第6面302号土坑土層断面



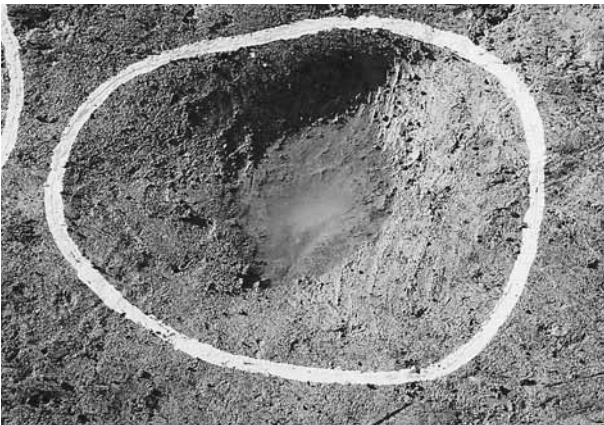
4. 3区第6面303号土坑 東から



5. 3区第6面304号土坑 東から



6. 3区第6面304号土坑土層断面

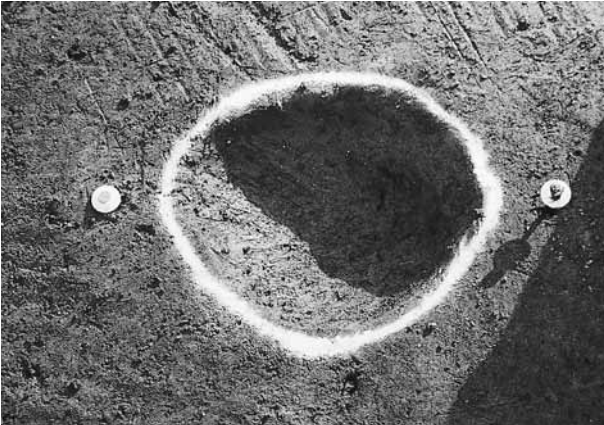


7. 3区第6面311号土坑 東から



8. 3区第6面312号土坑 東から

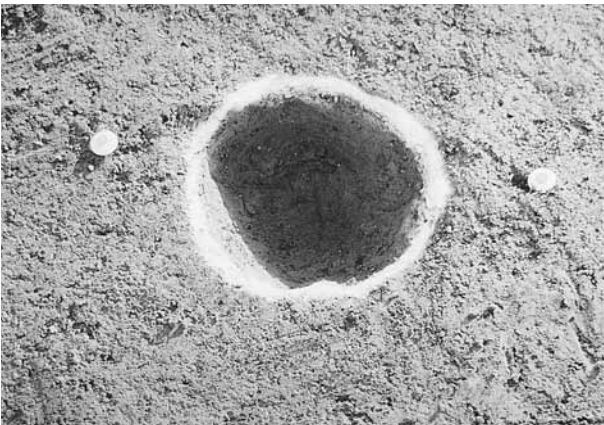




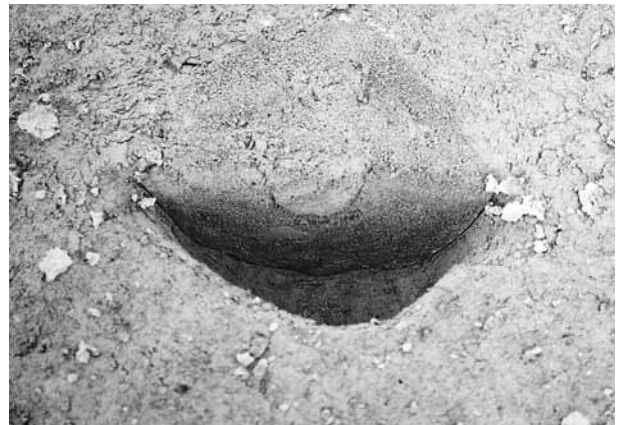
1. 3区第6面313号土坑 北から



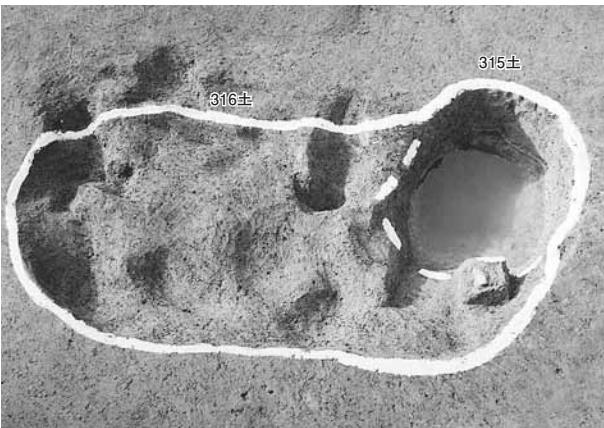
2. 3区第6面313号土坑土層断面



3. 3区第6面314号土坑 北から



4. 3区第6面314号土坑土層断面



5. 3区第6面315・316号土坑 東から



6. 3区第6面315・316号土坑土層断面



7. 3区第1面6号溝土層断面



8. 3区第1面7号溝土層断面



1. 3区第1面8号沟土层断面



2. 3区第3面16号沟土层断面



3. 3区第4面60号沟土层断面



4. 3区第3面61号沟土层断面



5. 3区第3面62号沟土层断面



6. 3区第3面63号沟土层断面



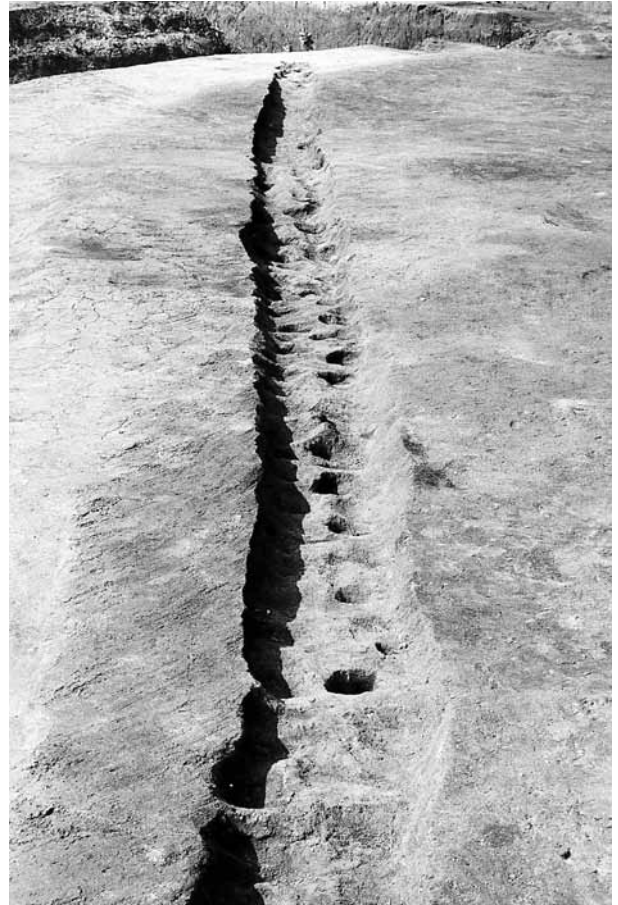
7. 3区第3面64号沟土层断面



8. 3区第6面71号沟土层断面



1. 3区第6面71号溝 北から



2. 3区第6面72号溝 北から



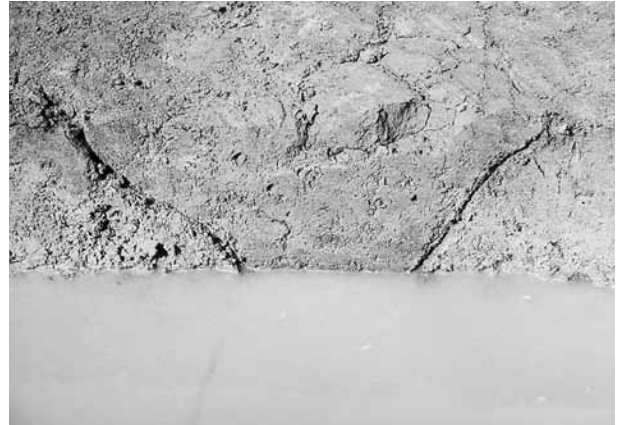
3. 3区第6面73号溝 北西から



4. 3区第6面74号溝 北東から



1. 3区第6面73号溝土層断面



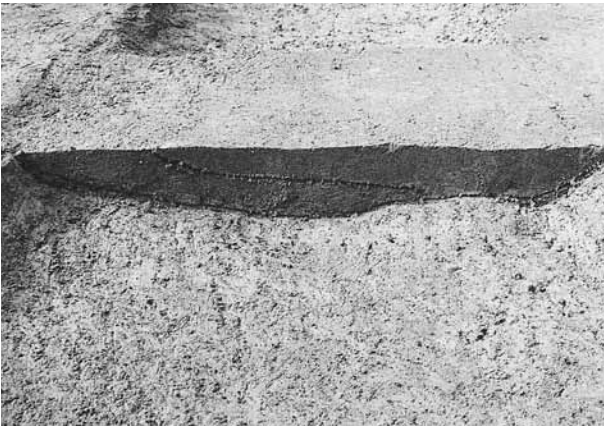
2. 3区第6面74号溝土層断面



3. 3区第6面111号溝土層断面



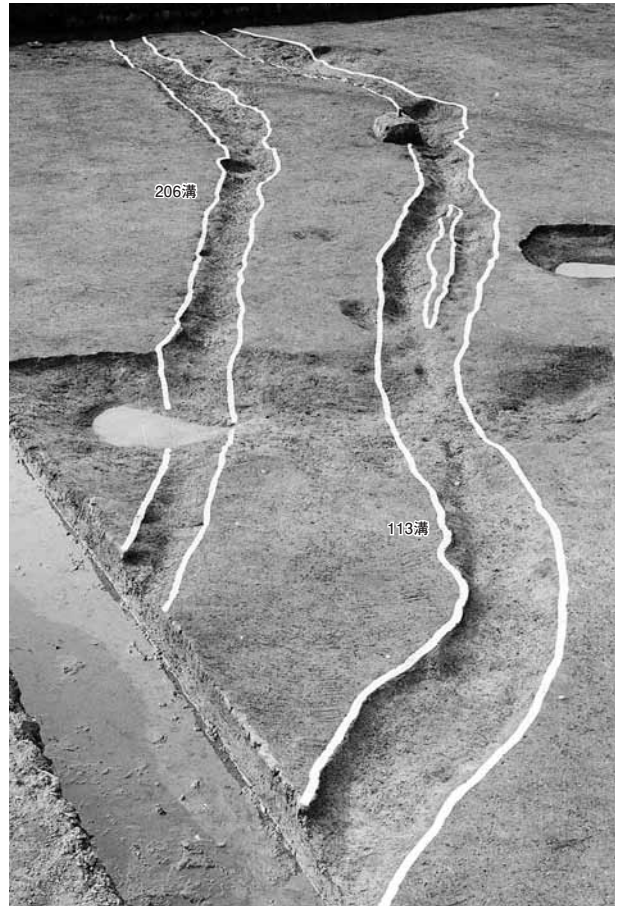
4. 3区第6面112号溝土層断面



5. 3区第6面113号溝土層断面



6. 3区第6面113号溝土層断面



7. 3区第6面113・206号溝 南東から



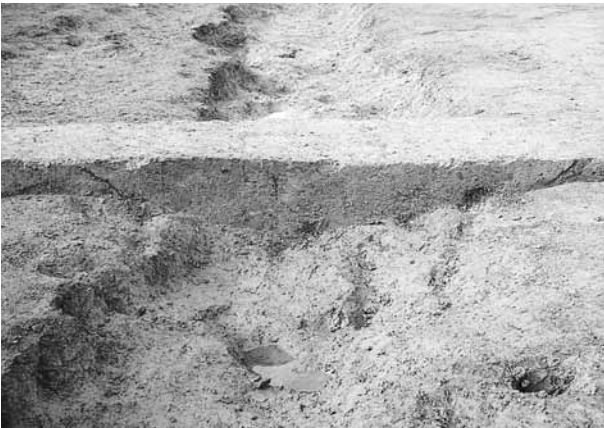
1. 3区第6面116号溝 南から



3. 3区第3面201・202号溝 南から



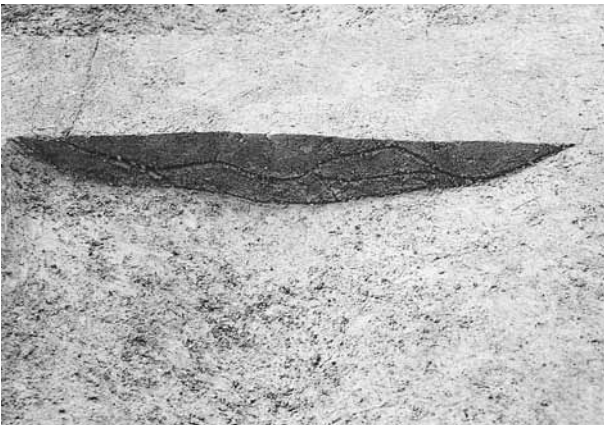
2. 3区第3面201・202号溝土層断面



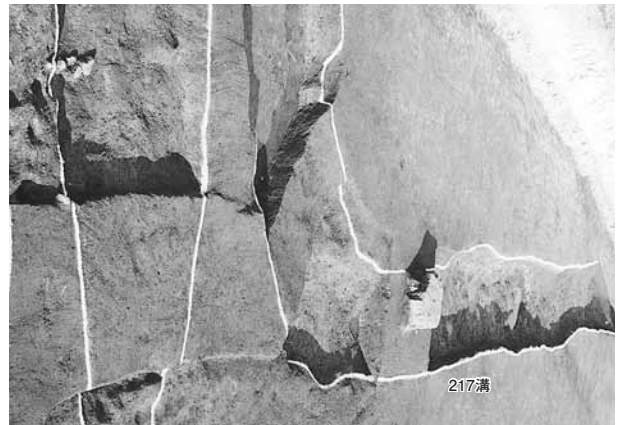
4. 3区第3面201・202号溝土層断面



5. 3区第6面205号溝土層断面



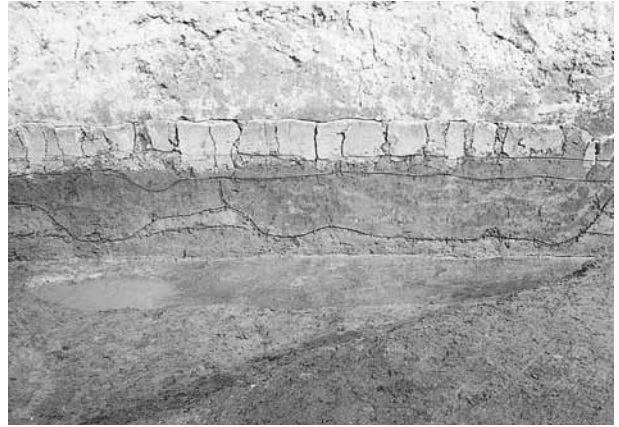
6. 3区第6面206号溝土層断面



7. 3区第6面217号溝 南から



1. 3区第6面217号溝 東から



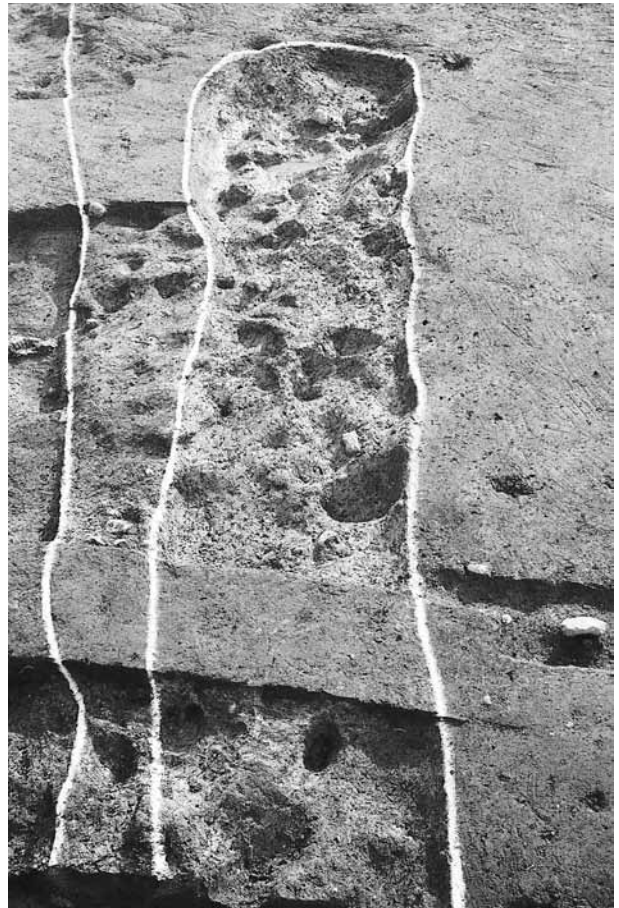
2. 3区第6面217号溝土層断面



3. 3区第6面218号溝土層断面



4. 3区第6面218号溝 西から



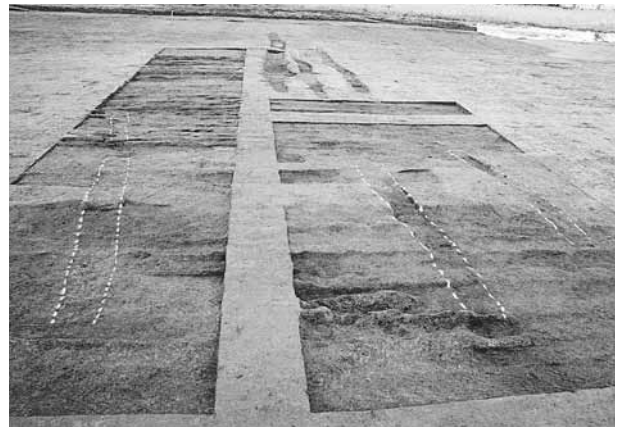
5. 3区第6面219号溝 北から



1. 3区第6面221号溝 南から



2. 3区第1面7号復旧溝 南から



3. 3区第1面8号復旧溝 北から



4. 3区第1面9号復旧溝 東から



5. 3区第3面11号畠 西から



6. 3区第3面12号畠 西から



7. 3区第5面水田 東から



1. 6区第5面全景 上空から 上方が北



2. 6区第5面225号溝土層断面



3. 6区第5面225号溝土層断面



4. 6区第5面225号溝土層断面



5. 6区第5面225号溝土層断面





14図1



14図3



14図5



14図6



14図2



14図4



15図1



17図1



17図2



17図3



16図1



16図2



17図4



16図3



17図5



17図6



17図7



18図1



19図1



19図3



19図2



19図4



23図1



24図1



29図2



29図3



29図4



26図1



26図2



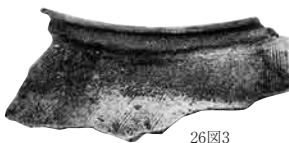
29図1



26図5



26図4



26図3



26図6



26図7



26図8



26図9



26図10



26図11



26図12



31図1



31図2



31図3



31図4



32図5



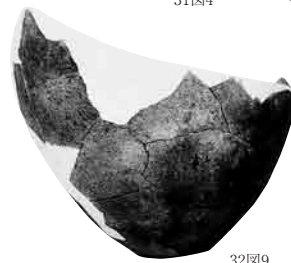
32図6



32図7



32図8



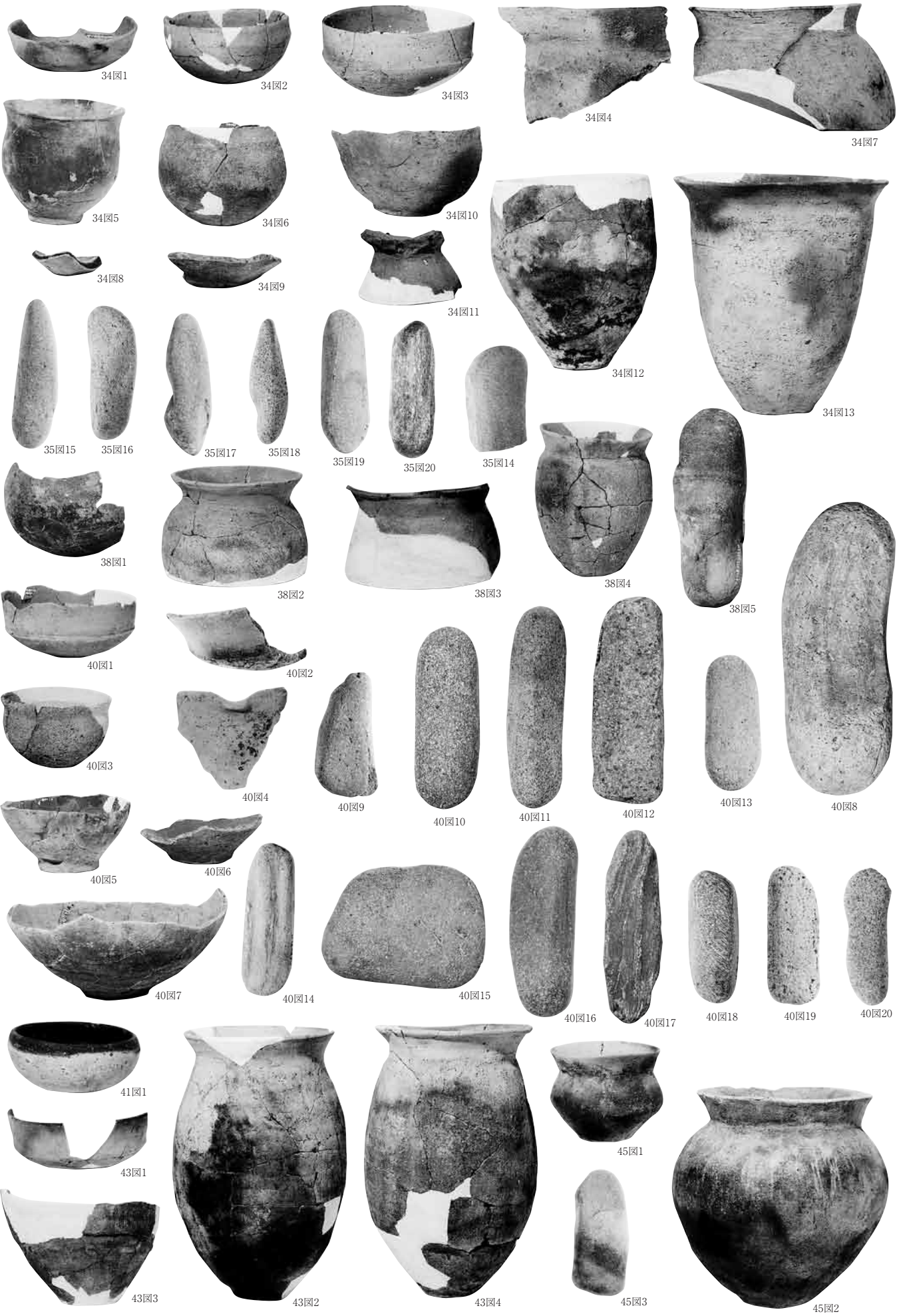
32図9

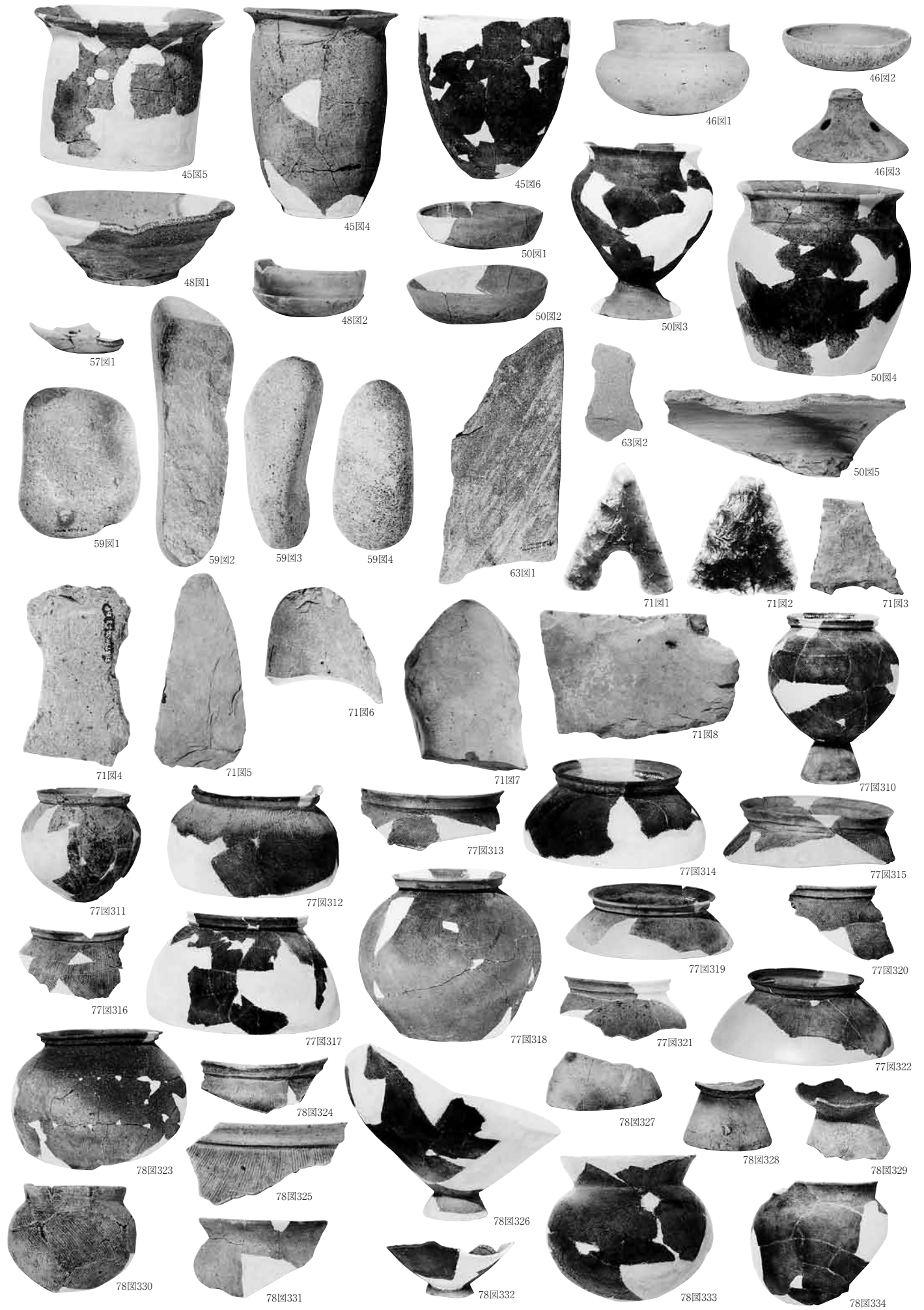


32図10



32図11







78図335

79図336

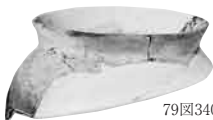
79図337

79図338

79図342



79図339



79図340



79図341



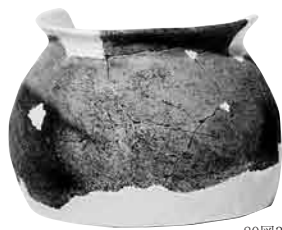
79図343



79図344



79図345



80図346



80図347



80図348



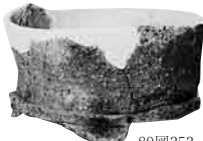
80図350



80図351



80図349



80図353



80図355



80図356



80図357



80図352



80図354



80図358



80図359



80図360



80図361



81図362



81図363



81図364



81図365



81図366



81図367



81図368



81図369



81図370



81図372



81図373



81図374



81図375



81図376



81図377



81図371



81図378



81図379



81図380



81図381



81図382



81図383



81図384



82図385



82図386



82図387



82図388



82図389



82図390



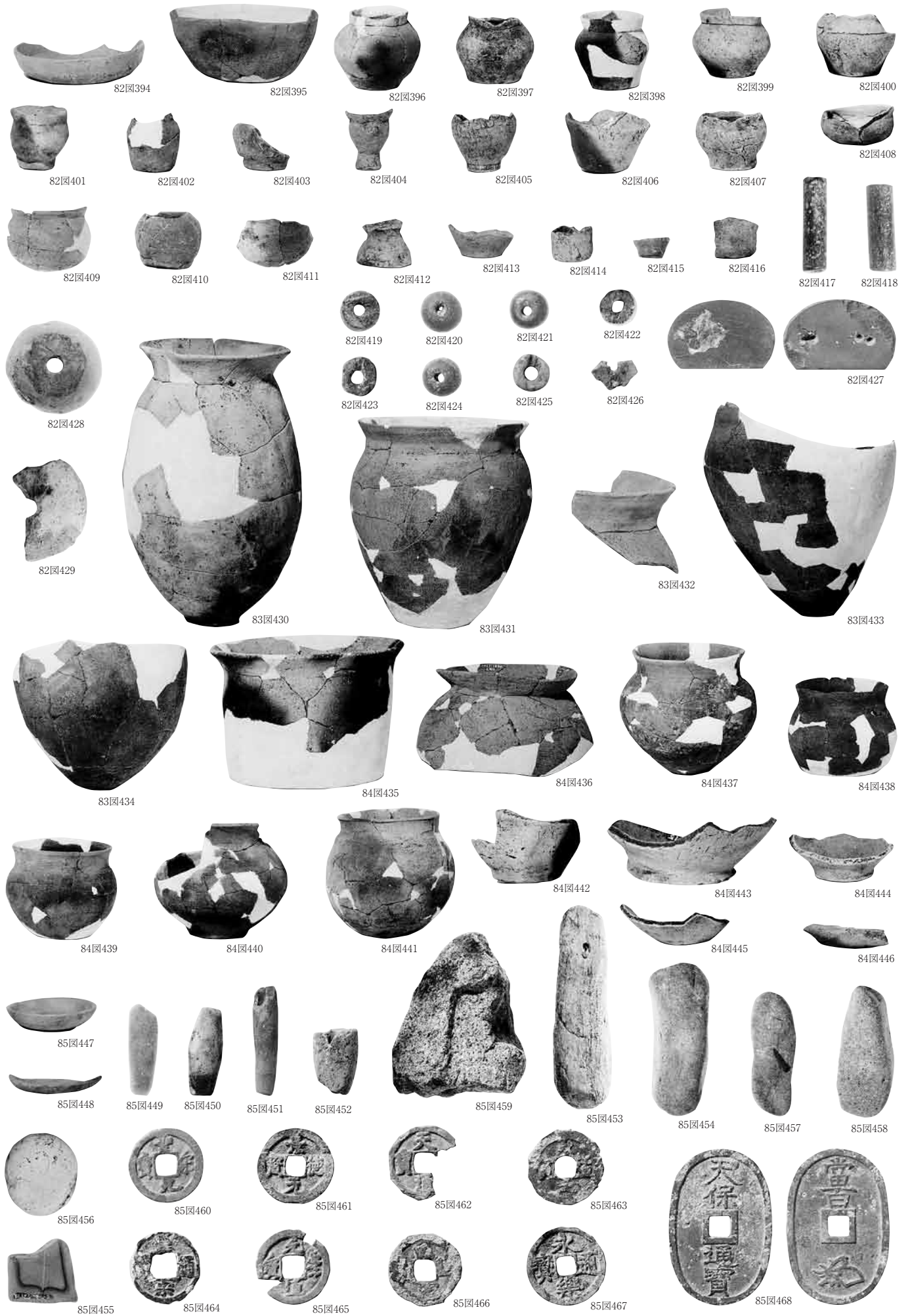
82図391



82図392



82図393





89图1



89图2



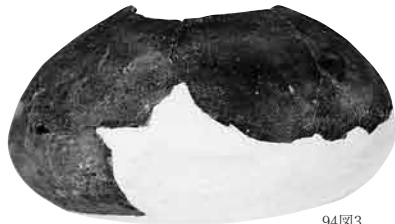
88图1



94图1



94图2



94图3



94图4



95图6



88图2



94图5



95图7



95图8



95图10



95图9



95图11



95图12



97图1



99图1



99图2



99图3



123图7



123图8



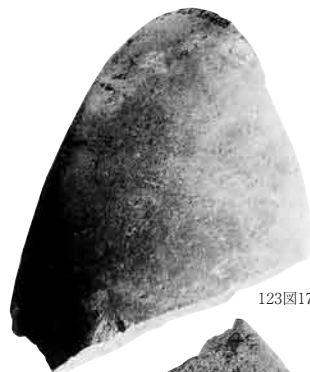
123图9



123图10



123图12



123图17



122图5



122图4



122图2



122图1



122图3



122图6



123图11



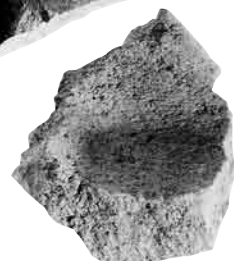
123图13



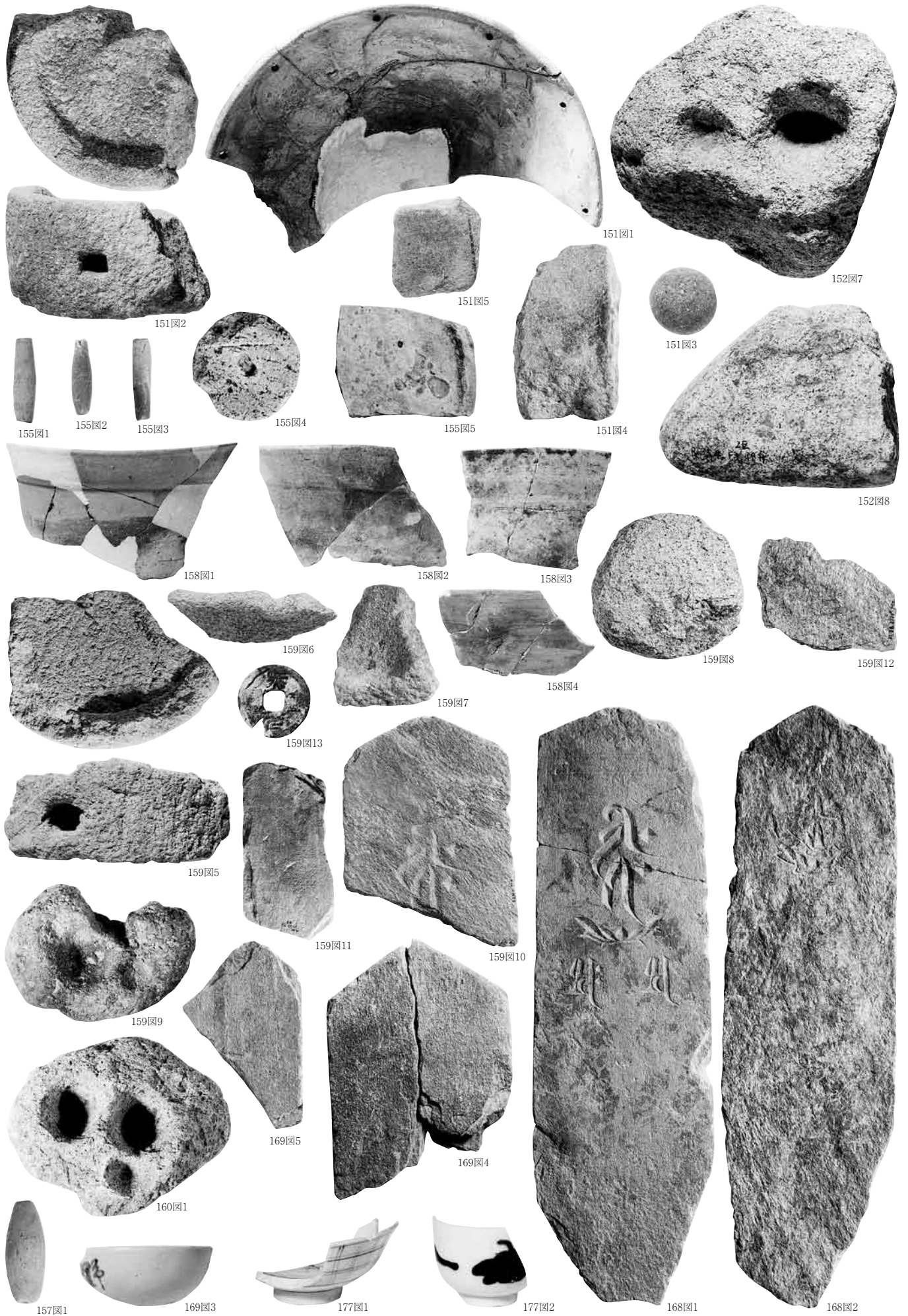
123图14



123图15



123图16





178图43



178图45



179图46



179图47



178图44



179图48



179图49



179图50



179图51



179图52



179图54



179图55



179图58



179图53



179图57



179图59



179图60



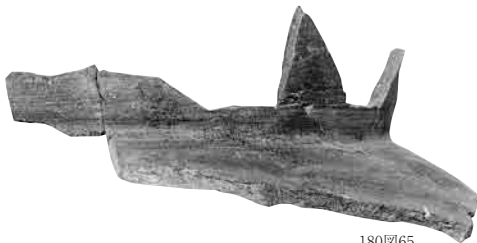
180图62



180图63



180图64



180图65



180图78



180图82



180图66



180图67



180图68



180图69



180图70



180图71



180图72



180图73



180图74



180图75



180图76



180图77



180图80



180图81



181图83



181图84



181图85



181图86



181图87



181图88



181图89



181图90

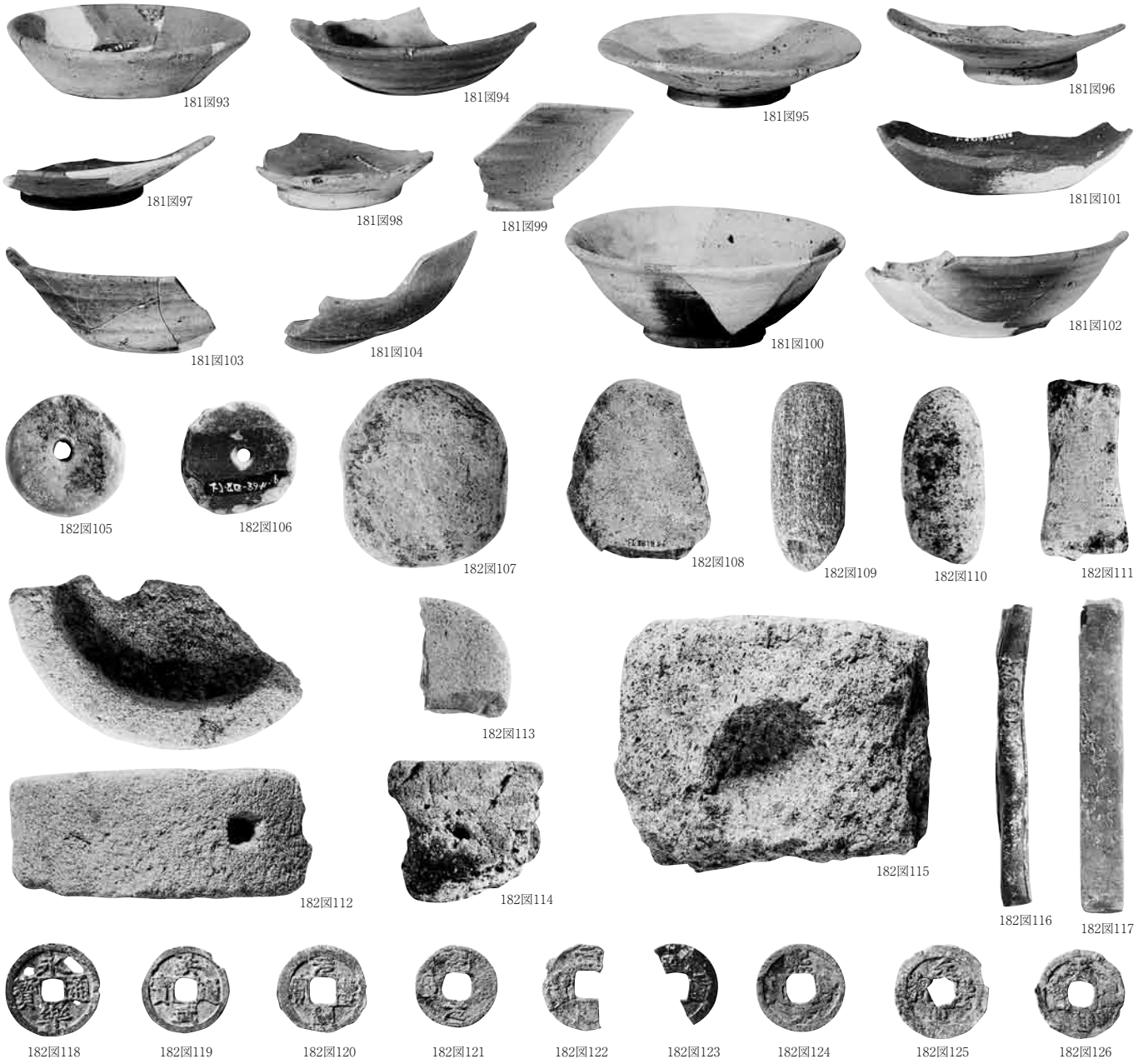


181图91

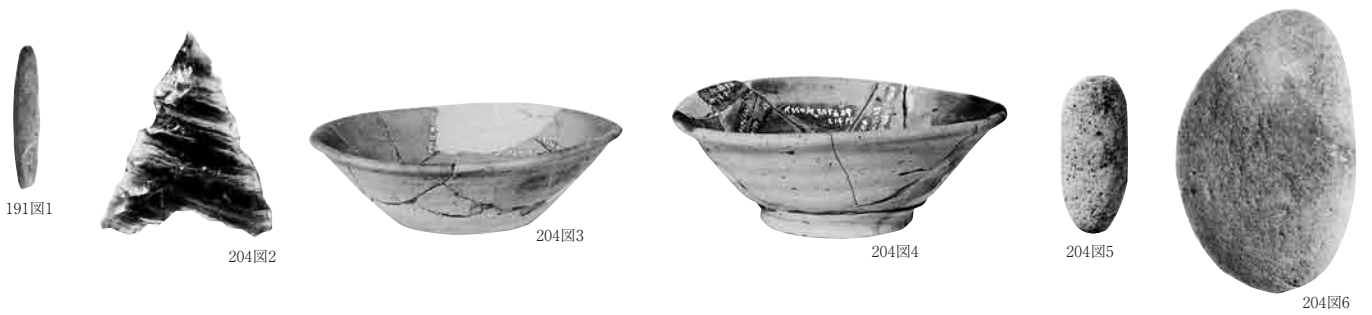


181图92





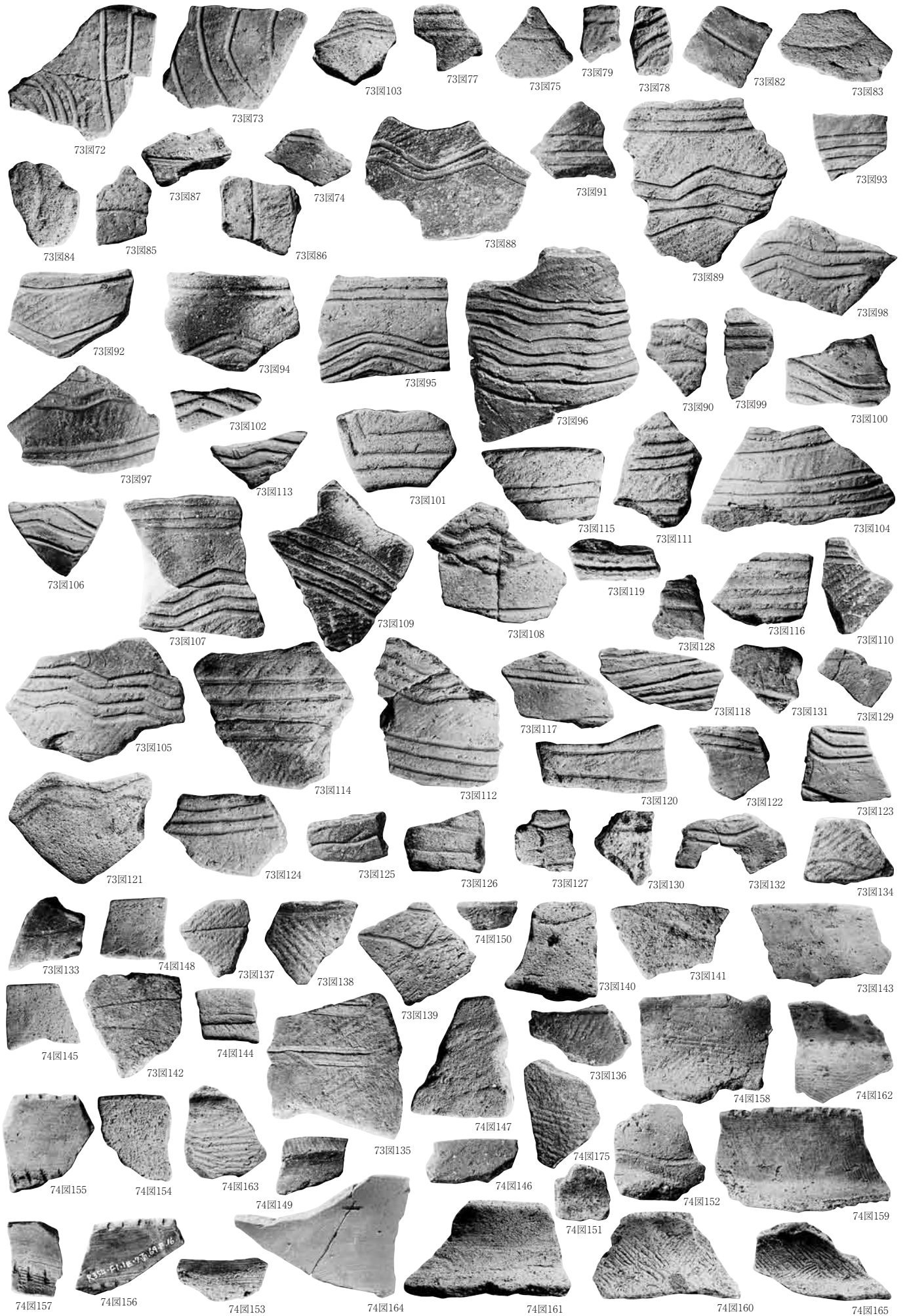
3区

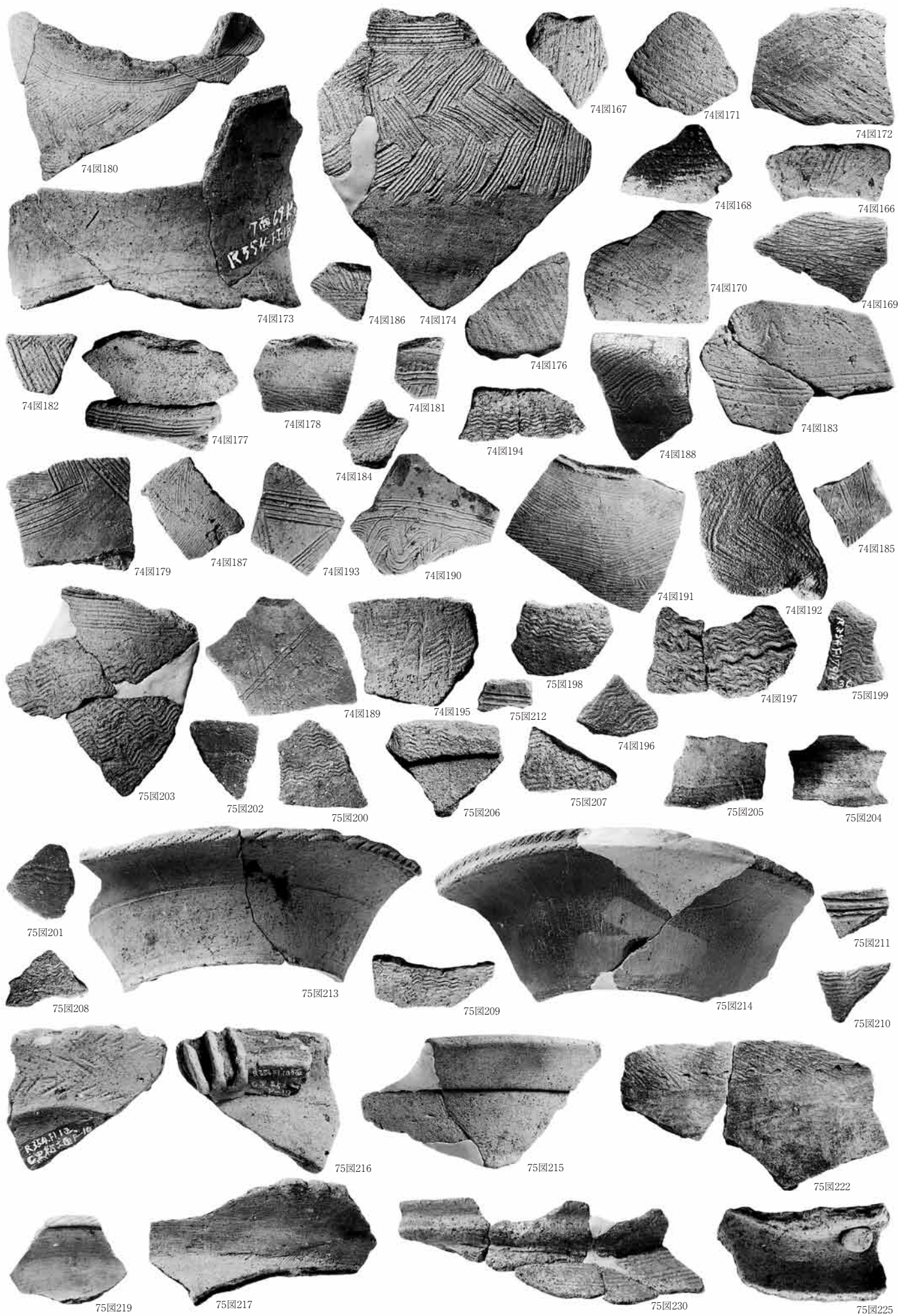


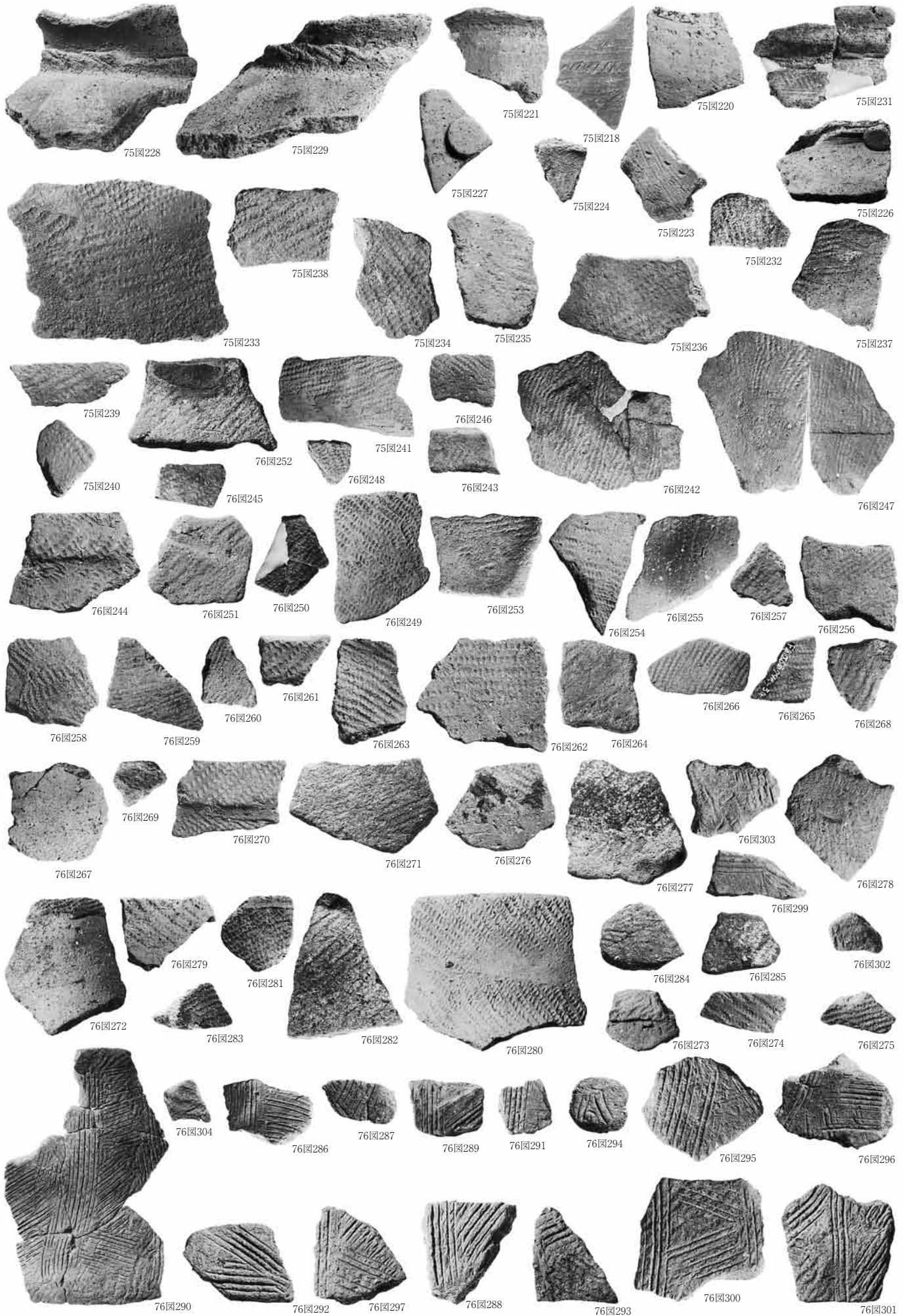
6区







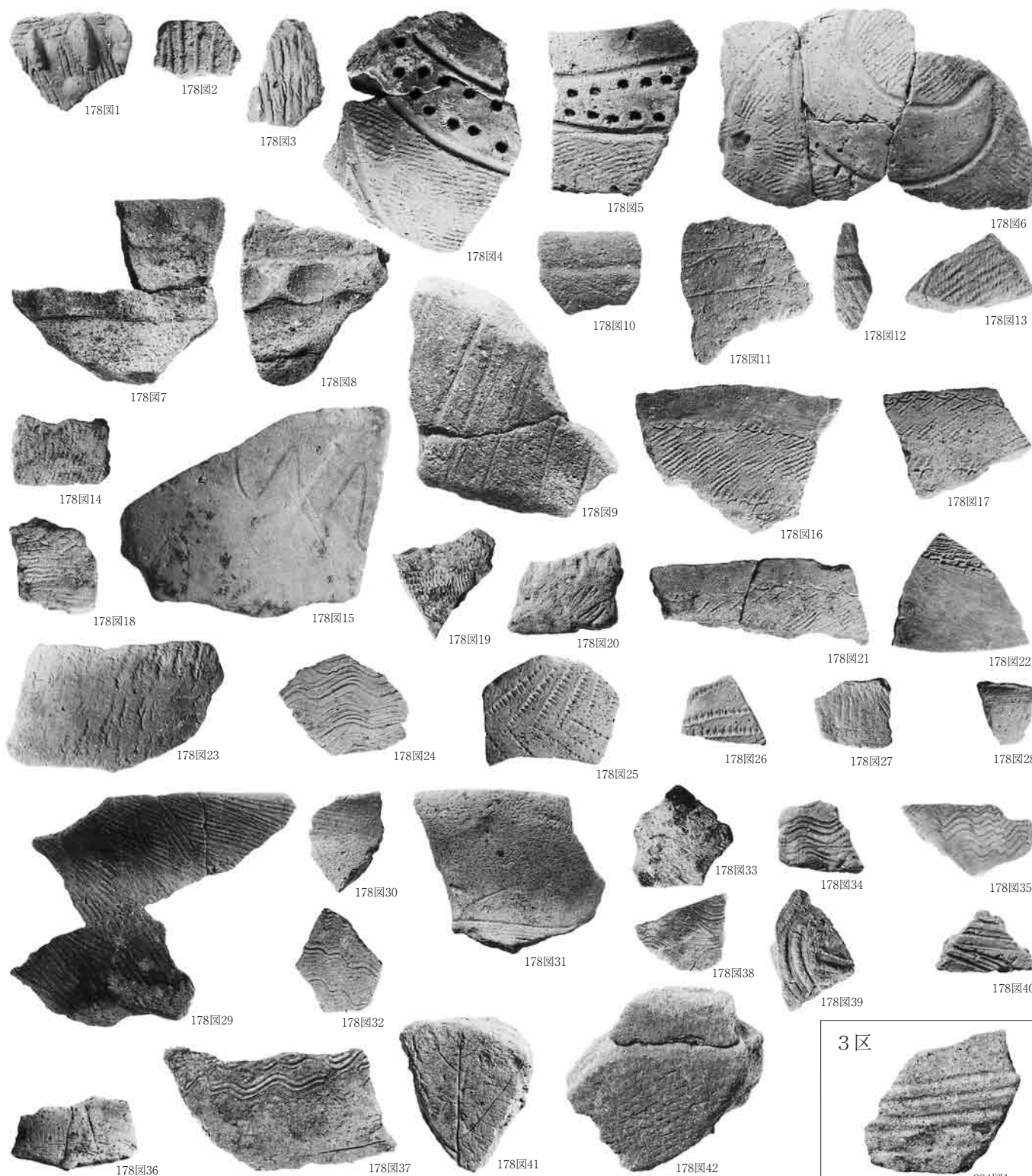




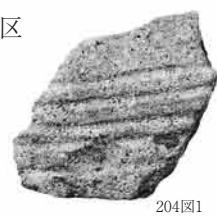


76圖309

2 区



3 区



# 報告書抄録

書名ふりがな	ふくしまいづかいせきに
書名	福島飯塚遺跡（2）
副書名	国道354号道路改築事業に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	2
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	435
編著者名	原 雅信
編集機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20080316
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橋町下箱田784番地2
遺跡名ふりがな	ふくしまいづかいせき
遺跡名	福島飯塚遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんさわぐんたまむらまち
遺跡所在地	群馬県佐波郡玉村町
市町村コード	10464
遺跡番号	0606
北緯(日本測地系)	361811
東経(日本測地系)	1390721
北緯(世界測地系)	361822
東経(世界測地系)	1390709
調査期間	19980401-20000331
調査面積	19730
調査原因	道路建設工事
種別	集落／溝／水田／その他
主な時代	弥生／古墳／平安／中世／江戸
遺跡概要	縄文-土器/弥生-土器／古墳-住居+溝+土坑+井戸+方形周溝墓／古代-溝+井戸+土坑+水田／中世-館+掘立柱建物+井戸+溝+土坑+水田／近世-火山灰復旧溝+畠+溝+土坑
特記事項	古墳時代の集落。方形周溝墓。琴柱形石製品1点。弥生土器。中世館。板碑等。
要約	江戸時代から古墳時代にわたる複合遺跡。微高地上には古墳時代集落、中世館等の各時代の居住域が形成され、低地部には水田等の生産域が確認された。江戸時代は全域が生産域となり、浅間A軽石被災の際の耕地復旧用遺構が確認された。

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第435集

## 福島飯塚遺跡(2)

国道354号道路改築事業に係わる埋蔵文化財発掘調査報告書第2集

---

平成20年3月16日 印刷

平成20年3月16日 発行

編集・発行／財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784-2

電話 0279-52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／松本印刷工業株式会社

---





